



2024 年度

教 科 案 内

愛知医科大学 医学部

Aichi Medical University School of Medicine

目 次

建学の精神, 学是	1
愛知医科大学の医学教育が目指すもの	2
3つのポリシー	3
卒業時に修得しておくべき臨床能力 (コンピテンス, コンピテンシー, マイルストーン)	6
GPA制度	11
受講態度の厳格化について	12
学年暦	14
1 学年次授業時間割	16
2 学年次授業時間割	18
3 学年次授業時間割	20
4 学年次授業時間割	22
5 学年次授業時間割	24
6 学年次授業時間割	26
履修系統図	28
講座等名・使用教室略称一覧	34

[1 学年次履修科目]

プロフェッショナリズム 1 a	36
プロフェッショナリズム 1 b	40
多職種連携演習 1	44
アカデミックリテラシー	48
I C Tリテラシー	52
医療のための情報学 (前学期・後学期)	54
医用心理学	60
行動科学 1 a	64
行動科学 1 b	68
行動科学 1 c	72
統計学 1	76
スポーツ科学	78
医用物理学	82
生体分子の化学	86
細胞生物学	90
基礎科学実習	96
P B L	104
医学英語 1 a	106
医学英語 1 b (前学期・後学期)	110

ポルトガル語	116
中国語	120
韓国語	124
ドイツ語	128
初年次医科学セミナー	132
自然科学演習 (物理学)	136
自然科学演習 (化学)	140
自然科学演習 (生命科学・生物学)	142
哲学と医療	146
経済と医療	148
文学と医療	152
宗教と医療	158
数学と医療	162
生命倫理 1	164
早期体験実習 1 a (シミュレーション実習)	168
早期体験実習 1 b (看護体験実習)	172
早期体験実習 1 c (臨床科見学実習)	176
コミュニケーション演習 1	180
解剖学 1 a	184
解剖学実習 1 a	188
解剖学 1 b	192
解剖学実習 1 b	198
生理学 1	202
生化学 1	208
基礎科学・基礎医学統合演習	212
Preparation for the USMLE	216
選択講座 1	218

[2 学年次履修科目]

プロフェッショナルリズム 2	222
多職種連携演習 2	226
行動科学 2	230
統計学 2	234
医学英語 2	236
分子発生学	242
生命倫理 2	248
基礎医学セミナー (2 年)	250
解剖学実習 2	254
生理学 2	262
生理学実習	268
生化学 2	274

生化学実習	278
薬理学	282
薬理学実習	286
病理学	290
病理学実習	296
統合講義（腫瘍学）	300
統合講義（炎症学）	304
微生物学（細菌分野, ウイルス・真菌分野）	308
免疫学	314
免疫学実習	318
寄生虫学	322
地域社会医学実習	326
チーム医療実習	332
外来案内実習	336
コミュニケーション演習2	340
選択講座2	344
検査医学（2年）	346
放射線医学（2年）	350

[3学年次履修科目]

プロフェッショナルリズム3	356
多職種連携演習3	360
医学英語3	364
基礎医学セミナー（3年）	370
衛生学	374
公衆衛生学	380
公衆衛生学実習	386
法医学	390
健康増進と疾病予防	394
E B M実習	398
地域包括ケア実習	402
選択講座3	406
検査医学（3年）	408
消化器学	412
循環器学	418
呼吸器・アレルギー学	424
内分泌・代謝・糖尿病学	430
脳・神経学（神経内科学, 脳神経外科学）	436
腎・膠原病学	444
血液・造血器学	450
精神科学	456
小児科学	460

整形外科学	466
泌尿器科学	470
産科学	474
婦人科学	478
放射線医学（3年）	482
リハビリテーション医学	486
疼痛医療学	490
東洋医学	494
高齢医学	498
症候学	502
コミュニケーション演習3	506

[4学年次履修科目]

プロフェッショナリズム4	512
多職種連携演習4	518
医学英語4	522
医療と倫理	528
選択講座4	532
皮膚科学・形成外科学	534
眼科学	538
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学（口腔外科学）	542
麻酔科学	546
救急医学	550
臨床感染症学	554
臨床腫瘍学	560
医療安全	564
臨床遺伝学	568
臨床推論	572
地域医療総合医学	576
基本手技・医療面接実習	580
臨床実習入門	584
地域医療早期体験実習	590

建学の精神

本学は、新時代の医学知識、技術を身につけた教養豊かな臨床医、特に時代の要請に応じて地域社会に奉仕できる医師を養成し、あわせて医療をよりよく発展向上させるための医学指導者を養成することを目的とする。

そのため、医学を中心とした広汎な基礎的知識を授け、深い専門的技術を教授研究し、心身ともに健康なる医師を養育し、その知的、道徳的能力及び社会的有用性の向上を期している。

なお、私学の特性に鑑み、その自主性を重んじ、公共性を高めることによって、私立医科大学の健全なる発展を図り、社会福祉、殊に地域医療に貢献するとともに、東南アジアその他発展途上国の医療の進歩、向上に協力せんとする。

本学の修業年限は6年で、その間の教育に一貫性を期するとともに、研究の交流を図るために、その組織を基礎科学、基礎医学、臨床医学の各部門にわかち、それぞれの緊密なる連携を図ることにした。この点本学が新しい構想のもとに企画したところであり、本学の特色とするところである。かくして新しい「カリキュラム」をもって人間形成及び創造性の啓発を図り、人命の尊厳を守り、ヒューマニズムに徹し、各自の自主的、自発的勉学を尊重し、人間としての自覚にたった医学教育を目指しているのである。

学是 『具眼考究（ぐがんこうきゅう）』

「具眼」とは、江戸中期の画家で近年脚光を浴びている伊藤若冲の言葉として知られていますが、「確かな眼」、「見通す眼」、「眼力」、「慧眼」といった意味であり、医学的には「正しくみる」ことを意味します。「みる」とは「診る」、「看る」、「見る」、「観る」、「視る」のすべてを含み、個々の患者の正確な病態とともに生物学的、心理学的、経済的、社会的なすべての視点に立った包括的、全人的に患者を把握する感性を意味します。さらに卓越した研究・教育それに大学の正しい未来の方向性の洞察には「具眼」が必要です。

「考究」とは、「具眼」によって得た神髄を深く考え、それに対して正しく対処して究めることを指します。

愛知医科大学の医学教育が目指すもの

【教育理念】

医学部の教育理念は、医学知識や技術の修得はもとより、医学を志す者として教養豊かな人間性を涵養することです。すなわち、建学の精神及び学是に基づいた科学的・倫理的判断力、社会貢献の自覚を養い、情緒と品格を兼ね備えた医療人を育成することです。

【教育目標】

ヒューマニズムに徹し、医学・医療の社会的使命を進んで果たす医師を養成すること。

- 1 将来の医学・医療の様々な分野に共通して必要な基本的知識、技能、態度を身につけ、生涯にわたる学修の基礎をつくります。
- 2 自主性・創造性を身につけ、問題解決能力を高めます。そして、医学の進歩と、医療をめぐる社会情勢の変化に対応できる能力を涵養します。
- 3 医療を予防・診断・治療から社会復帰までの包括的なものとして捉え、自然科学のみならず、その背景にある心理的・社会的諸問題をも含めて総合的に対応できる能力を涵養します。

【カリキュラムの特徴】

- ① 基礎科学教育の再編・充実にて自律的学習の能力を修得すると共に、基礎医学、臨床医学の理解の確固たる基盤を作る。
- ② 1学年次から基礎医学を学び、学習意欲の向上を目指す。
- ③ プロフェッショナリズム、行動科学教育、多職種連携教育・倫理教育を実施し、医療人としての基本的価値観、資質、能力を継続的に修得する。
- ④ 1学年次から早期体験実習・社会医学実習・地域医療実習を学外施設で行い、地域社会への貢献の自覚を深める。
- ⑤ 基礎・社会・臨床医学の専門科目においては、垂直・水平統合を推進し、医学、医療への総合的視点を早期から涵養する。
- ⑥ 1学年次後学期から4学年次前学期の6限目に選択講座を開講し、学生の個々のニーズに合わせた知識、技能を修得する。
- ⑦ 1～3学年次の学業不振者に対してグループ学習を用いた継続的な学修支援を行う。
- ⑧ 社会医学、社会医学実習の充実により、社会と医療の関係の理解、社会の中での医療人としての役割の自覚を深める。
- ⑨ 臨床講義では、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、自己学修の習慣を維持するとともに、科目毎に試験を実施し、医学知識の確実な定着を図る。
- ⑩ 80週（クリニカル・クラークシップ72週、臨床前実習8週）の臨床実習にて実践力のあがる良き臨床医の基盤を作る。
- ⑪ 臨床実習中の臨床現場における学習者評価（workplace based assessment）を積極的に取り入れ、診療参加型臨床実習の充実を図る。
- ⑫ 臨床実習期間中に定期的に総合試験を実施して知識の定着を図り、臨床実習での学びを深める。

3つのポリシー

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

本学医学部では、建学の精神に基づき、新時代の医学知識と技術を身につけて科学的・倫理的判断能力及び情緒と品格を兼ね備えた教養豊かな人間性を培い、地域社会に奉仕できる医師の養成を目指します。カリキュラム・ポリシーに沿ったカリキュラムを履修し、卒業時能力達成基準（コンピテンス、コンピテンシー）に定める項目を身につけた学生に卒業を認定し、学士（医学）の学位を授与します。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

医師に求められる知識・技能・態度を、段階的、スムーズに修得できるように講義及び医療実習・臨床実習を1学年次から6学年次まで継続的、かつ、らせん状の学修方法にて積み重ねていきます。

学修内容が真の効果的な学びとなるように講義は単なる一方方向性の座学ではなく、教員との双方向性のやりとり、学生間の意見交換・議論などのアクティブ・ラーニングを6年間通して行います。また、6年間継続する医療実習及び臨床実習では、常に、事前学習、実地体験、体験の振り返りのまとめとプレゼンテーションを行い、経験からの学びを深め、確実にそれらを身につけられるようにします。

これらによって修得された学びは、医学的知識を評価する試験だけではなく、シミュレーションを使った技能の評価、振り返り記述や多職種を含めた多方面からの態度評価など、多面的・複合的な方法によって学修成果の達成度を明らかにします。

■ 1～4学年次まで継続的にプロフェッショナルリズム科目（多職種連携教育 IPE を含む）を開講して、良き医療人としての在り方・資質について考え、目標を保ち続けるようにしている。さらに行動科学も、プロフェッショナルリズム教育と連携し継続して行う。人間の行動をまず科学として捉え、さらに社会の中で患者・住民に寄り添う関係を考え、健康問題など予防医学的観点へ繋がる学修を目指す。

■ 臨床の現場における学びを入学後早期から継続的に行うため、1学年次で「早期体験実習」、2学年次で「地域社会医学実習」、「チーム医療実習」、「外来案内実習」、3学年次で「地域包括ケア実習」、4学年次で「地域医療早期体験実習」を実施し、その後、4～6学年次でクリニカル・クラークシップ（診療参加型臨床実習）を実施する。様々な実習及びクリニカル・クラークシップでは、医学知識のみならず医師としての人間性を涵養する。（1～6学年次までの継続的な学び）

■ 1学年次には、医学の基礎となる知識と概念を得るために医学に沿った自然科学科目とリベラルアーツを開講し、さらに「アカデミックリテラシー」による ICT（Information and Communication Technology）やアクティブ・ラーニングから自学自習の習慣をつける。

- 1 学年次から解剖学，生化学及び生理学を開講し，早期から基礎医学領域の学びを開始することで，医学への関心を刺激し学修意欲を高める。
- 1 学年次に行う「早期体験実習」では，プロフェッショナルリズムの一環として，目指すべき医療人，医療のあり方を理解するようにする。
- 2 学年次後学期までに「解剖学」，「発生学」，「生理学」，「生化学」，「薬理学」，「病理学」，「免疫・寄生虫学」及び「微生物学」等の基礎医学の講義，実習を実施し，臨床医学のための基礎を早期に築き上げることを目指す。
- 2 学年次で行う「地域社会医学実習」，「チーム医療実習」及び「外来案内実習」では，社会的存在としての患者，患者をケアする医療チームのあり方を体験する。
- 3 学年次に EBM (Evidence-Based Medicine) と併せて社会医学科目である「公衆衛生学」，「衛生学」，「法医学」を実施し，患者を一人の人間，また社会の中で生活する住民として広い視野から理解できるように講義と地域の様々な施設・機関での実習を連動させる。
- 3 学年次で行う「地域包括ケア実習」では，超高齢社会での医療供給体制と社会に対する医療の責任についての理解を深める。
- 3 学年次に「基礎医学セミナー」を開講し，科学的探求心を涵養する。
- 3 学年次からは，臨床医学総論として症候学，診断学及び検査学を学んだうえで，各科目を集中的に学修する臨床講義を実施する。また，医療安全の授業を実施し，医療の実践に必要な知識・技能を学ぶ。講義の最終日には科目毎に知識の定着を評価し，このことで継続的な自主学修も促す。
- 4 学年次には，医療と倫理の授業が行われる。
- 4 学年次前学期で臨床講義は終了し，前期終了時に CBT (Computer-Based Testing) を実施し，クリニカル・クラークシップに参加できる医学知識が身についているかどうかを総括的に評価する。
- CBT 後には，クリニカル・クラークシップに臨むための診断学，臨床・診断推論の知識，技能の修得のため，「臨床実習入門」を講義及び演習・実習にて実施する。
- 臨床実習入門後には，実際の診療のための手技を修得する基本手技・医療面接実習を実施し，この実習の総括的な評価を OSCE (Objective Structured Clinical Examination: 客観的臨床能力試験) にて実施する。これに合格した学生のみがクリニカル・クラークシップに参加することができる。
- クリニカル・クラークシップ前に，地域医療早期体験実習を行う。地域社会の中における医療の理解をさらに深め，4 学年次後学期からのクリニカル・クラークシップにて常に地域社会を意識できるようにする。
- 4 学年次後学期から計 72 週のクリニカル・クラークシップを行う。クリニカル・クラークシップは，必修診療科ローテーションと選択診療科ローテーションの組み合わせにて実施する。大学病院の他，教育協力病院など地域医療機関での実習で多様

な体験をし、大学病院と地域医療機関との連携についても理解し、コモンディジェーズを診るプライマリ・ケアから高度先進医療まで幅広い診療技能を修得する。

- クリニカル・クラークシップ期間中には、総合試験を実施し、クリニカル・クラークシップで修得した医学知識の評価を行う。
- クリニカル・クラークシップの診療技能評価は、Post-CC OSCE にて実施し、本学独自の技能課題も取り入れる。
- 6 学年次後学期に総合試験を実施し、6 年間の医学知識の総括的评价を行う。クリニカル・クラークシップの評価、Post-CC OSCE 及び総合試験の全てに合格することによって、本学医学部を卒業する資格を得ることができる。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

本学医学部のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を身につけることができる者として、次の能力を持つ者を求めています。

求める学生像

1. 医学への強い志向と学習意欲を持つ人
2. 医学を学ぶために必要な基礎学力と問題解決能力を備えた人
3. 人間性と教養が豊かで、倫理的価値判断に優れた人
4. 協調性を持ちコミュニケーション能力に富んだ人
5. 誠実で常に努力を怠らない人

本学医学部が求める学生を受入れるための入学者選抜は、次の方針により実施します。

1. 医学部の学生として相応しい基礎的学力の到達度を確認するため、理科・数学・英語の筆記試験を実施します。
2. 医師として求められる倫理的価値判断、感性、コミュニケーション能力などを判断するため、面接試験及び小論文試験を実施します。

本学医学部の学生は、医師国家試験の合格という大きな目標の達成だけでなく、医師に相応しい教養や感性（情緒と品格）を持つことが求められます。入学者の選抜においては、基礎的学力のみでなく、思考力・表現力・学ぶ意欲・コミュニケーション能力なども重視します。また多様な学生の受入れのため、一般入学試験のほかに国際バカロレア入学試験など多様な入学者選抜を実施します。

卒業時に修得しておくべき臨床能力 (コンピテンス, コンピテンシー)

I プロフェッショナルリズム

<医師としての価値観・態度・姿勢>

1. 高潔, 誠実, 正直, 共感の態度を保ち, それらを示すことができる。(人間性)
2. 他者の多様な価値観を尊重できる。(価値観の尊重)
3. 自分の利益よりも患者・家族・住民・社会の利益を優先的に考え, その利益を達成するために可能な限り努力できる。(利他主義)
4. 倫理原則, 法律に基づいて行動できる。(倫理的・法的理解)
5. 患者と家族の心理・社会的背景を理解し, 全人的に対応できる。(全人的対応)
6. 自分の行為と決断を振り返り, 次の行為と決断に活かすことができる。(省察的实践)

<生涯学習・自己啓発・自己管理>

7. 自己の目標を設定し, 目標達成のための方法を見だし, それを実行できる。(目標設定)
8. 適切に自己評価をし, 能力の向上のために, 自己学習を自律的に継続できる。(自己学習)
9. 自らの知識や技能を多職種で共有し, それを後進に伝え, 後進を育成できる。(教育的態度)
10. 精神面, 身体面で自己管理に努めることができる。(自己管理)

<チーム医療・医療安全>

11. 医療チームの一員として協働し, 効果的な役割を果たすことができる。(チーム医療)
12. 他の職種の考えや役割を理解, 尊重し, 多職種協働を実践できる。(多職種協働)
13. 患者, 家族, 住民を医療チームの一員として考え, 協働できる。(患者中心の医療)
14. 安全な医療を提供するための基本原則を理解し, 実践できる。(患者安全)
15. 常に医療の質を改善することを考え, 質改善を実践できる。(生涯学習)

II コミュニケーション

1. 患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる。
2. 患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会の心理・生活・文化的背景を適切に把握するための、支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる。
3. 効果的な協働のために、相手に応じて適切な方法で情報の収集・集約・伝達を行うことができる。
4. 患者、家族と情報に基づいた意思決定の共有（インフォームド・シェアード・ディシジョン・メイキング）ができる。
5. 個人とだけでなく、集団、社会との適切なコミュニケーションをとることができる。
6. 様々な ICT(Information and Communication Technology)を適切に選択し、活用できる。

III 医学知識と科学的探究心

1. 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。
2. 生体の正常な構造や機能、及び発生、発達、加齢、死を生命科学的知識により説明できる。
3. 疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素を説明できる。
4. 疾患の病態と症候を説明でき、その鑑別と診断を計画できる。
5. 疾患の適切な治療、最新の治療を理解し説明できる。
6. 人の健康行動につながる生物学的・心理学・社会的要因を理解し、健康増進の方法を説明できる。
7. 疾病・障害・健康問題と社会との関係を説明できる。
8. 医学・医療と社会との関連、社会の医療問題を説明できる。
9. 新しい医学・医療情報を探索し、医学・医療における疑問点を見出し解決しようと努力できる。
10. 医学、医療における客観的根拠を適切に探索し、EBM を実践できる。

IV 診療技能

1. 心理・社会的状況を含め患者の病歴を正確に聴取できる。
2. 身体診察と基本的臨床手技を適切に実施できる。
3. 診療録を SOAP 形式で、客観的、かつ簡潔に記載し、プロブレムリスト、鑑別診断を作成できる。
4. 適切な検査を選択し、結果を正しく解釈できる。
5. 時、相手・場所に応じた適切なプレゼンテーションができる。
6. 患者と家族に対し、エビデンスに基づいて、適切に治療法・予後を説明できる。
7. 感染管理を考慮した診療ができる。
8. プライマリ・ケア領域の救急対応ができる。
9. 慢性疾患・高齢者・緩和・予防・健康増進・リハビリテーション、介護/ケアの視点から患者ケアの実践ができる。

V 地域社会へ貢献

1. 地域社会における疾病予防、健康の維持・増進のための医師の役割を説明できる。
2. 地域の医療状況、社会経済的状況を含めた特殊性や課題について説明できる。
3. 医療計画、地域医療構想について説明できる。
4. 住民啓発活動や一次医療の診療補助により地域医療に参加ができる。
5. 社会保障制度を理解し、地域包括ケアの実践に参加できる。
6. 災害における被災者や、社会的弱者の現状について理解し、医療に関わるボランティア活動に参加できる。
7. 国際社会の健康問題を把握、説明することができ、可能な範囲でその問題に対処できる。

コンピテンス, コンピテンシー, マイルストーン

マイルストーン コンピテンス, コンピテンシー	レベル a (卒業時)	レベル b (4学年次臨床実習開始時)	レベル c (2学年次修了時)	
I プロ フェ ッ シ ョ ナ リ ズ ム	1	高潔、誠実、正直、共感の態度を保ち、それらを示すことができる。(人間性)	誠実、正直の態度を意識して行動することができる。	医療従事者に求められる態度について議論し、自分の考えを説明することができる。
	2	他者の多様な価値観を尊重できる。(価値観の尊重)	患者・家族の価値観の違いにより、望む医療が異なることを説明できる。	多様な価値観*の在り方について思いを致すことができる。(*特に人生と生活の困難への対応に関する価値観)
	3	自分の利益よりも患者・家族・住民・社会の利益を優先的に考え、その利益を達成するために可能な限り努力できる。(利他主義)	医療者が自分の利益よりも患者・家族・住民・社会の利益を優先的に考えることの重要性を説明できる。	特定のおかれた状況において、患者・家族・住民・社会の利益とは何かを考えることができる。
	4	倫理原則、法律に基づいて行動できる。(倫理的・法的理解)	4原則以外の倫理原則や医療にかかわる主な法律について事例に基づき議論できる。	基本的な倫理の4原則(自立尊重原則、無危害原則、善行原則、正義原則)を説明できる。
	5	患者と家族の心理・社会的背景を理解し、全人的に対応できる。(全人的対応)	患者と家族の心理・社会的背景を理解して基本的な行動ができる。	患者と家族の心理・社会的背景を理解することの重要性を説明できる。
	6	自分の行為と決断を振り返り、次の行為と決断に活かすことができる。(省察的实践)	省察的实践の重要性について議論できる。(行為の中の省察、行為に基づく省察、行為のための省察)	自分の行為を振り返ることの重要性を説明することができる。
	7	自己の目標を設定し、目標達成のための方法を見だし、それを実行できる。(目標設定)	自己の目的設定を意識し、その適切性や達成のためのアプローチを検討できる。	短期的な自己の目標の設定ができる。
	8	適切に自己評価をし、能力の向上のために、自己学習を自律的に継続できる。(自己学習)	自己学習の成果を自己評価し、改善を図ることができる。	医師になってからの自己学習の重要性を説明できる。
	9	自らの知識や技能を多職種で共有し、それを後進に伝え、後進を育成できる。(教育的態度)	学んだことを多職種で共有し、次の世代に伝えることの重要性を説明できる。	教育的態度が基本的臨床能力であることを説明できる。
	10	精神面、身体面で自己管理に努めることができる。(自己管理)	自己管理能力を高めるために必要なことを説明することができる。(目標、予定、記録)	学生生活において精神面、身体面の自己管理ができる。(健康、時間、感情・モチベーション)
	11	医療チームの一員として協働し、効果的な役割を果たすことができる。(チーム医療)	チームの一員として多職種で問題を考察できる。	医療チームは多職種からなり、チームで医療を展開することの重要性を説明できる。
	12	他の職種の考えや役割を理解、尊重し、多職種協働を実践できる。(多職種協働)	医師として、他の職種と協働することの意義を論じることができる。	他の職種の仕事内容、役割を説明できる。
	13	患者、家族、住民を医療チームの一員として考え、協働できる。(患者中心の医療)	患者、家族、住民を医療チームの一員として考えることの重要性を説明できる。	患者、家族、住民が医療チームの一員であることを説明できる。
	14	安全な医療を提供するための基本原則を理解し、実践できる。(患者安全)	医療における安全管理の基本原則を説明できる。	医療安全の重要性を説明できる。
	15	常に医療の質を改善することを考え、質改善を実践できる。(生涯学習)	医療の質の評価の観点(構造・過程・結果)を概説できる。	医療の質の改善を考えることの重要性を説明できる。
II コ ミュ ニ ケー シ ョ ン	1	患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる。	医療におけるコミュニケーションの重要性を説明できる。	地域社会や周囲とのコミュニケーションができる。
	2	患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会の心理・生活・文化的背景を適切に把握するための、支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる。	患者・家族の情報を適切に把握するために、支持的・共感的なコミュニケーションスキルを観察下で呈示(デモンストレーション)できる。	良好なコミュニケーションに必要なスキルを列挙し、特定の状況で呈示できる。
	3	効果的な協働のために、相手に応じて適切な方法で情報の収集・集約・伝達を行うことができる。	適切な方法で収集・集約・伝達した情報を用いて協働できる。	適切な方法で情報の収集・集約・伝達を行うための基本的な技能・態度を身につける。
	4	患者、家族と情報に基づいた意思決定の共有(インフォームド・シェアード・ディシジョン・メイキング)ができる。	患者、家族と情報に基づいた意思決定の共有を模擬患者に対して適切に実施できる。	患者・家族の疾病と治療に対する捉え方に配慮した意思決定の重要性について説明できる。
	5	個人とだけでなく、集団、社会との適切なコミュニケーションをとることができる。	個人とだけでなく、集団、社会とコミュニケーションをとることを意識した行動ができる。	集団、社会とのコミュニケーションをとることの意義を説明できる。
	6	様々なICT(Information and Communication Technology)を適切に選択し、活用できる。	病態・検査・治療をICTを活用しながら説明できる	医学・医療におけるICTの重要性について説明できる。

コンピテンス、コンピテンシー、マイルストーン

マイル ストーン	レベル a (卒業時)	レベル b (4学年次臨床実習開始時)	レベル c (2学年次修了時)	
Ⅲ 医学知識と科学的探究心	1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる。	医学研究に用いられる基本的な研究方法を説明できる。	医学研究の科学的理論と方法論の概略を説明できる。
	2	生体の正常な構造や機能、及び発生、発達、加齢、死を生命科学的知識により説明できる。	生体の正常な構造や機能、及び発生、発達、加齢、死について概説できる。	生体の正常な構造や機能について概説できる。
	3	疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素を説明できる。	疾病の病因・病態・治療とその裏付けとなる基礎医学との関連を考察して説明することができる。	基礎医学で学修した疾患について、疾病の病因・病態・治療とその裏付けとなる基礎医学との関連を説明することができる。
	4	疾患の病態と症候を説明でき、その鑑別と診断を計画できる。	疾患の概略について説明でき、鑑別を要する疾患を列挙し、病態や診断基準等と照らし合わせて考察できる。	疾患の基本的事項について理解し、正常との違いを説明することができる。
	5	疾患の適切な治療、最新の治療を理解し説明できる。	疾患ごとの、基本的な治療を説明することができる。	頻度の高い疾患の原因、症状、予後の概略を説明することができる。
	6	人の健康行動につながる生物学的・心理学・社会的要因を理解し、健康増進の方法を説明できる。	健康増進に関わる生物学的・心理的・社会的要因を説明できる。	予防医学の重要性を理解できる。
	7	疾病・障害・健康問題と社会との関係を説明できる。	疾病・障害・健康問題と社会との関係が存在する病態を列挙できる。	社会における疾病・障害・健康問題を理解し、偏見を持たずに接することができる。
	8	医学・医療と社会との関連、社会の医療問題を説明できる。	社会における医師の役割、医学・医療の重要性について説明できる。	自分自身の社会における位置づけ、医学・医療との接点を説明できる。
	9	新しい医学・医療情報を探索し、医学・医療における疑問点を見出し解決しようと努力できる。	探索した情報をもとに医学・医療における疑問点を見出すことができる。	ICTを使って新しい医学・医療情報を探索できる。
	10	医学、医療における客観的根拠を適切に探索し、EBMを実践できる。	与えられた臨床的疑問について、チェックリストを用いた批判的吟味ができる。	根拠のある情報を選択し、情報源を明示することの重要性を説明できる。
Ⅳ 診療技能	1	心理・社会的状況を含め患者の病歴を正確に聴取できる。	患者の病歴を聴取する際は心理・社会的状況も含めることの重要性を説明できる。	患者の病歴を聴取する際の注意点を説明できる。
	2	身体診察と基本的臨床手技を適切に実施できる。	基本的な身体診察と臨床手技が概ね実施できる。	身体診察と基本的臨床手技の概略を説明できる。
	3	診療録をSOAP形式で、客観的、かつ簡潔に記載し、プロブレムリスト、鑑別診断を作成できる。	SOAP形式の診療録の記載方法を理解し、基本的な診療情報を記載することができる。	診療録におけるPOS(Problem Oriented System)の概略を述べることができる。
	4	適切な検査を選択し、結果を正しく解釈できる。	主要な疾患について診断に必要な検査を選択し、その感度、特異度を踏まえて、検査結果を正しく解釈することができる。	日常診療でよく用いられる検査の原理や手技の概要を説明できる。
	5	時、相手・場所に応じた適切なプレゼンテーションができる。	伝えたい内容を聴く人が理解しやすいようにプレゼンテーションができる。	調べたこと、自分の考えを正確に伝えることができる。
	6	患者と家族に対し、エビデンスに基づいて、適切に治療法・予後を説明できる。	聞き手の理解に合わせた「患者・家族への説明」を模擬的に実施できる。	医療面接の役割の一つとしての「患者・家族への説明」について概説できる。
	7	感染管理を考慮した診療ができる。	各種感染症の病態、診断法、治療法、予防法を概説できる。	主要な感染症の病原微生物の疫学、病態生理、症候を説明できる。
	8	プライマリ・ケア領域の救急対応ができる。	プライマリ・ケア領域の救急対応について説明し、シミュレーションにおいて基本手技を実施できる。	一次救命処置(BLS)ができる。
	9	慢性疾患・高齢者・緩和・予防・健康増進・リハビリテーション、介護/ケアの視点から患者ケアの実践ができる。	高齢者、障害者、慢性疾患患者、がん末期患者の介護、緩和ケアの現実を理解できる。	超高齢社会における介護、終末期医療の問題点を指摘することができる。
Ⅴ 地域社会へ貢献	1	地域社会における疾病予防、健康の維持・増進のための医師の役割を説明できる。	衛生学、公衆衛生学の観点から、地域社会における疾病予防、健康の維持・増進の重要性を説明できる。	疾病予防、健康の維持・増進の重要性を説明できる。
	2	地域の医療状況、社会経済的状況を含めた特殊性や課題について説明できる。	地域の医療と社会経済の現状について概略を説明できる。	医療と社会経済の関係性について説明できる。
	3	医療計画、地域医療構想について説明できる。	わが国における医療計画として、地域医療の効率化、体系化の意義を概説できる。(医療法第30条)	医療行政の重要性を説明できる。
	4	住民啓発活動や一次医療の診療補助により地域医療に参加ができる。	地域医療における住民啓発活動や一次診療の具体的内容を説明できる。	地域医療における住民啓発活動の存在や一次診療の意義を説明できる。
	5	社会保障制度を理解し、地域包括ケアの実践に参加できる。	高齢者社会における地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築にかかわる取り組みを説明できる。	わが国の社会保障制度(社会保険、社会福祉、公的扶助、保健医療・公衆衛生)の概略を説明できる。
	6	災害における被災者や、社会的弱者の現状について理解し、医療に関わるボランティア活動に参加できる。	災害における被災者や、社会的弱者の現状を認識し、医療に関わるボランティア活動の重要性を説明できる。	災害時における被災地への支援の実例を述べることができる。
	7	国際社会の健康問題を把握、説明することができ、可能な範囲でその問題に対処できる。	我が国のみならずアメリカ、ヨーロッパ諸国、アジア諸国のヘルスケアの様々なあり方について概説できる。	海外諸国の経済状況とヘルスケアの多様なあり方に関心を示すことができる。

GPA制度について

学修到達度を客観的に評価することにより、教育の質を保証するとともに、きめ細やかな学生支援等に資することを目的として、グレード・ポイント・アベレージ（以下「GPA」という。）を次のとおり定める。

- 1 GPAの評価基準は次のとおりとする。

判定	総合成績	成績評価	グレードポイント (GP)
合格	90～100点	A+	4.3
	80～89点	A	4.0
	77～79点	A-	3.7
	74～76点	B+	3.3
	70～73点	B	3.0
	67～69点	B-	2.7
	60～66点	C	2.0
60点（再試験）	D	1.0	
不合格	60点未満	F	0

- 2 GPAの算出方法は次のとおりとする。（小数第2位を四捨五入し、小数第1位までとする。）

$$\text{GPA} = \frac{\text{評価を受けた授業科目のGP} \times \text{当該科目の単位数の合計}}{\text{評価を受けた授業科目の単位数の合計}}$$

入学年度から当該年度までの累積のGPAを算出する。

合格・不合格のみの評価の科目は計算に含めない。

- 3 留年・休学などにより、再履修した場合には、最も新しい成績に基づいて計算する。
- 4 退学した場合、未修得科目は計算の対象に含めない。
- 5 平成31年度入学生から適用することとし、平成30年度以前の入学生には、修学指導に活用する。
- 6 GPAは、成績通知書に記載し、成績の総合評価の資料として、得点及び順位を本人・保護者及び指導教員に通知する。GPAが著しく低い学生には、面談を行い、修学意思の確認等を行う。
- 7 GPAは、成績証明書に記載する。
ただし、平成30年度以前の入学生には適用しない。
- 8 この裁定は、平成31年4月1日から施行する。

受講態度の厳格化について

学生は、医学生としての自覚をもち、社会に求められる医師になるために、学業に努めるとともに、以下のことを厳守しなければならない。

- 講義開始時刻には座席についていること。
- 講義開始時刻以降に講義室後ろのドアからの入室，退出を禁止する。
講義開始時刻以降に入室，退出する者は教室の前から出入りすること。
(講義室後ろの扉に，“講義開始後はここからの入退室を禁止する”の貼紙を掲示する。)
- 講義中は他人の迷惑になる行為をしてはならない。(私語，化粧など。特に私語は厳に慎むこと。)
- 帽子は着用してはならない。
- お茶，水以外は飲食してはならない。
- 打刻の不正はしてはならない。
不正が判明した場合はその科目の受験資格が喪失する。
実習の場合は，単位を与えない。
以上に加え，学則に従い懲戒処分とする。
複数の学生が関わる場合，連帯責任となる。
- 受講の遅刻，早退，欠席について正直でない弁解をしてはならない。
- 講義中，SNS やゲームなど講義と無関係のスマホ操作をしてはならない。

*上記は学内での実習においても適用される。

*上記を守れない学生については，授業担当教員から別紙様式1にて教務委員会に報告され，教務部長又は医学教育センター教員によって個別に指導される。
その後，原則として，講義室の最前列の座席を指定し，その座席にて一定期間（教務委員会によって決定された期間）受講する。

*学内，学外を問わず，臨床現場実習を含む受講に関して不適切行為にて現場の指導者から不合格の評価があった場合は，科目責任者がその内容を担当指導者から直接情報収集し，最終評価にて必要と判断したら別紙様式2にて教務委員会に報告する。

*別紙様式1が3名以上の教員によって合計3枚以上提出された場合は，単位取得の有無に拘わらず，進級判定会議で進級の審議の対象とする。

*別紙様式2が1枚でも提出された場合は，単位取得の有無に拘わらず，進級判定会議で進級の審議の対象とする。

*進級判定会議の前には対象学生からの意見聴取が行われる。

受講に関して問題のある学生の報告書

(3名以上の教員から報告があった場合は進級判定会議の審議対象とします)

提出先：教務課

- 報告書記載教員名 : [講座・診療科] _____ [氏名] _____
- 学生の氏名 : [学年] _____ [氏名] _____
- 授業科目・実習診療科 : _____
- 問題行動の日時 : _____年 _____月 _____日 _____限目 (または, 時間 _____)
- 以下の厳守事項のうち, 違反した項目にチェックをしてください
 - 講義開始時刻には座席についていること。
 - 講義開始時刻以降に入室, 退出する者は教室の前から出入りすること。
(講義開始時間以降に講義室後ろのドアからの入室, 退出を禁止する。)
 - 講義中は他人の迷惑になる行為をしてはいけない。(私語, 化粧など。特に私語は厳に慎むこと。)
 - 帽子は着用してはならない。
 - お茶, 水以外は飲食してはならない。
 - 打刻の不正はしてはならない。
 - 受講の遅刻, 早退, 欠席について正直でない弁解をしてはならない。
 - 受講中, SNS, ゲームなど授業と無関係のスマホ操作をしてはならない。
 - アンプロフェッショナルな行為を行ってはならない。
- 上記以外の問題行動の場合は, 下記に記載してください。

受講に関して著しく不良で緊急の対応が必要な学生の報告書

(本報告書が1枚でも提出された場合は進級判定会議の審議対象とします)

提出先：教務課

- 報告書記載教員名 : [講座・診療科] _____ [氏名] _____
- 学生の氏名 : [学年] _____ [氏名] _____
- 授業科目・実習診療科 : _____
- 問題行動の日時 : _____年 _____月 _____日 _____限目 (または, 時間 _____)
- 問題行動を具体的に下記に記載してください。

2024 年度 学 年 暦

日 曜	4 月		日 曜	5 月		日 曜	6 月	
1 月	5・6 学年次前学期授業開始		1 水			1 土		
2 火			2 木	5・6 学年次総合試験 A, 5・6 学年次定期健康診断		2 日		
3 水			3 金	憲法記念日		3 月		
4 木			4 土	みどりの日		4 火		
5 金			5 日	こどもの日		5 水		
6 土			6 月	振替休日		6 木		
7 日	入学式		7 火			7 金		
8 月	↑ 4 学年次前学期授業開始		8 水			8 土		
9 火	2・3 学年次定期健康診断		9 木			9 日		
10 水	新入生ガイダンス 3 学年次前学期授業開始		10 金			10 月		
11 木			11 土			11 火		
12 金	↓		12 日			12 水		
13 土			13 月	解剖慰霊祭		13 木		
14 日			14 火			14 金		
15 月	1・2 学年次前学期授業開始		15 水			15 土		
16 火			16 木			16 日		
17 水			17 金			17 月		
18 木			18 土			18 火		
19 金	1・4 学年次定期健康診断		19 日			19 水		
20 土			20 月			20 木		
21 日			21 火			21 金		
22 月			22 水			22 土		
23 火			23 木			23 日		
24 水			24 金			24 月		
25 木			25 土			25 火		
26 金			26 日			26 水		
27 土			27 月	↑ (早 1 学期学 看護 体 験 年 体 験 実 習 1 実 習) b		27 木		
28 日			28 火			28 金		
29 月	昭和の日		29 水			29 土		
30 火			30 木			30 日		
			31 金	↓				

日 曜	7 月		日 曜	8 月		日 曜	9 月	
1 月			1 木	↓ 定 1 期学 試 年 験 次		1 日	4 学年次共用試験Pre-CC OSCE, 1・2 学年次前学期終了, 1・2・6 学年次夏季休業終了	
2 火			2 金	↓ 実 外 2 習 来 学 案 年 内 次		2 月	↑ 1・2 学年次後学期授業開始	
3 水			3 土			3 火		
4 木			4 日			4 水	3 学 年 次 地 域 包 括 ケ ー ス 実 習	
5 金			5 月	1・2 学年次夏季休業開始		5 木		
6 土			6 火			6 金		
7 日			7 水			7 土		
8 月			8 木			8 日		
9 火			9 金			9 月		
10 水			10 土			10 火		
11 木			11 日	山の日		11 水		
12 金			12 月	振替休日		12 木		
13 土	6 学年次共用試験Post-CC OSCE		13 火			13 金	↓	
14 日			14 水			14 土		
15 月	海の日		15 木			15 日		
16 火	↑ 定 4 期学 試 年 験 次		16 金	5・6 学年次夏季休業開始		16 月	敬老の日	
17 水			17 土			17 火		
18 木	↑ 定 3 期学 試 年 験 次		18 日	4・5 学年次夏季休業終了		18 水		
19 金	↓ 定 3 期学 試 年 験 次		19 月			19 木		
20 土			20 火			20 金		
21 日			21 水			21 土		
22 月	↑ 1 定・ 期学 試 年 験 次		22 木	4 学年次共用試験 C B T		22 日	秋分の日	
23 火	↑ 1 定・ 期学 試 年 験 次		23 金			23 月	振替休日	
24 水	↓ 1 定・ 期学 試 年 験 次		24 土			24 火		
25 木			25 日	3 学年次前学期・夏季休業終了		25 水		
26 金	↓		26 月	3 学年次後学期授業開始		26 木	4 学年次前学期終了	
27 土			27 火			27 金	4 学年次後学期授業開始	
28 日			28 水			28 土		
29 月	↑ 定 1 期学 試 年 験 次		29 木	3・4 学年次夏季休業開始		29 日		
30 火	↑ 実 外 2 習 来 学 案 年 内 次		30 金			30 月		
31 水			31 土	4 学年次共用試験Pre-CC OSCE				

日	曜	10 月	日	曜	11 月	日	曜	12 月
1	火		1	金		1	日	
2	水		2	土	↑ 医大祭	2	月	
3	木		3	日	↓ 開学記念日 文化の日	3	火	
4	金		4	月	振替休日	4	水	
5	土		5	火		5	木	
6	日	6 学年次前学期終了	6	水		6	金	
7	月	6 学年次後学期授業開始	7	木		7	土	
8	火		8	金		8	日	
9	水	↑ 5 ↓ 6 ← 5 → 6 B 次 試験	9	土		9	月	↑ 1 ↓ 2 ← 1 → 2 試験 学年 次
10	木	5 学年次後学期授業開始	10	日		10	火	
11	金		11	月		11	水	
12	土	4 学年次白衣式	12	火		12	木	
13	日		13	水		13	金	
14	月	スポーツの日	14	木		14	土	
15	火		15	金	↑ 2 ↓ 2 学年次 チーム 医療 実習	15	日	
16	水		16	土		16	月	↑ 1 ↓ 2 ← 1 → 2 試験 学年 次
17	木	1～3 学年次防災訓練	17	日		17	火	
18	金		18	月		18	水	
19	土		19	火		19	木	↑ 定 3 ↓ 3 ← 3 → 3 期 試験 学年 次
20	日		20	水		20	金	
21	月	↑ (早 1 ↓ 臨 期 学 床 床 体 年 科 科 験 次 見 見 実 実 習 習 1 1 e 実 実 習 習)	21	木		21	土	
22	火		22	金		22	日	
23	水		23	土	勤労感謝の日	23	月	1～6 学年次冬季休業開始
24	木		24	日		24	火	
25	金		25	月	↑ 地 2 ↓ 城 学 社 年 会 次 医 学 実 習	25	水	
26	土		26	火		26	木	
27	日		27	水		27	金	
28	月		28	木		28	土	
29	火		29	金		29	日	
30	水		30	土		30	月	
31	木					31	火	

日	曜	1 月	日	曜	2 月	日	曜	3 月
1	水	元日	1	土		1	土	卒業証書・学位記授与式
2	木		2	日		2	日	
3	金		3	月		3	月	1～3・6 学年次春季休業開始
4	土		4	火		4	火	
5	日	1～6 学年次冬季休業終了	5	水		5	水	
6	月		6	木		6	木	
7	火		7	金		7	金	
8	水		8	土		8	土	
9	木		9	日		9	日	
10	金		10	月		10	月	
11	土		11	火	建国記念の日	11	火	
12	日		12	水		12	水	
13	月	成人の日	13	木		13	木	
14	火		14	金		14	金	
15	水		15	土		15	土	
16	木		16	日		16	日	
17	金		17	月		17	月	4・5 学年次春季休業開始
18	土	4・5 学年次総合試験 C	18	火		18	火	
19	日		19	水		19	水	
20	月		20	木		20	木	春分の日
21	火		21	金		21	金	
22	水		22	土		22	土	
23	木		23	日	天皇誕生日	23	日	
24	金		24	月	振替休日	24	月	
25	土		25	火		25	火	
26	日		26	水		26	水	
27	月		27	木		27	木	
28	火		28	金		28	金	
29	水					29	土	
30	木					30	日	
31	金					31	月	後学期終了

2024年度 1年次授業時間割

学期		前 学 期																												
曜 時限 時間		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17															夏季休業													
月	授業		4/1	4/8	4/15	4/22	4/29	5/6	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26						
	1	8:50 10:00	新入生ガイダンス	細胞生物学	基礎科学実習	昭和の日	振替休日	早期体験実習1a	生物学	早期体験実習1b	細胞生物学							海の日	行動科学1a		再試験									
	2	10:10 11:20																												
	3	11:30 12:40																									医学英語1b	振替休日		
	4	13:30 14:40																												
	5	14:50 16:00																												
	6	16:10 17:20																												
授業		4/2	4/9	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	8/6	8/13	8/20	8/27							
1	8:50 10:00	新入生研修	医学英語1b	生体分子の化学	自然科学演習	初年次医学セミナー	早期体験実習1a	医学英語1b	生体分子の化学	早期体験実習1b	医学英語1b							(補講)			再試験									
2	10:10 11:20																													
3	11:30 12:40																											自然科学演習	医用物理学	
4	13:30 14:40																													
5	14:50 16:00																													
6	16:10 17:20																													
水	授業		4/3	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14	8/21	8/28						
	1	8:50 10:00	新入生研修	医用心理学	行動科学1a	プロフェッショナルリズム1a	スポーツ科学	早期体験実習1a	医用心理学	行動科学1a	早期体験実習1b	医用心理学							(補講)			再試験								
	2	10:10 11:20																												
	3	11:30 12:40																												医用心理学
	4	13:30 14:40																												
	5	14:50 16:00																												
	6	16:10 17:20																												
授業		4/4	4/11	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18	7/25	8/1	8/8	8/15	8/22	8/29							
1	8:50 10:00	新入生ガイダンス	解剖学1a	解剖学実習1a	アカデミックリテラシー	プロフェッショナルリズム1b	アカデミックリテラシー	早期体験実習1a	多職種連携演習1	早期体験実習1b	解剖学1a							(補講)			再試験									
2	10:10 11:20																													
3	11:30 12:40																												生体分子の化学	
4	13:30 14:40																												解剖学1a	
5	14:50 16:00																													
6	16:10 17:20																													
金	授業		4/5	4/12	4/19	4/26	5/3	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26	8/2	8/9	8/16	8/23	8/30						
	1	8:50 10:00	新入生ガイダンス	A 医学英語1a B 医療のための情報学	A 医療のための情報学 B 医学英語1a	医用物理学	健康診断	憲法記念日	早期体験実習1a	医用物理学	早期体験実習1b	A 医学英語1a B 医療のための情報学							(補講)	医療のための情報学	医学英語1a	再試験								
	2	10:10 11:20																												
	3	11:30 12:40																												
	4	13:30 14:40																												
	5	14:50 16:00																												
	6	16:10 17:20																												
授業		4/6	4/13	4/20	4/27	5/4	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3	8/10	8/17	8/24	8/31							
土																														
日	授業		4/7	4/14	4/21	4/28	5/5	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4	8/11	8/18	8/25	9/1						
			入学式																			山の日								

注 休日や夏季・冬季・春季の休業を除いて、授業のない時間には補講が行われることがあります。

後 学 期																																										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	冬季休業	17	18	19	20	21	22	23	24	春季休業																	
9/2	9/9	9/16	9/23	9/30	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	12/30	1/6	1/13	1/20	1/27	2/3	2/10	2/17	2/24	3/3	3/10	3/17	3/24													
細胞生物学				細胞生物学			早期体験実習1c	細胞生物学		細胞生物学				細胞生物学	生理学1			行動科学1c		行動科学1c	基礎医学統合演習		コミュニケーション演習1																			
生理学1	敬老の日	振替休日		生理学1		スポーツの日		生理学1	振替休日	生理学1			(補講)					統計学1	成人の日		基礎医学統合演習		PBL	再試験	振替休日																	
学修支援				学修支援			学修支援			学修支援																																
9/3	9/10	9/17	9/24	10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	12/24	12/31	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4	2/11	2/18	2/25	3/4	3/11	3/18	3/25													
解剖学1b	実習1b	解剖学1b		解剖学1b			早期体験実習1c	実習1b	解剖学1b	実習1b			(補講)					統計学1	生命倫理1		基礎医学統合演習		コミュニケーション演習1		建国記念の日	再試験																
生化学1				生化学1				生化学1										Preparation for the USMLE		(入試予定)																						
初年次医科学セミナー				初年次医科学セミナー																																						
選択講座/自主活動																	選択講座/自主活動																									
9/4	9/11	9/18	9/25	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	1/1	1/8	1/15	1/22	1/29	2/5	2/12	2/19	2/26	3/5	3/12	3/19	3/26													
第二外国語/リベラルアーツ				第二外国語/リベラルアーツ			早期体験実習1c	第二外国語/リベラルアーツ						第二外国語				生命倫理1	行動科学1c				行動科学1c																			
リベラルアーツ				リベラルアーツ															プロフェッショナルリズム1b		(入試予定)			PBL	再試験																	
解剖学1b				解剖学1b									(補講)					元日				プロフェッショナルリズム1b																				
選択講座/自主活動																	選択講座/自主活動																									
9/5	9/12	9/19	9/26	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/2	1/9	1/16	1/23	1/30	2/6	2/13	2/20	2/27	3/6	3/13	3/20	3/27													
解剖学1b	実習1b	解剖学1b		解剖学1b			早期体験実習1c	解剖学1b	解剖学1b	実習1b			(補講)					行動科学1b		行動科学1c	統計学1	基礎医学統合演習		コミュニケーション演習1																		
生理学1				生理学1																プロフェッショナルリズム1b	生命倫理1			PBL	(入試予定)	再試験				春分の日												
選択講座/自主活動				選択講座/自主活動																																						
9/6	9/13	9/20	9/27	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/3	1/10	1/17	1/24	1/31	2/7	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	3/21	3/28													
A 医学英語1b B 医療のための情報学				A 医学英語1b B 医療のための情報学			早期体験実習1c	A 医療のための情報学 B 医学英語1b						医療のための情報学	医学英語1b				統計学1	生命倫理1	基礎医学統合演習	基礎医学統合演習		コミュニケーション演習1																		
A 医療のための情報学 B 医学英語1b				行動科学1b				行動科学1b													生命倫理1	基礎医学統合演習		PBL	再試験																	
生化学1				生化学1				生化学1	プロフェッショナルリズム1b																																	
選択講座/自主活動																	選択講座/自主活動																									
9/7	9/14	9/21	9/28	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30	12/7	12/14	12/21	12/28	1/4	1/11	1/18	1/25	2/1	2/8	2/15	2/22	3/1	3/8	3/15	3/22	3/29													
								医大祭				勤労感謝の日																														
9/8	9/15	9/22	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/29	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	2/9	2/16	2/23	3/2	3/9	3/16	3/23	3/30													
	秋分の日							文化の日 医大祭																天皇誕生日																		

2024年度 2年次授業時間割

学期		前 学 期																	夏季休業					
曜	時限	時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
月	授業		4/1	4/8	4/15	4/22	4/29	5/6	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26
	1	8:50 10:00			医学英語2									医学英語2										
	2	10:10 11:20																						
	3	11:30 12:40			生理学2		昭和の日	振替休日			生理学2													
	4	13:30 14:40																						
	5	14:50 16:00				医学英語2					医学英語2													
	6	16:10 17:20				学修支援																		
火	授業		4/2	4/9	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	8/6	8/13	8/20	8/27
	1	8:50 10:00																						
	2	10:10 11:20																						
	3	11:30 12:40			学年ガイダンス																			
	4	13:30 14:40																						
	5	14:50 16:00			健康診断																			
	6	16:10 17:20																						
水	授業		4/3	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14	8/21	8/28
	1	8:50 10:00																						
	2	10:10 11:20																						
	3	11:30 12:40																						
	4	13:30 14:40																						
	5	14:50 16:00																						
	6	16:10 17:20																						
木	授業		4/4	4/11	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18	7/25	8/1	8/8	8/15	8/22	8/29
	1	8:50 10:00																						
	2	10:10 11:20																						
	3	11:30 12:40																						
	4	13:30 14:40																						
	5	14:50 16:00																						
	6	16:10 17:20																						
金	授業		4/5	4/12	4/19	4/26	5/3	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26	8/2	8/9	8/16	8/23	8/30
	1	8:50 10:00																						
	2	10:10 11:20																						
	3	11:30 12:40																						
	4	13:30 14:40																						
	5	14:50 16:00																						
	6	16:10 17:20																						
土	授業		4/6	4/13	4/20	4/27	5/4	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3	8/10	8/17	8/24	8/31
日	授業		4/7	4/14	4/21	4/28	5/5	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4	8/11	8/18	8/25	9/1

注 休日や夏季・冬季・春季の休業を除いて、授業のない時間には補講が行われることがあります。

2024年度 4年次授業時間割

学期		前 学 期															夏季休業												
曜日 時限 時間		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26	9/2	9/9	9/16	9/23			
月	授業	4/1	4/8	4/15	4/22	4/29	5/6	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26	9/2	9/9	9/16	9/23		
	1	8:50 10:00						外科学(耳鼻咽喉科・口腔外科学)		眼科学	臨床遺伝学	臨床腫瘍学						地域医療早期体験実習											
	2	10:10 11:20																											
	3	11:30 12:40	救急医学	形成外科学	皮膚科学	昭和の日				眼科学																			
	4	13:30 14:40					振替休日																						
	5	14:50 16:00																											
	6	16:10 17:20		学修支援						学修支援																			
火	授業	4/2	4/9	4/16	4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23	7/30	8/6	8/13	8/20	8/27	9/3	9/10	9/17	9/24		
	1	8:50 10:00					麻酔科学	外科学(耳鼻咽喉科・口腔外科学)																					
	2	10:10 11:20																											
	3	11:30 12:40	救急医学	形成外科学	皮膚科学	麻酔科学																							
	4	13:30 14:40					外科学(耳鼻咽喉科・口腔外科学)																						
	5	14:50 16:00																											
	6	16:10 17:20		選択講座/自主活動																									
水	授業	4/3	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7	8/14	8/21	8/28	9/4	9/11	9/18	9/25		
	1	8:50 10:00																											
	2	10:10 11:20																											
	3	11:30 12:40																											
	4	13:30 14:40	プロフェッショナルナリズム4	総合地域医療	シブノフェツ	総合地域医療	地域医療総合医学	プロフェッショナルナリズム4																					
	5	14:50 16:00	地域医療総合医学																										
	6	16:10 17:20		選択講座/自主活動															プロフェッショナルナリズム4										
木	授業	4/4	4/11	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18	7/25	8/1	8/8	8/15	8/22	8/29	9/5	9/12	9/19	9/26		
	1	8:50 10:00					外科学(耳鼻咽喉科・口腔外科学)	外科学(耳鼻咽喉科・口腔外科学)																					
	2	10:10 11:20																											
	3	11:30 12:40	学年ガイダンス	救急医学	形成外科学	麻酔科学																							
	4	13:30 14:40																											
	5	14:50 16:00																											
	6	16:10 17:20		選択講座/自主活動															地域医療総合医学										
金	授業	4/5	4/12	4/19	4/26	5/3	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26	8/2	8/9	8/16	8/23	8/30	9/6	9/13	9/20	9/27		
	1	8:50 10:00					外科学(耳鼻咽喉科・口腔外科学)	眼科学																					
	2	10:10 11:20																											
	3	11:30 12:40	救急医学	形成外科学	皮膚科学	麻酔科学																							
	4	13:30 14:40					憲法記念日																						
	5	14:50 16:00																											
	6	16:10 17:20		基本手技・医療面接実習																									
土		4/6	4/13	4/20	4/27	5/4	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3	8/10	8/17	8/24	8/31	9/7	9/14	9/21	9/28		
						みどりの日																	Pre-CC OSCE			Pre-CC OSCE再試			
日		4/7	4/14	4/21	4/28	5/5	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4	8/11	8/18	8/25	9/1	9/8	9/15	9/22	9/29		
						こどもの日																	Pre-CC OSCE			秋分の日			

注 休日や夏季・冬季・春季の休業を除いて、授業のない時間には補講が行われることがあります。

後 学 期																																											
1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		冬季休業		11		12		13		14		15		16		17		18		19		20		春季休業	
9/30	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	12/30	1/6	1/13	1/20	1/27	2/3	2/10	2/17	2/24	3/3	3/10	3/17	3/24																		
臨床実習入門	臨床実習入門	スポーツの日	クリニカル・クラークシップA	振替休日	クリニカル・クラークシップA								クリニカル・クラークシップA	成人の日	クリニカル・クラークシップA						振替休日	クリニカル・クラークシップA																					
10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	12/24	12/31	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4	2/11	2/18	2/25	3/4	3/11	3/18	3/25																		
臨床実習入門	臨床実習入門	クリニカル・クラークシップA										クリニカル・クラークシップA				建国記念の日	クリニカル・クラークシップA																										
10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	1/1	1/8	1/15	1/22	1/29	2/5	2/12	2/19	2/26	3/5	3/12	3/19	3/26																		
臨床実習入門	臨床実習入門	クリニカル・クラークシップA										元日	クリニカル・クラークシップA																														
10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/2	1/9	1/16	1/23	1/30	2/6	2/13	2/20	2/27	3/6	3/13	3/20	3/27																		
多職種連携演習4	臨床実習入門	クリニカル・クラークシップA										クリニカル・クラークシップA											春分の日																				
10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/3	1/10	1/17	1/24	1/31	2/7	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	3/21	3/28																		
臨床実習入門	白衣式/クリクラガイドランス	クリニカル・クラークシップA										クリニカル・クラークシップA											クリニカル・クラークシップA 振り返り																				
10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30	12/7	12/14	12/21	12/28	1/4	1/11	1/18	1/25	2/1	2/8	2/15	2/22	3/1	3/8	3/15	3/22	3/29																		
	白衣式			医大祭			勤労感謝の日								総合試験4C																												
10/6	10/13	10/20	10/27	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/29	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	2/9	2/16	2/23	3/2	3/9	3/16	3/23	3/30																		
				医大祭 文化の日																天皇誕生日																							

2024年度 5学年次 授業時間割

学期		前 学 期																																						～10/9													
曜	時限 時間	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	夏季休業					35	36	37	38	39	40																											
		4/1	4/8	4/15	4/22	4/29	5/6	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26	9/2	9/9	9/16	9/23	9/30	10/7																								
月	授業																																																				
	1																																																				
	2																																																				
	3																																																				
	4																																																				
	5																																																				
火	授業																																																				
	1																																																				
	2																																																				
	3																																																				
	4																																																				
	5																																																				
水	授業																																																				
	1																																																				
	2																																																				
	3																																																				
	4																																																				
	5																																																				
木	授業																																																				
	1																																																				
	2																																																				
	3																																																				
	4																																																				
	5																																																				
金	授業																																																				
	1																																																				
	2																																																				
	3																																																				
	4																																																				
	5																																																				
土	授業																																																				
日	授業																																																				

注 休日や夏季・冬季・春季の休業を除いて、授業のない時間には補講が行われることがあります。

10/10～																								
後										学										期				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	冬季休業		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	春季休業		
10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	12/30	1/6	1/13	1/20	1/27	2/3	2/10	2/17	2/24	3/3	3/10	3/17	3/24	
スポーツの日	クリニカル・クラークシップB	振替休日	クリニカル・クラークシップB							クリニカル・クラークシップB	成人の日	クリニカル・クラークシップB							振替休日	クリニカル・クラークシップB				
10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	12/24	12/31	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4	2/11	2/18	2/25	3/4	3/11	3/18	3/25	
クリニカル・クラークシップB										クリニカル・クラークシップB			建国記念の日	クリニカル・クラークシップB										
10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	1/1	1/8	1/15	1/22	1/29	2/5	2/12	2/19	2/26	3/5	3/12	3/19	3/26	
クリニカル・クラークシップB										元日	クリニカル・クラークシップB													
10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/2	1/9	1/16	1/23	1/30	2/6	2/13	2/20	2/27	3/6	3/13	3/20	3/27	
クリニカル・クラークシップB										クリニカル・クラークシップB											春分の日			
10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/3	1/10	1/17	1/24	1/31	2/7	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	3/21	3/28	
クリニカル・クラークシップB										クリニカル・クラークシップB														
10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30	12/7	12/14	12/21	12/28	1/4	1/11	1/18	1/25	2/1	2/8	2/15	2/22	3/1	3/8	3/15	3/22	3/29	
	医大祭			勤労感謝									総合試験						再試験					
10/20	10/27	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/29	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	2/9	2/16	2/23	3/2	3/9	3/16	3/23	3/30	
	医大祭	文化の日																	天皇誕生日					

2024年度 6学年次 授業時間割

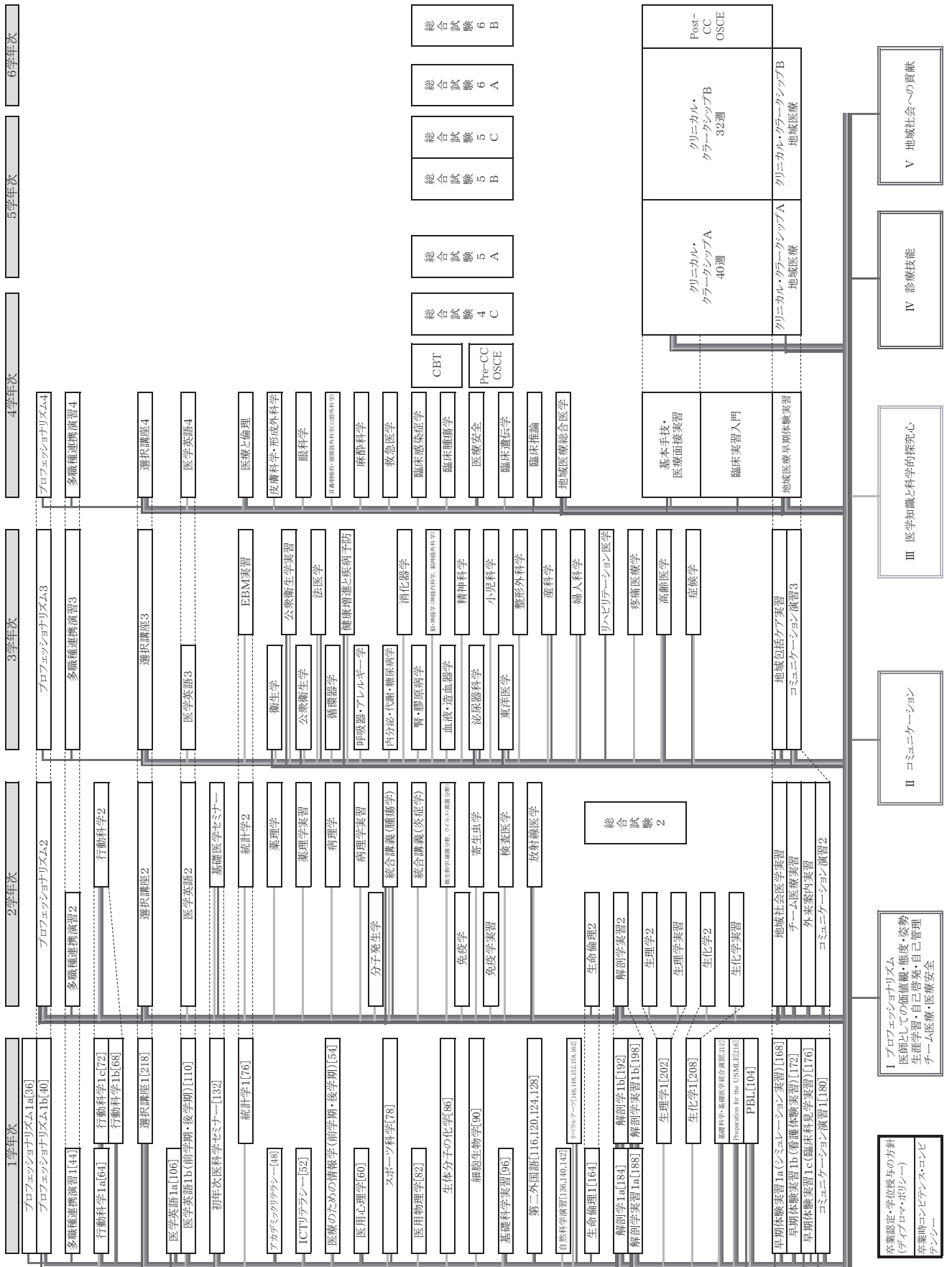
学期		前 学 期																																																					
曜	時限 時間	21				22				23				24				25				26				27				28				29				30				31				32				夏季休業					
		4/1	4/8	4/15	4/22	4/29	5/6	5/13	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22	7/29	8/5	8/12	8/19	8/26	9/2	9/9	9/16	9/23	9/30																											
月	授業																																																						
	1	8:50 10:00																																																					
	2	10:05 11:15																																																					
	3	11:20 12:30	クリニカル・クラークシップB				昭和の日				振替休日				クリニカル・クラークシップB																																								
	4	13:30 14:40																																																					
	5	14:45 15:55																																																					
6	16:00 17:10																																																						
火	授業																																																						
	1	8:50 10:00																																																					
	2	10:05 11:15																																																					
	3	11:20 12:30	クリニカル・クラークシップB				(クリニカル・クラークシップ予備日)				クリニカル・クラークシップB																																												
	4	13:30 14:40																																																					
	5	14:45 15:55																																																					
6	16:00 17:10																																																						
水	授業																																																						
	1	8:50 10:00																																																					
	2	10:05 11:15																																																					
	3	11:20 12:30	クリニカル・クラークシップB				(クリニカル・クラークシップ予備日)				クリニカル・クラークシップB																																												
	4	13:30 14:40																																																					
	5	14:45 15:55																																																					
6	16:00 17:10																																																						
木	授業																																																						
	1	8:50 10:00																																																					
	2	10:05 11:15																																																					
	3	11:20 12:30	クリニカル・クラークシップB				総合試験6A				クリニカル・クラークシップB																																												
	4	13:30 14:40																																																					
	5	14:45 15:55																																																					
6	16:00 17:10					健康診断				(クリニカル・クラークシップ予備日)																																													
金	授業																																																						
	1	8:50 10:00																																																					
	2	10:05 11:15																																																					
	3	11:20 12:30	クリニカル・クラークシップB				憲法記念日				クリニカル・クラークシップB																																												
	4	13:30 14:40																																																					
	5	14:45 15:55																																																					
6	16:00 17:10																																																						
土	授業																																																						
日	授業																																																						

注 休日や夏季・冬季・春季の休業を除いて、授業のない時間には補講が行われることがあります。

後 学 期																								
												冬季休業				春季休業								
10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	12/23	12/30	1/6	1/13	1/20	1/27	2/3	2/10	2/17	2/24	3/3	3/10	3/17	3/24
	スポーツの日			振替休日			再試験						再試験	成人の日						振替休日				
10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17	12/24	12/31	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4	2/11	2/18	2/25	3/4	3/11	3/18	3/25
																			建国記念の日					
10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	1/1	1/8	1/15	1/22	1/29	2/5	2/12	2/19	2/26	3/5	3/12	3/19	3/26
												元日												
10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/2	1/9	1/16	1/23	1/30	2/6	2/13	2/20	2/27	3/6	3/13	3/20	3/27
総合試験 6B																							春分の日	
10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/3	1/10	1/17	1/24	1/31	2/7	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	3/21	3/28
総合試験 6B																								
10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30	12/7	12/14	12/21	12/28	1/4	1/11	1/18	1/25	2/1	2/8	2/15	2/22	3/1	3/8	3/15	3/22	3/29
			医大祭			勤労感謝の日														卒業証書・学位記授与式				
10/13	10/20	10/27	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/29	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	2/9	2/16	2/23	3/2	3/9	3/16	3/23	3/30
			医大祭 文化の日																天皇誕生日					

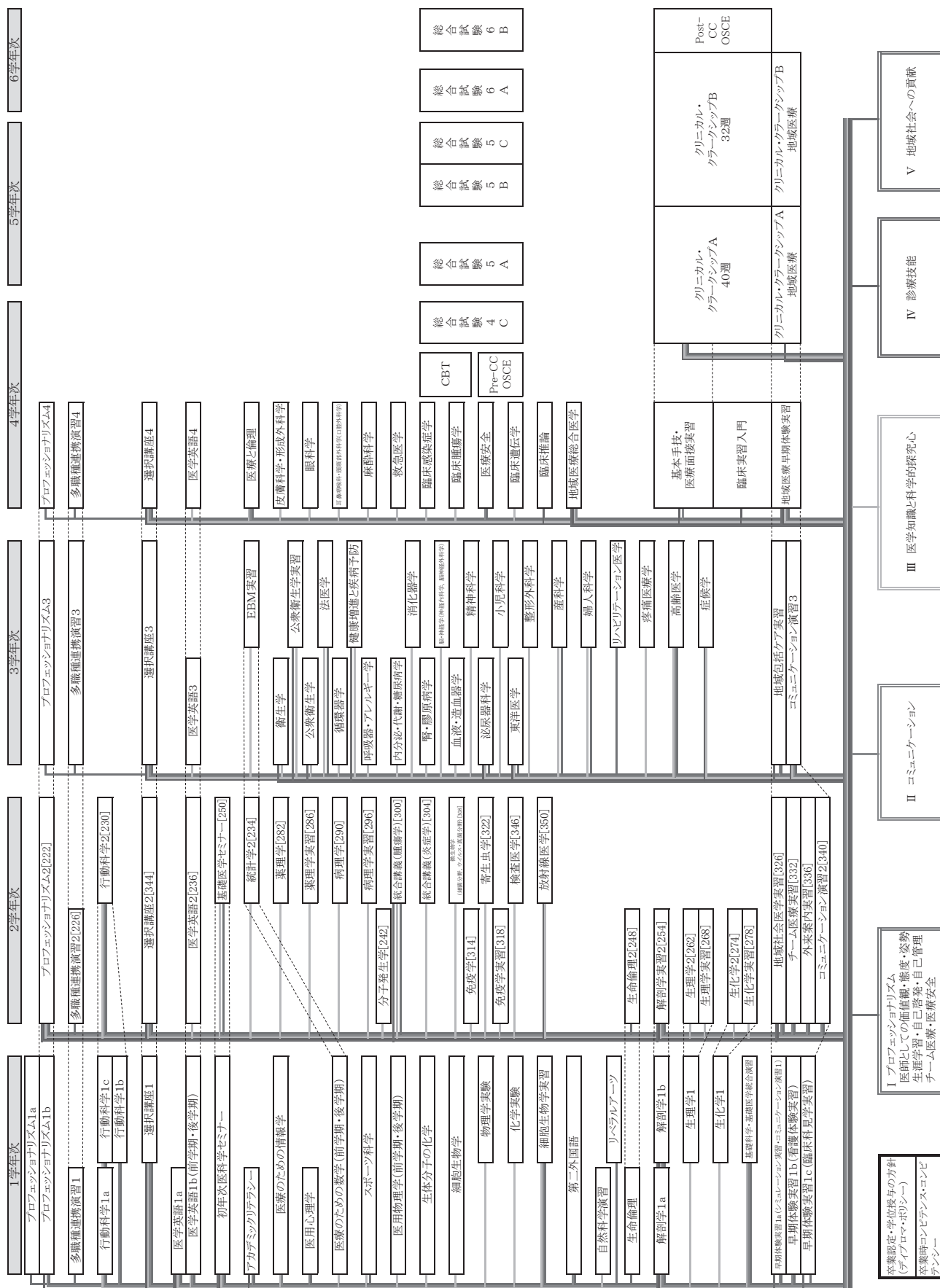
履修系統図 2024年度入学生

[]は教科案内の掲載ページ。



履修系統図 2023年度入学生

[]は教科案内の掲載ページ。



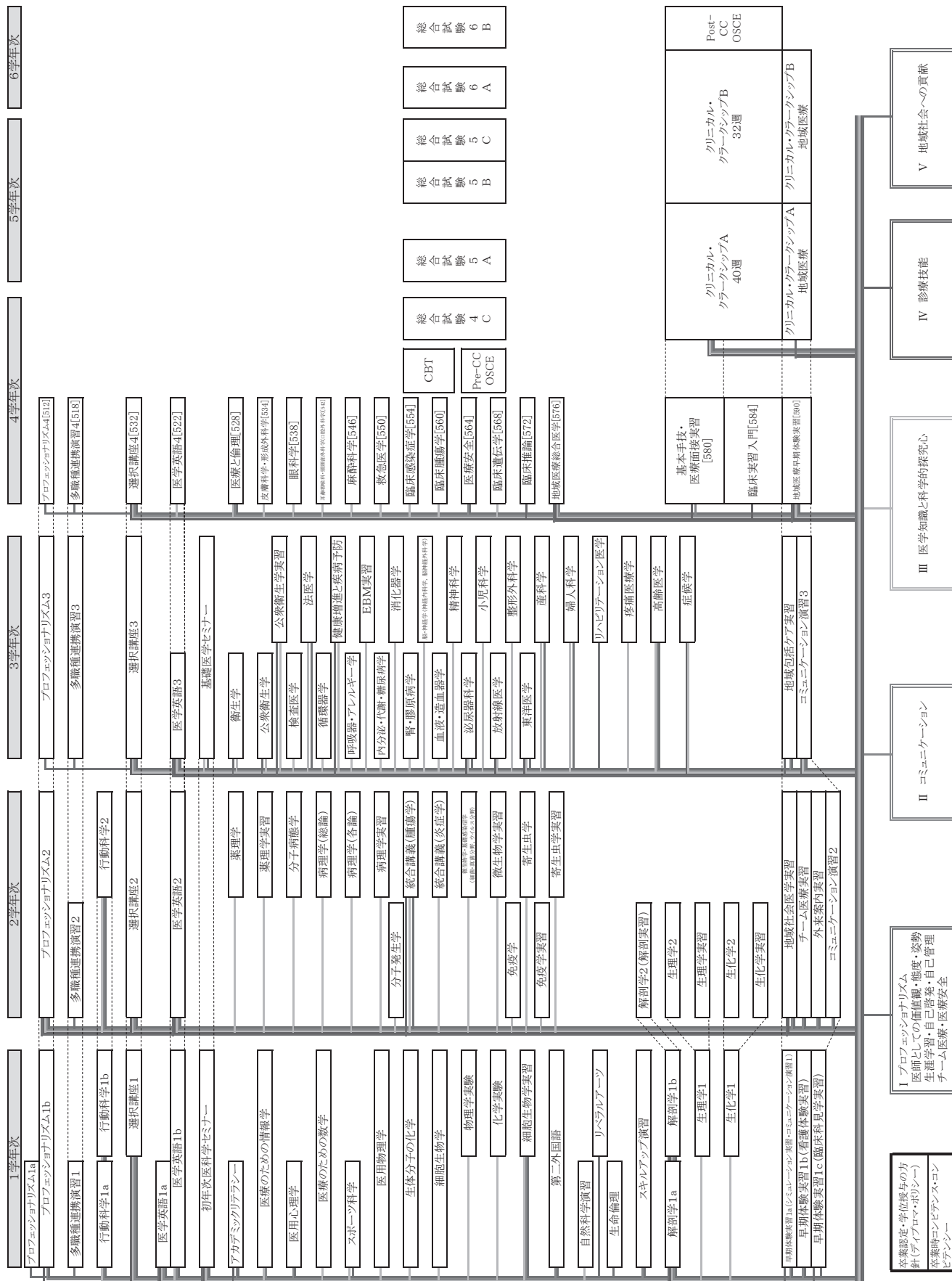
履修系統図 2022年度入学生

[]は教科案内の掲載ページ。



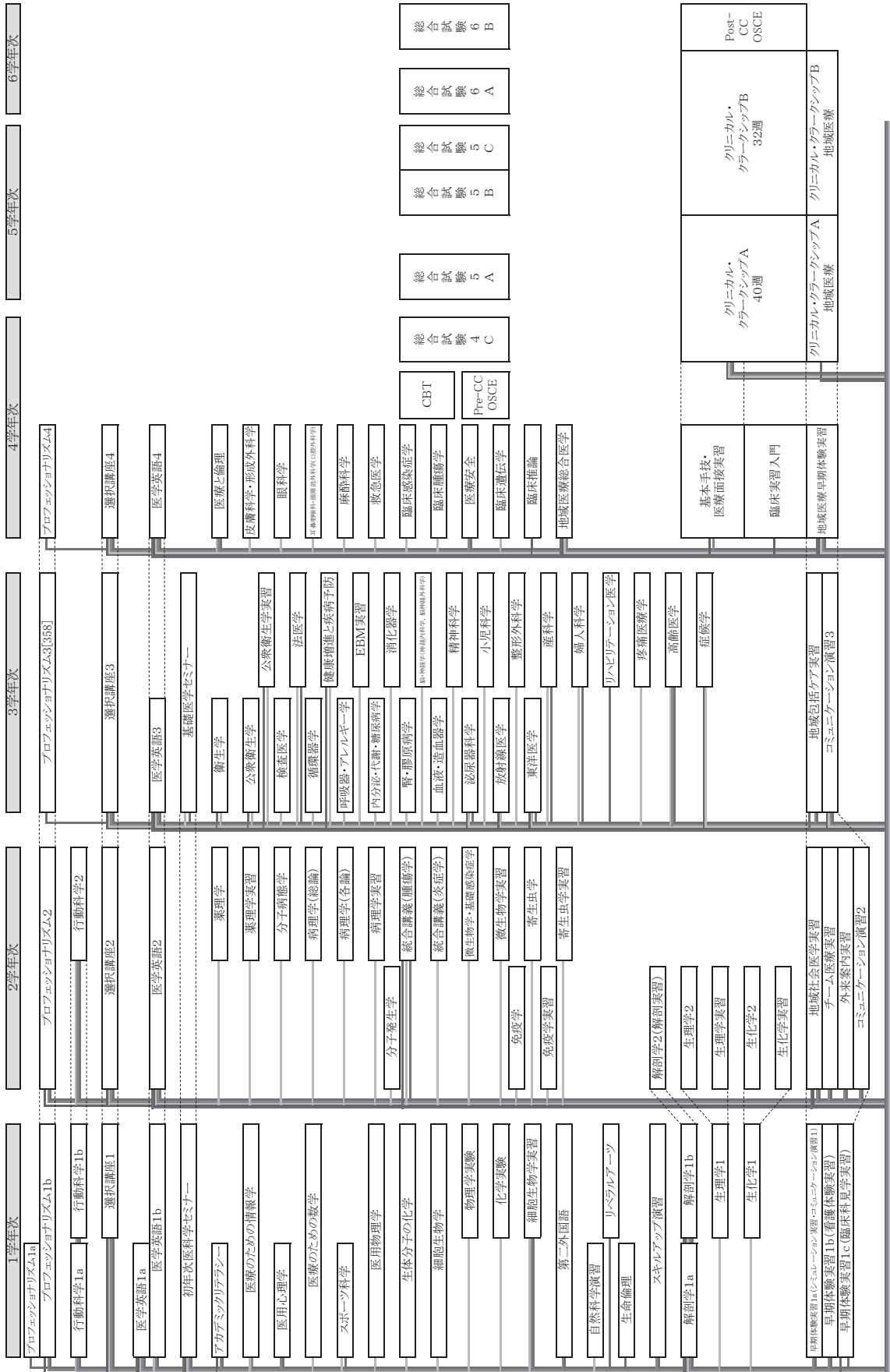
履修系統図 2021年度入学生

[]は教科案内の掲載ページ。



履修系統図 2020年度入学生

[]は教科案内の掲載ページ。



- I プロフェッショナルリズム 医師としての価値観・態度・姿勢 生涯学習・自己啓発・自己管理 チーム医療・医療安全
- II コミュニケーション
- III 医学知識と科学的探究心
- IV 診療技能
- V 地域社会への貢献

履修系統図 2019 (H31) 年度入学生

[]は教科案内の掲載ページ。



○ 講座等名略称一覧

No.	講座等名	略称
1	基礎科学	哲学
2	基礎科学	心理学
3	基礎科学	数学
4	基礎科学	物理学
5	基礎科学	化学
6	基礎科学	生物学
7	基礎科学	外国語
8	基礎科学	解剖学
9	基礎科学	生理学
10	基礎科学	生化学
11	基礎科学	薬理学
12	基礎科学	病理学
13	基礎科学	感染・免疫学
14	基礎科学	衛生学
15	基礎科学	公衆衛生学
16	基礎科学	法医学
17	内科学講座	消化管内科
18	内科学講座	肝胆膵内科
19	内科学講座	循環器内科
20	内科学講座	呼吸器・アレルギー内科
21	内科学講座	内分泌・代謝内科
22	内科学講座	糖尿病内科
23	内科学講座	神経内科
24	内科学講座	腎臓・リウマチ膠原病内科
25	内科学講座	血液内科
26	内科学講座	精神科学
27	内科学講座	小児科学
28	内科学講座	消化器外科
29	内科学講座	心臓外科
30	内科学講座	血管外科
31	内科学講座	呼吸器外科
32	内科学講座	乳腺・内分泌外科
33	内科学講座	腎移植外科
34	内科学講座	脳神経外科
35	内科学講座	整形外科
36	内科学講座	皮膚科学
37	内科学講座	泌尿器科学
38	内科学講座	眼科学
39	内科学講座	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
40	内科学講座	産婦人科学
41	内科学講座	放射線医学
42	内科学講座	麻酔科学
43	内科学講座	リハビリテーション医学
44	内科学講座	眼形成・眼窩・涙道外科
45	内科学講座	総合診療医学
46	内科学講座	形成外科
47	内科学講座	救急集中
48	内科学講座	睡眠
49	内科学講座	感染症
50	内科学講座	病理診断
51	内科学講座	疼痛緩和外科
52	内科学講座	齒科口顎外科
53	内科学講座	中央臨床検査部
54	内科学講座	中央放射線部
55	内科学講座	中央手術部
56	内科学講座	救急診療部
57	内科学講座	輸血部
58	内科学講座	臨床工学部
59	内科学講座	いたみセンター
60	内科学講座	周産期母子医療センター
61	内科学講座	脳卒中センター
62	内科学講座	臨床腫瘍センター
63	内科学講座	臨床腫瘍センター(腫瘍内科部門)
64	内科学講座	臨床腫瘍センター(腫瘍外科部門)
65	内科学講座	緩和ケアセンター

No.	講座等名	略称
66	周術期集中治療部	周術期
67	こころのケアセンター	こころC
68	背椎背腫センター	背椎背腫C
69	臨床研究支援センター	研究支援C
70	プライマリケアセンター	PCC
71	先制・統合医療包括センター	先制統合C
72	栄養治療支援センター	栄養C
73	脳血管内治療センター	脳血管C
74	パーキンソン病総合治療センター	パーキンソンC
75	頭蓋底外科センター	頭蓋底C
76	骨盤・四肢外傷センター	外傷C
77	医療安全管理室	医療安全
78	卒後臨床研修センター	卒研C
79	メドICALセンター	メICALC
80	眼科クリニックMIRAI	MIRAI
81	産業保健科学センター	産業保健C
82	運動療育センター	運動療育C
83	医学教育センター	医学教育C
84	コミュニケーションセンター	コミュニケーションC
85	総合医学研究機構	動物実験
86	総合医学研究機構	高度研究
87	医学部IR室	IR室
88	研究創出支援センター	研究創出C
89	災害医療研究センター	災害医療C
90	加齢医学研究所(神経PS細胞研究部門)	加齢研(神経)
91	加齢医学研究所(神経PS細胞研究部門)	加齢研(PS)
92	分子医学研究所	分医研
93	造血細胞移植支援センター	造血(寄)
94	分子標的薬薬学附講座	分子標的(寄)
95	地域総合診療医学附講座	地域(寄)
96	分子疫学・疾病制御学附講座	分子疫学(寄)
97	近視進行抑制学附講座	近視(寄)
98	痛みの医療開発学付講座	痛み(寄)

○ 使用教室略称一覧

No.	講義室等名称	略称
1	1号館(大学本館)101講義室	101講
2	1号館(大学本館)202講義室	202講
3	1号館(大学本館)203講義室	203講
4	1号館(大学本館)204講義室	204講
5	1号館(大学本館)205講義室	205講
6	1号館(大学本館)301講義室	301講
7	1号館(大学本館)302講義室	302講
8	1号館(大学本館)303講義室	303講
9	1号館(大学本館)304講義室	304講
10	1号館(大学本館)305講義室	305講
11	1号館(大学本館)201~206セミナー室	201~206セ
12	1号館(大学本館)301~314セミナー室	301~314セ
13	1号館(大学本館)総合学術情報センター(図書館部門)	図書館
14	1号館(大学本館)マルチメディアA教室	マルチA
15	1号館(大学本館)マルチメディアB教室	マルチB
16	2号館(研究棟)解剖実習室101	研101
17	2号館(研究棟)解剖・病理・寄生虫学実習室106	研106
18	2号館(研究棟)感染・免疫学社医学実習室107	研107
19	2号館(研究棟)生化学実習室112	研112
20	2号館(研究棟)生理・薬理実習室201	研201
21	2号館(研究棟)医学研究科セミナー室1, 2	医学研究科セミナー室1, 2
22	3号館(基礎科学棟)化学研究室	化学研
23	3号館(基礎科学棟)物理学実習室	物理学実
24	3号館(基礎科学棟)化学実験室	化学実
25	3号館(基礎科学棟)物理学実習室	物理学実
26	3号館(基礎科学棟)生物学実習室	生物学実
27	6号館 運動療育センター	運動療育C
28	6号館 体育館	体育館
29	6号館 武道館	武道館
30	グラウンド	グラウンド

1 学 年 次 履 修 科 目

プロフェッショナルリズム 1 a (医療人入門)

【単位数:1単位, 授業13コマ】

1 科目責任者

鈴木孝太 教授(衛生学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c, I-2-c, I-7-c)

- ① コンピテンス「プロフェッショナルリズム」における, 医師としての価値観・態度・姿勢を身につけるための基本的な生活習慣などを学び, 生涯学習・自己啓発・自己管理ができる学生となることを目標とする。
特に, 自己の目標を設定し, 目標達成のための方法を見いだすとともに実行できることを目指す。
- ② 時代が求める「医療人」となるために, 自分が将来どのような医学生・医師となるかをイメージし, 本学で学ぶ意欲を高め, さらに知的運用能力としてのスタディスキル, 円滑な人間関係のためのソーシャルスキル, また自己の心身の健康増進, 疾病予防など日常生活のためのライフスキルを学修する。

(2) 学修目標

- ① すぐれた医師になるため, 「学びつづける」という強い意欲をもつ。
- ② 愛知医科大学の歴史・使命・組織を理解し, その一員として誇りを持って適切に行動する。
- ③ 効果的な学習のために必要な一般原則, 基本的な学習術を理解し, 身につけて実践する。
- ④ 医療人に求められる礼儀・礼節, 円滑なコミュニケーションの基本を理解し, 身につけて実践する。
- ⑤ 科学的な理解の上で自己の生活を律し, 健康的な行動を身につけ, 不調時に適切な対処を図る。
- ⑥ 常に学習目標を明確にし, 自分の客観的な評価を行うことができる。
- ⑦ 短期的, 長期的に, どのような医学生・医師になりたいかを常にイメージできる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	全ての講義・演習で実施する。
その他	○	20%	演習の準備, またその作業内容などを評価する。

出席: 成績評価の対象となるためには講義の欠席率が3分の1を超えてはならない。

演習については全出席を必要とする。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

レポート, その他の合計が60%未満の場合は, 再試験を実施する。再試験は原則として実習とし, レポートを課す(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポート, 演習については, 講評を作成し適宜メールで通知する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
各講義における配付資料			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
特に指定しないが、講義で都度、担当教員が示す。			

6 準備学習（予習・復習）

予習は特に必要ないが、講義後、講義内で何を初めて知り、そして何はすでに知っていたことだったのかを、振り返って確認すること(1コマあたり0.5時間程度)。また、それぞれの講義から、医療人となるために、具体的にどのようなことに気をつけて生活するのか説明できるようにすること(1コマあたり0.5時間程度)。

プロフェッショナリズム1 a (医療人入門)

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/17(水)	3	プロフェッショナリズム(医療人入門) 科目の進行と内容に関して	衛生学	教授	鈴木孝太	303 講
2024/4/24(水)	3	医学部における学修について	衛生学	教授	鈴木孝太	303 講
2024/5/1(水)	3	社会的弱者, 健康格差について	—	非常勤講師 (名誉教授)	小林章雄	303 講
2024/5/8(水)	3	アルコールと健康	衛生学	教授	鈴木孝太	303 講
2024/5/22(水)	3	災害に備える	—	非常勤講師	柿崎真沙子	303 講
2024/6/5(水)	3	こころの健康	—	非常勤講師	古井由美子	303 講
2024/6/12(水)	3	豊かな食生活のために (食生活をどう改善し, 維持するか)	—	非常勤講師	鈴木まゆみ	303 講
2024/6/19(水)	3	食事・栄養に関する演習	衛生学	教授	鈴木孝太	101 講
2024/6/19(水)	4		—	非常勤講師	鈴木まゆみ	
2024/6/19(水)	5		—	非常勤講師	加藤靖恵	
2024/6/26(水)	3	性を考える	産婦	准教授	野口靖之	101 講
2024/7/3(水)	3	歯・口腔の健康	—	非常勤講師	森田一三	303 講
2024/7/10(水)	3	タバコと健康・禁煙	衛生学	教授	鈴木孝太	303 講

(2) 講義の方法

講義については, 基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが, 講義中, 一部, 小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

演習では, 学生が自発的に進行を行い, 討論し, 相互評価も行う。

(3) 講義の内容

学生生活に必要なスタディスキル, ソーシャルスキル, ライフスキルについて, さまざまな講師により, 具体的な例などを用いて, 学生として身につけなければならないスキルと, それらを身につける方法を紹介する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
鈴木孝太	教授	衛生学講座	2号館 研究棟371号室	水曜日(不定期) (部署宛に要事前連絡) 17:30~18:30
野口靖之	准教授	産婦人科学講座	D棟4階 産婦人科医局	毎週水曜日 13:00~15:00
小林章雄	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授/ 一般社団法人 医学と社会・ 連携支援機構 理事長 / 伏見・長東伝クリニック 院長	—	講義終了後 講義室にて
柿崎真沙子	非常勤講師	名古屋市立大学大学院 医学研究科医療人育成 学分野 特任講師	—	講義終了後 講義室にて
古井由美子	非常勤講師	長久手心理オフィス 主宰	—	講義終了後 講義室にて
鈴木まゆみ	非常勤講師	名古屋市保健センター 管理栄養士(非常勤)	—	講義終了後 講義室にて
加藤靖恵	非常勤講師	casa かとうサン 代表	—	講義終了後 講義室にて
森田一三	非常勤講師	日本赤十字豊田看護 大学 教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 科目責任者への連絡は、衛生学講座の部署アドレスにメールすること。

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者部署に連絡先を問合せること。

プロフェッショナリズム 1 b

【単位数：1単位，授業14コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c, I-2-c, I-3-c, I-4-c, I-5-c, I-6-c, I-11-c, I-12-c, I-13-c, II-1-c, II-2-c, II-3-c, II-5-c, IV-3-c, IV-8-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」, 「コミュニケーション」, 「診療技能」について学ぶ。
- ② 医師として社会の多様なニーズ対応できるようになるのみならず, 多様なキャリアパスを展望できるようになるために, 「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’, ‘医学知識と問題対応能力’, ‘診療技能と患者ケア’, ‘コミュニケーション能力’, ‘チーム医療の実践’, ‘医療の質と安全の管理’, ‘社会における医療の実践’, ‘科学的探究心’, ‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて概要を理解し, 様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

(2) 学修目標

- ① 医師としての必要な多様な価値観, 診療に対する姿勢を述べることができる。
- ② 生命活動の基本を説明できる。
- ③ 医療は多職種協働で, チーム医療の大切さを説明できる。
- ④ チーム医療を体験し, 医師のみならず従事するスタッフの役割を説明できる。
- ⑤ 医療情報の守秘義務, キャリアパス, 医療倫理を説明できる。
- ⑥ 医療におけるコミュニケーションの重要性を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	A4サイズ2枚程度の記述式
態度	○	—	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

再試験はレポートを課す(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

答案に記載された内容について, 理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

答案は基本的に返却され, 採点項目を個々で確認する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
平静の心—オスラー博士講演集	ウィリアム・オスラー	医学書院	「医学はサイエンスに支えられたアートである」と述べた、臨床医・研究者として生き、医学教育の基礎を築いたオスラー博士の講演集。医学・医療に臨むすべての医療者の心構えについて啓発される。
医学を選んだ君たちに問う	河崎一夫	朝日新聞 2002.4.16 オピニオン 『私の視点』	すべての医学生が繰り返して読むべき講演内容である。医師になることの厳しさについて語られており、心が引き締まらずを得ない(ウェブ上で入手できる)。
医学部	鳥集 徹	文春文庫	一般人からみた医学・医療の現状・内情について解説されており、医学部・医療に入ってきた者として、今後の自身の在り方について考えさせられる。
医の知の羅針盤 良医であるためのヒント	ロバート・テイラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	医師として、人間としての成長のためにどうあるべきか、様々な視点からの助言集。手元に置いて、繰り返して読みたい内容である。
対話する医療 人間全体を診て癒すために	孫 大輔	さくら舎	あらゆる病いの緩和につながる対話する医療。患者の後ろに「家族の木」を見る家庭医の診察方法。医師の雑談やユーモア、共感力がもたらす癒しと治療の効果。新しい医療のカタチを明示している。
ケアの本質 —生きることの意味—	ミルトン・メイヤロフ	ゆみる出版	患者を診る(ケアする)とはどういうことか、その要素は何か、病める人と関わる者の姿勢、自身の在り方について考えさせられる。

6 準備学習(予習・復習)

講義終了後に、講義内容で印象深い点・今後学生生活を送るにあたって参考になる点などをまとめて記載しておく(1コマあたり0.5時間)。

プロフェッショナリズム1b

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/2(木)	5	学生生活を始めるにあたって	医学教育C	教授	早稲田勝久	303 講
2024/6/19(水)	2	救急蘇生	救命	准教授(特任)	苛原隆之	シミュC
2024/6/26(水)	2	救急蘇生	救命	准教授(特任)	苛原隆之	シミュC
2024/7/4(木)	5	プロフェッショナリズム	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	303 講
2024/7/11(木)	5	プロフェッショナリズム	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	303 講
2024/11/8(金)	4	企業から医療への貢献	—	客員教授	田中英成	303 講
2024/11/15(金)	4	医師の働き方	医学教育C	講師	河合聖子	303 講
2024/11/22(金)	4	TBD	—	—	調整中	303 講
2024/11/29(金)	4	TBD	—	—	調整中	303 講
2024/12/6(金)	4	医師としての心構え	医学教育C	教授	早稲田勝久	303 講
2025/1/8(水)	3	医師という職業	消内	教授	春日井邦夫	303 講
2025/1/9(木)	3	医師という職業	感染症	教授	三嶋廣繁	303 講
2025/1/15(水)	3	多職種連携(医師と看護師)	看護部	部長	井上里恵	303 講
2025/1/15(水)	4	障害者の自立・社会参加における医師の役割～介助犬・動物介在療法の可能性～	—	客員教授	高柳友子	303 講
2025/1/16(木)	3	多職種連携(医師と看護師)	看護部	部長	井上里恵	303 講
2025/1/29(水)	4	定期試験	医学教育C	教授	早稲田勝久	101 講

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部小グループ討論や講師との質疑応答などの双方向の講義を導入する。

(3) 講義の内容

「医師として求められる基本的な資質・能力」の具体を、医師、コ・メディカルなどからそれぞれの領域の話題を提供してもらい、理解を深めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
春日井邦夫	教授	内科学講座 消化管内科	D棟3階 消化器内科医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
三嶋廣繁	教授	臨床感染症学講座	—	原則講義終了後講義室にて。他の時間帯は問合せの上対応可。
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	2号館 研究棟355号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00
苛原隆之	准教授(特任)	救命救急科	大学病院中央棟 1階医局	毎週月・火・水曜日 15:00～17:00
井上里恵	部長	看護部	—	講義終了後 講義室にて
高柳友子	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
田中英成	非常勤講師	株式会社メニコン会長 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

多職種連携演習 1

【単位数：1.5単位，授業25コマ（内5コマ）】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授（医学教育センター）

科目担当者

船木 淳 講師（シミュレーションセンター）

2 教育目標

（1）ねらい（I-1-c）

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」について学ぶ。
- ② 医師として社会の多様なニーズに対応できるように，また医師の役割を様々な角度から考察できるようになるために，「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’，‘医学知識と問題対応能力’，‘コミュニケーション能力’，‘チーム医療の実践’，‘医療の質と安全の管理’，‘社会における医療の実践’，‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて考える機会を持ち，様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

（2）学修目標

全体目標

- ① 他学部学生との協働を体験し，自己のコミュニケーションの課題を見出すことができる。
- ② 医療チームにおける多職種のコミュニケーションの重要性を説明できる。

1学年次

- ・ 医師として必要な多様な価値観を持つことができる。良いチームとは何か，自己と他者の理解に対する姿勢，コミュニケーションの重要性を述べることができる。

2学年次

- ・ 医療は多職種協働であることを理解し，医療チームを構成する上での課題を抽出出来る。

3学年次

- ・ 患者・家族の視点に立ち，チームとして課題解決に取り組むことの重要性を説明できる。

4学年次

- ・ 臨床場面において，患者・家族中心の多職種協働を実践できる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	90%	提出期限の厳守，指示に則って記載できていない場合は再提出を求められることがある。
態度	○	10%	演習に対する参加度を評価する。

出席：演習の単位を修得するためには，欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

ただし、本科目は1学年次から4学年次に開講される多職種連携演習1～4全ての評価をもとに「多職種連携演習」として4学年次に単位認定をする(各学年での単位認定は行わないが、各学年で合格基準を満たすこと)。

1学年次では、5コマ開講する。

(3) 再試験・再評価の方法

再評価は教員と面接の上、課題を課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポートに記載された内容について、理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
他者と働く	宇田川元一	News Picks Publishing	「知識として正しいことと、実践の間には大きな隔りがある」として分かりあえなさを基盤に他者とのかかわりの大切さを考察できる。
異文化コミュニケーションワークブック	矢代京子 荒木晶子 他	三修社	自分自身の「異文化」に対する価値観を多様なセルフチェックで知ることができ、価値観を考えるきっかけとなる。
最強組織の法則—新時代のチームワークとは何か	ピーター・M・センゲ 守部信之 訳	徳間書店	素晴らしいチームとはどのような要素で成り立っているのか、また、様々なタイプのリーダーについて考察することができる。

6 準備学習(予習・復習)

他学部との合同セッションになるため、身だしなみ、言葉遣いなど、参加するための準備をしておく(0.5時間)。

多職種連携演習 1

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/23(木)	1	演習準備	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC
2024/5/23(木)	2		糖内	教授	神谷英紀	
2024/5/23(木)	3		薬理学	准教授	山口奈緒子	
2024/5/23(木)	3	他学部と合同演習	医学教育C	講師	河合聖子	シミュC
2024/5/23(木)	4		糖内	講師	森下啓明	
2024/5/23(木)	5		医学教育C	特命教育教授	伴 信太郎	
2024/5/23(木)	5	他学部と合同演習	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	シミュC
2024/5/23(木)	5		シミュC	講師	船木 淳	
2024/5/23(木)	5		看護学部	教授	山中 真	
2024/5/23(木)	5		看護学部	教授	谷口千枝	
2024/5/23(木)	5		看護学部	准教授	篠田かおる	
2024/5/23(木)	5		看護学部	准教授	山本恵美子	
2024/5/23(木)	5		看護学部	准教授	青山恵美	
2024/5/23(木)	5		看護学部	准教授	黒澤昌洋	
2024/5/23(木)	5	看護学部	講師	上坂真弓		
2024/5/23(木)	5	—	客員教授	築山郁人		
2024/5/23(木)	5	—	—	非常勤講師	川原千香子	

(2) 講義の方法

小グループによる討論・発表や講師との質疑応答を行う。

(3) 講義の内容

看護学部学生・薬学部生と合同でグループワーク, 発表を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
伴 信太郎	特命教育教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館研究棟359室	毎週月曜日～金曜日 18:00～19:00
神谷英紀	教授	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階教授室	毎週火曜日 9:00～12:00 毎週木・金曜日 14:00～17:00
森下啓明	講師	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週火・金曜日 14:00～17:00
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	2号館 研究棟355号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00
山中 真	教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
谷口千枝	教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
青山恵美	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
篠田かおる	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
山本恵美子	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
黒澤昌洋	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
上坂真弓	講師	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
築山郁人	非常勤講師	客員教授	—	講義終了後 講義室にて
川原千香子	非常勤講師	昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

アカデミックリテラシー

【単位数:0.5単位, 授業7コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

仙石昌也 教授(特任)(物理学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-8-c, II-3-c, II-6-c)

- ① 様々なICTやデータ等を利用して、伝える相手に応じた必要な情報の取捨選択や、論理的な文章の作成、に関する基本的なスキルを学び、生涯学習に必要な自己学習を自律的に行うための基礎知識を習得する。また、グループ学習による他者との議論や課題への取り組みを通して、さまざまな役割を体験し協調性を養い、効果的な協働作業を行うために必要なスキルを学ぶ。
- ② 対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力や、自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための基礎的な能力を獲得する。

(2) 学修目標

- ① 与えられたテーマや論点について、それらに関連する様々な側面を適切に取り上げることができる。
- ② 明らかにしたいことを述べるために、様々な観点から情報を批判的に吟味し、大学初年次にふさわしい必要性の高い根拠を適切に提示することができる。
- ③ 設定された問題に対して、調査で得た結果に基づき、論理的な結論を導くことができる。
- ④ 指定されたルールを守り、読み手に正しく意味が伝わる言葉でレポートを作成することができる。
- ⑤ 論理的な表現の特徴を理解し、分かりやすい文章を書くことができる。
- ⑥ グループでの討論・議論を通して、適切なコミュニケーションを取りながら問題解決に向けて協力し、グループ内での役割を果たすことができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	チュートリアルにおけるレポートとそのための準備資料等を総合評価する。レポートはルーブリックを用いて評価する。
その他	○	20%	講義で行う各ワークで実施した課題や演習、提出物を評価する。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は10%を限度に減点する。

出席：単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

再試験は課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

それぞれのワークについて、講義内、又はAIDLE-K等を通して指導及び修正点等の指摘や総括を行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
思考を鍛えるレポート・論文作成法	井下千以子	慶應義塾 大学出版会	大学生のレポート作成に必要で重要な 内容がコンパクトにまとめられている。
知のナビゲーター	中澤 務 森 貴史 本村康哲	くろしお出版	この授業での文献参照の形式は、この 書籍のフォーマットに従って記入する。

6 準備学習（予習・復習）

各ワークについて、講義終了後、テーマに関する調査や内容の復習、レポートの作成を行う。レポートの作成については、グループで協働して作業を行うこと(1日あたり約2時間)。

アカデミックリテラシー

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/18(木)	5	ガイダンス, 論証型レポートの概要	医学教育C 物理学 物理学	教授 教授(特任) 准教授	早稲田勝久 仙石昌也 山下敏史	マルチAB
2024/4/25(木)	5	【AL】レポート形式・文献検索等に関する演習	物理学 物理学	教授(特任) 准教授	仙石昌也 山下敏史	マルチAB
2024/5/9(木)	5	【AL】論理表現演習1, レポート作成の準備(文献調査, ディスカッション, 研究計画の検討)	心理学 数学 物理学 物理学 外国語 哲学 —	教授 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師 非常勤講師	宮本 淳 橋本貴宏 仙石昌也 山下敏史 平田亜紀 川崎 優 久留友紀子	マルチAB
2024/6/6(木)	5	【AL】論理表現演習2, 研究計画修正	心理学 数学 物理学 物理学 外国語 哲学 —	教授 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師 非常勤講師	宮本 淳 橋本貴宏 仙石昌也 山下敏史 平田亜紀 川崎 優 久留友紀子	マルチAB
2024/6/13(木)	5	【AL】調査・レポート作成	心理学 数学 物理学 物理学 外国語 哲学	教授 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師	宮本 淳 橋本貴宏 仙石昌也 山下敏史 平田亜紀 川崎 優	マルチAB
2024/6/20(木)	5	【AL】レポートのピアレビュー	心理学 数学 物理学 物理学 外国語 哲学	教授 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師	宮本 淳 橋本貴宏 仙石昌也 山下敏史 平田亜紀 川崎 優	203 講 204 講 205 講 304 講 305 講 マルチAB
2024/6/27(木)	5	【AL】レポート修正	心理学 数学 物理学 物理学 外国語 哲学	教授 教授(特任) 教授(特任) 准教授 准教授 講師	宮本 淳 橋本貴宏 仙石昌也 山下敏史 平田亜紀 川崎 優	203 講 204 講 205 講 304 講 305 講 マルチAB

(2) 講義の方法

グループワーク, 個人作業, 協働レポート作成, 演習など, 授業時間中は討論や作業を中心に行う。PCを積極的に活用するので, 毎回ノートPC又はタブレットを必ず持参すること。

(3) 講義の内容

講義前半は, レポートを書くためのさまざまな基礎的スキルについて学び, 講義後半でレポート作成について実践を通して学ぶ。各作業の最初に概要について説明する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上 対応可
宮本 淳	教授	心理学	3号館基礎科学棟 2階B216研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
橋本貴宏	教授(特任)	数学	3号館基礎科学棟 2階B202研究室	毎週金曜日 17:00～18:30
仙石昌也	教授(特任)	物理学	3号館基礎科学棟 2階B205研究室	毎週火・金曜日 16:30～18:00
山下敏史	准教授	物理学	3号館基礎科学棟 2階B209研究室	毎週火・金曜日 16:30～18:00
平田亜紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階B201研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
川崎 優	講師	哲学	3号館基礎科学棟 2階B203研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
久留友紀子	非常勤講師	中央大学理工学部 教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

I C T リ テ ラ シ ー

【単位数:0.5単位, 授業10コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

橋本貴宏 教授(特任)(数学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅱ-6-c, Ⅲ-9-c)

- ① コンピテンス「コミュニケーション」の中の「ICT(Information and Communication Technology)の活用」に向けて、情報を適切に処理し、正しく活用していく技術を身につける。
- ② 情報・科学技術を医療に活用する際のルールを理解した上で、医学の学修に向けた情報機器の活用スキルを身につける。

(2) 学修目標

- ① 医学部での学修において必要なICTツールを使えるようになる。
- ② 医学文献をはじめとする情報検索を適切に行うことができる。
- ③ 医療情報の安全な管理のための情報セキュリティ・個人情報保護について説明することができる。
- ④ データ・情報を扱う際に必要な倫理観を身につける。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
活動状況	○	100%	各講義でのワーク及び課題により評価する。
態度	○	—	態度不良の場合は、10点を限度に減点をする。

出席：単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする(合否の2段階で判定)。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各講義でのワーク及び課題は、次回の講義又はAIDLE-Kにおいて指導や解説を行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
基礎から学ぶ ICT リテラシー	江口悦弘 他(編)	日経 BP 社	「医療のための情報学」の指定教科書であり、ICT 活用のためのオンライン資料も充実している。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
教養としてのデータサイエンス	北川源四郎他(編)	講談社	数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムに準拠している。

6 準備学習(予習・復習)

事前にAIDLE-Kに学修項目を掲載するので、教科書及び資料に目を通しておくこと(1コマあたり約1時間)。
授業内に消化できなかった項目を復習しておくこと(1コマあたり約1時間)。

ICTリテラシー

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/15(月)	6	ガイダンス, 受講のための ICT スキル	医学教育C 数学	教授 教授(特任)	早稲田勝久 橋本貴宏	マルチAB
2024/4/22(月)	6	【AL】学修のための ICT 活用	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB
2024/5/13(月)	6	学術情報の検索	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB
2024/5/20(月)	6	【AL】学修のための iPad の活用	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB
2024/5/27(月)	6	情報セキュリティ	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB
2024/6/3(月)	6	情報倫理	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB
2024/6/10(月)	6	著作権	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB
2024/6/17(月)	6	メール演習	物理学 数学	教授(特任) 教授(特任)	仙石昌也 橋本貴宏	マルチAB
2024/6/24(月)	6	個人情報・プライバシー	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB
2024/7/1(月)	6	ICT 活用のまとめ	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB

(2) 講義の方法

マルチメディア教室において、1人1台のパソコン(指定席制)を用いて、演習やグループワークを伴った講義をおこなう。AIDLE-Kに配付資料を事前に掲載し、予習をしておくことで、授業終了時までには課題を終わらせることを原則とする。なお、各自所有の情報端末も持参すること。

(3) 講義の内容

情報倫理及び情報セキュリティを踏まえた上で、医学部の学修のためのICTの利活用方法を修得する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00~18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
橋本貴宏	教授(特任)	数学	3号館基礎科学棟 2階B202研究室	毎週金曜日 17:00~18:30
仙石昌也	教授(特任)	物理学	3号館基礎科学棟 2階B205研究室	毎週火・金曜日 16:30~18:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

医療のための情報学

【医療のための情報学(前学期) 単位数:1単位, 授業13コマ(定期試験含まず)】

【医療のための情報学(後学期) 単位数:1単位, 授業13コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

橋本貴宏 教授(特任)(数学)

科目担当者

箕浦哲嗣(非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅱ-6-c, Ⅲ-9-c, Ⅲ-10-c)

- ① コンピテンス「コミュニケーション」の中の「ICT(Information and Communication Technology)の活用」に向けて、医学、医療データを適切に処理し、プレゼンテーションする技術を身につける。
- ② 確率を用いた統計・推計学の有用性と限界を理解し、医学、生物学でよく遭遇するデータに統計手法を適用する際に生じる問題点及び統計パッケージの利用を含めた具体的な扱い方を修得する。また、データサイエンス・AIの基本的事項を学び、利活用に向けた基礎的なスキルを身につける。

(2) 学修目標

医療のための情報学(前学期):

- ① コンピューターとネットワーク、ファイルシステムなどの基本的な仕組みを説明できる。
- ② ワープロソフトの機能を活用して効果的なレポートを書くことができる。
- ③ 医学文献のデータベースを適切に使用することができる。
- ④ 医学・医療・情報技術に関連する倫理問題を列挙し、対応を説明できる。
- ⑤ 画像処理の基本を理解し、目的に応じた画像処理を行うことができる。
- ⑥ 表計算ソフト、統計ソフトを利用して、データの集計、分析、適切なグラフ化ができる。
- ⑦ 医学・医療に関する情報を処理し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。
- ⑧ 社会におけるデータ・AI利活用の基本事項を説明できる。

医療のための情報学(後学期):

- ① データの記述と要約ができる。
- ② 表計算ソフトを利用して、データの集計、可視化ができる。
- ③ 2変量の散布図を描き、回帰と相関の違いを説明できる。
- ④ 表計算ソフトを利用したデータの分析ができる。
- ⑤ Python を用いた簡単なプログラミングができる。
- ⑥ 統計ソフトを利用したデータの分析ができる。
- ⑦ 扱うデータに応じた適切な分析手法を選択できる。
- ⑧ 社会におけるデータ・AI利活用の基本事項を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

医療のための情報学(前学期):

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式を原則とし、一部多肢選択問題を含む場合がある。
活動状況	○	30%	各講義の配付資料及び課題について、AIDLE-Kに記録されたアクティビティを点数化する。
態度	○	—	態度不良の場合は、10点を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

医療のための情報学(後学期):

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式を原則とし、一部多肢選択問題を含む場合がある。
活動状況	○	30%	各講義の配付資料及び課題について、AIDLE-Kに記録されたアクティビティを点数化する。
態度	○	—	態度不良の場合は、10点を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

医療のための情報学(前学期・後学期)共通：評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

医療のための情報学(前学期・後学期)共通：再試験はレポートにより評価する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

医療のための情報学(前学期・後学期)共通:

試験で正答率の低かった問題、理解が不十分と思われた問題、及び総括をAIDLE-Kに掲載する。

4 教科書

医療のための情報学(前学期・後学期)共通:

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
基礎から学ぶ ICT リテラシー	江口悦弘 他(編)	日経 BP 社	授業で使うデジタル教材「日経パソコン Edu」と連携した教科書である。

5 参考図書

医療のための情報学(前学期・後学期)共通:

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための入門統計	勝野恵子 ほか	共立出版	「統計学 1」との連携が取れる。
教養としてのデータサイエンス	北川源四 郎他(編)	講談社	数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムに準拠している。
EZRでやさしく学ぶ統計学	神田善伸	中外医学社	授業で使うEZRの詳細な解説書

6 準備学習（予習・復習）

医療のための情報学（前学期・後学期）共通：

授業前日までにAIDLE-Kに配付資料を掲載するので，印刷し目を通しておくこと（1コマあたり約1時間）。
判らない語句に関しては，検索などして調べておくこと（1コマあたり約1時間）。

医療のための情報学

7 授業計画

(1) 開催日時

医療のための情報学（前学期）

[1 限 = B 組, 2 限 = A 組]

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/19(金)	1	PC, OS の基礎, 情報セキュリティ, 情報倫理	—	非常勤講師	箕浦哲嗣	マルチA
2024/4/19(金)	2					
2024/4/26(金)	1	学術活動のためのインターネット利用	—	非常勤講師	箕浦哲嗣	マルチA
2024/4/26(金)	2					
2024/5/10(金)	1	アカデミックライティングを実現する文字入力	—	非常勤講師	箕浦哲嗣	マルチA
2024/5/10(金)	2					
2024/5/24(金)	1	アカデミックライティングを実現する文書処理	—	非常勤講師	箕浦哲嗣	マルチA
2024/5/24(金)	2					
2024/6/7(金)	1	アカデミックライティング及びプレゼンテーション のための静止画の編集, 図形の描画	—	非常勤講師	箕浦哲嗣	マルチA
2024/6/7(金)	2					
2024/6/14(金)	1	学術活動に必要なデータ処理(データ入力, 表作成, 簡単な計算, 代表的な関数)	—	非常勤講師	箕浦哲嗣	マルチA
2024/6/14(金)	2					
2024/6/21(金)	1	データ集計, 表とグラフ作成, エクセルの分析 ツールの使い方	—	非常勤講師	箕浦哲嗣	マルチA
2024/6/21(金)	2					
2024/6/26(水)	4	活用が進むデータ	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB
2024/6/28(金)	1	学術活動に必要なデータの可視化	—	非常勤講師	箕浦哲嗣	マルチA
2024/6/28(金)	2					
2024/7/3(水)	4	人工知能の仕組み	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB
2024/7/5(金)	1	説明技術としてのプレゼンテーション	—	非常勤講師	箕浦哲嗣	マルチA
2024/7/5(金)	2					
2024/7/10(水)	4	AI が社会を変える	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチAB
2024/7/12(金)	1	プレゼンテーションの作成と発表方法	—	非常勤講師	箕浦哲嗣	マルチA
2024/7/12(金)	2					
2024/7/26(金)	1	定期試験	数学	教授(特任)	橋本貴宏	101 講

医療のための情報学（後学期）

[1 限 = B 組, 2 限 = A 組]

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/6(金)	1	社会におけるデータ・AI 利活用	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/9/6(金)	2					
2024/9/13(金)	1	データ分析の基本	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/9/13(金)	2					
2024/9/20(金)	1	データを可視化する	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/9/20(金)	2					
2024/9/27(金)	1	表計算ソフトによるデータ分析(1)	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/9/27(金)	2					
2024/10/4(金)	1	表計算ソフトによるデータ分析(2)	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/10/4(金)	2					
2024/10/11(金)	1	プログラムとアルゴリズム	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/10/11(金)	2					
2024/10/18(金)	1	Python 導入	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/10/18(金)	2					
2024/11/1(金)	1	Python によるデータ分析 (1)	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/11/1(金)	2					
2024/11/8(金)	1	Python によるデータ分析 (2)	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/11/8(金)	2					
2024/11/15(金)	1	医療統計と解析ソフト	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/11/15(金)	2					
2024/11/22(金)	1	EZR によるデータ分析 (1)	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/11/22(金)	2					
2024/11/29(金)	1	EZR によるデータ分析 (2)	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/11/29(金)	2					
2024/12/6(金)	1	情報学まとめ	数学	教授(特任)	橋本貴宏	マルチA
2024/12/6(金)	2					
2024/12/13(金)	1	定期試験	数学	教授(特任)	橋本貴宏	101 講

(2) 講義の方法

医療のための情報学(前学期):

マルチメディア教室において、1人1台のパソコン(指定席制)を用いて、演習を伴った講義をおこなう。AIDLE-Kを用い、事前に配付資料と課題を掲載し、授業終了時までには課題を回収する。なお、配付資料は各自印刷して授業に臨むこと。水曜日の授業はAB組合同で行う。

医療のための情報学(後学期):

マルチメディア教室において、1人1台のパソコン(指定席制)を用いて、演習を伴った講義をおこなう。AIDLE-Kを用い、事前に配付資料と課題を掲載し、授業終了時に課題を回収する。

(3) 講義の内容

医療のための情報学(前学期):

情報倫理及び情報セキュリティを踏まえた上で、データ・AIを含めたICTの利活用方法を修得する。

医療のための情報学(後学期):

データの取り扱いについての基本的なことを学んだ後、医学、生物学に関するデータに対する統計手法を学び、統計パッケージの利用を含めた具体的な扱い方を修得する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
橋本貴宏	教授(特任)	数学	3号館 基礎科学棟 2階B202研究室	毎週金曜日 17:00~18:30
箕浦哲嗣	非常勤講師	愛知県立大学 看護学部教授	—	講義開始前及び終了後、 マルチメディア教室Aにて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

医 用 心 理 学

【単位数：1単位，授業13コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

宮本 淳 教授(心理学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c, I-5-c, II-5-c)

- ① コンピテンスの“プロフェッショナルリズム”における「全人的対応」のための感性を高めるために、心理学を通して自己理解・他者理解を深め、良好な“コミュニケーション”についての見識を深める。
- ② 人の行動と心理を理解するための基本的な知識と考え方を学ぶ。また、心理的な問題、カウンセリングや心理療法に関する基本的な知識を身につけ、他者を適切に理解し、思いやりを持って接するための視野を広げる。

(2) 学修目標

- ① 行動と知覚，学習，記憶，思考，性格との関係を概説できる。
- ② 対人関係における心理学の基本的な理論を説明できる。
- ③ カウンセリングや心理療法についてそれぞれの治療理論の説明ができる。
- ④ 様々な心理的不適応状態について，その状態像，及び対応の仕方についてそれぞれ説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	75%	多肢選択問題を原則とし，一部記述式問題を含む場合がある。
復習課題	○	25%	学習内容の定着・応用のための復習課題をAIDLE-Kにて毎回行う。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，10点を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(評価対象の合計が60%以上で合格とする)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題についてはAIDLE-Kに掲載する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
資料・レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための心理学	樫村正美 野村俊明	講談社	医療に関連した心理学の基礎知識がまとまった「心理学」のテキストである。
行動医学テキスト	日本行動医学会	中外医学社	行動科学科目との関連事項を学ぶことができる。

6 準備学習（予習・復習）

- ① 予習として、授業に臨むにあたり、参考図書などにて次回内容のキーワードについて簡単な知識を得ておくこと(1コマあたり約1時間)。
- ② 復習として、配付されたレジュメ・資料を参照し、講義後に内容を再確認しておくこと(1コマあたり約1時間)。

医用心理学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/17(水)	1	心理学概論 心理学と医学について	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/4/24(水)	1	社会心理学(1) 他者を理解する	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/5/1(水)	1	社会心理学(2) 他者の存在が与える影響	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/5/8(水)	1	社会心理学(3) 対人関係における心理	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/5/22(水)	1	学習心理学 学習, 動機, 動機付け	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/6/5(水)	1	【AL】臨床心理学(1) 臨床心理学の概念① TBL 精神分析理論 防衛機制	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/6/12(水)	1	臨床心理学(2) 臨床心理学の概念② 構造論とエゴグラム	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/6/19(水)	1	臨床心理学(3) 心理療法 精神分析的な心理療法	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/6/26(水)	1	臨床心理学(4) 心理療法 来談者中心療法	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/7/3(水)	1	臨床心理学(5) 心の問題について	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/7/3(水)	2	臨床心理学(6) パーソナリティ障害について	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/7/10(水)	1	臨床心理学(7) 精神病の心理的理解	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/7/10(水)	2	【AL】TBL 心理障害関連	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/7/24(水)	3	定期試験	心理学	教授	宮本 淳	101 講

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

医用心理学の導入として、日常例も豊富である対人関係とコミュニケーションに関する分野である社会心理学について学ぶ。後半では臨床心理学を学ぶことで様々な心理的不適応状態について、その状態像、及び対応の仕方について理解を進めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
宮本 淳	教授	心理学	3号館基礎科学棟 2階B216研究室	毎週火曜日 16:30～17:30

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

行動科学 1 a

【単位数:0.5単位, 授業7コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

武内恒成 教授(生物学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c, I-2-c, I-3-c, I-4-c, I-5-c, I-6-c, I-7-c, I-8-c, II-5-c, III-6-c)

① “医学知識と科学的探究”における, 生物学的(脳神経科学・精神科学・神経薬理学・動物行動学)・心理学・社会的要因が, いかに統合的に健康行動・行動変容に繋がっているかを“科学的に”理解することを通して, 医師としての価値観・態度・コミュニケーション能力を高める準備を理解し自ら進める。

コンピテンス「プロフェッショナリズム」, 「コミュニケーション」における, 医師としての価値観・態度とともに個人だけではなく集団, 社会との適切なコミュニケーションをとることの重要性と, その論理的理論を「医学知識と科学的探究心」に基づいて学び, 臨床的応用へつなげるための基礎を構築する。さらにそれらの理論を「診療技能」の涵養につなげるための体系的理解を進める。

② 行動科学とは, 「健康と疾病に関する心理社会科学的, 行動科学的及び医学生物学的知見と技術を集積統合し, これらの知識と技術を病因の解明と疾病の予防, 診断, 及びリハビリテーションなどに応用していくことを目的とする学際的学術である」(国際行動医学学会憲章, 1990)にあるように, 単なる理念ではなく, 多くの専門分野にまたがる学際領域, 学問・科学として理解するための第一歩とする。

③ 人の行動と心理を理解するための医科学的な視点からの知識と考え方を学び, 心理学・ヘルスプロモーション・行動変容などの概念とともに今後習得する社会医学的理解の重要性を理解し, 統合的に考える基礎を培う。

行動科学及び社会医学がサイエンスとして成り立つためのデータサイエンスの重要性を理解し, また, 個別の生物学的原理と, 社会集団としてのデータの重要性とその扱いについての基礎を理解する。

(2) 学修目標

① 人の行動と心理について, 神経科学的観点からの分子メカニズム, さらに心理学的観点, 内的要因への概念から多面的に概説できる。

② 行動の成り立ちを, 神経科学的かつ心理学的な学習行動, 社会的学習から概説できる。

③ 動機付けを例示し, 適応機制などの観点からも概説できる。

④ ストレス学説と主なストレス対処法を概説できる。

⑤ 行動及び心と精神の成り立ちに関わる知見を, 神経科学・生理学・精神医学及び神経内科学の最新の多様な知見から捉えることの重要性を概説できる。

⑥ 生物学的・精神科学的側面からの, 行動と心の異常についてその基礎を神経科学・精神科学の観点から概説できる。

⑦ パーソナリティの形成・類型・特性及びジェンダー形成を心理学的・神経科学的理論から概説できる。

⑧ 対人関係と対人コミュニケーションの概要の基礎を行動科学の観点から説明できる。

⑨ 神経科学的及び精神科学的側面からの, 行動と心の異常についての基礎を概説できる。またその現実の問題点を挙げることができる。

⑩ マインドフルネスや行動療法, 運動習慣形成など行動変容技法の理論的基盤と意識づけについて, 概説できる。

⑪ 企業や地域組織との協働に基づく実データ分析とともに, 実践的な「データサイエンス」の重要性と医療におけるデータサイエンスの現状と将来について説明できる。

⑫ 行動科学は, 特定の領域(心理学や神経科学, 精神科学のみ)に基づくものではなく, 科学的裏付けとサイエンスとしての統合的な学問体系を持っていることを認識し説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	多肢選択問題(50%),一部記述式問題(50%)を含む定期試験を実施する。教科書の内容を基本として出題し、各講義からも都度指摘のある内容を中心に出题される。
レポート	○	30%	AIDLE-Kでのレポート提出があるため留意すること。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合には、総合成績から10%まで減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験ないしは多くの再レポートを実施する。再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

課題・レポートに関するフィードバックや定期試験についての総括については、AIDLE-Kも利用するので留意すること。

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

理解が不十分な項目について、これらによって再確認を促すとともに、定期試験で不合格となった者は再試験に備えること。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
行動医学テキスト	日本行動医学会	中外医学社	医学教育コアカリキュラムに準拠し行動科学を網羅した良書。講義内容に加えて当該教科書を中心に定期試験を行うため、通読を要求する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Behavioral Science(7 th edition)	Barbara Fadem	Wolkers Kluwer	アメリカの行動科学の標準テキスト。行動科学の在り方が様々に国内で模索されるなか、行動科学の真の学問としての位置が明確である(本来あるべき行動科学の体系を理解できる)。

6 準備学習(予習・復習)

- 教科書の該当する項目の「この章で学ぶこと」を一読し、どのような事項が取り上げられているのか確認しておく(1コマあたり約15分)。
- 教科書「行動医学テキスト」による振り返りと自学を積極的に進めること(1コマあたり約1時間)。
- AIDLE-Kに提示された電子資料や、当日配付の資料、参考書「Behavioral Science(7th edition)」のUSMLEの問題の中から提示されたものや、関連する内容は参照すること(1コマあたり約0.5時間)。定期試験などにおいては、これらからの出題もあるので注意を要する。

行動科学 1 a

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/17(水)	2	行動科学導入:行動科学とは何か, 行動の脳神経科学的理解・行動の総合科学 的理解,行動科学の学問体系	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/4/24(水)	2	【AL】マインドフルネス: 行動変容技法・運動習慣形成	疼痛医学 運動療育C	教授 事務長	牛田享宏 若林淑子	303 講
2024/5/1(水)	2	【JS】行動の生理学的理解: 睡眠・概日リズムの科学,生理学的理解から の行動の変容	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/5/8(水)	2	【JS】データサイエンスによる行動の理解(1) (企業での実データ,ビッグデータサイエンスと AI からの行動科学的理解,ICT 時代の医学 への対応)	— 生物学	非常勤講師 教授	小玉 亮 武内恒成	303 講
2024/5/22(水)	2	【JS】【AL】企業ビッグデータサイエンスによる 医療への応用と,行動変容・行動科学(2) (ビッグデータサイエンスと AI の医療応用と現 状,データサイエンスに対する行動変容)	— 生物学	非常勤講師 教授	小玉 亮 武内恒成	303 講
2024/6/5(水)	2	行動の精神薬理学的理解と動物行動学: 行動,行動の解析系,モデル動物と行動解 析の基礎研究 医学と行動解析の繋がり	研究創出C 生物学	准教授 教授	服部聡子 武内恒成	303 講
2024/6/12(水)	2	行動の神経・精神科学的理解: 行動の解析と神経系,意思決定システムと行 動変容,精神科学領域への展開	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/7/22(月)	1	定期試験	生物学	教授	武内恒成	101 講

(2) 講義の方法

基本的に大教室での講義を中心とするが、アクティブ・ラーニング、小グループでの討論も盛り込まれる。レポートを積極的に数回導入する。AIDLE-Kでのレポートなども求めることもある。一部、クリッカーやAIDLE-Kによる講義もあるため留意すること。

オムニバス形式での講義が多いが、体系的な学修を進めるためにも、特に教科書による体系の関連付けと積極的な自学自修を求める。

定期試験については指定された教科書の項目とともに、講義での概説や実践箇所双方を含むものとして学修をすすめること。

(3) 講義の内容

1コマ目ではイントロダクションとして、行動科学とはどのような学問領域であるのかについて、行動科学という学問が生まれた経緯と歴史を含めて本来の体系と方針を、生物学的・心理学・社会的側面から概説する。それ以降は、精神医学、生理学、神経解剖学など様々な立場からの行動理解及び行動変容に関する講義を聴くことで、行動科学の意義について理解を深める。

行動科学1aでは、幅広い観点から本来の行動科学という学問を捉えるとともに、社会医学的観点からの行動科学1c,行動科学2へ繋ぐものとなる。さらにプロフェSSIONナリズムとも連携して、総合的な理解を進め、実践につなげることを求めるものである。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
武内恒成	教授	生物学	3号館基礎科学棟 2階B213研究室	毎週月曜日 16:00～18:00
牛田享宏	教授	疼痛医学	疼痛医学講座 医局	毎週月曜日 16:00～17:00
若林淑子	事務長	運動療育センター	—	講義終了後 講義室にて
服部聡子	准教授	研究創出支援センター	2号館研究棟 2階 研究創出支援センター	毎週月曜日 16:00～18:00
増渕 悟	教授	生理学	2号館 研究棟 237号室	毎週月曜日 16:00～18:00
小玉 亮	非常勤講師	株式会社豊田中央研 究所	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

行動科学 1 b

【単位数：1単位，授業13コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

宮本 淳 教授(心理学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c, I-5-c, II-2-c)

- ① コンピテンスの“プロフェッショナリズム”における「他者の多様な価値観を尊重できる」ための感性の涵養を図るために行動の心理学的理解について学び、「支持的・共感的なコミュニケーション」についての見識を深める。
- ② 行動の心理学的理解として、行動変容技法、心理行動アセスメント、ライフサイクルと発達課題についての基本的な知識を身につけ、医用心理学で学んだ知識とともに、患者や家族の心理・社会的背景を理解するための視野を広げる。

(2) 学修目標

- ① 学習と行動変容における基本的な理論を説明できる。
- ② 個人差について、パーソナリティの類型と特性、知能、発達の視点から説明できる。
- ③ 行動の心理学的測定法について説明できる。
- ④ ライフサイクルの各段階におけるこころの発達と発達課題を概説できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	75%	多肢選択問題を原則とし、一部記述式問題を含む場合がある。
復習課題	○	25%	学習内容の定着・応用のための復習課題をAIDLE-Kにて毎回行う。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は、10点を限度に減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(評価対象の合計が60%以上で合格とする)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

試験で正答率の低かった問題、理解が不十分と思われた問題についてはAIDLE-Kに掲載する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに、定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
資料・レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための心理学	榎村正美 野村俊明	講談社	医療に関係した心理学の基礎知識がまとまった「心理学」のテキストである。
ライフサイクルの臨床心理学	馬場礼子 永井 徹 (共編)	培風館	ライフサイクルごとの発達課題や病理の特徴について、具体的な事例も含めてわかりやすくまとめられている。
行動医学テキスト	日本行動 医学会	中外医学社	医学教育コアカリキュラムに準拠し行動科学を網羅した良書

6 準備学習（予習・復習）

- ① 予習として、授業に臨むにあたり、参考図書などにて次回内容のキーワードについて簡単な知識を得ておくこと（1コマあたり約1時間）。
- ② 復習として、配付されたレジュメ・資料を参照し、講義後に内容を再確認しておくこと（1コマあたり約1時間）。

行動科学 1 b

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/20(金)	3	条件付け 行動療法	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/9/20(金)	4	【AL】TBL 行動療法,認知行動療法	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/9/27(金)	3	心理行動アセスメント(1) 質問紙法とパーソナリティ 知能検査	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/9/27(金)	4	心理行動アセスメント(2) 投影法とパーソナリティ	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/10/4(金)	3	ストレスと聴くこと カウンセリング技法	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/10/11(金)	3	発達障害児・者の心理(1)	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/10/18(金)	3	発達障害児・者の心理(2)	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/11/1(金)	3	行動とライフサイクル(1) ライフサイクルとは 乳幼児期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/11/8(金)	3	行動とライフサイクル(2) 幼児期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/11/15(金)	3	行動とライフサイクル(3) 児童期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/11/22(金)	3	行動とライフサイクル(4) 思春期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/11/29(金)	3	行動とライフサイクル(5) 青年期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/12/6(金)	3	行動とライフサイクル(6) 成人期・中年期・老人期の発達課題	心理学	教授	宮本 淳	303 講
2024/12/19(木)	1	定期試験	心理学	教授	宮本 淳	101 講

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

基本的な知識について講義を通して学ぶことに加えて、行動変容技法・心理行動アセスメントでは体験的な学びを、行動とライフサイクルでは、クリッカーやフィードバックを用いた双方向型授業を行うことで自己理解と他者理解を深めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
宮本 淳	教授	心理学	3号館基礎科学棟 2階 B216研究室	毎週火曜日 16:30～17:30

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

行動科学 1 c

【単位数:0.5単位, 授業8コマ】

1 科目責任者

鈴木孝太 教授(衛生学)

2 教育目標

(1) ねらい (I-7-c, II-1-c, III-6-c)

- ① コンピテンス「プロフェッショナリズム」における、医師としての価値観・態度・姿勢を身につけるために、自分の行為と決断を振り返り、客観的に自己評価を行った上で、自己の目標を設定し、どのように達成することができるか、その方法を見出すことができる。

さらに、「コミュニケーション」における、個人同士だけではなく、集団、社会との適切なコミュニケーションをとり、「医学知識と科学的探究心」に基づいて人の健康行動につながる特に心理的、社会的要因について理解し、健康増進の方法を説明できる。

- ② 行動科学1cではまず、自らの行動や生活習慣について、健康増進や疾病予防、医学・医療におけるさまざまな場面をもとに客観的に評価することを目的として、医療に関わる多様で具体的な事例を学ぶ。

さらに人の行動・個人の多様な行動を知る。その上で、健康増進(ヘルスプロモーション)につながるさまざまな行動変容についての理論を学ぶことで、行動変容のためにどのような方法があるのかを知り、まずは自らの行動や生活習慣を改善するための具体的な方法論を身につける。

これらを通して、プロフェッショナリズム1a, 行動科学1a, 1bで学んだ知識・概念についての理解を深める。

また、2学年次の行動科学2で、自身のみならず他者を含む集団について、健康なコミュニティづくりを目標とした社会の仕組みを学ぶ上で、基礎的な知識、スキルを身につけることを目標とする。

行動科学は、プロフェッショナリズムとも連携して、総合的な理解を進め、実践につなげることを求めるものである。

(2) 学修目標

- ① 社会で生活する人々の多様な行動、生活習慣を知り、自らの行動、生活習慣について客観的に説明できる。
- ② 医学・医療における具体的な事例について、医療従事者、患者・家族など多様な視点でその行動を説明できる。
- ③ 健康増進(ヘルスプロモーション)や疾病予防における行動変容について、基本的な理論を説明できる。
- ④ 行動変容の理論を用いて、自らの行動や生活習慣を改善する方法を提案できる。
- ⑤ 非日常的な場面での人間の心理や多様な行動について学び、リスク管理、危機管理の概念を具体的に説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
確認テスト	○	20%	記述式及び多肢選択問題
レポート	○	80%	適宜実施し、記述内容により評価する。
その他	○	—	受講態度などにより、総合成績に加減点(最大10%)する。加点により100点を超える場合は100点とする。

出席：成績評価の対象となるためには講義の欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

再試験は、原則として確認テストに準ずる方法で実施する。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポート、確認テストについては、講評を作成し適宜メールで通知する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
行動医学テキスト	日本行動医学会	中外医学社	医学教育コアカリキュラムに準拠し行動科学を網羅した良書。
各講義における配付資料			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Behavioral Science(7th edition)	Barbara Fadem	Wolkers Kluwer	アメリカの行動科学の標準テキスト。米国USMLEの問題も掲載し、利用価値は高い。
行動科学 健康づくりのための理論と応用	畑 栄一, 土井由利子編	南江堂	個人の行動変容を促す方法を学ぶ上で有用。
医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 生活習慣病を中心に	松本千明	医歯薬出版	特に生活習慣病を対象に、実際に行動変容を促す方法を学ぶのに有用。
健康行動と健康教育	Karen Glanzら (曾根智史ら訳)	医学書院	健康教育を含め、行動変容を促す方法を学ぶのに有用。
Theory in a Nutshell	Don Nutbeamら	McGraw-Hill Education	ヘルスプロモーションのさまざまな理論がまとめられている。
医療現場の行動経済学 すれ違う医者と患者	大竹文雄, 平井 啓	東洋経済新報社	行動経済学の視点から、医療者、患者の考え方を説明している良書。

6 準備学習(予習・復習)

授業に臨むにあたり、参考図書などで、講義内容について簡単に情報収集しておく(1コマあたり0.5時間程度)。

授業後、その授業までに知っていたこと、また授業で初めて知ったこと、さらに自らの生活や学習について、講義内容をどのように役立てることが可能か、というテーマなどのレポートを課すので、それらのテーマに沿ってレポートを作成する(1コマあたり0.5時間程度)。

行動科学 1 c

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/6(月)	1	ガイダンス, 行動科学と健康増進, 疾病予防・ 行動変容に関するさまざまな理論	衛生学	教授	鈴木孝太	303 講
2025/1/6(月)	2	リスク管理・危機管理とは	衛生学	教授	鈴木孝太	303 講
2025/1/9(木)	1	社会医学的な視点から見た発展途上国に住 む人々の生活	衛生学	講師	梅村朋弘	303 講
2025/1/9(木)	2	患者・健診受診者の心理	—	非常勤講師 (名誉教授)	菊地正悟	303 講
2025/1/15(水)	1	被災地における人々の行動について	—	非常勤講師 (名誉教授)	中川 隆	303 講
2025/1/20(月)	1	職場における安全管理	産業保健C	講師	成定明彦	303 講
2025/1/20(月)	2	行動と脳, 行動の神経内分泌学, ストレスコー ピング(バイオフィードバック)	衛生学	准教授	松永昌宏	303 講
2025/1/29(水)	2	確認テスト	衛生学	教授	鈴木孝太	101 講

(2) 講義の方法

講義については, 基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが, 講義中, 一部, 小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

さまざまな状況における人間の行動について, 実際の例を中心にその背景にある理論などを学ぶ。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
鈴木孝太	教授	衛生学講座	2号館 研究棟371号室	水曜日(不定期) (部署宛に要事前連絡) 17:30~18:30
松永昌宏	准教授	衛生学講座	2号館 研究棟312号室	月~金曜日 (要事前連絡) 10:00~17:00
梅村朋弘	講師	衛生学講座	2号館 研究棟370号室	月~金曜日 (要事前連絡) 10:00~18:00
成定明彦	講師	産業保健科学センター	2号館 研究棟377号室	水曜日 (要事前連絡) 17:00~18:30
中川 隆	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授/ 常滑市民病院麻酔科部長 兼救急医療センター部長	—	講義終了後 講義室にて
菊地正悟	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 科目責任者への連絡は、衛生学講座の部署アドレスにメールすること。

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者部署に連絡先を問合せること。

統計学 1

【単位数：0.5単位，授業9コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

橋本貴宏 教授（特任）（数学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-1-c, Ⅲ-10-c）

- ① コンピテンス「医学知識と科学的探究心」の中の「根拠に基づく医療」(EBM)を理解するために必要な統計学を学び，併せてデータサイエンスを含めた諸科学への応用へとつなげる。
- ② 身体の検査から薬効の判断，そして人工知能まで，様々な応用がある統計学の知識を身に付け，それらを正しく運用する能力を養うことを目標とする。

（2）学修目標

- ① データを読み，説明し，正しく扱うことができる。
- ② 推測統計の考え方を説明できる。
- ③ 母平均や母比率の信頼区間について説明できる。
- ④ 2×2 分割表の独立性の検定ができる。
- ⑤ 平均値の差を検定できる。
- ⑥ データに応じて，最適な検定の方法を述べることができる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
演習課題	○	70%	毎回の課題及びAIDLE-Kにおける活動により評価する。
レポート	○	30%	全講義終了後にレポート課題の提出をする。
態度	○	—	態度不良の場合は，10点を限度として減点をする。

出席：単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

課題・レポートにより評価する（60%以上で合格）。

（4）課題（試験やレポート）へのフィードバック

毎回の授業プリントにおける質問には，次回の授業で答える。

定期試験についての総括はAIDLE-Kを用いて行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
医療系のための入門統計	勝野恵子ほか	共立出版	医療系で使われる統計手法について，数学的な面も記述されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための統計入門	藤井良宣 (編)	実教出版	医療系に必要な統計学の基礎知識がまとめられている。
臨床検査学講座 数学／統計学	宇田川誠 一ほか	医歯薬出版	数学と統計学の基礎が一冊にまとまっていて理解しやすい。

6 準備学習（予習・復習）

授業前日までに授業のレジュメをAIDLE-Kにアップロードするので予習しておく（1コマあたり約1時間）。

授業での課題プリントを中心として講義内容を復習し、次回の授業に臨む（1コマあたり約1時間）。

統計学 1

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/6(月)	3	統計入門	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2025/1/6(月)	4	標本分布	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2025/1/7(火)	1	推定	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2025/1/7(火)	2	区間推定	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2025/1/10(金)	1	仮説検定の基礎	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2025/1/10(金)	2	母平均の差の検定(1)	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2025/1/15(水)	2	母平均の差の検定(2)	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2025/1/16(木)	1	独立性の検定	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2025/1/16(木)	2	統計学のまとめ	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講

(2) 講義の方法

授業の前半に前回の振り返りと当日分の講義をした後、後半に課題演習を行い、AIDLE-Kに提出する。演習主体であるので能動的に受講すること。また、この科目用のノート及び表計算が可能な情報端末を用意すること。

(3) 講義の内容

「医療のための情報学」ではパソコンを利用した演習を行ったが、この授業ではその土台となっている統計学を学修する。医療統計やEBMを学ぶ準備にもなっている。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
橋本貴宏	教授(特任)	数学	3号館基礎科学棟 2階B202研究室	毎週金曜日 17:00～18:30

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

ス ポ ー ツ 科 学

【単位数：1単位・授業14コマ】

1 科目責任者

牛田享宏 教授(疼痛医学講座)

科目担当者

西須大徳 助教(運動療育センター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-7-c, I-10-c, III-6-c)

- ① コアコンピテンスである生涯学習・自己啓発・自己管理に関して、スポーツ、トレーニングを科学として捉え、“人の健康行動につながる生物学的・心理学的要因を理解して、健康増進の方法を説明できる”ようになる。また実践にあたり、自己評価、自己目標、自己管理をするための精神を学ぶ。
- ② スポーツを単に体を動かすだけの事として捉えずに、スポーツがすべての人々が共有する文化であり、それぞれの人の価値観にあわせた考え方が必要であることを学ぶ。そして、未病つまり健康人を対象とした疾病予防・健康維持において活かすことのできるようにする。

(2) 学修目標

- ① スポーツ科学の講義を通して、スポーツ活動、健康・体力の維持・増進、スポーツ障害防止などの基礎知識を理解し、自ら実践し述べることができる。
- ② 幅広いスポーツの知識を持ち、若年者から高齢者まで対象者に合わせて、身体面・精神面からの指導ができる。
- ③ 生涯を通してスポーツ活動に積極的に参加することの意義を学ぶ。
- ④ 医師としての病気・けがの予防と治療、運動に関する相談・指導ができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	90%	提出状況、内容に応じて5段階評価とする
態度	○	10%	実技への取り組みに対して評価する。著しく態度不良の場合は総合成績から減点を考慮する。

出席：単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再評価の方法

成績対象項目の合計が60%未満の場合は、レポート再作成を課す。

(4) 課題(レポート)へのフィードバック

必要に応じ、個別に学生に対してのみ回答する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
健康・フィットネスと生涯スポーツ	東海大学 一般体育 研究室	大修館書店	健康・スポーツの基本的内容が網羅されている。
大学生の健康・スポーツ科学 第5版	大学生の 健康・スポ ーツ科学 研究会	道和書院	これだけは知っておいてほしい、健康・スポーツの基礎知識をわかりやすく解説している健康スポーツ科学入門書である。
最新フィットネス基礎理論	小沢治夫 西端 泉	日本エアロ ビックフィット ネス協会	解剖生理学，心肺機能の医学，トレーニングストレッチングの理論が収載されている。

6 準備学習（予習・復習）

- スポーツ実践に関して、事前に取り組むスポーツについて、自らルールを調べ、動画などを視聴し、スポーツに関するイメージを掴んでおく(1コマあたり30分)。
- スポーツ実践に関して、取り組んだスポーツについて、振り返りを行いスポーツの教養が深まるように努める(1コマあたり30分)。

スポーツ科学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	組	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/17(水)	4	A	スポーツ科学総論	疼痛医学	教授	牛田享宏	303 講
		B	スポーツの実践1	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館 武道場 グラウンド
2024/4/17(水)	5	A	スポーツの実践1	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館 武道場 グラウンド
		B	スポーツ科学総論	疼痛医学	教授	牛田享宏	303 講
2024/4/24(水)	4	A	体カテスト心肺と運動の理論1	運動療育C	助教	西須大徳	303 講
		B	スポーツの実践2	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館
2024/4/24(水)	5	A	スポーツの実践2	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館
		B	体カテスト心肺と運動の理論1	運動療育C	助教	西須大徳	303 講
2024/5/1(水)	4	A	体カテスト心肺と運動の理論2	運動療育C	助教	西須大徳	303 講
		B	スポーツの実践3	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館 武道場 グラウンド
2024/5/1(水)	5	A	スポーツの実践3	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館 武道場 グラウンド
		B	体カテスト心肺と運動の理論2	運動療育C	助教	西須大徳	303 講
2024/5/8(水)	4	A	運動器解剖生理学	疼痛医学	助教	尾張慶子	303 講
		B	スポーツの実践4	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館 武道場 グラウンド
2024/5/8(水)	5	A	スポーツの実践4	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館 武道場 グラウンド
		B	運動器解剖生理学	疼痛医学	助教	尾張慶子	303 講
2024/5/22(水)	4	AB	スポーツ障がい, 予防の実践	疼痛医学	教授	牛田享宏	303 講
2024/5/22(水)	5	AB	EIM (Exercise is Medicine) というアプローチ	—	非常勤講師	都竹茂樹	303 講
2024/6/5(水)	4	A	スポーツ外傷	運動療育C	准教授(特任)	井上真輔	303 講
		B	スポーツの実践5	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館 武道場 グラウンド
2024/6/5(水)	5	A	スポーツの実践5	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館 武道場 グラウンド
		B	スポーツ外傷	運動療育C	准教授(特任)	井上真輔	303 講
2024/6/12(水)	4	A	加齢と生涯スポーツ	疼痛医学	助教	尾張慶子	303 講
		B	スポーツの実践6	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館 武道場 グラウンド
2024/6/12(水)	5	A	スポーツの実践6	— —	非常勤講師 非常勤講師	木村明日香 塩内裕与	体育館 武道場 グラウンド
		B	加齢と生涯スポーツ	疼痛医学	助教	尾張慶子	303 講

(2) 講義の方法

基本的には大教室での知識伝達型の講義である。実技は、主にグループでの活動が中心となり、主体的に動くことを求める。

(3) 講義の内容

初回を総論として、2回目以降は、講義と実技に分け、講義は、身体やスポーツに関わる様々な領域について、広く教養を得る機会とする。同時に実技では、実際に身体を動かすことを通じて、身体に関する情報をわが身に起こる実学として感じ取ってほしい。そうすることで、スポーツを単に体を動かすだけの事として捉えずに、スポーツがすべての人々が共有する文化であり、それぞれの人の価値観にあわせた考え方ができるように、具体的な例を提示しながら、理解を進めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
牛田享宏	教授	疼痛医学講座	6号館疼痛医学講座 医局	月曜日 15:00～17:00
井上真輔	准教授(特任)	運動療育センター	6号館疼痛医学講座 医局	水曜日 10:00～12:00
西須大徳	助教	運動療育センター	6号館疼痛医学講座 医局	火曜日 10:00～12:00
尾張慶子	助教	疼痛医学講座	—	講義終了後 講義室にて
都竹茂樹	非常勤講師	大阪大学	—	講義終了後 講義室にて
木村明日香	非常勤講師	中京大学	—	講義終了後 講義室にて
塩内裕与	非常勤講師	中京大学	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

医 用 物 理 学

【単位数：1.5単位，授業20コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

仙石昌也 教授（特任）（物理学）

科目担当者

山下敏史 准教授（物理学）

2 教育目標

（1） ねらい（Ⅲ-1-c）

- ① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”に関し，“医学的発見の基礎”となってきた物理学における“科学的理論と方法論”について理解し，発展し続ける医学や診断・治療機器に関して生涯にわたって自律的に学び続けるための基盤を作る。
- ② 複雑な自然現象の中にも規則性があり，それらは基本的な法則により統一的に説明できることを理解する。

（2） 学修目標

- ① 生体现象を含む様々な現象を物理学の観点から説明できる。
- ② 様々な現象を理解するために必要な物理量の定義，意味等を説明できる。
- ③ 物体に働く力と運動，流体，振動と波動，熱，電磁気，原子物理に関する様々な現象を学び，それを支配する法則や原理を，医学と関連づけて説明できる。また，それらの法則を適用して計算ができる。
- ④ 物理の法則や理論について，発見された過程や方法論，考え方を説明できる。
- ⑤ 最新の診断・治療機器がどのような物理学の基本原則や法則に基づいているか説明できる。

3 成績の判定・評価

（1） 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	記述式を原則とし，答えに至る過程も重視する。
その他	○	20%	課題や演習，提出物等の取り組みに関して評価する。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10%を上限として減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2） 合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3） 再試験・再評価の方法

再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

（4） 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の総括は AIDLE-K で実施する。課題や演習については次の講義で解説又は，AIDLE-K でフィードバックし，自己学習により解決できるようにする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
医歯系の物理学 第二版	赤野松太郎 鮎川武二 藤城敏幸 村田 浩	東京教学社	一般教養としての物理学の基礎事項を広くカバーし、さらに人体や医学への応用例が豊富に掲載されている。
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医歯薬系の物理学	林 一編	丸善	医療関連項目が物理学の基本原理をベースにしてトピック別に書かれている。
ライフサイエンス物理学	ケーン＝スター ーンハイム著 石井千穎 監訳	廣川書店	教科書に比べ、詳細に説明されており、さらに演習問題が豊富なため、自習に利用しやすい。

6 準備学習（予習・復習）

- 初回を除き、講義前に、AIDLE-Kに公開される自習用の講義スライド及び教科書の該当箇所を確認する（1コマあたり約0.5時間）。
- 学習したことを基に新しい概念を順次導入していくため、受講前までに前回の講義内容、教科書の該当箇所や演習問題を復習し、理解しておく（1コマあたり約1.5時間）。

医用物理学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/19(金)	3	講義概要, 医学と物理学, 単位	物理学 物理学	教授(特任) 准教授	仙石昌也 山下敏史	303 講
2024/4/19(金)	4	力学の基礎①: 運動の記述とニュートンの運動 法則	物理学	准教授	山下敏史	303 講
2024/4/26(金)	3	運動の例(単振動と内耳の構造, 関節の摩擦)	物理学	准教授	山下敏史	303 講
2024/4/26(金)	4	力学の基礎②: エネルギーと運動量	物理学	准教授	山下敏史	303 講
2024/5/10(金)	3	衝突現象(放射線・重粒子線治療の物理)	物理学	准教授	山下敏史	303 講
2024/5/10(金)	4	静止流体(生体・医療における圧力の適用)	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/5/24(金)	3	剛体(めまいの検査)	物理学	准教授	山下敏史	303 講
2024/5/24(金)	4	運動流体(循環・呼吸に関連する物理法則)	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/6/7(金)	3	生体電気現象①(イオンチャネルの物理)	物理学	准教授	山下敏史	303 講
2024/6/7(金)	4	振動・波動に関する基本的性質	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/6/14(金)	3	生体電気現象②(膜電位の物理)	物理学	准教授	山下敏史	303 講
2024/6/14(金)	4	音波の性質と医療への応用	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/6/21(金)	3	生体電気現象③(神経の興奮伝導の物理)	物理学	准教授	山下敏史	303 講
2024/6/21(金)	4	光波・レーザーの性質と医療への応用	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/6/28(金)	3	磁気(MRIの物理), 電磁波	物理学	准教授	山下敏史	303 講
2024/6/28(金)	4	レンズの性質, 眼の光学系への応用	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/7/5(金)	3	熱エネルギーと熱の伝達	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/7/5(金)	4	X線の性質を利用した医療機器とその基本原理 (レントゲン撮影, X線CT)	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/7/12(金)	3	MRIを使った画像診断の基本原理とその特徴	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/7/12(金)	4	原子核と放射線の性質と医療への応用	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/7/30(火)	3	定期試験	物理学	教授(特任)	仙石昌也	101 講

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが, 講義中に問題の答えをAIDLE-Kで投票したり, 演習問題を解いたり, 教員から質疑応答したり等の双方向対話形式も一部導入する。

(3) 講義の内容

物理学は, 一見複雑に見える自然現象に共通する法則を見抜き, それを少数の簡単な基本原理から導出し, 理解する学問である。その手法の本質は, 現象をよく観察しよく考えること(具眼考究)にあり, 公式を暗記し当てはめるだけではなく, その「考え方」を身に付けることを目指す。

物理の基本となる力学を, 物体を最も簡略化した質点の運動を用いて基本原理を講義した後, 剛体や流体等に応用する。それらの知識を基に, 波動, 熱, 電磁気, 原子物理について生体や医療への応用例も含め, 基本的な考え方を説明する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
仙石昌也	教授(特任)	物理学	3号館基礎科学棟 2階B205研究室	毎週火・金曜日 16:30～18:00
山下敏史	准教授	物理学	3号館基礎科学棟 2階B209研究室	毎週火・金曜日 16:30～18:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

生体分子の化学

【単位数：1.5単位，授業20コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

有信哲哉 教授(特任)(化学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-1-c)

- ① コンピテンスの「医学的知識と科学的探求心」において“医学的発見の基礎となる科学的理論と方法”並びに“生体の正常な構造や機能”に関し，分子レベルの理解を目的に主に有機化学を体系的に学ぶ。
- ② 生命現象を分子レベルで理解するための基盤となる有機立体化学・反応有機化学の基礎を学ぶことで，今後も発展する医学・生命科学に対して生涯に渡って自律的に学び続けるための学力的な基盤をつくる。

(2) 学修目標

- ① 生体分子・医薬品等の有機化合物の立体構造を表記することができる。
- ② 立体配座・絶対配置について説明ができる。
- ③ 化学平衡・ヘンダーソン・ハッセルバルヒ式，緩衝作用について説明できる。
- ④ 代謝経路でみられる重要な有機反応機構等について説明ができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	95%	記述式と多肢選択問題とする。
その他	○	5%	課題や演習，提出物などの取り組みについて評価する。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は最大10%を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

評価対象科目の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

演習問題の解答例を提示し、理解が不十分な部分については自分で把握し、自己学習により解決できるようにする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
スミス有機化学 (上) 第5版	Janice Gorzynski Smith	化学同人	有機化学の基礎的内容が非常にわかりやすく記載されており、これまでの代表的な教科書と比較して非常に読みやすく、演習問題も適切である。有機化学を体系的に学習する上で、初学者には最適な教科書である。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
スミス有機化学 (下) 第5版	Janice Gorzynski Smith	化学同人	有機化学の基礎的内容が非常にわかりやすく記載されている。
スミス有機化学 問題の解き方(第5版)英語版	Janice Gorzynski Smith他	化学同人	教科書の演習問題の解答が詳細に記載されている。
マクマリー 生化学反応機構 第2版	John McMurry他	東京化学同人	代謝経路でみられる有機反応機構を学習する上では、最適な教科書である。

6 準備学習(予習・復習)

- ① 講義タイトルに含まれるキーワードを参考に、教科書・資料の該当箇所を読んでおく(1コマあたり約50分)。
- ② 講義で配付された資料、講義ノート、教科書について、講義後内容を再確認し、講義で指示した演習問題(教科書)を解き、理解をさらに深めること(1コマあたり約1時間)。

生体分子の化学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/16(火)	2	分子の形の推測, オクテット則	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/4/16(火)	3	VSEPA 理論, 非共有電子対をもつ分子の結合角	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/4/23(火)	3	骨格構造式(1)	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/4/30(火)	2	骨格構造式(2)	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/4/30(火)	3	極性結合, 分子全体の極性	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/5/7(火)	2	分子間に存在する相互作用	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/5/7(火)	3	ヘンダーソン・ハッセルバルヒ式	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/5/21(火)	2	緩衝作用	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/5/21(火)	3	有機化合物の命名法	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/6/4(火)	2	立体配座	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/6/4(火)	3	生体分子の立体配座	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/6/11(火)	2	有機立体化学, 立体中心, エナンチオマー	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/6/11(火)	3	絶対配置(RS配置)	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/6/18(火)	2	ジアステレオマー, エピマー, メソ体	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/6/18(火)	3	有機反応機構① 求核置換反応 S_N2 反応 (その1)	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/6/25(火)	2	有機反応機構② 求核置換反応 S_N2 反応 (その2) 立体化学からのアプローチ, Walden反転	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/6/25(火)	3	有機反応機構③ 求核置換反応 S_N1 反応	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/7/2(火)	2	有機反応機構③ 脱離反応 $E2$ 反応(その1)	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/7/2(火)	3	有機反応機構④ 脱離反応 $E2$ 反応(その2) 立体化学からのアプローチ, anti-periplanar配座	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/7/9(火)	3	有機反応機構⑤ 求核アシル置換反応	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/8/1(木)	3	定期試験	化学	教授(特任)	有信哲哉	101 講

(2) 講義の方法

大教室での知識伝達型の講義であるが、アクティブ・ラーニングも積極的に取り入れる。例えば、講義中に学生自身が分子模型を組み立て、分子の3次元的立体構造をイメージし、その立体構造から分子の安定性や反応性について自ら考えてもらう。また教員との質疑応答も行う。

(3) 講義の内容

分子生物学とは化学で説明する生物学のことであり、記述する学問から解析的な学問になっている。生命現象の機構には数少ない重要な原理があり、それによって多くの現象が説明できるようになってきた。この講義「生体分子の化学」では、代謝や医薬の理解に必要な有機立体化学、反応有機化学の基礎と生体を構成する有機分子の構造について解説する。有機立体化学や反応有機化学の知識がどのようにして、生命科学の分野に関連し、つながっていくかを理解できるように講義を進める。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
有信哲哉	教授(特任)	化学	基礎科学棟B105 化学研究室	毎週火・水曜日 12:40～13:30 (その他は問い合わせを)

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

細胞生物学

【単位数：2単位，授業26コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

武内恒成 教授（生物学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-1-c, Ⅲ-2-c, Ⅲ-3-c, Ⅲ-9-c）

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”における“生体の正常な構造と機能，発生，加齢及び疾病の病因を説明する”ための，最もベースとなる細胞生物学・分子生物学において広い生命現象を学修する。
- ② 細胞の構造とその分子機構とともに，遺伝子からタンパクへの流れに基づく生命現象を学び，遺伝子工学の手法と応用やヒトゲノムの解析を学ぶ。さらに医学的知識の基本となる，細胞の微細構造と機能を理解する。
- ③ 人体と細胞の関係，病気との関連といった課題を軸にして，現代の最先端の医学生物学を学ぶために新しい枠組みを提供する。細胞生物学と分子生物学の進歩を，免疫の異常，がん，生活習慣病といった臨床医学の知見と深い関わりについて，さらに「ゲノム編集技術」や「システムバイオロジー」などの最新知見も意識する。

（2）学修目標

- ① 細胞の微細構造と構成，及び機能を説明できる。
- ② 生体高分子（タンパク質・核酸・脂質など）の物理化学的構造と機能を説明できる。
- ③ 細胞膜系の基本メカニズムと物質・イオンの輸送と機能を説明できる。
- ④ エネルギーと生体物質の代謝系システムを概説できる。
- ⑤ ゲノム・染色体・遺伝子の構造と機能を理解し，遺伝情報の発現と継承について説明できる。
- ⑥ 染色体分析・DNA解析を含むゲノム解析技術を概説できる。
- ⑦ ゲノム及び形態の進化の基本的考え方を概説できる。
- ⑧ 細胞骨格と細胞運動及びそれらに起因する疾患を説明できる。
- ⑨ 上皮輸送及び細胞内物質輸送と処理機構及び関連する疾患を概説できる。
- ⑩ 細胞接着と細胞外基質及びそれらに起因する疾患を説明できる。
- ⑪ 細胞内・外のシグナル伝達機構の基本を説明できる。
- ⑫ 遺伝子発現の調節と細胞分化・細胞死を概説できる。
- ⑬ 性分化と個体の生殖機構について説明できる。
- ⑭ 細胞の変容としての病態として免疫・がん・神経変性疾患などを概説できる。
- ⑮ システムバイオロジー・情報生命科学や細胞工学の技術進展と創薬・ゲノム医療について概説できる。
- ⑯ 網羅的遺伝子解析，タンパク質などのオミックス技術，イメージング，ゲノム編集技術などの最新技術を概説できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式を原則として、CBTに準ずる多肢選択問題を60%含む形式を採用する。
レポート	○	10%	講義中に提示するレポートとともに、AIDLE-Kを利用したネット上での回答及び提出を実施する。
小テスト	○	20%	講義中に行う小テストとともに、AIDLE-Kを利用したネット上での理解度振り返りチェックを実施する。
態度	○	—	態度不良の場合には総合成績から上限10%まで減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

- 積極的なAIDLE-Kでの資料提示及び動画の視聴・課題確認を促すため、AIDLE-Kとeポートフォリオにおけるフィードバックを行う。
- レポートについては、紙媒体での提出ではなくAIDLE-Kでの提出を促すとともに、ネット上でのフィードバックを行う。
- 定期試験の成績についての総括を学内メールで配信だけではなく、講義においても都度振り返りフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
『カラー図解 人体の細胞生物学』	坂井建雄 石崎泰樹 武内恒成 ら	日本医事新報社	ネットでの図表の提示・電子書籍の入手ができ、検索や内容の対応が容易に取れる。イラストが多用されており、かつ生理学・解剖学・人体発生学との統合を意識された内容となっている。上位学年まで使用できる。
コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート -ゲノム医療に必要な考え方を身につける	日本人類遺伝学会編集	診断と治療社	細胞生物学で扱うゲノムと遺伝学的知見を臨床までつなぐ内容が盛り込まれている。4年次の「臨床遺伝学」でも教科書指定されており継続利用を願う。初年時から臨床につながる遺伝学を理解してもらうためにも、前半の項目を講義にて取りあげる。
『Essential 細胞生物学』第5版(日本語版)	B Alberts 他著 中村桂子他監訳	南江堂	世界的に最もベーシックかつ広く使われる「細胞の分子生物学 Molecular Biology of the Cell」の簡易版。優れた教科書であり、内容も網羅されている。上記の教科書で不明な個所などはすべて当書で調べることが要求する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
『理系総合のための生命科学』改訂第3版	東京大学生命科学教科書編集委員会	羊土社	国内では最も代表的かつ標準の生命科学テキストである。講義では本書の図なども利用する。簡潔にして要を得ているが、初学者には難しい。生物学履修者を対象とし、国内での生命科学教育の標準を知るには最もお勧めである。
『フロンティア生命科学』	京都大学生命科学研究科編	講談社	上記と対をなす生命科学テキストである。記載が細かくさまざまな生命科学の概念の詳細が記載されている。最新の知見が盛り込まれている。
『大学生物学の教科書』第1巻・細胞生物学	D・サダファ著 石崎泰樹, 丸山敬監 訳	講談社 ブルー ボックス	アメリカにおける代表的なテキストの翻訳かつ小判で扱いやすい読み物としても絶妙である。自学自習向きであり、生物未履修の学生には購入を積極的に勧める。
『大学生物学の教科書』第2巻・分子生物学	D・サダファ著 石崎泰樹, 丸山敬監 訳	講談社 ブルー ボックス	内容は簡潔かつ扱いやすい。生物未履修者には必須。自学自習に勧める。学生には積極的な購入を勧める。
『視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録』	鈴木孝仁監修	数研出版	基本と生物学全体を見直すためには実は最もくみしやすい良書。生物未履修者には勧める。生命科学への導入としても勧められる。ただし、講義の後半では、当書の内容だけでは不足する。

6 準備学習（予習・復習）

- 教科書「カラー図解 人体の細胞生物学」は単元ごとに見開きページとなっている。講義で行う該当項目の概略、イメージ図などを一読し、AIDLE-Kに講義前にあらかじめアップされている動画や資料などの視聴を勧める(1コマあたり約15分)。
- 教科書「Essential 細胞生物学」で、内容の総括とまとめを行い確認する(1コマあたり約0.5時間)。
- 教科書及びAIDLE-Kにアップされた資料を中心に内容の再確認を行う(1コマあたり約0.5時間)。
- 教科書「Essential 細胞生物学」の巻末資料参考テスト問題を確認して、翌週などの小テスト及び次回の講義に備えること(章及び単元終了ごとに0.5時間)。
- AIDLE-Kでの振り返りもウェブ上で参加状況を都度確認して評価に加えるので、留意すること。

細胞生物学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/15(月)	1	細胞とは何か: 細胞小器官と組織構築	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/4/15(月)	2	細胞の膜系(1): 生体高分子の構造機能, 水分子と生体膜	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/4/22(月)	1	細胞の膜系(2): 膜構造・膜タンパク質, 電気化学勾配と膜電位, チャネル, 輸送体	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/4/22(月)	2	遺伝情報の発現と継承(1): タンパク質とアミノ酸の構造と機能, タンパク質構造科学と1~4次構造, ドメイン, 酵素	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/5/20(月)	1	エネルギーと生体物質の代謝(1): 核酸物質, ATP, エネルギー, 触媒, 生合成	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/5/20(月)	2	遺伝情報の発現と継承(2): 染色体と DNA 複製	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/6/3(月)	1	遺伝情報の発現と継承(3): DNA 複製と修復	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/6/3(月)	2	遺伝情報の発現と継承(4): 転写・翻訳	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/6/10(月)	1	【小テスト1】 4/15~6/3 の範囲 上皮輸送(1): 上皮細胞シート, 上皮輸送体	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/6/10(月)	2	上皮輸送(2)・細胞の興奮(2): 活動電位, イオンチャネル・ポンプと電気化学勾配	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/6/17(月)	1	細胞骨格(1): 微小管・マイクロフィラメント, モータータンパク質	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/6/17(月)	2	細胞骨格(2): 中間系フィラメント・細胞運動, 疾患	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/6/24(月)	1	エネルギーと生体物質の代謝(2): グリコーゲン, クエン酸回路, 酸化的リン酸化, 電子伝達系	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/9/2(月)	1	【小テスト2】 ~6/24 の範囲 エネルギーと生体物質の代謝(3): アミノ酸代謝, 脂肪酸代謝, スクレオチド核酸合成	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/9/2(月)	2	細胞のシグナル伝達(1): 伝達物質・ホルモン・サイトカイン, エイコサノイド	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/9/9(月)	1	細胞のシグナル伝達(2): 細胞膜受容体・核内受容体, 転写	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/9/9(月)	2	細胞のシグナル伝達(3): 細胞増殖シグナル, リン酸化・脱リン酸化	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/9/30(月)	1	細胞接着と細胞外基質(1): 細胞接着装置, アドヘレンス結合, タイト結合, ギャップ	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/9/30(月)	2	細胞接着と細胞外基質(2): インテグリン, 細胞外基質, コラーゲン, 疾患	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/10/7(月)	1	細胞内の物質輸送と処理(1): 小胞輸送とエキソ・エンドサイトーシス	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/10/7(月)	2	細胞内の物質輸送と処理(2): 小胞体品質管理システムとオートファジー	生物学	教授	武内恒成	303 講

細胞生物学

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2024/10/28(月)	1	遺伝形式と臨床遺伝(1):ゲノムと遺伝, 遺伝学の歴史, メンデル遺伝	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/10/28(月)	2	【AL】遺伝形式と臨床遺伝(2):メンデルに従わない遺伝, インプリンティング	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/11/11(月)	1	【JS】生命システム, システム生命科学	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/11/18(月)	1	細胞の変容と病態(1):免疫	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/11/25(月)	1	【小テスト3】 ~11/18 の範囲・定期試験前振り返り 【AL】細胞の変容と病態(2):癌 癌と情報伝達システムから見た発生の情報, 遺伝子発現と形態形成	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/12/9(月)	1	定期試験	生物学	教授	武内恒成	101 講

(2) 講義の方法

- 大教室での講義を中心とするが, AIDLE-Kを利用した動画及び資料解説とクリックカーなどを用いた双方向性の講義を導入している。小グループでの討論とアクティブ・ラーニングとともに, 小テストやAIDLE-Kでの課題に対する回答, 積極的な自学を求める。
- スマートフォンやラップトップコンピュータを用いた動画やクリックカーでの双方向性の講義, 検索なども進めているため, これら機器を携帯することを求める(但し, 講義中の別用途での利用は禁止する)。
- 特に教科書の積極的な利用は必須である。教科書に付随するネット環境下での資料視聴, さらには教科書の利用について講義で都度確認するので, 講義中の使用と携帯は必須とする。

(3) 講義の内容

- 頻繁な小テストや振り返り確認を進めるので注意を要する。
- 教科書に準じて進めるため, 教科書を常に活用すること。
- 初回の前半で導入の講義を行う。「自然科学演習(細胞生物学・生命科学)」はこれまで「生物学」を履修してこなかった学生のために設定しているが, 当該講義とも内容をリンクしているので, 自然科学演習のテキストなどの持ち込み利用も歓迎する。2回目以降はそれぞれ教科書のテーマ別の内容に特化しながら基本的知識の提示とその応用研究をとおして理解を深めていく。
- 後学期は, 講義内容においても解剖学・生理学など他教科目との連携を密に進めるので, その連携やつながりを意識しながら講義を受けることを求める。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
武内恒成	教授	生物学	3号館基礎科学棟 2階B213研究室	毎週月曜日 16:00～18:00
池野正史	教授(特任)	生物学	3号館基礎科学棟 2階B208研究室	毎週火曜日 15:00～17:00
増渕 悟	教授	生理学講座	2号館 研究棟237号室	毎週月曜日 16:00～18:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

基礎科学実習

【単位数:0.5単位, 授業24コマ】

1 科目責任者

内藤宗和 教授(解剖学)

科目担当者

武内恒成 教授(生物学)

仙石昌也 教授(特任)(物理学)

有信哲哉 教授(特任)(化学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c, I-4-c, I-8-c, II-3-c, III-1-c, III-2-c, III-3-c)

物理学

- ① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”に関し、医学の発展の基礎となる、流体力学、エレクトロニクス、原子物理等の物理学の分野について、“科学的理論”に基づき測定・観察をすることにより、それらの背後にある法則、原理や実験の“方法論”をより深く理解する。
- ② 基本的な実験課題を通して、測定データ等の客観的根拠に基づいて考える能力や、実験技術・実験態度を学ぶ。

化学

- ① コンピテンスの「医学的知識と科学的探求心」に沿って、医学的発見の基礎となる科学的論理と方法論を説明できるように、化学・実験操作を体系的に学ぶ。
- ② 化学実験を通じ、化学物質の取り扱い方法や実験に関わる一連の技術等(実験準備・実験操作・実験データのまとめ)を身につけ、客観的根拠に基づいて考える訓練を行う。

生物学

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”において、医学系科目の最も基礎として“生体の正常な構造と機能、発生、加齢及び疾病の病因を説明する”ための基本的な生命現象の科学を、実習を通して学修する。単に生命科学実習を行うだけではなく、技法や効果的な解析を調査発表することや、様々な実習への取り組みを通して“効果的な協働のために、適切な方法での情報の収集・集約・伝達を行うことができる”ように意識して進める能力を身につける。
- ② 生物学及び解剖学での実習を通して、様々な情報を客観的・批判的に取捨選択して統合整理し、表現する基本的能力を意識し進める。
生命倫理、倫理原則に基づいて解剖の重要性を認識すること、さらに動物を用いての撮子・鉗子、縫合などに至る実習も進める。

(2) 学修目標

物理学

- ① 物理学の知識を基に、その原理や方法論を考えながら実験できる。
- ② 測定機器を正しく取り扱い、基本的な測定が正確にできる。
- ③ 測定で得られた実験データの計算処理、誤差の見積り、結果の検討ができる。
- ④ 表計算ソフトを用いて測定値をグラフ化し、近似曲線を求め物理定数を計算できる。
- ⑤ 簡潔で正確なレポートを記述できる。
- ⑥ 実験内容が、医療や生体现象の計測にどのように結びついているか説明できる。

化学

- ① 基本的な実験器具を適切に使用し、試薬を適切に取り扱うことができる。
- ② 実験データを適切に処理し、整理、まとめることができる。
- ③ 精密天秤・分光光度計などの測定機器の原理を理解し、適切に使用できる。
- ④ 酸化還元滴定の原理を説明できる。
- ⑤ クロマトグラフィーの原理を理解し、化学分離の具体例に適用できる。

生物学

- ① 実験・実習の内容を決められた様式に従って進めるとともに、文書と口頭で発表できる。
- ② 実習を通して、課題を解決する具体的な方法と実験手法を学び、課題を解決できる。
- ③ 解剖学・生化学・生理学につながる基本的な実験手法と手順を説明できる。
- ④ 生体の基本構造を解析する手法を説明でき、さらに顕微鏡などの解析機器のメカニズムを概説できる。
- ⑤ 組織の固定と組織化学による微細構造解析の方法、遺伝子の単離の基本を説明できる。
- ⑥ 講義で得た生体構成分子の解析方法を理解し、医学における分析方法の基本を説明できるとともに、最新の分析解析技術を説明できる。あるいはそれを知るためのサイトなどの情報を的確に選び出せる。
- ⑦ 撮子・鉗子、縫合などの作業演習を通して、技能実習の在り方を説明できる。
- ⑧ ネット環境を駆使して、ライフサイエンス情報を得るとともに新しい知見を正しく選別して得る方法を示すことができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
物理学	○	30%	レポート・態度を7:3の割合で評価する
化学	○	30%	レポート・態度を8:2の割合で評価する
生物学	○	40%	レポート・態度を8:2の割合で評価する

出席：実習を修得するためには、欠席をしてはならない。

物理学

- レポートの内容に加え、実験に取り組む姿勢や事前の準備等を含めて評価する。
- 欠席した場合は、後日実験等を行う。必要に応じ追加課題を課す。

化学

- レポートの内容に加え、事前の準備、実験中の態度・参加度も加味して、上記表の割合で評価を行う。
- 欠席した場合は、後日実験等を行う。必要に応じ追加課題を課す。

生物学

- 実習の内容は「細胞生物学」、「解剖学」とも直結する内容が多いので、連携を意識しつつ、実習内容がこれらの科目における試験でも取り上げられるものとする。
- レポートは、実習時間内に求めるレポート、個人発表・チーム発表レポートなどを複数名の教員(実習指導員も含む)にて総合的に評価する。
- 実習中には、学生間の相互評価や教員・実習指導員からの評価(360度評価)を、配付する評価表にて進める。また学生から我々教員への評価も実施する。これらをすべて総合的に評価し、態度評価とする。

(2) 合格基準

物理学, 化学, 生物学の評価対象がそれぞれの60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

物理学, 化学, 生物学のいずれかの評価対象がそれぞれの60%未満の場合は, 該当する科目についてレポート再提出あるいは追加課題を求める。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

物理学

実験終了時に毎回記録ノートをチェックする。

レポートは, 必要に応じて個別に再提出や口頭試問等の指導を行う。

化学

講義中に行う確認テストについては, 解説, 解答例の提示を行う。また, レポートは, 提出前にも必要に応じて個別に口頭試問等を行い, 各学生に問題点等を指摘することで, 解決の糸口を与える。

生物学

細胞生物学のAIDLE-Kサイトを用いて, PDFファイル化したレポートや画像データを提出する。この提出とアクセスに対応してフィードバックを行う。なお, WEB上においてのみ課題に対する指摘や全体評価のみを教員側からは行うため, 課題提出物や資料などを再提出や返却などの作業は行わず効率化を求めます。自身の手元に電子媒体として保管することを求める。また, 実習期間中には都度相互評価内容を複数回フィードバックするが, 最終的な総合評価のフィードバックは, 再評価が必要な場合のみ実習中に行い, 実習期間終了後には一切作業が残らないように進める。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
それぞれに実習プリントを配付して進める。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
理科系の作文技術	木下是雄	中央公論新社	自然科学系のレポートや論文を書く際の参考図書として, 多くの人が推薦する名著。
化学実験のルールとレポートの書き方	岩本振武	明現社	レポートの書き方について, わかりやすく記載されている。
マウス解剖イラストレイテッド	野村慎太郎 著	学研秀潤社	解剖の項目に関しては実習の参考になる。マウスの扱いや留意すべき事項についても詳しい。
マウス実験の基礎	小出 剛 著	オーム社	マウス及びラットの実験法について, ほぼすべての領域を網羅した良書。マウスを使ってどのような実験が可能かが概観できる。
視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録	鈴木孝仁 監修	数研出版	最新の知見が入っており, やっている内容がどのようなつながりを持つかを理解しやすい。
動画でまなぶ 切開・結紮・縫合	真船健一 著	学研秀潤社	手術道具の持ち方から, 切開・結紮・縫合の手順が詳しく述べられており, かつ付属のDVDは他の動画よりも丁寧かつ分かりやすい

6 準備学習（予習・復習）

物理学

- 毎回、実験のプリントや実験講義・演習・AIDLE-Kの動画を参考に、事前に実施手順や考察について予習する。事前課題が出ている場合には、実験開始前までにできるようにしておく(1日あたり約1時間)。
- 時間内にレポートが完成しなかった場合は、次週までに完成させて提出する(1日あたり約1時間)。

化学

- テキストの熟読とAIDLE-Kの動画を参考に、実験操作、手順、原理を予習する(1日あたり1.5時間以上)。
- 実験結果のまとめとレポート作成を行う(1日あたり1時間)。

生物学

- 実習内容などは、初回及び連日開始時に繰り返し行うガイダンスによって伝達する。またAIDLE-Kに事前に動画資料などによって実習内容をアップしておくので、アクセスして視聴することで留意しつつ予習しておくこと。(1日あたり約20～30分)。
- グループワークの取りまとめと各自のレポート作成実習はできる限り実習時間内に行うこととし、実習時間外に持ち越さないように留意すること。他の講義学科目の学修に影響するような、実習終了後も多大な時間をかけて行うことは求めない。出来る限り実習時間内に実験実習作業と並行して解決できる課題として進めるので、実習時間内にレポート作成等は終えること。復習を含めても最大1日あたり1時間を限度として進めること。そのためにも準備学修を求める。

基礎科学実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/15(月)	3	ガイダンス生物学実験	生物学 生物学	教授 教授(特任)	武内恒成 池野正史	303 講
2024/4/15(月)	4	ガイダンス 物理学実験	物理学 物理学	教授(特任) 准教授	仙石昌也 山下敏史	303 講
2024/4/15(月)	5	ガイダンス 化学実験	化学	教授(特任)	有信哲哉	303 講
2024/4/22(月)	3	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 物理学	教授(特任) 准教授	仙石昌也 山下敏史	物理実
2024/4/22(月)	4					
2024/4/22(月)	5	化学実験:酸化還元滴定	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学実
2024/5/20(月)	3	化学実験:酸化還元滴定	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学実
2024/5/20(月)	4					
2024/5/20(月)	5	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 物理学	教授(特任) 准教授	仙石昌也 山下敏史	物理実
2024/6/3(月)	3	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 物理学	教授(特任) 准教授	仙石昌也 山下敏史	物理実
2024/6/3(月)	4					
2024/6/3(月)	5	化学実験:プロビタミン A の抽出と化学分離・定量	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学実
2024/6/10(月)	3	化学実験:プロビタミン A の抽出と化学分離・定量	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学実
2024/6/10(月)	4					
2024/6/10(月)	5	物理学実験:1. 液体の粘性係数の測定, 2. オシロスコープ, 3. 放射線の測定のいずれかを行う	物理学 物理学	教授(特任) 准教授	仙石昌也 山下敏史	物理実
2024/6/17(月)	3	生物学実習(マウス・マクロ解剖学実習)	生物学 生物学 動物実験 研究創出 C	教授 教授(特任) 准教授 准教授	武内恒成 池野正史 松下夏樹 服部聡子	生物実 研 106
2024/6/17(月)	4					
2024/6/17(月)	5					
2024/6/24(月)	3	生物学実習(組織からの DNA 抽出と分析実習)	生物学 生物学 動物実験 分医研	教授 教授(特任) 准教授 助教	武内恒成 池野正史 松下夏樹 土本 純	生物実 研 106
2024/6/24(月)	4					
2024/6/24(月)	5					
2024/7/1(月)	3	生物学実習(マウス組織/組織化学・マイクロ顕微鏡実習)	生物学 生物学 動物実験 研究創出 C	教授 教授(特任) 准教授 准教授	武内恒成 池野正史 松下夏樹 服部聡子	生物実 研 106
2024/7/1(月)	4					
2024/7/1(月)	5					

(2) 講義の方法

物理学

初回は知識伝達型の講義と演習を行い、残りは物理学実験室において、指定された組合せにしたがって原則として二人一組となって実験を行う。

化学

初回は安全教育に関する知識伝達型の講義と演習を行い、残りの回は化学実験室において、指定された組合せにしたがって三人又は四人一組となって実験を行う。各回の実験前には講義又は動画による解説を行い、実験内容の定着を図る。終了時には質疑応答の時間をつくり、学生の理解度をみる。

生物学

WEBによる実習準備と実習そのものを併行して推進する。AIDLE-Kにあらかじめアップされた実習の説明と方法や詳細にあらかじめアクセスして、把握したうえで実習に臨むこと。

実際の手技演習や解剖、組織プレパラート作成と組織実習、動物個体を用いての縫合や固定作業の前に行うシミュレーション実習などにおいては、研究棟106実習室、303講義室、生物学実習室、シミュレーションセンターでの実習を基本とする。教室についても初回及び都度、詳細の通知をするので留意を要する。

解剖・組織・分析実習ともに、個々の実習作業とともに、グループワークを基本とする。グループでのチーム一員としての行動と作業の実践を心がけること。グループ内での相互評価及びグループ間での相互評価、個人評価も導入し、実習への取り組みについては総合的な評価とするので留意すること。

詳細な内容及び動画資料、WEBアクセスによる調べなどがあるため、コンピュータあるいはタブレットを必須とする。自宅だけではなく登校時も持参すること。なお、スマートフォンによる視聴は、画像・画面、組織切片の画像拡大などに支障をとまうため認めない。大型画面を用いること。

(3) 講義の内容

物理学

単位や有効数字に気を付けて測定値を記録ノートに、後日自分が見直したときに理解できるように記録し、計算処理、誤差の見積り、結果の検討を行う。「3.放射線の測定」においては、計算処理は表計算ソフトを用いて行うため、ノートパソコン又はタブレットを持参すること。

教員のチェックを受けた後、簡潔で正確な実験レポートを丁寧な字で作成する。実験レポート作成が時間内に終わらない場合には、後日提出する。

化学

初回のガイダンスでは、安全教育に関する講義をおこない、2回目以降は酸化還元滴定、有機物の抽出と化学分離・定量の実験を行う。医学分野の各専門実験・実習を安全かつ正確に実施するためには、その基礎的技術と知識の修得が必要であり、本化学実験では実験器具や装置の名称・使用方法並びに実験に関わる一連の操作等が身につけられるように講義・実験を行う。

生物学

マウスの解剖、組織観察、顕微鏡実習(組織標本作成と組織標本の観察)を主とする。とくに攝子・メスなどを扱うので、保持方法や扱い方なども、その後続く解剖学実習・生理学実習につながる重要な内容であることを理解する。組織観察・顕微鏡技術も、解剖学(組織学)、免疫寄生虫学、病理学につながるので十分な原理と操作の留意に努める。自主的な取り組みと相互でのチームワークを必要とするので、調査内容の発表については都度準備を進めること。

一部応用編において、イメージングやDNA解析の選択制での実習を導入する。さらに、意欲ある学生は継続的にさらに応用編での実習内容を深めて実験を進行できるようにする。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
内藤宗和	教授	解剖学	2号館 研究棟254号室	毎週月・火曜日 16:00～18:00
仙石昌也	教授(特任)	物理学	3号館基礎科学棟 B205研究室	毎週火・金曜日 16:30～18:00
山下敏史	准教授	物理学	3号館基礎科学棟 B209研究室	毎週火・金曜日 16:30～18:00
有信哲哉	教授(特任)	化学	3号館基礎科学棟 B105化学研究室	毎週火・水曜日 12:40～13:30
武内恒成	教授	生物学	3号館基礎科学棟 2階B213研究室	毎週月曜日 16:00～18:00
池野正史	教授(特任)	生物学	3号館基礎科学棟 2階B208研究室	毎週火曜日 15:00～17:00
松下夏樹	准教授	総合医学研究機構 動物実験部門	5号館1階 動物実験部門	毎週月曜日 16:00～18:00
服部聡子	准教授	研究創出支援センター	2号館研究棟2階 研究創出支援センター	毎週月曜日 16:00～18:00
土本 純	助教	分子医科学研究所	5号館 総合実験研究棟2階	毎週月曜日 16:00～18:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい (I-7-c, I-8-c, II-1-c, II-2-c, II-3-c, II-5-c, III-1-c, III-3-c, III-4-c, III-8-c, III-9-c, III-10-c, V-5-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナルリズム(生涯学習・自己啓発・自己管理)」、「コミュニケーション」、「医学知識と科学的探究心」について、グループワークを通して、その意義を理解する。
- ② グループワークを通して、他者との協働や情報収集のためのコミュニケーションを身につける。
- ③ 与えられたトピックに対して、自身の考えを述べ、グループ内での議論を通して論理的な思考を身につける。

(2) 学修目標

- ① グループ学習を通し、能動的学修の意義と自己の課題を説明できる。
- ② 「話す」「聴く」「伝える」ために必要なコミュニケーションスキルを説明できる。
- ③ ICTを使用して与えられた課題を調べることができる。
- ④ グループ内で役割分担をし、円滑に議論を進めることができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	—	提示した課題に対するレポート
態度	○	—	グループ学習の参加度(役割遂行)の自己評価, 他者評価

出席: 単位を修得するためには、欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

すべての評価対象において、不可がないこと(合否の2段階判定)。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

演習を欠席した場合は、面接後、補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各演習時に、その都度全員にフィードバックする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
指定なし			

6 準備学習(予習・復習)

グループ内での役割分担で自身の担当分に関して、情報収集など準備をする(毎日0.5時間)。

PBL

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/2/10(月)	1	オリエンテーション	医学教育C 薬理学 医学教育C 糖内	教授 准教授 講師 講師	早稲田勝久 山口奈緒子 河合聖子 森下啓明	303 講
2025/2/10(月)	2	演習	医学教育C 薬理学 医学教育C 糖内	教授 准教授 講師 講師	早稲田勝久 山口奈緒子 河合聖子 森下啓明	3階セ
2025/2/10(月)	3					
2025/2/10(月)	4					
2025/2/10(月)	5					
2025/2/12(水)	1	演習	医学教育C 薬理学 医学教育C 糖内	教授 准教授 講師 講師	早稲田勝久 山口奈緒子 河合聖子 森下啓明	3階セ
2025/2/12(水)	2					
2025/2/12(水)	3					
2025/2/12(水)	4					
2025/2/12(水)	5					
2025/2/13(木)	1	演習	医学教育C 薬理学 医学教育C 糖内	教授 准教授 講師 講師	早稲田勝久 山口奈緒子 河合聖子 森下啓明	3階セ
2025/2/13(木)	2					
2025/2/13(木)	3					
2025/2/13(木)	4					
2025/2/13(木)	5					
2025/2/14(金)	1	演習	医学教育C 薬理学 医学教育C 糖内	教授 准教授 講師 講師	早稲田勝久 山口奈緒子 河合聖子 森下啓明	3階セ
2025/2/14(金)	2					
2025/2/14(金)	3					
2025/2/14(金)	4	まとめ	医学教育C 薬理学 医学教育C 糖内	教授 准教授 講師 講師	早稲田勝久 山口奈緒子 河合聖子 森下啓明	303 講
2025/2/14(金)	5					

(2) 講義の方法

講義室での全体説明とセミナー室でのグループワークを行う。

(3) 講義の内容

提示した話題について、グループ内で議論を行い課題解決の案をまとめプレゼンテーションを行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館研究棟359室	毎週月曜日～金曜日 18:00～19:00
森下啓明	講師	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週火・金曜日 14:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

医学英語 1 a

【単位数：1単位，授業13コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授(外国語)

科目担当者

James Herron (非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい (I-2-c, II-4-c, IV-1-c)

- ① コアコンピテンスの“他者の多様な価値観を尊重できる”こと，“患者・家族の疾病と治療に対する捉え方に配慮した意思決定の重要性について説明できる”こと，そして“心理・社会的状況を含め患者の病歴を正確に聴取できる”ようになることを，他言語を学ぶことを通して強化していく。
- ② 本講義は(1)患者やその家族，また他の業種の人々が自分とは異なる背景を持ちそれゆえに異なる選択をすることへの理解を深め，(2)患者を生活者として捉えるための基本的な概念や面接技術の習得し，(3)自らの偏見と向き合う気づきの機会としてもらうことがねらいである。(1)，(2)を促進するための医療英会話や，それを成立させるための背景・知識を英語で学習する機会を提供する。

(2) 学修目標

- ① 主観的健康観について概説できる。
- ② 英語で基本的な病歴(主訴，現病歴，既往歴，家族歴，生活歴，社会歴・職業歴等)が聴取できる。
- ③ 得られた情報を整理したり要点をまとめたりすることができる。
- ④ 異文化や日本の文化に対する自らの「思い込み」や偏見への気づきが得られる。
- ⑤ 英語で書かれた教科書・論文・検索情報に頻出する表現が理解できる。
- ⑥ 人体の構造と機能，及びよく見られる病気や症状に関する基礎的な語の意味・綴り・発音が理解できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	40%	The final exam will be a written test in multiple-choice format.
演習点 (Quizzes)	○	20%	Weekly vocabulary quizzes will account for 20% of the overall grade.
演習点 (In-class Activities)	○	40%	In-class activities will be graded via feedback papers and will make up the remaining 40% of the overall grade. (Friday classes 32%; Thursday classes (「英語で倫理を考える」) 8%)
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験と、追加課題を課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

AIDLE-Kに記載ほか、授業冒頭にて口頭で行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし, 適宜紹介する			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Dr.押味のあなたの医学英語なんとかします!	押味貴之	メジカルビュー社	プレゼンテーションと病歴聴取のコツが具体的に書かれており、授業で扱っている内容を効果的に復習することができる。
The Complete Subjective Health Assessment https://ecampusontario.pressbooks.pub/healthassessment/	Jennifer Lapum et al.	licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License	主観的健康観と文化的背景を平易な英語で患者に尋ねる技法が記載された open textbookである。

6 準備学習(予習・復習)

予習と、復習を1コマあたり最低でも各 0.5 時間は取り組みましょう。

具体的には、紹介された単語や表現を習得するよう努めるのはもちろん、気になる表現を調べたり、付属・参考資料に積極的に目を通して、広く関心を持って英語を「使って」学習を進めてください。

Prepare not only for the current week's class but continue to review previous materials and vocabulary. Please come to class prepared to ask questions and be ready to actively participate.

Don't forget to take advantage of opportunities to practice what you've learned inside and outside of class. Learning a language is a lifelong process!

医学英語 1 a

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	組	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/19(金)	1	A	Guidance	外国語	准教授	平田亜紀	203 講
2024/4/19(金)	2	B	Introduction to The Complete Subjective Health Assessment	外国語 —	助教 非常勤講師	小川恭佑 James Herron	
2024/4/26(金)	1	A	Introductory Information and Main Health Needs (Explanation)	—	非常勤講師	James Herron	203 講
2024/4/26(金)	2	B					
2024/5/10(金)	1	A	Introductory Information and Main Health Needs (Activity)	—	非常勤講師	James Herron	203 講
2024/5/10(金)	2	B					
2024/5/24(金)	1	A	The PQRSTU Assessment (Explanation)	—	非常勤講師	James Herron	203 講
2024/5/24(金)	2	B					
2024/6/7(金)	1	A	The PQRSTU Assessment (Activity)	—	非常勤講師	James Herron	203 講
2024/6/7(金)	2	B					
2024/6/14(金)	1	A	Current and Past Health (Explanation)	—	非常勤講師	James Herron	203 講
2024/6/14(金)	2	B					
2024/6/21(金)	1	A	Current and Past Health (Activity)	—	非常勤講師	James Herron	203 講
2024/6/21(金)	2	B					
2024/6/26(水)	5	AB	【AL】英語で倫理を考える(導入)	外国語 哲学	助教 講師	小川恭佑 川崎 優	303 講
2024/6/28(金)	1	A	Cultural Health and Safety (Explanation)	—	非常勤講師	James Herron	203 講
2024/6/28(金)	2	B					
2024/7/3(水)	5	AB	【AL】英語で倫理を考える(発展)	外国語 哲学	助教 講師	小川恭佑 川崎 優	303 講
2024/7/5(金)	1	A	Cultural Health and Safety (Activity)	—	非常勤講師	James Herron	203 講
2024/7/5(金)	2	B					
2024/7/10(水)	5	AB	【AL】英語で倫理を考える(解説)	外国語 哲学	助教 講師	小川恭佑 川崎 優	303 講
2024/7/12(金)	1	A	Summary	—	非常勤講師	James Herron	203 講
2024/7/12(金)	2	B	Final Exam Review				
2024/8/2(金)	1	AB	定期試験	外国語	准教授	平田亜紀	101 講

(2) 講義の方法

教員と学生、また学生同士のインタラクションを重視したアクティブ・ラーニング型授業を行う。

(3) 講義の内容

外国にルーツを持つ患者の価値観をはじめ多様な価値観が世の中に存在すること、自らの想像力の限界を認めつつも相手の状況をより深く理解するために必要とされる英語での質疑ができるようになるよう学習を進める。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
平田亜紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階B201研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
小川恭佑	助教	外国語	3号館基礎科学棟 2階B210研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
川崎 優	講師	哲学	3号館基礎科学棟 2階B203研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
James Herron	非常勤講師	—	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

医学英語 1 b

【医学英語1b(前学期)単位数:1単位, 授業13コマ(定期試験含まず)】

【医学英語1b(後学期)単位数:1単位, 授業13コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授(外国語)

科目担当者

小川恭佑 助教(外国語)

James Herron (非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c, II-4-c, III-2-c, III-10-c)

- ① コアコンピテンスの“医学, 医療における客観的根拠を適切に探索し, EBMを実践できる(医学知識と科学的探究心)”ようになるために, 1年生および2年生の医学英語では生体の正常な構造や機能について英語で学習する。導入にあたる本講義では, 前学期・後学期通して語彙力や文章理解力, リスニング力の向上を図る。さらに後学期では, “他者の多様な価値観を尊重できる”ことと, “患者・家族の疾病と治療に対する捉え方に配慮した意思決定の重要性について説明できる”ことに加え“根拠のある情報を選択し, 情報源を明示することの重要性を説明できる”よう, 引き続き医療英会話にも焦点を当てる。
- ② 生涯にわたって自律的に学び続け, また自ら発信することができるようになるための基礎となる語学力を身に着けることと, 患者の社会的背景(経済的・制度的側面等)が病いに及ぼす影響への理解を深めることがねらいである。

(2) 学修目標

- ① 人体の構造と機能, common diseasesとその症状に関する語の意味を理解し, 綴り・発音が実践できる。
- ② 医学用語の名詞に頻出する不規則複数形を理解し, 未知語に対して応用できる。
- ③ 医学用語に頻出する接頭辞・接尾辞・連結形を理解し, 未知語に対して応用できる。
- ④ 人体の構造と機能, common diseasesとその症状に関する英文や動画の内容の意味をくみ取ることができる。
- ⑤ 分詞構文を含む英文の構造を正しく理解することができる。
- ⑥ 関係代名詞, 分詞, 動名詞, 不定詞, 並列などが使用された英文の構造を正しく理解することができる。
- ⑦ Students will develop communication skills to build good relationships through dialog with patients and their families and will be able to explain medical content in an easy-to-understand manner.
- ⑧ Students will be able to critically select and express various information via presentations.

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

医学英語1b(前学期・後学期)共通:

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60%	45% 平田・小川回 15% James Herron 回 いずれも記述式を原則とする(選択問題含む)。
演習点	○	40%	30% 平田・小川回 内訳: ・5% 各回の開始時に実施される e-ラーニングアプリ (ALC NetAcademy Next)に準拠した小テスト演習の合計点 ・15% 各回の終了時に実施される復習小テスト演習* ・10% その他の参加型演習 (*採点方法: 演習は原則「参加をしている・トライをしている」ことに点数を付けます。正答率は採点基準ではありませんが, 期末試験の準備も兼ねているので丁寧に取り組みましょう。) 10% James Herron 回 内訳: In-class activities will be graded via feedback papers and will account for 10% of the overall grade.
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

前学期・後学期 共通:

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

前学期・後学期 共通:

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は, 再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験と, 追加課題を課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

前学期・後学期 共通:

AIDLE-Kに記載ほか, 授業冒頭にて口頭で行う。

4 教科書

前学期・後学期 共通:

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
The Concise Human Body Book	Steve Parker	Dorling Kindersley Limited	一般書ながら, 人体の構造や機能について簡潔な文章と詳細なイラストでまとめられている。

5 参考図書

前学期・後学期 共通:

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
英文法どっちがどっち 単語の品詞がわかる本	伊藤和夫	復刊ドットコム	英文理解のための基礎となる文法で学習者が迷いやすいものを対比させながら解説。分かりやすく必要なところだけを読むことができる。文法が苦手な人に推奨。
Medical Terminology for Healthcare Professions https://pressbooks.uwf.edu/medical-terminology/	Andrea M. Nelson et al.	University of West Florida Pressbooks	接頭辞・接尾辞・連結形などが丁寧に解説されている。また、いわゆる「単語帳」とどまることなく、解剖学・生理学の文脈の中で医学専門用語を理解することができる。
Anatomy and Physiology 2e - 2e https://open.umn.edu/opentextbooks/textbooks/169	J. Gordon Betts et al.	OpenStax	教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記 プロメテウスと合わせて読むと、医学専門用のみならず、医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
Anatomy: An Essential Textbook (Thieme Illustrated Reviews) 第3版	Anne M. Gilroy et al.	Thieme Medical Pub	教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記 プロメテウスと合わせて読むと、医学専門用のみならず、医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著), 中野隆 (監訳)	医学書院	医学専門用語(解剖の用語)の基本的な知識を日本語で理解する上で有用。

6 準備学習(予習・復習)

予習・マインドセットとして授業開始前に、学習範囲を確認するクセをつけましょう。

復習を1コマあたり最低でも各 0.5 時間勉強することを推奨します。

医用英単語の「からくり」は講義からある程度学ぶことができます。一方、英語を使いこなすには自立・自律学習が求められます。キャリアを通して一生使うものですので、毎回コツコツと身に着けていきましょう。その意味では授業はペースメーカーの役割でしかなく、小テストの正答率などをその目的地としてはいけません。また、上記の勉強時間はあくまで目安です。時間を費やすことを主とするのではなく、自分に必要な勉強時間数を確保してください。

【授業を受ける際の注意】

授業には、ノートパソコンかタブレットを持参のこと。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。

上記「3 成績の判定・評価」にもある通り、小テスト演習は中間試験および学期末試験の準備も含まれていますのでわからない箇所はその都度丁寧に解消していきましょう。

【欠席した場合の注意】

- ① 教務課だけではなく、科目責任者とその回の担当者に連絡を入れること。
- ② AIDLE-K上の資料や、友人に確認するなどして、学習が途切れないよう心掛けてください。
- ③ 平田・小川回では、欠席した日の小テスト演習は別途受験することができます(点数は事由により多少の減点をする場合があります。)

医学英語 1 b

7 授業計画

(1) 開催日時

医学英語 1 b (前学期)

年月日(曜)	時 限	組	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/16(火)	1	AB	全体説明: Medical Terminology	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/4/23(火)	1	A	演習 (NetAcademy 語彙4問小テスト) Anatomical Position	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
		B	英語運用能力テスト				マルチAB
2024/4/23(火)	2	A	英語運用能力テスト	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	マルチAB
		B	演習 (NetAcademy 語彙4問小テスト) Anatomical Position				303 講
2024/4/30(火)	1	AB	演習 (NetAcademy 語彙4問小テスト) Body terminology	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/5/7(火)	1	AB	演習 (NetAcademy 語彙4問小テスト) Skeletal System (1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/5/21(火)	1	AB	演習 (NetAcademy 語彙4問小テスト) Skeletal System (2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/6/4(火)	1	AB	演習 (NetAcademy 語彙4問小テスト) Skeletal System (3)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/6/11(火)	1	AB	演習 (NetAcademy 語彙4問小テスト) Digestive System (1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/6/18(火)	1	AB	演習 (NetAcademy 語彙4問小テスト) Digestive System (2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/6/25(火)	1	AB	演習 (NetAcademy 語彙4問小テスト) Digestive System (3), Brain	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/7/2(火)	1	AB	Cardiovascular System (1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/7/9(火)	1	AB	Cardiovascular System (2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/7/9(火)	2	AB	Cardiovascular System (3)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	303 講
2024/7/29(月)	3	AB	定期試験	外国語	准教授	平田亜紀	101 講

進捗状況により多少前後するので、授業内の案内に注視すること。

医学英語 1 b (後学期) 分割授業: A1組, B1組は 303 講義室, A2組, B2組は 203 講義室にて実施。

年月日(曜)	時 限	組	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/6(金)	1	A	後学期ガイダンス, Review and Warm-up Activities	外国語	准教授	平田亜紀	303 講
2024/9/6(金)	2	B		外国語	助教 非常勤講師	小川恭佑 James Herron	
2024/9/13(金)	1	A	英医学用語 演習 (NetAcademy 語彙小テスト) -Nervous System (1)	外国語	准教授	平田亜紀	303 講 203 講
2024/9/13(金)	2	B		外国語	助教	小川恭佑	
2024/9/20(金)	1	A	【AL】英会話 -Intercultural Communication (Explanation)	—	非常勤講師	James Herron	303 講 203 講
2024/9/20(金)	2	B					
2024/9/27(金)	1	A	英医学用語 -Nervous System (2)	外国語	准教授	平田亜紀	303 講 203 講
2024/9/27(金)	2	B		外国語	助教	小川恭佑	
2024/10/4(金)	1	A	【AL】英会話 -Intercultural Communication (Activity) (1)	—	非常勤講師	James Herron	303 講 203 講
2024/10/4(金)	2	B					
2024/10/11(金)	1	A	英医学用語 演習 (NetAcademy 語彙小テスト) -Nervous System (3)	外国語	准教授	平田亜紀	303 講 203 講
2024/10/11(金)	2	B		外国語	助教	小川恭佑	
2024/10/18(金)	1	A	【AL】英会話 -Intercultural Communication (Activity) (2)	—	非常勤講師	James Herron	303 講 203 講
2024/10/18(金)	2	B					
2024/11/1(金)	1	A	英医学用語 演習 (NetAcademy 語彙小テスト) -Nervous System (4)	外国語	准教授	平田亜紀	303 講 203 講
2024/11/1(金)	2	B		外国語	助教	小川恭佑	
2024/11/8(金)	1	A	【AL】英会話 -Public Speaking and Presentations (Explanation)	—	非常勤講師	James Herron	303 講 203 講
2024/11/8(金)	2	B					
2024/11/15(金)	1	A	英医学用語 -Nervous System (5)	外国語	准教授	平田亜紀	303 講 203 講
2024/11/15(金)	2	B		外国語	助教	小川恭佑	
2024/11/22(金)	1	A	【AL】英会話 -Public Speaking and Presentations (Activity) (1)	—	非常勤講師	James Herron	303 講 203 講
2024/11/22(金)	2	B					
2024/11/29(金)	1	A	英医学用語 - Nervous System (6)	外国語	准教授	平田亜紀	303 講 203 講
2024/11/29(金)	2	B		外国語	助教	小川恭佑	
2024/12/6(金)	1	A	【AL】英会話 -Public Speaking and Presentations (Activity) (2)	—	非常勤講師	James Herron	303 講 203 講
2024/12/6(金)	2	B					
2024/12/20(金)	1	AB	定期試験	外国語	准教授	平田亜紀	101 講

進捗状況により多少前後するので、授業内の案内に注視すること。

(2) 講義の方法

<前学期・後学期, 平田・小川回 共通>

医学専門用語と構文読解に重点を置く回では、動画視聴・リスニング、構文読解、Study Guide (学習ガイドシート)での演習とその解説講義(知識伝達)。

<後学期, James Herron 回>

医療英会話の重点を置く回では、教員と学生、また学生同士のインタラクションを重視したアクティブ・ラーニング型授業を少人数で行う。

(3) 講義の内容

<前学期・後学期, 平田・小川回 共通>

医学専門用語、とくに身体の器官の英語での名称を学習する。語の暗記だけではなく、英文で書かれた機能に関する記述や動画の説明などの理解も通して、語学の基礎的な4技能のうち読む・書く(スペリング)・聴く・話す(発話)の強化を行う。また、授業冒頭でe-ラーニングアプリ(ALC NetAcademy Next)に準拠した小テスト演習を、終了時にその回の復習語彙テスト演習を行う。いずれも演習であるため参加点を原則とする。

<後学期, James Herron 回>

医学英語1aに引き続き外国にルーツを持つ患者の多様な価値観が世の中に存在すること、自らの想像力の限界を認めつつも相手の状況をより深く理解するために必要とされる英語での質疑ができるようになるよう学習を進める。こちらは語学の応用的な技能のうちコミュニケーション(対話)の訓練に相当する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
平田亜紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階B201研究室	毎週火曜日 16:30~17:30
小川恭佑	助教	外国語	3号館基礎科学棟 2階B210研究室	毎週火曜日 16:30~17:30
James Herron	非常勤講師	—	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

ポルトガル語

【単位数：1単位，授業13コマ】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授(外国語)

科目担当者

久保原信司(非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c, I-5-c, II-1-c, II-2-c)

- ① コアコンピテンスの「他者の多様な価値観を尊重できる」, 「患者と家族の心理・社会的背景を理解し, 全人的に対応できる」, 「患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる」ため, また「心理・生活・文化的背景を適切に把握するための, 支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる」ようになるために, 外国語でのコミュニケーション能力を高めるとともに, 異文化に対する理解を深める。
- ② 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響(コミュニケーションの在り方等)が理解できるようになる。

(2) 学修目標

- ① 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し, 柔軟に対応できる。
- ② 良好な人間関係を構築するために必要なスキルとして, 開講される外国語を母語とする患者へ簡単な挨拶や声かけをすることができる。
- ③ 言語・文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例を挙げながら概説できる。
- ④ 基本的なポルトガル語文法が理解できる。
- ⑤ ポルトガル語で簡単な会話ができる。
- ⑥ 地域のブラジル人やブラジルにルーツを持つ人を身近な存在として感じられるようになる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
平常点	○	40%	語彙・文法の小テスト, 実技試験, 提出物など
定期試験	○	60%	記述式の筆記試験(一部多肢選択問題を含む)
態度	○	—	受講態度不良の場合は10%までの減点となる。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は, 再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験を実施する。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

毎回の小テストとレポートに対する解説は, 授業中に随時行なっていく。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
生きたブラジル・ポルトガル語・初級	兼安シルビア典子	同学社	ポルトガル語を学習する初学者に適した内容とレベルである。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
プログレッシブ・ポルトガル語	市之瀬 敦	小学館	ポルトガル語を学習する初学者から中級者に適した内容とレベルの辞書である。

6 準備学習（予習・復習）

- 予習は求めないが、復習は重要である。授業時間内にやり残した課題や十分に理解できなかったところは、復習しておくこと。それでも不明なことがある場合は、早めに質問をするように。
- 語彙については、こまめに復習し、習得の機会を増やすことが重要である(1コマあたり約0.5時間)。
- 毎週か隔週に行われる小テストの成績は配点が大いなので十分に準備して臨むこと(1コマあたり約40分)。

ポルトガル語

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	組	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/4(水)	1	A	愛知県におけるブラジル・コミュニティー, かつてブラジルに渡った日本移民についての概説。医療従事者としてポルトガル語を学習する意義などについて考える。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/9/4(水)	2	B					
2024/9/11(水)	1	A	文字と発音: 英語にない文字, アクセント, 発音について学習する。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/9/11(水)	2	B					
2024/9/18(水)	1	A	ser 動詞: ポルトガル語の be 動詞に当たる ser 動詞の活用と用法を学習する。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/9/18(水)	2	B					
2024/9/25(水)	1	A	ser 動詞を使った名前, 出身, 国籍, 職業など自己紹介のフレーズを学習する。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/9/25(水)	2	B					
2024/10/2(水)	1	A	所有詞①: 所有詞「私の」「あなたの」「私たちの」の使い方を学習する。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/10/2(水)	2	B					
2024/10/9(水)	1	A	所有詞②: 上記以外の所有の表現を学習する。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/10/9(水)	2	B					
2024/10/16(水)	1	A	規則動詞: 語尾が「-ar」「-er」「-ir」で終わる3種類の一般動詞の活用パターンを学習する。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/10/16(水)	2	B					
2024/10/30(水)	1	A	前置詞: 場所, 方向, 時間などを表す前置詞の用法を学習する。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/10/30(水)	2	B					
2024/11/6(水)	1	A	疑問詞: 「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」といった疑問詞を用いた疑問文の作り方を学習する。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/11/6(水)	2	B					
2024/11/13(水)	1	A	estar 動詞: ser との区別, 場所の表現を学ぶ。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/11/13(水)	2	B					
2024/11/20(水)	1	A	estar com を用いた体調や感情の表現を学ぶ。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/11/20(水)	2	B					
2024/11/27(水)	1	A	義務, 欲求, 許可, 依頼, 可能, 禁止の表現を学習し, 医療現場での例文を練習する。	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/11/27(水)	2	B					
2024/12/4(水)	1	A	総まとめとダイアログの暗唱・発表	—	非常勤講師	久保原信司	304 講
2024/12/4(水)	2	B					
2024/12/11(水)	1	AB	定期試験	—	非常勤講師	久保原信司	304 講

(2) 講義の方法

基本的な文字の読み方と、発音練習を授業内で繰り返し行う。また文法等の演習課題を行うことと、理解のポイントについての解説が授業の中心となる。少人数できめ細かい語学指導を行う。授業には、教科書と前週までのハンドアウトを持参すること。

なおAB組の分け方は他の科目の分け方とは一致しないので注意すること。

(3) 講義の内容

ポルトガル語を初めて学修するための初中級向けの授業内容である。課題と解説を通じて発音、語彙、文法、重要表現の基本を身に付ける。授業中は、間違ふことを恐れずに、積極的に声に出して発音練習をするが重要である。発音、語彙、文法の理解については、学生の理解度を確認しながら調整して解説を進めていく。また、疑問点や確認したいことがあれば、その都度、積極的に質問することを推奨する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
平田亜紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階 B201 研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
久保原信司	非常勤講師	—	講義室	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

中 国 語

【単位数：1単位，授業13コマ】

1 科目責任者

平田 亜紀 准教授 (外国語)

科目担当者

李 ^リ ^{オンキョウ} 恩郷 (非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい (I-2-c, I-5-c, II-1-c, II-2-c)

- ① コアコンピテンスの「他者の多様な価値観を尊重できる」，「患者と家族の心理・社会的背景を理解し，全人的に対応できる」，「患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる」ため，また「心理・生活・文化的背景を適切に把握するための，支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる」ようになるために，外国語でのコミュニケーション能力を高めるとともに，異文化に対する理解を深める。
- ② 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響(コミュニケーションの在り方等)が理解できるようになる。

(2) 学修目標

- ① 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し，柔軟に対応できる。
- ② 良好な人間関係を構築するために必要なスキルとして，講される外国語を母語とする患者へ簡単な挨拶や声かけをすることができる。
- ③ 言語・文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例を挙げながら概説できる。
- ④ 中国語の発音を身につけ，文法を理解することで，中国語で基本的なコミュニケーションをとることができる。
- ⑤ 異なる文化圏としての中国文化を理解することにより，他の多様な価値観を尊重できる。
- ⑥ 中国語の辞書の調べ方や基本的な勉強法を習得することで，今後の中国語自習を続けることができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
平常点	○	40%	語彙・文法の小テスト，実技試験，提出物など
定期試験	○	60%	記述式の筆記試験(一部多肢選択問題を含む)
態度	○	—	受講態度不良の場合は10%までの減点となる。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験を実施する。60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

毎回の小テストとレポートに対する解説は授業中に随時行なっていく。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
メディカル初級実践中国語	王 宇南・王 美蘭	朝日出版社	中国語を学習する初学者に適した内容とレベルである。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
日中辞典	北京・对外経済貿易大学, 北京商務印書館, 小学館共同編集	小学館	中国語を学習する初学者から中級者に適した内容とレベルの辞書である。

6 準備学習（予習・復習）

- 予習は求めないが、復習は重要である。授業時間内にやり残した課題や十分に理解できなかったところは、復習しておくこと。それでも不明なことがある場合は、早めに質問をするように。
- 語彙については、こまめに復習し、習得の機会を増やすことが重要である（1コマあたり約0.5時間）。
- ほぼ毎週行われる小テストの成績は配点が大きいので十分に準備して臨むこと（1コマあたり約40分）。

中国語

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	組	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/4(水)	1	A	単母音, 声調, 子音	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/9/4(水)	2	B					
2024/9/11(水)	1	A	複母音, 声調のつけ方, 鼻母音, r化音	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/9/11(水)	2	B					
2024/9/18(水)	1	A	声調の変化, ピンインの復習, 中国語辞書の使い方, 中国語の入力法	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/9/18(水)	2	B					
2024/9/25(水)	1	A	第6課の単語・本文	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/9/25(水)	2	B					
2024/10/2(水)	1	A	第6課の文法・練習問題	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/10/2(水)	2	B					
2024/10/9(水)	1	A	第7課の単語・本文	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/10/9(水)	2	B					
2024/10/16(水)	1	A	第7課の文法・練習問題	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/10/16(水)	2	B					
2024/10/30(水)	1	A	第8課の単語・本文	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/10/30(水)	2	B					
2024/11/6(水)	1	A	第8課の文法・練習問題	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/11/6(水)	2	B					
2024/11/13(水)	1	A	第9課の単語・本文	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/11/13(水)	2	B					
2024/11/20(水)	1	A	第9課の文法・練習問題	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/11/20(水)	2	B					
2024/11/27(水)	1	A	最近の翻訳アプリ, 翻訳機などの紹介, メディカルハンドブック・実践練習	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/11/27(水)	2	B					
2024/12/4(水)	1	A	総復習	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講
2024/12/4(水)	2	B					
2024/12/11(水)	1	AB	定期試験	—	非常勤講師	李 恩郷	204 講

(2) 講義の方法

基本的な文字の読み方と、発音練習を授業内で繰り返し行う。また文法等の演習課題を行うことと、理解のポイントについての解説が授業の中心となる。少人数できめ細かい語学指導を行う。授業には、教科書と前週までのハンドアウトを持参すること。なおAB組の分け方は他の科目の分け方とは一致しないので注意すること。

(3) 講義の内容

中国語を初めて学修するための初中級向けの授業内容である。課題と解説を通じて発音、語彙、文法、重要表現の基本を身につける。授業中は、間違ふことを恐れずに、積極的に声に出して発音練習をするが重要である。発音、語彙、文法の理解については、学生の理解度を確認しながら調整して解説を進めていく。また、疑問点や確認したいことがあれば、その都度、積極的に質問することを推奨する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
平田亜紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階B201研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
李 恩郷	非常勤講師	愛知医科大学 非常勤講師	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

韓 国 語

【単位数：1単位，授業13コマ】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授(外国語)

科目担当者

朴 成柱(非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい (I-2-c, I-5-c, II-1-c, II-2-c)

- ① コアコンピテンスの「他者の多様な価値観を尊重できる」，「患者と家族の心理・社会的背景を理解し，全人的に対応できる」，「患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる」ために，また「心理・生活・文化的背景を適切に把握するための，支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる」ようになるために，外国語でのコミュニケーション能力を高めるとともに，異文化に対する理解を深める。
- ② 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響(コミュニケーションの在り方等)が理解できるようになる。

(2) 学修目標

- ① 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し，柔軟に対応できる。
- ② 良好な人間関係を構築するために必要なスキルとして，開講される外国語を母語とする患者へ簡単な挨拶や声かけをすることができる。
- ③ 言語・文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。
- ④ ハングルを習得し，テキストの読解を通して語彙力を身につけ，韓国語で書かれた簡単な文を理解できる。
- ⑤ 旅行によく使われる表現など，実際の場面で役に立つ基本的な会話を行うことができる。
- ⑥ 日本の文化との対比から隣国である韓国の文化を理解し，文化の多様性や多様な価値観を尊重できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
平常点	○	40%	語彙・文法の練習問題，実技試験，提出物など
定期試験	○	60%	記述式の筆記試験
態度	○	—	受講態度不良の場合は10%までの減点となる。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を実施する。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

毎回の小テストとレポートに対する解説は授業中に随時行なっていく。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
三訂版 パランセ韓国語初級	金京子/喜多恵美子	朝日出版社	韓国語を学習する初学者に適した内容であるため。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
韓国朝鮮語初級テキスト ことばの架け橋 (말의 가교) (改訂版)	生越直樹/曹喜徹	白帝社	韓国語を学ぶのに必要な文法が丁寧に解説されているため。

6 準備学習（予習・復習）

- 予習は求められないが、復習は重要である。授業時間内にやり残した課題や十分に理解できなかったところは、復習しておくこと。それでも不明なことがある場合は、早めに質問をすること。
- 語彙については、こまめに復習し、習得の機会を増やすことが重要である(1コマあたり約0.5時間)。
- ほぼ毎週行われる小テストの成績は配点が大きいので十分に準備して臨むこと(1コマあたり約40分)。

韓国語

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	組	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/4(水)	1	A	オリエンテーション	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/9/4(水)	2	B	韓国語ってどんな言葉？				
2024/9/11(水)	1	A	第1課 私の名前は○○です。	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/9/11(水)	2	B	母音字(1), 母音字(2)				
2024/9/18(水)	1	A	第2課 学生ではありません	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/9/18(水)	2	B	子音字(1), 子音字(2): 有声音化				
2024/9/25(水)	1	A	第3課 携帯の番号は何番ですか？	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/9/25(水)	2	B	子音字(3): 激音, 子音字(4): 濃音				
2024/10/2(水)	1	A	第4課 私の辞書は家にあります	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/10/2(水)	2	B	母音字(3), パッチム				
2024/10/9(水)	1	A	第5課 誕生日はいつですか	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/10/9(水)	2	B	発音のルール, 日本語のハングル表記				
2024/10/16(水)	1	A	第6課 私より2歳年下です	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/10/16(水)	2	B	固有数詞, 名詞文とその否定				
2024/10/30(水)	1	A	第7課 授業は何時に終わりますか？	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/10/30(水)	2	B	時を表す表現				
2024/11/6(水)	1	A	第8課 日本語学校には行かないのですか？	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/11/6(水)	2	B	予定の表現				
2024/11/13(水)	1	A	第9課 「マンドゥ」がお好きですか？	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/11/13(水)	2	B	丁寧形の語尾				
2024/11/20(水)	1	A	第10課 秀民と一緒に一度来てください	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/11/20(水)	2	B	-해요体の終結語尾				
2024/11/27(水)	1	A	第11課 来年の春にまた来たいです	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/11/27(水)	2	B	希望表現, 過去形				
2024/12/4(水)	1	A	まとめと練習問題	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講
2024/12/4(水)	2	B					
2024/12/11(水)	1	AB	定期試験	—	非常勤講師	朴 成柱	203 講

(2) 講義の方法

基本的な文字の読み方と、発音練習を授業内で繰り返し行う。また文法等の演習課題を行うことと、理解のポイントについての解説が授業の中心となる。少人数できめ細かい語学指導を行う。授業には、教科書と前週までのハンドアウトを持参すること。なおAB組の分け方は他の科目の分け方とは一致しないので注意すること。

(3) 講義の内容

韓国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて韓国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
平田亜紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階 B201 研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
朴 成柱	非常勤講師	名古屋大学	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

ド イ ツ 語

【単位数：1単位，授業 13コマ】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授(外国語)

科目担当者

中川拓哉(非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c, I-5-c, II-1-c, II-2-c)

- ① コアコンピテンスの「他者の多様な価値観を尊重できる」，「患者と家族の心理・社会的背景を理解し，全人的に対応できる」，「患者・家族・医療チームメンバー・住民・社会と良好な関係を構築できる」ために，また「心理・生活・文化的背景を適切に把握するための，支持的・共感的なコミュニケーションをとることができる」ようになるために，外国語でのコミュニケーション能力を高めるとともに，異文化に対する理解を深める。
- ② 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響(コミュニケーションの在り方等)が理解できるようになる。

(2) 学修目標

- ① 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し，柔軟に対応できる。
- ② 良好な人間関係を構築するために必要なスキルとして，開講される外国語を母語とする患者へ簡単な挨拶や声かけをすることができる。
- ③ 言語・文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。
- ④ 「読む」「書く」「聞く」「話す」というドイツ語の4技能を培い，ドイツ語で簡単なコミュニケーションをとることができる。
- ⑤ ドイツの文化についての理解を深めることで，日本文化にはない多様な価値観を尊重できる。
- ⑥ 基礎的な文法の習得に加え，ペアワーク，グループワーク，プレゼンテーションといった実践的な練習を通じて，自身で試行錯誤しながら行うコミュニケーション力を身につける。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
平常点	○	40%	AIDLE-Kを通じて各回の課題・小テスト・音読練習など。
定期試験	○	60%	記述式の筆記試験(一部多肢選択問題を含む)
態度	○	—	受講態度不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験を実施する。60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

毎回の小テストとレポートに対する解説は授業中に随時行なっていく。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
つながるドイツ語みっとりーベ	中村 修 中川拓哉 大澤タカコ	朝日出版社	ドイツ語を学習する初学者に適した内容とレベルである。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ドイツ語学習用インターネットサイト Deutsche Welle https://learngerman.dw.com/en/beginners/s-62078399			ドイツが提供している。レベルに応じた様々なコンテンツがある。ページの言語は英語だが平易に書かれている。

6 準備学習（予習・復習）

- 予習は求めないが、復習は重要である。授業時間内にやり残した課題や十分に理解できなかったところは、復習しておくこと。それでも不明なことがある場合は、早めに質問をするように。
- 語彙については、こまめに復習し、習得の機会を増やすことが重要である(1コマあたり約0.5時間)。
- ほぼ毎週行われる小テストの成績は配点が大きいので十分に準備して臨むこと(1コマあたり約40分)。

ドイツ語

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	組	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/4(水)	1	A	アルファベート, 発音: 日本の中のドイツ語, 基本のあいさつ ドイツの基礎知識	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/9/4(水)	2	B					
2024/9/11(水)	1	A	動詞の人称変化: 人称代名詞, 動詞の現在人称変化, 疑問文の作り方	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/9/11(水)	2	B					
2024/9/18(水)	1	A	動詞の人称変化: sein, 自己紹介	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/9/18(水)	2	B					
2024/9/25(水)	1	A	動詞の人称変化: haben, 名詞の性と格 ①: 定冠詞	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/9/25(水)	2	B					
2024/10/2(水)	1	A	名詞の性と格②: 不定冠詞	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/10/2(水)	2	B					
2024/10/9(水)	1	A	代名詞の格変化, 3 人称代名詞の使い分け	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/10/9(水)	2	B					
2024/10/16(水)	1	A	名詞の性と格③: 所有冠詞	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/10/16(水)	2	B					
2024/10/30(水)	1	A	数字, 時間表現, 数字, 月, 曜日	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/10/30(水)	2	B					
2024/11/6(水)	1	A	助動詞①: 話法の助動詞	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/11/6(水)	2	B					
2024/11/13(水)	1	A	過去の表現: 現在完了	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/11/13(水)	2	B					
2024/11/20(水)	1	A	過去の表現: 過去形	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/11/20(水)	2	B					
2024/11/27(水)	1	A	ドイツ語で手紙を書く	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/11/27(水)	2	B					
2024/12/4(水)	1	A	学習内容のまとめ	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講
2024/12/4(水)	2	B					
2024/12/11(水)	1	AB	定期試験	—	非常勤講師	中川拓哉	205 講

(2) 講義の方法

基本的な文字の読み方と、発音練習を授業内で繰り返し行う。また文法等の演習課題を行うことと、理解のポイントについての解説が授業の中心となる。きめ細かい語学指導を行う。授業には、教科書と前週までのハンドアウトを持参すること。なおAB組の分け方は他の科目の分け方とは一致しないので注意すること。

(3) 講義の内容

ドイツ語を初めて学修するための初中級向けの授業内容である。課題と解説を通じて発音、語彙、文法、重要表現の基本を身につける。授業中は、間違ふことを恐れずに、積極的に声に出して発音練習をするが重要である。発音、語彙、文法の理解については、学生の理解度を確認しながら調整して解説を進めていく。また、疑問点や確認したいことがあれば、その都度、積極的に質問することを推奨する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
平田亜紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階 B201 研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
中川拓哉	非常勤講師	—	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

初年次医科学セミナー

【単位数：1.5単位，授業23コマ】

1 科目責任者

宮本 淳 教授(心理学)

2 教育目標

(1) ねらい (I-6-c, I-7-c, I-8-c, II-3-c, III-1-c, III-10-c, IV-5-c)

- ① コアコンピテンスの「医学的知識」の概念を理解し「科学的探究心」を涵養するために、人文・社会・自然科学的事象を多角的に捉え、自分の力で課題を発見し、自己学習で問題解決するための能力を獲得する。演習等を通して、「コミュニケーション」における効果的な協働のために、相手に応じて適切な方法で情報の収集・集約・伝達を行うための基本的な技能・態度を習得する。
- ② 少人数セミナー単位での学修から、生涯にわたって共に学ぶ姿勢や学び続ける価値観を培う。医学生に相応しい教養を身につける。

(2) 学修目標

- ① 必要な課題を自ら発見できる。
- ② 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。
- ③ 課題を解決する具体的な方法を発見し、解決できる。
- ④ 課題の解決に当たり、他の学生や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。
- ⑤ 適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
- ⑥ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
態度	○	50%	授業における様々な活動への参加・取組の状況进行评估する。
その他	○	50%	授業内外でのレポート課題、プレゼンテーション等の発表授業の成果などを評価する。

出席：単位修得のためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

評価は各セミナーで行われる。各セミナーの評価方法とその割合はガイダンスで説明される。

(2) 合格基準

定期試験は行わない。

各担当教員が評価し、評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

各担当教員の指示に従う。

100点満点で評価し、60点以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

課題や発表授業における教員からのフィードバックは、その都度、講義演習中に行われる。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
各担当者が適宜指示する。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
各担当者が適宜指示する。			

6 準備学習（予習・復習）

毎週の授業内容は各担当からあらかじめ指示されるので、それに従って事前準備を行うこと（1コマあたり約0.5時間）。

初年次医科学セミナー

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用予定教室					
2024/4/16(火)	5	(前期:各教員のテーマは以下の通りである。 下記テーマのうちから選択受講をする。)									
2024/4/23(火)	5										
2024/4/30(火)	5										
2024/5/7(火)	5										
2024/5/21(火)	5										
2024/6/4(火)	5										
2024/6/11(火)	5										
2024/6/18(火)	5										
2024/6/25(火)	5						・体験から学ぶ心理学	心理学	教授	宮本 淳	201 講 203 講
2024/7/2(火)	5						・臨床につながる基礎医学演習	生物学	教授	武内恒成	204 講
2024/7/9(火)	5						・数理とデータサイエンスと AI	数学	教授(特任)	橋本貴宏	205 講
2024/7/9(火)	5						・物理を楽しむ	物理学	教授(特任)	仙石昌也	303 講
2024/9/3(火)	5						・有機化学を楽しもう	化学	教授(特任)	有信哲哉	304 講
2024/9/3(火)	5						・生命科学の最前線	生物学	教授(特任)	池野正史	305 講
2024/9/10(火)	5						・科学番組を題材とした物理	物理学	准教授	山下敏史	N211
2024/9/17(火)	5						・「ことば」から考えるコミュニケーション	外国語	准教授	平田亜紀	マルチA
2024/9/17(火)	5	・現代の問題を考える倫理学	哲学	講師	川崎 優	マルチB					
2024/9/24(火)	5	・英米小説から学ぶディスカッションの基礎	外国語	助教	小川恭佑	物理実 化学実					
2024/10/1(火)	5	(後期は、各教員が融合し学際的なテーマを設定して進行する合同セミナーを行う場合もある。)									
2024/10/8(火)	5										
2024/10/15(火)	5										
2024/10/29(火)	5										
2024/11/5(火)	5										
2024/11/12(火)	5										
2024/11/19(火)	5										
2024/11/26(火)	5										

(2) 講義の方法

セミナーの割り振りは、ガイダンスでの希望調査に基づいた上、人数調整を経て行う。毎週のセミナーでは、各担当教員のもと、ねらいに沿って少人数教育を行う。

(3) 講義の内容

具体的な1年間の授業内容は各担当教員から提示される。原則、前期は各教員の専門性に基づいた単独セミナーを行う。後期は複数のセミナーが融合し、複数の専門領域にまたがる学際的な合同セミナーを行う場合もある。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
宮本 淳	教授	心理学	3号館基礎科学棟 2階B216研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
川崎 優	講師	哲学	3号館基礎科学棟 2階B203研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
橋本貴宏	教授(特任)	数学	3号館基礎科学棟 2階B202研究室	毎週金曜日 17:00～18:30
仙石昌也	教授(特任)	物理学	3号館基礎科学棟 2階B205研究室	毎週火・金曜日 16:30～18:00
山下敏史	准教授	物理学	3号館基礎科学棟 2階B209研究室	毎週火・金曜日 16:30～18:00
有信哲哉	教授(特任)	化学	3号館基礎科学棟 1階B105化学研究室	毎週火・水曜日 12:40～13:30
武内恒成	教授	生物学	3号館基礎科学棟 2階B213研究室	毎週月曜日 16:00～18:00
池野正史	教授(特任)	生物学	3号館基礎科学棟 2階B208研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
平田亜紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階B201研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
小川恭佑	助教	外国語	3号館基礎科学棟 2階B210研究室	毎週火曜日 16:30～17:30

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

自然科学演習（物理学）

【単位数：0.5単位，授業11コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

仙石昌也 教授（特任）（物理学）

科目担当者

山下敏史 准教授（物理学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-1-c）

- ① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”に関し，“医学的発見の基礎”となってきた物理学における“科学的理論と方法論”を学ぶうえで必要な基礎的事項について，討論や演習問題を通して考え方を身につける。
- ② 高校での物理非選択者，入試での物理非選択者が，高校の物理で学習する内容のうち力学，電気を中心に，医用物理学でこの分野における講義内容の不足を補う。

（2）学修目標

- ① 様々な自然現象を物理学の観点から説明できる。
- ② 様々な自然現象を理解するために必要な物理量の定義，意味等を説明できる。
- ③ 物体に働く力と運動，電気に関する様々な現象を学び，それらを支配する基本的な法則，原理を説明できる。そして，それらの法則を適用して様々な問題を解くことができる。
- ④ 演習問題の結果を実際の現象と関連づけることができる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	50%	記述式を原則とし，答えに至る過程も重視する。
小テスト	○	30%	記述式を原則とし，答えに至る過程も重視する。
その他	○	20%	課題や演習，提出物等への取り組みに関して評価する。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10%を上限として減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

（4）課題（試験やレポート）へのフィードバック

演習問題や小テストの解答例をAIDLE-Kに公開し，理解が不十分な項目を自分で把握し，自己学習により解決できるようにする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医歯系の物理学 第二版	赤野松太郎 鮎川武二 藤城敏幸 村田浩	東京教学社	一般教養としての物理学の基礎事項を広くカバーし、さらに人体や医学への応用例が豊富に掲載されている。 医用物理学の教科書。

6 準備学習（予習・復習）

- 初回を除き、講義前に、AIDLE-Kに公開される自習用の講義スライド及び教科書の該当箇所を予習し、理解しておく。あるいは理解できていない項目を明らかにしておく（1コマあたり約0.5時間）。
- 毎回の講義内容を復習し、「分かったこと」と「まだ分からないこと」をそれぞれ書き出す（1コマあたり約0.5時間）。物理では、以前に学んだことを基に新しい概念を順次導入していくため、毎回の講義を理解していくことが重要である。
- AIDLE-Kに公開される演習問題や振り返りの問題のうち、学習した範囲の問題を解き、理解度を確認する（1コマあたり約1時間）。

自然科学演習（物理学）

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/16(火)	4	講義概要, 事前理解度チェック, 数学の復習 (有効数字, 微分・積分, ベクトル)	物理学 物理学	教授(特任) 准教授	仙石昌也 山下敏史	204 講
2024/4/23(火)	4	運動の記述(単位, 座標, 速度・加速度)	物理学	准教授	山下敏史	204 講
2024/4/30(火)	4	ニュートンの運動法則(慣性・運動・作用反作 用の法則)	物理学	准教授	山下敏史	204 講
2024/5/7(火)	4	運動の例①(等速度運動, 等加速度運動)	物理学	准教授	山下敏史	204 講
2024/5/21(火)	4	小テスト, 運動の例②(円運動, 単振動)	物理学	准教授	山下敏史	203 講
2024/6/4(火)	4	運動法則の応用例(摩擦力, 慣性力), 運動 の勢い(運動量, 運動エネルギー, 仕事)	物理学	准教授	山下敏史	204 講
2024/6/11(火)	4	エネルギー保存則(位置エネルギー, 保存 力, 力学的エネルギー)	物理学	准教授	山下敏史	204 講
2024/6/18(火)	4	運動量保存則(力積, 衝突現象)	物理学	准教授	山下敏史	204 講
2024/6/25(火)	4	剛体(質点系, 重心, トルク, 剛体のつり合 い)	物理学	准教授	山下敏史	204 講
2024/7/2(火)	4	静電気(クーロンの法則, 電場)	物理学	准教授	山下敏史	204 講
2024/7/9(火)	4	生体電気現象(電位, コンデンサー)	物理学	准教授	山下敏史	204 講
2024/7/23(火)	3	定期試験	物理学	教授(特任)	仙石昌也	203 講

（2）講義の方法

初回を除き, AIDLE-Kに公開される自習用スライドの内容の確認を知識伝達型の講義で行った後, いくつかの問題を解く。時間に余裕があれば, 小グループに分かれて討論を行う。

（3）講義の内容

物理学は, 一見複雑に見える自然現象に共通する法則を見抜き, それを少数の簡単な基本原理から導出し, 理解する学問である。その手法の本質は, 現象をよく観察しよく考えること(具眼考究)にあり, 公式を暗記し当てはめるだけではなく, その「考え方」を身に付けることを目指す。

医用物理学と同様に, 高校物理では用いられなかった微積分やベクトル等の数学を用いるため, 初回に必要な数学知識を復習した後, 質点の運動から剛体の回転運動, その後電気現象について学習する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
仙石昌也	教授(特任)	物理学	3号館基礎科学棟 2階B205研究室	毎週火・金曜日 16:30～18:00
山下敏史	准教授	物理学	3号館基礎科学棟 2階B209研究室	毎週火・金曜日 16:30～18:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

自然科学演習（化学）

【単位数：0.5単位，授業11コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

有信哲哉 教授（特任）（化学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-1-c）

- ① コンピテンスの「医学的知識と科学的探求心」に沿って，医学的発見の基礎となる科学的論理と方法論を説明できるように，有機化学の基礎を体系的に学ぶ。
- ② 生命現象を理解するための化学的な考え方を身につける。

（2）学修目標

- ① 有機化合物の立体構造を説明できる。
- ② 重要な有機化合物の構造・性質・反応性を説明できる。
- ③ 生体を構成する分子の構造的特徴について述べることができ，その役割を説明できる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式と多肢選択問題とする。
その他	○	30%	課題や演習，提出物などの取り組みに関して評価する。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は，最大10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

評価対象項目の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格）。

（4）課題（試験やレポート）へのフィードバック

演習問題の解答例を公開し，理解が不十分な部分については自分で把握し，自己学習により解決できるようにする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
配付プリント等			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Primary 大学テキスト これだけはおさえたい化学	井口洋夫 他	実教出版	高等学校で化学が未履修の学生にとっては，とてもわかりやすく書かれている。

6 準備学習（予習・復習）

毎回講義前後に，予習（1コマあたり50分）・復習（1時間）を行うこと。また，講義で扱った内容の演習問題を解き，理解を深めること。

自然科学演習（化学）

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/16(火)	4	物質の構造, 電子配置	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/4/23(火)	4	周期表, 化学結合, 分子間相互作用	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/4/30(火)	4	極性と分子の形, VSEPR則, 結合角	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/5/7(火)	4	有機化学の基礎, 官能基, 異性体, 骨格構造式	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/5/21(火)	4	アルカンと立体配座	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/6/4(火)	4	シクロアルカンと立体配座(いす形・舟形)	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/6/11(火)	4	アルケン, アルキン, 付加反応	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/6/18(火)	4	アルコール, エーテル, アルデヒド, ケトン	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/6/25(火)	4	カルボン酸, エステル	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/7/2(火)	4	芳香族化合物, 置換基と配向性, 求電子置換反応	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/7/9(火)	4	油脂, 糖類, アミノ酸	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研
2024/7/23(火)	3	定期試験	化学	教授(特任)	有信哲哉	化学研

（2）講義の方法

少人数の講義であるため, 学生との質疑応答を頻繁に行い, 学生の理解度を確認しながら講義を進めていく。講義中に学生自身が分子模型を組み立てることで, 分子の安定性や反応性について自ら考えてもらう。

（3）講義の内容

高校における履修状況は多種多様であり, 必ずしも化学の全分野を履修してきていない場合がある。医学・生化学を学んでいく上で, 有機化学に関する知識は必須である。この分野の理解をより確実なものとするために, 有機化合物の構造, 物理化学的性質, 反応機構などを提示しながら, 化学現象の根底にある原理や法則性を見出す能力が身につくように講義を進めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
有信哲哉	教授(特任)	化学	基礎科学棟B105 化学研究室	毎週火・水曜日 12:40~13:30 (その他は問い合わせを)

※ 質問等については, 講義終了後, 又は, Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には, オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師, 客員教授, 名誉教授に Email で質問したい場合は, 科目責任者に連絡先を問合せること。

自然科学演習（生命科学・生物学）

【単位数：0.5単位，授業11コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

武内恒成 教授（生物学）

科目担当者

池野正史 教授（特任）（生物学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-1-c, Ⅲ-2-c, Ⅲ-3-c, Ⅲ-9-c）

- ① “医学知識と科学的探究心”のコンピテンスに沿って，医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できるよう，生命科学（医学のベースとなる生命科学・生物学）の考え方や基礎知識を得る。
- ② とくに生物学を履修してこなかった学生に対して，生命科学的観点と知識で医学をとらえることができるように，さらに，分子解析や生物物理の観点で現代生命科学は成り立っていることを理解する。

（2）学修目標

- ① 細胞の全体像を図示し，その構造及び機能，観察法を説明できる。
- ② ゲノム・染色体・遺伝子について概説できる。特にDNA/RNAの構造と塩基相補性の重要性を説明できる。
- ③ タンパク質の構造とアミノ酸組成，その1～4次構造の化学的裏付け，細胞生物学的重要性を機能と合わせて概説できる。
- ④ 生体分子の概要と，アミノ酸・核酸・脂質などと水分子の相関，疎水親水性などの理論を説明できる。
- ⑤ タンパク質の構造化学の重要性と，そこから導かれる酵素の基本概念を説明できる。
- ⑥ Mendel 遺伝，ミトコンドリア遺伝，インプリンティングと多因子遺伝について概説できる。
- ⑦ 生体物質と代謝の動態を概説できる。関連する酵素の構造と機能，反応速度論について概説できる。
- ⑧ 細胞骨格・細胞膜などの構造機能を概説できる。
- ⑨ 生体内物質の基礎と化学的成り立ち，タンパク質・脂質・核酸の構造機能を概説できる。
- ⑩ 生物化学と生物物理学的側面からのさまざまな先端生命科学の方法とその応用を列記できる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	多肢選択問題（マークシート）と記述問題を50%ずつ用いる。図示や概念図を記載するものを多用する。
レポート	○	30%	都度教科書に沿ったレポートを課すので，その提出（AIDLE-K利用での提出を求める）と取り組みを評価する。講義中あるいは途中での簡易小テストや提出（AIDLE-Kによる作業が中心となる）の結果もレポート配点として加味する。
態度	○	—	態度不良の場合には総合成績から上限10%まで減点をする場合もある。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。レポートの取り組みや途中の課題の成績が不良の場合，さらにレポートなどの課題をレポート評価点として課すこともある。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

- 積極的なAIDLE-Kでの資料及び動画の視聴・課題確認を怠らずに進めるよう留意すること。AIDLE-Kとeポートフォリオにおいてのフィードバックを行うので、頻繁な確認とともに備えること。この取り組みについてはレポート評価とともに進めて、不備が見られる場合にはAIDLE-Kなどを通して、連絡フィードバックを行う。
- レポート課題や評価、あるいは講義中に出した課題の内容や総括をAIDLE-Kあるいは学内メールで配信する。
- 講義の内容は全て教科書を中心に進めるので、教科書の積極的利用とその結果としてのレポートなどの提出は積極的に進めること。都度、課題と評価についてはAIDLE-Kなどを通してフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
『Essential 細胞生物学』第5版(日本語版)	B Alberts 他 著 中村桂 子他監訳	南江堂	世界的に最もベーシックかつ広く使われる「細胞の分子生物学 Molecular Biology of the Cell」の簡易版。優れた教科書であり、内容も網羅されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
『現代生命科学 第2版』	東京大学生命科学教科書編集委員会	羊土社	多くの大学において、生物学未履修者に対する入門用生命科学テキストとして定番として利用される。最新の知見も盛り込まれており、読み物としても興味深い。昨年までは教科書として利用していた。
『理系総合のための生命科学 第4版』	東京大学生命科学教科書編集委員会	羊土社	東大における英知を詰め込んだ絶妙な教科書で定評がある。最新の知見も盛り込まれ、深く読み込むほどに高度の知識がある(一昨年までの「細胞生物学」科目の教科書であった)。
好きになる分子生物学	萩原清文	講談社サイエンティフィク	簡易かつイラストも多用して基本的知識を整理している。項目ごとになっており使いやすい。
『大学生物学の教科書』第1巻・細胞生物学	D・サダファ 著 石崎泰樹, 丸山敬監訳	講談社 ブルーバック ス	アメリカにおける代表的なテキストの翻訳かつ小判で扱いやすい。広く受け入れられている教科書であり、お勧め。
『大学生物学の教科書』第2巻・分子生物学	D・サダファ 著 石崎泰樹, 丸山敬監訳	講談社 ブルーバック ス	内容は簡潔かつ扱いやすい。生物未履修者にはとても扱いやすい内容となっている。
『視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録』	鈴木孝仁 監修	数研出版	基本を見直すためには最善の書籍。高校レベルの必要な知識が網羅されている。生物未履修者には必須。

6 準備学習（予習・復習）

- 教科書「Essential 細胞生物学」の該当項目の概略、イメージ図、本文などを一読し、あらかじめ個人の理解度確認と内容の把握に勤める（1コマあたり約20分）。
- 教科書とAIDLE-Kにアップされた資料を中心に内容の再確認とまとめを行う。教科書に準拠して進めるため該当箇所の確認と都度の一読を求める。AIDLE-Kに質問や課題が提示されていた場合には必ず答え、フィードバックすること（1コマあたり約0.5時間）。
- 「細胞生物学」科目の教科書である「人体の細胞生物学」の同項目同領域を必ず確認して、相関をおさえておくこと。次回の講義とともに細胞生物学の講義に備えること（1コマあたり約0.5時間）。

自然科学演習（生命科学・生物学）

7 授業計画

（1） 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/16(火)	4	生命の基本単位, 細胞小器官	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/4/23(火)	4	タンパク質の構造と機能, 膜の構造, 細胞骨格	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/4/30(火)	4	分子遺伝学の基礎, セントラルドグマ	動物実験	准教授	松下夏樹	303 講
2024/5/7(火)	4	細胞の分裂, DNA の複製	動物実験	准教授	松下夏樹	303 講
2024/5/21(火)	4	遺伝子発現1・転写	動物実験	准教授	松下夏樹	303 講
2024/6/4(火)	4	遺伝子発現2・翻訳と修飾	動物実験	准教授	松下夏樹	303 講
2024/6/11(火)	4	遺伝子発現の調節	動物実験	准教授	松下夏樹	303 講
2024/6/18(火)	4	有性生殖・減数分裂・遺伝	動物実験	准教授	松下夏樹	303 講
2024/6/25(火)	4	遺伝の様式・伴性遺伝, 遺伝性疾患	動物実験	准教授	松下夏樹	303 講
2024/7/2(火)	4	代謝と生体エネルギー生産	研究創出C	准教授	服部聡子	303 講
2024/7/9(火)	4	振り返りと演習	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/7/23(火)	3	定期試験	生物学	教授	武内恒成	101 講

（2） 講義の方法

- 講義を中心とするが、AIDLE-Kを利用した動画及び資料解説やAIDLE-Kあるいはクリッカーを用いた双方向性の講義を導入する。
- 小グループでの討論とアクティブ・ラーニングとともに、簡易小テストやAIDLE-Kでの回答や振り返り及び講義後のAIDLE-Kでの課題提出を求めながら進めるので留意すること。
- 主には大教室での知識伝達型の講義を前半に、後半は教科書を利用した積極的な自学を進めてもらうために、課題解決や当該科目の教科書と「細胞生物学」の教科書との連携を図るための調べ(レポート)などの取り組みとグループでの分担検索などのアクティブ・ラーニング(AL)を行う。
- 今後の他科目の修得のためにも、教科書の徹底した利用を積極的に行うことを求める。
- 動画資料の視聴やAIDLE-Kでの振り返り、課題などの共有のために、コンピュータ・タブレットの情報機器の講義持ち込みを必須とする(ただし講義使用以外は許可しない、受講態度として評価することもある)。

(3) 講義の内容

現代生命科学は、分子細胞生物学を中心として進み、情報科学や工学技術を取りこんだ劇的な進展を遂げている。分子生物学は、物理学的側面の生物物理学をその黎明期から基盤として展開し、もはや化学的解析を超えた理論科学や物理的解析を必要としている。これら知見や技術は様々な臨床応用にもつながっている。

タンパク質・核酸・脂質の振る舞いは、生物物理学的な解析からの分子の構造(形)及び振る舞いに立脚していること、その統合として成り立つ細胞はシステム生命科学として理論的な解釈が進められている。さらに高次の臓器・器官も統合的な理解が進んでいる。そのための解析の技術の一端を意識しながら、生命科学を統合的な学問としてみるために、「細胞生物学」やその後の基礎医学をトータルに捉えて理解するために必要最低限の知識を得てもらうことを目標とする。当科目だけで完結するものではなく、常に「細胞生物学」の科目内容とその教科書などと相互に補完するものであることを強く意識して学修することを求める。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
武内恒成	教授	生物学	3号館基礎科学棟 2階B213研究室	毎週月曜日 16:00～18:00
池野正史	教授(特任)	生物学	3号館基礎科学棟 2階B208研究室	毎週火曜日 15:00～17:00
松下夏樹	准教授	総合医学研究機構 動物実験部門	5号館1階 動物実験部門	毎週月曜日 16:00～18:00
服部聡子	准教授	研究創出支援センター	2号館研究棟2階 研究創出支援センター	毎週月曜日 16:00～18:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

哲学と医療

【単位数：1単位，授業13コマ】

1 科目責任者

川崎 優 講師(哲学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c)

- ① コアコンピテンスである「プロフェッショナリズム」の「他者の多様な価値観を尊重できる」ようになるため、哲学・倫理を通して学ぶ。
- ② 倫理的問題についての対話をとおして多様な価値観を学び，尊重できる。
- ③ 哲学的議論について批判的に検討する力を身につける。

(2) 学修目標

- ① 医療技術の進歩がどのような倫理的問題をもたらしているか説明できる。
- ② 遺伝子操作やエンハンスメントをめぐる哲学的議論を説明できる。
- ③ 遺伝子操作やエンハンスメントに対する自分の考えを論理的に説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小レポート	○	100%	毎回の講義で提出するリアクションペーパーの内容を評価する。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，10%を限度に減点をする。

出席：単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

リアクションペーパーの内容に対して，授業の中でフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
完全な人間を目指さなくてもよい理由—遺伝子操作とエンハンスメントの倫理	マイケル・サンデル	ナカニシヤ出版	遺伝子操作やエンハンスメントをめぐる倫理についてわかりやすく述べられている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
人間(改良)の倫理学—合理性と遺伝的難問	マッティ・ハユリュ	ナカニシヤ出版	授業内で扱う遺伝子操作をめぐるトピックについて，より具体的な哲学的議論が詳説されている。

6 準備学習(予習・復習)

教科書の該当箇所を読んで予習・復習を行うこと。(1コマあたり約1時間)。

哲学と医療

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/4(水)	1	ガタカの世界①	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/9/4(水)	3					304 講
2024/9/11(水)	1	ガタカの世界②	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/9/11(水)	3					304 講
2024/9/18(水)	1	エンハンスメントの倫理①	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/9/18(水)	3					304 講
2024/9/25(水)	1	エンハンスメントの倫理②	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/9/25(水)	3					304 講
2024/10/2(水)	1	サイボーグ選手①	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/10/2(水)	3					304 講
2024/10/9(水)	1	サイボーグ選手②	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/10/9(水)	3					304 講
2024/10/16(水)	1	設計される子ども, 設計する親①	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/10/16(水)	3					304 講
2024/10/30(水)	1	設計される子ども, 設計する親②	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/10/30(水)	3					304 講
2024/11/6(水)	1	新旧の優生学①	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/11/6(水)	3					304 講
2024/11/13(水)	1	新旧の優生学②	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/11/13(水)	3					304 講
2024/11/20(水)	1	支配と贈与①	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/11/20(水)	3					304 講
2024/11/27(水)	1	支配と贈与②	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/11/27(水)	3					304 講
2024/12/4(水)	1	胚の倫理	哲学	講師	川崎 優	305 講
2024/12/4(水)	3					304 講

(2) 講義の方法

講義以外にも討論・質疑応答などの対話型講義方法を導入する。

(3) 講義の内容

はじめに映画「ガタカ」を視聴することで、遺伝子操作やエンハンスメントが発展した世界のイメージを共有する。その後、教科書の読解や意見交換をとおして、遺伝子操作やエンハンスメントをめぐる哲学的議論への理解を進めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
川崎 優	講師	哲学	3号館基礎科学棟 2階B203研究室	毎週火曜日 16:10~17:20

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

経 済 と 医 療

【単位数：1単位，授業13コマ】

1 科目責任者

橋本貴宏 教授(特任)(数学)

科目担当者

石田昌夫(非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c)

- ① コアコンピテンスである「プロフェッショナリズム」の「他者の多様な価値観を尊重できる」ようになるため、経済学の視点を通して学ぶ。
- ② 現代の世界が直面する様々な問題を、他者の多様な価値観を含めて経済の側面から考察する。経済学の歴史を概観し、経済学のものごころの考え方を理解する。
- ③ 日本及び世界の経済に起きている経済問題の概要を把握するとともに、問題解明のための方法論を学習する。
- ④ 学習した内容に基づき、問題解決の方途を探究する。

(2) 学修目標

- ① 日常の経済問題の正しい意味を深い水準で説明できる。
- ② 今日の経済が抱えている主要な課題の解決策を考察し、説明できる。
- ③ ミクロ経済学とマクロ経済学の考え方を説明することができる。
- ④ 市場での自由な経済活動の成果と限界とを述べることができる。
- ⑤ 自由経済の中に強制力を伴う政府が存在する意味が説明できる。
- ⑥ 経済的厚生を高めるための、政府の果たすべき役割とその手段を説明できる。
- ⑦ 医療の経済的側面について、主な論点を述べることができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小テスト	○	100%	講義内容の理解確認のため、簡単な小テストを行う(4回)。
態度	○	—	受講態度が不良な場合は、10%を限度に減点する。

出席：単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験はレポートを課す(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

講義内で詳しく説明する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ゼミナール日本経済入門	三橋規宏 他	日本経済 新聞出版社	日本経済の主要課題が詳説されている。
スタンダードマイクロ経済学	竹内信仁 他	中央経済社	講義の内容をより深く理解できる。

6 準備学習（予習・復習）

- ① 講義に臨むに当たり、日頃から新聞・雑誌・ネットなどの経済に関する記事をよく読んでおくこと。
- ② 講義内容を十分理解し、再確認したうえで、次回の講義に出席する（1コマあたり約1時間）。

経済と医療

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/4(水)	2	経済学とはどのような学問か	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/9/4(水)	3					
2024/9/11(水)	2	消費者の行動:消費と効用	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/9/11(水)	3					
2024/9/18(水)	2	効用最大化と予算:価格と限界効用	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/9/18(水)	3					
2024/9/25(水)	2	需要曲線について:意味と性質	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/9/25(水)	3					
2024/10/2(水)	2	企業の行動:費用と利潤	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/10/2(水)	3					
2024/10/9(水)	2	費用の構造と利潤の最大化:価格と限界費用	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/10/9(水)	3					
2024/10/16(水)	2	供給曲線について:意味と構造	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/10/16(水)	3					
2024/10/30(水)	2	市場均衡の分析:余剰の概念	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/10/30(水)	3					
2024/11/6(水)	2	市場機構と資源配分の効率性:社会的余剰	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/11/6(水)	3					
2024/11/13(水)	2	政府の行動:自由経済における政府の役割	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/11/13(水)	3					
2024/11/20(水)	2	所得・資産の再分配と経済安定:経済政策	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/11/20(水)	3					
2024/11/27(水)	2	医療の経済分析:医療保険のメカニズム	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/11/27(水)	3					
2024/12/4(水)	2	医療分野における外部性の考察	—	非常勤講師	石田昌夫	303 講
2024/12/4(水)	3					

(2) 講義の方法

講義形式を基本とし、随時講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

1コマ目に総論として経済の仕組みを説明する。2コマ目以降、家計・企業・政府という経済主体の働きを解説する。市場機構の有効性と限界、政府の役割について、实例を挙げながら詳述する。最後に、医療の経済的側面について考察する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
橋本貴宏	教授(特任)	数学	3号館 基礎科学棟 2階 B202 研究室	毎週金曜日 17:00～18:30
石田昌夫	非常勤講師	中部大学 名誉教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

文 学 と 医 療

【単位数：1単位，授業13コマ】

1 科目責任者

橋本貴宏 教授(特任)(数学)

科目担当者

稲垣広和(非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c)

- ① コアコンピテンスである「プロフェッショナリズム」の「他者の多様な価値観を尊重できる」ようになるため，文学の視点を通して学ぶ。
- ② 文学を学ぶことによって，日本の文化的特質や言語表現の特徴などを学ぶ。それによって他者の多様な価値観を知ると共に一人の社会人として教養を身につける。
- ③ 文学作品を理解することによって，読解力を身につける。加えて豊かな人間性を涵養し，さらに社会的視野を広げると共に将来社会人として必要な学術文化の知的蓄積である教養の有用性を理解する。

(2) 学修目標

- ① 文学テキストの基本的な構造を理解し，読解することができる。
- ② 文学テキスト及びそのコンテキストについて関係性を認識し説明することができる。
- ③ 文学テキストに描かれた医療アイテムを弁別した上で，社会通念としての医療に対する認識を説明できる。
- ④ 文学テキストに対する感想や自己の意見を音声言語表現を使って説明することができる。
- ⑤ 文学テキストに対する感想や自己の意見を文字言語表現を使って文章化することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小テスト	○	100%	講義毎に講義課題(600字以上)を作成し，AIDLE-Kの課題ボックスに提出。それらを得点化し，受講態度等を加味した上で総合的に評価を行う。 定期テストは行わない。各講義の課題期限内に講義課題を提出することで出席とする。3分の1以上課題不提出の場合は，単位認定をしない。 出席点はなし。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，10%を限度に減点をする。

出席： 単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

評点が60%未満の場合は，再試験を1回に限り実施する。再試験はレポート作成の上，口頭試問とする(評価100点満点の60点以上で合格)。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

講義課題に関しては、クラス全体の感想・意見・質問を取りまとめ次講義時に紹介・解説を行い、情報の共有を図る。

また学生からのさらなる質疑及び説明の希望があれば、後日解説の機会を設ける。

講義6回の時点で受講生の得点状況に関して説明を行う。単位取得が懸念される受講生に関しては個別に連絡をする場合もある。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
「海と毒薬」	遠藤周作	新潮社	遠藤周作の文学テキスト(「海と毒薬」)を通して文学と医療倫理, 医療哲学, 医療文化史等との関係性を学修できるだけでなく, 基本的な読解力を学修するのに適しているから。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
小説の処方箋—小説にみる薬と症状	二瓶浩明 他	鼎書房	文学テキストに描かれている病気及び薬に関して文学と医療の両面からアプローチの方法をわかりやすく示している。
小説で読む生老病死	梅谷 薫	医学書院	「生老病死」というキーワードをもとに現役の医師が対人援助職のために「小説の読み方」を示したものである。

6 準備学習（予習・復習）

- （予習）AIDLE-Kにアップロードした各講義回の講義資料を通読する(1コマあたり約0.5時間以上)。
- （予習）講義資料で不明な用語や事柄について事前にインターネット等で調べる(1コマあたり約0.5時間以上)。
- （復習）講義後は講義内容を確認し、疑義及び講義の要点をノートにまとめる。それをもとに講義課題を作成する(1コマあたり約1時間以上)。

文学と医療
7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/4(水)	2	講義ガイダンス(講義総論)	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/9/4(水)	3					
2024/9/11(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 作品のコンテキスト①	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/9/11(水)	3	「相川事件」と「海と毒薬」について				
2024/9/18(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 作品のコンテキスト②	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/9/18(水)	3	東京裁判(戦争裁判)について				
2024/9/25(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 作品のコンテキスト③	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/9/25(水)	3	戦争医学と戦争倫理(ニュルンベルク綱領等)について, 日本とドイツの場合				
2024/10/2(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 小説構造の分析と理解① 第1章	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/10/2(水)	3	昭和 30 年代の日本の状況 「もはや戦後ではない」という言葉の意味				
2024/10/9(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 小説構造の分析と理解② 第2章 第1節 勝呂の物語(1)	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/10/9(水)	3	大学における権力構造(ヒエラルキー)の描かれ方 医局制度の絶対性(sitzの力)				
2024/10/16(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 小説構造の分析と理解③ 第2章 第1節 勝呂の物語(2)	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/10/16(水)	3	大学における権力構造(ヒエラルキー)の描かれ方 山崎豊子「白い巨塔」との比較—医療小説について, 読者の関心				
2024/10/30(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 小説構造の分析と理解④ 第2章 第1節 勝呂の物語(3)	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/10/30(水)	3	特別患者(田部夫人)と学用患者(おばはん)の違について 患者の「死」における悲劇性と喜劇性 情報の隠蔽とインフォームドコンセント				

文学と医療

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/6(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 小説構造の分析と理解⑤ 第2章 第2節 上田の物語(1) 第2次大戦中の看護婦の描かれ方 大学病院における階層性	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/11/6(水)	3	上田の結婚願望－結婚について 「満鉄」(南満州鉄道株式会社)の特権性について 征服者の差別的まなざし, 支配構造				
2024/11/13(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 小説構造の分析と理解⑤ 第2章 第2節 上田の物語(2) 第2次大戦中に子供を「授かる」「授からない」ということ。「人口政策確立要綱」(生めよ増やせよ)という思想	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/11/13(水)	3	橋本教授夫人(ヒルダ)との確執－「安楽死」認識の違い 上田が犬を飼うことについて。(犬の比喻性・象徴性)				
2024/11/20(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 小説構造の分析と理解⑥ 第2章 第3節 戸田の物語(1) 少年期における人格形成	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/11/20(水)	3	田舎のエリートが進学校へ進み普通の生徒に埋没してしまうことについて。「罪」意識の芽生え 「赤い鳥」と「昆虫標本」のエピソードについて				
2024/11/27(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 小説構造の分析と理解⑥ 第2章 第3節 戸田の物語(2) 青年期における「罪」意識の変遷	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/11/27(水)	3	同列に扱われる戸田の不倫, 墮胎, 生体解剖				
2024/12/4(水)	2	遠藤周作「海と毒薬」を読む 小説構造の分析と理解⑦ 第3章 裁かれる人々の物語 米兵捕虜の生体解剖について	—	非常勤講師	稲垣広和	201 講
2024/12/4(水)	3	東西冷戦構造について その後の東京裁判について				

(2) 講義の方法

基本的には知識伝達型の講義方法をとるが、「文学」という学問の性質上、受講生が一方向的に講義内容を覚え、それを定着すれば良いといった講義ではない。講義中の教員との質疑応答や、講義毎に行う講義課題を通して、インタラクティブな講義を行う。

また、講義の中に受講生が発見した問題に対し小グループでの議論をしたり、教室プレゼンテーションを行うことによりアクティブ・ラーニング型の講義を行うこともある。

(3) 講義の内容

初回ガイダンスは講義の全体像を示すとともに、受講のルール等を説明する。初回ガイダンス以降は遠藤周作の「海と毒薬」を主たるテキストとして、作品内容や文学全般に関する色々な検討課題について教員の解説や映像視聴及びグループディスカッション等を行い、作品内容の理解を深めていきたい。

またこの講義は単なる文学作品読解を主たる内容とするのではなく、多くの学問分野との関連性や学際的分野についても扱っていく(例えば歴史や文化、思想など)。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
橋本貴宏	教授(特任)	数学	3号館 基礎科学棟 2階 B202 研究室	毎週金曜日 17:00~18:30
稲垣広和	非常勤講師	—	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

宗 教 と 医 療

【単位数：1単位，授業13コマ】

1 科目責任者

橋本貴宏 教授(特任)(数学)

科目担当者

岡島秀隆(非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c)

- ① ディプロマ・ポリシーのコンピテンスにおけるプロフェッショナリズム(医師としての価値観・態度・姿勢など)，及びコミュニケーション能力(患者・家族・社会との良好な関係の構築など)の涵養に努める。
- ② 多様な宗教的価値観の理解を通して医師としての人格を磨き，倫理観を養い，さらに患者・家族・地域との共感的コミュニケーション能力の育成に努める。
- ③ 宗教，殊に禅仏教の方法論(瞑想と思量)を用いて，医療現場に不可欠の不動心の鍛錬と集中力の育成，及び柔軟心の涵養を目指す。

(2) 学修目標

- ① 国際社会を見据えて多様な宗教に関する基本的知識を習得する。
- ② 宗教を通じて多様な人間観・世界観・価値観を学ぶ。
- ③ 一般的教養を身につけ，医師としての倫理観や他者への共感能力を培う。
- ④ キリスト教的信条と医療現場の具体的課題を考える。
- ⑤ イスラム教的信条と医療現場の具体的課題を考える。
- ⑥ 禅の瞑想法(椅子坐禅)によって平常心を培う。
- ⑦ 禅問答の具体例を学びながら柔軟な思考能力を養う。
- ⑧ 禅・仏教の金言名句に触れ生きる意味を再考する。
- ⑨ 禅・仏教の言葉を通して死生観を考える。
- ⑩ 終末期ケアへの宗教者の参与可能性(スピリチュアル・ケアなど)を考える。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
課題レポート	○	60%	講義内容(教科書など)から論題を与え，レポートを提出させる。
小レポート	○	40%	毎回の講義で提出するリアクションペーパーの内容を吟味して評価する。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，10%を限度に減点をする。

出席： 単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

課題レポート，小レポートの合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験はレポートを課す(60%以上で合格)。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

小レポートへの講評は、授業中に行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
『思考禅のススメ 仏祖の言葉を読んでもみよう』	岡島秀隆	北樹出版	禅・仏教の格言などをわかりやすく紹介している。

必要に応じてプリント資料などを適宜配付する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
教養としての宗教入門—基礎から学べる信仰と文化(中公新書)	中村圭志	中央公論社	網羅的で購入しやすい。
宗教学の名著30(ちくま新書)	島菌 進	筑摩書房	基本図書の紹介であり購入しやすい。
仏教入門(岩波新書)	三枝充恵	岩波書店	定番で購入しやすい。
禅学入門(文庫)	鈴木大拙	講談社	定番で購入しやすい。

必要に応じて講義中に紹介する。

6 準備学習（予習・復習）

- 予習：教科書・参考図書・ネット情報などを参照して、講義タイトルに関連する知識を可能な限り収集しておく（1コマあたり約0.5時間）。
- 復習：講義で取り上げられた教科書の内容、配付された資料、及び自己作成メモ・ノートを講義後に再確認する（1コマあたり約1時間）。

宗教と医療

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/4(水)	2	はじめに:瞑想の仕方(椅子坐禅) ストレス社会と瞑想—医師の不動心	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/9/4(水)	3					
2024/9/11(水)	2	宗教教義と医療(輸血拒否問題)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/9/11(水)	3					
2024/9/18(水)	2	宗教教義と医療(ムスリム患者の対応)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/9/18(水)	3					
2024/9/25(水)	2	仏教と医療(布施行と臓器移植)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/9/25(水)	3					
2024/10/2(水)	2	日本人の宗教意識(国際比較の中で)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/10/2(水)	3					
2024/10/9(水)	2	禅問答を学ぶ①(柔軟心を培う)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/10/9(水)	3					
2024/10/16(水)	2	禅問答を学ぶ②(柔軟心を培う)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/10/16(水)	3					
2024/10/30(水)	2	禅問答を学ぶ③(柔軟心を培う)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/10/30(水)	3					
2024/11/6(水)	2	禅・仏教の金言名句①(生きる意味を考える)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/11/6(水)	3					
2024/11/13(水)	2	禅・仏教の金言名句②(生きる意味を考える)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/11/13(水)	3					
2024/11/20(水)	2	禅・仏教の金言名句③(生きる意味を考える)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/11/20(水)	3					
2024/11/27(水)	2	仏祖の言葉に学ぶ(身心で思惟する)	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/11/27(水)	3					
2024/12/4(水)	2	まとめ:禅文化と癒し	—	非常勤講師	岡島秀隆	305 講
2024/12/4(水)	3					

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義である。適宜アクティブ・ラーニング手法を導入する。毎回講義終了前に質疑応答の時間を設ける。

(3) 講義の内容

- 宗教的信条が医療に関わる事例などをできる限り紹介するように努める。
場合によっては小レポート(リアクションペーパーで代替)のテーマにする。
- 毎回瞑想(椅子坐禅)を行い、心を鎮め身心を統一する訓練を行う。
- 禅・仏教の金言名句に触れて生きる意味と多様な考え方を学ぶ。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
橋本貴宏	教授(特任)	数学	3号館 基礎科学棟 2階B202研究室	毎週金曜日 17:00~18:30
岡島秀隆	非常勤講師	愛知学院大学 禅研究所所長	—	講義終了後

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

数 学 と 医 療

【単位数：1単位，授業13コマ】

1 科目責任者

橋本貴宏 教授(特任)(数学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-1-c, Ⅲ-10-c)

- ① コンピテンス「医学知識と科学的探究心」の中の「根拠に基づく医療」(EBM)を理解するために必要な統計学，及びその理論的基盤である数学を学び，併せてデータサイエンスを含めた諸科学への応用へとつなげる。
- ② 前半の統計分野については，高等学校「数学B」のカリキュラムである「確率分布と統計的な推測」を土台として講義し統計学の理解へとつなげる。後半では，行列や微積分の医学への応用について考察していくことを目標とする。

(2) 学修目標

- ① 命題論理を学ぶことにより，数学的論証ができる。
- ② 行列を活用する意味を説明できる。
- ③ 微分方程式でモデルを考えることの意味を説明できる。
- ④ 微分方程式の医学への応用を述べるができる。
- ⑤ 確率のさまざまな考え方を説明できる。
- ⑥ 確率分布について理解し，統計学の学修に活かすことができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
演習課題	○	70%	毎回の課題及びAIDLE-Kにおける活動により評価する。
レポート	○	30%	全講義終了後にレポート課題の提出をする。
態度	○	—	態度不良の場合は，10点を限度として減点をする。

出席：単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

AIDLE-Kで課された課題・レポートにより評価する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

毎回の授業プリントにおける質問には，次回の授業またはAIDLE-Kにより答える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
AIDLE-K にて資料配布			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
臨床検査学講座 数学／統計学	宇田川誠一ほか	医歯薬出版	数学の基礎が一冊にまとまっていて理解しやすい。
医療系のための入門統計	勝野恵子ほか	共立出版	必修科目「統計学1」の指定教科書である。
高校数学の教科書・参考書			高校数学を土台として講義をするので。

6 準備学習（予習・復習）

授業前日までに授業のレジュメをAIDLE-Kにアップロードするので予習しておく（1コマあたり約1時間）。
授業での課題プリントを中心として講義内容を復習し、次の授業に臨む（1コマあたり約1時間）。

数学と医療

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2024/9/4(水)	1	集合と命題	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/9/11(水)	1	確率	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/9/18(水)	1	確率変数と確率分布	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/9/25(水)	1	離散型確率分布	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/10/2(水)	1	連続型確率分布	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/10/9(水)	1	母集団と標本	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/10/16(水)	1	標本分布	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/10/30(水)	1	行列	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/11/6(水)	1	行列の統計学への応用	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/11/13(水)	1	微分方程式	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/11/20(水)	1	薬の吸収	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/11/27(水)	1	感染症モデル	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講
2024/12/4(水)	1	医療のための数学	数学	教授(特任)	橋本貴宏	303 講

（2）講義の方法

授業の前半に前回の振り返りと当日分の講義をした後、後半に課題演習を行い、AIDLE-Kに提出する。演習主体であるので能動的に受講すること。また、この科目用のノート及び表計算が可能な情報端末を用意すること。

（3）講義の内容

「医療のための情報学」においてデータ分析、「統計学1」において統計学を学修するが、数学的な議論は省略されることが多い。この授業においてその部分を補う。後半は微分方程式を中心とした数学モデルを学び、医学への応用を講義していく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
橋本貴宏	教授(特任)	数学	3号館 基礎科学棟 2階B202研究室	毎週金曜日 17:00～18:30

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

生 命 倫 理 1

【単位数：0.5単位，授業9コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

川崎 優 講師(哲学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c, I-2-c, I-4-c)

- ① 生命倫理の学習をとおして，医療従事者に求められる態度について議論し，自分の考えを説明できるよう基礎知識を身につける。
- ② 生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観を説明できる。

(2) 学修目標

- ① 倫理がなぜ人間に必要なのかを説明できる。
- ② 生命倫理の諸問題に関する基本的知識を修得する。
- ③ 基本的な倫理の4原則について説明できる。
- ④ 医療従事者に求められる態度について議論し，自分の考えを説明できる。
- ⑤ 医療の領域において，どのような倫理的問題が生じているか説明できる。
- ⑥ 生命倫理の諸問題に関連する国内外の法的規制や制度について説明できる。
- ⑦ 生命倫理の諸問題に関連する歴史的背景を説明できる。
- ⑧ 生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観を説明できる。
- ⑨ 様々な立場(患者，家族，医療従事者など)から，生命倫理の諸問題について考察できる。
- ⑩ 生命倫理の諸問題に対する自分の考えを説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	授業の最終日にレポートを課す。
小レポート	○	20%	講義内で5分～10分程度で記載する小レポートを数回実施する。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，総合成績の10%を上限として減点をす る。

出席： 単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

小レポートについては講義で解説する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
考えよう！生と死のこと—基礎から学ぶ生命倫理と死生学	波多江伸子, 寺田篤史, 脇 崇晴	木星舎	生命倫理の諸問題について端的にわかりやすく概説されている。
入門・医療倫理 I [改訂版]	赤林 朗 [編]	勁草書房	生命倫理の諸問題について、より具体的な国内外の現状や哲学的議論が詳説されている。
看護のための生命倫理 [改定三版]	小林亜津子	ナカニシヤ出版	タイトルに「看護のための」と記されているが、専門問わずおすすめの内容。

6 準備学習（予習・復習）

AIDLE-Kに講義資料が挙げられている場合には事前に内容を確認すること。また講義後に内容を再確認し、次回以降の講義に臨むこと(1コマあたり約1時間)。

生命倫理 1

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/8(水)	1	生命倫理とは／生命倫理の4原則	哲学	講師	川崎 優	303 講
2025/1/8(水)	2	パターナリズム／ヒポクラテスの誓い／インフォームド・コンセント	哲学	講師	川崎 優	303 講
2025/1/10(金)	3	生殖補助医療	哲学	講師	川崎 優	303 講
2025/1/10(金)	4	人工妊娠中絶／出生前診断／優生思想	哲学	講師	川崎 優	303 講
2025/1/14(火)	1	臓器移植／脳死／サバイバル・ロッタリー	哲学	講師	川崎 優	303 講
2025/1/14(火)	2	【AL】臓器移植の制度検討	哲学	講師	川崎 優	303 講
2025/1/16(木)	4	【AL】終末期の事例検討	哲学	講師	川崎 優	303 講
2025/1/17(金)	1	安楽死の分類／意図と予見／作為と不作為	哲学	講師	川崎 優	303 講
2025/1/17(金)	2	【AL】安楽死の条件検討	哲学	講師	川崎 優	303 講

(2) 講義の方法

大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中に小グループ討論や講師との双方向性応答などのアクティブ・ラーニングも導入する。

(3) 講義の内容

生命倫理に関する基礎的な知識を網羅する。人工妊娠中絶や安楽死などの生命倫理の諸問題について、それらがどのような医療技術なのか、国内外でどのように規制されているのか、どのような点が倫理的に問題なのか学ぶ。基本的な倫理の原則の学習や思考実験をとおして、具体的な倫理的問題について考える上で役立つ倫理的思考力の基盤を培う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
川崎 優	講師	哲学	3号館基礎科学棟 2階B203研究室	毎週火曜日 16:30～17:30

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

早期体験実習1a (シミュレーション実習)

【単位数:0.5単位, 授業25コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

船木 淳 講師(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) ねらい (I-1-c, I-12-c, I-13-c, I-14-c, I-15-c, II-1-c, II-2-c, II-3-c, II-5-c, V-5-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナルリズム(チーム医療・医療安全)」、「コミュニケーション」について、シミュレーション(グループ学習・能動的学修)を通して、その意義を理解する。
- ② 早期から医療現場を体験するにあたり、演習で多様な人々、場面でのコミュニケーション方法を体験し、医学生として良好なコミュニケーションに必要なスキルを身につける。
- ③ 早期体験実習1b, 1cで、指導者と共に実施可能なケア技術を、身につける。

(2) 学修目標

- ① グループ学習を通し、能動的学修の意義と自己の課題を説明できる。
- ② 様々なコミュニケーションを体験し、「話す」「聴く」「伝える」ために必要なスキルを説明できる。
- ③ バイタルサイン(呼吸, 脈拍, 血圧)測定, 移乗・移送介助, 体位変換, 衛生的手洗い, 個人防護具の着脱について、知識を得ることができる。
- ④ バイタルサイン(呼吸, 脈拍, 血圧)測定, 移乗・移送介助, 体位変換, 衛生的手洗い, 個人防護具の着脱を実施できる。
- ⑤ 学んだ診療補助業務について、お互いに指導・評価することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60%	コミュニケーション及び担当した技術に関するレポート
態度	○	20%	・グループ学習の参加度(役割遂行)の自己評価, 他者評価 ・技術指導時の参加度(役割遂行)の自己評価, 他者評価
小テスト	○	20%	演習した項目に対する知識確認

出席: 実習を修得するためには、欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

面接の上、課題・レポートを課す。

実習を欠席した場合は、面接後、補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

各演習時に、その都度全員にフィードバックする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
診療ができるVol. 1	古谷伸之 他編集	Medic Media	学習する手技の解説が掲載されている (バイタルサイン, 手洗い, 心肺蘇生法)。
診療ができるVol. 2	近藤一郎 他監修	Medic Media	学修する手技の解説が掲載されている (注射・心肺蘇生法)。
看護技術がみえる1	藤本真紀 子他監修	Medic Media	学修する手技の解説が掲載されている (体位変換他)。
看護技術がみえる2	佐藤久美 他監修	Medic Media	学修する手技の解説が掲載されている (感染予防, 酸素療法他)。

6 準備学習（予習・復習）

予習

総合学術情報センター(図書館)から配布される「ナーシングスキル[®]」のID及びパスワードを各自確認しておく。
実習内容を復習し、後日実施される早期体験実習1b(看護体験実習)で実際に患者さんに実施できるようにする(毎日0.5時間)。

早期体験実習1a（シミュレーション実習）

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/13(月)	1	ガイダンス	医学教育C 医学教育C シミュC —	教授 講師 講師 非常勤講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/5/13(月)	2	コミュニケーション演習1	医学教育C シミュC —	講師 講師 非常勤講師	河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/5/13(月)	3					
2024/5/13(月)	4					
2024/5/13(月)	5					
2024/5/14(火)	1	シミュレーション教育の意義	シミュC —	講師 非常勤講師	船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/5/14(火)	2	学習内容の決定と学習方法	シミュC —	講師 非常勤講師	船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/5/14(火)	3	グループ学習	シミュC —	講師 非常勤講師	船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/5/14(火)	4					
2024/5/14(火)	5					
2024/5/15(水)	1	指導内容の確認	シミュC 看護学部 —	講師 准教授 非常勤講師	船木 淳 黒澤昌洋 川原千香子	シミュC
2024/5/15(水)	2	グループ内指導の実践	シミュC 看護学部 —	講師 准教授 非常勤講師	船木 淳 黒澤昌洋 川原千香子	シミュC
2024/5/15(水)	3					
2024/5/15(水)	4					
2024/5/15(水)	5					
2024/5/16(木)	1	他者指導と評価	シミュC 看護学部 —	講師 准教授 非常勤講師	船木 淳 黒澤昌洋 川原千香子	シミュC
2024/5/16(木)	2					
2024/5/16(木)	3					
2024/5/16(木)	4					
2024/5/16(木)	5					
2024/5/17(金)	1	他者指導と評価	シミュC 看護学部 —	講師 准教授 非常勤講師	船木 淳 黒澤昌洋 川原千香子	シミュC
2024/5/17(金)	2					
2024/5/17(金)	3					
2024/5/17(金)	4	まとめ	医学教育C 医学教育C シミュC —	教授 講師 講師 非常勤講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/5/17(金)	5					

（2）講義の方法

シミュレーションセンターにおいて、全体講義及びグループ学習を行う。

(3) 講義の内容

「話す」「聞く」「伝える」のコミュニケーションスキルの基本を学習し、ロールプレイを行う。
診療補助業務の技術をグループで学習した後、お互いで指導しながら、身につける。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
黒澤昌洋	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
川原千香子	非常勤講師	昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

早期体験実習 1 b (看護体験実習)

【単位数:0.5単位, 授業25コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

船木 淳 講師(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) **ねらい**(I - 1 - c, I - 2 - c, I - 3 - c, I - 5 - c, I - 6 - c, I - 11 - c, I - 12 - c, I - 13 - c, I - 14 - c, II - 2 - c, II - 3 - c, II - 5 - c,)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナルリズム」,「コミュニケーション」を達成するために,主に看護師のシャドーイングを行い,医師と協働する他職種の考えや役割を理解しチーム医療の基礎を体験する。
- ② 病院は,患者さんを中心にして,多数の医療スタッフ(事務,看護師,技師,補助士,医師)が共同で仕事をしていることを理解する。
- ③ 病棟業務を体験することによって,コミュニケーションの重要性,医師としての態度,今後必要な医学的知識・技能を確認し,今後の学習へのモチベーションを高める。

(2) **学修目標**

- ① 早期に医療現場で実習するための,健康状態,態度,言葉使いを整えることができる。
- ② 様々な職種のスタッフが連携・協力して成り立っている医療現場の仕組みとそれぞれの役割を説明できる。
- ③ 患者さんや医療スタッフとコミュニケーションをとり,医療現場におけるTPOに合わせたコミュニケーションについて説明することができる。
- ④ 医療現場の体験を通して,現状の知識・技能・態度を振り返り,今後,どのような学習をするべきか自己の課題を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) **総合成績の対象と算出法**

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60%	実習レポート及びSEAは課題の意図にあった内容であること。体験に基づいた自己の課題を明確に書き表していること。
態度	○	30%	遅刻,身だしなみ,実習参加態度について,実習部署指導者による他者評価を実施する。
その他	○	10%	事後アンケート,レポートの約束事,提出期限を厳守すること。

出席: 実習を修得するためには,欠席をしてはならない。

(2) **合格基準**

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) **再試験・再評価の方法**

課題・レポートを課す。

実習を欠席した場合は,面接後,補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

全学生を対象に実習最終日の実習振り返り時にフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
診療ができるVol. 1	古谷伸之 他編集	Medic Media	臨床で参加する可能性の高い手技の解説が掲載されている(バイタルサイン, 手洗い, 心肺蘇生法)。
診療ができるVol. 2	近藤一郎 他監修	Medic Media	臨床で参加する可能性の高い手技の解説が掲載されている(注射・心肺蘇生法)。
看護技術がみえる1	藤本真紀子 他監修	Medic Media	臨床で参加する可能性の高い手技の解説が掲載されている(ベッドメイキング, 体位変換他)。
看護技術がみえる2	佐藤久美 他監修	Medic Media	臨床で参加する可能性の高い手技の解説が掲載されている(感染予防, 酸素療法他)。

6 準備学習（予習・復習）

予習

1日目のオリエンテーションの際に、実習先の病棟の診療科・その特性などについて学習をする。

実習に行く前に、早期体験実習1aで身につけたケア技術について復習する(1日あたり0.5時間)。

復習

実習終了後直ちに、実習で体験したこと、その考察等実習記録を記載する。

早期体験実習1b（看護体験実習）

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/27(月)	1	ガイダンス	医学教育C 医学教育C シミュC	教授 講師 講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳	シミュC
2024/5/27(月)	2	実習に関する事前学習	シミュC	講師	船木 淳	シミュC
2024/5/27(月)	3					
2024/5/27(月)	4	看護部, 看護師の役割	看護部	部長	井上里恵	シミュC
2024/5/27(月)	5	実習病棟担当者とのディスカッション	看護部	師長等	実習指導者	シミュC
2024/5/28(火)	1	病棟実習	シミュC 看護部	講師 —	船木 淳 実習指導者	各病棟
2024/5/28(火)	2					
2024/5/28(火)	3					
2024/5/28(火)	4					
2024/5/28(火)	5					
2024/5/29(水)	1	病棟実習	シミュC 看護部	講師 —	船木 淳 実習指導者	各病棟
2024/5/29(水)	2					
2024/5/29(水)	3					
2024/5/29(水)	4					
2024/5/29(水)	5					
2024/5/30(木)	1	病棟実習	シミュC 看護部	講師 —	船木 淳 実習指導者	各病棟
2024/5/30(木)	2					
2024/5/30(木)	3					
2024/5/30(木)	4					
2024/5/30(木)	5					
2024/5/31(金)	1	実習での体験共有	医学教育C 医学教育C シミュC	教授 講師 講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳	シミュC
2024/5/31(金)	2	SEA の共有	医学教育C 医学教育C シミュC	教授 講師 講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳	シミュC
2024/5/31(金)	3	グループディスカッション	医学教育C 医学教育C シミュC	教授 講師 講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳	シミュC
2024/5/31(金)	4	グループ発表	医学教育C 医学教育C シミュC	教授 講師 講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳	シミュC
2024/5/31(金)	5					

（2）講義の方法

1日目に実習オリエンテーションを施行。2日目から4日目は割り当てられた部署にて実習を行う。最終日は実習の振り返りを行う。

(3) 講義の内容

主に看護師のシャドーイングを行い、様々な職種のスタッフが連携・協力して成り立っている医療現場の仕組みとそれぞれの役割を体験し、考察をする。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
井上里恵	部長	看護部	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合わせること。

早期体験実習 1 c (臨床科見学実習)

【単位数:0.5単位, 授業25コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

船木 淳 講師(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c, I-2-c, I-3-c, I-4-c, I-5-c, I-6-c, I-11-c, I-12-c, I-13-c, I-14-c, I-15-c, V-1-c)

- ① 医師の業務内容を実際に見学し、本学のコンピテンシーの「医師としての価値観・態度・姿勢」、「チーム医療・医療安全」、「地域社会へ貢献」を学び、今後の学習課題を考えられるようになる。
- ② 医療は看護師をはじめ多職種連携の上成り立っていることを実習したことに加え、医師の指導の下に医療を行う上での多職種連携の理解を深める。
- ③ 早期に医師としての思考・人間性・倫理観を身につける契機とする。

(2) 学修目標

- ① 臨床医の患者さんへの対応・診断・検査などを体験する。
- ② 患者さんの苦痛・不安を理解し、共感できる心を養う。
- ③ 医療における連携・協力を一層理解する。
- ④ 医師の診察, 思考, 決断, 探求心を疑似体験して, その考えを共有する。
- ⑤ 臨床医学への興味を深め, 自己の目標点と到達法を展望する。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60%	実習レポート, SEAは意図にあった内容であること。
態度	○	20%	遅刻, 身だしなみ, 実習参加態度について, 実習部署指導者による他者評価を実施する(学内10%, 学外10%)。
その他	○	20%	プロフィール作成, 挨拶状, お礼状, 実習レポート, 事後アンケートの約束事, 提出期限を厳守すること。

出席: 実習を修得するためには, 欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

実習を欠席した場合は, 面談後, 補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

全学生を対象に実習最終日の実習振り返り時に, フィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
元気ホスピタル 最善の医療をめざして 2018年	愛知医科 大学病院	バリューメデ ィカル	本学の診療科，コ・メディカル部署の解説をしている。

6 準備学習（予習・復習）

1日目のオリエンテーションの際に，実習先の病棟の診療科・その特性などについて事前学習をするので，関連する資料を集めておく(0.5時間/回)。

実習に行く前に，早期体験実習1aで学修した内容を復習する(1日あたり1時間)。

早期体験実習1c（臨床科見学実習）

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/21(月)	1	ガイダンス	医学教育C 医学教育C シミュC —	教授 講師 講師 非常勤講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/10/21(月)	2	実習施設の事前学習	シミュC	講師	船木 淳	シミュC
2024/10/21(月)	3		—	非常勤講師	川原千香子	
2024/10/21(月)	4	実習目標の設定	シミュC	講師	船木 淳	シミュC
2024/10/21(月)	5		—	非常勤講師	川原千香子	
2024/10/22(火)	1	病院実習・学外実習	—	—	実習担当医	各病棟 実習先
2024/10/22(火)	2					
2024/10/22(火)	3					
2024/10/22(火)	4					
2024/10/22(火)	5					
2024/10/23(水)	1	病院実習・学外実習	—	—	実習担当医	各病棟 実習先
2024/10/23(水)	2					
2024/10/23(水)	3					
2024/10/23(水)	4					
2024/10/23(水)	5					
2024/10/24(木)	1	病院実習・学外実習	—	—	実習担当医	各病棟 実習先
2024/10/24(木)	2					
2024/10/24(木)	3					
2024/10/24(木)	4					
2024/10/24(木)	5					
2024/10/25(金)	1	実習内容の共有	医学教育C 医学教育C シミュC —	教授 講師 講師 非常勤講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/10/25(金)	2	SEAの共有	医学教育C 医学教育C シミュC —	教授 講師 講師 非常勤講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/10/25(金)	3	グループディスカッション	医学教育C 医学教育C シミュC —	教授 講師 講師 非常勤講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/10/25(金)	4	グループ発表	医学教育C 医学教育C シミュC	教授 講師 講師	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳	シミュC
2024/10/25(金)	5		—	非常勤講師	川原千香子	

(2) 講義の方法

1日目に実習オリエンテーションを施行。2日目から4日目は割り当てられた部署にて実習(シャドーイング)を行い、チーム医療を体験する(病棟実習:2日間,学外実習:1日)。最終日は実習の振り返りを行う。

(3) 講義の内容

医療は、様々な職種のスタッフが連携・協力して成り立っていることを体験し、その医療の現場を通して「医療者の姿」を学ぶ。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上 対応可
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上 対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーショ ンセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上 対応可
川原千香子	非常勤講師	昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

コミュニケーション演習 1

【単位数:1単位, 授業15コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

船木 淳 講師(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c, I-12-c, I-13-c, I-14-c, I-15-c, II-1-c, II-2-c, II-3-c, II-5-c, V-5-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナルリズム(チーム医療・医療安全)」, 「コミュニケーション」について, グループ学習・能動的学修を通して, その意義を理解する。
- ② 演習で多様な人々, 場面でのコミュニケーション方法を体験し, 医学生として良好なコミュニケーションに必要なスキルを身につける。
- ③ 自らのコミュニケーションスキルについて振り返り, 自己の課題を明確にする。
- ④ 他者とコミュニケーションを図るにあたり, 自己の性格・価値観の傾向について理解する。

(2) 学修目標

- ① グループ学習を通し, 能動的学修の意義と自己の課題を説明できる。
- ② 様々なコミュニケーションを体験し, 「話す」「聴く」「伝える」ために必要なスキルを説明できる。
- ③ 同世代と異世代間(模擬患者)でのコミュニケーションを体感し, 良好なコミュニケーションを図るために必要な要素を説明できる。
- ④ コミュニケーションを図るうえで, 性格や価値観等が異なる相手を対象となることを理解できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60%	コミュニケーションに関するレポート
態度	○	20%	・グループ学習の参加度(役割遂行)の自己評価, 他者評価 ・コミュニケーション演習の参加度(役割遂行)の自己評価, 他者評価
小テスト	○	20%	演習した項目に対する知識確認

出席: 実習を修得するためには, 欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

面接の上, 課題・レポートを課す。

実習を欠席した場合は, 面接後, 補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各演習時に, その都度全員にフィードバックする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
チームが機能するとはどういうことか	エイミー・C・エドモンド(野津智子訳)	英治出版	チームコミュニケーションについて理解しやすい書籍である。
診療場面のコミュニケーション	ジョン・ヘリテッジ, ダグラス・メイナード(川島理恵他訳)	勁草書房	会話分析という研究分野からみた医療面接について述べられており, 問い方とその答えについて具体例が多いため, 「目的をもった会話」の重要性を考えるきっかけになる。

6 準備学習(予習・復習)

日常のコミュニケーションについて, 演習前後に振り返る機会を持つこと(1日あたり約0.5時間)。

コミュニケーション演習 1

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/30(木)	1	ガイダンス	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC
2025/1/30(木)	2		医学教育C	講師	河合聖子	
2025/1/30(木)	3		シミュC	講師	船木 淳	
		薬理学		准教授	山口奈緒子	
2025/1/30(木)	4	コミュニケーション演習(同世代)	シミュC	講師	船木 淳	シミュC
2025/1/30(木)	5		—	非常勤講師	川原千香子	
2025/2/3(月)	1	グループ学習(午後の準備)	シミュC	講師	船木 淳	シミュC
2025/2/3(月)	2		—	非常勤講師	川原千香子	
2025/2/3(月)	3					
2025/2/3(月)	4	コミュニケーション演習(異世代)	医学教育C	教授	早稲田勝久	3階セ
			医学教育C	講師	河合聖子	
2025/2/3(月)	5		シミュC	講師	船木 淳	
			薬理学	准教授	山口奈緒子	
			—	非常勤講師	川原千香子	
2025/2/4(火)	1	グループ学習(午後の準備)	シミュC	講師	船木 淳	シミュC
2025/2/4(火)	2		—	非常勤講師	川原千香子	
2025/2/4(火)	3					
2025/2/4(火)	4	コミュニケーション演習(異世代)	医学教育C	教授	早稲田勝久	3階セ
			医学教育C	講師	河合聖子	
2025/2/4(火)	5		シミュC	講師	船木 淳	
			薬理学	准教授	山口奈緒子	
			—	非常勤講師	川原千香子	
2025/2/7(金)	1	まとめ	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC
2025/2/7(金)	2		医学教育C	講師	河合聖子	
2025/2/7(金)	3		シミュC	講師	船木 淳	
			薬理学	准教授	山口奈緒子	
			—	非常勤講師	川原千香子	
2025/2/7(金)	4	事後課題作成・提出	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC
			医学教育C	講師	河合聖子	
2025/2/7(金)	5		シミュC	講師	船木 淳	
			薬理学	准教授	山口奈緒子	

(2) 講義の方法

シミュレーションセンターにおいて、全体講義及びグループ学習を行う。

(3) 講義の内容

「話す」「聞く」「伝える」のコミュニケーションスキルの基本を学習し、ロールプレイを行う。

講義内で基本的欲求診断・性格診断を行う

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館研究棟359室	毎週月曜日～金曜日 18:00～19:00
川原千香子	非常勤講師	昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

解剖学 1 a

【単位数：1.5単位，授業22コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

内藤宗和 教授（解剖学講座）

科目担当者

大塚 俊 講師（解剖学講座）

2 教育目標

(1) **ねらい** (I-1-c, I-2-c, I-3-c, I-4-c, I-5-c, I-6-c, I-7-c, I-8-c, I-9-c, I-10-c, I-11-c, I-13-c, I-14-c, I-15-c, II-1-c, II-2-c, II-3-c, II-4-c, II-5-c, II-6-c, III-1-c, III-2-c, III-3-c, III-4-c, III-5-c, III-6-c, III-7-c, III-8-c, III-10-c, IV-2-c, IV-4-c, IV-9-c, V-1-c, V-4-c)

- ① 『医学知識と科学的探求』のため，生体の正常な構造や機能を理解し，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学ぶ。また，実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナルリズム』を習得する。
- ② 次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する献体の精神に学び，医の倫理を身につける。人体の構造の美しさ，精巧さ，多様性を学び，医療人としての観察眼を養う。

(2) 学修目標

- ① 人体構造の系統を把握し，解剖用語によって正確に述べることができる。
- ② 骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できる。
- ③ 骨学，組織学，神経解剖学，肉眼解剖学，臨床解剖学の知識を統合し，説明できる。
- ④ 画像解剖学と対応させ，人体の三次元構造を説明できる。
- ⑤ グループ学習において，班員同士で協力して作業ができる。
- ⑥ グループ学習において，解剖学の知識を正しく使うことができる。
- ⑦ 身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を説明できる。
- ⑧ 解剖学の学習，とくに実習を通して，医療安全の重要性を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	94%	多肢選択問題と記述式を含む（配付する過去問を参照）。
小テスト	○	6%	多肢選択問題もしくは記述式の試験を行う。
態度	○	—	態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには，欠席率が3分の1を超えてはならない。

* 模範解答を提示し，学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し，解答の見直しを行う。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。

再試験は，定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

小テストは、AIDLE-Kで行い、模範解答を掲載する。定期試験の問題を配付し、定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。定期試験については、模範解答を提示し、学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し、解答の見直しを行う。不合格となった者は、配付した問題を参考にして理解が不十分な項目を中心に学習する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著), 中野 隆 (監訳)	医学書院	医学生に必要な解剖学のエッセンスがコンパクトにまとまった内容であるため。
骨学のすすめ	中野 隆	南江堂	愛知医科大学の学生が作成したテキストがもととなっており、学生の目線を盛り込んだわかりやすい内容であるため。
バーチャルスライド 組織学	駒崎伸二	羊土社	実績ある組織学の教科書の一つであるため。
ヒューマン・アナトミー・アトラス		Visible Body	インタラクティブな3D解剖リソースであるため。
レジュメ配布(Subtext)			講義において効率的に能動的な学習を促進するため、学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを配布する。

*解剖学1a, 解剖学実習1a, 解剖学1b, 解剖学実習1b, 解剖学実習2で骨学, 組織学(ミクロ), 肉眼解剖学(マクロ)を体系的に学ぶため, すべての科目で共通して教科書3冊と3Dアプリを使用する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
解剖学講義	伊藤 隆	南山堂	実績ある解剖学の教科書の一つであるため。
ムーア臨床解剖学	坂井建雄 (監訳)	メディカル・サイエンス・インターナショナル	臨床のための解剖学を学ぶために有用であるため。
プロメテウス解剖学コアアトラス	坂井建雄 (監訳)	医学書院	美しいイラストが解剖学を学ぶために有用であるため。

6 準備学習(予習・復習)

- Subtextを用いてどの事項が取り上げられているのか確認しておく(1コマあたり約10分)。
- 講義で習った内容を復習する(1コマあたり約10分)。
- 過去に出題された問題を用いて、知識を定着させる(1コマあたり約10分)。

解剖学 1 a
7 授業計画
(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/18(木)	1	総論1	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/4/18(木)	2	総論2	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/4/25(木)	1	総論3	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/4/25(木)	2	総論4	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/5/2(木)	1	総論5	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/5/2(木)	2	総論6	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/5/9(木)	1	総論7	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/5/9(木)	2	総論8	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/6/6(木)	1	総論9	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/6/6(木)	2	総論10	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/6/13(木)	1	総論11	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/6/13(木)	2	総論12	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2024/6/20(木)	1	まとめ・小テスト	解剖学	教授	内藤宗和	201 講
2024/6/20(木)	2	【AL】グループ学習	解剖学 解剖学 解剖学	助教 助教 助教	梅本佳納榮 単 西瑠 玉置優貴	203 講 303 講
2024/6/27(木)	1	運動器1	解剖学	講師	大塚 俊	303 講
2024/6/27(木)	2	運動器2	解剖学	講師	大塚 俊	303 講
2024/7/4(木)	1	運動器3	解剖学	講師	大塚 俊	303 講
2024/7/4(木)	2	運動器4	解剖学	講師	大塚 俊	303 講
2024/7/11(木)	1	運動器5	解剖学	講師	大塚 俊	303 講
2024/7/11(木)	2	運動器6	解剖学	講師	大塚 俊	303 講
2024/7/11(木)	3	まとめ・小テスト	解剖学	講師	大塚 俊	201 講
2024/7/11(木)	4	グループ学習	解剖学 解剖学 解剖学	助教 助教 助教	梅本佳納榮 単 西瑠 玉置優貴	203 講 303 講
2024/7/25(木)	4	定期試験	解剖学	教授	内藤宗和	101 講

(2) 講義の方法

- 講義において効率的に能動的な学習を促進するため、学習ポイントが理解できる書き込み式のレジユメを用いる。
- グループ学習における小グループでのタスク解決や、講義における講師との質疑応答など、アクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

- 人体構造の系統を把握し、骨格、臓器の機能的及び臨床的意義、細胞・組織の特徴を説明できるように解説する。
- 疾病の病因・病態・治療につながる基礎知識及び身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を習得することができるように、学習を促進する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
内藤宗和	教授	解剖学講座	2号館 研究棟254号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
大塚 俊	講師	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週月・木曜日 14:00～16:00
梅本佳納榮	助教	解剖学講座	2号館 研究棟255号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00
単 西瑠	助教	解剖学講座	2号館 研究棟255号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
玉置優貴	助教	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

解剖学実習 1 a

【単位数:0.5単位, 授業18コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

内藤宗和 教授(解剖学講座)

科目担当者

大塚 俊 講師(解剖学講座)

2 教育目標

(1) **ねらい**(I -1 -c, I -2 -c, I -3 -c, I -4 -c, I -5 -c, I -6 -c, I -7 -c, I -8 -c, I -9 -c, I -10 -c, I -11 -c, I -13 -c, I -14 -c, I -15 -c, II -1 -c, II -2 -c, II -3 -c, II -4 -c, II -5 -c, II -6 -c, III -1 -c, III -2 -c, III -3 -c, III -4 -c, III -5 -c, III -6 -c, III -7 -c, III -8 -c, III -10 -c, IV -2 -c, IV -4 -c, IV -9 -c, V -1 -c, V -4 -c)

- ① 『医学知識と科学的探求』のため, 生体の正常な構造や機能を理解し, 疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学ぶ。また, 実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナリズム』を習得する。
- ② 次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する献体の精神に学び, 医の倫理を身につける。人体の構造の美しさ, 精巧さ, 多様性を学び, 医療人としての観察眼を養う。

(2) 学修目標

- ① 人体構造の系統を把握し, 解剖用語によって正確に述べることができる。
- ② 骨格, 臓器の機能的及び臨床的意義, 細胞・組織の特徴を説明できる。
- ③ 骨学, 組織学, 神経解剖学, 肉眼解剖学, 臨床解剖学の知識を統合し, 説明できる。
- ④ 画像解剖学と対応させ, 人体の三次元構造を説明できる。
- ⑤ 実習において, 班員同士で協力して作業ができる。
- ⑥ 実習において, 解剖学の知識を正しく使うことができる。
- ⑦ 身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を説明できる。
- ⑧ 解剖学の学習, とくに実習を通して, 医療安全の重要性を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
課題	○	70%	AIDLE-Kを利用して, 実習の予習・復習課題を行う。
口頭試問	○	20%	骨標本及び組織画像を用いて, 口頭試問を行う。
レポート	○	10%	実習内容に沿ったレポートを課す。
態度	○	—	態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席:実習を修得するためには, 欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は, 追加で課題・口頭試問・レポートを課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

課題は、AIDLE-Kで行い、模範解答を掲載する。口頭試問とレポートは、講義内で解説する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著), 中野 隆 (監訳)	医学書院	医学生に必要な解剖学のエッセンスがコンパクトにまとまった内容であるため。
骨学のすゝめ	中野 隆	南江堂	愛知医科大学の学生が作成したテキストがもととなり、学生の目線を盛り込んだわかりやすい内容であるため。
バーチャルスライド 組織学	駒崎伸二	羊土社	実績ある組織学の教科書の一つであるため。
ヒューマン・アナトミー・アトラス		Visible Body	インタラクティブな3D解剖リソースであるため。
レジュメ配布 (Subtext)			講義において効率的に能動的な学習を促進するため、学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを配布する。

* 解剖学1a, 解剖学実習1a, 解剖学1b, 解剖学実習1b, 解剖学実習2で骨学, 組織学(マイクロ), 肉眼解剖学(マクロ)を体系的に学ぶため, すべての科目で共通して教科書3冊と3Dアプリを使用する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
解剖学講義	伊藤 隆	南山堂	実績ある解剖学の教科書の一つであるため。
ムーア臨床解剖学	坂井建雄 (監訳)	メディカル・サイエンス・インターナショナル	臨床のための解剖学を学ぶために有用であるため。
プロメテウス解剖学コアアトラス	坂井建雄 (監訳)	医学書院	美しいイラストが解剖学を学ぶために有用であるため。

6 準備学習（予習・復習）

- 教科書を用いてどの事項が取り上げられているのか確認しておく(1日あたり約15分)。
- AIDLE-Kを用いて実習内容の予習・復習を行う(1日あたり約45分)。

解剖学実習 1 a

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/18(木)	3	2学年次解剖実習早期体験	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 講師 助教 助教	内藤宗和 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 玉置優貴	研 101 研 106
2024/4/18(木)	4					
2024/4/25(木)	3	骨学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 玉置優貴	研 106
2024/4/25(木)	4					
2024/5/2(木)	3	2学年次解剖実習早期体験	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 玉置優貴	研 101 研 106
2024/5/2(木)	4					
2024/5/9(木)	3	骨学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 玉置優貴	研 106
2024/5/9(木)	4					
2024/6/6(木)	3	骨学実習	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 玉置優貴	研 106
2024/6/6(木)	4					
2024/6/13(木)	3	組織学実習(総論)	解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教	福重 香 竹内堂朗 大久保友人	研 106
2024/6/13(木)	4					
2024/6/20(木)	3	口頭試問	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	畑山直之 福重 香 大塚 俊 梅本佳納榮 竹内堂朗 単 西瑠 大久保友人 玉置優貴	303 講 シミュ3 研 201 七 研 202 七
2024/6/20(木)	4					
2024/6/27(木)	3	口頭試問・学習指導	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教	内藤宗和 畑山直之 福重 香 大塚 俊 梅本佳納榮 竹内堂朗	303 講 301 七 302 七 303 七 304 七 305 七 306 七 研 106
2024/6/27(木)	4					

解剖学実習 1 a

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/4(木)	3	組織学実習(総論)	解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教	福重 香 竹内堂朗 大久保友人	研 106
2024/7/4(木)	4					

(2) 講義の方法

- 2学年次の解剖実習早期体験として、解剖実習見学を実施する。
- 真骨を用いた骨学実習を実施する。
- バーチャルスライド(eSlide)を用いた組織学実習(総論)を実施する。
- 実習は複数の班に分けて実施し、班員とのグループ学習や、講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

- 人体構造の系統を把握し、骨格、臓器の機能的及び臨床的意義、細胞・組織の特徴を説明できるように解説する。
- 疾病の病因・病態・治療につながる基礎知識及び身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を習得することができるように、学習を促進する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
内藤宗和	教授	解剖学講座	2号館 研究棟254号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
畑山直之	准教授	解剖学講座	2号館 研究棟364号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
福重 香	講師	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
大塚 俊	講師	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週月・木曜日 14:00～16:00
竹内堂朗	助教	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
梅本佳納榮	助教	解剖学講座	2号館 研究棟255号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00
単 西瑠	助教	解剖学講座	2号館 研究棟255号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
大久保友人	助教	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
玉置優貴	助教	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

解剖学 1 b

【単位数：4.5単位，授業63コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

内藤宗和 教授(解剖学講座)

科目担当者

福重 香 講師(解剖学講座)

2 教育目標

(1) **ねらい**(I - 1 - c, I - 2 - c, I - 3 - c, I - 4 - c, I - 5 - c, I - 6 - c, I - 7 - c, I - 8 - c, I - 9 - c, I - 10 - c, I - 11 - c, I - 13 - c, I - 14 - c, I - 15 - c, II - 1 - c, II - 2 - c, II - 3 - c, II - 4 - c, II - 5 - c, II - 6 - c, III - 1 - c, III - 2 - c, III - 3 - c, III - 4 - c, III - 5 - c, III - 6 - c, III - 7 - c, III - 8 - c, III - 10 - c, IV - 2 - c, IV - 4 - c, IV - 9 - c, V - 1 - c, V - 4 - c)

- ① 『医学知識と科学的探求』のため，生体の正常な構造や機能を理解し，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学ぶ。また，実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナルリズム』を習得する。
- ② 次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する献体の精神に学び，医の倫理を身につける。人体の構造の美しさ，精巧さ，多様性を学び，医療人としての観察眼を養う。

(2) 学修目標

- ① 人体構造の系統を把握し，解剖用語によって正確に述べることができる。
- ② 骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できる。
- ③ 骨学，組織学，神経解剖学，肉眼解剖学，臨床解剖学の知識を統合し，説明できる。
- ④ 画像解剖学と対応させ，人体の三次元構造を説明できる。
- ⑤ グループ学習において，班員同士で協力して作業ができる。
- ⑥ グループ学習において，解剖学の知識を正しく使うことができる。
- ⑦ 身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を説明できる。
- ⑧ 解剖学の学習，とくに実習を通して，医療安全の重要性を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	91%	多肢選択問題と記述式を含む(配付する過去問を参照)。
小テスト	○	9%	多肢選択問題もしくは記述式問題の試験を行う。
態度	○	—	態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには，講義の欠席率が3分の1を超えてはならない。

* 模範解答を提示し，学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し，解答の見直しを行う。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。

再試験は，定期試験に準ずる試験を行う。60%以上で合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

小テストは、AIDLE-Kで行い、模範解答を掲載する。定期試験の問題を配付し、定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。定期試験については、模範解答を提示し、学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し、解答の見直しを行う。不合格となった者は、配付した問題を参考にして理解が不十分な項目を中心に学習する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著), 中野 隆 (監訳)	医学書院	医学生に必要な解剖学のエッセンスがコンパクトにまとまった内容であるため。
骨学のすゝめ	中野 隆	南江堂	愛知医科大学の学生が作成したテキストがもととなっており、学生の目線を盛り込んだわかりやすい内容であるため。
バーチャルスライド 組織学	駒崎伸二	羊土社	実績ある組織学の教科書の一つであるため。
ヒューマン・アナトミー・アトラス		Visible Body	インタラクティブな3D解剖リソースであるため。
レジュメ配布 (Subtext)			講義において効率的に能動的な学習を促進するため、学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを配布する。

* 解剖学1a, 解剖学実習1a, 解剖学1b, 解剖学実習1b, 解剖学実習2で骨学, 組織学(マイクロ), 肉眼解剖学(マクロ)を体系的に学ぶため, すべての科目で共通して教科書3冊と3Dアプリを使用する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
解剖学講義	伊藤 隆	南山堂	実績ある解剖学の教科書の一つであるため。
ムーア臨床解剖学	坂井建雄 (監訳)	メディカル・サイエンス・インターナショナル	臨床のための解剖学を学ぶために有用であるため。
プロメテウス解剖学コアアトラス	坂井建雄 (監訳)	医学書院	美しいイラストが解剖学を学ぶために有用であるため。

6 準備学習（予習・復習）

- Subtextを用いてどの事項が取り上げられているのか確認しておく(1コマあたり約10分)。
- 講義で習った内容を復習する(1コマあたり約10分)。
- 過去に出題された問題を用いて、知識を定着させる(1コマあたり約10分)。

解剖学 1 b

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/3(火)	1	消化器1	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/3(火)	2	消化器2	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/4(水)	4	消化器3	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/4(水)	5	消化器4	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/5(木)	1	消化器5	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/5(木)	2	消化器6	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/10(火)	1	消化器7	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/10(火)	2	消化器8	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/11(水)	4	循環器1	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/11(水)	5	循環器2	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/12(木)	1	循環器3	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/12(木)	2	循環器4	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/17(火)	1	循環器5	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/17(火)	2	循環器6	解剖学	准教授	畑山直之	303 講
2024/9/18(水)	4	呼吸器1	解剖学	助教	大久保友人	303 講
2024/9/18(水)	5	呼吸器2	解剖学	助教	大久保友人	303 講
2024/9/19(木)	1	呼吸器3	解剖学	助教	大久保友人	303 講
2024/9/19(木)	2	呼吸器4	解剖学	助教	大久保友人	303 講
2024/9/25(水)	4	まとめ・小テスト	解剖学	教授	内藤宗和	301 講
2024/9/25(水)	5	【AL】グループ学習	解剖学 解剖学	准教授 助教	畑山直之 大久保友人	303 講 305 講
2024/10/1(火)	1	神経1	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/1(火)	2	神経2	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/2(水)	4	神経3	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/2(水)	5	神経4	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/3(木)	1	神経5	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/3(木)	2	神経6	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/8(火)	1	神経7	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/8(火)	2	神経8	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/9(水)	4	神経9	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/9(水)	5	神経10	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/10(木)	1	神経11	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
2024/10/10(木)	2	神経12	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講

解剖学 1 b

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/15(火)	1	感覚器1	解剖学	助教	名仁澤英里	303 講
2024/10/15(火)	2	感覚器2	解剖学	助教	名仁澤英里	303 講
2024/10/16(水)	4	感覚器3	解剖学	助教	名仁澤英里	303 講
2024/10/16(水)	5	感覚器4	解剖学	助教	名仁澤英里	303 講
2024/10/17(木)	1	感覚器5	解剖学	助教	名仁澤英里	303 講
2024/10/17(木)	2	感覚器6	解剖学	助教	名仁澤英里	303 講
2024/10/30(水)	4	まとめ・小テスト	解剖学	教授	内藤宗和	301 講
2024/10/30(水)	5	【AL】グループ学習	解剖学	助教	梅本佳納榮	303 講
	解剖学		助教	名仁澤英里	305 講	
2024/11/5(火)	1	血液1	解剖学	助教	玉置優貴	303 講
2024/11/5(火)	2	血液2	解剖学	助教	玉置優貴	303 講
2024/11/6(水)	4	血液3	解剖学	助教	玉置優貴	303 講
2024/11/6(水)	5	血液4	解剖学	助教	玉置優貴	303 講
2024/11/7(木)	1	内分泌1	解剖学	助教	玉置優貴	303 講
2024/11/7(木)	2	内分泌2	解剖学	助教	玉置優貴	303 講
2024/11/7(木)	3	臨床解剖1	解剖学	助教	大久保友人	303 講
2024/11/12(火)	1	泌尿器1	解剖学	助教	竹内堂朗	303 講
2024/11/12(火)	2	泌尿器2	解剖学	助教	竹内堂朗	303 講
2024/11/13(水)	4	泌尿器3	解剖学	助教	竹内堂朗	303 講
2024/11/13(水)	5	男性生殖器1	解剖学	助教	竹内堂朗	303 講
2024/11/14(木)	1	男性生殖器2	解剖学	助教	竹内堂朗	303 講
2024/11/14(木)	2	女性生殖器1	解剖学	講師	福重 香	303 講
2024/11/14(木)	3	臨床解剖2	解剖学	助教	大久保友人	303 講
2024/11/19(火)	1	女性生殖器2	解剖学	講師	福重 香	303 講
2024/11/19(火)	2	女性生殖器3	解剖学	講師	福重 香	303 講
2024/11/20(水)	4	女性生殖器4	解剖学	講師	福重 香	303 講
2024/11/20(水)	5	女性生殖器5	解剖学	講師	福重 香	303 講
2024/11/21(木)	1	女性生殖器6	解剖学	講師	福重 香	303 講
2024/11/21(木)	2	女性生殖器7	解剖学	講師	福重 香	303 講
2024/11/21(木)	3	臨床解剖3	解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 助教	内藤宗和 畑山直之 大久保友人	303 講

解剖学 1 b

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/27(水)	4	まとめ・小テスト	解剖学 解剖学	教授 講師	内藤宗和 福重 香	301 講 303 講
2024/11/27(水)	5	【AL】グループ学習	解剖学 解剖学	助教 助教	竹内堂朗 玉置優貴	305 講
2024/12/12(木)	4	定期試験	解剖学	教授	内藤宗和	101 講

(2) 講義の方法

- 講義において効率的に能動的な学習を促進するため、学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを用いる。
- グループ学習における小グループでのタスク解決や、講義における講師との質疑応答など、アクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

- 人体構造の系統を把握し、骨格、臓器の機能的及び臨床的意義、細胞・組織の特徴を説明できるように解説する。
- 疾病の病因・病態・治療につながる基礎知識及び身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を習得することができるように、学習を促進する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
内藤宗和	教授	解剖学講座	2号館 研究棟254号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
畑山直之	准教授	解剖学講座	2号館 研究棟364号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
福重 香	講師	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・木曜日 16:00～18:00
名仁澤英里	助教	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00
梅本佳納榮	助教	解剖学講座	2号館 研究棟255号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00
竹内堂朗	助教	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
大久保友人	助教	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
玉置優貴	助教	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

解剖学実習 1 b

【単位数:0.5単位, 授業14コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

内藤宗和 教授(解剖学講座)

科目担当者

福重 香 講師(解剖学講座)

2 教育目標

(1) **ねらい**(I - 1 - c, I - 2 - c, I - 3 - c, I - 4 - c, I - 5 - c, I - 6 - c, I - 7 - c, I - 8 - c, I - 9 - c, I - 10 - c, I - 11 - c, I - 13 - c, I - 14 - c, I - 15 - c, II - 1 - c, II - 2 - c, II - 3 - c, II - 4 - c, II - 5 - c, II - 6 - c, III - 1 - c, III - 2 - c, III - 3 - c, III - 4 - c, III - 5 - c, III - 6 - c, III - 7 - c, III - 8 - c, III - 10 - c, IV - 2 - c, IV - 4 - c, IV - 9 - c, V - 1 - c, V - 4 - c)

- ① 『医学知識と科学的探求』のため, 生体の正常な構造や機能を理解し, 疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学ぶ。また, 実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナリズム』を習得する。
- ② 次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する献体の精神に学び, 医の倫理を身につける。人体の構造の美しさ, 精巧さ, 多様性を学び, 医療人としての観察眼を養う。

(2) 学修目標

- ① 人体構造の系統を把握し, 解剖用語によって正確に述べることができる。
- ② 骨格, 臓器の機能的及び臨床的意義, 細胞・組織の特徴を説明できる。
- ③ 骨学, 組織学, 神経解剖学, 肉眼解剖学, 臨床解剖学の知識を統合し, 説明できる。
- ④ 画像解剖学と対応させ, 人体の三次元構造を説明できる。
- ⑤ 実習において, 班員同士で協力して作業ができる。
- ⑥ 実習において, 解剖学の知識を正しく使うことができる。
- ⑦ 身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を説明できる。
- ⑧ 解剖学の学習, とくに実習を通して, 医療安全の重要性を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	40%	実習内容に沿ったレポートを課す。
課題	○	30%	AIDLE-Kを利用して, 実習の予習・復習課題を行う。 多肢選択問題を原則とし, 一部記述式問題を含む場合がある。
口頭試問	○	30%	組織画像を用いて, 口頭試問を行う。 多肢選択問題もしくは記述式問題を用いる。
態度	○	—	態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席: 実習を修得するためには, 欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、レポート・課題・口頭試問を課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

課題は、AIDLE-Kで行い、模範解答を掲載する。口頭試問とレポートは、講義内で解説する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著), 中野 隆 (監訳)	医学書院	医学生に必要な解剖学のエッセンスがコンパクトにまとめた内容であるため。
骨学のすゝめ	中野 隆	南江堂	愛知医科大学の学生が作成したテキストがもととなっており、学生の目線を盛り込んだわかりやすい内容であるため。
バーチャルスライド 組織学	駒崎伸二	羊土社	実績ある組織学の教科書の一つであるため。
ヒューマン・アナトミー・アトラス		Visible Body	インタラクティブな3D解剖リソースであるため。
レジュメ配布 (Subtext)			講義において効率的に能動的な学習を促進するため、学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを配布する。

* 解剖学1a, 解剖学実習1a, 解剖学1b, 解剖学実習1b, 解剖学実習2で骨学, 組織学(マイクロ), 肉眼解剖学(マクロ)を体系的に学ぶため, すべての科目で共通して教科書3冊と3Dアプリを使用する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
解剖学講義	伊藤 隆	南山堂	実績ある解剖学の教科書の一つであるため。
ムーア臨床解剖学	坂井建雄 (監訳)	メディカル・サイエンス・インターナショナル	臨床のための解剖学を学ぶために有用であるため。
プロメテウス解剖学コアアトラス	坂井建雄 (監訳)	医学書院	美しいイラストが解剖学を学ぶために有用であるため。

6 準備学習（予習・復習）

- 教科書を用いてどの事項が取り上げられているのか確認しておく(1日あたり約15分)。
- AIDLE-Kを用いて実習内容の予習・復習を行う(1日あたり約45分)。

解剖学実習 1 b

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/24(火)	1	組織学実習	解剖学	准教授	畑山直之	研 106
2024/9/24(火)	2		解剖学	講師	福重 香	
			解剖学	助教	大久保友人	
2024/9/26(木)	1	口頭試問・学習指導	解剖学	准教授	畑山直之	研 106
			解剖学	講師	福重 香	303 講
			解剖学	講師	大塚 俊	301 セ
			解剖学	助教	名仁澤英里	302 セ
2024/9/26(木)	2		解剖学	助教	梅本佳納榮	303 セ
			解剖学	助教	竹内堂朗	304 セ
			解剖学	助教	大久保友人	305 セ
			解剖学	助教	大久保友人	306 セ
2024/10/29(火)	1	組織学実習	解剖学	講師	福重 香	研 106
2024/10/29(火)	2		解剖学	助教	名仁澤英里	
			解剖学	助教	梅本佳納榮	
2024/10/31(木)	1	口頭試問・学習指導	解剖学	准教授	畑山直之	研 106
			解剖学	講師	福重 香	303 講
			解剖学	講師	大塚 俊	301 セ
			解剖学	助教	名仁澤英里	302 セ
2024/10/31(木)	2		解剖学	助教	梅本佳納榮	303 セ
			解剖学	助教	大久保友人	304 セ
2024/10/31(木)	3		解剖学	助教	大久保友人	305 セ
			解剖学	助教	玉置優貴	306 セ
2024/11/26(火)	1	組織学実習	解剖学	講師	福重 香	研 106
2024/11/26(火)	2		解剖学	助教	竹内堂朗	
			解剖学	助教	玉置優貴	
2024/11/28(木)	1	口頭試問・学習指導	解剖学	准教授	畑山直之	研 106
			解剖学	講師	福重 香	303 講
			解剖学	講師	大塚 俊	301 セ
			解剖学	助教	名仁澤英里	302 セ
2024/11/28(木)	2		解剖学	助教	梅本佳納榮	303 セ
			解剖学	助教	竹内堂朗	304 セ
2024/11/28(木)	3		解剖学	助教	大久保友人	305 セ
			解剖学	助教	玉置優貴	306 セ

(2) 講義の方法

- バーチャルスライド(eSlide)を用いた, 組織学実習を実施する。
- 組織学実習及び口頭試問は, 複数の班に分けて実施し, 班員とのグループ学習や, 講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

- 人体構造の系統を把握し, 骨格, 臓器の機能的及び臨床的意義, 細胞・組織の特徴を説明できるように解説する。
- 疾病の病因・病態・治療につながる基礎知識及び身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を習得することができるように, 学習を促進する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
内藤宗和	教授	解剖学講座	2号館 研究棟254号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
畑山直之	准教授	解剖学講座	2号館 研究棟364号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
福重 香	講師	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・木曜日 16:00～18:00
大塚 俊	講師	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週月・木曜日 14:00～16:00
名仁澤英里	助教	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00
梅本佳納榮	助教	解剖学講座	2号館 研究棟255号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00
竹内堂朗	助教	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
大久保友人	助教	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
玉置優貴	助教	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

生 理 学 1

【単位数：4単位，授業 52 コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

増淵 悟 教授(生理学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-2-c, Ⅲ-3-c)

- ① コアコンピテンスの“人体各種組織や器官，及び器官系の正常機能，並びにそれらの相互作用による生体協関や恒常性”を理解し，“疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素”を理解することを目的として生理学を学ぶ。そのことによって医学生としての“医学知識と科学的探究心”を身につける。
- ② 生理学は生体の正常な機能についての学問である。生理学1では神経生理学，内分泌生理学について学ぶ。膨大な臨床医学の知識を系統的に習得し実際の患者の病態を理解するためには生理学の知識は不可欠である。生理学を含む基礎医学の学力が薬理学などの応用的な基礎医学や臨床医学の学修の基礎となるため知識と理解の完全な定着を目指す。

(2) 学修目標

- ① 神経・筋細胞・内分泌細胞・血液細胞などの構成と機能を説明できる。
- ② 神経細胞の機能，感覚系の機能及び調節を説明できる。高次脳機能を説明できる。
- ③ ホルモンの作用と分泌調節を説明できる。
- ④ 血液細胞の機能の調節を説明できる。
- ⑤ 生理学で学ぶ神経系疾患，内分泌疾患，血液疾患の病態生理を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
試験1	○	約17%	試験は3回行う。記述式と，多肢選択問題で行う。試験1は試験1までの講義の内容について行う。
試験2	○	約17%	試験2は試験1以降，試験2までの講義の内容について行う。
試験3	○	約66%	試験3(12月の試験期間内で実施)は全講義(オンデマンド講義，USMLE問題集の解説も含む)を範囲として行う。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は，10%を限度に減点する。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

試験(3回)の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法(全範囲)で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

試験1，試験2の結果は本人にだけわかるニックネームを決めてもらい掲示する。

試験1，試験2のあとに解説を行う。課外時間にオンライン(Zoom)で行う(視聴は任意，出席は取りません)。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準生理学	本間研一 監修	医学書院	国内の生理学研究者の執筆による代表的な教科書。2019年改訂(第9版)
ガイドン生理学	石川義弘 他総監訳	エルゼビア・ ジャパン	医学的視点から、生理学事象を丁寧に解説した教科書。2018年改訂
ギャング生理学	岡田泰伸 他監修	丸善株式 会社	長く評価を得ている生理学書の1つ。 2022年原著26版翻訳本 岡田泰伸客員教授が監修
生理学テキスト	大地陸男 著	文光堂	コンパクトな教科書 2022年改訂
生理学問題集 (CBT準拠)	日本生理 学会教育 委員会編	文光堂	CBT形式(選択式問題)の問題集
カンデル神経科学	宮下保司 監訳	MedSi	神経科学の名著中の名著。大部なので、 全部を読むことは難しい。 2022年原著2版翻訳本
ベアー コノーズ パラディーソ 神経 科学 脳の探求 改訂版	藤井 聡 監修, 翻訳	西村書店	欧米の生理学の教科書は優れたものがあるが神経生理学、神経科学の記載が少ない。それを補う分量、内容ともに妥当な教科書。2021年改訂版
USMLE Step 1 Qbook: 850 Exam- Like Practice Questions to Boost Your Score (USMLE Prep)		Kaplan Publishing	USMLE Step 1問題集 2022年10版

6 準備学習(予習・復習)

各自、自分に合った参考図書を選んで勉強すること。

予習: 参考図書で講義に相当する内容を読んでおく(1日あたり15分)。

復習: 講義で聴いた内容について参考図書を読んで確認する(1日あたり0.5~1時間)。

分からなかったところはそのままにせず理解できるまで調べるか質問する。

将来必ず必要になるので低学年のうちから成書を読む習慣を身につけること。

※ 感染症の感染状況に応じて講義スケジュールを変更することがあるので注意すること。

生理学 1

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/2(月)	3	内分泌生理学総論	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/9/2(月)	4	シグナル伝達・応用(1)	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/9/2(月)	5	膜電位	生理学	講師	榊原伊織	303 講
2024/9/5(木)	3	視床下部・下垂体(1)	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/9/5(木)	4	興奮性細胞(1) 活動電位	生理学	講師	榊原伊織	303 講
2024/9/5(木)	5	興奮性細胞(2) 刺激と興奮 興奮の伝導	生理学	講師	榊原伊織	303 講
2024/9/9(月)	3	シグナル伝達・応用(2)	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/9/9(月)	4	シナプス・光遺伝学(1)	—	非常勤講師	小野大輔	303 講
2024/9/9(月)	5	シナプス・光遺伝学(2)	—	非常勤講師	小野大輔	303 講
2024/9/12(木)	3	感覚総論	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/9/12(木)	4	体性感覚	—	非常勤講師	加塩麻紀子	303 講
2024/9/12(木)	5	味覚・嗅覚	—	非常勤講師	加塩麻紀子	303 講
2024/9/19(木)	3	下垂体(2)	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/9/19(木)	4	骨格筋(1)	生理学	講師	榊原伊織	303 講
2024/9/19(木)	5	血液総論	生理学	講師	松井卓哉	303 講
2024/9/26(木)	3	学習・記憶(1)	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/9/26(木)	4	骨格筋(2)	生理学	講師	榊原伊織	303 講
2024/9/26(木)	5	血清タンパク	生理学	講師	松井卓哉	303 講
2024/9/30(月)	3	学習・記憶(2) 「アクティブラーニング」	—	客員教授	小針 誠	303 講
2024/9/30(月)	4	平滑筋	生理学	講師	榊原伊織	303 講
2024/9/30(月)	5	赤血球(1)	生理学	講師	松井卓哉	303 講
2024/10/3(木)	3	副腎髄質	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/10/3(木)	4	試験1(9/2-9/30の講義分)	生理学	教授 講師 講師	増渕 悟 松井卓哉 榊原伊織	101 講
2024/10/3(木)	5	赤血球(2)	生理学	講師	松井卓哉	303 講
2024/10/7(月)	3	甲状腺	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/10/7(月)	4	睪島(1)	生理学	講師	小松紘司	303 講
2024/10/7(月)	5	白血球(1)	生理学	講師	松井卓哉	303 講
2024/10/10(木)	3	視覚(1)	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/10/10(木)	4	睪島(2)	生理学	講師	小松紘司	303 講
2024/10/10(木)	5	副腎皮質(1)	生理学	講師	小松紘司	303 講

生理学 1

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/28(月)	3	視覚(2)	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/10/28(月)	4	副腎皮質(2)	生理学	講師	小松紘司	303 講
2024/10/28(月)	5	白血球(2)	生理学	講師	松井卓哉	303 講
2024/10/31(木)	4	聴覚(1)	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/10/31(木)	5	性腺(1)	生理学	講師	小松紘司	303 講
2024/11/7(木)	4	聴覚(2)	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/11/7(木)	5	性腺(2)	生理学	講師	小松紘司	303 講
2024/11/11(月)	2	試験2(10/3-11/7の講義分)	生理学	教授 講師 講師 講師	増渕 悟 松井卓哉 小松紘司 榑原伊織	101 講
2024/11/11(月)	3	平衡感覚	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/11/11(月)	4	血小板	生理学	講師	松井卓哉	303 講
2024/11/14(木)	4	【JS】細胞容積調節機構と細胞死誘導:チャネル/トランスポータの役割	—	客員教授	岡田泰伸	303 講
2024/11/14(木)	5	USMLE 演習1 (USMLE Step1 問題集の中から生理学関連項目を学修する)	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/11/18(月)	2	USMLE 演習2	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/11/18(月)	3	USMLE 演習3	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/11/18(月)	4	凝固・線溶	—	非常勤講師	酒井淳一	303 講
2024/11/21(木)	4	老化の生理学	生物学	教授(特任)	池野正史	303 講
2024/11/21(木)	5	特別講義 概日リズムと恒常性維持(仮)	—	非常勤講師	八木田和弘	303 講
2024/11/25(月)	2	【JS】神経回路	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/11/25(月)	3	【JS】疼痛医学入門	疼痛医学	助教	尾張慶子	303 講
2024/11/25(月)	4	病態生理(血液)	生理学	講師	松井卓哉	303 講
2024/11/28(木)	4	【JS】神経治療学	生物学	教授	武内恒成	303 講
2024/11/28(木)	5	カルシウム制御	生理学	教授	増渕 悟	303 講
2024/12/16(月)	1	定期試験(試験3)(90分)	生理学	教授	増渕 悟	101 講

(2) 講義の方法

ほとんどが大教室での通常の講義である。一部オンデマンド講義を行う(本能、情動・睡眠、大脳皮質の機能局在)。USMLEの問題集の関連問題につき学生による解説を行い学習する。

(3) 講義の内容

主に神経生理学, 内分泌生理学, 血液生理学の系統講義を行う。関連するUSMLEの問題集を学修する。学習・記憶の講義の一部として「アクティブ・ラーニング」についての講義を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
増淵 悟	教授	生理学講座	2号館 研究棟257号室	毎週月曜日 16:00～18:00
武内恒成	教授	生物学講座	3号館基礎科学棟 2階 B213号室	毎週月曜日 16:00～18:00
池野正史	教授(特任)	生物学講座	3号館基礎科学棟 2階 B208号室	毎週火曜日 16:30～18:30
松井卓哉	講師	生理学講座	2号館 研究棟303号室	毎週月・火・水曜日 16:30～18:00
小松紘司	講師	生理学講座	2号館 研究棟259号室	毎週月～金曜日 17:00～19:00
榊原伊織	講師	生理学講座	2号館 研究棟259号室	毎週火・木曜日 13:00～17:00
尾張慶子	助教	学際的痛みセンター	6号館 学際的痛みセンター	毎週火曜日 16:00～18:00
岡田泰伸	非常勤講師	元生理学研究所長 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて
小針 誠	非常勤講師	青山学院大学 教育人間科学部教授 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて
酒井淳一	非常勤講師	名古屋学院大学 スポーツ健康学部教授	—	講義終了後 講義室にて
八木田和弘	非常勤講師	京都府立医科大学教授	—	講義終了後 講義室にて
加塩麻紀子	非常勤講師	熊本大学大学院 生命科学研究部 環境分析学分野准教授	—	講義終了後 講義室にて
小野大輔	非常勤講師	名古屋大学 環境医学研究所講師	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。
(メールアドレスを講義資料等に開示している非常勤講師には直接連絡していただいて結構です。)

生 化 学 1

【単位数：2単位，授業31コマ，予備1コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

細川好孝 教授(生化学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-c)

- ① コアコンピテンスの医学知識と科学的探究心の理解のため，生化学の基礎である生体の代謝学を学び，そのことによって，疾病の病因と病態・治療につながる基礎医学的な要素への理解を深める。
- ② 生化学の講義・実習で得た知識を基にして，将来診療で経験した病態の解析につながる学修を行う。
- ③ 疾患を含む全ての生命現象は，基本物質の相互作用と代謝の上に成立していることを学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 生化学における重要な基本物質(糖質，脂質，アミノ酸など)の構造，機能を説明できる。
- ② 糖質，脂質，タンパク質，核酸の代謝の代謝経路について，経路の概略と調節機構，生理的意義，病態生理的意義を説明することができる。
- ③ 糖質，脂質，タンパク質，核酸の代謝の代謝経路について，経路の調節に関与する酵素，補酵素，調節因子について説明することができる。
- ④ 高エネルギーリン酸化合物の生成機構とこの生体エネルギーが生体機能にどのように利用されているかについて説明できる。
- ⑤ 酵素の性質と作用機序及びその活性の調節機構を説明することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	原則記述式とする。基本的に80点を満点とする。
中間テスト	○	20%	20点を満点とする。各中間テストは10点満点とする。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10%を限度に減点をする。
その他	—	—	再試験は100点満点とし，中間試験を加味しない。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

評価対象の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(再試験のみの結果で60%以上で合格。中間試験の点数は含まない)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

- 試験の問題の解説を行う。
- 講義の中で，定期試験に向けた課題を配付し，解説を行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
イラストレイテッド生化学	石崎泰樹, 丸山 敬 監訳	丸善株式 会社	イラストを駆使して、生化学全般に網羅性・簡潔性に優れている。一部講義プリントの作成に利用している。
「レーニンジャーの生化学」(上・下)	山科郁男 監修	廣川書店	講義プリントはレーニンジャーに基づいて作成しているため、理解を深める目的で、辞書として使用するとよい。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Lehninger Principles of Biochemistry	David L. Nelson & Michael M Cox	W.H. Freeman and Company	英文が平易であり、英語学習の第一歩として適している。一部講義プリントに利用している。

6 準備学習（予習・復習）

予習：特別な予習は要求しない。可能であれば、授業計画表を参考にして、イラストレイテッド生化学で概要をつかんでおくとよい(約20分)。

復習：講義プリントの内容を中心に、イラストレイテッド生化学や生化学レーニンジャーの生化学を参考にしながら理解を深めてほしい(約1時間)。

生化学 1

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/3(火)	3	生化学概要	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/9/3(火)	4	代謝経路の概要と調節	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/9/6(金)	3	アミノ酸の構造と性質, 糖脂質	生化学	准教授(特任)	兵頭寿典	303 講
2024/9/6(金)	4	タンパク質の高次構造, 変性疾患	生化学	准教授(特任)	兵頭寿典	303 講
2024/9/10(火)	3	酵素, 補酵素の分類と触媒作用	生化学	准教授(特任)	兵頭寿典	303 講
2024/9/10(火)	4	活性化エネルギー	生化学	准教授(特任)	兵頭寿典	303 講
2024/9/13(金)	3	反応速度論, 阻害形式	生化学	准教授(特任)	兵頭寿典	303 講
2024/9/13(金)	4	調節酵素	生化学	准教授(特任)	兵頭寿典	303 講
2024/9/17(火)	3	解糖経路	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/9/17(火)	4	ペントースリン酸経路	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/9/24(火)	3	TCA 回路	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/9/24(火)	4	電子伝達系	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/10/1(火)	3	酸化的リン酸化	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/10/1(火)	4	化学浸透圧理論	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/10/4(金)	4	貯蔵・構造脂質, 脂質代謝異常	—	非常勤講師	坪内凉子	303 講
2024/10/8(火)	3	糖新生, コリ回路	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/10/8(火)	4	グリコーゲン代謝	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/10/11(金)	4	脂質の消化, 動員, 輸送	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/10/15(火)	3	脂肪酸の活性化と β 酸化・ケトン体合成	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/10/15(火)	4	脂肪酸合成, コレステロール生合成	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/10/18(金)	4	血漿リポタンパク質	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/10/29(火)	3	アミノ基転移・酸化的脱アミノ反応	—	非常勤講師	竹内章夫	303 講
2024/10/29(火)	4	尿素回路	—	非常勤講師	竹内章夫	303 講
2024/11/1(金)	4	中間テスト 1	生化学	教授	細川好孝	101 講
2024/11/5(火)	3	生体物質の生合成	—	非常勤講師	竹内章夫	303 講
2024/11/5(火)	4	分岐鎖アミノ酸代謝, ヘムの合成と分解	—	非常勤講師	竹内章夫	303 講
2024/11/12(火)	3	各臓器での代謝の統合	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/11/12(火)	4	燃料代謝のホルモンによる調節・糖尿病	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/11/19(火)	3	予備				
2024/11/19(火)	4	中間テスト2	生化学	教授	細川好孝	101 講

生化学 1

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/26(火)	3	生化学1総復習	生化学	教授	細川好孝	303 講
2024/11/26(火)	4					
2024/12/18(水)	3	定期試験	生化学	教授	細川好孝	101 講

(2) 講義の方法

大教室での授業プリント、スライドを用いた知識伝達型の講義が主体であるが、できる限り講師側から質問を投げかけ、双方向性の講義になるように努めている。レーニンジャー生化学の英語版の一部も使用して、医学英語を学ぶきっかけとしたい。

(3) 講義の内容

1コマ目に代謝学全般を概観しながら総論を解説し、次いで生化学の基本である糖質・タンパク質・脂質及び酵素学を学び、さらに代謝学の詳細へと理解を深めていく。人体の働き・疾病への理解につながる講義としたい。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
細川好孝	教授	生化学講座	2号館 研究棟361号室	毎週火・水・金曜日 16:00～18:00
兵頭寿典	准教授(特任)	生化学講座	2号館 研究棟364号室	毎週月・木曜日 16:00～18:00
竹内章夫	非常勤講師	愛知医科大学 非常勤講師	—	講義終了後 講義室にて
坪内涼子	非常勤講師	愛知医科大学 非常勤講師	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

基礎科学・基礎医学統合演習

【単位数:1.5 単位, 授業 25 コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

内藤宗和 教授(解剖学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-8-a, II-6-a, III-1-a, III-2-a, III-8-a, III-9-a)

- ① コアコンピテンスの“プロフェッショナリズム”の理解のため,自己学習した内容を発表できることを目標とする。
- ② コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため,特に1学年次で修得した知識を横断的に整理し,医学の土台となる基礎科学と基礎医学の繋がりを理解する。
- ③ コアコンピテンスの“コミュニケーション”の理解のため,ICTを活用して学ぶ技術を高め,個人だけでなく集団,社会と適切に交流できることを目指す。

(2) 学修目標

- ① 1学年次で修得した知識を説明できる。
- ② 基礎科学と基礎医学の繋がりを概説できる。
- ③ ICTを活用して学修できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
成果物	○	100%	1学年次で修得した科目の内容を動画にまとめ,提出する。

出席: 単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は,再試験を実施する。再試験の内容はレポートを課す。レポートが60%以上の場合,合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポートの総括を学内メールで通知する。これにより,理解が不十分な項目について再確認を促す。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
1学年次で履修した科目の教科書			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
1学年次で履修した科目の参考図書			

6 準備学習（予習・復習）

1学年次で学修した知識の予習・復習を行うこと(1日あたり約1時間)。

基礎科学・基礎医学統合演習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/17(金)	3	グループ学習(ガイダンス)	解剖学 解剖学	教授 講師	内藤宗和 大塚 俊	303 講
2025/1/17(金)	4	発表のための準備	解剖学 解剖学	教授 講師	内藤宗和 大塚 俊	303 講
2025/1/17(金)	5		医学教育C 医学教育C	教授 講師	早稲田勝久 河合聖子	
2025/1/20(月)	3	発表のための準備	解剖学 解剖学	教授 講師	内藤宗和 大塚 俊	303 講
2025/1/20(月)	4		医学教育C 医学教育C	教授 講師	早稲田勝久 河合聖子	
2025/1/23(木)	1	発表のための準備	解剖学 解剖学 医学教育C 医学教育C	教授 講師 教授 講師	内藤宗和 大塚 俊 早稲田勝久 河合聖子	303 講
2025/1/23(木)	2					
2025/1/23(木)	3					
2025/1/23(木)	4					
2025/1/23(木)	5					
2025/1/24(金)	1	発表のための準備	解剖学 解剖学 医学教育C 医学教育C	教授 講師 教授 講師	内藤宗和 大塚 俊 早稲田勝久 河合聖子	303 講
2025/1/24(金)	2					
2025/1/24(金)	3					
2025/1/24(金)	4					
2025/1/24(金)	5					
2025/1/27(月)	1	発表のための準備	解剖学 解剖学 医学教育C 医学教育C	教授 講師 教授 講師	内藤宗和 大塚 俊 早稲田勝久 河合聖子	303 講
2025/1/27(月)	2					
2025/1/27(月)	3					
2025/1/27(月)	4					
2025/1/27(月)	5					
2025/1/28(火)	1	発表	解剖学 解剖学 医学教育C 医学教育C	教授 講師 教授 講師	内藤宗和 大塚 俊 早稲田勝久 河合聖子	303 講
2025/1/28(火)	2					
2025/1/28(火)	3					
2025/1/28(火)	4					
2025/1/28(火)	5	総括	医学教育C	教授	早稲田勝久	303 講

(2) 講義の方法

1学年次で修得した科目の内容を動画にまとめ、提出する。詳細は事前にオンデマンド動画で説明する。

(3) 講義の内容

1学年次で学修した基礎科学と基礎医学の知識を整理するため、ICTを活用してその知識を動画にまとめる。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問い合わせの上対応可
内藤宗和	教授	解剖学講座	2号館 研究棟254号室	毎週月・水曜日 16:00～18:00
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館本館7階 医学教育センター	毎週火曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問い合わせの上対応可
大塚 俊	講師	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週月・木曜日 14:00～16:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

Preparation for the USMLE

【単位数:0.5単位, 授業7コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

内藤宗和 教授(解剖学)

2 教育目標

(1) ねらい (I-7-c, II-3-c, III-2-c, III-5-c, III-9-b, III-10-c)

- ① 英語で“新しい医学・医療情報を探索”することができる。
英語で“医学, 医療における客観的根拠を適切に探索しEBMを実践できる”。
- ② 英語で書かれた問題を正しく理解すると同時に, その要点を整理することを通じて, 重要事項や問題点を抽出する力を養う。

(2) 学修目標

- ① 米国医師国家試験である United States Medical Licensing Examination (USMLE) STEP1に関する医学知識と医学英語スキルを身に付けることができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小テスト	○	100%	演習した項目に対する知識確認(AIDLE-Kを用いたテスト)

出席: 単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

不合格の場合は, 補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各演習時に, その都度全員にフィードバックする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
First Aid for the USMLE Step 1	Le, Tao 他	南江堂	USMLE STEP1の内容が詳しく解説されているため。

6 準備学習（予習・復習）

AIDLE-Kにアップされた資料を用いて予習する（1コマあたり0.5時間）。また、授業時間内にやり残した課題や十分に理解できなかったところは、AIDLE-Kに掲載される授業資料を活用して復習する。（1コマあたり約0.5時間）。

Preparation for the USMLE

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/7(火)	3	解剖学	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2025/1/7(火)	4	解剖学	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2025/1/8(水)	4	細胞生物学・分子生物学	生物学	教授	武内恒成	303 講
2025/1/8(水)	5	細胞生物学・分子生物学	生物学	教授	武内恒成	303 講
2025/1/9(木)	4	生化学	生化学	教授	細川好孝	303 講
2025/1/14(火)	3	解剖学	解剖学	教授	内藤宗和	303 講
2025/1/14(火)	4	解剖学	解剖学	教授	内藤宗和	303 講

（2）講義の方法

演習課題に取り組む時間と、理解のポイントについての解説が中心となる。

（3）講義の内容

課題と解説を通じて英語力を養う。課題は試験ではないため、間違いを恐れずに、自分で考えて答えることが重要である。解説を聞きながら自分の解答を訂正していくこと。学生からの質問に応える形でインタラクティブな講義を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
内藤宗和	教授	解剖学	2号館 研究棟254号室	毎週月・水曜日 16:00～18:00
武内恒成	教授	生物学	3号館基礎科学棟 2階B208研究室	毎週月曜日 16:00～18:00
細川好孝	教授	生化学	2号館 研究棟361号室	毎週火・水・金曜日 16:00～18:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

選 択 講 座 1

【単位数：0.5単位，授業7コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい

- ① 医学教育モデルコアカリキュラムに定められている指針にとらわれず、「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」，「医学知識と科学的探究心」，「診療技能」，「地域社会への貢献」について理解を深め，幅広い知識・技能・態度/姿勢を身につける。
- ② 医学教育モデルコアカリキュラムの選択科目を創出し，上級生が屋根瓦式に下級生を指導する体制を構築する。

(2) 学修目標

選択するコースにより学修目標は異なるが，医療従事者になるものとして，多様な知識・技能・態度/姿勢を修得できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は不可とする。
その他	○	—	1コース(3コマ)毎に評価する。評価方法はコース毎に異なる。

出席： 全ての講義・演習に出席する必要がある。

(2) 合格基準

すべての評価対象において，不可がないこと(合否の2段階で判定)。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各授業で与えられる課題について，その場で口頭にてフィードバックする(選択コースによって差異あり)。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
コースにより異なる。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
コースにより異なる。			

6 準備学習(予習・復習)

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

7 授業計画

(1) 開催日時

別途掲示する日程表を参照すること。

(2) 講義の方法

選択するコース毎に授業の方法は異なる。

(3) 講義の内容

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

開講するコースについては、AIDLE-Kを参照すること。

2 学 年 次 履 修 科 目

プロフェッショナリズム 2

【単位数:1.5単位, 授業20コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい (I-1-c, I-2-c, I-3-c, I-4-c, I-5-c, I-6-c, I-11-c, I-12-c, I-13-c, I-14-c, I-15-c, II-1-c, II-2-c, II-3-c, II-5-c, III-8-c, IV-8-c, V-1-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」, 「コミュニケーション」, 「医学知識と科学的探究心」, 「診療技能」, 「地域社会への貢献」について学ぶ。
- ② 医師として社会の多様なニーズ対応できるようになるのみならず, 多様なキャリアパスを展望できるようになるために, 「医師として求められる基本的な資質・能力」である「プロフェッショナリズム」, 「医学知識と問題対応能力」, 「診療技能と患者ケア」, 「コミュニケーション能力」, 「チーム医療の実践」, 「医療の質と安全の管理」, 「社会における医療の実践」, 「科学的探究心」, 「生涯にわたって共に学ぶ姿勢」などについて概要を理解し, 様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

(2) 学修目標

- ① 医療面接に必要な基本的スキルを実践できる。
- ② 医学の各領域の代表的疾患の基本的病態・治療法を説明できる。
- ③ 医療を行う上で, 関与している職種とその役割を説明できる。
- ④ チーム医療における医師の果たす役割を説明できる。
- ⑤ 医師に求められる倫理規範について概説できる。
- ⑥ 医師の説明責任について概説できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	A4 2枚程度の記述式
態度	○	—	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

再試験はレポートを課す(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

答案に記載された内容について, 理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

答案は基本的に返却され, 採点項目を個々で確認する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
平静の心—オスラー博士講演集	ウィリアム・オスラー	医学書院	「医学はサイエンスに支えられたアートである」と述べた、臨床医・研究者として生き、医学教育の基礎を築いたオスラー博士の講演集。医学・医療に臨むすべての医療者の心構えについて啓発される。
医学を選んだ君たちに問う	河崎一夫	朝日新聞 2002.4.16 オピニオン 『私の視点』	すべての医学生が繰り返し読むべき講演内容である。医師になることの厳しさについて語られており、心が引き締まらずを得ない(ウェブ上で入手できる)。
医学部	鳥集 徹	文春文庫	一般人からみた医学・医療の現状・内情について解説されており、医学部・医療に入ってきた者として、今後の自身の在り方について考えさせられる。
医の知の羅針盤 良医であるためのヒント	ロバート・テイラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	医師として、人間としての成長のためにどうあるべきか、様々な視点からの助言集。手元に置いて、繰り返し読みたい内容である。
対話する医療 人間全体を診て癒すために	孫 大輔	さくら舎	あらゆる病いの緩和につながる対話する医療。患者の後ろに「家族の木」を見る家庭医の診察方法。医師の雑談やユーモア、共感力がもたらす癒しと治療の効果。新しい医療のカタチを明示している。
ケアの本質 —生きることの意味—	ミルトン・メイヤロフ	ゆみる出版	患者を診る(ケアする)とはどういうことか、その要素は何か、病める人と関わる者の姿勢、自身の在り方について考えさせられる。

6 準備学習(予習・復習)

講義終了後に、講義内容で印象深い点・今後学生生活を送るにあたって参考になる点などをまとめて記載しておく(1コマあたり0.5時間)。

プロフェッショナリズム2

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/18(木)	3	多職種連携(総論)	医学教育C	教授	早稲田勝久	302 講
2024/4/25(木)	3	多職種連携(医師と放射線技師)	中放	技師長	金田直樹	302 講
2024/5/2(木)	3	多職種連携(医師と臨床工学技師)	臨床工学部	副技師長	勝 啓佑	302 講
2024/5/9(木)	3	多職種連携(医師とソーシャルワーカー)	医療福祉相 談部	技師長	對馬清美	302 講
2024/5/16(木)	3	多職種連携(医師と薬剤師)	薬剤部	主任	野々垣知行	302 講
2024/5/23(木)	3	多職種連携(医師と検査技師)	中検	技師長	谷 浩也	302 講
2024/5/30(木)	3	多職種連携(医師と栄養士)	栄養部	管理栄養士	原 なおり	302 講
2024/6/6(木)	5	医師の働き方	—	非常勤講師	石川敦子	302 講
2024/6/13(木)	3	患者さんより学ぶ	—	非常勤講師	大柄嘉宏	302 講
2024/6/21(金)	5	患者さんより学ぶ	—	非常勤講師	本田睦子	302 講
2024/6/27(木)	3	救急蘇生	救命	准教授(特任)	苛原隆之	302 講
2024/6/27(木)	4	プロフェッショナリズム	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	302 講
2024/6/27(木)	5	プロフェッショナリズム	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	302 講
2024/6/28(金)	5	矯正医療	—	—	調整中	302 講
2024/9/11(水)	2	救急蘇生	救命	准教授(特任)	苛原隆之	シミュC
2024/9/18(水)	2	救急蘇生	救命	准教授(特任)	苛原隆之	シミュC
2024/9/25(水)	2	プロフェッショナリズム	—	客員教授	錦織 宏	302 講
2024/10/2(水)	2	先輩から聞く医師のキャリア	—	非常勤講師	池野文昭	302 講
2024/10/9(水)	2	先輩から聞く医師のキャリア	医学教育C	教授	早稲田勝久	302 講
2024/10/16(水)	2	医療被害者を通して良い医療を考える	—	非常勤講師	加藤良夫	302 講
2024/10/23(水)	2	外科医になろう!	乳外	助教	高阪絢子	302 講
2024/12/18(水)	4	定期試験	医学教育C	教授	早稲田勝久	101 講

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部小グループ討論や講師との質疑応答などの双方向の講義を導入する。

(3) 講義の内容

「医師として求められる基本的な資質・能力」の具体を、医師、コ・メディカルなどからそれぞれの領域の話題を提供してもらい、理解を深めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上 対応可
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄 附講座	2号館 研究棟355号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00
苛原隆之	准教授(特任)	救命救急科	大学病院中央棟 1階医局	毎週月・火・水曜日 15:00～17:00
高阪絢子	助教	外科学講座 乳腺・内分泌外科	C棟11階外科医局	木曜以外の平日 16:00～17:00
金田直樹	技師長	中央放射線部	—	講義終了後 講義室にて
谷 浩也	技師長	中央検査部	—	講義終了後 講義室にて
對馬清美	技師長	医療福祉相談部	—	講義終了後 講義室にて
勝 啓佑	副技師長	臨床工学部	—	講義終了後 講義室にて
原 なおり	管理栄養士	栄養部	—	講義終了後 講義室にて
野々垣知行	主任	薬剤部	—	講義終了後 講義室にて
錦織 宏	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
本田睦子	非常勤講師	難病のこども支援全国 ネットワーク	—	講義終了後 講義室にて
大柄嘉宏	非常勤講師	日本マルファン協会	—	講義終了後 講義室にて
加藤良夫	非常勤講師	栄法律事務所	—	講義終了後 講義室にて
池野文昭	非常勤講師	スタンフォード大学	—	講義終了後 講義室にて
石川敦子	非常勤講師	野村医院	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

多職種連携演習 2

【単位数：1.5単位，授業25コマ(内5コマ)】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

船木 淳 講師(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」について学ぶ。
- ② 医師として社会の多様なニーズに対応できるように，また医師の役割を様々な角度から考察できるようになるために，「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’，‘医学知識と問題対応能力’，‘コミュニケーション能力’，‘チーム医療の実践’，‘医療の質と安全の管理’，‘社会における医療の実践’，‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて考える機会を持ち，様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

(2) 学修目標

全体目標

- ① 他学部学生との協働を体験し，自己のコミュニケーションの課題を見出すことができる。
- ② 医療チームにおける多職種のコミュニケーションの重要性を説明できる。

1学年次

- ・ 医師として必要な多様な価値観を持つことができる。良いチームとは何か，自己と他者の理解に対する姿勢，コミュニケーションの重要性を述べることができる。

2学年次

- ・ 医療は多職種協働であることを理解し，医療チームを構成する上での課題を抽出出来る。

3学年次

- ・ 患者・家族の視点に立ち，チームとして課題解決に取り組むことの重要性を説明できる。

4学年次

- ・ 臨床場面において，患者・家族中心の多職種協働を実践できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	90%	提出期限の厳守，指示に則って記載できていない場合は再提出を求められることがある。
態度	○	10%	演習に対する参加度を評価する。

出席：演習の単位を修得するためには，欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

ただし、本科目は1学年次から4学年次に開講される多職種連携演習1～4全ての評価をもとに「多職種連携演習」として4学年次に単位認定をする(各学年での単位認定は行わないが、各学年で合格基準を満たすこと)。

2学年次では、5コマ開講する。

(3) 再試験・再評価の方法

再評価は教員と面接の上、課題を課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポートに記載された内容について、理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
他者と働く	宇田川元一	News Picks Publishing	「知識として正しいことと、実践の間には大きな隔りがある」として分かりあえなさを基盤に他者とのかかわりの大切さを考察できる。
異文化コミュニケーションワークブック	矢代京子 荒木晶子 他	三修社	自分自身の「異文化」に対する価値観を多様なセルフチェックで知ることができ、価値観を考えるきっかけとなる。
最強組織の法則—新時代のチームワークとは何か	ピーター・M・センゲ 守部信之 訳	徳間書店	すばらしいチームとはどのような要素で成り立っているのか、また、様々なタイプのリーダーについて考察することができる。

6 準備学習(予習・復習)

他学部との合同セッションになるため、身だしなみ、言葉遣いなど、参加するための準備をしておく(0.5時間)。

多職種連携演習 2

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/12/5(木)	1	演習準備	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC
			糖内	教授	神谷英紀	
			薬理学	准教授	山口奈緒子	
2024/12/5(木)	2		医学教育C	講師	河合聖子	
			糖内	講師	森下啓明	
			医学教育C	特命教育教授	伴 信太郎	
			地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	
2024/12/5(木)	3		シミュC	講師	船木 淳	
			—	非常勤講師	川原千香子	
			—	非常勤講師	浅田義和	
			—	非常勤講師	村岡千種	
2024/12/5(木)	4	他学部と合同演習	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC
			糖内	教授	神谷英紀	
			薬理学	准教授	山口奈緒子	
			医学教育C	講師	河合聖子	
			糖内	講師	森下啓明	
			医学教育C	特命教育教授	伴 信太郎	
			地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	
			シミュC	講師	船木 淳	
			看護学部	教授	山中 真	
			看護学部	教授	谷口千枝	
			看護学部	准教授	篠田かおる	
			看護学部	准教授	山本恵美子	
			看護学部	准教授	青山恵美	
			看護学部	准教授	黒澤昌洋	
			看護学部	講師	上坂真弓	
			—	客員教授	築山郁人	
			—	非常勤講師	川原千香子	
			—	非常勤講師	浅田義和	
			—	非常勤講師	村岡千種	
2024/12/5(木)	5					

(2) 講義の方法

小グループによる討論・発表や講師との質疑応答を行う。

(3) 講義の内容

看護学部学生・薬学部生と合同でグループワーク、発表を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
伴 信太郎	特命教育教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館研究棟359室	毎週月曜日～金曜日 18:00～19:00
神谷英紀	教授	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階教授室	毎週火曜 9:00～12:00 毎週木・金曜日 14:00～17:00
森下啓明	講師	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週火・金曜日 14:00～17:00
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	2号館 研究棟 355号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00
山中 真	教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
谷口千枝	教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
青山恵美	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
篠田かおる	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
山本恵美子	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
黒澤昌洋	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
上坂真弓	講師	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
築山郁人	非常勤講師	客員教授	—	講義終了後 講義室にて
川原千香子	非常勤講師	昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授	—	講義終了後 講義室にて
浅田義和	非常勤講師	自治医科大学 医学教育センター 准教授	—	講義終了後 講義室にて
村岡千種	非常勤講師	藤田医科大学 保健衛生学部 講師	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にする事。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

行 動 科 学 2

【単位数：1単位，授業13コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

鈴木孝太 教授(衛生学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-7-c, II-1-c, III-6-c)

- ① コンピテンス「プロフェッショナリズム」における，医師としての価値観・態度・姿勢を身につけるために，自分の行為と決断を振り返り，客観的に自己評価を行った上で，自己の目標を設定し，どのように達成することができるか，その方法を見出すことができる。
さらに，「コミュニケーション」における，個人同士だけではなく，集団，社会との適切なコミュニケーションをとり，「医学知識と科学的探究心」に基づいて人の健康行動につながる特に心理的，社会的要因について理解し，健康増進の方法を説明できる。
- ② 1学年次に学んだ行動科学1cでは個人を対象に人の行動について学んだが，行動科学2では，全ての人の行動を支える社会の仕組みを理解するために，社会医学の基礎的事項について学ぶ。そのことから，健康や疾病，障害が社会のあり方と密接に関連していることを理解し，医学・医療をとりまく社会のしくみとその実際を理解する。

(2) 学修目標

以下について，例などを用いて具体的に説明できることを目標とする。

- ① 健康の社会的決定要因及び，その他の環境要因
- ② 一次～三次予防と，ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ
- ③ 生存権，社会保障の4つの柱
- ④ 医療保険と介護保険，保険診療，自由診療，混合診療
- ⑤ 国民医療費に含まれるもの，またその変遷
- ⑥ 一般保健(公衆衛生)行政のシステム(厚生労働省，都道府県，保健所，市町村の役割や根拠法)
- ⑦ 災害発生からの時期に応じた医療ニーズとそれに対する対応
- ⑧ 日本における健康問題と，海外における健康問題の共通点及び違い

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60%	記述式及び多肢選択問題
レポート	○	40%	適宜実施し，記述内容により評価する。
その他	○	—	受講態度などにより，総合成績に加減点(最大10%)する。加点により100点を超える場合は100点とする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験，レポートの合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポート、確認テストについては、講評を作成し適宜メールで通知する。

また、定期試験で不合格となった者については、必要に応じ、補講を実施する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
公衆衛生がみえる	医療情報 科学研究 所編	MEDIC MEDIA	医学, 医療に関する, 倫理的, 法律的, 社会的な事柄がわかりやすく整理されて いる。
行動医学テキスト	日本行動 医学会	中外医学社	医学教育コアカリキュラムに準拠し行動 科学を網羅した良書。
各講義における配付資料			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Behavioral Science (7 th edition)	Barbara Fadem	Wolkers Kluwer	アメリカの行動科学の標準テキスト。米 国USMLEの問題も掲載し, 利用価値は 高い。
行動科学 健康づくりのための理論と 応用	畑 栄一, 土井由利子 編	南江堂	個人の行動変容を促す方法を学ぶ上で 有用。
医療・保健スタッフのための健康行動 理論の基礎 生活習慣病を中心に	松本千明	医歯薬出版	特に生活習慣病を対象に, 実際に行動 変容を促す方法を学ぶのに有用。
健康行動と健康教育	Karen Glanzら (曾根智史 ら訳)	医学書院	健康教育を含め, 行動変容を促す方法 を学ぶのに有用。
Theory in a Nutshell	Don Nutbeamら	McGraw-Hill Education	ヘルスプロモーションのさまざまな理論が まとめられている。
医療現場の行動経済学 すれ違う医 者と患者	大竹文雄, 平井 啓	東洋経済新 報社	行動経済学の視点から, 医療者, 患者 の考え方を説明している良書。

6 準備学習（予習・復習）

- 授業に臨むにあたり、「公衆衛生がみえる」などの教科書、参考書で、講義内容に関わる事柄について簡単に情報収集しておく(約0.5時間)。
- 非常勤講師の授業後を中心に、その授業までに知っていたこと、また授業で初めて知ったことというテーマなどのレポートを課すので、それらのテーマに沿ってレポートを作成する(約0.5時間)。

行動科学 2

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/9(月)	4	健康, 障害と疾病の概念 社会構造と健康・疾病との関連を示す	衛生学	教授	鈴木孝太	302 講
2024/9/11(水)	1	保健・医療・福祉・介護のしくみを概説する	衛生学	助教	若山 怜	302 講
2024/9/18(水)	1	医療訴訟における患者・家族と医師	—	非常勤講師	宮澤俊夫	302 講
2024/9/25(水)	1	医療の現場における行動科学	看護学部	教授	谷口千枝	302 講
2024/9/30(月)	4	子どもの健康と社会	—	非常勤講師	濱口典子	302 講
2024/10/2(水)	1	特別講義「認知症の人の生活」	—	非常勤講師	宮村季浩	302 講
2024/10/9(水)	1	国際保健のあり方と南アジアを中心とする具 体的な活動の紹介	衛生学	講師	梅村朋弘	302 講
2024/10/16(水)	1	救急医療の現場における人々の行動	—	非常勤講師	青木瑠里	302 講
2024/10/23(水)	1	働く人を守るさまざまなしくみの紹介	産業保健C	講師	成定明彦	302 講
2024/10/30(水)	1	障がいと医学・医療・社会	—	非常勤講師 (名誉教授)	二村真秀	302 講
2024/10/30(水)	2	災害医療対応システム	—	非常勤講師 (名誉教授)	中川 隆	302 講
2024/11/6(水)	1	民間企業での健康増進活動	衛生学	講師	川越 隆	302 講
2024/11/6(水)	2	地域社会医学実習に向けての心構え	— 衛生学	非常勤講師 教授	加藤正雄 鈴木孝太	302 講
2024/12/11(水)	3	定期試験	衛生学	教授	鈴木孝太	101 講

(2) 講義の方法

講義については、基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

1学年次の行動科学1cを中心に学んださまざまな人の行動について、今度は個人レベルから集団レベルまで幅広く学ぶために、社会における多様な健康に関する問題を、事例を中心に専門家から紹介する。さらに、そのような人間集団の行動を支える社会の仕組みについて、特に、医学・医療を中心に学ぶ。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
鈴木孝太	教授	衛生学講座	2号館 研究棟 371号室	水曜日(不定期) (部署宛に要事前連絡) 17:30~18:30
梅村朋弘	講師	衛生学講座	2号館 研究棟 370号室	月~金曜日 (要事前連絡) 10:00~18:00
川越 隆	講師	衛生学講座	2号館 研究棟 312号室	毎週水曜日 (要事前連絡) 16:00~18:30
若山 怜	助教	衛生学講座	2号館 研究棟 370号室	月~金曜日 (要事前連絡) 10:00~17:00
成定明彦	講師	産業保健科学センター	2号館 研究棟 377号室	水曜日 (要事前連絡) 17:00~18:30
宮澤俊夫	非常勤講師	宮澤俊夫法律事務所 弁護士	—	講義終了後 講義室にて
濱口典子	非常勤講師	国立病院機構 東名古屋病院 非常勤医師	—	講義終了後 講義室にて
宮村季浩	非常勤講師	山梨大学大学院 総合研究部 医学域看護学系保健学領域教授	—	講義終了後 講義室にて
中川 隆	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授 常滑市民病院麻酔科 部長兼救急医療センター 一部長	—	講義終了後 講義室にて
青木瑠里	非常勤講師	福友病院 非常勤医師	—	講義終了後 講義室にて
二村真秀	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授 医療法人尚徳会 ヨナ ハ介護老人保健施設 施設長	—	講義終了後 講義室にて
加藤正雄	非常勤講師	エムケイ教育アド研究所 代表	—	講義終了後 講義室にて
谷口千枝	教授	看護学部	看護学部棟 4階N451研究室	月曜日 16:30~18:00

※ 科目責任者への連絡は、衛生学講座の部署アドレスにメールすること。

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者部署に連絡先を問合せること。

統計学 2

【単位数:0.5単位, 授業7コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

橋本貴宏 教授(特任)(数学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-1-c, Ⅲ-10-c)

- ① コンピテンス「医学知識と科学的探究心」の中の「根拠に基づく医療」(EBM)を理解するために必要な統計学を学び, 併せてデータサイエンスを含めた諸科学への応用へとつなげる。
- ② 身体検査から薬効の判断, そして人工知能まで, 様々な応用がある統計学の知識を身に付け, それらを正しく運用する能力を養うことを目標とする。

(2) 学修目標

- ① 母平均や母比率の信頼区間について説明できる。
- ② 仮説検定の基礎が説明できる。
- ③ 2×2 分割表の分析方法を述べることができる。
- ④ ノンパラメトリック検定について説明することができる。
- ⑤ 重回帰分析の意味を説明できる。
- ⑥ 2値変数に対するロジスティック回帰分析を適用できる。
- ⑦ データに応じて, 最適な検定の方法を述べることができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
演習課題	○	70%	毎回の課題及びAIDLE-Kにおける活動により評価する。
レポート	○	30%	全講義終了後にレポート課題の提出をする。
態度	○	—	態度不良の場合は, 10点を限度として減点をする。

出席: 単位修得のためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートにより評価する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

毎回の授業プリントにおける質問には, 次回の授業で答える。
定期試験についての総括はAIDLE-Kを用いて行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
入門統計学(第2版)	栗原伸一	オーム社	1学年次における必修科目「医療のための数学」の指定教科書であった。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療系のための統計入門	藤井良宣 (編)	実教出版	医療系に必要な統計学の基礎知識がまとめられている。
医療系のための入門統計	勝野恵子 ほか	共立出版	医療系で使われる統計手法について、 数学的な面も記述されている。

6 準備学習（予習・復習）

授業前日までに授業のレジュメをAIDLE-Kにアップロードするので予習しておく(1コマあたり約1時間)。

授業での課題プリントを中心として講義内容を復習し、次回の授業に臨む(1コマあたり約1時間)。

統計学2

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/17(金)	1	統計入門	数学	教授(特任)	橋本貴宏	302 講
2025/1/17(金)	2	推定と検定	数学	教授(特任)	橋本貴宏	302 講
2025/1/20(月)	1	分割表の解析	数学	教授(特任)	橋本貴宏	302 講
2025/1/20(月)	2	検定の種類と使い分け	数学	教授(特任)	橋本貴宏	302 講
2025/1/23(木)	1	重回帰分析	数学	教授(特任)	橋本貴宏	302 講
2025/1/24(金)	1	ロジスティック回帰分析	数学	教授(特任)	橋本貴宏	302 講
2025/1/24(金)	2	医療統計まとめ	数学	教授(特任)	橋本貴宏	302 講

(2) 講義の方法

授業の前半に前回の振り返りと当日分の講義をした後、後半に課題演習を行い、AIDLE-Kに提出する。「医療のための数学」の講義ノートを用いた予習を欠かさないこと。また、この科目用のノート及び統計計算可能な情報端末を用意すること。

(3) 講義の内容

1学年次で学修した統計学のうち、記述統計、推定と検定の基礎を最初に振り返る。3学年次で学修するEBMの基礎にもなっている。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
橋本貴宏	教授(特任)	数学	3号館基礎科学棟 2階B202研究室	毎週金曜日 17:00~18:30

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

医学英語 2

【単位数：1.5単位，授業20コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授（外国語）

科目担当者

小川恭佑 助教（外国語）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-2-c，Ⅲ-4-b，Ⅲ-10-c）

- ① 前半は主にコアコンピテンスの“医学，医療における客観的根拠を適切に探索し，EBMを実践できる（医学知識と科学的探究心）”ようになるために，1年生及び2年生の医学英語では生体の正常な構造や機能について英語で学習する。本講義では引き続き，語彙力や文章理解力，リスニング力の向上を図る。とくに構文などの理解を重点的に行う。後半は主にコンピテンスの“疾患の概略について説明でき，鑑別を要する疾患を列挙し，病態や診断基準等と照らし合わせて考察できる”ことを英語でも実践できるよう学習を進める。
- ② 生涯にわたって自律的に学び続け，また自ら発信することができるようになるための基礎となる語学力を身に着けることと，患者の社会的背景（経済的・制度的側面等）が病いに及ぼす影響への理解を深めることがねらいである。

（2）学修目標

- ① 人体の構造と機能，common diseasesとその症状に関する語の意味を理解し，綴り・発音が実践できる。
- ② 医学用語の名詞に頻出する不規則複数形を理解し，未知語に対して応用できる。
- ③ 医学用語に頻出する接頭辞・接尾辞・連結形を理解し，未知語に対して応用できる。
- ④ 人体の構造と機能，common diseasesとその症状に関する英文や動画の内容の意味をくみ取ることができる。
- ⑤ 分詞構文を含む英文の構造を正しく理解することができる。
- ⑥ 関係代名詞，分詞，動名詞，不定詞，並列などが使用された英文の構造を正しく理解することができる。
- ⑦ 身体の構造や機能，疾患・症状に関する基礎的な語の意味を理解し，綴り・発音が実践できる。
- ⑧ 医療面接で使用されるより実践的な英会話が理解できる。
- ⑨ ケーススタディや研究論文で登場する疾患・症候について自ら調べることができる。
- ⑩ 調べものをするとき使用すべき信頼性の高いソースを見分けることができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
中間テスト	○	25%	出題範囲は前学期授業内容から(記述式を原則とする)
定期試験	○	25%	出題範囲は後学期授業内容から(記述式を原則とする)
前学期演習点	○	10%	主に前学期に実施される各回の終了時に実施される復習小テスト演習の合計* *採点方法：演習は原則「参加をしている・トライをしている」ことに点数を付けます。正答率は採点基準ではありませんが、中間・期末試験の準備も兼ねているので丁寧に取り組みましょう。
後学期演習点(後学期：倫理を考える)	○	25%	8% 「英語で倫理を考える」回のフィードバック及びレポート 17% ケーススタディ演習(英語教員の解説回にかかる演習10%;その他の教員の解説回にかかる演習7%) いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。
演習(語彙小テスト)	○	15%	e-ラーニングアプリ(ALC NetAcademy Next)から語彙小テスト3回(各5%, 自己採点式)
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験と、追加課題を課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

小テストや演習課題については、適宜振り返りと解説を授業内で行う。定期試験については、AIDLE-Kを通じて総括を行う。その中で、再確認が必要な項目を指摘する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
The Concise Human Body Book	Steve Parker	Dorling Kindersley Limited	一般読者及びコ・メディカルを対象として、人体の構造と機能について書かれた洋書。難しすぎない内容が簡潔な文章で書かれており、英語で医学の内容を読むことの導入にふさわしい。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
英文法どっちがどっち 単語の品詞がわかる本	伊藤和夫	復刊ドットコム	英文理解のための基礎となる文法で学習者が迷いやすいものを対比させながら解説。分かりやすく必要なところだけを読むことができる。文法が苦手な人に推奨。
Medical Terminology for Healthcare Professions https://pressbooks.uwf.edu/medical-terminology/	Andrea M. Nelson et al.	University of West Florida Pressbooks	接頭辞・接尾辞・連結形などが丁寧に解説されている。また、いわゆる「単語帳」とどまることなく、解剖学・生理学の文脈の中で医学専門用語を理解することができる。
Anatomy and Physiology 2e - 2e https://open.umn.edu/opentextbooks/textbooks/169			教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記 プロメテウスと合わせて読むと、医学専門用のみならず、医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
Anatomy: An Essential Textbook (Thieme Illustrated Reviews) 第3版	Anne M. Gilroy et al.	Thieme Medical Pub	教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記 プロメテウスと合わせて読むと、医学専門用のみならず、医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著), 中野隆 (監訳)	医学書院	医学専門用語(解剖の用語)の基本的な知識を日本語で理解する上で有用。
Dr.押味のあなたの医学英語なんとかします!	押味貴之	メジカルビュー社	プレゼンテーションと病歴聴取のコツが具体的に書かれており、授業で扱っている内容を効果的に復習することができる。
The Complete Subjective Health Assessment https://ecampusontario.pressbooks.pub/healthassessment/	Jennifer Lapum et al.	licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License	主観的健康観と文化的背景を平易な英語で患者に尋ねる技法が記載された open textbook である。

6 準備学習（予習・復習）

【それぞれの演習の予習と復習の方法】

予習・マインドセットとして授業開始前に、学習範囲を確認するクセをつけましょう。

復習を1コマあたり最低でも各 0.5 時間勉強することを推奨します。

小テストの準備のために、e-ラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next）での学習を日々進めてください（1日あたり10分）。

医用英単語の「からくり」は講義からある程度学ぶことができます。一方、英語を使いこなすには自立・自律学習が求められます。キャリアを通して一生使うものですので、毎回コツコツと身に付けましょう。その意味では授業はペースメーカーの役割でしかなく、小テストの正答率などをその目的地としてはいけません。また、上記の勉強時間はあくまで目安です。時間を費やすことを主とするのではなく、自分に必要な勉強時間数を確保してください。

【授業を受ける際の注意】

授業には、ノートパソコンかタブレットを持参のこと。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。

小テスト演習は中間試験及び学期末試験の準備も含まれていますのでわからない箇所はその都度丁寧に解消していきましょう。

【欠席した場合の注意】

- ① 教務課だけではなく、科目責任者とその回の担当者に連絡を入れること。
- ② AIDLE-K 上の資料や、友人に確認するなどして、学習が途切れないよう心掛けてください。
- ③ 欠席した日の小テスト演習は別途受験することができますので希望する場合は申告してください。（点数は事由により多少の減点をする場合があります。）

医学英語 2
7 授業計画
(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/15(月)	1	ガイダンス Respiratory System(1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/4/22(月)	5	Respiratory System(2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/5/20(月)	5	演習 (NetAcademy 語彙小テスト) 1回目 Respiratory System(3)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/5/27(月)	5	Respiratory System(4)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/6/3(月)	5	Lymph and immune systems(1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/6/10(月)	5	Lymph and immune systems(2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/6/17(月)	1	Lymph and immune systems(3)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/6/20(木)	1	演習 (NetAcademy 語彙小テスト) 2回目 Lymph and immune systems(4)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/6/27(木)	1	中間テスト	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	101 講
2024/6/27(木)	2	中間テスト振り返りと, 後学期授業に向けてのお話	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/9/9(月)	5	後学期ガイダンス 【AL】英語で倫理を考える(1)	外国語 哲学	助教 講師	小川恭佑 川崎 優	302 講
2024/9/30(月)	5	【AL】英語で倫理を考える(2)	外国語 哲学	助教 講師	小川恭佑 川崎 優	302 講
2024/10/7(月)	4	演習 (NetAcademy 語彙小テスト) 3回目 【AL】英語で倫理を考える(3)	外国語 哲学 外国語	助教 講師 准教授	小川恭佑 川崎 優 平田亜紀	302 講
2024/10/7(月)	5	【AL】英語で倫理を考える(4)	外国語 哲学	助教 講師	小川恭佑 川崎 優	302 講
2024/10/28(月)	4	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/10/28(月)	5	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/11/7(木)	4	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(3)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/11/7(木)	5	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(4)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/11/11(月)	4	Case Study: 臨床医解説回(1)	— 外国語 外国語	非常勤講師 准教授 助教	安田宗義 平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/11/11(月)	5	Case Study: 臨床医解説回(2)	— 外国語 外国語	非常勤講師 准教授 助教	安田宗義 平田亜紀 小川恭佑	302 講
2024/12/12(木)	3	定期試験	外国語	准教授	平田亜紀	101 講

(2) 講義の方法

大教室での知識伝達型講義と、問題解決型の演習の併用。

(3) 講義の内容

前学期は医学英語1bに引き続き、医学専門用語、とくに身体の器官の英語での名称を学習する。語の暗記だけではなく、英文で書かれた機能に関する記述や動画の説明などの理解も通して、語学の基礎的な4技能のうち読む・書く(スペリング)・聴く・話す(発話)の強化を行う。また e-ラーニングアプリ (ALC NetAcademy Next)に準拠した小テスト演習を行う。これは演習であるため参加点を原則とする。

Case Study 演習では、英語で行われる医療面接をシーンごとに区切り英語表現を学習したうえで、扱われる症例の専門家による解説講義が行われる。なお専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため、学生は能動的に参加することが求められる。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
平田亜紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階B201研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
小川恭佑	助教	外国語	3号館基礎科学棟 2階B210研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
川崎 優	講師	哲学	3号館基礎科学棟 2階 B203 研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
安田宗義	非常勤講師	一宮西病院 脳神経外科部長	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

分子発生学

【単位数:1.5単位, 授業20コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

武内恒成 教授(生物学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-1-c, Ⅲ-2-c, Ⅲ-3-c, Ⅲ-9-c)

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”において、“生体の正常な構造と機能の発生, 加齢及び死を生命科学的知識によって説明する”ための, 人体の発生の基本的かつ必須の概念を学修する。
解剖学で学修した人体の正常機能と構造に対して, その正常構造の形成過程についてはじめての時系列の概念が加わる。さらに, 学んできた正常構造に対して, はじめて“異常”な形成, つまり“疾患”の観点が発生学から見えてくる。正常と異常の違いと, 何が疾患なのかを意識するために, 人体発生・形成過程だけではなく, 臨床につながる分子やその分子機構及びその破綻などの発生メカニズムを学修する。
さらに, 分子発生学・人体発生学においては, 遺伝及び形態形成遺伝子・プログラミング異常による疾患の観点を必要とする。最新の分子発生学知見から, “発生疾病の病因や治療につながる基礎医学的要素を説明できる”ための理解を進める。
- ② 個体と器官が形成される発生過程を理解する。特にマクロ解剖学的な観点のみならず, 最新の分子発生学的知見を理解し, ゲノム・遺伝子からの遺伝学的側面からの今後の臨床応用につながる進展を理解する。
- ③ 発生異常, 遺伝子プログラミングや形態形成と疾患の関連といった課題を軸にして, 分子発生学の進歩が, がん, 生活習慣病といった臨床医学の知見と深い関わりを持っており, がんをはじめとする疾病や再生医学など最先端医療を理解するためにも必須であること, その概要を認識する。さらに「再生医療」, 「ゲノム編集技術」などの最新知見の理解を進める。

(2) 学修目標

- ① 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。
- ② 体節の形成と分化及びそれに伴う疾患を説明できる。
- ③ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程及びそれに伴う疾患を概説できる。
- ④ 消化・呼吸器系各器官の形成過程及びそれに伴う疾患を概説できる。
- ⑤ 心血管系の形成過程及びそれに伴う疾患を説明できる。
- ⑥ 泌尿生殖器の形成過程とそれに伴う疾患を説明できる(女性生殖器の詳細は産婦人科学で再掲する)。
- ⑦ 胚内体腔の形成過程を概説できる。
- ⑧ 鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程及びそれに伴う疾患を概説できる。
- ⑨ 神経管の分化と脳, 脊髄, 視覚器, 平衡聴覚器と自律神経系の形成過程及びそれに伴う疾患を説明できる。
- ⑩ 発生過程における分子メカニズムの概要と重要な情報伝達系を分子・ゲノム・遺伝学の観点からも説明できる。
- ⑪ 網羅的遺伝子解析, イメージング, ゲノム編集技術などの発生・疾患解析における最新技術を概説できる。
- ⑫ 最新再生医療(幹細胞・ES/iPS細胞, オルガノイド・人工臓器)の現状と今後の医療展開展望について概要を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	記述式を原則とし、CBTに準ずる多肢選択問題を60%含む形式を採用する。
レポート	○	10%	講義中に提示するレポート課題とともに、AIDLE-Kを利用したネット上での回答及び提出を実施する。
小テスト	○	10%	講義中に行う小テスト(理解度チェック)とともに、AIDLE-Kを利用したネット上での小テスト(理解度振り返りチェック)を実施する。多肢選択問題を原則とする。
態度	○	—	受講態度及びAIDLE-K提出や課題取り組みが著しく不良の場合には総合成績の上限10%まで減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

ビデオ解説及びAIDLE-K提示資料による反転学修：動画での理解取り組みや、AIDLE-K利用の方法などは初回4月16日(火)に説明する。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。レポートや再試験結果などで大きな不足がある場合には、講義資料動画などを視聴の上でのレポートも課すこともある。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

- 積極的なAIDLE-Kでの資料提示及び動画の視聴・課題確認を促すため、AIDLE-Kとeポートフォリオにおけるフィードバックを行う。
- レポートについては、紙媒体での提示ではなくAIDLE-KでのPDFファイル提出を促すとともに、ネット上でのフィードバックを行う。
- 定期試験の成績についての総括を学内メールで配信するとともに、AIDLE-K及び教室ホームページの教育項目などを駆使して、振り返りフィードバックを行う。
これによって理解が不十分な項目について、教科書による再確認を促すとともに、定期試験で不合格となったものは再試験に向けて学修を進めること。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
ラングマン人体発生学第12版(原書13版)	著者 T.W.Sadler 訳 安田峯生 山田重人	メディカル・サイエンス・インターナショナル	発生学的知識を網羅するとともに分子レベルの最新の知見と疾患との関連が詳しい。章ごとに提示されている演習問題とその解説もそれぞれの臓器器官の発生過程でのポイントと重要な疾患との関連性を示唆しているため、参考となる。
ビジュアル 人体発生学	山田重人著	羊土社	CBT/国試、一般臨床に役立つ要点をおさえたスリムな解説とともにイラストが簡潔にまとめられている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
カラー図説 人体発生学講義ノート	塩田浩平 著	金芳堂	内容が簡潔にして明快であり、項目ごとに記載されるMemoは臨床疾患を理解するうえで非常に参考になる。
新 発生学	白澤信行 著	日本医事新報社	内容が簡潔であり、総括的な知識の整理に有効である。一昨年まで教科書サブノートとして利用した。
エッセンシャル発生生物学	J.Slack著 大隅典子 訳	羊土社	最新の分子発生学の総合的な内容を網羅している。発生学の全体像をつかむには最適。
ギルバート発生生物学	阿形清和, 高橋淑子 監訳	メディカルサイエンスIS	最新の分子発生学の総合的な内容を網羅している。

6 準備学習（予習・復習）

- 授業に臨むにあたって教科書「ラングマン人体発生学」の該当項目の概略、イメージ図などを一読して、概要と簡単な知識を得ておくこと(1コマあたり約15分)。
- 時系列を理解するために、AIDLE-Kにアップされている関連動画や資料などをあらかじめ視聴し、講義に臨むこと(1コマあたり約5分弱の動画となっているため、2回繰り返しての約10分程度)。
- 講義の後にはAIDLE-Kのレジュメ及び教科書「ラングマン人体発生学」で内容の総括とまとめを、サブノート(新 発生学)も利用し復習と確認を行うこと(1コマあたり約50分)。
- 教科書とAIDLE-Kにアップされた動画及び資料を中心に内容の再確認を行う(1コマあたり約10分)。
- 教科書「ラングマン人体発生学」の内容と掲載問題を確認して、翌週などの小課題・小テスト及び次回の講義に備えること(1コマあたり約0.5時間)。

分子発生学
7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/16(火)	1	総論①・生殖形成～発生第1週 分子的基盤とシグナル伝達(細胞生物学・生理学復習を含む)	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/4/16(火)	2	総論②・発生第2週:二層性胚盤 栄養膜と胎盤形成含む	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/4/23(火)	1	総論③・発生第3週:原腸形成と体軸の確立 腸管と体腔初期形成を含む	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/4/23(火)	2	総論④・発生第3～8週:胚子期 と発生3か 月～出産 胎児と胎盤	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/4/30(火)	1	各論(1)・軸骨格(椎骨脊柱), 頭蓋骨の形成 (骨形成過程含む), 筋系の発生・筋発生,	生物学	教授(特任)	池野正史	302 講
2024/4/30(火)	2	各論(2)・体肢発生と筋のパターン形成過程, 体腔の形成と外皮系発生(皮膚・汗腺乳腺)	生物学	教授(特任)	池野正史	302 講
2024/5/7(火)	1	各論(3)・心臓脈管系1 一次心臓野から心筒・心ループ及び刺激伝 達系の形成・その異常	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/5/7(火)	2	各論(4)・心臓脈管系2 心臓中隔の形成・疾患, 静脈洞の発生	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/5/14(火)	1	各論(5)・心臓脈管系3 脈管の発生・出生前後の循環・疾患	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/5/14(火)	2	各論(6)・呼吸器系 胚芽の形成と咽頭, 肺の成熟・疾患 各論(7)・消化器系1 腸管形成導入, 各消化管形成	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/5/21(火)	1	各論(8)・消化器系2 腸管と腸管ループの分子制御, 器官形成	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/5/21(火)	2	各論(9)・尿生殖器系1 内生殖器導入, その分子基盤・疾患	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/5/28(火)	1	各論(10)・神経系1 脳胞と神経管形成, ニューロングリア発生の分 子機構, 脊髄・大脳の形成と分化の分子制御	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/5/28(火)	2	各論(11)・神経系2 小脳, 間脳(視床)の発生, 末梢神経系1の 発生分子機構	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/6/4(火)	1	【JS】各論(12)・尿生殖器系2 胎盤形成と出生前診断 (産婦人科学・臨床の観点から)	産婦	教授	渡辺員支	302 講
2024/6/4(火)	2	各論(13)・神経系3【特別講義】 ストレス・情動・生殖からみた神経解剖学と神 経発生	—	非常勤講師	田中雅樹	302 講
2024/6/11(火)	1	各論(14)・頭頸部1 咽頭弓～咽頭溝の形成, 口腔・舌・顔面形成	生物学	教授(特任)	池野正史	302 講
2024/6/11(火)	2	【JS】総論⑤ 臨床遺伝学・遺伝と発生 (内科学・診断医学臨床観点の遺伝的要素)	内内	教授(特任)	高木潤子	302 講

分子発生学

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2024/6/18(火)	1	各論(15)・頭頸部2 感覚器と視覚器の形成1 眼形成と眼筋眼瞼, 眼神経形成	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/6/18(火)	2	各論(16)・頭頸部3 感覚器と視覚器の形成2 耳の発生, 内耳及び平衡器官発生 各論(17)・付属器及び内分泌の発生と異常	生物学	教授	武内恒成	302 講
2024/7/23(火)	1	定期試験	生物学	教授	武内恒成	101 講

(2) 講義の方法

- 基本的に大教室での知識伝達型講義を中心とするが、特に3次元のイメージの理解(発生学は時間軸を重要視する)を助けるために、動画及び立体画像データなどを多用する。これら講義資料及び資料解説において、さらに講義中もAIDLE-Kあるいはクリッカーを利用した双方向性の回答なども講義に導入する。討論とアクティブ・ラーニングとともに、小テストやAIDLE-Kでの回答を頻繁に行うので、積極的な自学を求める。
- タブレットやラップトップコンピュータを用いた動画による説明と配信も進めているため、これら機器いずれかを講義に携帯することを求める(但し、講義中の別用途での利用は強く禁止する)。
- 教科書2冊の積極的な利用とネット環境下での資料視聴は必須である。コンピュータ・タブレット等情報機器の講義持ち込みも必須とし、資料動画及び資料の閲覧についてもAIDLE-Kによる教員側からのチェックを進めながら進行する。

(3) 講義の内容

- 頻繁な小テストや振り返り確認を進めるので注意を要する。
- 教科書に準じて進めるため、常に活用し、サブテキスト(ビジュアル人体発生学)などへの適宜記載を行いながら講義を進める。
- 講義内容においては臨床系科目など他教科目との連携も密に進めるので、その連携やつながりを意識しながら講義を受けることを求める。特に産科・婦人科学及び内分泌内科学などからの出生前診断と遺伝子異常などの臨床遺伝学的知見も組み込まれるので、教科書の当該箇所を含めて押さえておくこと。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
武内恒成	教授	生物学	3号館基礎科学棟 2階B213研究室	毎週月曜日 16:00~18:00
池野正史	教授(特任)	生物学	3号館基礎科学棟 2階B208研究室	毎週火曜日 15:00~17:00
高木潤子	教授(特任)	内科学講座 内分泌・代謝内科	D棟2階医局	毎週金曜日 15:00~16:30
渡辺員支	教授	産婦人科学講座	D棟4階医局	毎週金曜日 16:00~17:00
田中雅樹	非常勤講師	京都府立医科大学 解剖学 教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール: Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

生 命 倫 理 2

【単位数：0.5単位，授業7コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

川崎 優 講師(哲学)

2 教育目標

(1) ねらい (I-1-c, I-2-c, I-4-c)

- ① 基本的な倫理の4原則の観点から，生命倫理の諸問題について考察できる。
- ② 生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観を理解した上で，自分の考えを論理的に説明できる。

(2) 学修目標

- ① 倫理がなぜ人間に必要なのかを説明できる。
- ② 生命倫理の諸問題に関する基本的知識を修得する。
- ③ 医療の領域において，どのような倫理的問題が生じているか説明できる。
- ④ 基本的な倫理の4原則の観点から具体的な倫理的問題を考察できる。
- ⑤ 生命倫理の諸問題をめぐる多様な価値観を説明できる。
- ⑥ 適切なコミュニケーションを取りながら，グループ内での役割を果たすことができる。
- ⑦ 生命倫理の諸問題に対する自分の考えを論理的に説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
参加状況	○	20%	発表準備への参加状況。
演習点	○	40%	各グループの発表内容や質疑応答などを評価する。
レポート	○	40%	授業の最終日にレポートを課す。

出席：単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各グループの発表に対して，授業の中でフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
考えよう！生と死のこと—基礎から学ぶ生命倫理と死生学	波多江伸子， 寺田篤史， 脇 崇晴	木星舎	生命倫理の諸問題について端的にわかりやすく概説されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
入門・医療倫理 I〔改訂版〕	赤林 朗〔編〕	勁草書房	生命倫理の諸問題について、より具体的な国内外の現状や哲学的議論が詳説されている。
看護のための生命倫理〔改定三版〕	小林亜津子	ナカニシヤ出版	タイトルに「看護のための」と記されているが、専門問わずおすすめの内容。

6 準備学習（予習・復習）

教科書の該当箇所を読んで予習・復習を行うこと。（1コマあたり約1時間）。

生命倫理

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/17(金)	3	授業の進め方の説明／生命倫理とは	哲学	講師	川崎 優	302 講
2025/1/20(月)	3	【AL】発表準備(グループ活動)	哲学	講師	川崎 優	302 講
2025/1/20(月)	4	【AL】発表準備(グループ活動)	哲学	講師	川崎 優	302 講
2025/1/23(木)	2	【AL】グループ発表 (人工授精と体外受精／代理出産)	哲学	講師	川崎 優	302 講
2025/1/23(木)	3	【AL】グループ発表 (人工妊娠中絶／出生前診断)	哲学	講師	川崎 優	302 講
2025/1/24(金)	3	【AL】グループ発表 (臓器移植／再生医療)	哲学	講師	川崎 優	302 講
2025/1/24(金)	4	【AL】グループ発表 (延命治療／安楽死)	哲学	講師	川崎 優	302 講

（2）講義の方法

グループでの調べ学習や発表などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（3）講義の内容

8つのテーマ(人工授精と体外受精／代理出産／人工妊娠中絶／出生前診断／臓器移植／再生医療／延命治療／安楽死)について学ぶ。グループ毎に担当テーマについて調べた内容や話し合った内容について、PowerPointを用いて発表を行う。主体的な調べ学習やグループでの意見交換、発表と質疑応答などをおして、生命倫理の諸問題への理解を進めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
川崎 優	講師	哲学	3号館基礎科学棟 2階B203研究室	毎週火曜日 16:30～17:30

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

基礎医学セミナー(2年生)

【単位数:3.5単位, 授業50コマ】

1 科目責任者

細川好孝 教授(生化学)

科目担当者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-7-c, I-8-c, I-15-c, III-1-c, III-3-c, III-10-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム:生涯学習」,「医学知識と科学的探究心」を学ぶために,様々な分野から特定の課題を選択し,その課題について調査・研究を行う。
- ② 医学の進歩は日進月歩であり,その膨大な情報から取捨選択しながら学ぶ必要があり,自ら考え,学び続ける一歩として本セミナーに取り組む。

(2) 学修目標

- ① 課題から新たな問題点を抽出できる。
- ② 課題に沿った調査・研究計画の立案ができる。
- ③ 課題に積極的に取り組むことができる。
- ④ 調査・研究内容を適切にまとめ,分かりやすく発表することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
セミナーへの取り組み	○	50%	セミナーへの取り組む姿勢,積極性などを評価する。
発表	○	25%	発表会における発表内容・発表方法及びその工夫を評価する。
レポート	○	25%	まとめられたセミナー内容の報告書を評価する。

出席: 基礎医学セミナーの実習を修得するためには,欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

不合格の場合は,面談の上,課題レポートを課し再評価する。課題レポートを採点して60点以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

選択コースごとに与えられる課題について,口頭にて解説する(選択コースによって若干の差異がありえる)。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
各セミナーで指定される。			

6 準備学習（予習・復習）

課題テーマに関連する事項を事前に学習する（約0.5時間）。

基礎医学セミナー

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/27(月)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2025/1/27(月)	2					
2025/1/27(月)	3					
2025/1/27(月)	4					
2025/1/27(月)	5					
2025/1/28(火)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2025/1/28(火)	2					
2025/1/28(火)	3					
2025/1/28(火)	4					
2025/1/28(火)	5					
2025/1/29(水)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2025/1/29(水)	2					
2025/1/29(水)	3					
2025/1/29(水)	4					
2025/1/29(水)	5					
2025/2/3(月)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2025/2/3(月)	2					
2025/2/3(月)	3					
2025/2/3(月)	4					
2025/2/3(月)	5					
2025/2/4(火)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2025/2/4(火)	2					
2025/2/4(火)	3					
2025/2/4(火)	4					
2025/2/4(火)	5					
2025/2/7(金)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2025/2/7(金)	2					
2025/2/7(金)	3					
2025/2/7(金)	4					
2025/2/7(金)	5					
2025/2/10(月)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2025/2/10(月)	2					
2025/2/10(月)	3					
2025/2/10(月)	4					
2025/2/10(月)	5					

基礎医学セミナー

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/2/12(水)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2025/2/12(水)	2					
2025/2/12(水)	3					
2025/2/12(水)	4					
2025/2/12(水)	5					
2025/2/13(木)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2025/2/13(木)	2					
2025/2/13(木)	3					
2025/2/13(木)	4					
2025/2/13(木)	5					
2025/2/14(金)	1	成果発表会	生化学 医学教育C	教授 教授	細川好孝 早稲田勝久	302 講
2025/2/14(金)	2					
2025/2/14(金)	3					
2025/2/14(金)	4					
2025/2/14(金)	5					

(2) 講義の方法

講義・個人ワーク・グループ討論・全体討論を組み合わせ、様々な考え方を共有・議論できるようにする。

(3) 講義の内容

各セミナーや取り組む課題については、別途通知する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
細川好孝	教授	生化学講座	2号館 研究棟361号室	毎週火・水・金曜日 16:00～18:00
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上 対応可

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

解剖学実習 2

【単位数：3単位，授業84コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

内藤宗和 教授(解剖学講座)

科目担当者

畑山直之 准教授(解剖学講座)

2 教育目標

(1) **ねらい**(I - 1 - c, I - 2 - c, I - 3 - c, I - 4 - c, I - 5 - c, I - 6 - c, I - 7 - c, I - 8 - c, I - 9 - c, I - 10 - c, I - 11 - c, I - 13 - c, I - 14 - c, I - 15 - c, II - 1 - c, II - 2 - c, II - 3 - c, II - 4 - c, II - 5 - c, II - 6 - c, III - 1 - c, III - 2 - c, III - 3 - c, III - 4 - c, III - 5 - c, III - 6 - c, III - 7 - c, III - 8 - c, III - 10 - c, IV - 2 - c, IV - 4 - c, IV - 9 - c, V - 1 - c, V - 4 - c)

- ① 『医学知識と科学的探求』のため，生体の正常な構造や機能を理解し，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学知識を学ぶ。また，実習を通して『コミュニケーション』と『プロフェッショナリズム』を習得する。
- ② 「次世代の医学のため無報酬で自らの身体を提供する」献体の精神に学び，医の倫理を身につける。人体の構造の美しさ，精巧さ，多様性を学び，医療人としての観察眼を養う。

(2) 学修目標

- ① 人体構造の系統を把握し，解剖用語によって正確に述べることができる。
- ② 骨格，臓器の機能的及び臨床的意義，細胞・組織の特徴を説明できる。
- ③ 骨学，組織学，神経解剖学，肉眼解剖学，臨床解剖学の知識を統合し，説明できる。
- ④ 画像解剖学と対応させ，人体の三次元構造を説明できる。
- ⑤ 実習において，班員同士で協力して作業ができる。
- ⑥ 実習において，解剖学の知識を正しく使うことができる。
- ⑦ 身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を説明できる。
- ⑧ 解剖学の学習，特に実習を通して，医療安全の重要性を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	85%	実習内容に即した多肢選択問題と記述式を含む。
課題	○	12%	実習内容の予習・復習のための課題を行う。
口頭試問	○	3%	実習内容に即した口頭試問を1回行う。
態度	○	—	態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

* 模範解答を提示し，学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し，解答の見直しを行う。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。
再試験は、定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

課題は、AIDLE-Kで行い、模範解答を掲載する。口頭試問は、講義内で解説する。定期試験の問題を配付し、定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。定期試験については、模範解答を提示し、学生から質疑を受ける。質疑に対して返答し、解答の見直しを行う。不合格となった者は、配付した問題を参考にして理解が不十分な項目を中心に学習すること。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
解剖実習カラーテキスト	坂井建雄	医学書院	解剖実習の標準的手技を、コンパクトかつビジュアルにまとめた実習書であるため。
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著), 中野 隆 (監修)	医学書院	医学生に必要な解剖学のエッセンスがコンパクトにまとまった内容であるため。
骨学のすゝめ	中野 隆	南江堂	愛知医科大学の学生が作成したテキストがもととなり、学生の目線を盛り込んだわかりやすい内容であるため。
バーチャルスライド 組織学	駒崎伸二	羊土社	実績ある組織学の教科書の一つであるため。
ヒューマン・アナトミー・アトラス		Visible Body	インタラクティブな3D解剖リソースであるため。
レジュメ配布 (Subtext)			講義において効率的に能動的な学習を促進するため、学習ポイントが理解できる書き込み式のレジュメを配布する。

* 解剖学1a, 解剖学実習1a, 解剖学1b, 解剖学実習1b, 解剖学実習2で骨学, 組織学(マイクロ), 肉眼解剖学(マクロ)を体系的に学ぶため、すべての科目で共通して教科書3冊と3Dアプリを使用する。加えて解剖学実習2では、実習の手順の教科書として解剖実習カラーテキストを用いる。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
解剖学講義	伊藤 隆	南山堂	実績ある解剖学の教科書の一つであるため。
ムーア臨床解剖学	坂井建雄 (監訳)	メディカル・サイエンス・インターナショナル	臨床のための解剖学を学ぶために有用であるため。
プロメテウス解剖学コアアトラス	坂井建雄 (監訳)	医学書院	美しいイラストが解剖学を学ぶために有用であるため。

6 準備学習（予習・復習）

- 動画資料及び小テストを用いて、どの事項が取り上げられているのか確認しておく(1日あたり約0.5時間)。
- 実習で習った内容を復習する(1日あたり約15分)。
- 過去に出題された問題を用いて、知識を定着させる(1日あたり約15分)。

解剖学実習 2

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/16(火)	3	解剖実習 1	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学	教授 准教授 講師 助教 助教 助教 助教 准教授	内藤宗和 畑山直之 福重 香 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 大久保友人 玉置優貴 篠田かおる	研 101 研 106
2024/4/16(火)	4					
2024/4/16(火)	5					
2024/4/17(水)	3	解剖実習 2	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教	畑山直之 福重 香 大塚 俊 単 西瑠 竹内堂朗 大久保友人 玉置優貴	研 101 研 106
2024/4/17(水)	4					
2024/4/17(水)	5					
2024/4/19(金)	3	解剖実習 3	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 講師 助教 助教 助教	畑山直之 福重 香 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 玉置優貴	研 101 研 106
2024/4/19(金)	4					
2024/4/19(金)	5					
2024/4/23(火)	3	解剖実習 4	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 助教 助教 助教 助教	内藤宗和 畑山直之 福重 香 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 大久保友人 玉置優貴	研 101 研 106
2024/4/23(火)	4					
2024/4/23(火)	5					
2024/4/24(水)	3	解剖実習 5	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教 助教 助教	畑山直之 福重 香 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 大久保友人 玉置優貴	研 101 研 106
2024/4/24(水)	4					
2024/4/24(水)	5					
2024/4/26(金)	3	解剖実習 6	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学 看護学	講師 講師 助教 助教 助教 准教授 准教授	福重 香 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 玉置優貴 篠田かおる 黒澤昌洋	研 101 研 106
2024/4/26(金)	4					
2024/4/26(金)	5					
2024/4/30(火)	3	解剖実習 7	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 助教 助教 助教	内藤宗和 畑山直之 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 大久保友人	研 101 研 106
2024/4/30(火)	4					
2024/4/30(火)	5					

解剖学実習 2

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/1(水)	3	解剖実習 8	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	助教 助教 助教 助教	梅本佳納 榮 単 西瑠 竹内堂 朗 大久保 友人 玉置 優貴	研 101 研 106
2024/5/1(水)	4					
2024/5/1(水)	5					
2024/5/7(火)	3	解剖実習 9	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教	内藤宗和 畑山直之 福重 香 大塚 俊 単 西瑠 大久保 友人	研 101 研 106
2024/5/7(火)	4					
2024/5/7(火)	5					
2024/5/8(水)	3	解剖実習 10	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教	畑山直之 福重 香 単 西瑠 大久保 友人	研 101 研 106
2024/5/8(水)	4					
2024/5/8(水)	5					
2024/5/10(金)	3	解剖実習 11	解剖学 解剖学 解剖学 看護学	講師 助教 助教 助教 准教授	大塚 俊 梅本佳納 榮 単 西瑠 玉置 優貴 篠田かおる	研 101 研 106
2024/5/10(金)	4					
2024/5/10(金)	5					
2024/5/13(月)	1	解剖実習 (慰霊祭・つどいの会)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤宗和 畑山直之 福重 香 大塚 俊 梅本佳納 榮 単 西瑠 竹内堂 朗 大久保 友人 玉置 優貴	研 106 日泰寺
2024/5/13(月)	2					
2024/5/13(月)	3					
2024/5/13(月)	4					
2024/5/13(月)	5					
2024/5/13(月)	6					
2024/5/14(火)	3	解剖実習 (口頭試問)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤宗和 畑山直之 福重 香 大塚 俊 梅本佳納 榮 単 西瑠 竹内堂 朗 大久保 友人 玉置 優貴	研 101 研 106
2024/5/14(火)	4					
2024/5/14(火)	5					
2024/5/15(水)	3	解剖実習 12	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教 助教	畑山直之 大塚 俊 梅本佳納 榮 単 西瑠 大久保 友人	研 101 研 106
2024/5/15(水)	4					
2024/5/15(水)	5					
2024/5/17(金)	3	解剖実習 13	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学 看護学	講師 助教 助教 助教 助教 准教授 准教授	大塚 俊 梅本佳納 榮 単 西瑠 竹内堂 朗 玉置 優貴 篠田かおる 黒澤昌洋	研 101 研 106
2024/5/17(金)	4					
2024/5/17(金)	5					
2024/5/21(火)	3	解剖実習 14	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教	内藤宗和 畑山直之 福重 香 大塚 俊 単 西瑠 大久保 友人	研 101 研 106
2024/5/21(火)	4					
2024/5/21(火)	5					

解剖学実習 2

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/22(水)	3	解剖実習 15	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教	畑山直之 福重 香 梅本佳納榮 単 西瑠 大久保友人	研 101 研 106
2024/5/22(水)	4					
2024/5/22(水)	5					
2024/5/24(金)	3	解剖実習 16	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 助教 助教 助教	大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 玉置優貴	研 101 研 106
2024/5/24(金)	4					
2024/5/24(金)	5					
2024/5/28(火)	3	解剖実習 17	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 助教 助教 助教	内藤宗和 畑山直之 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 大久保友人 玉置優貴	研 101 研 106
2024/5/28(火)	4					
2024/5/28(火)	5					
2024/5/29(水)	3	解剖実習 18	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 講師 助教 助教 助教 助教	畑山直之 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 大久保友人 玉置優貴	研 101 研 106
2024/5/29(水)	4					
2024/5/29(水)	5					
2024/5/31(金)	3	解剖実習 19	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学 看護学	准教授 講師 助教 助教 助教 助教 准教授 准教授	畑山直之 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 玉置優貴 篠田かおる 黒澤昌洋	研 101 研 106
2024/5/31(金)	4					
2024/5/31(金)	5					
2024/6/4(火)	3	解剖実習 20	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 助教 助教 助教	内藤宗和 畑山直之 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 大久保友人	研 101 研 106
2024/6/4(火)	4					
2024/6/4(火)	5					
2024/6/5(水)	3	解剖実習 21	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	准教授 助教 助教 助教 助教	畑山直之 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 大久保友人 玉置優貴	研 101 研 106
2024/6/5(水)	4					
2024/6/5(水)	5					
2024/6/7(金)	3	解剖実習 22	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	講師 講師 助教 助教 助教	福重 香 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 玉置優貴	研 101 研 106
2024/6/7(金)	4					
2024/6/7(金)	5					

解剖学実習 2

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/11(火)	3	定期試験 (実習試験)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学	教授 准教授 講師 講師 助教 助教 助教 助教	内藤宗和 畑山直之 福重 香 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 大久保友人 玉置優貴	研 101 研 106
2024/6/11(火)	4					
2024/6/11(火)	5					
2024/6/12(水)	3	解剖実習 (感謝文を提出)	解剖学 解剖学	助教 助教	梅本佳納榮 単 西瑠	研 101 研 106
2024/6/12(水)	4					
2024/6/12(水)	5					
2024/6/14(金)	3	解剖実習 (納棺の儀)	解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 解剖学 看護学	教授 講師 助教 助教 助教 助教 准教授	内藤宗和 大塚 俊 梅本佳納榮 単 西瑠 竹内堂朗 玉置優貴 篠田かおる	研 101 研 106
2024/6/14(金)	4					
2024/6/14(金)	5					

(2) 講義の方法

- 解剖体を対象とした解剖実習を実施する。
- 実習は複数の班に分けて実施し、班員とのグループ学習や、講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

- 人体構造の系統を把握し、骨格、臓器の機能的及び臨床的意義、細胞・組織の特徴を説明できるように解説する。
- 疾病の病因・病態・治療につながる基礎知識及び身体診察と基本的臨床手技を実践するための基礎知識を習得することができるように、学習を促進する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
内藤宗和	教授	解剖学講座	2号館 研究棟254号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
畑山直之	准教授	解剖学講座	2号館 研究棟364号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
福重 香	講師	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
大塚 俊	講師	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週月・木曜日 14:00～16:00
竹内堂朗	助教	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
梅本佳納榮	助教	解剖学講座	2号館 研究棟255号室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00
単 西瑠	助教	解剖学講座	2号館 研究棟255号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
大久保友人	助教	解剖学講座	2号館 研究棟365号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
玉置優貴	助教	解剖学講座	2号館 研究棟256号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
篠田かおる	准教授	愛知医科大学 基礎看護学	—	実習終了後 実習室にて
黒澤昌洋	准教授	愛知医科大学 臨床実践看護学	—	実習終了後 実習室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

生 理 学 2

【単位数：4.5単位，授業61コマ，予備1コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

佐藤元彦 教授(生理学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-2-c, Ⅲ-3-c)

- ① 人体各種組織や器官及び器官系の正常機能，並びにそれらの相互作用による生体協同や恒常性を理解し，疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素を理解する。
- ② 生理学は生命現象を機能から追究する学問であって，論理的な思考・モデルに基づいて生命事象を理解・推論する分野である。各臓器系に特徴的な生理調節機構を理解し，恒常性維持機構の破綻から疾病へ至るしくみを理解する。さらに，病態下での生理現象についての理解を進める。

(2) 学修目標

- ① 体液の区分と組成を述べることができ，酸塩基平衡の原理などホメオスタシスを説明できる。
- ② 呼吸器系の意義を述べることができ，換気のみかニズムや血液ガスの役割を説明できる。呼吸の調節機能について説明できる。
- ③ 基礎代謝とその測定法を説明することができる。
- ④ 心筋細胞の電気現象と収縮機構を説明できる。
- ⑤ 心臓の興奮伝導系と心電図の成因を説明できる。
- ⑥ 血管系の機能を分類し，循環系における血管の意義を説明できる。
- ⑦ 循環制御の基本原則を心機能と血管系の調節に基づいて説明することができる。
- ⑧ 中枢性運動調節の各器官の役割，全体像を述べるができる。また，病態のみかニズムを予測できる。
- ⑨ 電気生理学的検査を理解できる。
- ⑩ 腎臓の機能を列挙できる。また，ネフロンのみかニズムを体液調節と関連づけて説明できる。
- ⑪ 消化管の運動，胃液など消化液のみかニズムと分泌調節，栄養素や電解質の吸収を説明できる。
- ⑫ 正常体温について述べることができ，その調節機構を説明できる。体温異常について列挙できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	89%	多肢選択問題と記述問題を含む試験を行う。
レポート	○	5%	レポート提出を適時指示する。1つのレポートあたり0.5点を最終評価に加算する。記載が不十分なレポートは加算対象とならない。
小テスト	○	6%	AIDLE-Kを利用した小テストを6分野ごとに実施する。それぞれ70%以上の正解により各1点を最終評価に加算する。
態度	○	—	態度不良の場合は10点を限度に減点をする。このうち，レポート未提出は1回につき0.2点，小テスト未受験は1分野につき0.5点を減点する。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験、小テスト、レポートの合計が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括は、学年掲示板に掲示する。

小テストは、AIDLE-K上でコメントによるフィードバックを確認できる。

定期試験で不合格となり、著しく成績不良の者については個別にフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし 参考図書から選択すること。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準生理学	本間研一 監修	医学書院	国内の執筆陣により各領域が網羅されている。第9版(2019年発行)
ガイドン生理学	石川義弘, 岡村康司, 尾仲達史, 河野憲二, 総監訳	エルゼビア・ ジャパン	医学的視点から生理学事象を丁寧に解説した教科書 原著第13版(2018年発行)
生理学テキスト	大地陸男 著	文光堂	コンパクトな教科書であり関連分野を通読しやすい。第9版(2022年発行)
ギャング生理学	岡田泰伸 監修	丸善株式会 社	長く評価を得ている生理学書の1つ。 原著第26版(2022年発行)
コスタンゾ 明解生理学	林 俊宏, 高橋倫子 翻訳	エルゼビア・ ジャパン	豊富なイラストを用いて比較的端的に記述。原著第6版(2019年発行)

6 準備学習(予習・復習)

- 参考図書の関連分野を読んでおく(1日あたり約0.5時間)。
- AIDLE-Kの関連分野のセルフチェックテストを行い、解答コメントを確認する(1日あたり約20分)。
- 授業後、配付資料を確認し、参考図書で関連記述を再確認する(1日あたり約40分)。
- レポート課題がある場合は記述する(1日あたり約15分)。
- AIDLE-Kのセルフチェックテストを行い、理解度を確認する(1日あたり約20分)。

生理学 2

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/15(月)	2	呼吸器の構造と機能	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/4/15(月)	3	肺機能と検査法	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/4/15(月)	4	脊髄(I)	生理学	講師	犬飼洋子	302 講
2024/4/15(月)	5	脊髄(II)	生理学	講師	犬飼洋子	302 講
2024/4/17(水)	1	換気力学	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/4/17(水)	2	肺胞におけるガス交換	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/4/18(木)	4	誘発筋電図	生理学	講師	犬飼洋子	302 講
2024/4/18(木)	5	脳幹(I)	生理学	講師	犬飼洋子	302 講
2024/4/22(月)	1	正常体温と体温測定法	—	非常勤講師	西村直記	302 講
2024/4/22(月)	2	環境適応と体温異常	—	非常勤講師	西村直記	302 講
2024/4/22(月)	3	骨格筋組成とトレーニング	—	非常勤講師	西村直記	302 講
2024/4/22(月)	4	酸素と二酸化炭素の運搬	生理学 生理学	教授 助教	佐藤元彦 家崎高志	302 講
2024/4/24(水)	1	酸塩基平衡と呼吸	生理学 生理学	教授 助教	佐藤元彦 家崎高志	302 講
2024/4/24(水)	2	酸塩基平衡と血液ガス	生理学	教授	佐藤元彦 家崎高志	302 講
2024/4/25(木)	4	脳幹(II)	生理学	講師	犬飼洋子	302 講
2024/4/25(木)	5	小脳	生理学	講師	犬飼洋子	302 講
2024/5/1(水)	1	基礎代謝	—	非常勤講師	松本孝朗	302 講
2024/5/1(水)	2	呼吸中枢と特殊環境での呼吸生理	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/5/2(木)	4	大脳基底核	生理学	講師	犬飼洋子	302 講
2024/5/2(木)	5	運動野	生理学	講師	犬飼洋子	302 講
2024/5/8(水)	1	肺循環	生理学	講師	山村 彩	302 講
2024/5/8(水)	2	肺高血圧の生理	生理学	講師	山村 彩	302 講
2024/5/9(木)	4	腎臓の機構と構造	生理学	講師	林 寿来	302 講
2024/5/9(木)	5	尿細管の機能	生理学	講師	林 寿来	302 講
2024/5/15(水)	1	心臓の構造と心周期	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/5/15(水)	2	心音と聴診所見	生理学	教授	佐藤元彦	302 講

生理学 2

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/16(木)	4	腎クリアランス	生理学	講師	林 寿来	302 講
2024/5/16(木)	5	腎臓による酸塩基平衡の調節	生理学	講師	林 寿来	302 講
2024/5/20(月)	1	排尿の機序	生理学	講師	林 寿来	302 講
2024/5/20(月)	2	体液量と体液分画	生理学	講師	林 寿来	302 講
2024/5/20(月)	3	心電図の原理	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/5/20(月)	4	心筋の電気現象	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/5/22(水)	1	心臓の興奮収縮連関	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/5/22(水)	2	心拍出量と心機能曲線	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/5/23(木)	4	腎臓と内分泌	—	非常勤講師	藤田孝之	302 講
2024/5/23(木)	5	【AL】病態生理(腎臓)	生理学	講師	林 寿来	302 講
2024/5/27(月)	1	血圧	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/5/27(月)	2	循環の調節(I)	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/5/27(月)	3	消化・吸収総論・神経支配	生理学	講師	山村 彩	302 講
2024/5/27(月)	4	消化管運動・消化管ペプチド	生理学	講師	山村 彩	302 講
2024/5/29(水)	1	循環の調節(II)	生理学	講師	林 寿来	302 講
2024/5/29(水)	2	心機能の病態調節	—	非常勤講師	梅村将就	302 講
2024/5/30(木)	4	微小循環, リンパ系	生理学	講師	林 寿来	302 講
2024/5/30(木)	5	臓器循環と胎児循環	—	非常勤講師	横山詩子	302 講
2024/6/3(月)	1	AIDLE-K 腎臓・代謝・運動セルフチェックテスト	生理学 生理学	教授 講師	佐藤元彦 林 寿来	マルチAB
2024/6/3(月)	2	口腔・食道	生理学	講師	山村 彩	302 講
2024/6/3(月)	3	胃・小腸	生理学	講師	山村 彩	302 講
2024/6/3(月)	4	【AL】病態生理(呼吸生理)	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/6/5(水)	1	大腸・肝臓・胆嚢・膵臓	生理学	講師	山村 彩	302 講
2024/6/5(水)	2	腸管吸収	生理学	講師	山村 彩	302 講
2024/6/6(木)	3	【AL】病態生理(中枢神経性運動制御の CBL (Case-based Lecture) 症例基盤型講 義)	生理学	講師	犬飼洋子	302 講
2024/6/6(木)	4	生理学総合講義 (脳波)	生理学	講師	犬飼洋子	302 講

生理学 2

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/10(月)	1	【AL】病態生理(循環生理)	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/6/10(月)	2	生理学総合講義 (心電図・血圧)	生理学	教授	佐藤元彦	302 講
2024/6/10(月)	3	【AL】病態生理(消化器)	生理学	講師	山村 彩	302 講
2024/6/10(月)	4	AIDLE-K 神経・消化吸収セルフチェックテスト	生理学 生理学 生理学	教授 講師 講師	佐藤元彦 犬飼洋子 山村 彩	マルチAB
2024/6/12(水)	1	AIDLE-K 循環・呼吸セルフチェックテスト	生理学	教授	佐藤元彦	マルチAB
2024/6/12(水)	2	生理学総合講義 (心機能・腎機能・呼吸機能・代謝)	生理学 生理学 生理学	教授 講師 講師	佐藤元彦 林 寿来 山村 彩	302 講
2024/6/13(木)	4	生理学総合講義 (筋収縮)	生理学	講師	榊原伊織	302 講
2024/6/13(木)	5	予備				
2024/6/19(水)	1	生理学総合講義 (糖代謝)	生理学 生理学	教授 講師	増渕 悟 小松紘司	302 講
2024/6/19(水)	2	生理学総合講義 (血液)	生理学	講師	松井 卓哉	302 講
2024/7/22(月)	3	定期試験(90分)	生理学	教授	佐藤元彦	101 講

(2) 講義の方法

大教室での知識伝達型の講義が基本となる。適宜、小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。アクティブ・ラーニングの進め方についてはAIDLE-K等を通して周知する。

(3) 講義の内容

循環、呼吸、腎臓、神経、消化器、代謝・運動の生理について系統的な講義を行い、単元ごとにAIDLE-Kを用いた小テストを行う。適宜、講義の中で示された課題に対してレポートを提出する。病態生理学では問題を解きながら基礎知識の応用を目指す。最後に、生理学全領域の知識の整理を行い、生理学的課題の議論を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
佐藤元彦	教授	生理学講座	2号館 研究棟274号室	毎週月・水曜日 17:00～19:00
犬飼(坂本)洋子	講師	生理学講座	2号館、Web面談 研究棟 272 号室	毎週月～金曜日 16:00～19:00
林 寿来	講師	生理学講座	2号館 研究棟401号室	毎週木曜日 17:00～18:30
山村 彩	講師	生理学講座	2号館 研究棟401号室	毎週水曜日 17:00～18:30
家崎高志	助教	生理学講座	2号館 研究棟401号室	毎週木曜日 17:00～18:30
増渕 悟	教授	生理学講座	2号館 研究棟257号室	毎週月曜日 16:00～18:00
松井卓哉	講師	生理学講座	2号館 研究棟303号室	毎週月・火・水曜日 16:30～18:00
小松紘司	講師	生理学講座	2号館 研究棟259号室	毎週月～金曜日 17:00～19:00
榊原伊織	講師	生理学講座	2号館 研究棟259号室	毎週火・木曜日 13:00～17:00
松本孝朗	非常勤講師	中京大学 教授	—	講義終了後 講義室にて
横山詩子	非常勤講師	東京医科大学 教授	—	講義終了後 講義室にて
藤田孝之	非常勤講師	福岡大学 教授	—	講義終了後 講義室にて
西村直記	非常勤講師	日本福祉大学 教授	—	講義終了後 講義室にて
梅村将就	非常勤講師	横浜市立大学 准教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

生 理 学 実 習

【単位数：1.5単位，授業42コマ】

1 科目責任者

増淵 悟 教授(生理学)

科目担当者

佐藤元彦 教授(生理学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-2-c, Ⅲ-3-c)

- ① コアコンピテンスの“人体各種組織や器官及び器官系の正常機能，並びにそれらの相互作用による生体協同や恒常性”を理解し，“疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素”を理解することを目的として生理学実習を行う。そのことによって，医学生としての“医学知識と科学的探究心”を身につける。
- ② 生理学は生命現象を機能から追究する学問であって，論理的な仮説と検証から理論モデルを創出する分野である。得られた観察事項に対して知識に基づいた生理学的解釈を行い，病態生理を理解する基礎を築く。

(2) 学修目標

- ① 筋・神経における興奮の発生と伝導・伝達，骨格筋と平滑筋の収縮機構を説明できる。
- ② 呼吸器系の意義を述べることができ，換気のみカニズムや血液ガスの役割を説明できる。呼吸の調節機能について説明できる。
- ③ エネルギー代謝量の測定法を説明することができる。
- ④ 心電図の記録とその原理を説明でき，基本的読影ができる。
- ⑤ 血圧の測定ができ，その原理を説明できる。
- ⑥ 正常心音の成因と聴診部位，また病的心雑音について説明できる。
- ⑦ 血液組成，細胞成分の役割や産生とその調節，鉄代謝，止血機構を説明できる。
- ⑧ 腎臓の機能を列挙できる。また，ネフロンを役割を体液調節と関連づけて説明できる。
- ⑨ 糖代謝異常などの病態と関連づけてホルモンの作用と分泌調節を説明できる。
- ⑩ 脳波の導出・記録を行うことができ，基本的な脳波の解釈ができる。
- ⑪ 実験に基づく医学研究について説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
実習レポート	○	80%	実習レポートは指定期日までに提出する。
小テスト又は口頭試問	○	20%	実習後に小テスト，あるいは口頭試問を行う。口頭試問は実習中に随時行う場合もある。
態度	○	—	実習態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

実習レポートが60%未満の場合は、再提出を求める(基準に満たない場合は、不合格となる)。
小テスト・口頭試問の合計が60%未満の場合は、課題を課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

教員からの意見は、各実習中に適時フィードバックされる。また、各課題の最後に、実習への取り組み方、記録、結果の解釈等を教員と共に討議する。教員は総括的なフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
新訂・生理学実習書	日本生理学会教育委員会 監修	南江堂	生理学実習の手技が具体的に記載されている。
標準生理学	本間研一 監修	医学書院	国内の執筆陣により各領域が網羅されている。2019年改訂版
ガイドン生理学	石川義弘 他 総監訳	エルゼビア・ジャパン	医学的視点から、生理学事象を丁寧に解説した教科書。2018年改訂
生理学テキスト	大地陸男 著	文光堂	コンパクトな教科書であり関連分野を通読しやすい。2022年改訂
ギャング生理学	岡田泰伸 他 監修	丸善株式会社	長く評価を得ている生理学書の1つ。2022年原著26版翻訳本
カンデル神経科学	宮下保司 監訳	MedSi	神経科学の名著中の名著。大部なので、全部を読むことは難しい。2022年原著2版翻訳本
ベアー コノーズ パラディーソ 神経科学 脳の探求 改訂版	藤井 聡 監修, 翻訳	西村書店	欧米の生理学の教科書は優れたものがあるが神経生理学、神経科学の記載が少ない。それを補う分量、内容ともに妥当な教科書。2021年改訂版

6 準備学習(予習・復習)

- 実習関連分野に関して、講義資料、参考図書を読むこと(1日あたり約0.5時間)。
- 配付される生理学実習書で、必要器具、摂食準備、手順、観察事項、予想結果とその意義を確認・整理しておくこと(1日あたり約0.5時間)。
- 実習後、得られたデータに基づいて実習書にレポートを記載する(1日あたり約0.5時間)。
- 予想と異なった結果でも、生理学的な解釈を考察すること(1日あたり約20分)。

生理学実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/21(金)	3	実習講義				302 講
2024/6/21(金)	4					
2024/6/24(月)	1	実習課題 [生理学1] 糖代謝・ホルモン(ヒト) 血液(ヒト) 筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト) [生理学2] 脳波(ヒト) 心電図・血圧(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト) 腎機能(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学	教授 講師 講師 講師	増渕 悟 松井卓哉 小松紘司 榊原伊織	研 201 研 202 医学研究科 セミナー室1, 2 シミュC 302 講
2024/6/24(月)	2					
2024/6/24(月)	3					
2024/6/24(月)	4					
2024/6/24(月)	5					
2024/6/26(水)	1					
2024/6/26(水)	2					
2024/6/26(水)	3					
2024/6/26(水)	4					
2024/6/26(水)	5					
2024/7/1(月)	1					
2024/7/1(月)	2					
2024/7/1(月)	3					
2024/7/1(月)	4					
2024/7/1(月)	5					
2024/7/3(水)	1					
2024/7/3(水)	2					
2024/7/3(水)	3					
2024/7/3(水)	4					
2024/7/3(水)	5					
2024/7/5(金)	1	IR室	糖内 糖内	教授 准教授 講師	神谷英紀 姫野龍仁 佐藤麻紀	
2024/7/5(金)	2					
2024/7/5(金)	3					
2024/7/5(金)	4					
2024/7/5(金)	5					

生理学実習

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/8(月)	1	実習課題 [生理学1] 糖代謝・ホルモン(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学	教授 講師 講師 講師	増渕 悟 松井卓哉 小松紘司 榑原伊織	研 201 研 202 医学研究科 セミナー室1, 2 シミュC 302 講
2024/7/8(月)	2					
2024/7/8(月)	3					
2024/7/8(月)	4					
2024/7/8(月)	5					
2024/7/10(水)	1	血液(ヒト)	生理学 生理学 生理学 生理学	教授 講師 講師 講師 助教	佐藤元彦 犬飼洋子 林 寿来 山村 彩 家崎高志	
2024/7/10(水)	2	筋収縮(カエル) 実験医学(ヒト)				
2024/7/10(水)	3					
2024/7/10(水)	4	[生理学2] 脳波(ヒト)				
2024/7/10(水)	5	心電図・血圧(ヒト) 呼吸機能・代謝(ヒト)				
2024/7/12(金)	1	腎機能(ヒト)	糖内 糖内	教授 准教授	神谷英紀 姫野龍仁	
2024/7/12(金)	2		IR室	講師	佐藤麻紀	
2024/7/12(金)	3					
2024/7/12(金)	4					
2024/7/12(金)	5					
2024/7/12(金)	5					

(2) 実習の方法

履修学生を8グループに分け、1日1課題の実習を行う。全体で8課題をローテーションで行う。集合後にその日の課題の説明を行い、実習を開始する。実習終了後に項目により口頭試問、小テスト、データ発表などを行う。レポートは前半と後半にそれぞれ締め切り日を設ける。速やかに作成し遅れないように提出すること。

また新型コロナウイルスの感染状況によって内容を変更することがある。

(3) 実習の内容

○ 糖代謝	ブドウ糖負荷試験, 血糖値測定
○ 血液	採血方法, 血球観察, 血球数測定, 出血時間測定, 凝固時間測定, 血小板凝集観察
○ 筋収縮	神経・筋標本作製, 極興奮の法則観察, 閾値測定, 単収縮・強縮・疲労曲線の観察
○ 実験医学	生理学の古典的名著「実験医学序説(クロード・ベルナール)」から実験に基づく医学研究の考え方を学ぶ。
○ 心電図・血圧	心電図の記録・分析, 血圧測定の手技の修得と血圧変動の観察
○ 腎機能	尿希釈と尿濃縮の機序の分析
○ 神経:脳波	脳波の記録と解析
○ 呼吸機能・代謝	肺換気機能の測定, 酸素消費量の測定, 安静時と運動時のエネルギー代謝の測定

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
増渕 悟	教授	生理学講座	2号館 研究棟257号室	毎週月曜日 16:00～18:00
松井卓哉	講師	生理学講座	2号館 研究棟303号室	毎週月・火・水曜日 16:30～18:00
小松紘司	講師	生理学講座	2号館 研究棟259号室	毎週月～金曜日 17:00～19:00
榊原伊織	講師	生理学講座	2号館 研究棟259号室	毎週火・木曜日 13:00～17:00
佐藤元彦	教授	生理学講座	2号館 研究棟274号室	毎週月・水曜日 17:00～19:00
犬飼(坂本)洋子	講師	生理学講座	2号館 研究棟272号室	毎週月～金曜日 16:00～19:00
林 寿来	講師	生理学講座	2号館 研究棟401号室	毎週木曜日 17:00～18:30
山村 彩	講師	生理学講座	2号館 研究棟401号室	毎週水曜日 17:00～18:30
家崎高志	助教	生理学講座	2号館 研究棟401号室	毎週木曜日 17:00～18:30
神谷英紀	教授	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階教授室	毎週火曜日 9:00～12:00 毎週木・金曜日 14:00～17:00
姫野龍仁	准教授	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週火曜日 15:00～17:00
佐藤麻紀	講師	医学部IR室	1号館大学本館 7階 IR室	毎週金曜日 15:00～17:00

※ 質問等については、実習終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

生 化 学 2

【単位数：1.5単位，授業20コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

細川好孝 教授（生化学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-3-c）

- ① コアコンピテンスの医学知識と科学的探究心の理解のため，遺伝学・分子生物学の基礎を学び，そのことによって，疾病の病因と病態・治療につながる基礎医学的な要素への理解を深める。
- ② 生化学の講義・実習で得た知識を基にして，将来診療で経験した病態の解析につながる学修を行う。
- ③ 疾患を含む全ての生命現象は遺伝情報の上に成立していることを学ぶ。

（2）学修目標

- ① 生化学における重要な基本物質（核酸，ヌクレオチドなど）の構造，機能を説明できる。
- ② 分子生物学の基本となるDNAの複製・修復，RNAの転写及びタンパク質の翻訳の機構を説明できる。
- ③ 分子生物学の基本的技術と概念を説明することができる。
- ④ シグナル伝達・細胞周期の概要及び細胞癌化の基本的な機構を説明できる。
- ⑤ ゲノム医学の概念を説明することができる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	原則記述式とする。基本的に90点を満点とする。
中間試験	○	10%	10点を満点とする。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

評価対象の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格，中間試験の点数は含まない）。

（4）課題（試験やレポート）へのフィードバック

- 試験の問題の解説を行う。
- 講義の中で，定期試験に向けた課題を配付し，解説を行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
イラストレイテッド生化学	石崎泰樹, 丸山 敬 監訳	丸善株式 会社	イラストを駆使して、生化学全般に網羅性・簡潔性に優れている。一部講義プリントの作製に利用している。
「レーニンジャーの新生化学」(上・下)	山科郁男 監修	廣川書店	講義プリントはレーニンジャーに基づいて作製しているため、理解を深める目的で、辞書として使用するとよい。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Lehninger Principles of Biochemistry	David L. Nelson & Michael M Cox	W.H. Freeman and Company	英文が平易であり、英語学習の第一歩として適している。一部講義プリントに利用している。

6 準備学習（予習・復習）

予習： 特別な予習は要求しない。可能であれば、授業計画表を参考にして、イラストレイテッド生化学で概要をつかんでおくとよい(約20分)。

復習： 講義プリントの内容を中心に、イラストレイテッド生化学や生化学レーニンジャーの新生化学を参考しながら理解を深めてほしい(約0.5時間)。

生化学2

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/19(金)	1	プリン, ピリミジンヌクレオチドの合成	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/4/19(金)	2	プリン, ピリミジンヌクレオチドの合成と疾患	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/4/26(金)	1	DNA 複製機構, DNA 修復機構	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/4/26(金)	2	DNA 修復機構, DNA の組換え	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/5/10(金)	1	転写の機構	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/5/10(金)	2	遺伝子発現調節機構	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/5/17(金)	1	遺伝暗号, タンパク質合成の機構	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/5/17(金)	2	タンパク質の細胞内輸送と分解	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/5/24(金)	1	シグナル伝達	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/5/24(金)	2	ホルモンの特性, 作用機構による分類	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/5/31(金)	1	細胞周期, がん化, アポトーシスの分子機構	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/5/31(金)	2	ゲノム医学, SNP, 個別化医療, 分子標的治療薬	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/6/7(金)	1	分子生物学(制限酵素)	生化学	教授(特任)	小西裕之	302 講
2024/6/7(金)	2	分子生物学(遺伝子クローニング)	生化学	教授(特任)	小西裕之	302 講
2024/6/14(金)	1	分子生物学(形質転換, ゲノム編集)	生化学	教授(特任)	小西裕之	302 講
2024/6/14(金)	2	分子生物学(ゲノム編集)	生化学	教授(特任)	小西裕之	302 講
2024/6/21(金)	1	複製・転写・翻訳・シグナル伝達・がん 復習	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/6/21(金)	2					
2024/6/28(金)	1	中間テスト	生化学	教授	細川好孝	101 講
2024/6/28(金)	2	生化学実習説明, 実習書配付	生化学	教授	細川好孝	302 講
2024/7/25(木)	3	定期試験	生化学	教授	細川好孝	101 講

(2) 講義の方法

大教室での授業プリント, スライドを用いた知識伝達型の講義が主体であるが, 出来る限り講師側から質問を投げかけ, 双方向性の講義になるように努めている。レーニンジャー生化学の英語版の英文の一部も使用して, 医学英語を学ぶきっかけとしたい。

(3) 講義の内容

1コマ目に代謝学を概観しながら総論を解説し, 次いで生化学の基本である糖質・タンパク質・脂質及び酵素学を学び, さらに代謝学の詳細へと理解を深めていく。人体の働き・疾病への理解につながる講義としたい。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
細川好孝	教授	生化学講座	2号館 研究棟361号室	毎週火・水・金曜日 16:00～18:00
小西裕之	教授(特任)	生化学講座	2号館 研究棟362号室	毎週月・木曜日 15:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

生 化 学 実 習

【単位数:0.5単位, 授業20コマ】

1 科目責任者

細川好孝 教授(生化学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-c)

- ① コアコンピテンスの医学知識と科学的探究心の理解のため、遺伝学・分子生物学の基礎を学び、そのことによって、疾病の病因と病態・治療につながる基礎医学的な要素への理解を深める。
- ② 生化学の講義・実習で得た知識を基にして、将来診療で経験した病態の解析につながる学修を行う。
- ③ 疾患を含む全ての生命現象は遺伝情報の上に成立していることを学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 生化学における重要な基本物質(糖質, 脂質, アミノ酸など)の構造, 機能を説明できる。
- ② 糖質, 脂質, タンパク質, 核酸の代謝の代謝経路について, 経路の概略と調節機構, 生理的意義, 病態生理的意義を説明することができる。
- ③ 糖質, 脂質, タンパク質, 核酸の代謝の代謝経路について, 経路の調節に関与する酵素, 補酵素, 調節因子について説明することができる。
- ④ 高エネルギーリン酸化合物の生成機構と, この生体エネルギーが生体機能にどのように利用されているかについて説明できる。
- ⑤ 酵素の性質と作用機序及びその活性の調節機構を説明することができる。
- ⑥ 生化学における重要な基本物質(核酸, ヌクレオチドなど)の構造, 機能を説明できる。
- ⑦ 分子生物学の基本となるDNAの複製・修復, RNAの転写及びタンパク質の翻訳の機構を説明できる。
- ⑧ 分子生物学の基本的技術と概念を説明することができる。
- ⑨ シグナル伝達・細胞周期の概要及び細胞癌化の基本的な機構を説明できる。
- ⑩ ゲノム医学の概念を説明することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	レポートに加えて, 口頭試問を課す可能性もある。
実習態度	○	20%	実習態度が著しく不良の場合は20%を上限として減点をする。

出席: 実習を修得するためには, 欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

レポートの再提出を求める。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポートの不備な点を指摘し, 直接本人にフィードバックする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
生化学実習書(生化学講座作成)	生化学講座	生化学講座	実習の概要と方法がまとまっている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
イラストレイテッド生化学	石崎泰樹, 丸山 敬 監訳	丸善株式会社	イラストを駆使して, 生化学全般に網羅性・簡潔性に優れている。一部講義プリントの作製に利用している。
「レーニンジャーの新生化学」(上・下)	山科郁男 監修	廣川書店	講義プリントはレーニンジャーに基づいて作製しているため, 理解を深める目的で, 辞書として使用するとよい。

6 準備学習(予習・復習)

予習: 授業計画表を参考にして, 生化学実習書で実習内容の概要をつかんでおく(約20分)。

復習: 生化学実習書を参考にして, 実習内容の振り返りを行い, 理解を深めてほしい(約20分)。

生化学実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/2(火)	1	II. 酵素の精製・構造と活性調節 III. 制限酵素, アガロース電気泳動, PCR 法 IV. 酵素学(反応速度論)	生化学	教授	細川好孝	研 112 302 講
2024/7/2(火)	2		生化学	教授(特任)	小西裕之	
2024/7/2(火)	3		生化学	教授(特任)	都築 忍	
2024/7/2(火)	4		生化学	准教授(特任)	兵頭寿典	
2024/7/2(火)	5		生化学	講師	シバスンダラ ン・カルナン	
			—	非常勤講師	太田明伸	
			—	非常勤講師	竹内章夫	
			—	非常勤講師	坪内涼子	
2024/7/4(木)	1	II. 酵素の精製・構造と活性調節 III. 制限酵素, アガロース電気泳動, PCR 法 IV. 酵素学(反応速度論)	生化学	教授	細川好孝	研 112 302 講
2024/7/4(木)	2		生化学	教授(特任)	小西裕之	
2024/7/4(木)	3		生化学	教授(特任)	都築 忍	
2024/7/4(木)	4		生化学	准教授(特任)	兵頭寿典	
2024/7/4(木)	5		生化学	講師	シバスンダラ ン・カルナン	
			—	非常勤講師	太田明伸	
			—	非常勤講師	竹内章夫	
			—	非常勤講師	坪内涼子	
2024/7/9(火)	1	II. 酵素の精製・構造と活性調節 III. 制限酵素, アガロース電気泳動, PCR 法 IV. 酵素学(反応速度論)	生化学	教授	細川好孝	研 112 302 講
2024/7/9(火)	2		生化学	教授(特任)	小西裕之	
2024/7/9(火)	3		生化学	教授(特任)	都築 忍	
2024/7/9(火)	4		生化学	准教授(特任)	兵頭寿典	
2024/7/9(火)	5		生化学	講師	シバスンダラ ン・カルナン	
			—	非常勤講師	太田明伸	
			—	非常勤講師	竹内章夫	
			—	非常勤講師	坪内涼子	
2024/7/11(木)	1	II. 酵素の精製・構造と活性調節 III. 制限酵素, アガロース電気泳動, PCR 法 IV. 酵素学(反応速度論)	生化学	教授	細川好孝	研 112 302 講
2024/7/11(木)	2		生化学	教授(特任)	小西裕之	
2024/7/11(木)	3		生化学	教授(特任)	都築 忍	
2024/7/11(木)	4		生化学	准教授(特任)	兵頭寿典	
2024/7/11(木)	5		生化学	講師	シバスンダラ ン・カルナン	
			—	非常勤講師	太田明伸	
			—	非常勤講師	竹内章夫	
			—	非常勤講師	坪内涼子	

(2) 講義の方法

生化学実習書, スライドを用いた知識伝達型の講義が主体であるが, 出来る限り講師側から質問を投げかけ, 双方向性の講義になるように努めている。

(3) 講義の内容

実習内容の総論と概要を解説, 次いで実習内容の詳細へと講義を進めていく。講義・実習を通じて, 生化学の基礎である生体の代謝学及び遺伝学・分子生物学を学び, 人体の働き, 疾病への理解につながる内容としたい。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
細川好孝	教授	生化学講座	2号館 研究棟361号室	毎週火・水・金曜日 16:00～18:00
小西裕之	教授(特任)	生化学講座	2号館 研究棟362号室	毎週月・木曜日 15:00～17:00
都築 忍	教授(特任)	生化学講座	2号館 研究棟304号室	毎週月・木曜日 15:00～17:00
兵頭寿典	准教授(特任)	生化学講座	2号館 研究棟304号室	毎週月・木曜日 16:00～18:00
シバスンダラン・カルナン	講師	生化学講座	2号館 研究棟304号室	毎週月・水・金曜日 16:00～18:00
竹内章夫	非常勤講師	愛知医科大学 非常勤講師	—	実習終了後 研 112 にて
坪内凉子	非常勤講師	愛知医科大学 非常勤講師	—	実習終了後 研 112 にて
太田明伸	非常勤講師	金城学院大学 教授	—	実習終了後 研 112 にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

薬 理 学

【単位数：2.5単位，授業35コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

丸山健太 教授(薬理学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-c)

- ① コアコンピテンスの“疾患の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素”の理解を深めることを目的に、代表的な薬の作用機序を学ぶ。
- ② 薬の開発史を学ぶことで、薬理学を一種の文化として楽しめるようになることを目指す。
- ③ 薬理学にまつわる研究活動を俯瞰することで、未来の医学を創出するための方法を知る。

(2) 学修目標

- ① 受容体作動薬と受容体遮断薬の概念を説明できる。
- ② 薬物の有効量・中毒量・致死量を説明できる。
- ③ 薬物の吸収，分布，代謝，排泄を説明できる。
- ④ 薬物相互作用を説明できる。
- ⑤ 主要な薬物の開発された歴史的経緯を説明できる。
- ⑥ 主要な薬物の個体・細胞・分子レベルにおける作用機序と副作用を説明できる。
- ⑦ 主要な疾患に対する薬物療法を計画できる。
- ⑧ 治験のプロセスを説明できる。
- ⑨ 主要な薬害を説明できる。
- ⑩ 薬の治療標的を探るための研究活動について説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	多肢選択問題と穴埋め問題形式を原則とする。
中間テスト	○	30%	多肢選択問題と穴埋め問題形式を原則とし，1回実施。試験時間は40分とし，終了後に解説を行う。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，最大5%を上限として減点する。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施。

再試験は定期試験に準ずる方法で実施し，60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

中間テストと定期試験の解答は試験後にAIDLE-Kにアップロードする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
スライド (AIDLE-Kにアップロード)			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Goodman & Gillman's The Pharmacological Basis of Therapeutics	Laurence L. Bruton	McGraw-Hill Companies	薬理学学習のグローバルスタンダード
今日の治療薬	川合眞一ら 編集	南江堂	本邦で使われている医薬品を薬効群ごとに解説したベストセラー
Dancing Naked in the Mind Field	Kary Mullis	Vintage	全ての医科学者の必読書
人間この未知なるもの	Alexis Carrel	三笠書房	全ての医科学者の必読書
ノーベル賞からみた免疫学入門	石田寅夫	化学同人	生物学的製剤の歴史を理解するための必読書
本庶佑 生命科学の未来	本庶佑	藤原書店	免疫チェックポイントの発見史
病院の世紀の理論	猪飼周平	有斐閣	本邦の医療を理解するための必読書
エイズウイルスと人間の未来	Luc Montagnier	紀伊國屋書店	エイズ研究史の決定版
血液の歴史	Douglas Starr	河出書房新社	血液製剤の歴史を総括した名著
不死細胞ヒーラ	Rebecca Skloot	講談社	がん治療研究の礎となった細胞の開発史
自分の体で実験したい	Leslie Dendy and Mel Boring	紀伊國屋書店	自分の体で実験して世界を一変させた人々の記録
薬害とはなにか-新しい薬害の社会学	本郷正武 佐藤哲彦	ミネルヴァ書房	本邦の薬害史を総括した入門書

6 準備学習（予習・復習）

- スライドの内容を予習（1コマあたり0.5時間）。
- スライドの最後に列挙した“重要な用語”を重点的に復習（1コマあたり0.5時間）。

薬理学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/9(月)	3	薬理学総論1	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/9/11(水)	3	薬理学総論2	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/9/11(水)	4	自律神経系薬理学 交感神経1	薬理学	准教授	山口奈緒子	302 講
2024/9/12(木)	1	自律神経系薬理学 交感神経2	薬理学	准教授	山口奈緒子	302 講
2024/9/12(木)	2	自律神経系薬理学 副交感神経	薬理学	准教授	山口奈緒子	302 講
2024/9/18(水)	3	降圧薬	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/9/18(水)	4	利尿薬	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/9/19(木)	1	狭心症治療薬	薬理学	准教授	山口奈緒子	302 講
2024/9/19(木)	2	不整脈 心不全治療薬	薬理学	准教授	山口奈緒子	302 講
2024/9/25(水)	3	麻酔薬 麻薬	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/9/25(水)	4	抗不安薬 睡眠薬 抗てんかん薬	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/9/26(木)	1	抗精神病薬 抗そう薬	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/9/26(木)	2	実習・論文抄読会・薬理学ロールプレイ説明会	薬理学	教授 准教授	丸山健太 山口奈緒子	302 講
2024/10/2(水)	3	中間テスト (40 分間, 終了後に解説)	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 准教授 助教 助教	丸山健太 山口奈緒子 藤川 誠 上田昌史	101 講
2024/10/2(水)	4	抗うつ薬 抗パーキンソン病薬 抗認知症薬1	薬理学	准教授	山口奈緒子	302 講
2024/10/3(木)	1	抗うつ薬 抗パーキンソン病薬 抗認知症薬2	薬理学	助教	上田昌史	302 講
2024/10/3(木)	2	抗菌薬 抗真菌薬	薬理学	准教授	山口奈緒子	302 講
2024/10/10(木)	1	抗ウイルス薬	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/10/10(木)	2	免疫抑制薬	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/10/17(木)	1	ホルモン関連治療薬	薬理学	准教授	山口奈緒子	302 講
2024/10/17(木)	2	消化器 呼吸器作用薬	薬理学	准教授	山口奈緒子	302 講
2024/10/31(木)	1	抗がん剤1	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/10/31(木)	2	抗がん剤2	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/11/1(金)	1	薬理学研究1	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/11/1(金)	2	薬理学研究2	薬理学	助教	藤川 誠	302 講

薬理学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/1(金)	3	薬理学ロールプレイ	— 薬理学 薬理学	非常勤講師 教授 准教授	柳田俊彦 丸山健太 山口奈緒子	302 講
2024/11/1(金)	4					
2024/11/1(金)	5					
2024/11/5(火)	1	薬の副作用と相互作用1	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/11/5(火)	2	薬の副作用と相互作用2	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/11/7(木)	1	薬害 毒物と解毒薬	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/11/7(木)	2	臨床薬理学	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/11/7(木)	3	漢方薬	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/11/8(金)	1	薬の治療標的を探る1	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/11/8(金)	2	薬の治療標的を探る2	薬理学	教授	丸山健太	302 講
2024/12/19(木)	4	定期試験	薬理学	教授	丸山健太	101 講

(2) 講義の方法

大教室での知識伝達型講義に加えて、小グループによるアクティブ・ラーニングを実施する。

(3) 講義の内容

薬理学総論として、受容体作動薬及び受容体遮断薬の概念、薬物の有効量・中毒量・致死量の関係を概説する。ついで各論として、各種疾患に対する代表的治療薬の作用機序と開発史に焦点を当てた講義を展開する。最後に、薬理学の研究活動（テーマの選定、資金調達、論文作成）の全体像について概説する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
丸山健太	教授	薬理学講座	2号館研究棟357室	毎週月曜日 18:00～19:00
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館研究棟359室	毎週月曜日～金曜日 18:00～19:00
藤川 誠	助教	薬理学講座	2号館研究棟359室	毎週月曜日 18:00～19:00
上田昌史	助教	薬理学講座	2号館研究棟402室	毎週月曜日 18:00～19:00
柳田俊彦	非常勤講師	宮崎大学医学部	—	講義終了後、講義室にて

※ 質問は、講義終了後、又はEmail(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

薬理学実習

【単位数:0.5単位, 授業17コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

丸山健太 教授(薬理学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-c)

- ① コアコンピテンスの“疾患の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素”の理解を深めることを目的に、代表的な薬の作用機序を学ぶ。
- ② 薬の開発史を学ぶことで、薬理学を一種の文化として楽しめるようになることを目指す。
- ③ 薬理学にまつわる研究活動を俯瞰することで、未来の医学を創出するための方法を知る。

(2) 学修目標

- ① 受容体作動薬と受容体遮断薬の概念を説明できる。
- ② 薬物の有効量・中毒量・致死量を説明できる。
- ③ 薬物の吸収, 分布, 代謝, 排泄を説明できる。
- ④ 薬物相互作用を説明できる。
- ⑤ 主要な薬物の開発された歴史的経緯を説明できる。
- ⑥ 主要な薬物の個体・細胞・分子レベルにおける作用機序と副作用を説明できる。
- ⑦ 主要な疾患に対する薬物療法を計画できる。
- ⑧ 治験のプロセスを説明できる。
- ⑨ 主要な薬害を説明できる。
- ⑩ 薬の治療標的を探るための研究活動について説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
口頭試問	○	100%	出題は薬理学の講義で学んだ全ての範囲からおこなう。
態度	○	—	実習態度が著しく不良の場合は, 最大5%を上限として減点する。

出席: 実習を修得するためには, 欠席してはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で, 口頭試問が60%未満の場合は, 再試験を実施。

再試験は, 口頭試問に準ずる試験を行い, 60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

口頭試問の成績についての総括を学内メールで実施する。

口頭試問で不合格となった者は再試験に備えること。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
ラング・デール薬理学 原書8版	渡邊直樹監訳	丸善出版	イラストが豊富で、薬物の作用機序をわかりやすく記述している。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
カッツング薬理学 原書10版	柳沢輝行監訳	丸善出版	学生に必要な十分な量の内容がまとめられている。
FLASH 薬理学	丸山 敬	羊土社	詳しすぎず，易しすぎず，コンパクトにまとめられている。
Goodman & Gillman's The Pharmacological Basis of Therapeutics 13th	Laurence L. Bruton et al.	McGraw-Hill Companies	薬理学書のバイブル
薬理学実習の実際とデータの見方	日本私立薬科大学協会編	南山堂	薬理学実習のアウトラインが理解できる。

6 準備学習（予習・復習）

- 薬理学実習では，講義で学修した受容体刺激薬もしくは受容体遮断薬を用いて実習を行う。観察される薬理的現象をこれら薬物の作用機序との関連で考察し理解を深めてほしい（1日あたり0.5時間）。
- 教員が実習中にピックアップする各項目のキーワード2～3つは必ず理解する（1日あたり15分）。
- 実習の手引きの中でも特に重要な図及び解説は必ず復習する（1日あたり15分）。

薬理学実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/21(月)	3	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	准教授 助教 助教	山口奈緒子 藤川 誠 上田昌史	研 201 研 202
2024/10/21(月)	4					
2024/10/21(月)	5					
2024/10/22(火)	3	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	准教授 助教 助教	山口奈緒子 藤川 誠 上田昌史	研 201 研 202
2024/10/22(火)	4					
2024/10/22(火)	5					
2024/10/23(水)	3	薬理学実習	薬理学 薬理学 薬理学	准教授 助教 助教	山口奈緒子 藤川 誠 上田昌史	研 201 研 202
2024/10/23(水)	4					
2024/10/23(水)	5					
2024/10/24(木)	3	薬理学論文抄読会	薬理学 薬理学 薬理学	教授 准教授 助教	丸山健太 山口奈緒子 藤川 誠 上田昌史	302 講
2024/10/24(木)	4					
2024/10/24(木)	5					
2024/10/25(金)	1	薬理学口頭試問	薬理学 薬理学 薬理学 薬理学	教授 准教授 助教 助教	丸山健太 山口奈緒子 藤川 誠 上田昌史	医学研 究科 セミナー 室 1・2 研 307 研 308
2024/10/25(金)	2					
2024/10/25(金)	3					
2024/10/25(金)	4					
2024/10/25(金)	5					

(2) 講義(実習)の方法

以下の3つのグループにわかれて実習を行う。(1)摘出心房に影響を及ぼす薬物の作用,(2)麻酔ラットの血圧及び心拍数に影響を及ぼす薬物の作用,(3)中枢神経系に影響を及ぼす薬物の作用。個人に配付する薬理学実習書には、実習に対する心構えに加えて、個々の実習内容のアウトライン、操作等が記載されているので、少なくとも実習で使われる薬物の作用機序(例えばアトロピンはムスカリン受容体遮断薬)は必ず予習しておくこと。

(3) 講義(実習)の内容

- ① 摘出心房実験では、摘出したモルモットの心房をマグヌス槽内のKrebs-Henseleit液中に懸垂し、各種の薬物(主に自律神経系に影響を与える薬物)を投与し、心房の機能に及ぼす影響を観察する。機能変化の指標として、心房の収縮力及び拍動数を測定する。
- ② 血圧実験では、麻酔したラットの大腿動静脈にカニューレを留置し、動脈カニューレを圧トランスデューサーに接続する。静脈カニューレを介して各種の薬物(主に自律神経系に影響を与える薬物)を投与し、麻酔ラットの血圧及び心拍数に及ぼす影響を観察する。
- ③ 中枢実験では、マウスに各種の薬物(主に中枢神経系に影響を与える薬物)を腹腔内投与し、行動の変化を観察する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
丸山健太	教授	薬理学講座	2号館 研究棟357号室	毎週月曜日 18:00～19:00
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館 研究棟359号室	毎週月～金曜日 18:00～19:00
藤川 誠	助教	薬理学講座	2号館 研究棟359号室	毎週月曜日 18:00～19:00
上田昌史	助教	薬理学講座	2号館 研究棟402号室	毎週月曜日 18:00～19:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

病 理 学

【単位数：2.5単位，授業37コマ，予備2コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

笠井謙次 教授(病理学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-c, Ⅲ-4-c)

- ① コアコンピテンス“医学知識と科学的探究心”の理解のため，疾患の概念，基本的事項を理解し，病因・病態の基礎医学的要素と共に，鑑別と治療につながる病態を学ぶ。
- ② 人体に発生する様々な疾患を，「細胞傷害・変性と細胞死」，「染色体・遺伝子異常」，「代謝障害・退行変性」，「循環障害」，「炎症と創傷治癒・感染症・免疫異常」，「腫瘍」に分類し，その様態を学ぶことにより，疾病の成り立ちの基本メカニズムを理解することを目指す。

(2) 学修目標

- ① ゲノム・染色体・遺伝子の異常と疾患との関係を説明できる。
- ② 細胞障害・変性・細胞死の病因と形態学的変化を説明できる。
- ③ 代謝異常による病態を説明できる。
- ④ 循環障害・臓器不全の病因と病態を説明できる。
- ⑤ 炎症・感染症・創傷の概念と経時的変化及び治癒過程，免疫異常による疾患を説明できる。
- ⑦ 腫瘍の概念・分類・定義と病態・進展過程及び病理所見を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	40%	多肢選択問題を原則とし，一部記述式を含む場合がある。 試験範囲は9/6(金)2限～11/11(月)3限の講義・AL・病理学実習の全て及び別途指示した教科書の該当範囲，課題学修。 なお病理学実習のレポート完了を病理学実習単位修得及び病理学修了の条件とする。また不十分なレポートは再提出を課す。詳細は病理学実習の項を参照のこと。
小テスト1	○	40%	多肢選択問題を原則とし，一部記述式を含む場合がある。 試験範囲は9/6(金)2限～9/27(金)2限の講義・ALと別途指示した教科書の該当範囲，課題学修。
小テスト2	○	20%	多肢選択問題を原則とし，一部記述式を含む場合がある。 試験範囲は9/30(月)3限～10/11(金)2限の講義・ALと別途指示した教科書の該当範囲，課題学修。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，総合成績の10%を上限として減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

実習を欠席してはならない。

(2) 合格基準

小テスト1・小テスト2及び定期試験を合算して総合成績とする。総合成績が60点以上を合格とする。

ただし、実習レポート完了を条件とする。

また、著しく受講態度不良の場合、総合成績の10%を上限として減点したものを最終的な総合成績とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60点に満たない場合、100点満点の再試験を行い60点以上を合格とする。再試験では、講義・AL・病理学実習の全てと別途指示した教科書の該当範囲、課題学修を試験範囲とする。

試験形式は多肢選択問題を原則とし、一部記述式を含む場合がある。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

小テスト1の結果が6割に達しない場合は個別に成績を開示し、今後の学修への取り組み方の改善を促す。

小テスト1及び定期試験の結果概要を学内メールで開示する。これにて各自の理解が不十分な項目の再確認を促すとともに、再試験対象となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準病理学	坂本穆彦 監修	医学書院	学修内容が網羅されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
集中講義 病理学	清水道生 内藤善哉 編集	メディカル ビュー	テーマごと簡潔に記載され、要点が良く纏まっている。
ロビンス 基礎病理学	豊國伸哉 高橋雅英 監訳	丸善出版	記述にストーリー性があり秀逸。
日本病理学会「病理コア画像」 http://pathology.or.jp	日本病理 学会教育 委員会	日本病理学 会	付)病理学総論的索引を参照。 登録疾患が厳選されている。

6 準備学習(予習・復習)

- 教科書又は参考図書の該当範囲を予習すること(1日あたり15分間)。
- 講義資料、教科書又は参考図書の該当範囲を復習すること(1日あたり1時間)。
- 病理学講義では極めて多くの専門用語を学ぶ。これらの定義・意味を正確に理解すること。
- 疾患のメカニズムについて、ストーリー性を持った論理的説明ができるように学修すること。教科書で記述不十分な箇所は参考図書(特にロビンス基礎病理学)での学修を薦める。
- 教科書・参考図書(特に日本病理学会「病理コア画像」)や実習標本を通じて、病理組織像に慣れ親しむこと。
- 異常と正常とは表裏一体である。病態の理解のために、適宜解剖学、生理学、生化学、免疫学などの振り返り学修を行うこと。

病理学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/6(金)	1	<ガイダンス> 病理学の概説, 講義・実習・試験の説明	病理学	教授	笠井謙次	302 講
2024/9/6(金)	2	<外科病理>	病理学	講師	中村律子	302 講
2024/9/9(月)	1	<細胞病理学1> 細胞の損傷・細胞死の病因病態	病理学	講師	猪子誠人	302 講
2024/9/9(月)	2	<細胞病理学2> 細胞増殖と分化, 適応	病理学	講師	猪子誠人	302 講
2024/9/10(火)	3	<炎症1> 炎症の定義, 概要, 急性炎症の経過と転帰	病理学	教授	笠井謙次	302 講
2024/9/10(火)	4	<炎症2> 慢性炎症, 肉芽腫, 創傷治癒	病理学	講師	大西紘二	302 講
2024/9/10(火)	5	<炎症3> IgG4 関連疾患, マクロファージ	病理学	講師	大西紘二	302 講
2024/9/12(木)	4	<感染症1> 感染症の病理組織学的特徴 1	—	非常勤講師	黒川 景	302 講
2024/9/12(木)	5	<感染症2> 感染症の病理組織学的特徴 2	—	非常勤講師	黒川 景	302 講
2024/9/13(金)	1	<代謝異常1>	病理学	講師	猪子誠人	302 講
2024/9/13(金)	2	<代謝異常2>	病理学	講師	猪子誠人	302 講
2024/9/17(火)	3	【AL】炎症性疾患, 感染症	病理学	講師	大西紘二	302 講
2024/9/17(火)	4	<代謝異常3>	病理学	講師	猪子誠人	302 講
2024/9/17(火)	5	<代謝異常4>	病理学	講師	猪子誠人	302 講
2024/9/20(金)	1	<免疫異常1> アレルギー性疾患	病理学	講師	大西紘二	302 講
2024/9/20(金)	2	<免疫異常2> 自己免疫疾患	病理学	講師	大西紘二	302 講
2024/9/24(火)	3	<循環器> 血管炎	—	非常勤講師	岩下寿秀	302 講
2024/9/24(火)	4	<染色体・遺伝子異常1> 染色体・遺伝子異常の基礎	病理学	講師	猪子誠人	302 講
2024/9/24(火)	5	<染色体・遺伝子異常2> 発生異常・染色体異常	病理学	講師	中村律子	302 講
2024/9/27(金)	1	<染色体・遺伝子異常3> 腫瘍と遺伝子異常	病理学	講師	中村律子	302 講
2024/9/27(金)	2	<染色体・遺伝子異常4> 遺伝子異常による疾患	病理学	講師	中村律子	302 講

病理学

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2024/9/30(月)	1	小テスト1	病理学	教授	笠井謙次	101 講
2024/9/30(月)	2	予備				
2024/9/30(月)	3	<がんゲノム医療>	—	非常勤講師	谷田部恭	302 講
2024/10/1(火)	3	<腫瘍1> 腫瘍の定義, 命名法, 概要	病理学	教授	笠井謙次	302 講
2024/10/1(火)	4	<腫瘍2>	病理学	教授	笠井謙次	302 講
2024/10/1(火)	5	【AL】腫瘍	病理学	助教	陸 美穂	302 講
2024/10/4(金)	1	<循環障害1> 循環器の概要, 高血圧, 心不全	病理学	講師	伊藤秀明	302 講
2024/10/4(金)	2	<循環障害2> 充血とうっ血, 水腫, 浮腫, 側副循環	病理学	講師	伊藤秀明	302 講
2024/10/7(月)	1	<循環障害3> 止血, 血液凝固異常, 塞栓, 虚血, 梗塞	病理学	講師	伊藤秀明	302 講
2024/10/7(月)	2	<循環障害4> ショック	病理学	講師	伊藤秀明	302 講
2024/10/7(月)	3	【AL】循環障害	病理学	講師	伊藤秀明	302 講
2024/10/11(金)	1	【AL】CBL	病理学	講師	中村律子	302 講
2024/10/11(金)	2	【AL】CBL	病理学	講師	中村律子	302 講
2024/10/15(火)	1	小テスト2	病理学	教授	笠井謙次	101 講
2024/10/15(火)	4	(病理学実習ガイダンス)	病理学	教授	笠井謙次	302 講
2024/10/15(火)	5	予備				
2024/10/18(金)	1	(実習A (炎症, 免疫異常, 感染症, 代謝障害))	病理学	教授	笠井謙次	研 106
2024/10/18(金)	2		病理学	講師	猪子誠人	
			病理学	講師	中村律子	
			病理学	講師	伊藤秀明	
			病理学	講師	大西紘二	
			病理学	助教	陸 美穂	
2024/10/21(月)	1	(実習B (心臓, 血管の正常構造と疾患))	病理学	教授	笠井謙次	研 106
2024/10/21(月)	2		病理学	講師	猪子誠人	
			病理学	講師	中村律子	
			病理学	講師	伊藤秀明	
			病理学	講師	大西紘二	
			病理学	助教	陸 美穂	

病理学

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2024/10/28(月)	1	(実習C (肺の正常構造と疾患))	病理学 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 助教	笠井謙次 猪子誠人 中村律子 伊藤秀明 大西紘二 陸 美穂	研 106
2024/10/28(月)	2					
2024/11/5(火)	3	<神経1> 神経病理学総論, 頭蓋内感染症	加齢研	教授	岩崎 靖	302 講
2024/11/5(火)	4	<神経2> 神経性の中毒, 栄養障害, 脱髄性疾患	加齢研	教授	岩崎 靖	302 講
2024/11/5(火)	5	<神経3> 神経変性疾患, 認知症の病理	加齢研	教授	岩崎 靖	302 講
2024/11/6(水)	3	(実習D (神経の正常構造と疾患))	加齢研 加齢研 加齢研 加齢研 病理学 病理学 病理学 病理学	教授 准教授 講師 講師 講師 教授 講師 講師 助教	岩崎 靖 宮原弘明 曾根 淳 陸 雄一 赤木明生 笠井謙次 猪子誠人 中村律子 伊藤秀明 大西紘二 陸 美穂	研 106
2024/11/6(水)	4					
2024/11/6(水)	5					
2024/11/11(月)	1	(実習E (消化管, 肝臓, 胆嚢, 膵臓の正常構造と疾患))	病理学 病理学 病理学 病理学	教授 講師 講師 講師 助教	笠井謙次 猪子誠人 中村律子 伊藤秀明 大西紘二 陸 美穂	研 106
2024/11/11(月)	2					
2024/11/11(月)	3					
2024/12/20(金)	4	定期試験	病理学	教授	笠井謙次	101 講

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニング(AL)を実施する。症例提示を含めた case-based learning(CBL)を実施する。

(3) 講義の内容

講義資料を基に、適宜スライドにて病理組織画像を提示しつつ講義を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
笠井謙次	教授	病理学講座	2号館 研究棟265号室	毎週火・水曜日 10:00～17:00
猪子誠人	講師	病理学講座	2号館 研究棟264号室	毎週月～水曜日 10:00～17:00
伊藤秀明	講師	病理学講座	2号館 研究棟261号室	毎週月・火・金曜日 10:00～17:00
中村律子	講師	病理学講座	2号館 研究棟261号室	毎週月・火・木曜日 10:00～17:00
大西紘二	講師	病理学講座	2号館 研究棟264号室	毎週火～木曜日 10:00～17:00
陸 美穂	助教	病理学講座	2号館 研究棟260号室	毎週火～木曜日 10:00～17:00
岩崎 靖	教授	加齢医科学研究所	5号館2階 加齢医科学研究所	毎週火・水・木曜日 9:00～17:00
黒川 景	非常勤講師	愛知県立大学看護学部教授会教授	—	講義終了後 講義室にて
岩下寿秀	非常勤講師	浜松医科大学医学部教授	—	講義終了後 講義室にて
谷田部恭	非常勤講師	国立がんセンター中央病院病理診断科科长	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等は、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

病 理 学 実 習

【単位数：0.5単位，授業13コマ】

1 科目責任者

笠井謙次 教授(病理学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b)

- ① コアコンピテンス“医学知識と科学的探究心”のため，病理組織像の理解を通じて疾患の概念及び病因・病態の基礎医学的要素と共に，鑑別と治療につながる病態を学ぶ。
- ② 病理学実習では，病理学講義で学修する疾病の成り立ちの基本メカニズム及び各臓器の主要疾患について，形態異常として理解することを目指す。

(2) 学修目標

- ① 細胞障害・変性・細胞死の形態学的変化を説明できる。
- ② 代謝異常による病理組織像を説明できる。
- ③ 循環障害・臓器不全の病理組織像を説明できる。
- ④ 炎症，感染症及び創傷の経時的変化・治癒過程，免疫異常による疾患の病理組織像を説明できる。
- ⑤ 腫瘍の病理組織像を説明できる。
- ⑥ 呼吸器腫瘍性疾患と閉塞性肺疾患・気道異常の病理組織像を説明できる。
- ⑦ 虚血性心疾患・炎症性心血管疾患・特発性心筋症・心臓腫瘍の病理組織像を説明できる。
- ⑧ 消化器の感染症・自己免疫疾患・循環障害・腫瘍性疾患の病理組織像を説明できる。
- ⑨ 神経病理の基礎を理解し，代表的中枢神経疾患の病理組織像を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
実習	○	100%	実習レポートが不良の場合，再提出を求める。 全てのレポート完了を以って病理学実習の単位修得とし，さらに病理学修了の条件とする。 病理学実習で学修した内容は病理学定期試験の試験範囲に含まれる。 範囲は病理学の項を参照のこと。
態度	○	—	態度不良の場合は「問題行動学生報告書」(イエロー・レッドカード)を提出する

出席：実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

実習レポート完了をもって合格とする。ただし実習の内容は病理学の定期試験の出題範囲に含める。
レポート内容が不十分の場合，再提出を求める。再提出の期限は別途指示する。
また，著しく受講態度不良の場合，病理学実習の単位を認めない。

(3) 再試験・再評価の方法

レポート内容が不十分の場合、再提出を求める。再提出の期限は別途指示する。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

提出されたレポートについて適宜返却するので、病理学学修の資料とすること。

不十分なレポートにはその旨記載し、再提出を求める。再提出の期限は別途指示する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
実習プリント			実習ごとに観察ポイントや課題を記載したプリントを配付する。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準病理学	坂本穆彦 監修	医学書院	病理学講義の教科書であるが、実習後の振り返りにも有用。 学修内容が網羅されている。
ロビンス 基礎病理学	豊國伸哉, 高橋雅英 監訳	丸善出版	記述にストーリー性があり秀逸。
日本病理学会「病理コア画像」 http://pathology.or.jp	日本病理 学会教育 委員会	日本病理学 会	登録疾患が厳選されている。
組織病理アトラス	森谷卓也 ら	文光堂	多くの疾患が網羅されている。

6 準備学習（予習・復習）

- 実習範囲の講義内容の振り返りをすること(1日あたり15分)。
- 配布資料，講義内容，教科書，参考図書の該当範囲を復習すること(1日あたり1時間)。
- 異常と正常とは表裏一体である。病態の理解のために，適宜解剖学，組織学などの振り返り学修を行うこと。

病理学実習
7 授業計画
(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/15(火)	4	病理学実習ガイダンス	病理学	教授	笠井謙次	302 講
2024/10/18(金)	1	実習 A (炎症, 免疫異常, 感染症, 代謝障害)	病理学	教授	笠井謙次	研 106
2024/10/18(金)	2		病理学	講師	猪子誠人	
			病理学	講師	中村律子	
			病理学	講師	伊藤秀明	
			病理学	講師	大西紘二	
			病理学	助教	陸 美穂	
2024/10/21(月)	1	実習 B (心臓, 血管の正常構造と疾患)	病理学	教授	笠井謙次	研 106
			病理学	講師	猪子誠人	
			病理学	講師	中村律子	
			病理学	講師	伊藤秀明	
			病理学	講師	大西紘二	
			病理学	助教	陸 美穂	
2024/10/28(月)	1	実習 C (肺の正常構造と疾患)	病理学	教授	笠井謙次	研 106
			病理学	講師	猪子誠人	
			病理学	講師	中村律子	
			病理学	講師	伊藤秀明	
			病理学	講師	大西紘二	
			病理学	助教	陸 美穂	
2024/11/6(水)	3	実習 D (神経の正常構造と疾患)	加齢研	教授	岩崎 靖	研 106
			加齢研	准教授	宮原弘明	
			加齢研	講師	曾根 淳	
			加齢研	講師	陸 雄一	
2024/11/6(水)	4		加齢研	講師	赤木明生	
			病理学	教授	笠井謙次	
			病理学	講師	猪子誠人	
			病理学	講師	中村律子	
			病理学	講師	伊藤秀明	
			病理学	講師	大西紘二	
			病理学	助教	陸 美穂	
2024/11/11(月)	1	実習 E (消化管, 肝臓, 胆嚢, 膵臓の正常構造と疾患)	病理学	教授	笠井謙次	研 106
			病理学	講師	猪子誠人	
			病理学	講師	中村律子	
2024/11/11(月)	2		病理学	講師	伊藤秀明	
			病理学	講師	大西紘二	
			病理学	助教	陸 美穂	
2024/11/11(月)	3		病理学	助教	陸 美穂	

(2) 実習の方法

2号館(研究棟)106号室でバーチャルスライドを用いて実施する。

実習の際の持ち物等は9月6日(金)1限:病理学講義のガイダンスで説明する。

またバーチャルスライドの詳細は10月18日(金)1限の実習A開始時に説明する。

(3) 実習の内容

実習に当たって観察ポイントや課題を記載したプリントを適宜配付する。

詳細は10月18日(金)1限の実習A開始時に説明する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
笠井謙次	教授	病理学講座	2号館 研究棟265号室	毎週火・水曜日 10:00～17:00
猪子誠人	講師	病理学講座	2号館 研究棟264号室	毎週月～水曜日 10:00～17:00
伊藤秀明	講師	病理学講座	2号館 研究棟261号室	毎週月・火・金曜日 10:00～17:00
中村律子	講師	病理学講座	2号館 研究棟261号室	毎週月・火・木曜日 10:00～17:00
大西紘二	講師	病理学講座	2号館 研究棟264号室	毎週火～木曜日 10:00～17:00
陸 美穂	助教	病理学講座	2号館 研究棟260号室	毎週火～木曜日 10:00～17:00
岩崎 靖	教授	加齢医科学研究所	5号館2階 加齢医科学研究所	毎週火・水・木曜日 9:00～17:00
宮原弘明	准教授	加齢医科学研究所	5号館2階 加齢医科学研究所	毎週木曜日 9:00～17:00
曾根 淳	講師	加齢医科学研究所	5号館2階 加齢医科学研究所	毎週月・金曜日 13:00～17:00
赤木明生	講師	加齢医科学研究所	5号館2階 加齢医科学研究所	毎週月・水・木曜日 9:00～17:00
陸 雄一	講師	加齢医科学研究所	5号館2階 加齢医科学研究所	毎週水・木・金曜日 9:00～17:00

※ 質問等は、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

統合講義（腫瘍学）

【単位数：1単位，授業 15 コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授（医学教育センター）

科目担当者

笠井謙次 教授（病理学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅰ-13-b, Ⅲ-3-b, Ⅲ-5-c, Ⅲ-7-c, Ⅲ-9-c, Ⅲ-7-c, V-4-c）

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため，特に腫瘍の病因，病態につながる基礎医学医的な要素，社会医学的背景を学び，さらに腫瘍の症候と適切な治療選択の概要，チーム医療を理解する。
- ② 腫瘍の基礎医学，社会医学から臨床医学までを俯瞰的に理解する。

（2）学修目標

- ① 腫瘍の定義・用語，病態を説明できる。
- ② 癌の原因や遺伝子変化，発癌機構を説明できる。
- ③ 癌検診制度や地域医療構想を概説できる。
- ④ 腫瘍の内視鏡診断・内視鏡治療を概説できる。
- ⑤ 腫瘍の手術療法を概説できる。
- ⑥ 腫瘍の放射線診断・療法を概説できる。
- ⑦ 腫瘍の薬物療法（殺細胞性抗癌薬，分子標的薬，免疫チェックポイント阻害剤）を概説できる。
- ⑧ 腫瘍の診察におけるチーム医療を概説できる。
- ⑨ 腫瘍における緩和ケアを概説できる。
- ⑩ 腫瘍の診察における生命倫理を概説できる。
- ⑪ 腫瘍性疾患をもつ患者の置かれている状況を認識できる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題を原則とする。一部記述式問題を含む場合がある。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，10点を上限として減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

Team-based learning (TBL) の進め方などは9月2日（月）2限に説明する。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は多肢選択問題を原則とするが，一部記述式問題を含む場合がある。再試験の60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績の総括を学内メールで通知する。

これにより、理解が不十分な項目について再確認を促すとともに、定期試験が不合格となった者は再試験に備えること。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
入門腫瘍内科学	日本臨床腫瘍学会編集	南江堂	臨床腫瘍学の入門書。医学部生に必要な臨床腫瘍学の知識が、わかりやすくまとめられている。

6 準備学習（予習・復習）

レジュメの復習を行うこと(1日あたり約1時間)。

統合講義（腫瘍学）

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/2(月)	1	「腫瘍学」へのいざない	腫内	教授	久保昭仁	302 講
2024/9/2(月)	2	腫瘍の病理:病理組織所見と用語解説 TBLの進め方の解説	病理学	教授	笠井謙次	302 講
2024/9/2(月)	3	腫瘍の分子生物学的特性1: “Hallmarks of cancer”	生化学	教授(特任)	小西裕之	302 講
2024/9/2(月)	4	腫瘍の分子生物学的特性2: “Hallmarks of cancer”	生化学	教授(特任)	小西裕之	302 講
2024/9/2(月)	5	腫瘍の発生:放射線・職業・化学発癌, 遺伝子異常	—	非常勤講師	村上秀樹	302 講
2024/9/3(火)	1	腫瘍の予防:リスクファクター, がん検診, 治療 と仕事の両立支援	衛生	教授	鈴木孝太	302 講
2024/9/3(火)	2	腫瘍の内視鏡的診断と治療 症例提示:TBLのシナリオ提示	消内	教授(特任)	佐々木誠人	302 講
2024/9/3(火)	3	腫瘍の放射線診断:放射線診断概論	放射線	教授	鈴木耕次郎	302 講
2024/9/3(火)	4	腫瘍の外科治療:外科治療概論	消外	助教	松村卓樹	302 講
2024/9/3(火)	5	腫瘍の放射線治療:放射線治療概論	放射線	准教授(特任)	大島幸彦	302 講
2024/9/4(水)	1	腫瘍の治療戦略:治療戦略作成, Cancer Board	腫内	教授	久保昭仁	302 講
2024/9/4(水)	2	腫瘍の化学療法:化学療法概論, 化学療法, 分子 標的療法, 免疫療法	腫内	教授	久保昭仁	302 講
2024/9/4(水)	3	腫瘍のチーム医療:患者・家族の立場とチーム医 療	緩和ケアC	教授	森 直治	302 講
2024/9/4(水)	4	腫瘍の緩和治療:緩和医療概論	緩和ケアC	教授	森 直治	302 講
2024/9/4(水)	5	【JS 水平】【AL】TBL	消内 病理学	教授(特任) 教授	小笠原尚高 笠井謙次	302 講
2024/9/5(木)	1	自習				
2024/9/5(木)	2	自習				
2024/9/5(木)	3	自習				
2024/9/5(木)	4	自習				
2024/9/5(木)	5	定期試験	病理学	教授	笠井謙次	101 講

（2）講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型講義であるが、一部講義中に講師との質疑応答を導入する。
症例(9月3日(火)2限提示)に基づくTBLを9月4日(水)5限に実施する。

（3）講義の内容

腫瘍の基礎医学的知識の整理と、臨床現場での癌患者の診断治療の流れを想定して講義を進める。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
笠井謙次	教授	病理学講座	2号館 研究棟265号室	毎週火・水・木曜日 10:00～17:00
小西裕之	教授(特任)	生化学講座	2号館 研究棟362号室	毎週月曜日午後
鈴木孝太	教授	衛生学講座	2号館 研究棟371号室	毎週水曜日(不定期) 部署宛に要事前連絡 17:30～18:30
佐々木誠人	教授(特任)	消化管内科	D棟3階 消化管内科医局	毎週火曜日 12:00～13:00
小笠原尚高	教授(特任)	消化管内科	D棟2階 消化管内科医局	毎週月・水曜日 17:00～18:00
松村卓樹	助教	消化器外科	C棟11階 外科学講座医局	月～金曜日 16:00～18:00
鈴木耕次郎	教授	放射線医学講座	大学病院中央棟 1階読影室	毎週水・金曜日 15:00～17:00
大島幸彦	准教授 (特任)	放射線医学講座	大学病院中央棟 地下1階 放射線治療センター	毎週月・火・水曜日 17:30～18:30
久保昭仁	教授	臨床腫瘍センター (腫瘍内科部門)	C棟7階教授室	毎週木曜日 16:00～17:00
森 直治	教授	緩和ケアセンター	C棟7階教授室	毎週月曜日 17:30～19:00
村上秀樹	非常勤講師	日本赤十字社愛知医 療センター名古屋第一 病院病理部部長	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等は、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

統合講義（炎症学）

【単位数：1単位，授業15コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授（医学教育センター）

科目担当者

高村祥子 教授（感染・免疫学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-3-c）

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため，疾病の病院・病態・治療につながる基礎医学的知識から臨床につながるところまでを集中的に学び，それにより“プロフェッショナリズム”育成につなげる。
- ② 前学期及び後学期の講義で習得した免疫学，生化学，微生物学・基礎感染症学や病理学，薬理学などを横断的につなげて考える力を養う。また，急性期及び慢性期の感染症病態を学ぶことで救急医学・臨床感染症学など，将来学ぶ臨床医学への登竜門として縦断的な考え方を習得する。さらに，最近の話題でもある脂質蓄積による慢性炎症発症機序やNASHなどの疾患についての知識を習得する。
- ③ 臨床学の講義を聞いて2学年次で理解できるレベルまで基礎知識を高めるとともに，実際の病気がどのようなものなのかを体感し，それにより自発的に勉強する気持ちを高める。

（2）学修目標

- ① 『炎症』の定義や，各疾患の発症メカニズム・病態を説明できる。
- ② 『創傷治癒』について説明できる。
- ③ 細菌の形態や微生物学的特徴について説明できる。
- ④ 抗菌薬の作用機序について説明できる。
- ⑤ 急性炎症病態の代表的疾患として，敗血症や丹毒について理解し説明できる。
- ⑥ 慢性炎症の代表的疾患として，結核やNASHなどについて理解し説明できる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	原則的に多肢選択問題とする。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は最大10点減点をする。なお受講態度にはレポートなどの提出状況も含む。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格）。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにより理解が不十分な項目について再確認を促すとともに、定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし 必要な授業資料をAIDLE-Kに掲示する。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
免疫と「病」の科学	宮坂昌之, 定岡 恵	講談社	単行本で初心者にもわかりやすい。炎症学のトピックスが網羅されている。図も多用され短時間で理解しやすい。
分子細胞免疫学(原著第10版)	アバス, リックマン, ピレ	エルゼビア・ ジャパン	敗血症や結核に関する記述がある。

6 準備学習(予習・復習)

- 本講義や免疫学, 病理学, 薬理学, 微生物学, 生化学などの教科書, 参考図書の中で関連しそうな範囲に改めて目を通してどのような事項が取り上げられそうか予想し, 興味を惹いた項目について記載内容を読んでおく(1日あたり0.5時間)。
- AIDLE-Kに挙げられている演習問題をあらかじめ解いておき, 分からない点を把握したうえで授業に臨む(1日あたり0.5時間)。
- 講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し, 以降の講義に臨むこと(1日あたり1~1.5時間)。

統合講義（炎症学）

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/12(火)	1	『炎症学』 統合講義の目標・学習方法について	感染・免疫学	教授	高村祥子	302 講
2024/11/12(火)	2	肝炎とは？ － ウイルス性, 自己免疫性, NASH -	肝胆膵	教授	伊藤清頭	302 講
2024/11/12(火)	3	アドバンス授業	肝胆膵 感染・免疫学	教授 助教	伊藤清頭 伴野 勸	302 講
2024/11/12(火)	4	急性炎症・丹毒について	感染症	教授	三嶋廣繁	302 講
2024/11/12(火)	5	アドバンス授業	感染症 感染・免疫学	教授 教授	三嶋廣繁 高村祥子	302 講
2024/11/13(水)	1	急性炎症概論・慢性炎症概論	病理学	講師	大西紘二	302 講
2024/11/13(水)	2	アドバンス授業	病理学 —	講師 非常勤講師	大西紘二 内記良一	302 講
2024/11/13(水)	3	連鎖球菌・結核菌の微生物学的特徴	—	非常勤講師	内記良一	302 講
2024/11/13(水)	4	慢性炎症・結核について	感染症	教授	三嶋廣繁	302 講
2024/11/13(水)	5	脂質蓄積による慢性炎症誘導	感染・免疫学	助教	伴野 勸	302 講
2024/11/14(木)	1	急性炎症と白血球・サイトカイン	生化学	教授(特任)	都築 忍	302 講
2024/11/14(木)	2	アドバンス授業	生化学 薬理学	教授(特任) 准教授	都築 忍 山口奈緒子	302 講
2024/11/14(木)	3	連鎖球菌・結核菌に関連する抗菌薬の 作用機序	薬理学	准教授	山口奈緒子	302 講
2024/11/14(木)	4	敗血症をはじめとした救急疾患の炎症, 及びア ドバンス	救急集中 治療医学	教授	渡邊栄三	302 講
2024/11/14(木)	5	授業まとめ(演習問題解説), レポートへのコメ ントなど	感染・免疫学	教授	高村祥子	302 講
2024/12/10(火)	3	定期試験	感染・免疫学	教授	高村祥子	101 講

（2）講義の方法

大教室での知識伝達型の講義が主体であるが、講義中、講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを可能な限り導入する。また、アドバンス授業として最先端の研究内容の話や『炎症』にまつわるよもやま話を中心とした講義も行う。これまでの座学の集大成やさらなる発展的な内容もあるため、自学自習の習慣をつけるため授業まとめレポートを提出させるなど、能動的な学習体系を構築できるように導く。

（3）講義の内容

臨床科の講義を基軸とし、その内容を理解するのに必要な内容の基礎研究者の講義を取り入れる。また、AIDLE-Kなどに提示した演習問題なども自主学習資料として取り入れ、個人やグループで解かせて質疑応答の機会を設けることにより問題解決能力を身に付けさせる。さらに授業まとめレポートを提出させ、理解を深めさせる。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
高村祥子	教授	感染・免疫学講座	2号館 研究棟366号室	毎月～金曜日 16時～19時
伴野 勸	助教	感染・免疫学講座	2号館 研究棟368号室	毎月～金曜日 16時～19時
都築 忍	教授(特任)	生化学講座	2号館 研究棟304号室	毎月～金曜日 16時～17時
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館 研究棟359号室	毎月～金曜日 16時～19時
大西紘二	講師	病理学講座	2号館 研究棟264号室	毎火・水曜日 10時～17時
伊藤清顕	教授	内科学講座(肝胆膵内 科)	消化器内科医局	通常:月～金曜 16時～18時
渡邊栄三	教授	救急集中治療 医学講座	大学病院中央棟 1階部長室	毎週月・水・金曜日 15:00～17:00
三嶋廣繁	教授	臨床感染症学講座	C棟8階 教授室	第2第4火曜日 8時～8時30分
内記良一	非常勤講師	愛知学院大学歯学部	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

微 生 物 学

【細菌分野 単位数:1.5 単位, 授業:19 コマ 実習6コマ(定期試験含まず)】
【ウイルス・真菌分野 単位数:2 単位, 授業:21 コマ 実習6コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

高村祥子 教授(感染・免疫学講座)

科目担当者

細菌分野 : 永沢 亮 助教(感染・免疫学講座)

ウイルス・真菌分野 : 森田奈央子 助教(感染・免疫学講座)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-c)

細菌分野, ウイルス・真菌分野 共通:

- ① コアコンピテンスの“医学の知識と科学的探究心”の理解のため, 微生物による疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素を説明できるようになる。
- ② 細菌, ウイルス, 真菌等の病原微生物の基本的性状, 病原性とそれによって生じる病態を理解する。
- ③ 主要な感染症の病原微生物, 疫学, 病態生理, 症候を理解する。

(2) 学修目標

細菌分野:

- ① 細菌の構造を理解し, 形態と染色性により分類できる。
- ② 細菌の感染経路を分類し, 説明できる。
- ③ 細菌が疾病を引き起こす機序を説明できる。
- ④ 代表的なグラム陽性菌とグラム陰性菌, 抗酸菌, スピロヘータ, マイコプラズマ, リケッチア, クラミジアの学的特徴と, それらが引き起こす疾患を列挙できる。
- ⑤ 薬剤耐性菌の種類とその耐性化機構を説明できる。

ウイルス・真菌分野:

- ① ウイルスの構造と性状によりウイルスを分類できる。
- ② ウイルスの増殖様式, 種特異性, 組織特異性を説明できる。
- ③ ウイルス感染細胞に起こる変化について説明できる。
- ④ 主なDNAウイルス・RNAウイルスの特徴, リスク因子, 感染経路と病態を説明し, これらのウイルスが引き起こす疾患を列挙できる。
- ⑤ 真菌の微生物学的特徴と, それらが引き起こす疾患を列挙できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

細菌分野:

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	75%	多肢選択問題が主であるが、記述式を併用することもある。
小テスト	○	20%	多肢選択問題を1回行う。
実習レポート	○	5%	実習終了時に実習レポートを提出する。得点はウイルス・真菌分野と等分する。
態度	○	—	受講態度不良(講義中の退席, 聴講に必要以外のスマートフォンの使用, 私語など)は, 10%を上限に得点を減ずる。

出席: 定期試験を受験するためには講義の欠席率が3分の1を超えてはならない。

実習を修得するためには, 欠席をしてはならない。

ウイルス・真菌分野:

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	多肢選択問題が主であるが、記述式を併用することもある。
講義レポート	○	5%	講義(AL含む)の復習として、問題を不定期で出題する。解答はその場で提出すること。
実習レポート	○	5%	実習終了時に実習レポートを提出する。得点は細菌分野と等分する。
態度	○	—	受講態度不良(講義中の退席, 聴講に必要以外のスマートフォンの使用, 私語, レポート不提出など)は, 10%を上限に得点を減ずる。

出席: 定期試験を受験するためには講義の欠席率が3分の1を超えてはならない。

実習を修得するためには, 欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

細菌分野, ウイルス・真菌分野 共通:

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。ただし、実習レポートが不可の場合は再提出を求める。

(3) 再試験・再評価の方法

細菌分野, ウイルス・真菌分野 共通:

評価対象の合計が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は多肢選択問題又は記述式にて実施する(60%以上で合格)。ただし、問題の難易度は上昇する。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

細菌分野, ウイルス・真菌分野 共通:

定期試験の成績についての総括及び理解不十分と思われた問題についての解説をAIDLE-Kに掲載する。これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに、定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

希望者には個別に詳細を開示するとともに、質疑応答を行う。

4 教科書

細菌分野, ウイルス・真菌分野 共通:

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配布			

5 参考図書

細菌分野, ウイルス・真菌分野 共通:

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準微生物学	中込 治	医学書院	細菌学・真菌学・ウイルス学について基本的な内容がまとめられているため。
病気が見える⑥		メディックメディア	免疫・感染症全般について解りやすく簡潔に記載されているため。

6 準備学習（予習・復習）

細菌分野, ウイルス・真菌分野 共通:

予習： 可能であれば，授業計画表を参考にして，参考図書で概要をつかんでおくと良い。また，特に予習が必要な場合は前以て指示をするのでそれに従う(1コマあたり約10分)。

復習： 講義プリントを再度読み返し，レポートを作成，提出する。分からないところがあれば参考図書等で調べる，あるいは担当教員に質問をする(1コマあたり約0.5時間)。

微生物学

7 授業計画

(1) 開催日時

細菌分野

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/11(水)	5	細菌 総論1	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/9/12(木)	3	細菌 総論2	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/9/18(水)	5	グラム陽性球菌1	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/9/19(木)	3	グラム陽性球菌2/グラム陰性球菌	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/9/25(水)	5	グラム陽性桿菌1	感染・免疫学	教授	高村祥子	302 講
2024/9/26(木)	3	グラム陰性桿菌1	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/9/26(木)	4	グラム陰性桿菌2	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/9/26(木)	5	グラム陰性桿菌3	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/10/2(水)	5	グラム陽性桿菌2/スピロヘータ	感染・免疫学	教授	高村祥子	302 講
2024/10/3(木)	3	小テスト	感染・免疫学 感染・免疫学	助教 助教	永沢 亮 森田奈央子	101 講
2024/10/3(木)	4	マイコプラズマ・クラミジア・リケッチア	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/10/3(木)	5	抗酸菌	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/10/18(金)	4	【AL】細菌性食中毒1	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/10/18(金)	5	【AL】細菌性食中毒2	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/10/24(木)	1	【AL】細菌性肺炎1	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/10/24(木)	2	【AL】細菌性肺炎2	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/10/28(月)	3	薬剤耐性菌	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/11/8(金)	3	まとめ1	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/11/8(金)	4	まとめ2	感染・免疫学	助教	永沢 亮	302 講
2024/12/17(火)	3	定期試験	感染・免疫学	教授	高村祥子	101 講

ウイルス・真菌分野

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/6(金)	3	微生物 総論	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/9/6(金)	4	ウイルス 総論1	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/9/6(金)	5	ウイルス 総論2	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/9/13(金)	3	真菌 総論	—	非常勤講師	神戸俊夫	302 講
2024/9/13(金)	4	真菌 各論1	—	非常勤講師	神戸俊夫	302 講
2024/9/13(金)	5	真菌 各論2	—	非常勤講師	神戸俊夫	302 講
2024/9/19(木)	4	e(+)RNA ウイルス1 (インフルエンザ)	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/9/19(木)	5	e(+)RNA ウイルス2 (コロナ, RS 等)	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/9/20(金)	3	e(+)RNA ウイルス3 (麻疹, 風疹 等)	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/9/20(金)	4	肝炎ウイルス1	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/9/20(金)	5	肝炎ウイルス2	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/9/27(金)	3	【AL】肝炎マーカー	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/9/27(金)	4					
2024/9/27(金)	5					
2024/10/4(金)	3	e(+)RNA ウイルス4 (レトロウイルス科)	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/10/4(金)	4	e(+)DNA ウイルス(ヘルペスウイルス科)	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/10/4(金)	5	e(+)DNA ウイルス(ヘルペスウイルス科)	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/10/11(金)	3	e(+)/(-)DNA ウイルス(アデノ等)	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/10/11(金)	4	e(-)RNA ウイルス(ノロ, ロタ等)	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/10/11(金)	5	【AL】まとめ1	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/10/18(金)	3	【AL】まとめ2	感染・免疫学	助教	森田奈央子	302 講
2024/12/16(月)	3	定期試験	感染・免疫学	教授	高村祥子	101 講

実習

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/8(火)	3	グラム染色操作 細菌・真菌の培養	感染・免疫学	助教	永沢 亮	研 107
2024/10/8(火)	4		感染・免疫学	助教	森田奈央子	
2024/10/8(火)	5		—	客員教授	小松孝行	
2024/10/10(木)	3	細菌・真菌の同定	感染・免疫学	助教	永沢 亮	研 107
2024/10/10(木)	4		感染・免疫学	助教	森田奈央子	
2024/10/10(木)	5		—	客員教授	小松孝行	
2024/10/29(火)	3	薬剤感受性試験1	感染・免疫学	助教	永沢 亮	研 107
2024/10/29(火)	4		感染・免疫学	助教	森田奈央子	
2024/10/29(火)	5		—	客員教授	小松孝行	
2024/10/31(木)	3	薬剤感受性試験2	感染・免疫学	助教	永沢 亮	研 107
2024/10/31(木)	4		感染・免疫学	助教	森田奈央子	
2024/10/31(木)	5		—	客員教授	小松孝行	

(2) 講義の方法

細菌分野, ウイルス・真菌分野 共通:

講義: 基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが, 小テストや講師との質疑応答などで, 理解度・習熟度を確認しながら進めていく。

実習: 実習室にて, 個人あるいはグループで実験を行ってもらい, 実験結果や原理等のレポートを課す。適宜, 解説及び講師との質疑応答を行い, 理解を深める。

(3) 講義の内容

細菌分野, ウイルス・真菌分野 共通:

まず総論として微生物学の基本的なキーワードを解説し, それ以降に各微生物における病原性や治療方法等細部について具体的に解説していく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
高村祥子	教授	感染・免疫学講座	2号館 研究棟366号室	平日 9:00～18:00
森田奈央子	助教	感染・免疫学講座	2号館 研究棟270号室	平日 17:00～18:00
永沢 亮	助教	感染・免疫学講座	2号館 研究棟271号室	平日 17:00～18:00
神戸俊夫	非常勤講師	米田柔道整復師専門学校, 中部看護専門学校 非常勤講師	—	講義終了後 講義室にて
小松孝行	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	実習終了後 実習室にて

※ 質問等については, 講義終了後, 又は, Email(学内メール: Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には, オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師, 客員教授, 名誉教授に Email で質問したい場合は, 科目責任者に連絡先を問合せること。

免 疫 学

【単位数:1.5単位, 授業22コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

高村祥子 教授(感染・免疫学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-c)

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため, 疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な知識や方法論を学び, それにより“プロフェッショナリズム”育成につなげる。
- ② 免疫系の機構を分子レベルで理解し, 病原体に対する免疫反応, アレルギー反応, 主な自己免疫疾患, 先天性免疫不全症候群と癌細胞に対する免疫系の反応を理解する。

(2) 学修目標

- ① 自己・非自己の認識機構とともに自然免疫と獲得免疫の概念を比較して叙述できる。
- ② 免疫担当細胞を列挙し, それぞれの発生分化過程, 機能, 相互関係を様々な角度から説明できる。
- ③ リンパ球の抗原受容体の形成過程を分子レベルで説明できる。
- ④ 主要組織適合抗原の多面的な機能を把握し, それぞれの生理的意義を具体的に説明できる。
- ⑤ 生体防御反応の調節機構を分類, 記述し, その破綻の結果(アレルギー, 自己免疫疾患)を推論できる。
- ⑥ 先天性免疫不全症候群の分子的背景を具体的に述べ, 病態の発症理由を論理的に説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	すべての授業及び実習内容, レポート, 小テスト(授業中に行う)などから出題される。 記述式が原則だが, 穴埋め問題, 多肢選択問題, ○×問題等多様な形式で問う。
態度	○	—	教科書を準備しない, あるいは提出物を提出しないなど, 著しく態度不良の場合は総合成績から最大10点減点をする。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は, 再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。ただし, 問題の難易度は上昇する。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに, 定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
エッセンシャル免疫学(第4版)	Peter Parham, 平野俊夫 村上正晃	メディカル・サイエンス・インターナショナル	文章が平易で図も豊富なため理解しやすい。記述も詳細で不明点検索にも使える。
レジュメはAIDLE-Kに掲示する。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
もっとよくわかる！免疫学	河本 宏	羊土社	短時間で読みやすく免疫学全体を把握しやすい。
基礎免疫学(原著第6版)	アバス, リックマン, ピレ	エルゼビア・ジャパン	図がわかりやすく基本的内容が網羅されている。
Janeway's免疫生物学(原著第9版)	笹月健彦, 吉開泰信監訳	南江堂	記述が詳細で不明点検索の辞書代わりとして使用するのに向いている。
分子細胞免疫学(原著第7版)	アバス, リックマン, ピレ	エルゼビア・ジャパン	基礎免疫学の原本で、図がわかりやすく内容も詳細である。
ヒトの免疫学	Matthew Helbert	エルゼビア・ジャパン	病気主体に記載されており、価格・本共に手ごろであり読みやすい。

6 準備学習(予習・復習)

講義開講前に行うこと

- ・ 高校の生物基礎の教科書のうち、免疫学に関するところを読み直しておく(1日あたり0.5時間)。
- ・ 参考図書のどれかを選び全体に目を通しておき、免疫学全体の流れをつかむ(1日あたり0.5時間)。

毎回講義前に行うこと

- ・ 各講義に該当する教科書の範囲に目をとおり、図や表を眺めておく(1日あたり0.5時間)。

講義後に行うこと

- ・ 配付された資料について内容を確認し、分からないところは教科書で調べたり、次回講師に質問する準備をしておく(1日あたり1時間)。
- ・ AIDLE-Kに添付された問題や、e-learning testなどの関連問題を解いてみる(1日あたり0.5時間)。

免疫学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/18(木)	1	免疫とは何か？自然免疫と獲得免疫 (教科書第1章—3章, 12章)	感染・免疫学	教授	高村祥子	302講
2024/4/18(木)	2	補体・補体受容体の機能 (教科書第2章)	感染・免疫学	教授	高村祥子	302講
2024/4/25(木)	1	MHCの機能と抗原提示 (教科書第5章)	感染・免疫学	講師	乾 匡範	302講
2024/4/25(木)	2	抗体の構造 (教科書第4章)	感染・免疫学	講師	山崎達也	302講
2024/5/2(木)	1	B細胞の多様性獲得機構 (教科書第4章続き)	感染・免疫学	講師	山崎達也	302講
2024/5/2(木)	2	B細胞の分化 (教科書第6章)	感染・免疫学	講師	乾 匡範	302講
2024/5/9(木)	1	T細胞の分化 (教科書第7章)	感染・免疫学	講師	乾 匡範	302講
2024/5/9(木)	2	T細胞エフェクター機構 (教科書第8章)	感染・免疫学	講師	乾 匡範	302講
2024/5/16(木)	1	T細胞エフェクター機構続き (教科書第8章続き)	感染・免疫学	講師	乾 匡範	302講
2024/5/16(木)	2	抗体の機能・液性免疫エフェクター機構 (教科書第9章)	感染・免疫学	教授	高村祥子	302講
2024/5/23(木)	1	アレルギーとは？ (教科書第14章)	感染・免疫学	講師	乾 匡範	302講
2024/5/23(木)	2	免疫過剰状態について (教科書第14章続き)	感染・免疫学	講師	乾 匡範	302講
2024/5/30(木)	1	免疫寛容の破たんと自己免疫疾患 (教科書第16章)	感染・免疫学	教授	高村祥子	302講
2024/5/30(木)	2	先天性免疫不全症 (教科書第13章)	感染・免疫学	教授	高村祥子	302講
2024/6/6(木)	1	粘膜免疫(教科書第10章)	感染・免疫学	講師	乾 匡範	302講
2024/6/6(木)	2	移植拒絶反応 (教科書第15章)	感染・免疫学	教授	高村祥子	302講
2024/6/13(木)	1	がん免疫と抗体医薬(教科書第17章)	感染・免疫学	助教	伴野 勸	302講
2024/6/13(木)	2	がん免疫と抗体医薬(教科書第17章続き)	感染・免疫学	助教	伴野 勸	302講
2024/6/20(木)	2	【JS水平】制御性T細胞を標的としたがん治療	感染・免疫学	教授 (特任)	鈴木 進	302講
2024/6/25(火)	3	【JS垂直】婦人科や腸管における粘膜免疫機構	感染症	教授	三嶋廣繁	302講
2024/6/25(火)	4	【JS垂直】皮膚における免疫機構	皮膚	教授	渡邊大輔	302講
2024/6/25(火)	5	免疫記憶とワクチン(教科書第11章)	感染・免疫学	講師	山崎達也	302講
2024/7/26(金)	4	定期試験	感染・免疫学	教授	高村祥子	101講

(2) 講義の方法

大教室での知識伝達型講義が主体であるが、講義中に小テストを行ったり、講師との質疑応答などを行う。また授業のまとめをレポート提出させるなど、自学自習の習慣をつけてもらう工夫も行う。

(3) 講義の内容

1コマ目に免疫学総論として全講義の概説と全体の中での位置関係を示し、免疫学講義全体の流れを把握させる。2コマ目以降はそれぞれのタイトルに関して、具体的内容を提示し概念の理解を深めていく。また研究主体の教員や臨床系教員による水平・垂直統合的内容も一部取り入れる。講義最終近くには、これまでのまとめや免疫に関する問題を作成したり、解答の討論を行ったりなどにより知識の習得・確認を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
高村祥子	教授	感染・免疫学講座	2号館 研究棟366号室	毎週月～金曜日 16:00～19:00
乾 匡範	講師	感染・免疫学講座	2号館 研究棟368号室	毎週月～金曜日 16:00～19:00
山崎達也	講師	感染・免疫学講座	2号館 研究棟368号室	毎週月～金曜日 9:00～17:00
伴野 勸	助教	感染・免疫学講座	2号館 研究棟368号室	毎週月～金曜日 16:00～19:00
渡邊大輔	教授	皮膚科学講座	C棟10階 皮膚科医局	毎週水曜日 16:30～17:30
三嶋廣繁	教授	臨床感染症学講座	C棟8階 教授室	第2第4火曜日 8:00～8:30
鈴木 進	教授(特任)	研究創出支援センター	2号館 研究創出支援センター2階	毎週火曜日 11:00～13:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

免疫学実習

【単位数:0.5単位, 授業13コマ】

1 科目責任者

高村祥子 教授(感染・免疫学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-c)

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため, 疾病の病因・病態・治療につながる基礎医学的な知識や方法論を学び, それにより“プロフェッショナリズム”育成につなげる。
- ② 免疫系の機構を分子レベルで理解し, その機構を応用した実験方法を実践し解析・考察することで実際の臨床検査にどのように応用されているのかを学び, それにより『適切な検査を選択し結果を正しく解釈できる』技能育成につなげる。

(2) 学修目標

- ① 免疫機構を応用した検査の種類や意義を説明できる。
- ② 実験の手順や各段階の作業の意義を理解し, 正しく実践できる。
- ③ 実験結果を正しくまとめて説明し, 考察できる。
- ④ 実験機器の使い方や仕組みを理解し説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	100%	実習終了後に実習レポートを提出する(AIDLE-Kにも課題レポートを課すこともある)。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は最大10点減点をする。

出席: 実習を修得するためには, 欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は, 課題・レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

実習レポートは, 添削・採点し返却する。必要に応じて, 講義や実習前に解説を行なう。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
独自に作成した実習テキストを配付します。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Janeway's免疫生物学 (原著第9版)	笹月健彦 吉開泰信 監訳	南江堂	付録 I のところに実験に関する記述があり参照できる。

6 準備学習（予習・復習）

実習前に行うこと

- 実習書及び実習ノート(課題含む)をAIDLE-Kに挙げておくので、あらかじめ予習すること(1日あたり約1時間)。
- 実習には参考書などを持参すること。

実習後に行うこと

- 実習ノートで課題の訂正があったところなどをよく復習しておくこと(1日あたり約0.5時間)。

免疫学実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/17(月)	2	ピペットマン操作の基本 羊赤血球抗体による凝集反応と溶血反応 ロゼット形成, ELISA 法, など	感染・免疫学	教授	高村祥子	研 107
2024/6/17(月)	3		感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	
2024/6/17(月)	4		感染・免疫学	講師	乾 匡範	
2024/6/17(月)	5		感染・免疫学	講師	山崎達也	
2024/6/17(月)	5	感染・免疫学	助教	伴野 勸		
2024/6/18(火)	3	ピペットマン操作の基本 羊赤血球抗体による凝集反応と溶血反応 ロゼット形成, ELISA 法, など	感染・免疫学	教授	高村祥子	研 106
2024/6/18(火)	4		感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	
2024/6/18(火)	4		感染・免疫学	講師	乾 匡範	
2024/6/18(火)	5		感染・免疫学	講師	山崎達也	
2024/6/18(火)	5	感染・免疫学	助教	伴野 勸		
2024/6/19(水)	3	ピペットマン操作の基本 羊赤血球抗体による凝集反応と溶血反応 ロゼット形成, ELISA 法, など	感染・免疫学	教授	高村祥子	研 106
2024/6/19(水)	4		感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	
2024/6/19(水)	4		感染・免疫学	講師	乾 匡範	
2024/6/19(水)	5		感染・免疫学	講師	山崎達也	
2024/6/19(水)	5	感染・免疫学	助教	伴野 勸		
2024/6/20(木)	3	ピペットマン操作の基本 羊赤血球抗体による凝集反応と溶血反応 ロゼット形成, ELISA 法, など	感染・免疫学	教授	高村祥子	研 106
2024/6/20(木)	4		感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	
2024/6/20(木)	4		感染・免疫学	講師	乾 匡範	
2024/6/20(木)	5		感染・免疫学	講師	山崎達也	
2024/6/20(木)	5	感染・免疫学	助教	伴野 勸		

(2) 講義の方法

最初の実習内容について解説を行うので、学生はこれに沿って実験を行う。各自実験結果を実習ノートにまとめるとともにノートに含まれている課題もまとめ、提出する。また AIDLE-K 上にも課題を課することがある。

(3) 講義の内容

実際に各自で実験を行うことで基本的な実験手技を習得する。臨床にも応用されている実験方法を行うことで、免疫学的機序がどのように利用されているのか実験方法の意味を理解するとともに検査項目の臨床的意義や意味を理解する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
高村祥子	教授	感染・免疫学講座	2号館 研究棟366号室	毎週月～金曜日 16:00～19:00
高木秀和	准教授 (特任)	感染・免疫学講座	2号館 研究棟271号室	毎週月～金曜日 9:00～18:00
乾 匡範	講師	感染・免疫学講座	2号館 研究棟368号室	毎週月～金曜日 16:00～19:00
山崎達也	講師	感染・免疫学講座	2号館 研究棟368号室	毎週月～金曜日 9:00～17:00
伴野 勸	助教	感染・免疫学講座	2号館 研究棟368号室	毎週月～金曜日 16:00～19:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

寄 生 虫 学

【単位数：1.5単位，授業25コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

高村祥子 教授(感染・免疫学)

科目担当者

高木秀和 准教授(特任)(感染・免疫学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-c)

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”，“地域社会へ貢献”の理解ができるようになるため，寄生虫症の病因・病態・治療につながる基礎医学的な要素や，寄生虫疾患による国際社会の健康問題を把握，説明できるようになる。
- ② 寄生虫の感染経路や感染部位，それに伴う病因，病態が説明でき，診断，治療，予防の概念を学ぶことにより，寄生虫症に関する基礎医学的な要素を理解できるようになる。また，寄生虫疾患の流行地や発展途上国の寄生虫症の実態を学ぶことにより，国際社会の健康問題の背景や，国際医療の現状と問題を認識できるようになる。

(2) 学修目標

- ① 临床上重要な寄生虫，衛生動物の基本的性状，病原性とそれによって生じる病態を理解する。
- ② 原虫類・蠕虫類の分類及び形態学的特徴を説明できる。
- ③ 寄生虫の生活史，感染経路と感染疫学的意義を説明できる。
- ④ 寄生虫症の診断，治療と予防の概要を説明できる。
- ⑤ 各臓器・器官の主な寄生虫症を説明できる。
- ⑥ 寄生虫感染宿主の生体防御(免疫応答)の特徴を説明できる。
- ⑦ 発展途上国や流行地における寄生虫症の実態について背景を理解し，医療の現状と問題を認識する。
- ⑧ 寄生虫症を免疫学，組織学，解剖学，生理学などと関連付けて考察できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	85%	記述式問題，多肢選択問題を出題する。
態度	○	—	講義時の態度不良の場合は「問題行動学生報告書」(イエロー・レッドカード)を提出する。実習時の態度不良の場合は「問題行動学生報告書」の提出のほか，最大10%減点をする。
小テスト	○	9%	実習終了時にAIDLE-Kにて習熟度のテストを行う。
レポート	○	6%	実習終了後に実習レポートを提出する。提出期限については，実習の進捗状況に応じて決める。

定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。実習時に欠席の場合は補講を行う。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験で60点未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する。60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

必要な場合には講義や実習前に解説を行う。実習レポートは採点し返却する。定期試験の成績についての総括をAIDLE-Kに掲示する。これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに、定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
図説人体寄生虫病学 改訂10版	吉田幸雄 原著	南山堂	日本寄生虫学会による編集。情報量が豊富であり、免疫学・分子生物学、最新の治療に関する知見も充実している。
寄生虫学テキスト 第4版	上村 清, 木村英作, 金子 明, 丸山治彦, 所 正治, 大槻 均	文光堂	寄生虫や衛生動物に関し、簡便にまとめられている。2019年に改訂されている。
配付資料			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医動物学 第7版	吉田幸雄, 有菌直樹, 山田 稔	南山堂	「図説人体寄生虫病学」の姉妹編であり、簡明な教科書となっている。
Human Parasitology, Fifth Edition	Burton J. Bogitsh, Clint E. Carter, Thomas N. Oeltmann	Academic Press	英語版の教科書。内容のバランスも非常によく、分かりやすい。イラストや写真も豊富である。
標準医動物学 第2版	石井 明, 鎮西康雄, 太田伸生	医学書院	カラー写真も多く、寄生虫から衛生動物までカバーしている。ただし、長らく改訂されていないので内容が古い箇所もある。

6 準備学習（予習・復習）

予習：教科書あるいは参考図書の該当する箇所を読み、どのような事項が取り上げられているのか確認しておく（1コマあたり約1時間）。実習前は対象となる寄生虫について実習のレポートを作成するのに必要な事項を確認しておき、不明な点は調べておく（約1時間）。

復習：感染経路、寄生場所、病態（症状）を組織学・生理学・生化学・免疫学などと関連させて講義内容を再確認する（1コマあたり約1時間）。実習後に受験した小テストに関する確認や実習に不明だったことを自学自習しておく（1時間程度）。

寄生虫学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/10(火)	1	寄生虫学総論	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/9/10(火)	2	腸管寄生原虫(アメーバ赤痢ほか)	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/9/17(火)	1	腸管寄生原虫(ジアルジア症など)	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/9/17(火)	2	組織寄生原虫(トキソプラズマ症ほか)	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/9/24(火)	1	血液・組織寄生原虫(マラリアほか)	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/9/24(火)	2					
2024/10/1(火)	1	血液・組織寄生原虫(鞭毛虫類ほか)	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/10/1(火)	2	蠕虫総論, 条虫	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/10/8(火)	1	条虫, 吸虫	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/10/8(火)	2	吸虫	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/10/9(水)	3	消化器, 泌尿生殖器, 組織寄生原虫 症などに関する実習	感染・免疫学	教授	高村祥子	研 106
2024/10/9(水)	4		感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	
2024/10/9(水)	5		感染・免疫学	講師	乾 匡範	
			感染・免疫学	講師	山崎達也	
			感染・免疫学	助教	伴野 勸	
2024/10/15(火)	2	吸虫, 線虫	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/10/15(火)	3	線虫	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/10/16(水)	3	土壌伝播寄生虫症, 食品媒介寄生虫 症などに関する実習	感染・免疫学	教授	高村祥子	研 106
2024/10/16(水)	4		感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	
2024/10/16(水)	5		感染・免疫学	講師	乾 匡範	
			感染・免疫学	講師	山崎達也	
			感染・免疫学	助教	伴野 勸	
2024/10/22(火)	1	線虫・衛生動物	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/10/22(火)	2	衛生動物	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/10/29(火)	1	衛生動物	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/10/29(火)	2	寄生虫症診断, まとめ	感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	302 講
2024/10/30(水)	3	昆虫媒介寄生虫症, 衛生動物などに 関する実習	感染・免疫学	教授	高村祥子	研 106
2024/10/30(水)	4		感染・免疫学	准教授(特任)	高木秀和	
2024/10/30(水)	5		感染・免疫学	講師	乾 匡範	
			感染・免疫学	講師	山崎達也	
			感染・免疫学	助教	伴野 勸	
2024/12/13(金)	4	定期試験	感染・免疫学	教授	高村祥子	101 講

(2) 講義の方法

講義室における講義では基本的に知識伝達型の講義スタイルにて授業を進めるが、講義中に個人あるいは数人での質疑応答などを行う場合がある。実習においては事前に全体的な説明、課題についての説明を行う。その後、各自で与えられた実習の課題を行う。実習終了時には各自がレポートを作成・提出し、確認テストを受験する。

(3) 講義の内容

講義では教科書の内容について様々な資料、症例を掲示しながら解説していく。また、最近の研究成果から明らかになった寄生虫の分子生物学的な研究報告や話題となっているトピックなどを紹介する。実習では顕微鏡を用い、様々な寄生虫標本、病理標本をスケッチしながら自主学習し、寄生虫の生活史及びその病態・症状、寄生虫症診断に関する概念や知識を考察しながら自主的に学ぶ。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
高村祥子	教授	感染・免疫学	2号館研究棟 366号室	毎週月～金曜日 16:00～19:00
高木秀和	准教授(特任)	感染・免疫学	2号館研究棟 271号室	毎週月～金曜日 9:00～18:00
乾 匡範	講師	感染・免疫学	2号館研究棟 368号室	毎週月～金曜日 9:00～17:00
山崎達也	講師	感染・免疫学	2号館研究棟 368号室	毎週月～金曜日 9:00～17:00
伴野 勸	助教	感染・免疫学	2号館研究棟 368号室	毎週月～金曜日 9:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

地域社会医学実習

【単位数:0.5 単位, 授業 25 コマ】

1 科目責任者

鈴木孝太 教授(衛生学)

科目担当者

松永昌宏 准教授(衛生学)

梅村朋弘 講師(衛生学)

2 教育目標

(1) ねらい (I-3-c, II-5-c, IV-8-c, V-1-c)

- ① コンピテンス「地域社会への貢献」に基づき、地域社会における疾病予防、健康増進における医師の役割を身につける。
さらに、「プロフェッショナリズム」、「コミュニケーション」における、医師としての価値観・態度を身につけるとともに、個人だけではなく集団、社会との適切なコミュニケーションをとることを目標とする。さらに、実習内容に応じて、将来的に「診療技能」におけるプライマリ・ケア領域の救急対応ができるようになるための意識を高めることを目標とする。
- ② 障害者の介護、救急医療の現場、働く人々の実態を体験することにより、医師になる者としての自覚を高めるとともに、それぞれの場面におけるさまざまな人々の健康に関する悩みや苦しみを知り、社会における医師としての役割を理解する。

(2) 学修目標

各自の関心に応じて以下の実習から選択し参加する。

【介護・福祉施設(介護等体験)実習】

- ① 施設利用者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。
- ② コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
- ③ 施設利用者・家族の話を傾聴し、共感することができる。
- ④ 施設利用者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。
- ⑤ 施設利用者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。
- ⑥ 施設利用者や家族のプライバシーに配慮できる。
- ⑦ 施設利用者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。
- ⑧ チーム医療の意義を説明できる。
- ⑨ 医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。
- ⑩ 保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。
- ⑪ 障害者福祉・精神保健医療福祉の現状と制度を説明できる。
- ⑫ 多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを具体的に説明できる。

【地域救急医療(救急車同乗)実習】

- ① 地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。
- ② どの科の医師になっても求められる救急診療能力について説明できる。
- ③ チーム医療の一員として良好なコミュニケーションを実践できる。
- ④ 家族や地域といった視点を持ち、保健・医療・福祉・介護との連携を説明できる。
- ⑤ 救急隊員との連携を通じて、病院前救護体制とメディカルコントロールについて説明できる。
- ⑥ 地域の災害医療体制について説明できる。

【産業保健インターン実習】

- ① 健康(健康の定義), 障害と疾病の概念と社会環境(機能障害, 活動制限, 参加制約, 生活の質<QOL>, ノーマライゼーション, バリアフリー, ユニバーサルデザイン等)を説明できる。
- ② 人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。
- ③ 実習施設で働く人々の作業環境を, 産業保健の視点から説明し, 評価できる。
- ④ 実習施設で働く人々の作業について, 産業保健の視点から説明し, 評価できる。
- ⑤ 実習施設で働く人々の健康について, 産業保健の視点から説明し, 評価できる。
- ⑥ 上記を総合し, 働く人々の健康リスクについて説明し, 医学的に評価できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	20%	適宜実施するレポートと, 実習報告書により評価する。
態度	—	—	ガイダンス, 報告会を含む, 全出席を必須とする。
その他	○	80%	実習先の施設からの評価, 報告会の準備や報告内容。

出席: 実習を修得するためには, ガイダンス, 施設での実習, 報告会, 全てで欠席をしてはならない。
なお, 2024年度入学生から, 指定したNPO法人のボランティア活動により, 単位認定を行う予定である。詳細については, 2024年4月に実施するプロフェッショナルリズム1aの講義で説明する。

(2) 合格基準

求められた実習に全て参加することが必須であり, 上記の点数が100点満点のうち, 60点以上を合格とするが, 実習先施設からの評価が著しく低い場合には不合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

受講態度が著しく不良で, 態度評価が不可の場合は, 進級判定会議にて協議の上, 単位認定の可否を判断する。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

実習中, 問題が生じた場合には, メールなどで全員にその内容を伝える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療現場の行動経済学 すれ違う医者 と患者	大竹文雄 平井 啓	東洋経済新 報社	行動経済学の視点から, 医療者, 患者 の考え方を説明している良書。

6 準備学習(予習・復習)

- 実習先に事前に連絡し, 初日の集合時刻, 集合場所など, 実習に必要な情報を確認しておくこと。
- 実習先によっては, 事前の説明会を実施することもある。
- 7月に行われる外来案内実習でのコミュニケーションをもとに, 学外のさまざまな人々とのコミュニケーションについて, 同じ実習班のメンバーなどで事前にシミュレーションなどを行っておくこと。
- また, それぞれの実習先に関する予習(0.5時間), 実習に関して生じうるさまざまな問題点について, その可能性を考えるとともに, 対応方法についても個人, またグループ内で検討しておくこと(0.5時間)。
- それ以外の準備学習については, 説明会時に指示する。

地域社会医学実習

7 授業計画

(1) 開講日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/25(月)	1	ガイダンス・実習準備	衛生学 衛生学 衛生学	教授 准教授 講師	鈴木孝太 松永昌宏 梅村朋弘	302 講
2024/11/25(月)	2					
2024/11/25(月)	3					
2024/11/25(月)	4					
2024/11/25(月)	5					
2024/11/26(火)	1	実習施設ごとの実習				学外実習施設
2024/11/26(火)	2					
2024/11/26(火)	3					
2024/11/26(火)	4					
2024/11/26(火)	5					
2024/11/27(水)	1	実習施設ごとの実習				学外実習施設
2024/11/27(水)	2					
2024/11/27(水)	3					
2024/11/27(水)	4					
2024/11/27(水)	5					
2024/11/28(木)	1	実習施設ごとの実習				学外実習施設
2024/11/28(木)	2					
2024/11/28(木)	3					
2024/11/28(木)	4					
2024/11/28(木)	5					
2024/11/29(金)	1	実習のまとめ(グループワーク)	衛生学 衛生学 衛生学	教授 准教授 講師	鈴木孝太 松永昌宏 梅村朋弘	101 講
2024/11/29(金)	2					
2024/11/29(金)	3					
2024/11/29(金)	4					
2024/11/29(金)	5					

(2) 実習の方法

実習は、11月26日から11月28日までの3日間のうち、2日間実施する予定である。
基本的には、各施設の実習担当者の指示に従い実習を行う。

(3) 実習の内容

【介護・福祉施設(介護等体験)実習】

各施設で働く人々の業務の補助を行い、施設利用者を支援する。

【地域救急医療(救急車同乗)実習】

実習時間中の救急出動に同行し、救急隊の業務を見学する。

【産業保健インターン実習】

各実習施設で働く人々の業務の補助を行う。

なお、過去の実習施設は以下のとおりであるが、実習先の事情などにより変更の可能性がある。

【介護・福祉施設(介護等体験)実習】

社会福祉法人 昭徳会

駒方寮, 名古屋養育院, 名古屋若松寮, 小原学園, 小原寮, 泰山寮

瀬戸特別支援学校

青い鳥医療療育センター … 愛知県青い鳥医療療育センター

とよた光の里 光の家 … 社会福祉法人 とよた光の里障害者支援施設 光の家

愛厚はなのきの里 … 社会福祉法人 愛知県厚生事業団愛厚はなのきの里

明知会 夢の家 … 社会福祉法人 明知会 障がい者支援施設 夢の家

刈谷市つくし作業所 … 社会福祉法人 観寿々会 刈谷市つくし作業所

観寿々会 ペガサス … 社会福祉法人 観寿々会 障害者支援施設 ペガサス

観寿々会 ペガサス・II … 社会福祉法人 観寿々会 障害者支援施設 ペガサス・II

東名古屋病院 … 独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院

ティンクルなごや … 名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや

【地域救急医療(救急車同乗)実習】

尾三消防本部, 尾張旭消防本部, 瀬戸消防本部

【産業保健インターン実習】

長久手市役所

長久手市立保育園

長久手市児童館

長久手市社会福祉協議会

長久手市立南小学校

長久手市立東小学校

長久手温泉ござらっせ

長久手市中央図書館

長久手市文化の家

尾張旭市役所

堀場測量設計事務所

川本緑化(有)

鉢屋(居酒屋・焼肉)

とよ松(焼肉・串揚げ)

遠藤税理士事務所

富田豆腐

ラーメン「こころ家」

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
鈴木孝太	教授	衛生学講座	2号館 研究棟371号室	水曜日(不定期) (部署宛に要事前連絡) 17:30~18:30
松永昌宏	准教授	衛生学講座	2号館 研究棟312号室	月~金曜日 (要事前連絡) 10:00~17:00
梅村朋弘	講師	衛生学講座	2号館 研究棟370号室	月~金曜日 (要事前連絡) 10:00~18:00

※ 科目責任者への連絡は、衛生学講座の部署アドレスにメールすること。

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

チーム医療実習

【単位数：0.5単位，授業16コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

船木 淳 講師(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-11-c, I-12-c, I-13-c, I-14-c, I-15-c, II-1-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム:チーム医療」,「コミュニケーション」を理解するために,チーム医療にその一員として参加し,医師の役割や多職種の役割を体験する。
- ② 保健・医療・福祉・介護及び患者に関わる全ての人々の役割を理解し,相互の尊重のもとに適切な行動をとる。

(2) 学修目標

- ① 医療チームを構成する医師・看護師以外の職種を説明できる。
- ② 多職種の活動を通して,チーム医療における医師の果たす役割を説明できる。
- ③ 診療における多職種と医師の連携について考察し説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60%	実習レポート及びSEAは課題の意図にあった内容であること。体験に基づいた自己の課題を明確に書き表していること。
態度	○	30%	遅刻,身だしなみ,実習参加態度について,実習部署指導者による他者評価を実施する。
その他	○	10%	事後アンケート,レポートの約束事,提出期限を厳守すること。

出席: 実習を修得するためには,欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

実習を欠席した場合は,面接後,再実習又は追加レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
元気ホスピタル 最善の医療をめざして	愛知医科大学病院	バリューメディカル2018	本学の診療科，メディカルスタッフ部門を解説している。

6 準備学習（予習・復習）

1日目のガイダンスの際に，実習先の部門・部署について事前学習をするので，関連する資料を集めておく（1日あたり0.5時間）。

チーム医療実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/15(金)	1	ガイダンス	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC
2024/11/15(金)	2		医学教育C	講師	河合聖子	
2024/11/15(金)	3		シミュC	講師	船木 淳	
		薬理学		准教授	山口奈緒子	
2024/11/18(月)	1	病院各部署にて実習	各部署	—	実習担当者	各部署
2024/11/18(月)	2					
2024/11/18(月)	3					
2024/11/18(月)	4					
2024/11/18(月)	5					
2024/11/19(火)	1	病院各部署にて実習	各部署	—	実習担当者	各部署
2024/11/19(火)	2					
2024/11/19(火)	3					
2024/11/19(火)	4					
2024/11/19(火)	5					
2024/11/20(水)	1	病院各部署にて実習	各部署	—	実習担当者	各部署
2024/11/20(水)	2					
2024/11/20(水)	3					
2024/11/20(水)	4					
2024/11/20(水)	5					
2024/11/21(木)	1	病院各部署にて実習	各部署	—	実習担当者	各部署
2024/11/21(木)	2					
2024/11/21(木)	3					
2024/11/21(木)	4					
2024/11/21(木)	5					
2024/11/22(金)	1	まとめ・ポートフォリオ作成	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC
2024/11/22(金)	2		医学教育C	講師	河合聖子	
2024/11/22(金)	3		シミュC	講師	船木 淳	
			薬理学	准教授	山口奈緒子	

11月18日, 19日, 20日, 21日のうち2日間はチーム医療実習を, 残りの2日間はコミュニケーション演習2を行う。

(2) 講義の方法

病院内のメディカルスタッフ部門(パラメディカル部門)に配属され, 医療チームの一員としてチーム医療に参加し, 医師の役割や他職種の役割を体験する。

(3) 講義の内容

1日目に実習オリエンテーションを施行。2日目から4日目は割り当てられた部署にて実習を行い, チーム医療を体験する。最終日は実習の振り返りを行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館研究棟359室	毎週月曜日～金曜日 18:00～19:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

外 来 案 内 実 習

【単位数：0.5単位，授業25コマ】

1 科目責任者

鈴木孝太 教授(衛生学)

科目担当者

船木 淳 講師(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c, II-1-c)

- ① コンピテンス「コミュニケーション」における，個人だけではなく集団，社会との適切なコミュニケーションをとり，さらに医療チームがどのように病院で活動しているのか，その実際を学ぶことを目標とする。
さらに，上記に基づき，「プロフェッショナルリズム」における，医師としての価値観・態度を身につける。
- ② 初診，そして再診時に，診療がどのような流れで行われているのか，さらにどのような受診に関わる手続きが行われているのかを，医療者ではなく患者の視点から学ぶ。さらに，医師となったときに，患者の気持ちに寄り添えるよう，受診時の患者の思いを学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 来院患者に対して，受診時から会計まで適切に案内することができる。
- ② 患者の質問に対し，適切に回答することができる。
- ③ ハンディキャップを有する患者や高齢の患者に対して，適切な介助をすることができる。
- ④ 来院から診察及び会計までの過程を正しく理解することができる。
- ⑤ 礼儀正しい言葉遣いや接遇をすることができる。
- ⑥ 患者及び家族の心情に対して，寄り添うことができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	20%	適宜実施するレポートと，実習報告書により評価する。
その他	○	80%	患者からの評価，報告会の準備や報告内容などにより評価する。

出席：実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

評価対象項目の合計が60%未満の場合は，レポートなどを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

実習中，問題が生じた場合には，メールなどで全員にその内容を伝える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医療現場の行動経済学 すれ違う医者 と患者	大竹文雄, 平井 啓	東洋経済新 報社	行動経済学の視点から、医療者、患者 の考え方を説明している良書。

6 準備学習（予習・復習）

患者とのあいさつなどコミュニケーションについて、グループ内でシミュレーションし、練習しておくこと(0.5時間)。

患者案内に必要な車いす介助について、復習しておく(1時間)。

さらに、患者を案内する可能性のある院内各部署について、実際に病院内を歩いてみるなど、適宜予習しておくこと(0.5時間)。

また、実習で生じる問題点について、どのようなものがあり、どのように対応すべきか、あらかじめグループ内で考えておくこと(15分)。

外来案内実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/29(月)	1	ガイダンス 外来案内実習の目的	衛生学 シミュC	教授 講師	鈴木孝太 船木 淳	302 講
2024/7/29(月)	2	ガイダンス 外来受診の流れ	衛生学 シミュC 医事課	教授 講師 一	鈴木孝太 船木 淳 事務担当者	302 講
2024/7/29(月)	3	ガイダンス 実習の心得	衛生学 シミュC	教授 講師	鈴木孝太 船木 淳	302 講
2024/7/29(月)	4	ガイダンス グループ学習	衛生学 シミュC	教授 講師	鈴木孝太 船木 淳	302 講
2024/7/29(月)	5					
2024/7/30(火)	1	愛知医科大学病院で実習	衛生学 シミュC	教授 講師	鈴木孝太 船木 淳	
2024/7/30(火)	2					
2024/7/30(火)	3					
2024/7/30(火)	4					
2024/7/30(火)	5					
2024/7/31(水)	1	愛知医科大学病院で実習	衛生学 シミュC	教授 講師	鈴木孝太 船木 淳	
2024/7/31(水)	2					
2024/7/31(水)	3					
2024/7/31(水)	4					
2024/7/31(水)	5					
2024/8/1(木)	1	愛知医科大学病院で実習	衛生学 シミュC	教授 講師	鈴木孝太 船木 淳	
2024/8/1(木)	2					
2024/8/1(木)	3					
2024/8/1(木)	4					
2024/8/1(木)	5					
2024/8/2(金)	1	まとめ ポートフォリオ作成	衛生学 シミュC	教授 講師	鈴木孝太 船木 淳	302 講
2024/8/2(金)	2	まとめ グループ発表	衛生学 シミュC	教授 講師	鈴木孝太 船木 淳	302 講
2024/8/2(金)	3					
2024/8/2(金)	4					
2024/8/2(金)	5	まとめ ポートフォリオ作成	衛生学 シミュC	教授 講師	鈴木孝太 船木 淳	302 講

(2) 実習の方法

愛知医科大学病院の外来患者(初診,再診)に許可を取った後,受付から会計が終了するまで受診をエスコートする。

(3) 実習の内容

(以下は予定であり,病院の状況などにより変更の可能性がある。)

- 3日間のうち,初診患者を1日,再診患者を2日担当する。
- 初診については,8:00集合,9:00集合,10:00集合の3グループとし,それぞれについて初診受付窓口で患者にあいさつした後に,病院内をエスコートする。原則,初診患者1人を案内したら終了とする。
- 再診についても,8:00集合,9:00集合,10:00集合の3グループとし,原則として最低2人は案内を行う。ただし,1人目の患者さんの案内終了が11時以降の場合はこの限りではない。
- 3日間の実習で初診1人,再診4人を目標とするが,上記のように時間が足りない場合には,再診患者さんは4人未満でも構わない。ただし,実習時間については各自しっかりと記録しておくこと。
- 以下のような流れで実習を行う。
 - * 患者さんに,同行の承諾をいただく。
 - * 検査室には原則入室せず廊下で待つ。
 - * 診察室には患者さんの許可があれば入室する(入室前に担当医に確認,学生は席を外すように指示された場合は退室する)。
 - * 基本は,診察→会計→薬受け取り等すべてが終わり,外来の玄関又は2～3階の駐車場への入り口までお見送りして挨拶したら,終了とする。
 - * 会計又は薬の受け取りを待っている間に,アンケートの記入をお願いし,受け取る。
 - * 再診患者さんの場合,短時間で終了した場合は,さらに追加のエスコートをする可能性がある。
 - * エスコートが終了したら,その日のアンケートを教務課窓口にて17:00までに提出する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
鈴木孝太	教授	衛生学講座	2号館 研究棟371号室	水曜日(不定期) (部署宛に要事前連絡) 17:30～18:30
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上 対応可

※ 科目責任者への連絡は,衛生学講座の部署アドレスにメールすること。

※ 質問等については,講義終了後,又は,Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には,オフィスアワーを参考にすること。

コミュニケーション演習2

【単位数：1単位，授業14コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

船木 淳 講師(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-c, I-2-c, I-5-c, I-6-c, II-1-c, II-2-c, II-3-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナルリズム」,「コミュニケーション」の基礎を学び,チームとして良好な関係を構築できる。
- ② 初対面の患者と良好なコミュニケーションをとるためのスキルを身に付け,自身のコミュニケーションの傾向や課題を明確にする。
- ③ 安全な医療を提供するために必要なコミュニケーションについて考察する。

(2) 学修目標

- ① 模擬患者から,話を聴く演習を通じて,傾聴,会話のポイント,相手から情報を引き出す方法等を実践できる。
- ② 医師として患者・家族とコミュニケーションを図るために必要な要素を説明できる。
- ③ コミュニケーションに必要な基本的な技法について実践できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60%	レポートは課題の意図にあった内容であること。演習体験に基づいた自己の課題を明確に書き表していること。
態度	○	30%	身だしなみ,面接技法について,模擬患者による他者評価を実施する。
その他	○	10%	グループ学習の成果物の充実度を評価する。

出席：演習を修得するためには,欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

面談の上,課題・レポートを課す。

演習を欠席した場合は,補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

模擬患者とグループメンバーからのコメントなどを総合してフィードバックを行う(紙面でフィードバック)。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
チームが機能するとはどういうことか	エイミー・C・エドモンド(野津智子訳)	英治出版	チームコミュニケーションについて理解しやすい書籍である。
診療場面のコミュニケーション	ジョン・ヘリテッジ, ダグラス・メイナード(川島理恵他訳)	勁草書房	会話分析という研究分野からみた医療面接について述べられており, 問い方とその答えについて具体例が多いため, 「目的をもった会話」の重要性を考えるきっかけになる。

6 準備学習(予習・復習)

日常のコミュニケーションについて, 演習前後に振り返る機会を持つこと(1日あたり約0.5時間)。

1学年次早期体験実習1aで学習したコミュニケーションについて振り返ること(1日あたり1時間)。

コミュニケーション演習2

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/15(金)	4	ガイダンス	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC
2024/11/15(金)	5		医学教育C シミュC 薬理学	講師 講師 准教授	河合聖子 船木 淳 山口奈緒子	
2024/11/18(月)	1	グループ学習(午後の準備)	シミュC —	講師 非常勤講師	船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/11/18(月)	2					
2024/11/18(月)	3					
2024/11/18(月)	4	面接実習	医学教育C	教授	早稲田勝久	3階セ
2024/11/18(月)	5		医学教育C シミュC 薬理学 —	講師 講師 准教授 非常勤講師	河合聖子 船木 淳 山口奈緒子 川原千香子	
2024/11/19(火)	1	グループ学習(午後の準備)	シミュC —	講師 非常勤講師	船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/11/19(火)	2					
2024/11/19(火)	3					
2024/11/19(火)	4	面接実習	医学教育C	教授	早稲田勝久	3階セ
2024/11/19(火)	5		医学教育C シミュC 薬理学 —	講師 講師 准教授 非常勤講師	河合聖子 船木 淳 山口奈緒子 川原千香子	
2024/11/20(水)	1	グループ学習(午後の準備)	シミュC —	講師 非常勤講師	船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/11/20(水)	2					
2024/11/20(水)	3					
2024/11/20(水)	4	面接実習	医学教育C	教授	早稲田勝久	3階セ
2024/11/20(水)	5		医学教育C シミュC 薬理学 —	講師 講師 准教授 非常勤講師	河合聖子 船木 淳 山口奈緒子 川原千香子	
2024/11/21(木)	1	グループ学習(午後の準備)	シミュC —	講師 非常勤講師	船木 淳 川原千香子	シミュC
2024/11/21(木)	2					
2024/11/21(木)	3					
2024/11/21(木)	4	面接実習	医学教育C	教授	早稲田勝久	3階セ
2024/11/21(木)	5		医学教育C シミュC 薬理学 —	講師 講師 准教授 非常勤講師	河合聖子 船木 淳 山口奈緒子 川原千香子	
2024/11/22(金)	5					

コミュニケーション演習2

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/22(金)	4	まとめ	医学教育C	教授	早稲田勝久	302 講
2024/11/22(金)	5		医学教育C シミュC 薬理学 —	講師 講師 准教授 非常勤講師	河合聖子 船木 淳 山口奈緒子 川原千香子	

11月18日, 19日, 20日, 21日のうち2日間はコミュニケーション演習2を, 残りの2日間はチーム医療実習を行う。

(2) 講義の方法

演習を中心に双方向の講義を行う。

(3) 講義の内容

コミュニケーションの基本と医療人として求められるコミュニケーションの特徴について学習する。
模擬患者に対する「ライフストーリー」聴取, 及び症状のある患者への問診を体験する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館研究棟359室	毎週月曜日～金曜日 18:00～19:00
川原千香子	非常勤講師	昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については, 講義終了後, 又は, Email(学内メール: Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には, オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師, 客員教授, 名誉教授に Email で質問したい場合は, 科目責任者に連絡先を問合せること。

選 択 講 座 2

【単位数：1単位，授業13コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい

- ① 医学教育モデルコアカリキュラムに定められている指針にとらわれず、「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」，「医学知識と科学的探究心」，「診療技能」，「地域社会への貢献」について理解を深め，幅広い知識・技能・態度/姿勢を身につける。
- ② 医学教育モデルコアカリキュラムの選択科目を創出し，上級生が屋根瓦式に下級生を指導する体制を構築する。

(2) 学修目標

選択するコースにより学修目標は異なるが，医療従事者になるものとして，多様な知識・技能・態度/姿勢を修得できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は不可とする。
その他	○	—	1コース(3コマ)毎に評価する。評価方法はコース毎に異なる。

出席：全ての講義・演習に出席する必要がある。

(2) 合格基準

すべての評価対象において，不可がないこと(可否の2段階で判定)。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各授業で与えられる課題について，その場で口頭にてフィードバックする(選択コースによって差異あり)。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
コースにより異なる。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
コースにより異なる。			

6 準備学習(予習・復習)

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

7 授業計画

(1) 開催日時

別途掲示する日程表を参照すること。

(2) 講義の方法

選択するコース毎に授業の方法は異なる。

(3) 講義の内容

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

開講するコースについては、AIDLE-Kを参照すること。

検査医学（2年生）

【単位数：0.5単位，授業7コマ，予備3コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

中山享之 教授（輸血部）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-3-b）

- ① 臨床検査が臨床医学における診断・治療に検査手法を適用する科学であることを十分に認識し，理解する。適切な検査を選択し，結果を正しく解釈できる。
- ② 各種検査の方法，目的，適応，解釈を学ぶ。

（2）学修目標

- ① 臨床検査の基準値・カットオフ値の意味が説明できる。
- ② 検査の特性（感度，特異度，偽陽性，偽陰性，ROC曲線，尤度比，検査後確率）を説明できる。
- ③ 検査の誤差や生理的変動を説明できる。各種の検査値への影響（溶血や全血放置など）を説明できる。
- ④ 検体の採取・保存について説明できる。検査の精度管理について説明できる。
- ⑤ 以下の各種検査の目的・適応と異常所見を説明し，結果を解釈できる。
一般検査（糞便検査，尿検査，髄液検査），血液生化学検査（酵素，蛋白，含窒素成分，血糖，脂質，電解質など），末梢血液検査，凝固・線溶検査，血清・免疫学的検査，動脈血ガス分析（酸塩基平衡），微生物検査，細胞診

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題を基本とする。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は，10点を限度に減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

定期試験で60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格）。

（4）課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準臨床検査医学	高木 康, 山田俊幸 編	医学書院	検査学を理解するための基本的内容が網羅されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
異常値の出るメカニズム	河合 忠他 編	医学書院	異常値の出るメカニズムが分かりやすく解説されている。

6 準備学習（予習・復習）

指定教科書を予め読んでおくこと（検査総論，生理検査，血液・生化学検査，一般検査，病理検査，遺伝子検査の頁を3時間程度必要）。

検査医学

7 授業計画

（1） 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/14(火)	1	臨床検査総論，一般検査	輸血	教授	中山享之	302講
2025/1/14(火)	2	輸血検査	—	客員教授	加藤栄史	302講
2025/1/14(火)	3	内分泌検査	内内	教授(特任)	高木潤子	302講
2025/1/14(火)	4	生理検査	—	非常勤講師	竹下享典	302講
2025/1/14(火)	5	細胞診	病理診断	教授	都築豊徳	302講
2025/1/15(水)	1	予備				
2025/1/15(水)	2	血液・生化学検査	中検	講師	小川実加	302講
2025/1/15(水)	3	遺伝子・染色体検査，フローサイトメトリー	輸血	教授	中山享之	302講
2025/1/15(水)	4	予備				
2025/1/15(水)	5	予備				
2025/1/16(木)	1	自習				
2025/1/16(木)	2	自習				
2025/1/16(木)	3	自習				
2025/1/16(木)	4	自習				
2025/1/16(木)	5	定期試験	輸血	教授	中山享之	101講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

（2） 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

各講義タイトルに準じ、必須内容をレクチャーする。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
中山享之	教授	輸血部	大学病院中央棟2階 中央臨床検査部	毎週月・水・金曜日 16:00～18:00
小川実加	講師	中央臨床検査部	大学病院中央棟2階 中央臨床検査部	毎週月・水・金曜日 16:00～18:00
高木潤子	教授(特任)	内科学講座 内分泌・代謝内科	D棟2階内分泌・代 謝内科医局	毎週月～金曜日 15:00～16:00
都築豊徳	教授	病理診断学講座	大学病院中央棟4階 病理診断科	毎週木・金曜日 17:00～18:30
竹下享典	非常勤講師	埼玉医科大学総合医 療センター 中央臨床 検査部 教授	—	講義終了後 講義室にて
加藤栄史	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

放射線医学（2年生）

【単位数：1単位，授業18コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

鈴木耕次郎 教授（放射線医学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-5-b, Ⅳ-4-b）

- ① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため，放射線医学の知識と技能を学び，そのことによって適切な検査を選択して疾患の鑑別と治療を進めることができる。
- ② 画像診断，IVR，放射線治療の基本を理解する。

（2）学修目標

- ① 主な画像診断法の原理と特徴を説明できる。
- ② 単純撮影，CT，MRI，血管造影，核医学検査画像における正常解剖を説明できる。
- ③ 代表的疾患に関して，実際の画像から異常所見を指摘し鑑別診断をあげることができる。
- ④ 癌治療における放射線治療の役割と有効性を説明できる。
- ⑤ IVRの適応と有効性を説明できる。
- ⑥ 放射線の被ばくによる影響とその防護法について説明できる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題を原則とする。一部記述式問題を含む場合がある。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，10点を上限として減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

（4）課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績の総括をAIDLE-Kに掲載する。

これにより理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験が不合格となった者には再試験に備えること。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準放射線医学第7版	西谷 弘, 他 編集	医学書院	画像診断, IVR, 放射線治療の基本的 内容が網羅されている。
画像診断パワフルガイド	山下康行	メディカル・ サイエンス・ インターナシ ヨナル	画像所見の診断ポイントがまとまってい る。
画像解剖コンパクトナビ	百島祐貴	医学教育出 版社	CT, MRI, USで健常体の構造が示され ており, 正常画像の理解に役立つ。
核医学ノート第6版	久保敦司	金原出版	各種RIを用いた検査, 治療がまとまっ ている。
放射線治療学改訂6版	井上俊彦	南山堂	最新治療を含め, 放射線治療を体系的 に理解できる。

6 準備学習（予習・復習）

- 参考図書を参考に, 画像診断, 放射線治療, IVRでどのような事項が取り上げられているのか参考にしておく
(各事項につき1時間)。
- 参考図書等を用いて, CT, MRIでの人体の正常解剖を予習して理解しておく(2時間)。
- 配付される講義資料は講義後に内容を再確認して復習する(1日あたり約2時間)。

放射線医学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/6(月)	1	画像診断の基本・CT	放射線	教授	鈴木耕次郎	302 講
2025/1/6(月)	2	画像検査: MRI	放射線	教授(特任)	川井 恒	302 講
2025/1/6(月)	3	【JS 垂直】人体解剖と画像解剖	解剖学 放射線	教授 教授	内藤宗和 鈴木耕次郎	302 講
2025/1/6(月)	4	医療被ばく	—	非常勤講師	大野和子	302 講
2025/1/6(月)	5	超音波検査	—	客員教授	伊吹恵里	302 講
2025/1/7(火)	1	画像診断(1): 中枢神経系 1	放射線	講師	池田秀次	302 講
2025/1/7(火)	2	画像診断(2): 中枢神経系 2・頭頸部	放射線	教授(特任)	川井 恒	302 講
2025/1/7(火)	3	画像診断(3): 胸部	放射線	助教	松永 望	302 講
2025/1/7(火)	4	画像診断(4): 腹部(肝胆膵)	放射線	助教	成田晶子	302 講
2025/1/7(火)	5	画像診断(5): 消化管・救急疾患	放射線	教授(特任)	下平政史	302 講
2025/1/8(水)	1	IVR(画像下治療) 1	放射線	教授	鈴木耕次郎	302 講
2025/1/8(水)	2	IVR(画像下治療) 2	放射線	教授	鈴木耕次郎	302 講
2025/1/8(水)	3	画像検査: 核医学/PET	放射線	講師	木村純子	302 講
2025/1/8(水)	4	画像診断(6): 泌尿器・婦人科疾患	放射線	助教	山本貴浩	302 講
2025/1/8(水)	5	予備				
2025/1/9(木)	1	放射線治療(1): 原理と適応	放射線	准教授(特任)	大島幸彦	302 講
2025/1/9(木)	2	放射線治療(2): 高度放射線治療	放射線	准教授(特任)	大島幸彦	302 講
2025/1/9(木)	3	放射線治療(3): 肺癌・食道癌	放射線	講師	伊藤 誠	302 講
2025/1/9(木)	4	放射線治療(4): 婦人科・泌尿器科疾患	放射線	助教	足達 崇	302 講
2025/1/9(木)	5	予備				
2025/1/10(金)	1	自習				
2025/1/10(金)	2	自習				
2025/1/10(金)	3	自習				
2025/1/10(金)	4	自習				
2025/1/10(金)	5	定期試験	放射線	教授	鈴木耕次郎	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型講義であるが、一部講義中に講師との質疑応答を導入する。

(3) 講義の内容

放射線医学は、大きく画像診断、放射線治療、IVRの3分野に分けられる。臨床で遭遇する頻度の高い疾患を中心に、領域毎にコンパクトにまとめた全体講義を行う。1コマ目に画像診断の総論を、2コマ目以降は、各検査の詳細、領域／臓器毎の疾患鑑別に関して具体的な画像を提示し、最適な画像検査法の選択、診断に至るプロセスとポイント、注意点などを身につける。放射線治療では、癌治療において大きな役割を果たしている放射線治療の治療方法、適応疾患、治療成績などを、IVRでは、低侵襲治療としてのIVRの役割、適応疾患、治療効果の理解を深める。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
鈴木耕次郎	教授	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週月・金曜日 15:00～17:00
川井 恒	教授(特任)	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週月・水曜日 15:00～17:00
下平政史	教授(特任)	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週水・金曜日 15:00～17:00
大島幸彦	准教授(特任)	放射線医学講座	大学病院中央棟地下1階 放射線治療センター	毎週火・水曜日 15:00～17:00
木村純子	講師	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週水曜日・木曜日 15:00～17:00
池田秀次	講師	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週月・水曜日 15:00～17:00
伊藤 誠	講師	放射線医学講座	大学病院中央棟地下1階 放射線治療センター	毎週月・金曜日 15:00～17:00
山本貴浩	助教	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週火・水曜日 15:00～17:00
松永 望	助教	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週火・金曜日 15:00～17:00
成田晶子	助教	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週月・木曜日 15:00～17:00
足達 崇	助教	放射線医学講座	大学病院中央棟地下1階 放射線治療センター	毎週火・水曜日 15:00～17:00
内藤宗和	教授	解剖学講座	2号館 研究棟254号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
伊吹恵理	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
大野和子	非常勤講師	京都医療科学大学 教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べる)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

3 学 年 次 履 修 科 目

プロフェッショナリズム3

【単位数:0.5単位, 授業7コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

宮田靖志 教授(特任)(地域総合診療医学寄附講座)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-b, I-2-b, I-3-b, I-4-b, I-5-b, I-6-b, I-7-b, I-8-b, I-11-b, I-12-b, I-13-b, I-14-b, I-15-b)

- ① コアコンピテンスの“プロフェッショナリズム(医師としての価値観・態度・姿勢, 生涯学習・自己啓発・自己管理, チーム医療・医療安全)”の理解を深め, 医学生としての日常の学習, 生活において3学年次に応じたプロフェッショナリズムを実践できるようになる。
- ② プロフェッショナリズムとは, 医療者, 医学生として身に付けておくべき最低限の能力と, 医療者, 医学生として常に高みを目指す姿勢を保つ向上心的目標の2つがある。その両方の基本的概念を理解し, それらを日々の学生生活で実践することは具体的にどのようなことかを自身で考え, 実践できるようになる。
- ③ 臨床実践には様々な倫理的課題が存在するが, それについて自身が深く考え, 同僚と意見交換し, 患者・医療者にとって最善の医療実践をすることが重要である。しかし, 実際にはこのことは非常に難しい課題であり, ときに倫理的課題は不適切に処理されることさえある。倫理的課題に気づき, 課題解消のための思考を深め, 自身の考えを他者と意見交換し, チームとしての課題解消につなげることができるようになることは, プロフェッショナリズム溢れる医療者として必須のものである。このための様々な技能の基礎を理解する。
- ④ 患者とは何か, 病気とは何かを包括的な視点から理解し, 医療を一人の人間とその家族及び周囲の状況からなる物語としてとらえることができこそ全人的な医療実践が可能となる。このことの基礎を修得する。

(2) 学修目標

- ① 臨床倫理的課題に気づくことができる。
- ② 臨床倫理の4原則について理解できる。
- ③ 臨床の倫理的課題を挙げることができる。
- ④ 臨床の倫理的課題解消のための思考プロセスを明確に辿ることができる。
- ⑤ 臨床の倫理的課題解消のための思考を同僚と意見交換し, 他者の考えにも深く考えを巡らせることができる。
- ⑥ 臨床の倫理的課題について一定の決断を, チームとして行うことができる。
- ⑦ 医療における物語の概念を理解することができる。
- ⑧ 医療コミュニケーションの基本的な原則を理解できる。
- ⑨ 良好な医師患者関係を構築するためのコミュニケーションの初歩的な技法を実践できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式及び多肢選択問題
レポート	○	30%	授業中に課される3つの課題。1課題に10%を充てる。
態度	○	—	著しい態度不良と判断された場合は, 進級判定会議に報告する。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験で合格基準に達しないものは、再試験を実施する。定期試験に準ずる再試験を実施する。60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポート（ワークシート）の内容については、授業中に発表し、教員からのコメントを受け、自身の考えを深められるようにする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ABC of 医療プロフェッショナリズム	Coope, N著 宮田靖志監訳	羊土社	プロフェッショナリズムの概念から現代の医療現場での課題まで、広くかつ簡潔に解説されている。
日常診療の中で学ぶプロフェッショナリズム	Levinson, L著 宮田靖志監訳	カイ書林	日常臨床でよく遭遇する具体的プロフェッショナリズム事項について、その対応が書かれている実践的な内容である。
白衣のポケットの中 医師のプロフェッショナリズムを考える8	宮崎 仁, 尾藤誠司, 大生定義編	医学書院	プロフェッショナリズムの概念, 具体的事例について分かりやすく記載されている。
臨床倫理入門	日本臨床倫理学会監修 其岡真子著	ヘルス出版	臨床倫理の基本的な概念が分かりやすく解説されている。
医療の倫理ジレンマ	バーナード・ロウ	西村書店	臨床における様々な具体的倫理事項を取り上げ, その解消のための考え方を詳細に説明している。
文献 Narrative-Based Medicine (物語に基づく医療), Narrative Medicine (ナラティブ・メディシン) In 新・総合診療医学 家庭医療学編 第2版 P107-118	宮田靖志	カイ書林	医療における物語についての基本的な考え方を詳細に解説している。
新しいチーム医療	田村由美	看護の科学	多職種連携の基本的な知識が得られる簡潔な記載である。
信念対立解明アプローチ入門—チーム医療・多職種連携の可能性をひらく	京極 真	中央法規出版	職種間の対立を解消するためのノウハウが得られる。
はじめての医療面接	齊藤清二	医学書院	コミュニケーションの基本的技法が分かりやすく解説されている。
医療面接技法とコミュニケーションの取り方	福島 統	Medical View	様々な状況におけるコミュニケーション技法のエッセンスが記載されている。

6 準備学習（予習・復習）

- これまでに見たり、聞いたり、体験したりした医療において、倫理的課題が潜んでいると考えられる事例を授業で提示できるよう、いくつかピックアップしておく（1日あたり0.5時間）。〈10月18日授業のため〉
- 医療における物語が理解できるための題材となる、自身や家族、友人などの病気に関してどのようなストーリーが展開していたかを考えておく（1日あたり0.5時間）。〈12月2日授業のため〉

プロフェッショナリズム3

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/18(金)	1	医療現場のコミュニケーション技法	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	202 講
2024/10/18(金)	2					
2024/12/2(月)	3	ナラティブ・メディスン(医療における物語)	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	202 講
2024/12/2(月)	4					
2024/12/2(月)	5					
2024/12/3(火)	1	臨床倫理	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	202 講
2024/12/3(火)	2					
2024/12/19(木)	6	定期試験	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	101 講

（2）講義の方法

講義・個人ワーク・グループ討論・全体討論を組み合わせ、様々な考え方を皆が共有・議論できるようにする。

（3）講義の内容

医療コミュニケーション、臨床倫理、医療における物語の基本的概念。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	2号館 研究棟355号室	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

多職種連携演習 3

【単位数：1.5単位，授業25コマ（内5コマ）】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授（医学教育センター）

科目担当者

船木 淳 講師（シミュレーションセンター）

2 教育目標

（1）ねらい（I-1-c）

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」について学ぶ。
- ② 医師として社会の多様なニーズに対応できるように，また医師の役割を様々な角度から考察できるようになるために，「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’，‘医学知識と問題対応能力’，‘コミュニケーション能力’，‘チーム医療の実践’，‘医療の質と安全の管理’，‘社会における医療の実践’，‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて考える機会を持ち，様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

（2）学修目標

全体目標

- ① 他学部学生との協働を体験し，自己のコミュニケーションの課題を見出すことができる。
- ② 医療チームにおける多職種のコミュニケーションの重要性を説明できる。

1学年次

- ・ 医師として必要な多様な価値観を持つことができる。良いチームとは何か，自己と他者の理解に対する姿勢，コミュニケーションの重要性を述べることができる。

2学年次

- ・ 医療は多職種協働であることを理解し，医療チームを構成する上での課題を抽出出来る。

3学年次

- ・ 患者・家族の視点に立ち，チームとして課題解決に取り組むことの重要性を説明できる。

4学年次

- ・ 臨床場面において，患者・家族中心の多職種協働を実践できる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	90%	提出期限の厳守，指示に則って記載できていない場合は再提出を求められることがある。
態度	○	10%	演習に対する参加度を評価する。

出席：演習の単位を修得するためには，欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

ただし、本科目は1学年次から4学年次に開講される多職種連携演習1～4全ての評価をもとに「多職種連携演習」として4学年次に単位認定をする(各学年での単位認定は行わないが、各学年で合格基準を満たすこと)。

3学年次では、5コマ開講する。

(3) 再試験・再評価の方法

再評価は教員と面接の上、課題を課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポートに記載された内容について、理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
他者と働く	宇田川元一	News Picks Publishing	「知識として正しいことと、実践の間には大きな隔りがある」として分かりあえなさを基盤に他者とのかかわりの大切さを考察できる。
異文化コミュニケーションワークブック	矢代京子 荒木晶子 他	三修社	自分自身の「異文化」に対する価値観を多様なセルフチェックで知ることができ、価値観を考えるきっかけとなる。
最強組織の法則—新時代のチームワークとは何か	ピーター・M・センゲ 守部信之 訳	徳間書店	素晴らしいチームとはどのような要素で成り立っているのか、また、様々なタイプのリーダーについて考察することができる。

6 準備学習(予習・復習)

他学部との合同セッションになるため、身だしなみ、言葉遣いなど、参加するための準備をしておく(0.5時間)。

多職種連携演習 3

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/21(金)	1	他学部と合同演習	医学教育C 糖内	教授	早稲田勝久	シミュC
			薬理学	教授	神谷英紀	
			医学教育C 糖内	准教授	山口奈緒子	
			医学教育C 糖内	講師	河合聖子	
			医学教育C 地域(寄)	講師	森下啓明	
			シミュC	特命教育教授	伴 信太郎	
			看護学部	教授(特任)	宮田靖志	
			看護学部	講師	船木 淳	
			看護学部	教授	山中 真	
2024/6/21(金)	2		看護学部	教授	谷口千枝	
			看護学部	准教授	篠田かおる	
			看護学部	准教授	山本恵美子	
			看護学部	准教授	青山恵美	
			看護学部	准教授	黒澤昌洋	
			看護学部	講師	上坂真弓	
2024/6/21(金)	3		—	客員教授	築山郁人	
			—	非常勤講師	川原千香子	
			—	非常勤講師	立花詠子	
			—	非常勤講師	宇野千春	
2024/6/21(金)	4	演習課題	医学教育C 糖内	教授	早稲田勝久	シミュC
			薬理学	教授	神谷英紀	
			医学教育C 糖内	准教授	山口奈緒子	
			医学教育C 糖内	講師	河合聖子	
			医学教育C 地域(寄)	講師	森下啓明	
2024/6/21(金)	5		シミュC	特命教育教授	伴 信太郎	
			—	教授(特任)	宮田靖志	
			—	講師	船木 淳	
			—	非常勤講師	川原千香子	

(2) 講義の方法

小グループによる討論・発表や講師との質疑応答を行う。

(3) 講義の内容

看護学部学生・薬学部生と合同でグループワーク, 発表を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
伴 信太郎	特命教育教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館研究棟359室	毎週月曜日～金曜日 18:00～19:00
神谷英紀	教授	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階教授室	毎週火曜日 9:00～12:00 毎週木・金曜日 14:00～17:00
森下啓明	講師	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週火・金曜日 14:00～17:00
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	2号館 研究棟 355 号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00
山中 真	教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
谷口千枝	教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
青山恵美	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
篠田かおる	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
山本恵美子	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
黒澤昌洋	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
上坂真弓	講師	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
築山郁人	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
川原千香子	非常勤講師	昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授	—	講義終了後 講義室にて
立花詠子	非常勤講師	名古屋学芸大学 管理栄養学部 准教授	—	講義終了後 講義室にて
宇野千春	非常勤講師	名古屋学芸大学 管理栄養学部 講師	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

医学英語 3

【単位数：1単位，授業13コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授(外国語)

科目担当者

小川恭佑 助教(外国語)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-4-b, Ⅲ-10-b)

- ① 前半では、コンピテンスの“疾患の概略について説明でき、鑑別を要する疾患を列挙し、病態や診断基準等と照らし合わせて考察できる”ことを、英語でも実践できるよう学習を進める。
後半では、コアコンピテンスの“医学、医療における客観的根拠を適切に探索し、EBMを実践できる(医学知識と科学的探究心)”に必要な基礎的な概念の習得のために、英文で書かれた医学論文を読む。
- ② 生涯にわたって自律的に学び続け、また自ら発信することができるようになるための基礎となる語学力を身に着けることと、患者の社会的背景(経済的・制度的側面等)が病いに及ぼす影響への理解を深めることがねらいである。

(2) 学修目標

- ① 身体の構造や機能、疾患・症状に関する基礎的な語の意味を理解し、綴り・発音が実践できる。
- ② 医療面接で使用される定型的な表現や実践的な対話表現が理解できる。
- ③ ケーススタディや研究論文で登場する疾患・症候について自ら調べることができる。
- ④ 調べものをするとき使用すべき信頼性の高いソースを見分けることができる。
- ⑤ 根拠に基づいた医療(EBM)の概念のうち、特に5つのステップと background question/foreground questionの違いが概説できる。
- ⑥ 臨床研究論文の一般的な構成が概説できる。
- ⑦ 臨床研究論文の PICO と、用いられている研究デザインを識別することができる。
- ⑧ 臨床研究論文に頻出する英語表現を認識することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	45%	課題論文に関する試験を行う。 記述式を原則とし、一部多肢選択問題が含まれる場合がある。
演習(語彙小テスト)	○	15%	主にe-ラーニングアプリ(ALC NetAcademy Next)から語彙小テスト 3回(各5%、自己採点式、初回テストは追加リストあり)
ケーススタディ演習	○	20%	15% 英語教員の解説回にかかる演習 5% その他の教員の解説回にかかる演習 いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。
論文読解演習	○	20%	10% 英語教員の解説回にかかる演習 10% その他の教員の解説回にかかる演習 いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内でのみ課題が出されるのではなく前後の回に実施される課題も含まれるので注意すること。
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験と、追加課題を課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験についての総括を、AIDLE-Kを通じて行う。その中で、再確認が必要な項目を指摘する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Dr.押味のあなたの医学英語なんとかします!	押味貴之	メジカルビュー社	プレゼンテーションと病歴聴取のコツが具体的に書かれており、授業で扱っている内容を効果的に復習することができる。
The Complete Subjective Health Assessment https://ecampusontario.pressbooks.pub/healthassessment/	Jennifer Lapum et al.	licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0	主観的健康観と文化的背景を平易な英語で患者に尋ねる技法が記載された open textbook である。
臨床のためのEBM入門 決定版 JAMAユーザーズガイド	古川壽亮 山崎 力 (監訳)	医学書院	EBMに関する定番書籍。体系的網羅的に、丁寧に解説されている。
臨床研究のABC	名郷直樹	メディカルサイエンス社	日本のEBM教育の第一人者の著者が、例を交えて解説しており分かりやすい。
EBM・臨床疫学キーワード150	福井次矢	医学書院	EBMを理解する上で重要なキーワードごとに端的な説明がなされ使いやすい。
いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ1~3	浅井 隆	アトムス	統計が苦手な人向けに読みやすく書かれている。

6 準備学習(予習・復習)

【それぞれの演習の予習と復習の方法】

<演習(語彙小テスト)>

小テストの準備のために、e-ラーニングアプリ(ALC NetAcademy Next)での学習を日々進めること(1日あたり10分)。

<ケーススタディ演習>

授業内で登場した英語表現を復習すること、症状や疾患については各自で参考資料や UpToDate のサイトなどを調べて確認すること(1コマあたり約 0.5 時間)。

<論文読解演習>

授業で扱うことになった論文は、わからない箇所には囚われすぎずに一通り目を通すこと。要所をつかむために必要とされる箇所は何度も精読すること。AI 翻訳に頼り切るのではなく、自ら構文などを読み解くよう心掛け、英語力の向上を意識して取り組むこと。また、論文の内容を理解するための背景知識の不足を補うために、扱われる疾患に関する基礎知識や標準治療について各自で調べること(予習・復習合わせて1コマあたり約2時間)。

医用英単語の「からくり」は講義からある程度学ぶことができます。一方、英語を使いこなすには自立・自律学習が求められます。キャリアを通して一生使うものですので、毎回コツコツと身に着けていきましょう。その意味では授業はペースメーカーの役割でしかなく、小テストの正答率などをその目的地としてはいけません。また、上記の勉強時間はあくまで目安です。時間を費やすことを主とするのではなく、自分に必要な勉強時間数を確保してください。

【授業を受ける際の注意】

授業には、ノートパソコンかタブレットを持参のこと。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。

小テスト演習は中間試験および学期末試験の準備も含まれていますのでわからない箇所はその都度丁寧に解消していきましょう。

【欠席した場合の注意】

- ① 教務課だけではなく、科目責任者とその回の担当者に連絡を入れること。
- ② AIDLE-K 上の資料や、友人に確認するなどして、学習が途切れないよう心掛けてください。
- ③ 欠席した日の小テスト演習は別途受験することができますので希望する場合は申告してください。
(点数は事由により多少の減点をする場合があります。)

医学英語 3

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/10(水)	1	ガイダンス 【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/4/17(水)	1	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/4/24(水)	1	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(3)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/5/1(水)	1	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(4)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/5/8(水)	1	Case Study: 臨床医解説回 【JS 垂直】神経科学	精神 外国語 外国語	教授 准教授 助教	宮田 淳 平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/5/15(水)	1	論文講読: 論文・英語表現(1) 演習(NetAcademy 語彙小テストと追加リスト) 1回目	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/5/22(水)	1	論文講読: 論文の講読とは 【JS 垂直】EBM 実習	公衆衛生学 外国語 外国語	教授 准教授 助教	菱田朝陽 平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/5/29(水)	1	論文講読: 論文・英語表現(2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/6/5(水)	1	論文講読: 論文・英語表現(3) 演習(NetAcademy 語彙小テスト) 2回目	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/6/12(水)	1	論文講読: 統計解説回	— 外国語 外国語	客員教授 准教授 助教	室谷健太 平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/6/19(水)	1	論文講読: 臨床医解説回 【JS 垂直】呼吸器学	呼外 外国語 外国語	教授 准教授 助教	福井高幸 平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/6/26(水)	1	論文講読: 論文・英語表現(4) 演習(NetAcademy 語彙小テスト) 3回目	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/7/3(水)	1	総括	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	202 講
2024/7/19(金)	4	定期試験	外国語	准教授	平田亜紀	101 講

(2) 講義の方法

大教室での知識伝達型講義と、問題解決型の演習の併用。

(3) 講義の内容

Case Study 演習では、英語で行われる医療面接をシーンごとに区切り英語表現を学習したうえで、扱われる症例の専門家による解説講義が行われる。なお専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため、学生は能動的に参加することが求められる。

論文講読演習では、根拠に基づいた医療の基本概念、臨床研究論文の基本的な構成要素の学習と、英語で書かれた医学系の論文で頻出する英語表現の学習を主とする。その上で、扱われる症例の専門家による解説講義が行われる。なお複数用意されている専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため、学生は能動的に参加することが求められる。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
平田亜紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階B201研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
小川恭佑	助教	外国語	3号館基礎科学棟 B210研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
菱田朝陽	教授	公衆衛生学講座	2号館 研究棟372号室	毎週月, 火曜日 (部署宛に要事前連絡) 14:00～16:00
宮田 淳	教授	精神科学	C棟7階 教授室	火曜 14:00～17:00 木曜 14:00～17:00 金曜終日
福井高幸	教授	呼吸器外科	C棟7階 教授室	毎週火曜日 15:00～17:00
室谷健太	非常勤講師	久留米大学 バイオ統 計センター教授 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

基礎医学セミナー(3年生)

【単位数:3.5単位, 授業50コマ】

1 科目責任者

細川好孝 教授(生化学)

科目担当者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-7-c, I-8-c, I-15-c, III-1-c, III-3-c, III-10-c)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム:生涯学習」,「医学知識と科学的探究心」を学ぶために,様々な分野から特定の課題を選択し,その課題について調査・研究を行う。
- ② 医学の進歩は日進月歩であり,その膨大な情報から取捨選択しながら学ぶ必要があり,自ら考え,学び続ける一歩として本セミナーに取り組む。

(2) 学修目標

- ① 課題から新たな問題点を抽出できる。
- ② 課題に沿った調査・研究計画の立案ができる。
- ③ 課題に積極的に取り組むことができる。
- ④ 調査・研究内容を適切にまとめ,分かりやすく発表することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
セミナーへの取り組み	○	50%	セミナーへの取り組む姿勢,積極性などを評価する。
発表	○	25%	発表会における発表内容・発表方法及びその工夫を評価する。
レポート	○	25%	まとめられたセミナー内容の報告書を評価する。

出席: 基礎医学セミナーの実習を修得するためには,欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

不合格の場合は,面談の上,課題レポートを課し再評価する。課題レポートを採点して60点以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

選択コースごとに与えられる課題について,口頭にて解説する(選択コースによって若干の差異がありえる)。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
各セミナーで指定される。			

6 準備学習（予習・復習）

課題テーマに関連する事項を事前に学習する（約0.5時間）。

基礎医学セミナー

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/22(月)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2024/7/22(月)	2					
2024/7/22(月)	3					
2024/7/22(月)	4					
2024/7/22(月)	5					
2024/7/23(火)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2024/7/23(火)	2					
2024/7/23(火)	3					
2024/7/23(火)	4					
2024/7/23(火)	5					
2024/7/24(水)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2024/7/24(水)	2					
2024/7/24(水)	3					
2024/7/24(水)	4					
2024/7/24(水)	5					
2024/7/25(木)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2024/7/25(木)	2					
2024/7/25(木)	3					
2024/7/25(木)	4					
2024/7/25(木)	5					
2024/7/26(金)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2024/7/26(金)	2					
2024/7/26(金)	3					
2024/7/26(金)	4					
2024/7/26(金)	5					
2024/8/26(月)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2024/8/26(月)	2					
2024/8/26(月)	3					
2024/8/26(月)	4					
2024/8/26(月)	5					
2024/8/27(火)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2024/8/27(火)	2					
2024/8/27(火)	3					
2024/8/27(火)	4					
2024/8/27(火)	5					

基礎医学セミナー

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/8/28(水)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2024/8/28(水)	2					
2024/8/28(水)	3					
2024/8/28(水)	4					
2024/8/28(水)	5					
2024/8/29(木)	1	各講座・部門にて実習			実習担当者	各講座
2024/8/29(木)	2					
2024/8/29(木)	3					
2024/8/29(木)	4					
2024/8/29(木)	5					
2024/8/30(金)	1	成果発表会	生化学 医学教育C	教授 教授	細川好孝 早稲田勝久	202 講
2024/8/30(金)	2					
2024/8/30(金)	3					
2024/8/30(金)	4					
2024/8/30(金)	5					

(2) 講義の方法

講義・個人ワーク・グループ討論・全体討論を組み合わせ、様々な考え方を共有・議論できるようにする。

(3) 講義の内容

各セミナーや取り組む課題については、別途通知する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
細川好孝	教授	生化学講座	2号館 研究棟361号室	毎週火・水・金曜日 16:00～18:00
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上 対応可

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

衛 生 学

【単位数：2単位，授業26コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

鈴木孝太 教授(衛生学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-7-b, Ⅲ-8-b, V-2-b)

- ① 特に産業保健，環境保健，母子保健，食品衛生，精神保健分野について，コンピテンス「医学知識と科学的探究心」に基づいて人の健康行動につながる要因について理解し，さらに，疾病・障害・健康問題と社会との関係や，社会における医療問題を説明できることを目標とする。
さらに，「地域社会への貢献」における地域の医療状況，社会経済的状況を含めた特殊性や課題について説明できることを目標とする。
- ② 健康や疾病が，生活・労働・教育の場での諸活動や地域環境，地球環境と密接な関連をもっていることを具体的に学ぶ。医師は，疾病を治療するという働きのみではなく，人々がいきいきと生活できるよう，専門的な知識・技術を基盤とし，社会的諸関係に働きかけることを通じて職能を果たすべきことを学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 人間生活と環境，環境と健康との相互関係について説明できる。
- ② 産業保健の意義としくみ，労働環境による影響を説明できる。
- ③ 食品の衛生と安全，栄養と健康の関連について説明できる。
- ④ 日々生起する健康問題の本質について洞察することができる。
- ⑤ 病院，診療所以外の場における，医師の果たすべき役割を説明することができる。
- ⑥ 周産期，母子保健における社会の仕組み，保健医療が果たすべき役割を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60%	全範囲を対象に実施する。 記述式を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある。
レポート	○	10%	非常勤講師の講義時などに適宜実施する。
中間テスト	○	15% ×2	30分の中間テストとして2回実施する。詳細はガイダンス時に説明するが，国家試験の過去問レベルの問題を15問出題する予定。なお，教科書，資料持ち込み可とする。
その他	○	—	受講態度などにより，総合成績に加減点(最大10%)する。加点により100点を超える場合は100点とする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験，レポート，小テスト(2回)の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)が，追加の課題・レポートを課す場合がある。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

試験結果から、理解が不十分と思われる内容については、解説を一斉メールし再確認を促す。
また、定期試験で不合格となった者については、必要に応じ、補講を実施する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
公衆衛生がみえる	医療情報 科学研究 所編	MEDIC MEDIA	医学，医療に関する，倫理的，法律的， 社会的な事柄がわかりやすく整理されて いる。
各講義における配付資料			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
国民衛生の動向		厚生統計協 会	さまざまな統計資料，関連法規などがタ イムリーに記載されている。

6 準備学習（予習・復習）

授業に臨むにあたり、「公衆衛生がみえる」などの教科書，参考書で，講義内容に関わる事柄について簡単に情報収集しておく（約0.5時間）。

事前に与えられた課題について学習し，提出用の用紙にまとめておく（0.5時間）。

衛生学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/22(水)	4	ガイダンス	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/5/22(水)	5	産業保健1 総論・産業医・健康管理	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/5/29(水)	2	産業保健2 働き方改革	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/5/29(水)	3	環境保健1 総論	衛生学	講師	梅村朋弘	202 講
2024/5/29(水)	4	産業保健3 じん肺	—	非常勤講師	横山多佳子	202 講
2024/5/29(水)	5	産業保健4 職業性アレルギー，皮膚疾患	衛生学	講師	梅村朋弘	202 講
2024/6/5(水)	2	産業保健5 メンタルヘルス1	—	非常勤講師	古井 景	202 講
2024/6/5(水)	3	産業保健6 労働災害，頸肩腕症候群，腰痛，VDT	産業保健C	講師	成定明彦	202 講
2024/6/5(水)	4	産業保健7 有機溶剤中毒，特化物	—	客員教授	柴田英治	202 講
2024/6/5(水)	5	産業保健8 金属・ガス	—	客員教授	柴田英治	202 講
2024/6/12(水)	2	中間テスト①	衛生学	教授	鈴木孝太	101 講
2024/6/12(水)	3	産業保健9 作業態様(勤務体制)	—	非常勤講師	堀 礼子	202 講
2024/6/12(水)	4	精神保健 総論・措置入院・福祉制度・医療観察法	—	非常勤講師	堀 礼子	202 講
2024/6/12(水)	5	産業保健10 メンタルヘルス2	—	客員教授	渡邊美寿津	202 講
2024/6/19(水)	2	環境保健2 温熱，気圧，騒音，振動，放射線	衛生学	講師	川越 隆	202 講
2024/6/19(水)	3	食品衛生 食中毒・栄養食生活	衛生学	准教授	松永昌宏	202 講
2024/6/19(水)	4	産業保健11 職業がん	衛生学	講師	梅村朋弘	202 講
2024/6/19(水)	5	衛生学特論	—	非常勤講師 (名誉教授)	小林章雄	202 講
2024/6/26(水)	2	中間テスト②	衛生学	教授	鈴木孝太	101 講
2024/6/26(水)	3	環境保健3 社会的環境(幸福感・ソーシャル キャピタル)	衛生学	准教授	松永昌宏	202 講
2024/6/26(水)	4	環境保健4 大気，水質，土壌	衛生学	講師	梅村朋弘	202 講
2024/6/26(水)	5	環境保健5 公害・室内環境	衛生学	講師	梅村朋弘	202 講

衛生学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/3(水)	2	母子保健1 乳幼児	衛生学	准教授	松永昌宏	202 講
2024/7/3(水)	3	母子保健2 母子保健をめぐる社会の諸問題	衛生学	准教授	松永昌宏	202 講
2024/7/3(水)	4	環境保健6・母子保健3 DOHaD 説	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/7/3(水)	5	地域包括ケアシステムについて(実習準備)	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木孝太 川越 隆	202 講
2024/7/19(金)	2	定期試験	衛生学	教授	鈴木孝太	101 講

(2) 講義の方法

講義については、基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、毎回、講義の前の週に課題を出すので、必ず予習してくる事。さらに、適宜、グループディスカッションなどアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

講義タイトルに沿って、できるだけ具体的な実例や、教科書の中でも特に重要な内容について説明する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
鈴木孝太	教授	衛生学講座	2号館 研究棟371号室	水曜日(不定期) (部署宛に要事前連絡) 17:30~18:30
松永昌宏	准教授	衛生学講座	2号館 研究棟312号室	月~金曜日 (要事前連絡) 10:00~17:00
梅村朋弘	講師	衛生学講座	2号館 研究棟312号室	月~金曜日 (要事前連絡) 10:00~18:00
川越 隆	講師	衛生学講座	2号館 研究棟312号室	毎週水曜日 (要事前連絡) 16:00~18:30
成定明彦	講師	産業保健科学センター	2号館 研究棟377号室	水曜日 (要事前連絡) 17:00~18:30
小林章雄	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授/ 一般社団法人 医学と 社会・連携支援機構 理事長 / 伏見・長東伝クリニック 院長	—	講義終了後 講義室にて
柴田英治	非常勤講師	四日市看護医療大学 学長 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて
渡邊美寿津	非常勤講師	トヨタ自動車株式会社 安全健康推進部 産業医 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて
古井 景	非常勤講師	ルーセントメンタルヘル スマネジメント顧問 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて
横山多佳子	非常勤講師	独立行政法人 労働者 健康安全機構 旭ろう さい病院 健康診断部 部長	—	講義終了後 講義室にて
堀 礼子	非常勤講師	愛知淑徳大学 心理学部 教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 科目責任者への連絡は、衛生学講座の部署アドレスにメールすること。

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール: Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者部署に連絡先を問合せること。

公衆衛生学

【単位数：2単位，授業26コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

菱田朝陽 教授 (公衆衛生学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-1-b, Ⅲ-7-b, Ⅲ-8-b, V-1-b, V-2-b, V-3-b)

- ① コンピテンスの項目として、「医学知識と科学的探究心」の内、「医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を説明できる」、「疾病・障害・健康問題と社会との関係を説明できる」、「医学・医療と社会との関連，社会の医療問題を説明できる」を目標とする。
- ② コンピテンス「地域社会へ貢献」において、「地域社会における疾病予防，健康の維持・増進のための医師の役割を説明できる」、「地域の医療状況，社会経済的状況を含めた特殊性や課題について説明できる」、「医療計画，地域医療構想について説明できる」を目標とする。
- ③ 公衆衛生学は，集団の健康を向上させるための学問で，内容として人口統計，疫学，感染症，母子保健，高齢者保健，がん疫学，循環器疫学など多岐にわたるのが特徴である。講義では，公衆衛生学の幅広い分野の基本概念を学び，特に集団の健康維持と増進のための公衆衛生活動やその土台である疫学の重要性を理解する。

(2) 学修目標

- ① 公衆衛生学の概念を説明できる。
- ② 感染症予防法の概要と届出義務が説明できる。
- ③ 感染症の危機管理について説明できる。
- ④ 検疫について説明できる。
- ⑤ 予防接種の意義と現状を説明できる。
- ⑥ 人口静態統計と人口動態統計を説明できる。
- ⑦ 疾病の定義，分類と国際疾病分類を説明できる。
- ⑧ 疾病・有病・障害統計，年齢調整率と標準化死亡比を説明できる。
- ⑨ 疫学の概念と疫学の諸指標について説明できる。
- ⑩ 第一次・二次・三次予防について説明できる。
- ⑪ 因果関係について説明できる。
- ⑫ 生活習慣とがんの関係を説明できる。
- ⑬ 生活習慣と循環器疾患の関係を説明できる。
- ⑭ 検診・スクリーニングについて説明できる。
- ⑮ 保健所・保健センターの役割を説明できる。
- ⑯ 日本における社会保障制度を説明できる。
- ⑰ 地域保健を概説できる。
- ⑱ 国際保健について概説できる。
- ⑲ 国民医療費の収支と将来予測を概説できる。
- ⑳ 医師法と医療法，医療関連法について概説できる。
- ㉑ 医療保険と公費医療や介護保険を説明できる。
- ㉒ 日本の医療制度について概説できる。
- ㉓ 高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。
- ㉔ 喫煙と疾病の関与と禁煙指導を説明できる。
- ㉕ 統計学を疫学に応用できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60%	多肢選択問題80問
小テスト	○	40%	原則、同日3コマ分の講義内容につき4コマ目に小テストを実施する(1コマ10問計30問)。試験時間は設問内容により設定する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験と小テストの点数の合計が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法(再試験対象人数によって記述式に変更する場合有り)で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験終了時に正解を配付し、成績についての総括をAIDLE-Kに掲載する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
毎回プリントを配付する。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
厚生指標 増刊 国民衛生の動向 2023/2024		厚生労働統計協会	最新の衛生動向、統計データが分かる。
公衆衛生が見える 2023-2024	赤澤宏平 など	メディカルメディア	保健・医療・福祉・介護スタッフの共通テキスト、分かりやすい。
シンプル衛生公衆衛生学 2024	鈴木庄亮	南江堂	公衆衛生の各分野をカバー、年度版が発行されている。

6 準備学習(予習・復習)

参考図書のどれかを選んで、各コマ(小テストを除く)の講義内容の該当部分に目を通しておくこと(各40分)。講義の内容・配布資料と小テストで特に正解できなかった部分について各コマ1時間復習すること。

公衆衛生学
7 授業計画
(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/10(水)	2	公衆衛生の総論 (健康の定義, 疾病の自然史, 予防など)	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	202 講
2024/4/10(水)	3	人口統計, 集団の健康指標	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	202 講
2024/4/10(水)	4	公衆衛生活動, 医療に関係する法律	—	非常勤講師 (名誉教授)	菊地正悟	202 講
2024/4/10(水)	5	復習, 小テスト	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	101 講
2024/4/17(水)	2	疫学総論, 疾病の頻度や分布に関する記 述疫学	公衆衛生学	講師	川合紗世	202 講
2024/4/17(水)	3	疾病の発生要因を解明するための分析疫 学: コホート研究	公衆衛生学	講師	川合紗世	202 講
2024/4/17(水)	4	疾病の発生要因を解明するための分析疫 学: 症例対照研究	公衆衛生学	講師	川合紗世	202 講
2024/4/17(水)	5	復習, 小テスト	公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	101 講
2024/4/24(水)	2	がん疫学(がんの罹患・死亡, リスク要因, がん対策)	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	202 講
2024/4/24(水)	3	循環器疫学(循環器疾患の罹患・死亡, リ スク要因, 循環器疾患対策)	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	202 講
2024/4/24(水)	4	行政における医師の役割	—	非常勤講師	長谷川勢子	202 講
2024/4/24(水)	5	復習, 小テスト	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	101 講
2024/5/1(水)	2	感染症疫学(感染症関係の法律, 感染防 止策, サーベイランス)	公衆衛生学	教授(特任)	林 櫻松	202 講
2024/5/1(水)	3	感染症疫学(検疫と予防接種)	公衆衛生学	教授(特任)	林 櫻松	202 講
2024/5/1(水)	4	臨床疫学, EBM	公衆衛生学	教授(特任)	林 櫻松	202 講
2024/5/1(水)	5	復習, 小テスト	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	101 講

公衆衛生学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/8(水)	2	栄養疫学・国際保健	公衆衛生学	講師	篠壁多恵	202 講
2024/5/8(水)	3	社会保障制度・医療制度	—	非常勤講師 (名誉教授)	菊地正悟	202 講
2024/5/8(水)	4	地域医療・地域福祉	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	202 講
2024/5/8(水)	5	復習, 小テスト	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	101 講
2024/5/15(水)	2	高齢者保健, 介護保険制度	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	202 講
2024/5/15(水)	3	医療行政, 医療の将来像	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	202 講
2024/5/15(水)	4	健康危機管理概論	災害医療C	講師	高橋礼子	202 講
2024/5/15(水)	5	復習, 小テスト	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	101 講
2024/5/22(水)	2	EBMに必要な統計学(1)	研究支援C	准教授	大橋 渉	202 講
2024/5/22(水)	3	EBMに必要な統計学(2)	研究支援C	准教授	大橋 渉	202 講
2024/7/18(木)	3	定期試験	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	101 講

(2) 講義の方法

講義は、大教室での知識伝達型の講義を行う。また、同日3コマ分の講義内容につき4コマ目で復習と小テストを実施し、学生の理解度を把握する(最後の2コマを除く)。

(3) 講義の内容

1コマ目は公衆衛生学の概要を解説し、2コマ目以降は、人口統計、疫学の基本と応用、統計学、感染症、生活習慣病の疫学、高齢者保健、社会保障制度、医療制度、医療経済、国際保健など幅広い分野について解説する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
菱田朝陽	教授	公衆衛生学	2号館 研究棟372号室	毎週月曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00
林 櫻松	教授(特任)	公衆衛生学	2号館 研究棟374号室	毎週月曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00
川合紗世	講師	公衆衛生学	2号館 研究棟312号室	毎週月・水・木曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00
篠壁多恵	講師	公衆衛生学	2号館 研究棟312号室	毎週月曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00
大橋 涉	准教授	臨床研究支援センター	D棟4階 臨床研究支援センター	毎週火曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00
高橋礼子	講師	災害医療研究センター	2号館 研究棟251号室	毎週火～金曜日 (メールにて要事前連絡)
菊地正悟	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授	—	講義終了後 講義室にて
長谷川勢子	非常勤講師	愛知県保健医療局 技監	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

公衆衛生学実習

【単位数：0.5単位，授業15コマ】

1 科目責任者

菱田朝陽 教授(公衆衛生学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-1-b, V-1-b, V-2-b, V-3-b)

- ① 疾患の集団発生があった場合，地域医療に関係する各機関と協力して，病因と広がり方を特定し，対策を立てる手順を説明することで地域社会への貢献ができる。
- ② グループ内でのコミュニケーションを取って，討論しながら協力して課題を解決することができる。
- ③ 基本的な疫学指標を計算できる。

(2) 学修目標

- ① 地域社会における疾病予防，健康の維持・増進のための医師の役割を説明できる。
- ② 地域医療に関係する機関を挙げて，それぞれの役割を説明できる。
- ③ 課題に応じた疫学研究をデザインすることができる。
- ④ 疫学研究において，データの信頼性やバイアスを考慮することができる。
- ⑤ 疫学の基本的な指標の計算ができる。
- ⑥ 疫学研究で得られた結果を科学的に解釈し，応用することができる。
- ⑦ グループ内で自分の意見を他のメンバーが分かるように説明できる。
- ⑧ グループ内の他のメンバーの意見を聞き，質問をすることで理解することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
参加状況	○	40%	討論や分析への参加の状況
その他	○	40%	各グループの発表内容を評価する。
レポート	○	20%	授業の前半と最終日にレポートを課す。

出席：実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

評価基準に達しなかった場合は，レポートの再提出を求める。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各グループの発表に対して，授業の中でフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
アウトブレイクの危機管理	阿彦忠之	医学書院	感染症の集団発生対応が実習の参考となるため。

6 準備学習（予習・復習）

グループ討論1-5については、公衆衛生学の授業内容(疫学・公衆衛生学)をよく復習しておくこと(1-5で3時間)。

分析1-4については、疫学の部分を復習しておくこと(1-4で2時間)。

グループでのまとめと発表準備1-3については、PowerPoint の操作を復習しておくこと(1-3で1時間)。

終了後、できなかつたところ、推論を誤つたところや、足りなかつたところについて振り返つて復習すること(全体で2時間)。

公衆衛生学実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/2(水)	1	実習内容の説明, グループ討論1	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	202 講 2階セ 3階セ マルチAB
2024/10/2(水)	2	グループ討論2	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	2階セ 3階セ マルチAB
2024/10/2(水)	3	グループ討論3	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	2階セ 3階セ マルチAB
2024/10/2(水)	4	グループ討論4	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	マルチAB
2024/10/2(水)	5	グループ討論5	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	マルチAB
2024/10/9(水)	1	データ分析1	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	2階セ 3階セ マルチAB
2024/10/9(水)	2	データ分析2	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	2階セ 3階セ マルチAB
2024/10/9(水)	3	データ分析3	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	2階セ 3階セ マルチAB
2024/10/9(水)	4	データ分析4	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	2階セ 3階セ マルチAB
2024/10/9(水)	5	グループでのまとめと発表準備1	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	2階セ 3階セ マルチAB
2024/10/16(水)	1	グループでのまとめと発表準備2	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	2階セ 3階セ マルチAB

公衆衛生学実習

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/16(水)	2	グループでのまとめと発表準備3	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	2階セ 3階セ マルチAB
2024/10/16(水)	3	発表と討論1	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	202 講 2階セ 3階セ マルチAB
2024/10/16(水)	4	発表と討論2	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	202 講 マルチAB
2024/10/16(水)	5	発表と討論3	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	202 講 マルチAB

(2) 実習の方法

オリエンテーションは講義形式で行い、他はセミナー室かマルチメディア教室での討論・作業となる。発表会では、各グループが発表した内容について討論する。

(3) 実習の内容

疾患の集団発生に対して、どのようにデータを集めて分析して対応するかを紙上シミュレーションで体得する。グループに分かれて作業を行い、グループで発表する。分析には、疫学や統計学の授業で習ったことを使用する。疫学指標の計算に関するレポートを前半に、最終日に実習のシナリオで疑問に思った点と実習の感想に関するレポートを提出してもらう。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
菱田朝陽	教授	公衆衛生学	2号館 研究棟372号室	毎週月曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00
林 櫻松	教授(特任)	公衆衛生学	2号館 研究棟374号室	毎週月曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00
川合紗世	講師	公衆衛生学	2号館 研究棟312号室	毎週月・水・木曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00
篠壁多恵	講師	公衆衛生学	2号館 研究棟312号室	毎週月曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

1 科目責任者

妹尾 洋 教授(法医学)

2 教育目標

〔講義〕

(1) ねらい(I-4-b, III-2-b)

- ① コアコンピテンスの“プロフェッショナリズム”及び“医学的知識と科学的探究心”の理解のため，個体の死，死因究明，死体検案，死亡診断書(死体検案書)作成などの知識，技能，態度を学び，それらを理解する。
- ② 死に関係する諸事項を総合的に理解する。

(2) 学修目標

- ① 死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。
- ② 植物状態，脳死，心臓死及び脳死判定を説明できる。
- ③ 内因死と外因死について違いと内容を説明できる。
- ④ 各種損傷による死を説明できる。
- ⑤ 異常環境による死を説明できる。
- ⑥ 嬰兒殺，虐待，乳幼児突然死症候群など乳幼児の死を説明できる。
- ⑦ 各種血液型，物体検査を説明できる。
- ⑧ 窒息による死を説明できる。
- ⑨ 中毒(一酸化炭素，青酸，農薬，アルコール，覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物，医薬品など)による死を説明できる。
- ⑩ 個人識別の方法を説明できる。
- ⑪ 異状死・異状死体の取り扱いと死体検案を説明できる。
- ⑫ 診断書，検案書，証明書(死産証書，死胎検案書，死亡診断書，死体検案書)を説明できる。
- ⑬ 死亡診断書と死体検案書を作成できる。
- ⑭ 病理解剖，法理解剖(司法解剖，行政解剖，死因・身元調査法解剖，承諾解剖)を説明できる。

〔実習〕

(1) ねらい(III-2-b)

- ① コアコンピテンスの“医学的知識と科学的探究心”の理解のため，大規模災害時など身元不明死体の個人識別などにも重要な各種血液型検査及び物体検査の知識，技能を学び，それらを理解する。
- ② 法医学的に重要な各種検査を理解する。

(2) 学修目標

- ① ABO式，Rh式などの血液型判定の原理を理解し実践できる。
- ② 血痕予備試験，本試験の原理を理解し実践できる。
- ③ 毛髪検査の原理を理解し実践できる。
- ④ 精液検査の原理を理解し実践できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	記述式と多肢選択問題で行う。
レポート	○	10%	実習レポート
態度	○	—	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには講義(7 授業計画(1)開催日時における講義タイトルの中で「講義」と記されたもの)の欠席率が3分の1を超えてはならない。

実習(7 授業計画(1)開催日時における講義タイトルの中で「実習」と記されたもの)を修得するためには、欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

* レポートで不可の場合は、レポートの再提出を求める。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。

定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

レポートの成績についての総括を学内メール、または、AIDLE-Kで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに、定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
NEW 法医学・医事法(2008年)	勝又義直・鈴木 修編	南江堂	法医実務実践のための基本的内容が網羅されている。
死亡診断書・出生証明書・死産証書記入マニュアル	厚生省大臣官房統計情報部健康制作局監修	厚生統計協会	死亡診断書、死体検案書、死産証書、死胎検案書の作成について詳述されている。

6 準備学習(予習・復習)

【講義】

① 参考図書『NEW法医学・医事法』などにおいて、その目次全体を眺め、どのような事項が取り上げられているのかを確認しておく(1日あたり約15分)。

② 上記の中で、興味を惹いた項目について記載内容を読んでおく(1日あたり約0.5時間)。

③ それぞれの講義について配付されたレジュメの内容を講義後に再確認し、それ以降の講義に臨むこと(1日あたり約1時間)。

【実習】

① 参考図書『NEW法医学・医事法』などにおいて、実習内容について簡単な知識を得ておくこと(1日あたり約1時間)。

② 実習に関係するレジュメについて講義後に内容を再確認し、実習に臨むこと(1日あたり約1時間)。

法医学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/18(水)	3	講義 総論・死	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/9/18(水)	4	講義 法規・異状死体等	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/9/18(水)	5	講義 死体現象	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/9/25(水)	3	講義 死体現象	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/9/25(水)	4	講義 鈍器・鋭器損傷	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/9/25(水)	5	講義 損傷の自他為・内部損傷・生活反応	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/10/23(水)	3	講義 損傷による死因・交通事故損傷	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/10/23(水)	4	講義 虐待・銃器損傷	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/10/23(水)	5	講義 窒息	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/10/30(水)	3	講義 窒息	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/10/30(水)	4	講義 異常環境	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/10/30(水)	5	講義 嬰兒殺	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/11/6(水)	3	講義 中毒総論・各論	法医学	准教授	小川匡之	202 講
2024/11/6(水)	4	講義 中毒各論	法医学	准教授	小川匡之	202 講
2024/11/6(水)	5	講義 個人識別・骨鑑定	—	非常勤講師	久保勝俊	202 講
2024/11/13(水)	3	講義 個人識別・DNA分析	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/11/13(水)	4	講義 死体検案	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/11/13(水)	5	講義 死亡診断書	法医学	教授	妹尾 洋	202 講
2024/11/20(水)	3	講義 血液型	法医学	助教	岩井雅枝	202 講
2024/11/20(水)	4	講義 物体検査	法医学	助教	松尾友仁	202 講
2024/11/20(水)	5	実習 ガイダンス	法医学	准教授	小川匡之	202 講
2024/11/27(水)	3	実習 血液型	法医学	教授	妹尾 洋	研 107
2024/11/27(水)	4		法医学	准教授	小川匡之	
2024/11/27(水)	5		法医学	助教	岩井雅枝	
2024/12/4(水)	3	実習 物体検査	法医学	教授	妹尾 洋	研 107
2024/12/4(水)	4		法医学	准教授	小川匡之	
2024/12/4(水)	5		法医学	助教	岩井雅枝	
2024/12/19(木)	3	定期試験	法医学	教授	妹尾 洋	101 講

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型講義であるが、一部講義中に講師との質疑応答などを導入する。また、講義時間内に症例のスライドをできるだけ提示する。

(3) 講義の内容

最初の講義で個体の死、次に関連法規について解説し、それ以降は、各種死体現象、それぞれ異なる死因、個人識別、各種検査について、具体的内容を提示しながら講義を進める。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
妹尾 洋	教授	法医学講座	2号館 研究棟268号室	毎週月～水曜日 10:00～15:00
小川匡之	准教授	法医学講座	2号館 研究棟266号室	毎週月～木曜日 9:00～16:00
岩井雅枝	助教	法医学講座	2号館 研究棟311号室	毎週月～水曜日 9:00～17:00
松尾友仁	助教	法医学講座	2号館 研究棟266号室	毎週月～木曜日 9:00～17:00
久保勝俊	非常勤講師	愛知学院大学 歯学部 准教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

健康増進と疾病予防

【単位数：1単位，授業16コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

鈴木孝太 教授(衛生学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-6-b, V-1-b)

- ① 1学年次後学期の行動科学1c, 2学年次後学期の行動科学2に引き続き, コンピテンス「医学知識と科学的探究心」に基づき, 人の健康行動につながる心理的, 社会的要因について理解することを目標とする。
- ② さらに, 「地域社会への貢献」における地域社会での疾病予防, 健康の維持・増進のため, 国レベルから地域レベルに至るさまざまな問題点を抽出, 記述し, それらに対する具体的な対策を提案できることを目標とする。

(2) 学修目標

- ① ヘルスプロモーション, 行動変容の理論について説明できる。
- ② 集団レベル, また個人レベルでの喫煙対策について説明できる。
- ③ 生活習慣病と関連した個人レベル, 集団レベルの要因を列举できる。
- ④ 生活習慣病と関連した要因について, それを改善する具体的な方法を説明できる。
- ⑤ 問題のある生活習慣を有する人に対して, 具体的な改善案を提示できる。
- ⑥ 集団に対して, 健康増進と疾病予防に対する健康教育を実施できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	50%	全範囲を対象に実施する。 記述式を原則とし, 一部多肢選択問題を含む場合がある。
レポート	○	40%	適宜実施し, 記述内容により評価する。詳細はガイダンス時に説明する。
小テスト	○	10%	確認テストとして実施する。教科書, 講義資料持ち込み可(電子資料は不可)。
その他	○	—	受講態度などにより, 総合成績に加減点(最大10%)する。加点により100点を超える場合は100点とする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験, 小テスト, レポートの合計が60%未満の場合は, 再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(原則として当初のレポート点(30%), 小テスト(10%), 再試験(60%)の合計が60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

試験結果から, 理解が不十分と思われる内容については, 解説を一斉メールし再確認を促す。
また, 定期試験で不合格となった者については, 必要に応じ, 補講を実施する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
公衆衛生がみえる	医療情報 科学研究 所編	MEDIC MEDIA	医学，医療に関する，倫理的，法律的，社会的な事柄がわかりやすく整理されている。
各講義における配付資料			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
行動医学テキスト	日本行動 医学会	中外医学社	医学教育コアカリキュラムに準拠し行動科学を網羅した良書。
Behavioral Science (7 th edition)	Barbara Fadem	Wolters Kluwer	アメリカの行動科学の標準テキスト。米国USMLEの問題も掲載し，利用価値は高い。
行動科学 健康づくりのための理論と応用	畑 栄一， 土井由利子 編	南江堂	個人の行動変容を促す方法を学ぶ上で有用。
医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 生活習慣病を中心に	松本千明	医歯薬出版	特に生活習慣病を対象に，実際に行動変容を促す方法を学ぶのに有用。
健康行動と健康教育	Karen Glanz ら(曾根智 史ら訳)	医学書院	健康教育を含め，行動変容を促す方法を学ぶのに有用。
Theory in a Nutshell	Don Nutbeamら	McGraw-Hill Education	ヘルスプロモーションのさまざまな理論がまとめられている。
医療現場の行動経済学 すれ違う医者 と患者	大竹文雄 平井 啓	東洋経済新 報社	行動経済学の視点から，医療者，患者の考え方を説明している良書。

6 準備学習（予習・復習）

授業に臨むにあたり，「公衆衛生がみえる」などの教科書，参考書で，講義内容に関わる事柄について簡単に情報収集しておく(約0.5時間)。

グループ内で割り当てられた課題について学習し，グループ学習時に発表できるように準備しておく(0.5時間)。

健康増進と疾病予防

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/18(水)	1	ガイダンス	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/9/18(水)	2	ヘルスプロモーション, 行動変容の理論	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/9/25(水)	1	行動経済学と保健指導	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/9/25(水)	2	【AL】喫煙対策(1)	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/10/23(水)	1	【AL】喫煙対策(2)	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/10/23(水)	2	AIDS ボランティアと国際交流	—	非常勤講師	佐野正浩	202 講
2024/10/30(水)	1	確認テスト	衛生学	教授	鈴木孝太	101 講
2024/10/30(水)	2	健康科学について	衛生学	准教授	松永昌宏	202 講
2024/11/6(水)	1	地域高齢者に対する健康増進事業	衛生学	准教授	松永昌宏	202 講
2024/11/6(水)	2	【AL】生活習慣病対策(1)	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/11/13(水)	1	ドクターヘリのシステムと地域社会(へき地・離島を含む。)への貢献(1)	—	非常勤講師	青木瑠里	202 講
2024/11/13(水)	2	ドクターヘリのシステムと地域社会(へき地・離島を含む。)への貢献(2)	—	非常勤講師	青木瑠里	202 講
2024/11/20(水)	1	転倒予防	衛生学	講師	川越 隆	202 講
2024/11/20(水)	2	【AL】生活習慣病対策(2)	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/11/27(水)	1	身体活動量	衛生学	講師	川越 隆	202 講
2024/11/27(水)	2	【AL】生活習慣病対策(3)	衛生学	教授	鈴木孝太	202 講
2024/12/20(金)	3	定期試験	衛生学	教授	鈴木孝太	101 講

(2) 講義の方法

講義については、基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、鈴木担当の講義では、前半(25分程度)を事前に指定したグループ(1グループ5~6人)でのグループ学習とする。具体的には、グループ内で割り当てられたテーマを各自が予習し、グループ内で発表後、その内容についてディスカッションする。講義の後半で、それらのテーマに関する内容の講義を行うなど、アクティブ・ラーニングを導入するので、指定されたグループごとに着席すること。

(3) 講義の内容

行動変容の理論について、2学年次までに行動科学で学んだことを基盤に、より具体的な例をもとに学んでいく。さらに個人レベル、また集団レベルでの健康増進、疾病予防について、具体的な健康問題を取り上げ、その対策を個人レベル、集団レベルで検討するための知識を提供する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
鈴木孝太	教授	衛生学講座	2号館 研究棟371号室	水曜日(不定期) (部署宛に要事前連絡) 17:30~18:30
松永昌宏	准教授	衛生学講座	2号館 研究棟312号室	月~金曜日 (要事前連絡) 10:00~17:00
川越 隆	講師	衛生学講座	2号館 研究棟312号室	毎週水曜日 (要事前連絡) 16:00~18:30
青木瑠里	非常勤講師	福友病院 非常勤医師	—	講義終了後 講義室にて
佐野正浩	非常勤講師	国立国際医療研究セ ンター 国際医療協力 局 連携協力部 連携 推進課 局員	—	講義終了後 講義室にて

※ 科目責任者への連絡・質問は、衛生学講座の部署アドレスにメールすること。

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者部署に連絡先を問合せること。

E B M 実 習

【単位数：0.5単位，授業15コマ】

1 科目責任者

菱田朝陽 教授(公衆衛生学)

科目担当者

林 櫻松 教授(特任)(公衆衛生学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-10-b)

- ① コンピテンスの一つである“医療における客観的根拠を適切に探索し，EBMを実施できる”を目標とする。
- ② EBM(科学的根拠に基づく医学)とは，臨床研究などによるエビデンス，医療者の専門性・経験と患者の価値観の3要素を統合し，より良い患者ケアのための意思決定を行うものである。EBM実習では，EBMを実践するために必要な臨床疫学の基本的な知識を身に着けるとともに，卒業後医師として患者に最適な医療を行えるようになるために，EBMの考え方とプロセスを理解し，実践もできることを目指す。

(2) 学修目標

- ① EBM，臨床疫学の概念と定義について説明できる。
- ② EBM実践のためのステップを説明できる。
- ③ 临床上，生じた疑問を定式化することができる。
- ④ 定式化した疑問から，文献検索を行うことができる。
- ⑤ 臨床研究デザインの種類，それぞれの長所と短所について説明できる。
- ⑥ 論文の批判的吟味を行う際のプロセスを説明できる。
- ⑦ 疾病の経過を定量的に解釈するために，リスクと予後の臨床疫学的概念について説明できる。
- ⑧ リスクの概念と，臨床の場でその概念を理解していることの重要性について説明できる。
- ⑨ 診断，治療，予後に関する論文を批判的に吟味できる。
- ⑩ システマティックレビューとメタアナリシスについて説明できる。
- ⑪ 統計学的有意差と臨床的意義について説明できる。
- ⑫ 臨床試験の概念を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	80%	AIDLE-Kを通じてレポートを提出する。
その他	○	20%	各グループの発表内容を評価する。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：実習を修得するためには，欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

レポート，その他の合計が60%未満の場合は，レポートの再提出を求める。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポートについての総括をAIDLE-Kに掲示する。

不合格の者に理解が不十分な項目について再確認を促す。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
公衆衛生が見える 2023-2024	赤澤宏平 など	メディカルメ ディア	EBMの概要が分かりやすい。
Clinical Epidemiology the essentials sixth edition	Grant S. Fletcher	Wolters Kluwer	臨床疫学を系統的に学べる教材として 適切。

6 準備学習（予習・復習）

参考図書のEBMの概要や実習関連資料を読んで実習に臨むこと(1日あたり1時間)。

EBM実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/15(水)	1	実習内容の説明, EBM Step1 症例シナリオの検討及び臨床上質問の設定	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	マルチAB
2025/1/15(水)	2	EBM Step1 症例シナリオの検討及び臨床上質問の設定	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	マルチAB
2025/1/15(水)	3	EBM Step2 エビデンスの収集(文献検索)	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	マルチAB
2025/1/15(水)	4					
2025/1/15(水)	5					
2025/1/22(水)	1	EBM Step2 エビデンスの収集(文献検索)	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	マルチAB
2025/1/22(水)	2	EBM Step3 論文の批判的吟味	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	マルチAB
2025/1/22(水)	3					
2025/1/22(水)	4					
2025/1/22(水)	5					
2025/1/29(水)	1	【AL】EBM Step4 患者への適用	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	マルチAB
2025/1/29(水)	2					
2025/1/29(水)	3					
2025/1/29(水)	4	【AL】EBM Step1-Step4の振り返り	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授(特任) 講師 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	マルチAB
2025/1/29(水)	5	【AL】EBM Step1-Step4の振り返り, 総括	公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学 公衆衛生学	教授 教授(特任) 講師 講師	菱田朝陽 林 櫻松 川合紗世 篠壁多恵	マルチAB

(2) 講義の方法

症例シナリオを用いて、実習形式でEBMを実践する。実習中、個人ワークとグループワークの両方を取り入れ、特に患者への適用及びStep1-Step4の振り返りについては、小グループ討論やロールプレイなどのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

1コマ目は、実施手順（Step1-Step4）、到達ゴールと提出課題を説明する。1コマ目の後半から、実習形式で症例シナリオについて、臨床上の疑問を設定し、文献検索を行い、論文の批判的吟味を行う。最後の2コマは、実施手順Step1-Step4を振りかえる。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
菱田朝陽	教授	公衆衛生学講座	2号館 研究棟372号室	毎週月曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00
林櫻松	教授(特任)	公衆衛生学講座	2号館 研究棟374号室	毎週月曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00
川合紗世	講師	公衆衛生学講座	2号館 研究棟312号室	毎週月・水・木曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～18:00
篠壁多恵	講師	公衆衛生学講座	2号館 研究棟312号室	毎週水曜日 (メールにて要事前連絡) 16:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

地域包括ケア実習

【単位数：1単位，授業30コマ】

1 科目責任者

鈴木孝太 教授(衛生学)

科目担当者

川越 隆 講師(衛生学)

2 教育目標

(1) ねらい (I-1-b, I-2-b, I-3-b, I-11-b, I-12-b, I-13-b, II-1-b, II-2-b, V-5-b)

- ① コンピテンス「プロフェッショナリズム」に基づいて医師としての価値観・態度・姿勢を，実習施設の利用者や患者，その家族から醸成し，他職種の考えや役割を学ぶことで，チーム医療の実際を理解することを目標とする。
- ② さらに，「コミュニケーション」における患者・家族医療チームメンバー・住民・社会との良好な関係を構築できること，「診療実践」におけるプライマリケアや，介護/ケアを含むさまざまな視点からの患者ケアの実践ができること，そして最終的に「地域社会への貢献」における地域包括ケアの実践に参加できることを目標とする。

(2) 学修目標

- ① 地域包括ケアの仕組みについて説明できる。
- ② 高齢者や障害を持つ方の介護等の実態を説明できる。
- ③ 老人保健施設等における多職種連携について説明できる。
- ④ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
- ⑤ 施設利用者・患者・家族の話を傾聴し，共感することができる。
- ⑥ 施設利用者・患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	20%	適宜実施するレポートと，実習報告書により評価する。
その他	○	80%	実習先の施設からの評価，報告会の準備や報告内容。

出席：実習を修得するためには，ガイダンス，施設での実習，報告会，全てで欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

再試験は，再実習，レポートを課す。

実習態度が著しく不良(実習先施設からの評価が著しく低い場合)の場合は，再試験を実施しない。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

実習中，問題が生じた場合には，メールなどで全員にその内容を伝える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
公衆衛生がみえる		MEDIC MEDIA	医学，医療に関する，倫理的，法律的，社会的な事柄がわかりやすく整理されている。
医療現場の行動経済学 すれ違う医者 と患者	大竹文雄 平井 啓	東洋経済新 報社	行動経済学の視点から，医療者，患者 の考え方を説明している良書。

6 準備学習（予習・復習）

- 実習先に事前に連絡し，初日の集合時刻，集合場所など，実習に必要な情報を確認しておくこと。
- 地域包括ケアシステムや，高齢者保健など，行動科学，衛生学，公衆衛生学の講義で学んだことを復習しておくこと(1時間)。
- 実習施設の概要，どのような職種のスタッフが働いているかなどを事前に調べておくこと(0.5時間)。
- それ以外の準備学習については，説明会時に指示する。

地域包括ケア実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/2(月)	1	ガイダンス・実習準備	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木孝太 川越 隆	202 講
2024/9/2(月)	2					
2024/9/2(月)	3					
2024/9/2(月)	4					
2024/9/2(月)	5					
2024/9/3(火)	1	実習施設ごとの実習				学外実習 施設
2024/9/3(火)	2					
2024/9/3(火)	3					
2024/9/3(火)	4					
2024/9/3(火)	5					
2024/9/4(水)	1	実習施設ごとの実習				学外実習 施設
2024/9/4(水)	2					
2024/9/4(水)	3					
2024/9/4(水)	4					
2024/9/4(水)	5					
2024/9/5(木)	1	実習施設ごとの実習				学外実習 施設
2024/9/5(木)	2					
2024/9/5(木)	3					
2024/9/5(木)	4					
2024/9/5(木)	5					

地域包括ケア実習

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/6(金)	1	実習施設ごとの実習				学外実習 施設
2024/9/6(金)	2					
2024/9/6(金)	3					
2024/9/6(金)	4					
2024/9/6(金)	5					
2024/9/9(月)	1	実習施設ごとの実習				学外実習 施設
2024/9/9(月)	2					
2024/9/9(月)	3					
2024/9/9(月)	4					
2024/9/9(月)	5					
2024/9/10(火)	1	実習施設ごとの実習				学外実習 施設
2024/9/10(火)	2					
2024/9/10(火)	3					
2024/9/10(火)	4					
2024/9/10(火)	5					
2024/9/11(水)	1	実習施設ごとの実習				学外実習 施設
2024/9/11(水)	2					
2024/9/11(水)	3					
2024/9/11(水)	4					
2024/9/11(水)	5					
2024/9/12(木)	1	実習施設ごとの実習				学外実習 施設
2024/9/12(木)	2					
2024/9/12(木)	3					
2024/9/12(木)	4					
2024/9/12(木)	5					
2024/9/13(金)	1	実習のまとめ・報告会(グループワーク)	衛生学 衛生学	教授 講師	鈴木孝太 川越 隆	101 講
2024/9/13(金)	2					
2024/9/13(金)	3					
2024/9/13(金)	4					
2024/9/13(金)	5					

(2) 実習の方法

実習は、9月3日から9月12日までの8日間のうち、4日間実施する予定である。
基本的には、各施設の実習担当者の指示に従い実習を行う。

(3) 実習の内容

高齢者や、在宅での介護が必要な人々の生活を知り、どのように支援すればいいのかを知るために、実際の施設やサービスを見学、また経験する。

なお、2019年度(2020年度～2022年度はオンラインで実施、2023年度はオンラインと一部施設で実施)の実習施設は以下のとおりであるが、実習先の事情などにより変更の可能性がある。

医療法人桂名会 名東老人保健施設
 医療法人大医会 日進おりど病院
 医療法人善樹会 老人保健施設ウェルネス守山
 医療法人生寿会 日進老人保健施設
 医療法人宏生会 老人保健施設すこやか荘
 医療法人博報会 老人保健施設いのこし
 医療法人東恵会 介護老人保健施設星ヶ丘アメニティクラブ
 社会福祉法人聖霊会 老人保健施設 サンタマリア
 医療法人財団愛泉会 老人保健施設愛泉館
 医療法人名翔会 老人保健施設 和合の里
 医療法人社団喜峰会 東海記念病院
 公立陶生病院
 社会福祉法人 愛知県厚生事業団 愛厚ホーム瀬戸苑
 医療法人宏和会 瀬戸みどりのまち病院
 医療法人和光会 介護老人保健施設 清風苑
 医療法人福友会 福友病院
 医療法人香徳会 メイトウホスピタル
 医療法人アライフサポート ココカラハートクリニック
 笹本内科医院
 医療法人真会 日進胃腸科・外科
 医療法人たんぼぼ たんぼぼクリニック
 医療法人財団愛泉会 愛知国際病院
 社会福祉法人 名古屋市名東区社会福祉協議会
 みよし市民病院
 有限会社 ハートフルハウス
 訪問看護ステーション糸
 かしのき訪問看護ステーション
 れんげ訪問看護ステーション
 みんなのかかりつけ訪問看護ステーション
 訪問看護ステーションとも
 訪問看護ステーションえまい
 訪問看護ステーションパウ
 介護老人保健施設 葵の園 長久手
 長久手市社会福祉協議会 長久手市地域包括支援センター

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
鈴木孝太	教授	衛生学講座	2号館 研究棟371号室	水曜日(不定期) (部署宛に要事前連絡) 17:30～18:30
川越 隆	講師	衛生学講座	2号館 研究棟312号室	毎週水曜日 (要事前連絡) 16:00～18:30

※ 科目責任者への連絡は、衛生学講座の部署アドレスにメールすること。

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

選 択 講 座 3

【単位数：1単位，授業13コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい

- ① 医学教育モデルコアカリキュラムに定められている指針にとらわれず、「プロフェッショナリズム」、「コミュニケーション」、「医学知識と科学的探究心」、「診療技能」、「地域社会への貢献」について理解を深め、幅広い知識・技能・態度/姿勢を身につける。
- ② 医学教育モデルコアカリキュラムの選択科目を創出し、上級生が屋根瓦式に下級生を指導する体制を構築する。

(2) 学修目標

選択するコースにより学修目標は異なるが、医療従事者になるものとして、多様な知識・技能・態度/姿勢を修得できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は不可とする。
その他	○	—	1コース(3コマ)毎に評価する。評価方法はコース毎に異なる。

出席：全ての講義・演習に出席する必要がある。

(2) 合格基準

すべての評価対象において、不可がないこと(合否の2段階で判定)。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各授業で与えられる課題について、その場で口頭にてフィードバックする(選択コースによって差異あり)。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
コースにより異なる。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
コースにより異なる。			

6 準備学習(予習・復習)

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

7 授業計画

(1) 開催日時

別途掲示する日程表を参照すること。

(2) 講義の方法

選択するコース毎に授業の方法は異なる。

(3) 講義の内容

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

開講するコースについては、AIDLE-Kを参照すること。

検 査 医 学 (3 年 生)

【単位数:0.5単位, 授業7コマ, 予備3コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

中山享之 教授(輸血部)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b)

- ① 臨床検査が臨床医学における診断・治療に検査手法を適用する科学であることを十分に認識し, 理解する。適切な検査を選択し, 結果を正しく解釈できる。
- ② 各種検査の方法, 目的, 適応, 解釈を学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 臨床検査の基準値・カットオフ値の意味が説明できる。
- ② 検査の特性(感度, 特異度, 偽陽性, 偽陰性, ROC曲線, 尤度比, 検査後確率)を説明できる。
- ③ 検査の誤差や生理的変動を説明できる。各種の検査値への影響(溶血や全血放置など)を説明できる。
- ④ 検体の採取・保存について説明できる。検査の精度管理について説明できる。
- ⑤ 以下の各種検査の目的・適応と異常所見を説明し, 結果を解釈できる。
一般検査(糞便検査, 尿検査, 髄液検査), 血液生化学検査(酵素, 蛋白, 含窒素成分, 血糖, 脂質, 電解質など), 末梢血液検査, 凝固・線溶検査, 血清・免疫学的検査, 動脈血ガス分析(酸塩基平衡), 微生物検査, 細胞診

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題を基本とする。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は, 10点を限度に減点する。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験で60%未満の場合は, 再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに, 定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準臨床検査医学	高木 康, 山田俊幸 編	医学書院	検査学を理解するための基本的内容が網羅されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
異常値の出るメカニズム	河合 忠他 編	医学書院	異常値の出るメカニズムが分かりやすく解説されている。

6 準備学習（予習・復習）

指定教科書を予め読んでおくこと（検査総論，生理検査，血液・生化学検査，一般検査，病理検査，遺伝子検査の頁を3時間程度必要）。

検査医学

7 授業計画

（1） 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/11(木)	1	予備				
2024/4/11(木)	2	臨床検査総論，一般検査	輸血	教授	中山享之	202講
2024/4/11(木)	3	細胞診	病理診断	教授	都築豊徳	202講
2024/4/11(木)	4	遺伝子・染色体検査，フローサイトメトリー	輸血	教授	中山享之	202講
2024/4/11(木)	5	内分泌検査	内内	教授(特任)	高木潤子	202講
2024/4/12(金)	1	輸血検査	—	客員教授	加藤栄史	202講
2024/4/12(金)	2	血液・生化学検査	中検	講師	小川実加	202講
2024/4/12(金)	3	生理検査	—	非常勤講師	竹下享典	202講
2024/4/12(金)	4	予備				
2024/4/12(金)	5	予備				
2024/4/15(月)	1	定期試験	輸血	教授	中山享之	101講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

（2） 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが，講義中，講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（3） 講義の内容

各講義タイトルに準じ，必須内容をレクチャーする。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
中山享之	教授	輸血部	大学病院中央棟2階 中央臨床検査部	毎週月・水・金曜日 16:00～18:00
小川実加	講師	中央臨床検査部	大学病院中央棟2階 中央臨床検査部	毎週月・水・金曜日 16:00～18:00
高木潤子	教授(特任)	内分泌・代謝内科	D棟2階内分泌・代 謝内科医局	毎週月～金曜日 15:00～16:00
都築豊徳	教授	病理診断学講座	大学病院中央棟4階 病理診断科	毎週木・金曜日 17:00～18:30
加藤栄史	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
竹下享典	非常勤講師	埼玉医科大学総合医 療センター 中央臨床 検査部 教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

消 化 器 学

【単位数：4単位，授業52コマ，予備3コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

春日井邦夫 教授(消化管内科)

科目担当者

伊藤 清頭 教授(肝胆膵内科)

佐野 力 教授(消化器外科)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-c, Ⅲ-4-c, Ⅲ-5-c)

- ① 臨床の場において消化器(消化管, 肝・胆・膵)及びこれらに関連する疾患の頻度は高い。コアコンピテンズの“消化器系”の理解のためには, 内科学・外科学の両分野にわたる知識のみならず, 基礎医学で学んだ知識も必要である。本講義のねらいは, 消化器疾患の診断・治療で求められる知識, 技能, 態度を学び, そのことによって“プロフェッショナリズム”の涵養にもつなげる。
- ② 消化器系の正常構造と機能を理解し, 主な消化器系疾患の病因, 病態生理, 症候, 診断と治療を学び説明することができる。

(2) 学修目標

- ① 消化器の解剖と機能について説明できる。
- ② 主要な消化器症候を列挙することができ, 内容を説明できる。
- ③ 主要な消化器疾患の病態を説明でき, 症候と関連付けることができる。
- ④ 腹部領域を中心とする診察法を説明でき, 所見を記述できる。
- ⑤ 消化器診療に必要な各種の臨床検査の概要を説明でき, その意義を述べることができる。
- ⑥ 各種消化器画像検査法の概要を説明でき, 所見を述べることができる。
- ⑦ 消化器疾患の内科的治療法を列挙し, その適応と限界を説明できる。
- ⑧ 消化器疾患の外科的治療法を列挙し, その概要と適応を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	多肢選択問題を原則とし, 一部記述式問題を含む場合がある。
中間テスト	○	20%	消化管, 外科の各分野において終了時に実施する。記述式問題を原則とし, 一部多肢選択問題を含む場合がある。
レポート	○	10%	肝胆膵内科のTBLにおけるレポートを評価する。
態度	○	—	著しく態度不良の場合10点を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

小テスト・レポート(TBL・CBL)が未提出の場合は, 欠席とする。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。不合格者には再試験(定期試験に準ずる)を行う。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験と中間テストの合計が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験や中間テストで正答率の低かった問題、理解が不十分と思われた問題については、学内メールで案内する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
講義前後にAIDLE-Kにアップロードされた資料			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
内科学 第12版	矢崎義男	朝倉書店 2022	消化器疾患を網羅し病態についても詳細に記載されているため。
新臨床内科学 第9版	高久史麿	医学書院	最新の疾患概念と診断・治療をコンパクトにまとめ系統別の総論や症候に関する知識を収録。
内科診断学 第3版	福井次矢, 奈良信雄	医学書院	内科診断学の基本が網羅されている。
イヤートート2024	岡庭 豊 編	メディックメディア	過去の国試で問われた内科外科の知識すべて記載しており、国試で狙われている知識、その範囲が一目でわかる。
カラー版 消化器病学	浅香正博, 管野健太郎, 千葉 勉	西村書店	消化器病学全般がカラーでわかりやすく網羅されている。
標準外科学 第16版	北野正剛, 坂 井義治 監修 田邊 稔, 池 田徳彦, 大木 隆生 編	医学書院 2022	最新の疾患概念と診断手術についてコンパクトにまとめられている。
標準小児外科学 第8版	上野 滋 監修 仁尾正記, 奥山宏臣, 田尻達郎 編	医学書院 2022	小児外科についての標準的な教科書。

6 準備学習(予習・復習)

- ① 授業に臨むに当たり、参考図書のどれかを選んで、講義タイトルについて簡単な知識を得ておくこと(約15分)。
- ② 上記の中で、興味を抱いた項目については参考図書の記載内容を読んでおく(約0.5時間)。
- ③ 講義前後にAIDLE-Kにアップロードされた資料や小テストについて復習し、以降の講義に臨むこと(約0.5時間)。

消化器学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/17(火)	1	食道良性疾患の診断と治療	消内	教授	春日井邦夫	202 講
2024/9/17(火)	2	食道悪性疾患の診断と内科治療	消内	教授	春日井邦夫	202 講
2024/9/17(火)	3	脳腸相関と消化器疾患	—	客員教授	金子 宏	202 講
2024/9/17(火)	4	【JS 垂直】消化管の解剖生理	解剖学	教授	内藤宗和	202 講
2024/9/17(火)	5	【JS 垂直】消化器系の臨床解剖	解剖学	教授	内藤宗和	202 講
2024/9/19(木)	1	【JS 垂直】上部消化管の病理	病理学	講師	中村律子	202 講
2024/9/19(木)	2	【JS 垂直】下部消化管の病理	病理学	講師	中村律子	202 講
2024/9/19(木)	3	小腸疾患と血管閉塞性腸疾患	消内	教授(特任)	小笠原尚高	202 講
2024/9/19(木)	4	機能的消化管障害	メディカルC	教授(特任)	舟木 康	202 講
2024/9/19(木)	5	内視鏡総論	消内	准教授	海老正秀	202 講
2024/9/20(金)	1	【JS 水平】食道運動障害の基礎と臨床	解剖学 生理学 消内 消内	教授 教授 教授(特任) 講師	内藤宗和 佐藤元彦 小笠原尚高 井澤晋也	202 講
2024/9/20(金)	2	AGML, 消化性潰瘍	消内	教授(特任)	小笠原尚高	202 講
2024/9/20(金)	3	慢性胃炎, ヘリコバクターピロリ感染症	消内	教授(特任)	小笠原尚高	202 講
2024/9/20(金)	4	炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎, Crohn 病)	消内	教授(特任)	佐々木誠人	202 講
2024/9/20(金)	5	【JS 水平】炎症性腸疾患の臨床	消内 消外 病理診断	教授(特任) 助教 教授	佐々木誠人 國友愛奈 都築豊徳	202 講
2024/9/24(火)	1	胃腫瘍(良性・悪性)	消内	教授	春日井邦夫	202 講
2024/9/24(火)	2	大腸腫瘍(良性・悪性)	消内	教授	春日井邦夫	202 講
2024/9/24(火)	3	消化管疾患の内視鏡的診断・治療	消内	教授	春日井邦夫	202 講
2024/9/24(火)	4	大腸ポリープ・消化管ポリープ	消内	教授(特任)	佐々木誠人	202 講
2024/9/24(火)	5	感染性腸炎の病態と治療	消内	講師	田村泰弘	202 講
2024/9/26(木)	1	【AL】CBL	消内	教授(特任)	小笠原尚高	101 講
2024/9/26(木)	2					
2024/9/26(木)	3	中間テスト(消化管内科)	消内	教授	春日井邦夫	101 講
2024/9/26(木)	4	肝・胆・膵疾患総論	肝胆膵	教授	伊藤清顕	202 講
2024/9/26(木)	5	胆膵系検査手技	肝胆膵	准教授	井上匡央	202 講
2024/9/27(金)	1	肝機能検査	肝胆膵	助教	坂本和賢	202 講
2024/9/27(金)	2	胆石症, 胆嚢炎, 胆嚢ポリープ	肝胆膵	助教	北野礼奈	202 講
2024/9/27(金)	3	胆道系悪性腫瘍	肝胆膵	助教	北野礼奈	202 講
2024/9/27(金)	4	急性・慢性膵炎	肝胆膵	准教授	井上匡央	202 講
2024/9/27(金)	5	膵腫瘍(良性・悪性疾患)・嚢胞性疾患・膵内 分泌腫瘍	肝胆膵	准教授	井上匡央	202 講

消化器学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/30(月)	1	ウイルス性肝炎(A・B・C など), 急性肝不全 (ウイルス・薬剤など)	肝胆膵	教授	伊藤清顕	202 講
2024/9/30(月)	2	慢性肝炎(B型, C型など)	肝胆膵	教授	伊藤清顕	202 講
2024/9/30(月)	3	肝硬変・肝不全(含, 門亢症, 肝性脳症)肝 膿瘍などの肝感染症	肝胆膵	助教	坂本和賢	202 講
2024/9/30(月)	4	肝腫瘍(良性・悪性)	肝胆膵	准教授(特任)	荒井 潤	202 講
2024/9/30(月)	5	【JS 水平】肝炎の臨床と病理像	肝胆膵 病理学	教授 助教	伊藤清顕 陸 美穂	202 講
2024/10/1(火)	1	自己免疫性肝疾患(含, PBC), 薬物性肝障 害, 硬化性胆管炎(PSC, IgG4 関連疾患)	肝胆膵	准教授(特任)	荒井 潤	202 講
2024/10/1(火)	2	非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)とア ルコール性肝障害	肝胆膵	准教授(特任)	荒井 潤	202 講
2024/10/1(火)	3	予備				
2024/10/1(火)	4	【AL】TBL(レポート提出あり)	肝胆膵	教授	伊藤清顕	101 講
2024/10/1(火)	5					
2024/10/3(木)	1	【JS 水平】新生児～学童期の小児外科疾患	消外	教授(特任)	金子健一郎	202 講
2024/10/3(木)	2	【JS 水平】胃疾患の外科, 胃切除後症候群 (含, 後遺症)	消外	助教	篠原健太郎	202 講
2024/10/3(木)	3	【JS 水平】食道疾患の外科	—	客員教授	宮地正彦	202 講
2024/10/3(木)	4	【JS 水平】肝疾患の外科	消外	准教授(特任)	深見保之	202 講
2024/10/3(木)	5	【JS 水平】膵疾患の外科	消外	准教授(特任)	深見保之	202 講
2024/10/4(金)	1	【JS 水平】消化器疾患の画像と術式選択(肝 胆膵)	消外	助教	大澤高陽	202 講
2024/10/4(金)	2	【JS 水平】小腸・大腸疾患の外科	消外	助教	國友愛奈	202 講
2024/10/4(金)	3	【JS 水平】肛門疾患	—	非常勤講師	三枝純一	202 講
2024/10/4(金)	4	【JS 水平】胆道疾患の外科	消外	教授	佐野 力	202 講
2024/10/4(金)	5	予備				
2024/10/7(月)	1	【JS 水平】消化器疾患の画像と術式選択(消 化管)	消外	助教	松村卓樹	202 講
2024/10/7(月)	2	【JS 水平】イレウス, ヘルニア, 腹壁疾患など	消外	准教授(特任)	齊藤卓也	202 講
2024/10/7(月)	3	【JS 水平】消化器画像診断のための局所解剖	消外	教授(特任)	金子健一郎	202 講
2024/10/7(月)	4	予備				
2024/10/7(月)	5	中間テスト(消化器外科)	消外	教授	佐野 力	101 講
2024/10/8(火)	1	自習				
2024/10/8(火)	2	自習				
2024/10/8(火)	3	自習				
2024/10/8(火)	4	自習				
2024/10/8(火)	5	定期試験	消内	教授	春日井邦夫	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、中間テスト・小テストの他、CBLやTBLなどによる小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

1コマ目に総論として消化器学に関するキーワードを解説し、2コマ目以降は、講義タイトルに沿ったそれぞれの症候、病態、治療などの概略理解を進めていく。それぞれの分野の講義の最後には中間テストにより知識の確認を行う。また、適時、TBL・CBLによるアクティブ・ラーニングを実施する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
春日井邦夫	教授	内科学講座 消化管内科	D棟 消化器内科医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
佐々木誠人	教授(特任)	内科学講座 消化管内科	D棟 消化器内科医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
小笠原尚高	教授(特任)	内科学講座 消化管内科	D棟 消化器内科医局	通常:月・水～金曜日 16:00～18:00
海老正秀	准教授	内科学講座 消化管内科	D棟 消化器内科医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
井澤晋也	講師	内科学講座 消化管内科	D棟 消化器内科医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
田村泰弘	講師	内科学講座 消化管内科	D棟 消化器内科医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
伊藤清頭	教授	内科学講座 肝胆膵内科	D棟 消化器内科医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
井上匡央	准教授	内科学講座 肝胆膵内科	D棟 消化器内科医局	水曜日 17:00～18:00
荒井 潤	准教授(特任)	内科学講座 肝胆膵内科	D棟 消化器内科医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
坂本和賢	助教	内科学講座 肝胆膵内科	D棟 消化器内科医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
北野礼奈	助教	内科学講座 肝胆膵内科	D棟 消化器内科医局	通常:月～木曜日 16:00～18:00
佐野 力	教授	外科学講座 消化器外科	C棟11階 外科学講座医局	通常:火～金曜日 16:00～18:00
金子健一朗	教授(特任)	外科学講座 消化器外科	C棟11階 外科学講座医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
深見保之	准教授(特任)	外科学講座 消化器外科	C棟11階 外科学講座医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
齊藤卓也	准教授(特任)	外科学講座 消化器外科	C棟11階 外科学講座医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
松村卓樹	助教	外科学講座 消化器外科	C棟11階 外科学講座医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
篠原健太郎	助教	外科学講座 消化器外科	C棟11階 外科学講座医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
國友愛奈	助教	外科学講座 消化器外科	C棟11階 外科学講座医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
大澤高陽	助教	外科学講座 消化器外科	C棟11階 外科学講座医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
内藤宗和	教授	解剖学講座	2号館 研究棟254号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
佐藤元彦	教授	生理学講座	2号館 研究棟274号室	毎週月・水曜日 17:00～19:00
中村律子	講師	病理学講座	2号館 研究棟261号室	毎週月・火・木曜日 10:00～17:00
陸 美穂	助教	病理学講座	2号館 研究棟260号室	毎週月・火・水曜日 10:00～17:00
都築豊徳	教授	病理診断学	大学病院中央棟4階 病院病理部内	毎週木・金曜日 15:00～18:00
舟木 康	教授(特任)	メディカルセンター	D棟 消化器内科医局	講義終了後 講義室にて
金子 宏	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
宮地正彦	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
三枝純一	非常勤講師	医療法人社団俊雄 会	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

循 環 器 学

【単位数：2.5単位，授業38コマ，予備5コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

天野哲也 教授(循環器内科)

科目担当者

松山克彦 教授(心臓外科)

児玉章朗 教授(血管外科)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-a)

- ① 卒業時能力達成基準，コンピテンス：医学知識と科学的探究心のコンピテンシー：4. 疾患の病態と症候を説明でき，その鑑別と診断を計画できる。
- ② 循環器(心血管)系の構造と機能を理解し，疾患の適切な治療，最新の治療を理解し説明できる。

(2) 学修目標

- ① 主要な循環器系症候をあげ，それを説明できる。
- ② 心不全の原因疾患と病態生理を説明できる。
- ③ 虚血性心疾患の病態生理，症候，診断と合併症を説明し，治療を概説できる。
- ④ 不整脈の診断，対処法を説明できる。
- ⑤ 動脈・静脈疾患の病態を理解し，適切な治療法を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	多肢選択問題
小テスト	○	10%	アクティブ・ラーニングの際に多肢選択問題の小テストを実施する。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は，10点を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験で60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。ただし，再試験並びに追試験では記述式の場合がある。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

試験で正解率，識別指数が著しく不良な問題は解説を公開する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
配付資料			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ハリソン内科学 第5版	日本語版 監修 福井次矢, 黒川 清	メディカル・サイ エンス・イン ターナシヨナ ル	内科学のスタンダードとして過不足なく 良質。

6 準備学習（予習・復習）

内科は小テストを行うので必ず予習をする。アウトラインの分かりやすい参考書でもかまわないので各項目を勉強しておくこと(約2時間)。

循環器学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/15(月)	3	心臓血管の構造と機能	循内	教授(特任)	安藤博彦	202 講
2024/4/15(月)	4	循環器総論	循内	教授	天野哲也	202 講
2024/4/15(月)	5	【JS 垂直】循環生理の基礎	生理学	教授	佐藤元彦	202 講
2024/4/16(火)	1	心不全各論(心筋症,心筋炎,心膜疾患等)	循内	准教授(特任)	向井健太郎	202 講
2024/4/16(火)	2					
2024/4/16(火)	3	心不全治療(非薬物療法,心移植)	循内	講師	国村彩子	202 講
2024/4/16(火)	4	心不全治療(薬物療法)	循内	講師	後藤礼司	202 講
2024/4/16(火)	5	【JS 水平】大動脈疾患の治療	心外	准教授	綿貫博隆	202 講
2024/4/18(木)	1	【JS 水平】虚血性心疾患の外科治療	心外	講師	杉山佳代	202 講
2024/4/18(木)	2	心エコー, 弁膜症	循内	助教	藤本匡伸	202 講
2024/4/18(木)	3	【JS 水平】弁膜症の外科療法	心外	講師	栃井将人	202 講
2024/4/18(木)	4	【JS 水平】大動脈弁狭窄症	循内 心外	教授 教授	天野哲也 松山克彦	202 講
2024/4/18(木)	5	【JS 水平】静脈リンパ管疾患	—	客員教授	岩田博英	202 講
2024/4/19(金)	1	【JS 水平】腹部大動脈瘤と大動脈炎症候群	血外	准教授	折本有貴	202 講
2024/4/19(金)	2	肺塞栓	循内	助教	沢田博章	202 講
2024/4/19(金)	3	【JS 垂直】抗血栓薬	薬理学	助教	藤川 誠	202 講
2024/4/19(金)	4	心電図	循内	教授(特任)	鈴木靖司	202 講
2024/4/19(金)	5	【JS 水平】先天性心疾患の外科治療	心外	教授	松山克彦	202 講
2024/4/22(月)	1	血圧異常(本態性,二次性,低血圧等)	循内	講師	鈴木昭博	202 講
2024/4/22(月)	2	動脈硬化疾患の病態生理	—	客員教授	川崎雅規	202 講
2024/4/22(月)	3	心不全の病態生理	—	客員教授	川崎雅規	202 講
2024/4/22(月)	4	不整脈(診断)	循内	教授(特任)	鈴木靖司	202 講
2024/4/22(月)	5	不整脈(治療)	循内	講師	内藤千裕	202 講
2024/4/23(火)	1	【JS 垂直】降圧薬	薬理学	教授	丸山健太	202 講
2024/4/23(火)	2	虚血性心疾患(診断・薬物治療)	循内	助教	大橋寛史	202 講

循環器学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/23(火)	3	虚血性心疾患	循内	教授	天野哲也	202 講
2024/4/23(火)	4	虚血性心疾患診断 -冠動脈 CT, FFR-	—	客員教授	松尾仁司	202 講
2024/4/23(火)	5	心臓核医学検査	—	客員教授	磯部 智	202 講
2024/4/25(木)	1	【JS 水平】急性動脈閉塞と特殊な動脈疾患	血外	講師	丸山優貴	202 講
2024/4/25(木)	2	【JS 水平】末梢動脈疾患	血外	准教授	児玉章朗	202 講
2024/4/25(木)	3	これからどうなる？医療 DX	—	客員教授	植谷忠之	202 講
2024/4/25(木)	4	【JS 垂直】脂質異常治療薬	薬理学	助教	藤川 誠	202 講
2024/4/25(木)	5	【JS 水平】大動脈解離	心外 血外 放科線	教授 教授 教授	松山克彦 児玉章朗 鈴木耕次郎	202 講
2024/4/26(金)	1	【AL】アクティブ・ラーニング 小テスト	循内	准教授	櫻井慎一郎	202 講
2024/4/26(金)	2	【AL】アクティブ・ラーニング ・症候学身体所見総論, 心不全 ・各自問題の解説作成, 質疑応答	循内	准教授	櫻井慎一郎	202 講
2024/4/26(金)	3					
2024/4/26(金)	4	【JS 垂直】心筋疾患の病理	病理学	助教	陸 美穂	202 講
2024/4/26(金)	5	睡眠時無呼吸症候群	睡眠	教授(特任)	篠邊龍二郎	202 講
2024/4/30(火)	1	予備				
2024/4/30(火)	2	予備				
2024/4/30(火)	3	予備				
2024/4/30(火)	4	予備				
2024/4/30(火)	5	予備				
2024/5/2(木)	1	自習				
2024/5/2(木)	2	自習				
2024/5/2(木)	3	自習				
2024/5/2(木)	4	自習				
2024/5/2(木)	5	定期試験	循内	教授	天野哲也	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に講義室での知識伝達型の講義であるが、内科は一部、講義室で小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを行う。

血管外科は通常の講義方式。

(3) 講義の内容

アクティブ・ラーニングの内容は、

- 1 初めに小テストを行う。小テスト中は電子媒体通信機器の使用は禁止とする。他人の答えを覗くことはもちろん禁止。
- 2 小テストの問題を自己で学習する。解答の理由づけに重きを置いて広く深く学習する。不正解の解答選択肢についても学習する。
- 3 少人数グループを編成しグループ内でそれぞれが問題の解説をする。グループ内で質疑応答をし、問題理解の質を向上する。
- 4 学年全体で質疑応答をする。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー	
天野哲也	教授	内科学講座 循環器内科	D棟3階教授室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00	
安藤博彦	教授(特任)		D棟2階 循環器内科医局		毎週月・木・金曜日 15:00～16:00
鈴木靖司	教授(特任)				毎週月・木・金曜日 15:00～16:00
櫻井慎一郎	准教授				毎週水・金曜日 15:00～17:00
向井健太郎	准教授(特任)				毎週水・木曜日 15:00～17:00
国村彩子	講師				毎週木・金曜日 15:00～16:00
後藤礼司	講師				毎週木曜日 16:00～17:00
鈴木昭博	講師				毎週火・水曜日 15:00～16:00
内藤千裕	講師				毎週月・木曜日 16:00～17:00
大橋寛史	助教				毎週木曜日 14:00～17:00
沢田博章	助教				毎週金曜日 16:00～17:00
藤本匡伸	助教				毎週火・木曜日 9:00～17:00
佐藤元彦	教授	生理学講座		2号館 研究棟274号室	毎週月・水曜日 17:00～19:00
丸山健太	教授	薬理学講座	D棟3階教授室	毎週月曜日 18:00～19:00	
藤川 誠	助教		2号館 研究棟359号室	毎週月曜日 18:00～19:00	
陸 美穂	助教	病理学講座	2号館 研究棟260号室	毎週火・水・木曜日 10:00～17:00	

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
松山克彦	教授	外科学講座 心臓外科	C棟11階医局	毎週月～金曜日 9:00～17:00
綿貫博隆	准教授			
杉山佳代	講師			
柄井将人	講師			
児玉章朗	教授	外科学講座 血管外科	C棟11階医局	毎週月・水・金曜日 9:00～17:00
折本有貴	准教授			
丸山優貴	講師			
鈴木耕次郎	教授	放射線科	大学病院中央棟 1階読影室	毎週水・金曜日 15:00～17:00
篠邊龍二郎	教授(特任)	睡眠科	C棟5階医局	毎週水曜日 13:00～17:00
磯部 智	非常勤講師	磯部内科クリニック院長 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて
岩田博英	非常勤講師	いわた血管外科 クリニック院長 愛知医科大学客員教授	—	
植谷忠之	非常勤講師	植谷医院院長 愛知医科大学客員教授	—	
川崎雅規	非常勤講師	中部国際医療センター 非常勤医師 岐阜大学客員教授 愛知医科大学客員教授	—	
松尾仁司	非常勤講師	岐阜ハートセンター院長 愛知医科大学客員教授	—	

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

呼吸器・アレルギー学

【単位数：1.5単位，授業25コマ，予備5コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

伊藤 理 教授（呼吸器・アレルギー内科）

科目担当者

福井高幸 教授（呼吸器外科）

2 教育目標

（1） ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

- ① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の中で，呼吸器疾患の原因，病態，症候，検査所見を説明でき，その鑑別診断を計画し，基本的治療法を説明することができるように，主要な呼吸器疾患の概要を系統的に学修する。
- ② 高齢者に多い呼吸器疾患の特性に鑑み，慢性疾患・高齢者医療の実践につながる知識を習得するとともに，診療技能のうち特に適切な検査を選択し，その結果を正しく解釈することを通して，クリニカル・クラークシップで応用できるよう準備をする。

（2） 学修目標

- ① 肺，気道，縦隔，胸壁の構造を理解し，ガス交換の原理と呼吸機能検査の解釈を踏まえて，急性ないし慢性呼吸不全への対処法を説明できる。
- ② 一般細菌，抗酸菌，真菌，ウイルス等による感染症の伝染様式を踏まえた予防法，病像と診断法及び治療薬について説明できる。
- ③ 気管支喘息，慢性閉塞性肺疾患，その他の慢性気道疾患の病態と，類似点及び相違点を知り，診断法と治療法を対比的に説明できる。
- ④ 特発性間質性肺炎や膠原病，血管炎，薬剤や放射線などによる間質性肺炎の病理像と特徴的病態，画像所見を知り，治療法について説明できる。
- ⑤ サルコイドーシスや過敏性肺炎など肉芽腫性肺疾患の病態や画像所見の特徴を知り，診断と治療法を説明できる。
- ⑥ 肺癌など呼吸器系腫瘍の発生要因，疫学，画像所見，病期判定法などを知り，診断法と肺癌遺伝子変異等に基づいた適切な抗癌剤及び免疫チェックポイント阻害薬の選択や，外科療法，放射線療法の適応基準を説明できる。さらにそれぞれの治療法の成績・予後についても説明できる。
- ⑦ 胸膜，縦隔の腫瘍性及び非腫瘍性疾患の発生要因や，画像所見と診断法及び抗癌剤の選択や外科療法の概略を説明できる。
- ⑧ 膿胸，非結核性抗酸菌症や菌球症など感染性肺疾患の外科療法の適応について説明できる。
- ⑨ 肺循環の仕組みを理解し，肺高血圧や血栓，腫瘍による塞栓症の発症病態と画像所見及び治療法を説明できる。
- ⑩ 塵肺の疫学，病態，画像所見を知り，予防法と合併症治療法及び関連補償制度の概略を説明できる。
- ⑪ 肺胞蛋白症やリンパ脈管筋腫症，ランゲルハンス細胞組織球症，びまん性肺胞出血を来す疾患など，希少肺疾患の病態について概略を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	コメント
定期試験	○	90%	呼吸器・アレルギー内科と呼吸器外科合同の試験とする。医師国家試験に準じた多肢選択問題。
小テスト・レポート	○	10%	講義に関する小テスト・レポートを行う。
態度	○	—	授業態度不良の場合には定期試験成績からその程度に応じて最大で得点率10%減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験、小テストの合計が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験後、正解率が低い問題については簡単な解説をAIDLE-Kに掲載する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
講義資料配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
呼吸器外科テキスト	日本呼吸器外科学会	南江堂	呼吸器外科全般について詳細に記載されている。
肺癌診療ガイドライン2023年版	日本肺癌学会	オンライン版	変化の著しい肺癌の最新治療法が示されている。
特発性間質性肺炎－診断と治療の手引き2022(改定第4版)	日本呼吸器学会	南江堂	最新の診断・治療法が示されている。
喘息予防・管理ガイドライン2021	日本アレルギー学会	協和企画	最新の診断・管理法が示されている。
COPD 診断と治療のためのガイドライン2022	日本呼吸器学会	メディカルレビュー	最新の診断・治療法が示されている。
膠原病に伴う間質性肺疾患－診断・治療指針 2020	日本呼吸器学会・日本リウマチ学会	メディカルレビュー	最新の診断・治療法が示されている。

6 準備学習(予習・復習)

本シラバスの講義予定に従い、内科・外科の教科書で各疾患の概略を予習しておくことが望ましい(0.5時間)。特に各疾患の画像所見は意識して見ておくこと。復習は少なくとも講義同等の時間(約1時間)は必要である。

呼吸器・アレルギー学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/18(火)	1	呼吸器疾患総論,呼吸機能検査	呼内	教授	伊藤 理	202 講
2024/6/18(火)	2	肺抗酸菌症	—	客員教授	小川賢二	202 講
2024/6/18(火)	3	細菌性肺炎,ウイルス性肺炎	呼内	准教授	田中博之	202 講
2024/6/18(火)	4	【JS 垂直】ガス交換の原理,酸塩基平衡	生理学	教授	佐藤元彦	202 講
2024/6/18(火)	5	肺真菌症,ニューモシスチス肺炎	呼内	教授	伊藤 理	202 講
2024/6/20(木)	1	呼吸不全,酸素療法,人工呼吸器療法, ARDS	呼内	教授	伊藤 理	202 講
2024/6/20(木)	2	慢性閉塞性肺疾患(COPD),じん肺	呼内	教授	伊藤 理	202 講
2024/6/20(木)	3	特発性間質性肺炎	呼内	助教	片野拓馬	202 講
2024/6/20(木)	4	自己免疫性疾患・薬剤・放射線治療に伴う 肺病変	呼内	助教	片野拓馬	202 講
2024/6/20(木)	5	胸膜炎,胸水	呼内	准教授	田中博之	202 講
2024/6/25(火)	1	【JS 垂直】肺,縦隔,胸膜腫瘍の病理	病理学	教授	笠井謙次	202 講
2024/6/25(火)	2	【JS 水平】縦隔・胸膜疾患の外科治療	—	客員教授	矢野智紀	202 講
2024/6/25(火)	3	肺血栓塞栓症,肺高血圧症	医学教育C	講師	河合聖子	202 講
2024/6/25(火)	4	気管支喘息,好酸球性肺炎	メディカルC	特命教授	馬場研二	202 講
2024/6/25(火)	5	気管支拡張症,慢性気道疾患	メディカルC	特命教授	馬場研二	202 講
2024/6/27(木)	1	【JS 水平】肺癌の外科治療	呼外	教授	福井高幸	202 講
2024/6/27(木)	2	【JS 水平】低侵襲手術,悪性胸膜中皮腫, 良性腫瘍の外科治療	呼外	教授	福井高幸	202 講
2024/6/27(木)	3	呼吸器内視鏡学	呼内	助教	荻須智之	202 講
2024/6/27(木)	4	肉芽腫性肺疾患・サルコイドーシス	—	非常勤講師 (名誉教授)	山口悦郎	202 講
2024/6/27(木)	5	希少肺疾患・肺胞蛋白症	—	非常勤講師 (名誉教授)	山口悦郎	202 講
2024/6/28(金)	1	【JS 水平】外傷,血胸,膿胸,気胸	呼外 呼内	准教授(特任) 助教	尾関直樹 米澤利幸	202 講
2024/6/28(金)	2	肺癌の診断,薬物療法,放射線療法	腫内	教授	久保昭仁	202 講
2024/6/28(金)	3	縦隔及び胸膜腫瘍の薬物療法	腫内	教授	久保昭仁	202 講
2024/6/28(金)	4	【AL】TBL(新型コロナウイルス感染症と後遺 症の治療管理の変遷)	メディカルC 呼内	特命教授 准教授	馬場研二 田中博之	202 講
2024/6/28(金)	5	【AL】TBL(呼吸器アレルギー疾患の話題)	呼内	教授	伊藤 理	202 講

呼吸器・アレルギー学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/1(月)	1	予備				
2024/7/1(月)	2	予備				
2024/7/1(月)	3	予備				
2024/7/1(月)	4	予備				
2024/7/1(月)	5	予備				
2024/7/2(火)	1	自習				
2024/7/2(火)	2	自習				
2024/7/2(火)	3	定期試験	呼内	教授	伊藤 理	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的には講義形式で行うが、一部で提示画像の診断に関するTBL及びALも実施する。

(3) 講義の内容

配付資料に従って講義を進める。呼吸器疾患に関して重要な生理学及び病理学については、再確認の意味で基礎医学の講義と一部重複する。講義は呼吸生理、呼吸不全、感染症、アレルギー疾患、肺・胸膜腫瘍、間質性肺疾患・自己免疫疾患、希少肺疾患を網羅する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
伊藤 理	教授	呼吸器・アレルギー 内科	D棟3階教授室	毎週水曜日 16:00～17:00
田中博之	准教授	呼吸器・アレルギー 内科	D棟2階医局	毎週月曜日 16:00～17:00
片野拓馬	助教	呼吸器・アレルギー 内科	D棟2階医局	毎週月曜日 16:00～17:00
米澤利幸	助教	呼吸器・アレルギー 内科	D棟2階医局	毎週月曜日 16:00～17:00
荻須智之	助教	呼吸器・アレルギー 内科	D棟2階医局	毎週月曜日 16:00～17:00
佐藤元彦	教授	生理学講座	2号館 研究棟274号室	毎週月・水曜日 17:00～19:00
笠井謙次	教授	病理学講座	2号館 研究棟265号室	毎週火・水曜日 10:00～17:00
福井高幸	教授	呼吸器外科	C棟7階教授室	毎週火曜日 15:00～17:00
尾関直樹	准教授(特任)	呼吸器外科	C棟11階医局	毎週木曜日 16:00～17:00
久保昭仁	教授	臨床腫瘍センター (腫瘍内科部門)	C棟7階教授室	毎週木曜日 16:00～17:00
馬場研二	特命教授	メディカルセンター	—	講義終了後 講義室にて
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上 対応可
山口悦郎	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授	—	講義終了後 講義室にて
小川賢二	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授 国立東名古屋病院 顧問	—	講義終了後 講義室にて
矢野智紀	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

内分泌・代謝・糖尿病学

【単位数：1.5単位，授業23コマ，予備2コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

神谷英紀 教授(糖尿病内科)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b)

- ① 糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患に関する医学知識と診療技能の習得に加え，疾患の病態生理に対する科学的探究心を育成する。
- ② 全身におけるホルモンや代謝の病態生理を把握する為，疾患特異的な身体所見と各種検査結果を適切に判断し，その病態生理に基づいた治療計画を的確に立案できることを修得する。

(2) 学修目標

- ① 糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患に対して，身体症状から疾患を推測し，適切な検査を計画し，診断できることを修得する。
- ② 糖尿病を症状・症候から推測できる。
- ③ 糖尿病の機能検査と評価ができる。
- ④ 内分泌代謝疾患を症状・症候から推測できる。
- ⑤ 内分泌疾患のホルモン分泌異常に対して適切な機能検査ができる。
- ⑥ 内分泌疾患の各臓器の画像診断ができる。
- ⑦ 乳腺・甲状腺・副甲状腺・副腎疾患の診断と適切な外科治療を考えることができる。
- ⑧ 糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患の治療を看護師等の他の医療関係者と協調して実行できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患を理解しているか判定するため，定められた定期試験日に筆記試験を行う。 記述式を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は，10点を限度に減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 総合成績の合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法と合格基準

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

- 定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。
- これにより理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
内科学 12版	矢崎義雄(監修)	朝倉書店	内科学を全般的に網羅している。
糖尿病学	門脇 孝(監修)	西村書店	糖尿病全般の基礎・臨床の知見がまとめられている。
内分泌症候群(第三版) I・II	柳瀬俊彦(監修)	日本臨牀	内分泌疾患全般が詳細にまとめられている。
こんな時どうすれば!? 内分泌・脂質・尿酸コンサルタント	深川雅史(監修)	金芳堂	各種内分泌疾患のポイントがわかりやすくまとめられている。
乳癌手術 ビジュアルテキスト	福富隆志(監修)	中外医学社	癌手術手技に関して詳細にまとめられている。
わかりやすい外科学	馬場秀夫(編集)	文光堂	乳腺・内分泌外科疾患全般の知識をブラッシュアップできる。

6 準備学習(予習・復習)

- 日本の内科学における代表的教科書として朝倉書店の「内科学」などを用いて、講義の予習復習を行い知識の整理を行う(約1.5時間)。
- 糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患の各分野のチーム基盤型学習法を行う際には事前に配付資料などを用いて各分野の全体の内容を予習復習する(約1時間)。
- 糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患の各分野に関する最新論文を紹介し、興味を惹いた論文に関して講義後にディスカッションの機会を設ける(約0.5時間)。
- 各講義で配付された資料を講義後に内容を再確認し、2コマ目以降の講義に臨む(約1時間)。

内分泌・代謝・糖尿病学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/10(木)	1	内分泌代謝学総論	内内	教授(特任)	高木潤子	202 講
2024/10/10(木)	2	下垂体前葉機能亢進症	—	非常勤講師 (名誉教授)	大竹千生	202 講
2024/10/10(木)	3	下垂体前葉機能低下症	—	非常勤講師 (名誉教授)	大竹千生	202 講
2024/10/10(木)	4	下垂体後葉 尿崩症, ADH 不適切分泌症候群	内内	教授(特任)	高木潤子	202 講
2024/10/10(木)	5	遺伝性内分泌代謝疾患 多発性内分泌腫瘍症, 受容体異常症	内内	教授(特任)	高木潤子	202 講
2024/10/11(金)	1	甲状腺 機能亢進症・低下症, 腫瘍	内内	助教	平瀬 翔	202 講
2024/10/11(金)	2	【JS 水平】甲状腺疾患の外科治療	乳内外	教授	中野正吾	202 講
2024/10/11(金)	3	副腎 機能亢進症・低下症, 腫瘍	—	非常勤講師	森田博之	202 講
2024/10/11(金)	4	予備				
2024/10/11(金)	5	【JS 水平】副腎疾患の外科治療	乳内外	准教授	藤井公人	202 講
2024/10/15(火)	1	副甲状腺 機能亢進症・低下症, 腫瘍	内内	助教	野村由佳	202 講
2024/10/15(火)	2	【JS 水平】副甲状腺疾患の外科治療	—	非常勤講師	宮 章博	202 講
2024/10/15(火)	3	【JS 垂直】内分泌薬理学各論:骨粗鬆症治療薬	薬理学	教授	丸山健太	202 講
2024/10/15(火)	4	糖尿病の病態と検査・診断	糖内	教授	神谷英紀	202 講
2024/10/15(火)	5	糖尿病合併症	糖内	准教授	姫野龍仁	202 講
2024/10/17(木)	1	糖尿病の治療	糖内	講師	森下啓明	202 講
2024/10/17(木)	2	骨代謝 骨粗鬆症	—	非常勤講師	鈴木敦詞	202 講
2024/10/18(金)	3	糖尿病の食事運動療法, 肥満症治療	糖内	講師	近藤正樹	202 講
2024/10/18(金)	4	【AL】糖尿病内科 TBL 用自習	糖内	医員助教	速水智英	202 講
2024/10/18(金)	5	【AL】糖尿病内科 TBL	糖内	医員助教	速水智英	202 講
2024/10/21(月)	1	【JS 垂直】乳腺疾患を理解するための解剖学, 発生学, 生理学及び病理学総論的知識, 乳腺の非腫瘍性及び腫瘍性疾患と病理・細胞 診断	病理学	助教	睦 美穂	202 講
2024/10/21(月)	2	【JS 水平】乳腺疾患の診断・治療	—	非常勤講師	毛利有佳子	202 講
2024/10/21(月)	3	予備				
2024/10/21(月)	4	【AL】乳腺内分泌外科 TBL 用自習	乳内外	教授	中野正吾	202 講
2024/10/21(月)	5	【AL】乳腺内分泌外科 TBL	乳内外	教授	中野正吾	202 講

内分泌・代謝・糖尿病学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/22(火)	1	自習				
2024/10/22(火)	2	自習				
2024/10/22(火)	3	自習				
2024/10/22(火)	4	自習				
2024/10/22(火)	5	定期試験	糖内	教授	神谷英紀	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である

(2) 講義の方法

基本は糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患に関する座学による講義を主体とする。

(3) 講義の内容

糖尿病・内分泌代謝疾患・乳腺疾患の分野における総論から疾患の各論を可能な限り詳細に1コマの講義内で説明し、病態診断から治療までを一連の流れで学習できるようにする。また、疾患の各論を学ぶことにより当分野の疾患が互いに連関することを学習し、全身におけるホルモンや代謝のメカニズムを細胞レベルから把握する能力を修得する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
神谷英紀	教授	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階教授室	毎週火曜日 9:00～12:00 毎週木・金曜日 14:00～17:00
近藤正樹	講師	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週月曜日 16:00～18:00 毎週火曜日 15:00～17:00
姫野龍仁	講師	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週火曜日 15:00～17:00
森下啓明	講師	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週火曜日 15:00～17:00
速水智英	助教	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週火曜日 15:00～17:00
高木潤子	教授(特任)	内科学講座 内分泌・代謝内科	D棟2階医局	毎週金曜日 15:00～16:30
野村由佳	助教	内科学講座 内分泌・代謝内科	D棟2階医局	毎週金曜日 15:00～16:30
平瀬 翔	助教	内科学講座 内分泌・代謝内科	D棟2階医局	毎週金曜日 15:00～16:30
丸山健太	教授	薬理学講座	2号館 研究棟357号室	毎週火・金曜日 15:00～18:00
陸 美穂	助教	病理学	2号館 研究棟260号室	毎週火～木曜日 10:00～17:00
中野正吾	教授	外科学講座 乳腺・内分泌外科	C棟8階教授研究室	毎週火・金曜日 17:00～18:00
藤井公人	准教授	外科学講座 乳腺・内分泌外科	C棟11階外科医局	毎週月・金曜日 17:00～18:00
大竹千生	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授	—	講義終了後 講義室にて
鈴木敦詞	非常勤講師	藤田医科大学 教授 内分泌・代謝・糖尿病内 科	—	講義終了後 講義室にて
森田博之	非常勤講師	愛知医科大学病院 (内分泌・代謝内科)	—	講義終了後 講義室にて
毛利有佳子	非常勤講師	愛知医科大学病院 乳腺・内分泌外科 非常勤医師	—	講義終了後 講義室にて
宮 章博	非常勤講師	限病院 副院長	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

脳・神経学

【神経内科学 単位数：1単位，授業18コマ，予備2コマ(定期試験含まず)】
【脳神経外科学 単位数：1単位，授業16コマ，予備4コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

道勇 学 教授(神経内科)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b)

神経内科学・脳神経外科学共通：

- ① コンピテンス“医学知識と科学的探究心”の獲得を学修の本流として，神経内科領域で求められる知識，技能，態度を修得する。この学びを通して広い学修視野を持ち，包括的に他のコンピテンス涵養にもつなげる。
- ② 脳・神経系の構造並びに系統的機能を理解し，主な神経系疾患の病因，病態生理，症候，診断，基本的治療を縦断的に学ぶ。その学修過程において，これまで症候学・臨床診断学で修得した横断的知識との融合を図り，幅広く柔軟な，客観的事実・根拠に基づく論理的思考の獲得に務める自律的学習態度を身につける。
- ③ 脳神経外科疾患特に脳血管障害，頭部外傷，脳腫瘍，小児脳疾患，機能的脳疾患，脊椎脊髄疾患，末梢神経絞扼障害などについて，病因，病態生理，症候診断，神経高位診断，画像診断，治療適応，各治療法，他疾患との鑑別につき学習し，放射線治療，化学療法，理学療法などを含む集学的治療についても理解を深める。

(2) 学修目標

神経内科学：

- ① 各神経系統とそれらの機能について説明できる。
- ② 脳・神経系の発生と関連づけて神経症候，神経疾患を説明できる。
- ③ 主要な神経電気生理学的検査を列挙し，正常所見及び基本的な異常所見について説明できる。
- ④ 主要な神経系画像検査を列挙し，正常所見及び基本的な異常所見について説明できる。
- ⑤ 運動ニューロン病の病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑥ Parkinson病及び錐体外路系関連疾患の病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑦ 脊髄小脳変性症及び多系統萎縮症の病因，症候，検査所見，診断及び治療を説明できる。
- ⑧ 自律神経障害の病態と神経変性疾患・内科疾患に伴う自律神経障害について説明できる。
- ⑨ 不随意運動の種類，病態，症候，原因疾患，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑩ 高次脳機能障害，認知症を呈する神経疾患の病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑪ 末梢神経障害の病態，症候，原因疾患，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑫ 多発性硬化症その他の中枢神経脱髄疾患の病態，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑬ 重症筋無力症及び関連疾患の病態，病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑭ 筋ジストロフィー，筋炎の病態，病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑮ ミトコンドリア病の病態，病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑯ 中枢神経系感染症の病態，病因，症候，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑰ 内科疾患合併症としての神経障害の病態，臨床像，検査所見，診断と治療を説明できる。
- ⑱ 機能性神経疾患(頭痛，半側顔面筋けいれん，三叉神経痛)の臨床像，診断と治療を説明できる。

脳神経外科学:

- ⑱ 大脳, 小脳, 脳幹, 脊髄, 脳神経, 末梢神経, 下垂体, 頭蓋底部の正常な構造と機能について説明できる。
- ⑳ 脳及び脊髄の血管支配について概略と機能, 閉塞などの異常に起因する障害について説明できる。
- ㉑ 脳神経症状から, 脳神経の局所診断や脊髄・末梢神経の高位診断並びに鑑別診断を述べるができる。
- ㉒ 基本的な脳神経外科疾患の画像を読影し鑑別診断することができる。
- ㉓ 脳脊髄液の循環とその異常について説明することができる。
- ㉔ 脳ヘルニアの機序と病態及び外科的治療限界について説明できる。
- ㉕ 脳神経救急の種類, 病態を整理し, 横断的知識に基づく鑑別診断と, 緊急対応特に外科的介入の仕方について説明することができる。
- ㉖ 頭部外傷の種類とその病態, 及び外科的治療法について概要を述べるができる。
- ㉗ 脳血管障害の病態, 病因, 症候, 検査所見, 診断, 内科的/外科的治療及び予防方略の要点を説明できる。
- ㉘ 脳腫瘍の種類とその病態, 病理及び外科的治療法について概要を述べるができる。
- ㉙ 機能的脳疾患(パーキンソン病, てんかんなど)について病態と外科的治療法の概要を述べるができる。
- ㉚ 脊髄疾患(変形性脊椎症, 脊髄血管障害, 外傷など)について病態と外科的治療法の概要を述べることができる。
- ㉛ 末梢神経絞扼障害について病態と外科治療の概要を述べるができる。
- ㉜ 小児脳疾患(先天性奇形, 水頭症など)の病態と外科的治療法の概要を述べることができる。
- ㉝ 観血的外科手術と低侵襲治療(脳血管内治療, 内視鏡治療, 定位的脳手術)の違いと利点, 欠点を理解するとともにその概要を述べるができる。
- ㉞ 術後後遺症についてのアプローチ(理学療法, 薬物療法, 追加治療など)について, その目的と方法の概要を述べるができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

神経内科学:

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	記述式を原則とする。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

脳神経外科学:

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	原則として記述式とする。
小テスト	○	20%	画像の読影を中心とし, 診断名を記入する様式とする。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

神経内科学・脳神経外科学共通:

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

神経内科学・脳神経外科学共通：

評価対象項目が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

神経内科学：

定期試験の成績に鑑み、各自がアクティブ・ラーニングで作成した神経疾患に関するまとめの文章を振り返り、理解が不十分な項目について再学習を行うとともに、定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

脳神経外科学：

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。
基本的に模範解答と、解説は問題ごとに試験後に公表する。
定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

神経内科学：

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

脳神経外科学：

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
病気がみえる (vol.7) 脳・神経	尾上尚志 他	医療情報 科学研究所	図が多く視覚的に脳神経外科疾患の基本が理解できる。

5 参考図書

神経内科学：

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
内科学第12版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	内科学教科書としては標準。
神経内科ハンドブック	水野美邦 編	医学書院	神経内科学書としては標準。
脳血管障害の画像診断	高橋昭喜 編	中外医学社	脳卒中画像診断の勉強に使える。
脊椎・脊髄のMRI	前原忠行 編	南江堂	脊髄の構造、病像を勉強するに使える。
誤りやすい異常脳波	市川忠彦	医学書院	基本的脳波の勉強に使える。
病気がみえる (vol.7) 脳・神経	尾上尚志 他	医療情報 科学研究所	図が多く視覚的に脳・神経疾患の基本が理解できる。

脳神経外科学：

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準脳神経外科学	児玉南海雄	医学書院	脳外科疾患と治療についてのスタンダードなテキスト。
脳神経外科 Neurosurgery	太田富雄	金芳堂	理解を深めるための百科事典としての詳細なテキスト。
ベッドサイドの神経の診かた	田崎義昭, 斎藤佳雄	南山堂	脳神経診察の仕方を理解するための参考書。

6 準備学習（予習・復習）

神経内科学：

- ① 予習（授業前日が望ましい）：「7 授業計画」に記載されている各時限の講義タイトルを確認し、参考図書で検索して通読する（1時限当たり0.5時間目安）。
次に、この病態・疾患（群）等を理解する上で前もって学習すべき事項として想起される課題を抽出し、該当する参考図書で検索し、内容を確認しておく（1時限当たり0.5時間目安）。
- ② 復習（授業後当日が望ましい）：授業中に書き留めた講義ノート及び配付資料を再確認しつつ講義内容を反芻し、その時限で学修した病態・疾患（群）等について、論理、要点を押さえた300文字程度の解説文章を作成する（1時限当たり1時間）。

脳神経外科学：

- ① 教科書にて、授業で取り扱う疾患について大まかに理解し、疑問点を掴んでおく（約0.5時間）。
- ② 授業で配付されたプリントなどを再確認し、疑問点を解決し、脳外科疾患について理解を深めていく（約1時間）。
- ③ 講義で用いるスライド資料はデータとしてiPadなどで活用できる形式を導入し、授業前に配付するので、これをあらかじめ目を通しておく（約0.5時間）。

脳・神経学

7 授業計画

(1) 開催日時

神経内科学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/12/3(火)	3	神経学総論Ⅰ 神経系統と機能	神内	教授	道勇 学	202 講
2024/12/3(火)	4	神経学総論Ⅳ 神経放射線学的診断	脳卒中C	教授(特任)	丹羽淳一	202 講
2024/12/3(火)	5	神経学総論Ⅴ 臨床神経生理学的診断	脳卒中C	教授(特任)	丹羽淳一	202 講
2024/12/4(水)	1	神経変性疾患Ⅰ 錐体路障害	神内	准教授	熱田直樹	202 講
2024/12/4(水)	2	神経学総論Ⅲ 脳の血管支配と病態	神内	教授	道勇 学	202 講
2024/12/5(木)	1	免疫性神経疾患Ⅱ 神経・筋接合部疾患	—	非常勤講師	大野欽司	202 講
2024/12/5(木)	2	免疫性神経疾患Ⅰ 中枢神経脱髄疾患	—	非常勤講師	錫村明生	202 講
2024/12/5(木)	3	予備				202 講
2024/12/5(木)	4	神経変性疾患Ⅲ 運動調節障害	—	非常勤講師	渡邊宏久	202 講
2024/12/5(木)	5	骨格筋障害	—	非常勤講師 (名誉教授)	衣斐 達	202 講
2024/12/6(金)	1	機能性神経疾患	—	客員教授	中尾直樹	202 講
2024/12/6(金)	2	末梢神経障害	神内	准教授	川頭祐一	202 講
2024/12/6(金)	3	予備				202 講
2024/12/6(金)	4	神経変性疾患Ⅳ 自律神経障害	神内	講師	福岡敬晃	202 講
2024/12/6(金)	5	神経変性疾患Ⅵ 高次脳機能障害/認知症	—	非常勤講師	阿部祐士	202 講
2024/12/9(月)	1	感染性神経疾患	看護学部	教授	泉 雅之	202 講
2024/12/9(月)	2	Medical Neurology 神経系以外の疾患に伴う神経障害	看護学部	教授	泉 雅之	202 講
2024/12/9(月)	3	神経変性疾患Ⅴ 不随意運動疾患	パーキンソンC	助教	田口宗太郎	202 講
2024/12/9(月)	4	神経変性疾患Ⅱ 錐体外路障害	パーキンソンC	教授(特任)	齋木英資	202 講
2024/12/9(月)	5	神経学総論Ⅱ 神経発生学	加齢研	教授	岡田洋平	202 講
2024/12/10(火)	1	自習				
2024/12/10(火)	2	自習				
2024/12/10(火)	3	自習				
2024/12/10(火)	4	自習				
2024/12/10(火)	5	定期試験(90分)	神内	教授	道勇 学	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

脳神経外科学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/12/11(水)	1	脳神経外科総論			調整中	202 講
2024/12/11(水)	2	病態生理(意識障害, 脳ヘルニア)	パーキンソンC	講師	名倉崇弘	202 講
2024/12/11(水)	3	虚血性脳血管障害の外科的治療	脳血管C	准教授	大島共貴	202 講
2024/12/11(水)	4	出血性脳血管障害の外科的治療	脳外	准教授(特任)	松尾直樹	202 講
2024/12/11(水)	5	頭部外傷	脳外	講師	川口礼雄	202 講
2024/12/12(木)	1	脳血管内治療各論			調整中	202 講
2024/12/12(木)	2	予備				
2024/12/12(木)	3	予備				
2024/12/12(木)	4	予備				
2024/12/12(木)	5	予備				
2024/12/13(金)	1	脳卒中, 画像診断, 内科治療	脳卒中C	教授(特任)	丹羽淳一	202 講
2024/12/13(金)	2	脊髄脊椎疾患(総論)・脊椎外傷			調整中	202 講
2024/12/13(金)	3	脊髄脊椎疾患(各論)	脊椎脊髄C	教授	原 政人	202 講
2024/12/13(金)	4	神経高位診断と末梢神経絞扼障害	脊椎脊髄C	教授	原 政人	202 講
2024/12/13(金)	5	定位脳手術	パーキンソンC	講師	名倉崇弘	202 講
2024/12/16(月)	1	小児奇形, 水頭症	—	客員教授	加藤美穂子	202 講
2024/12/16(月)	2	脳腫瘍総論, 頭蓋底外科総論			調整中	202 講
2024/12/16(月)	3	良性脳腫瘍各論, 手術治療	脳外	教授(特任)	渡邊 督	202 講
2024/12/16(月)	4	悪性脳腫瘍各論, 化学療法, 放射線治療	看護学部	教授	大須賀浩二	202 講
2024/12/16(月)	5	小テスト			調整中	202 講
2024/12/17(火)	1	自習				
2024/12/17(火)	2	自習				
2024/12/17(火)	3	自習				
2024/12/17(火)	4	自習				
2024/12/17(火)	5	定期試験	脳外	教授	調整中	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

神経内科学:

大教室での知識伝達型講義を基本とするが、原則、2時限講義終了毎に学修内容復習・グループ討議／病態・疾患(群)の解説文章作成の自己学習の時限に充てるとともに、最終日の午前は個別討論、全体討論・学習知識確立学習の時間とするなど、積極的にアクティブ・ラーニングを導入する。

脳神経外科学:

基本的には教室での知識伝達型の講義である。

シミュレーション課題を課し、小グループ討論を行い、講師との質疑応答形式のアクティブ・ラーニングを行い、12月16日に小テストを予定している。

(3) 講義の内容

神経内科学:

原則、2 教育目標の(2) 学修目標に挙げたコンピテンシー毎に時限を区切り講義を行う。講師は論理に基づいた丁寧な解説を重視しており、各授業で説明される膨大な情報を系統的に整理して、要点を押さえつつ理解できるように配慮されている。

脳神経外科学:

初回の講義にて脳神経外科について総論として解説し、その後は脳神経外科領域において取り扱う疾患について、具体的な疾患の症例提示をしながら概念理解を進めていく。

8 オフィスアワー

神経内科学:

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
道勇 学	教授	神経内科	大学病院中央棟 内科外来35番 第3診察室	毎週火曜日 12:00～13:00
齋木英資	教授(特任)	パーキンソン病総合治療センター	D棟2階医局	毎週金曜日 10:00～11:00
丹羽淳一	教授(特任)	脳卒中センター	D棟3階 脳卒中センター	毎週火曜日 10:00～11:30
熱田直樹	准教授	神経内科	大学病院中央棟 内科外来35番 第2診察室	毎週月曜日 13時～14時
川頭祐一	准教授	神経内科	D棟2階医局	毎週月・金曜日 17:00～18:00
福岡敬晃	講師	神経内科	D棟2階医局	毎週木曜日 16:00～17:00
田口宗太郎	助教	パーキンソン病総合治療センター	D棟2階医局	毎週月曜日 10:00～11:00
泉 雅之	教授	看護部	—	講義終了後 講義室にて
岡田洋平	教授	加齢医科学研究所	—	講義終了後 講義室にて
中尾直樹	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
渡邊宏久	非常勤講師	藤田医科大学 脳神経内科 教授	—	講義終了後 講義室にて
衣斐 達	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授	—	講義終了後 講義室にて

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
阿部祐士	非常勤講師	オレンジクリニック	—	講義終了後 講義室にて
大野欽司	非常勤講師	名古屋大学	—	講義終了後 講義室にて
錫村明生	非常勤講師	城西病院	—	講義終了後 講義室にて

脳神経外科学:

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
渡邊 督	教授(特任)	脳神経外科学講座	大学病院中央棟 11B カンファレンスルーム	毎週月曜日 18:00～19:00
松尾直樹	准教授 (特任)	脳神経外科学講座	大学病院中央棟 11B カンファレンスルーム	毎週月曜日 18:00～19:00
川口礼雄	講師	脳神経外科学講座	大学病院中央棟 11B カンファレンスルーム	毎週月曜日 18:00～19:00
大島共貴	准教授	脳血管内治療センター	大学病院中央棟 11B カンファレンスルーム	毎週月曜日 18:00～19:00
丹羽淳一	教授(特任)	脳卒中センター	D棟3階 脳卒中センター	毎週火曜日 10:00～11:30
大須賀浩二	教授	看護学部	大学病院中央棟 11B カンファレンスルーム	毎週月曜日 18:00～19:00
名倉崇弘	講師	パーキンソン病総合治 療センター	大学病院中央棟 11B カンファレンスルーム	毎週月曜日 18:00～19:00
原 政人	教授	脊椎脊髄センター	大学病院中央棟 11B カンファレンスルーム	毎週月曜日 18:00～19:00
加藤美穂子	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

腎・膠原病学

【単位数：2単位，授業26コマ，予備4コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

石本卓嗣 教授(腎臓・リウマチ膠原病内科)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-a, Ⅲ-4-a, Ⅲ-5-a)

- ① 腎臓・リウマチ・膠原病疾患の病態と症候を説明でき、その鑑別と診断を計画できる。
- ② 腎臓の構造と機能並びにその病態を把握し、腎疾患の病態、診断、並びに治療の概略を理解する。また、リウマチ性疾患・膠原病の病態を把握し、主要疾患の症候、診断、治療について臨床例に即して考察・鑑別する基礎的能力を修得する。

(2) 学修目標

- ① 腎臓の構造と機能を関連付けて説明することができる。
- ② 腎機能に関して、クリアランス、糸球体濾過量、血清クレアチニン濃度について説明できる。
- ③ 急性・慢性腎不全の原因、症候、診断と治療を、それぞれ説明できる。
- ④ 末期腎不全の治療(血液透析、腹膜透析、腎移植)を説明できる。
- ⑤ 水電解質・酸塩基平衡の調節機構を説明できる。
- ⑥ アシドーシス・アルカローシスの病態生理と診断や、各電解質異常について説明できる。
- ⑦ 急性・慢性糸球体腎炎の原因、症候、診断と治療を、それぞれ説明できる。
- ⑧ ネフローゼ症候群の分類、症候、診断と治療を、それぞれ説明できる。
- ⑨ 各腎疾患の症候、診断と治療を説明できる。
- ⑩ 自己免疫と炎症、自己抗体について説明できる。
- ⑪ 関節炎をきたす疾患を鑑別できる。
- ⑫ 副腎皮質ステロイド、非ステロイド性消炎鎮痛剤、免疫抑制剤、疾患修飾性抗リウマチ薬、生物学的製剤の臨床効果や副作用について、それぞれ説明できる。
- ⑬ 各リウマチ性疾患や膠原病の症候、診断と治療について、それぞれ説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	多肢選択問題を原則とする。一部記述式問題を含む場合がある。
レポート	○	20%	アクティブ・ラーニングの内容についてまとめたレポートを提出する。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

Team-based learning(TBL): TBLの進め方、チーム分け等は5月16日(木)1限と5月23日(木)3限に分けて説明する。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。評価対象の合計が60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

レポートについて特に点数の悪かったものに対しては、解説をしてフィードバックを行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症		MEDIC MEDIA	膠原病領域の主要疾患の基本的内容が網羅されている。
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器		MEDIC MEDIA	腎臓の構造や機能，腎疾患の病態や治療が網羅されている。
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
リウマチ病学テキスト	日本リウマチ財団 日本リウマチ学会	診断と治療社	日本リウマチ学会教育委員会の標準的教科書で要点が簡潔に網羅されている。

6 準備学習（予習・復習）

講義に臨む前に，授業計画の項目について教科書にて簡単な知識を得ておくこと(1コマあたり0.5時間)。

講義後は，教科書や配付資料等で講義内容をしっかり復習して知識を確実なものにしたうえで，以降の講義や小テスト，定期試験へ臨むこと(1コマあたり約1時間)。

腎・膠原病学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/16(木)	1	腎臓の構造と機能, 一次性糸球体疾患	腎内	教授	石本卓嗣	202 講
2024/5/16(木)	2	酸塩基平衡の基礎, 病態と疾患	腎内	准教授(特任)	山口 真	202 講
2024/5/16(木)	3	電解質異常: カリウム	—	非常勤講師	坂 洋祐	202 講
2024/5/16(木)	4	電解質異常: ナトリウム	腎内	助教	今井健太郎	202 講
2024/5/16(木)	5	電解質異常: カルシウム・リン・マグネシウム	腎内	准教授(特任)	山口 真	202 講
2024/5/17(金)	1	膠原病症候群, 自己免疫応答, 自己抗体と組織障害, 治療学	腎内	教授(特任)	坂野章吾	202 講
2024/5/17(金)	2	強皮症, 混合性結合組織病	腎内	教授(特任)	坂野章吾	202 講
2024/5/17(金)	3	全身性エリテマトーデス, APS	腎内	准教授(特任)	山口 真	202 講
2024/5/17(金)	4	予備				
2024/5/17(金)	5	予備				
2024/5/20(月)	1	CKDとAKI	腎内	教授	石本卓嗣	202 講
2024/5/20(月)	2	糖尿病性腎症と腎硬化症	腎内	教授	石本卓嗣	202 講
2024/5/20(月)	3	多発性筋炎, 皮膚筋炎	腎内	講師	杉山浩一	202 講
2024/5/20(月)	4	二次性糸球体疾患, 急性・慢性腎盂腎炎	腎内	講師	杉山浩一	202 講
2024/5/20(月)	5	微小血管障害, 尿細管・間質性疾患	腎内	講師	杉山浩一	202 講
2024/5/21(火)	1	関節リウマチ, PMR, RS3PE症候群	腎内	教授(特任)	坂野章吾	202 講
2024/5/21(火)	2	脊椎関節炎, 若年性特発性関節炎	腎内	教授(特任)	坂野章吾	202 講
2024/5/21(火)	3	予備				
2024/5/21(火)	4	血管炎症候群の分類, 診断, 治療	腎内	教授(特任)	坂野章吾	202 講
2024/5/21(火)	5	小児と腎臓	腎内	講師	畔柳佳幸	202 講
2024/5/23(木)	1	慢性腎不全の病態, 腎性貧血, CKD-MBD, 透析アミロイドーシス	経営戦略	特命教授	伊藤恭彦	202 講
2024/5/23(木)	2	血液透析と腹膜透析, アフェレーシス	腎内	准教授(特任)	鬼無 洋	202 講
2024/5/23(木)	3	【AL】TBL 準備確認テスト シナリオを複数例提示	腎内 腎内 腎内	准教授(特任) 講師 准教授(特任)	鬼無 洋 畔柳佳幸 山口 真	202 講
2024/5/23(木)	4	シェーグレン症候群, IgG4関連疾患 再発性多発軟骨炎, 遺伝性血管性浮腫	腎内	助教	神谷圭介	202 講
2024/5/23(木)	5	自己炎症性疾患, 成人Still病 ペーチェット病, 痛風・高尿酸血症	腎内	准教授(特任)	山口 真	202 講

腎・膠原病学

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/24(金)	1	IgA腎症, 膠原病・腎合併症	メディカルC	教授(特任)	勝野敬之	202 講
2024/5/24(金)	2	予備				
2024/5/24(金)	3	遺伝性腎疾患	腎内	准教授(特任)	鬼無 洋	202 講
2024/5/24(金)	4	【JS水平】腎移植	腎外	教授	小林孝彰	202 講
2024/5/24(金)	5	【JS垂直】臨床と基礎から膠原病診療を考える	腎内 感染・免疫学	教授 教授	石本卓嗣 高村祥子	202 講
2024/5/27(月)	1	自習				
2024/5/27(月)	2	自習				
2024/5/27(月)	3	定期試験	腎内	教授	石本卓嗣	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中に一部小グループ討論や講師との質疑応答や、アクティブ・ラーニングを用いた授業も実施する。

(3) 講義の内容

腎臓領域とリウマチ膠原病領域を俯瞰的に捉え、二者の関係性や他臓器との関連について把握し、各論としては腎臓の構造や機能、各腎疾患の病態、リウマチ性疾患や膠原病の主要疾患の病態等を、臨床的な視点も交えて理解を深めていくことを目的とする。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
石本卓嗣	教授	内科学講座 腎臓・リウマチ膠原病内科	D棟4階医局	毎週月曜日 11:00～12:00
坂野章吾	教授(特任)	内科学講座 腎臓・リウマチ膠原病内科	D棟4階医局	毎週火曜日 13:00～17:00
鬼無 洋	准教授(特任)	内科学講座 腎臓・リウマチ膠原病内科	D棟4階医局	毎週月曜日 15:30～17:00
山口 真	准教授(特任)	内科学講座 腎臓・リウマチ膠原病内科	D棟4階医局	毎週木曜日 16:00～17:00
畔柳佳幸	講師	内科学講座 腎臓・リウマチ膠原病内科	D棟4階医局	毎週火曜日 16:00～17:00
杉山浩一	助教	内科学講座 腎臓・リウマチ膠原病内科	D棟4階医局	毎週火曜日 12:00～13:00
今井健太郎	助教	内科学講座 腎臓・リウマチ膠原病内科	—	講義終了後 講義室にて
神谷圭介	助教	内科学講座 腎臓・リウマチ膠原病内科	D棟4階医局	毎週火曜日 12:00～13:00
伊藤恭彦	特命教授	愛知医科大学	D棟4階医局	毎週金曜日 16:00～17:00
高村祥子	教授	感染・免疫学講座	2号館 研究棟 366号室	毎週月～金曜日 16:00～18:00
小林孝彰	教授	外科学講座 腎移植外科	C棟7階教授室	毎週月・木・金曜日 17:00～18:00
勝野敬之	教授(特任)	メディカルセンター	—	講義終了後 講義室にて
坂 洋祐	非常勤講師	春日井市民病院 腎臓内科部長	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

血液・造血器学

【単位数：1.5単位，授業24コマ，予備1コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

高見昭良 教授(血液内科)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b)

- ① 医学知識と科学的探究心関連コンピテンシ・コンピテンシーについて，血液・造血系の生理，病理，薬理学を理解する。
- ② 血液疾患の症候(鑑別診断を含む)，分子・遺伝子病態，診断，治療(造血幹細胞移植・輸血を含む)を理解する。

(2) 学修目標

- ① 血液の生成，代謝，役割，形態，異常病態を理解し，疾患を列挙できる。
- ② 血液疾患関連症候から必要な情報や検査法を挙げ，結果の解釈と鑑別診断ができる。
- ③ 血球の多寡を来す疾患の病因，病態，病理，症候，診断，分類，治療，予後を説明できる。
- ④ 血液がん，伝染性単核球症，血球貪食症候群の病因，病態，病理，症候，診断，分類，治療，予後を説明できる。
- ⑤ 血栓・止血・凝固・線溶関連疾患の病因，病態，病理，症候，診断，分類，治療，予後を説明できる。
- ⑥ 造血幹細胞移植の特徴，適応，合併症，対処法を説明できる。
- ⑦ 化学療法の効果，毒性，支持療法を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	95%	講義内容と「病気がみえる 血液 vol 5」から多肢選択肢及び記述式で出題する。
レポート	○	5%	講義内容に基づきA4一枚程度のレポート提出。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験とレポートの合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する。

レポートが60%未満の場合は，レポートの再提出を行う。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の解答を公開する。再試験の解答は原則公開しない。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
病気がみえる 血液 vol 5	神田善伸 ほか	医療情報科学研究所	わかりやすいため。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ハリソン内科学 第5版(原著第19版)	福井次矢 (監修) ほか	メディカルサイ エンスインター ナショナル	内科医に必要な知識が網羅されている ため。
内科学 第11版(2017)	矢崎義雄 (総編集)	朝倉書店	内科医に必要な知識が網羅されている ため。
内科診断学 第3版(2016)	福井次矢, 奈良信雄 (編集)	医学書院	内科医に必要な知識が網羅されている ため。

6 準備学習(予習・復習)

- 参考図書のどれかを選んで、その目次全体を眺め、どのような事項が取り上げられているのか確認しておく(約15分)。
- 上記の中で、興味を惹いた項目について記載内容を読んでおく(約0.5時間)。
- 1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し、2コマ目以降の講義に臨む(約0.5時間)。

血液・造血器学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/6(木)	1	血液学総論, 検査	血内	教授	高見昭良	202 講
2024/6/6(木)	2	造血細胞移植の基礎と臨床	血内	教授	高見昭良	202 講
2024/6/6(木)	3	赤血球総論, 鉄代謝, 貧血総論, 鉄欠乏性貧血	血内	教授	高見昭良	202 講
2024/6/6(木)	4	凝固異常症のケーススタディ	—	非常勤講師	朝倉英策	202 講
2024/6/6(木)	5	HIV	感染症	教授	三嶋廣繁	202 講
2024/6/7(金)	1	骨髄系腫瘍総論, 骨髄異形成症候群	血内	教授(特任)	花村一朗	202 講
2024/6/7(金)	2	骨髄増殖性腫瘍総論, 慢性骨髄性白血病, 真性赤血球增多症, 骨髄線維症, 本態性血小板血症	血内	講師	内野かおり	202 講
2024/6/7(金)	3	化学療法・分子標的治療	腫瘍C	講師	村上五月	202 講
2024/6/7(金)	4	造血器腫瘍総論, 急性白血病総論, 急性骨髄性白血病	血内	准教授	水野昌平	202 講
2024/6/7(金)	5	溶血性貧血, 再生不良性貧血	血内	教授	高見昭良	202 講
2024/6/10(月)	1	鉄芽球性貧血, 巨赤芽球性貧血, サラセミア	血内	助教	高杉壮一	202 講
2024/6/10(月)	2	白血球総論, 白血球の異常総論, 類白血病反応, 無顆粒球症, 伝染性単核症, Langerhans 細胞組織球症, 血球貪食症候群, 白血球機能異常症	血内	講師	堀尾知弘	202 講
2024/6/10(月)	3	予備				
2024/6/10(月)	4	【JS 水平】血液疾患の病理1	病理診断	講師	佐藤 啓	202 講
2024/6/10(月)	5	【JS 水平】血液疾患の病理2	病理診断	講師	佐藤 啓	202 講
2024/6/11(火)	1	輸血医学1	—	非常勤講師	加藤栄史	202 講
2024/6/11(火)	2	輸血医学2	—	非常勤講師	加藤栄史	202 講
2024/6/11(火)	3	血栓止血学総論	輸血	教授	中山享之	202 講
2024/6/11(火)	4	血栓止血学各論1	輸血	教授	中山享之	202 講
2024/6/11(火)	5	血栓止血学各論2	中検	講師	小川実加	202 講
2024/6/13(木)	1	造血細胞移植と細胞バンク	—	非常勤講師 (名誉教授)	小寺良尚	202 講
2024/6/13(木)	2	リンパ系腫瘍総論, 悪性リンパ腫1	—	非常勤講師	山本英督	202 講
2024/6/13(木)	3	悪性リンパ腫2, 原発性マクログロブリン血症, 慢性リンパ性白血病	—	非常勤講師	山本英督	202 講

血液・造血器学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/13(木)	4	急性リンパ性白血病, 成人 T 細胞性白血病リンパ腫	血内	助教	篠原早紀	202 講
2024/6/13(木)	5	多発性骨髄腫と類縁疾患	血内	教授(特任)	花村一朗	202 講
2024/6/14(金)	1	自習				
2024/6/14(金)	2	自習				
2024/6/14(金)	3	自習				
2024/6/14(金)	4	自習				
2024/6/14(金)	5	定期試験	血内	教授	高見昭良	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

大教室での知識伝達型講義を原則とする。一部小グループ討論や質疑応答などアクティブ・ラーニングの導入を考慮する。

(3) 講義の内容

教科書内容にとどまらず、臨床・研究の最先端知識を含める。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
高見昭良	教授	内科学講座 血液内科	D棟3階 血液内科教授室	毎週水曜日 16:00～17:00
花村一朗	教授(特任)	内科学講座 血液内科	D棟3階 血液内科医局	毎週月曜日 15:00～15:30
水野昌平	准教授	内科学講座 血液内科	D棟3階 血液内科医局	毎週月曜日 15:00～15:30
堀尾知弘	講師	内科学講座 血液内科	D棟3階 血液内科医局	毎週月曜日 15:00～15:30
内野かおり	講師	内科学講座 血液内科	D棟3階 血液内科医局	毎週月曜日 15:00～15:30
高杉壮一	助教	内科学講座 血液内科	D棟3階 血液内科医局	毎週月曜日 15:00～15:30
篠原早紀	助教	内科学講座 血液内科	D棟3階 血液内科医局	毎週月曜日 15:00～15:30
三嶋廣繁	教授	臨床感染症学講座	C棟8階 臨床感染症学 講座 教授室	毎週木曜日 8:00～8:20
中山享之	教授	輸血部	大学病院中央棟2階 輸血センター	毎週月・火・金曜日 16:00～18:00
小川実加	講師	中央臨床検査部	大学病院中央棟2階 輸血センター	毎週月・火・金曜日 16:00～18:00
佐藤 啓	講師	病理診断科学講座	大学病院中央棟4階 病理診断センター	毎週金曜日 16:00～17:00
村上五月	講師	臨床腫瘍センター	D棟3階 血液内科医局	毎週月曜日 15:00～15:30
小寺良尚	非常勤講師	造血細胞移植寄附講座	2号館研究棟2階 造血細胞移植寄附講座 医局	毎週木曜日 16:00～17:00
朝倉英策	非常勤講師	金沢大学附属病院 高密度無菌治療部	—	講義終了後, 講義室にて
加藤栄史	非常勤講師	病院	大学病院中央棟2階 輸血センター	講義終了後, 講義室にて
山本英督	非常勤講師	名城大学薬学部	—	講義終了後, 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

精神科学

【単位数：2単位，授業 26 コマ，予備 4コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

宮田 淳 教授（精神科学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b）

- ① 基礎的な医学知識と科学的探究心を育む。統合失調症、双極症、うつ病、認知症、脳の損傷や身体疾患に伴う精神症状、てんかん、不安症、児童及び思春期に認められる精神疾患などを理解し、診断法及び治療法を習得する。また、心理教育や心理療法（精神療法）などの面接技法、電気けいれん療法などの身体的治療法を理解する。
- ② 医師-患者関係の重要性を認識し、特に人権の制限に関わる精神科入院に関して、精神保健福祉法などの法律について理解を深める。

（2）学修目標

- ① 精神医学総論中の症状学については、精神症状を分類し、患者の主観的体験あるいは客観的な兆候の記述を正確に説明することができる。
- ② 代表的疾患の、概念・症状・病型・経過・予後などを列記し、適切な薬物療法及びその他の治療法を選択し、向精神薬の副作用についても具体的に述べるができる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	各セクションで問題を作成し、これを実施する。 例年通り10-12セクションの記述式、多肢選択問題、正誤問題とする。
レポート	○	10%	授業を受ける前と後で、精神科疾患に対してどのようなイメージの変化があったかをレポートさせる。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は、10%を限度に減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

定期試験で60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する（60%以上で合格）。

（4）課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績結果について公表する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準精神医学	尾崎紀夫	医学書院	精神医学の基本的内容が網羅されている。
臨床精神医学講座8 薬物・アルコール関連障害	松下正明	中山書店	薬物・アルコール関連障害について詳述されている。
精神薬理学エッセンシャルズ	S.M.Stahl	メディカルサイエンスインターナショナル	精神薬理について詳述されている。
てんかん学ハンドブック 第4版	兼本浩祐	医学書院	てんかんについて詳述されている。
ケアする人の対話スキル ABCD	堀越 勝	日本看護協会出版会	精神療法だけでなく医師一般のための対話スキルがわかりやすく書かれている。
統合失調症	福田正人	医学書院	統合失調症について詳述されている。(特に第1章)
認知症ハンドブック	中島健二	医学書院	認知症の予防診断治療について幅広く記載されている。

6 準備学習（予習・復習）

予習： Diversity & inclusion について調べておくこと(0.5 時間)。

復習： 講義で学習した項目に該当する分野について、参考図書を用いて確認すること(約1時間)。

精神科学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/4(木)	1	精神医学 序論	精神	教授	宮田 淳	202 講
2024/7/4(木)	2	精神症状学①	—	非常勤講師	前川和範	202 講
2024/7/4(木)	3	精神症状学②	—	非常勤講師	前川和範	202 講
2024/7/4(木)	4	精神症状学③	精神	講師	深津孝英	202 講
2024/7/4(木)	5	精神科治療①	精神	教授	宮田 淳	202 講
2024/7/5(金)	1	精神科治療②	精神	教授	宮田 淳	202 講
2024/7/5(金)	2	精神科治療③	精神	教授	宮田 淳	202 講
2024/7/5(金)	3	身体因を有する精神障害①	精神	助教	藤田頁平	202 講
2024/7/5(金)	4	身体因を有する精神障害②	精神	助教	藤田頁平	202 講
2024/7/5(金)	5	臨床精神薬理学入門	疼痛医学	教授(特任)	西原真理	202 講
2024/7/8(月)	1	心理検査	こころC	臨床心理士	酒井玲子	202 講
2024/7/8(月)	2	司法精神医学・精神保健福祉法	精神	講師	河合三穂子	202 講
2024/7/8(月)	3	認知行動療法	—	非常勤講師	伊井俊貴	202 講
2024/7/8(月)	4	薬物依存・アルコール依存	精神	講師	深津孝英	202 講
2024/7/8(月)	5	認知症	精神	講師	深津孝英	202 講
2024/7/9(火)	1	児童・思春期の精神障害①	精神	教授	宮田 淳	202 講
2024/7/9(火)	2	児童・思春期の精神障害②	精神	教授	宮田 淳	202 講
2024/7/9(火)	3	脳とこころ	精神	教授	宮田 淳	202 講
2024/7/9(火)	4	統合失調症①	精神	教授	宮田 淳	202 講
2024/7/9(火)	5	統合失調症②	精神	教授	宮田 淳	202 講
2024/7/10(水)	1	感情障害①	精神	講師	田所ゆかり	202 講
2024/7/10(水)	2	感情障害②	精神	講師	田所ゆかり	202 講
2024/7/10(水)	3	不安障害, 強迫性障害	精神	講師	田所ゆかり	202 講
2024/7/10(水)	4	てんかんと臨床脳波①	精神	講師	河合三穂子	202 講
2024/7/10(水)	5	てんかんと臨床脳波②	精神	講師	河合三穂子	202 講
2024/7/11(木)	1	摂食障害	精神	教授	宮田 淳	202 講
2024/7/11(木)	2	予備				
2024/7/11(木)	3	予備				
2024/7/11(木)	4	予備				
2024/7/11(木)	5	予備				

精神科学

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2024/7/12(金)	1	自習				
2024/7/12(金)	2	自習				
2024/7/12(金)	3	自習				
2024/7/12(金)	4	自習				
2024/7/12(金)	3	定期試験	精神	教授	宮田 淳	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に PowerPoint や板書による大教室での知識伝達型の講義であるが、質疑応答やグループ・ディスカッションなどのアクティブ・ラーニングを適宜導入していく。

(3) 講義の内容

初回到精神医学総論、次に症状学についての講義をし、以降は各論講義となる。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
宮田 淳	教授	精神科学講座	C棟7階教授室	毎週金曜日
深津孝英	講師	精神科学講座	C棟9階医局	毎週月曜日 14:00～15:00
田所ゆかり	講師	精神科学講座	C棟9階医局	毎週金曜日 8:30～17:15
河合三穂子	講師	精神科学講座	C棟9階医局	毎週月曜日 12:00～16:00
藤田貢平	助教	精神科学講座	C棟9階医局	毎週金曜日 12:00～17:15
西原真理	教授(特任)	疼痛医学講座	6号館 疼痛医学講座医局	月曜日 15:00～17:00
伊井俊貴	非常勤講師	メンタルコンパス株式会社代表取締役	—	講義終了後 講義室にて
酒井玲子	技師長	こころのケアセンター	C棟3階 こころのケアセンター	毎週火・金曜日 10:00～11:00
前川和範	非常勤講師	豊田厚生病院	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

小 児 科 学

【単位数：2単位，授業30コマ，予備3コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

奥村彰久 教授 (小児科学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-4-b)

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の達成のため，小児医療を行うのに必要な知識である病態生理を理解した上で，論理的思考の元に臨床症状，検査方法，治療法を積極的な自己学習を中心にして修得し，そのことによって“プロフェッショナリズム”を養うことにも繋げる。
- ② 新生児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴及び精神・社会的な問題を理解し，小児及び小児疾患の特性を把握した上で，小児疾患の病態，症状，診断並びに治療の概略を理解する。

(2) 学修目標

- ① 小児の成長・発達に関する基本的な知識について述べることができる。
- ② 小児保健としてなすべきことは何か，どのような形で行うか，具体的に述べるができる。
- ③ 小児のバイタルサインや検査値の正常値は，成人と異なる事を理解する。
- ④ 小児特有の疾患では，好発年齢を把握し，病態生理から症状を説明し，治療計画が立てられる。
- ⑤ 小児でよくみられる疾患では，疫学，病態生理，好発年齢，好発時期，臨床症状，検査成績，合理的な治療法を常に念頭に置いて説明する事が出来る。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	多肢選択問題を原則とし，一部記述問題を含む場合がある。
小テスト	○	20%	アクティブ・ラーニング時の小テスト
態度	○	—	著しく態度不良の場合は，「問題行動学生報告書」を提出するとともに，10%を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。
60%未満の場合は，再試験を実施する。

(3) 再試験・再評価の方法

再試験は記述問題を原則とし，一部多肢選択問題を含む場合がある(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。
これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
日本語版 ネルソン小児科学 原著 第19版	監修:衛藤 義勝	ELSEVIER	世界水準の基礎的内容が網羅されている。
病気がみえる Vol.15 小児科	編集:医療 情報科学 研究所	MEDIC MEDIA	基礎的な内容が最低限必要な知識として図解を駆使して提供されている。
標準小児科学(第9版)	監修: 原 寿郎	医学書院	基本的内容が学生の理解しやすいように記載されている。
小児科学(改訂第11版)	編集: 加藤 元博	文光堂	基本的内容が学生の理解しやすいように記載されている。
国試小児科学(第6版)	編集:井田 博幸	TECOM	基本的内容が国家試験と関連付けて記載されている。

6 準備学習(予習・復習)

- 参考図書のどれかを選んで、小児科講義(総論)が始まるまでに、講義項目を理解しておく(約1時間)。
- AIDLE-Kにアップされた講義資料を見て、当日までに講義内容を把握しておく(約1時間)。
- 講義の中で提示された症例に関連した項目は自己学修する(約1時間)。
- 講義で配付された資料、AIDLE-Kに掲載された資料は講義後に内容を再確認する(約0.5時間)。
- アクティブ・ラーニングでは、AIDLE-Kにアップされた資料を当日までに閲覧し、内容を自己学習しておく(約2時間)。当日の冒頭に小テストを行う(5分)。5～6人の小グループに分かれてTBL(あるいはCBL)が開始され、グループ内討論(約0.5時間)、グループ間討論(約0.5時間)での論理的思考から、病態に基づいた症状、検査成績、治療方針を理解、把握する。教員のまとめ解説(約5分)でさらに深く理解する。

小児科学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/11(月)	3	小児科総論	小児	教授	奥村彰久	202 講
2024/11/11(月)	4	遺伝・先天異常	小児	教授	奥村彰久	202 講
2024/11/11(月)	5	感染症・予防接種①	小児	教授(特任)	伊藤嘉規	202 講
2024/11/12(火)	1	新生児①	周産期	教授	山田恭聖	202 講
2024/11/12(火)	2	新生児②	周産期	教授	山田恭聖	202 講
2024/11/12(火)	3	消化器	小児	助教	宮本亮佑	202 講
2024/11/12(火)	4	感染症・予防接種②	小児	教授(特任)	伊藤嘉規	202 講
2024/11/12(火)	5	免疫不全	小児	准教授	堀 壽成	202 講
2024/11/14(木)	1	代謝	小児	講師	東 慶輝	202 講
2024/11/14(木)	2	呼吸器	小児	教授(特任)	縣 裕篤	202 講
2024/11/14(木)	3	アレルギー	小児	教授(特任)	縣 裕篤	202 講
2024/11/14(木)	4	外来小児学	—	客員教授	佐々木邦明	202 講
2024/11/14(木)	5	凝固・線溶異常	小児	准教授	堀 壽成	202 講
2024/11/15(金)	1	【AL】TBL① 総論 小テスト, シナリオ提示	小児	教授	奥村彰久	101 講
2024/11/15(金)	2	固形腫瘍	小児	准教授	堀 壽成	202 講
2024/11/15(金)	3	循環器	小児	助教	森 啓充	202 講
2024/11/15(金)	4	血液	小児	准教授	堀 壽成	202 講
2024/11/15(金)	5	先天代謝異常	—	客員教授	梶田光春	202 講
2024/11/18(月)	1	【AL】TBL② 新生児 小テスト, シナリオ提示	周産期	教授	山田恭聖	101 講
2024/11/18(月)	2	神経	小児	講師	倉橋宏和	202 講
2024/11/18(月)	3	自己免疫疾患・川崎病	小児	助教	本間 仁	202 講
2024/11/18(月)	4	【JS 水平】脳腫瘍 ～小児と成人の比較～	小児 脳外	准教授 教授(特任)	堀 壽成 渡邊 督	202 講
2024/11/18(月)	5	【JS 水平】呼吸器感染症の年齢による臨床像 の違い ～小児 vs. 成人～	小児 呼内	教授(特任) 教授	伊藤 嘉規 伊藤 理	202 講
2024/11/19(火)	1	【AL】TBL③ 消化器 小テスト, シナリオ提示	小児	助教	宮本亮佑	101 講
2024/11/19(火)	2	内分泌	小児	講師	岩山秀之	202 講
2024/11/19(火)	3	児童心理	こころC	臨床心理士	大島良江	202 講

小児科学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/19(火)	4	腎	腎内	講師	畔柳佳幸	202 講
2024/11/19(火)	5	障害児医療	—	客員教授	三浦清邦	202 講
2024/11/21(木)	1	【AL】TBL④ アレルギー 小テスト, シナリオ提示	小児	教授(特任)	縣 裕篤	101 講
2024/11/21(木)	2	神経・筋	小児	講師	倉橋宏和	202 講
2024/11/21(木)	3	予備				
2024/11/21(木)	4	予備				
2024/11/21(木)	5	予備				
2024/11/22(金)	1	自習				
2024/11/22(金)	2	自習				
2024/11/22(金)	3	自習				
2024/11/22(金)	4	自習				
2024/11/22(金)	5	定期試験	小児	教授	奥村彰久	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

- ① 一部でアクティブ・ラーニング(TBLあるいはCBL)を行う。小テスト, グループ内討論, グループ間討論や教員との質疑応答などの後, 成果を提出する。
- ② 知識伝達型の講義の中でも, 一部, 小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

小児科初回講義で, 総論として小児の特性, 小児科学の特徴を解説し, 以後の各論ではアクティブ・ラーニングを随時行い, 自己学修と解説を通じて広い範囲の小児疾患を病態生理から治療までを深く理解していく。

<参考>

機会が合えば, 講義に替えて近隣の県で開催される関連する全国規模の学会に参加し, 最新の医療情報を学ぶこともある。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
奥村彰久	教授	小児科	C棟10階 小児科医局	火曜日 16:00～18:00
縣 裕篤	教授(特任)	小児科	C棟10階 小児科医局	木曜日 9:10～12:00
伊藤 嘉規	教授(特任)	小児科	C棟10階 小児科医局	木曜日 16:00～17:00
堀 壽成	准教授	小児科	大学病院中央棟2階 小児科外来	水曜日 午前 金曜日 終日
倉橋宏和	講師	小児科	C棟10階 小児科医局	水曜日 11:00～13:00
岩山 秀之	講師	小児科	C棟10階 小児科医局	月曜日 16:00～17:00
東 慶輝	講師	小児科	2号館研究棟 小児科学研究室309	月曜日 13:00～16:00 木曜日 13:00～16:00
森 啓充	助教	小児科	C棟10階 小児科医局	月曜日 13:00～17:00
本間 仁	助教	小児科	C棟10階 小児科医局	月曜日 13:00～15:00
宮本亮佑	助教	小児科	大学病院中央棟2階 小児科外来	火曜日 終日
伊藤 理	教授	呼吸器・アレルギー内科	D棟3階教授室	水曜日 16:00～17:00
畔柳佳幸	講師	腎臓リウマチ・膠原病 内科	C棟4階 腎臓リウマチ・膠原病 内科医局	月曜日 15:00～17:00 火曜日 15:00～17:00
渡邊 督	教授(特任)	脳神経外科	C棟9階 脳神経外科医局	月曜日 14:00～17:00 火曜日 14:00～16:00 木曜日 9:00～12:00
山田恭聖	教授	周産期母子医療センター	大学病院6階 NICU病棟	火曜日 16:00～17:00
大島良江	臨床心理士 主任	こころのケアセンター	C棟3階 こころのケアセンター	火曜日 9:00～12:00 木曜日 13:00～16:00
梶田光春	非常勤講師	—	—	講義終了後 講義室にて
佐々木邦明	非常勤講師	—	—	講義終了後 講義室にて
三浦清邦	非常勤講師	—	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

整 形 外 科 学

【単位数：1単位，授業18コマ，予備2コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

高橋伸典 教授(整形外科学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b)

- ① コアコンピテンスの“運動器(筋骨格)系疾患の基本的診療能力”について理解をするため，知識，技能，態度を学び，その実践を通じて“プロフェッショナリズム”の修得につなげる。
- ② 運動器系の正常構造と機能を理解し，主な運動器疾患の病因，病態生理，症候，診断と治療を学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 筋・骨格系の基本的な構造と機能について述べることができる。
- ② 筋・骨格系の基本的な疾患や外傷に対する反応について述べることができる。
- ③ 基本的な整形外科的用語を記憶し，説明することができる。
- ④ 上肢体(肩，肘，手，指関節)の機能解剖と上肢の運動について概要を述べることができる。
- ⑤ 下肢体(骨盤，股，膝，足関節)の機能解剖と下肢の運動について概要を述べることができる。
- ⑥ 軀幹の機能解剖と運動について概要を述べることができる。
- ⑦ 小児疾患(先天性股関節脱臼，先天性斜頸，先天性内反足，ペルテス病，その他の骨端症)の病態を述べることができる。
- ⑧ 脊椎疾患(変形性脊椎症，椎間板ヘルニア，脊椎分離・すべり症，後縦靭帯骨化症)，外傷(脊髄損傷)について病態と治療の概要を述べることができる。
- ⑨ 椎間板ヘルニアの高位診断ができる。
- ⑩ 骨折の分類(皮下骨折，開放骨折，疲労骨折，病的骨折)について実例をあげて説明できる。
- ⑪ 骨折の特徴を年齢と比較し，それぞれの治療の概要を説明できる。
- ⑫ 骨折異常治癒(遷延治癒，偽関節，変形治癒)について述べることができる。
- ⑬ 外傷性脱臼，病的脱臼，習慣性脱臼の対比ができ，実例をあげて説明できる。
- ⑭ 靭帯損傷(前十字靭帯損傷，内側側副靭帯損傷，足関節捻挫)について病態と治療の概要を述べることができる。
- ⑮ 絞扼性神経損傷(橈骨神経麻痺，尺骨神経麻痺，正中神経麻痺，腓骨神経麻痺)の診断ができる。
- ⑯ 関節リウマチ及びその類似疾患をあげ，病態，臨床症状，検査所見，治療の概要を述べることができる。
- ⑰ 主要な変形性関節症(変形性股関節症，変形性膝関節症など)をあげ，病態，臨床症状，治療の概要を述べることができる。
- ⑱ 痛風，偽痛風，リウマチ性関節症，神経病性関節症の病態と治療の概要を述べることができる。
- ⑲ 化膿性関節炎，急性・慢性化膿性骨髄炎，骨・関節結核の病態の概要を述べることができる。
- ⑳ 骨・軟部腫瘍の概論(肉腫とは，診断の進め方，治療)を述べることができる。
- ㉑ 悪性骨腫瘍(骨肉腫)，良性骨腫瘍(内軟骨腫，類骨骨腫)，骨腫瘍類似疾患(線維性骨異形成症)，良性軟部腫瘍(神経鞘腫)，軟部悪性腫瘍(悪性線維性組織球症)の概要を説明できる。
- ㉒ 骨粗鬆症の病態を説明できる。
- ㉓ 系統疾患を列挙できる。
- ㉔ リハビリテーションの概念を述べ，理学療法，作業療法，言語聴覚療法を説明できる。
- ㉕ 保存的治療と手術的治療の概要を述べることができる。
- ㉖ 四肢軀幹の単純X線像及び正常関節のMRIを読影できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	多肢選択問題を原則とし、一部記述式を含む場合がある。
レポート	○	30%	レポート提出
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は、全体から最大10%減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

評価対象の合計が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポート課題は講義開始時に通達する。最終講義終了日までに課せられたレポート課題を提出すること。課題(試験やレポート)に対し理解が不十分な項目があれば確認を促し、修正等があれば適宜学内メールで案内する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準整形外科学	中村利孝 松野丈夫 監修	医学書院	基本的内容が網羅されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
TEXT 整形外科学	大鳥精司 高相晶士 出家正隆 吉矢晋一 編	南山堂	基本的内容が網羅されている。

6 準備学習(予習・復習)

教科書や参考図書より、その分野を事前に確認し講義に臨むこと(約0.5時間)。

1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し、2コマ目以降の講義に臨むこと(約0.5時間)。

整形外科

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室
2024/11/25(月)	1	外傷総論, 感染症・骨髄炎	整形	教授(特任)	吉田昌弘	202 講
2024/11/25(月)	2	コモンディージーズ/頸椎・胸椎疾患	整形	講師	平澤敦彦	202 講
2024/11/25(月)	3	コモンディージーズ/腰椎疾患	整形	講師	平澤敦彦	202 講
2024/11/25(月)	4	骨折上肢・骨折, 小児骨折	—	非常勤講師	米田英正	202 講
2024/11/25(月)	5	脊椎・脊髄疾患 脊椎脊髄損傷, 脊椎脊髄腫瘍	整形	准教授	若尾典充	202 講
2024/11/26(火)	1	コモンディージーズ/股関節疾患	整形	准教授	森島達観	202 講
2024/11/26(火)	2	小児整形外科疾患 先天性股関節脱臼, 骨頭すべり症	整形	講師	森島達観	202 講
2024/11/26(火)	3	骨系統疾患: 診断と病態	メディカルC	教授(特任)	関 泰輔	202 講
2024/11/26(火)	4	骨: 骨の成長, 骨形成, 吸収, 骨粗鬆症	整形	准教授(特任)	池本竜則	202 講
2024/11/26(火)	5	骨腫瘍の総論・各論	整形	助教	河南勝久	202 講
2024/11/28(木)	1	筋骨格組織: 構造, 機能, 疾患, 治療	整形	教授	高橋伸典	202 講
2024/11/28(木)	2	関節リウマチ	整形	教授	高橋伸典	202 講
2024/11/28(木)	3	スポーツ外傷・障害(下肢)	救急集中	助教	山梨裕貴	202 講
2024/11/28(木)	4	コモンディージーズ/膝・足関節疾患	整形	助教	高田琢也	202 講
2024/11/28(木)	5	コモンディージーズ/ 肘・手・手関節疾患, 絞扼性神経障害	整形	准教授(特任)	池本竜則	202 講
2024/11/29(金)	1	【JS 垂直】骨・関節疾患・軟部腫瘍の病理	病理学	講師	伊藤秀明	202 講
2024/11/29(金)	2	スポーツ外傷・障害(上肢)	—	非常勤講師	梶田幸宏	202 講
2024/11/29(金)	3	骨折下肢・骨盤骨折, 老人骨折	整形	助教	大橋禎史	202 講
2024/11/29(金)	4	予備				
2024/11/29(金)	5	予備				
2024/12/2(月)	1	定期試験	整形	教授	高橋伸典	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論や講師との質疑応答などを行う。

(3) 講義の内容

各分野別に、運動器系の正常構造と機能を理解し、主な運動器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
高橋伸典	教授	整形外科学	C棟9階医局	毎週水曜日 15:00～16:00
若尾典充	准教授	整形外科学	C棟9階医局	毎週月曜日 17:00～17:30
森島達観	准教授	整形外科学	C棟9階医局	毎週火曜日 16:30～17:00
池本竜則	准教授(特任)	整形外科学	C棟9階医局	毎週月曜日 17:00～17:30
平澤敦彦	講師	整形外科学	C棟9階医局	毎週月曜日 17:00～17:30
河南勝久	講師	整形外科学	C棟9階医局	毎週月曜日 17:00～17:30
高田琢也	助教	整形外科学	C棟9階医局	毎週火曜日 16:30～17:00
大橋禎史	助教	整形外科学	C棟9階医局	毎週火曜日 16:30～17:00
吉田昌弘	教授(特任)	骨盤四肢外傷センター	C棟9階医局	毎週火曜日 16:30～17:00
山梨裕貴	助教	救急集中治療医学	C棟9階医局	毎週火曜日 16:30～17:00
伊藤秀明	講師	病理学講座	2号館 研究棟 261号室	毎週月・火・木曜日 10:00～17:00
関 泰輔	教授(特任)	メディカルセンター	—	講義終了後 講義室にて
梶田幸宏	非常勤講師	一宮西病院 整形外科部長	—	講義終了後 講義室にて
米田英正	非常勤講師	名古屋大学 整形外科学	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

泌尿器科学

【単位数：1単位，授業18コマ，予備4コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

佐々直人 教授(泌尿器科学)

2 教育目標

(1) ねらい (I-11-b, III-3-b, III-4-b, III-5-b, IV-4-b)

- ① 泌尿器疾患の病態と症候を説明でき，その鑑別と診断を計画できるよう理解する。泌尿器科疾患の適切な治療，最新の治療を理解し説明でき，さらに医学・医療における疑問点を見出し解決できる力を培う。
- ② 泌尿器・男性生殖器の発生，構造，機能を理解し，今後の超高齢化社会における泌尿器科の重要性(泌尿器科悪性腫瘍，尿失禁，女性泌尿器科)，役割(排尿ケア，不妊症)を理解する。

(2) 学修目標

- ① 男性，女性の尿路・泌尿器・男性生殖器の発生，正常構造，機能について述べることができる。
- ② 基本的な泌尿器科的検査(尿所見，CT，MRI画像など)の目的・意義を理解できる。
- ③ 症候より泌尿器科疾患を鑑別できるようにする。
- ④ 泌尿器科悪性腫瘍(がん)，良性腫瘍の診断・検査・治療を理解する。
- ⑤ 男性における排尿の問題を理解する(前立腺肥大症，神経因性膀胱など)。
- ⑥ 女性における排尿の問題を理解する(尿失禁，骨盤臓器脱，過活動膀胱など)。
- ⑦ 若年患者(AYA世代)における泌尿器科の役割を理解する(精巣腫瘍，男性不妊症)。
- ⑧ 尿路結石の診断・検査・治療を概説できる。
- ⑨ 泌尿器科疾患で困っている患者に寄り添えるように排尿にかかわる問題を理解し，概説できるようにする。
- ⑩ 泌尿器科の最先端治療を理解し，自らの学習意欲の活力にできるようにする。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択式問題を原則とする。一部記述式を含む場合がある。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は定期試験の点数より10点を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験の方法

定期試験で60%未満の場合は，再試験を実施する。課題・レポートを課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準泌尿器科学	赤座英之	医学書院	泌尿器疾患を理解するために必要な知識を網羅的に学ぶことができる。
講義資料			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
『Campbell's Urology (Vol. I ~ III)』	Walsch et al	Saunders	泌尿器疾患を理解するために必要な知識を網羅的に学ぶことができる。
『Clinical Urography (Vol. I ~ III)』	Dollack et al	Saunders	泌尿器疾患の臨床を理解するために必要な知識が学べる。
『General Urology』	D.Smith	Lange	上記2教科書より簡便に泌尿器科疾患を学ぶことができる。

6 準備学習（予習・復習）

- 教科書，参考図書の該当部分に目を通し，講義内容の概要を把握する（約1時間）。
- 1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認する（約1時間）。

泌尿器科学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/27(月)	4	尿路性器の解剖と生理	泌尿器	教授	佐々直人	202 講
2024/5/27(月)	5	泌尿器科疾患における症候と検査	泌尿器	教授	佐々直人	202 講
2024/5/28(火)	1	泌尿器科内分泌学	泌尿器	教授	佐々直人	202 講
2024/5/28(火)	2	排尿機能異常	泌尿器	助教	梶川圭史	202 講
2024/5/28(火)	3	前立腺肥大症	泌尿器	助教	梶川圭史	202 講
2024/5/28(火)	4	女性泌尿器科 (性器脱と尿失禁)	泌尿器	准教授	馬嶋 剛	202 講
2024/5/28(火)	5	前立腺癌	泌尿器	准教授	馬嶋 剛	202 講
2024/5/30(木)	1	予備				
2024/5/30(木)	2	予備				
2024/5/30(木)	3	予備				
2024/5/30(木)	4	尿路結石症	—	非常勤講師	鶴田勝久	202 講
2024/5/30(木)	5	小児泌尿器科・尿路性器外傷・緊急処置	泌尿器	医員助教	黒須春香	202 講
2024/5/31(金)	1	予備				
2024/5/31(金)	2	泌尿器腫瘍病理	病理診断	教授	都築豊徳	202 講
2024/5/31(金)	3	腎血管疾患	泌尿器	助教	村松知昭	202 講
2024/5/31(金)	4	尿路通過障害・腎後性腎不全	泌尿器	助教	小林郁生	202 講
2024/5/31(金)	5	泌尿器科腫瘍:腎	泌尿器	助教	小林郁生	202 講
2024/6/3(月)	1	男性不妊症, 男性性機能障害	—	非常勤講師	杉江美穂	202 講
2024/6/3(月)	2	尿路生殖器の発生と先天異常・性分化異常	—	非常勤講師	杉江美穂	202 講
2024/6/3(月)	3	尿路性器炎症性疾患	—	非常勤講師	杉江美穂	202 講
2024/6/3(月)	4	泌尿器科オフィスウロロジー, 排尿ケア	—	客員教授	中村小源太	202 講
2024/6/3(月)	5	泌尿器科腫瘍:精巣腫瘍・尿路上皮	泌尿器	助教	村松知昭	202 講
2024/6/4(火)	1	自習				
2024/6/4(火)	2	自習				
2024/6/4(火)	3	自習				
2024/6/4(火)	4	自習				
2024/6/4(火)	5	定期試験	泌尿器	教授	佐々直人	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論や講師との質疑応答を導入する。

(3) 講義の内容

泌尿器科学の基礎的知識、病態の整理と、臨床現場での癌患者の診断治療の流れを想定して講義を進める。実臨床に沿った、活かせる講義を行う。そして、泌尿器科のこれからと今、そして未来の役割、泌尿器科の魅力を理解する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
佐々直人	教授	泌尿器科学講座	C棟7階教授室	毎週水曜日 16:00～18:00
馬嶋 剛	准教授	泌尿器科学講座	D棟5階医局	毎週水曜日 16:00～18:00
梶川圭史	助教	泌尿器科学講座	D棟5階医局	毎週水曜日 16:00～18:00
小林郁生	助教	泌尿器科学講座	D棟5階医局	毎週金曜日 16:00～18:00
村松知昭	助教	泌尿器科学講座	D棟5階医局	毎週水曜日 16:00～18:00
黒須春香	医員助教	泌尿器科学講座	D棟5階医局	毎週水曜日 16:00～18:00
都築豊徳	教授	病理診断学	大学病院中央棟4階 病理診断センター	毎週木・金曜日 15:00～17:00
中村小源太	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
鶴田勝久	非常勤講師	つるたクリニック院長	—	講義終了後 講義室にて
杉江美穂	非常勤講師	獨協医科大学埼玉医 療センター泌尿器科	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

産 科 学

【単位数：1単位，授業14コマ，予備6コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

渡辺員支 教授(産婦人科学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-7-b, I-8-b, III-3-b, III-4-b, III-5-b)

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解ができるようになるため，産科医療に必要な知識，技能，態度を学び，そのことによって医学生としての“プロフェッショナリズム”を身につける。
- ② 妊娠，分娩と産褥期の管理に必要な基礎知識とともに，母子保健，生殖医療のあり方を学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 女性生殖内性器の発生と形態異常を説明できる。
- ② 正常妊娠・分娩・産褥経過を説明できる。
- ③ 妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。
- ④ 異常妊娠・異常分娩・異常産褥の病態を説明できる。
- ⑤ 正常分娩や異常分娩の対応(鉗子分娩，帝王切開など)を説明できる。
- ⑥ 産科救急(産科出血，播種性血管内凝固<DIC>)の病態と治療を説明できる。
- ⑦ 主な合併症妊娠の病態を説明できる。
- ⑧ 母子保健の意義を医学的に説明できる。
- ⑨ 妊娠時の薬物療法の注意点を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績 対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	多肢選択問題を原則とする。
小テスト	○	10%	アクティブ・ラーニングにおいて，小テストを行う。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は5%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。60%以上を合格とする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
配付資料をAIDLE-Kに収載			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準産科婦人科学	岡井 崇 綾部琢哉 編	医学書院	基本から最新の膨大な情報が有機的に統合されている。
NEWエッセンシャル 産科学・婦人学	池ノ上克, 鈴木秋悦	医歯薬出版	医学生に必須の最新知識を取り入れている。
ウィリアムズ産科学 原著25版	岡本愛光 監修	南山堂	1世紀以上の間、世界で最も詳しく、かつ権威ある産科学の臨床テキストとして読み継がれてきた『Williams OBSTETRICS』の翻訳版。周産期領域のバイブル。
https://www.uptodate.com		UpToDate	院内HPからアクセスして最新情報を入手できる。

6 準備学習（予習・復習）

- ① 講義前に事前配付，又はAIDLE-Kにアップされた講義資料に目を通して講義に参加し(約1時間)，講義終了後は，内容を再確認して次の講義に臨むこと。
- ② 参考図書を利用し，授業で触れられなかった内容についても理解すること。理解できない点があれば，オフィスアワーなどを利用して質問し，理解すること。
- ③ アクティブ・ラーニングは，事前に配付又はAIDLE-Kにアップされた資料に目を通し，疑問点を参考図書などで調べた上で臨むこと。

産科学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/24(木)	1	【JS 垂直】性腺・性器の発生と分化(解剖復習含む)	生物学	教授	武内恒成	202 講
2024/10/24(木)	2	【JS 垂直】性分化疾患, 内性器形態の異常, 子宮の発生と奇形	生物学	教授	武内恒成	202 講
2024/10/24(木)	3	妊娠の生理(妊娠の診断, 母体の変化, 胎児発育), 正常妊娠, 正常分娩, 産褥	産婦	助教	岡本知士	202 講
2024/10/24(木)	4	分娩の異常, 産科処置(分娩誘発・促進, 急速遂娩など)	産婦	助教	岡本知士	202 講
2024/10/24(木)	5	妊娠悪阻, 流産, 不育症, 妊娠と薬, 妊娠と放射線, 子宮頸管無力症, 絨毛膜羊膜炎, Rh 不適合妊娠, 早産	—	非常勤講師	岩崎 愛	202 講
2024/10/25(金)	1	胎児発育遅延, 胎児の中樞神経系, 消化器, 泌尿器, 循環器, 骨疾患, 染色体異常, 遺伝子病, TORCH など	産婦	教授	渡辺員支	202 講
2024/10/25(金)	2	妊娠高血圧症候群, HELLP 症候群, 妊娠糖尿病, 羊水過多, 過少, 合併症妊娠(婦人科疾患, 血液疾患, 自己免疫疾患, 呼吸器外科疾患, 消化器疾患, 精神疾患, 腎尿路系疾患, 感染症)	産婦	教授	渡辺員支	202 講
2024/10/25(金)	3	多胎妊娠, 前置胎盤, 常位胎盤早期剥離, 癒着胎盤, 産科 DIC	産婦	教授	渡辺員支	202 講
2024/10/25(金)	4	胎児・胎盤検査法(胎児心拍陣痛計, 超音波検査など)	産婦	助教	杉浦一優	202 講
2024/10/25(金)	5	【JS 垂直】妊娠と疾患	病理学	講師	伊藤秀明	202 講
2024/10/28(月)	1	産褥期の異常(産科ショック, 産科危機的出血, 血栓症, 産褥熱, 乳腺炎, 産褥期精神疾患など)	産婦	助教	杉浦一優	202 講
2024/10/28(月)	2	【JS 垂直】母子保健	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	202 講
2024/10/28(月)	3	予備				
2024/10/28(月)	4	【AL】アクティブ・ラーニング	産婦	助教	岡本知士	マルチAB
2024/10/28(月)	5		産婦	助教	杉浦一優	
2024/10/29(火)	1	予備				
2024/10/29(火)	2	予備				
2024/10/29(火)	3	予備				
2024/10/29(火)	4	予備				
2024/10/29(火)	5	予備				
2024/10/31(木)	1	自習				
2024/10/31(木)	2	自習				
2024/10/31(木)	3	自習				
2024/10/31(木)	4	自習				
2024/10/31(木)	5	定期試験	産婦	教授	渡辺員支	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義である。
アクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

コアカリキュラムに基づき、正常及び異常な妊娠・分娩・産褥の経過、主な合併症妊娠、産科手術、産科救急及び妊娠時の薬物療法の注意点について具体的な内容を提示しながら、概念理解を進めていく。
アクティブ・ラーニングは、小グループに分け、産科に関するシナリオに基づき質疑応答を行う。
生物学2コマ、母子保健1コマ、病理学1コマを予定している。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
渡辺員支	教授	産婦人科学講座	D棟4階 産婦人科医局	水曜日 16:00～17:00
岡本知士	助教	産婦人科学講座	D棟4階 産婦人科医局	水曜日 16:00～17:00（事前にメールにて調整してください。）
杉浦一優	助教	産婦人科学講座	D棟4階 産婦人科医局	水曜日 16:00～17:00（事前にメールにて調整してください。）
菱田朝陽	教授	公衆衛生学講座	2号館研究棟 372号室	毎週月・火曜日 13:00～17:00（メールにて要事前連絡）
武内恒成	教授	生物学講座	3号館基礎科学棟 2階B213	毎週月曜日 16:00～18:00
伊藤秀明	講師	病理学講座	2号館研究棟 261号室	毎週月・火・金曜日 10:00～17:00
岩崎 愛	非常勤講師	—	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、産婦人科医局(Mail: obgyn@aichi-med-u.ac.jp)に連絡先を問合せること。

婦 人 科 学

【単位数：1単位，授業16コマ，予備4コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

渡辺員支 教授(産婦人科学)

2 教育目標

(1) ねらい (I-7-b, I-8-b, III-3-b, III-4-b, III-5-b)

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解ができるようになるため，婦人科医療に必要な知識，技能，態度を学び，そのことによって医学生としての“プロフェッショナリズム”を身につける。
- ② 女性生殖器の構造と機能を理解し，婦人科診察や手術に立ち会い，生殖器に問題を有する患者の診断と治療に関する知識を学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 女性生殖器の構造と発生・分化の過程及びその異常を説明できる。
- ② 女性の加齢に伴う変化とその異常を説明できる。
- ③ 女性不妊症の系統診断，治療を説明できる。
- ④ 女性性器腫瘍の予防，症候，病理所見，診断，治療を説明できる。
- ⑤ 女性感染症の症候，診断，治療を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	多肢選択問題を原則とする。
小テスト	○	10%	アクティブ・ラーニングにおいて，小テストを行う。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は5%を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。60%以上を合格とする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
配付資料をAIDLE-Kに収載			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準産科婦人科学	岡井 崇 綾部琢哉編	医学書院	基本から最新の膨大な情報が有機的に統合されている。
NEWエッセンシャル 産科・婦人学	池ノ上克, 鈴木秋悦	医歯薬出版	医学生に必須の最新知識を取り入れている。
https://www.uptodate.com		UpToDate	院内HPからアクセスして最新情報を入手できる。

6 準備学習（予習・復習）

- ① 講義前に事前配付，又はAIDLE-Kにアップされた講義資料に目を通して講義に参加し（約1時間），講義終了後は，内容を再確認して次の講義に臨むこと。
- ② 参考図書を利用し，授業で触れられなかった内容についても理解すること。理解できない点があれば，オフィスアワーなどを利用して質問し，理解すること。
- ③ アクティブ・ラーニングは，事前に配付又はAIDLE-Kにアップされた資料に目を通し，疑問点を参考図書などで調べた上で臨むこと。

婦人科学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/11/1(金)	1	性ホルモン・性周期と排卵・基礎体温・生殖器の形態	産婦	教授(特任)	篠原康一	202 講
2024/11/1(金)	2	主要徴候(帯下異常, 腹痛, 腹部膨隆, 排尿異常, 貧血)	産婦	教授(特任)	篠原康一	202 講
2024/11/1(金)	3	主要徴候(月経異常, 無月経, 不正出血, 乳汁漏出症)	産婦	准教授	野口靖之	202 講
2024/11/1(金)	4	外陰, 膣と骨盤内感染症, 性器脱, 性器の先天異常	産婦	准教授	野口靖之	202 講
2024/11/1(金)	5	絨毛性疾患(胎状奇胎, 絨毛癌)・異所性妊娠	産婦	准教授	野口靖之	202 講
2024/11/5(火)	1	妊娠の成立(卵の成熟, 受精, 胎の発育, 着床)	産婦	助教	岡本宜士	202 講
2024/11/5(火)	2	不妊症の系統診断と治療	産婦	助教	岡本宜士	202 講
2024/11/5(火)	3	予備				
2024/11/5(火)	4	【JS 垂直】子宮体部疾患の病理	病理学	講師	大西紘二	202 講
2024/11/5(火)	5	【JS 垂直】卵巣腫瘍の病理	病理学	講師	大西紘二	202 講
2024/11/7(木)	1	婦人科悪性腫瘍(子宮頸癌, 子宮体癌など)	—	非常勤講師	藪下廣光	202 講
2024/11/7(木)	2	婦人科悪性腫瘍(子宮肉腫, 卵巣癌など)	—	非常勤講師	藪下廣光	202 講
2024/11/7(木)	3	子宮筋腫, 子宮内膜症, 子宮腺筋症	産婦	教授(特任)	篠原康一	202 講
2024/11/7(木)	4	閉経の過程と疾病(更年期, 骨粗鬆症, 脂質代謝異常など)	産婦	教授(特任)	篠原康一	202 講
2024/11/7(木)	5	予備				
2024/11/8(金)	1	【JS 垂直】子宮頸部疾患の病理	病理学	講師	伊藤秀明	202 講
2024/11/8(金)	2	予備				
2024/11/8(金)	3	予備				
2024/11/8(金)	4	【AL】アクティブ・ラーニング	産婦	准教授	野口靖之	マルチAB
2024/11/8(金)	5			助教		
2024/11/11(月)	1	定期試験	産婦	教授	渡辺員支	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義である。
アクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

コアカリキュラムに基づき, 性ホルモンと排卵, 月経異常, 不正出血, 腹痛などの婦人科主要症候, 不妊症, 閉経期, 良性疾患(子宮筋腫, 子宮内膜症)及び悪性腫瘍の講義を行う。
アクティブ・ラーニングは, 小グループに分け, 婦人科腫瘍に関するシナリオに基づき質疑応答を行う。
病理学3コマを予定している。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
渡辺員支	教授	産婦人科学講座	D棟4階 産婦人科医局	水曜日 16:00～17:00
篠原康一	教授(特任)	産婦人科学講座	大学病院中央棟 3階産婦人科外来	水曜日 17:00～17:30
野口靖之	准教授	周産期母子医療センター	D棟4階 産婦人科医局	10:00～16:00 (前日までに、学内メールで日程と時間調整をお願いします。)
岡本宜士	助教	産婦人科学講座	大学病院中央棟 3階産婦人科外来	火曜日 15:00～16:00 (前日までに、学内メールで日程と時間調整をお願いします。)
大西紘二	講師	病理学講座	2号館 研究棟264号室	毎週火～木曜日 10:00～17:00
伊藤秀明	講師	病理学講座	2号館 研究棟 261 号室	毎週月・火・金曜日 10:00～17:00
藪下廣光	非常勤講師	多治見市民病院副院長 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、産婦人科医局 (Mail: obgyn@aichi-med-u.ac.jp) に連絡先を問合せること。

放射線医学(3年生)

【単位数:1単位, 授業18コマ, 予備2コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

鈴木耕次郎 教授(放射線医学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-5-b, Ⅳ-4-b)

- ① コンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解のため, 放射線医学の知識と技能を学び, そのことによって適切な検査を選択して疾患の鑑別と治療を進めることができる。
- ② 画像診断, IVR, 放射線治療の基本を理解する。

(2) 学修目標

- ① 主な画像診断法の原理と特徴を説明できる。
- ② 単純撮影, CT, MRI, 血管造影, 核医学検査画像における正常解剖を説明できる。
- ③ 代表的疾患に関して, 実際の画像から異常所見を指摘し鑑別診断をあげることができる。
- ④ 癌治療における放射線治療の役割と有効性を説明できる。
- ⑤ IVRの適応と有効性を説明できる。
- ⑥ 放射線の被ばくによる影響とその防護法について説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題を原則とする。一部記述式問題を含む場合がある。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は, 10点を上限として減点をする。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は, 再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績の総括をAIDLE-Kに掲載する。

これにより理解が不十分な項目について再確認を促すとともに, 定期試験が不合格となった者には再試験に備えること。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
標準放射線医学第7版	西谷 弘, 他 編集	医学書院	画像診断, IVR, 放射線治療の基本的 内容が網羅されている。
画像診断パワフルガイド	山下康行	メディカル・ サイエンス・ インターナシ ョナル	画像所見の診断ポイントがまとまってい る。
画像解剖コンパクトナビ	百島祐貴	医学教育出 版社	CT, MRI, USで健常体の構造が示され ており, 正常画像の理解に役立つ。
核医学ノート第6版	久保敦司	金原出版	各種RIを用いた検査, 治療がまとまっ ている。
放射線治療学改訂6版	井上俊彦	南山堂	最新治療を含め, 放射線治療を体系的 に理解できる。

6 準備学習（予習・復習）

- 参考図書を参考に, 画像診断, 放射線治療, IVRでどのような事項が取り上げられているのか参考にしておく
(各事項につき1時間)。
- 参考図書等を用いて, CT, MRIでの人体の正常解剖を予習して理解しておく(2時間)。
- 配付される講義資料は講義後に内容を再確認して復習する(1日あたり約2時間)。

放射線医学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/7(火)	1	画像診断の基本・CT	放射線	教授	鈴木耕次郎	202 講
2024/5/7(火)	2	画像検査：MRI	放射線	教授(特任)	川井 恒	202 講
2024/5/7(火)	3	【JS 垂直】人体解剖と画像解剖	解剖学 放射線	教授 教授	内藤宗和 鈴木耕次郎	202 講
2024/5/7(火)	4	画像診断(1): 中枢神経系	放射線	講師	池田秀次	202 講
2024/5/7(火)	5	画像診断(2): 中枢神経系2・頭頸部	放射線	教授(特任)	川井 恒	202 講
2024/5/9(木)	1	画像検査：核医学/PET	放射線	講師	木村純子	202 講
2024/5/9(木)	2	画像診断(3): 胸部	放射線	助教	松永 望	202 講
2024/5/9(木)	3	画像診断(4): 腹部(肝胆膵)	放射線	助教	成田晶子	202 講
2024/5/9(木)	4	画像診断(5): 泌尿器・婦人科疾患	放射線	助教	山本貴浩	202 講
2024/5/9(木)	5	超音波検査	—	客員教授	伊吹恵里	202 講
2024/5/10(金)	1	画像診断(6): 消化管・救急疾患	放射線	教授(特任)	下平政史	202 講
2024/5/10(金)	2	IVR(画像下治療) 1	放射線	教授	鈴木耕次郎	202 講
2024/5/10(金)	3	IVR(画像下治療) 2	放射線	教授	鈴木耕次郎	202 講
2024/5/10(金)	4	医療被ばく	—	非常勤講師	大野和子	202 講
2024/5/10(金)	5	予備				
2024/5/13(月)	1	放射線治療(1): 原理と適応	放射線	准教授(特任)	大島幸彦	202 講
2024/5/13(月)	2	放射線治療(2): 高度放射線治療	放射線	准教授(特任)	大島幸彦	202 講
2024/5/13(月)	3	放射線治療(3): 肺癌・食道癌	放射線	講師	伊藤 誠	202 講
2024/5/13(月)	4	放射線治療(4): 婦人科・泌尿器科疾患	放射線	助教	足達 崇	202 講
2024/5/13(月)	5	予備				
2024/5/14(火)	1	自習				
2024/5/14(火)	2	自習				
2024/5/14(火)	3	自習				
2024/5/14(火)	4	自習				
2024/5/14(火)	5	定期試験	放射線	教授	鈴木耕次郎	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型講義であるが、一部講義中に講師との質疑応答を導入する。

(3) 講義の内容

放射線医学は、大きく画像診断、放射線治療、IVRの3分野に分けられる。臨床で遭遇する頻度の高い疾患を中心に、領域毎にコンパクトにまとめた全体講義を行う。1コマ目に画像診断の総論を、2コマ目以降は、各検査の詳細、領域／臓器毎の疾患鑑別に関して具体的な画像を提示し、最適な画像検査法の選択、診断に至るプロセスとポイント、注意点などを身につける。放射線治療では、癌治療において大きな役割を果たしている放射線治療の治療方法、適応疾患、治療成績などを、IVRでは、低侵襲治療としてのIVRの役割、適応疾患、治療効果の理解を深める。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
鈴木耕次郎	教授	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週月・金曜日 15:00～17:00
川井 恒	教授(特任)	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週月・水曜日 15:00～17:00
下平政史	教授(特任)	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週水・金曜日 15:00～17:00
大島幸彦	准教授(特任)	放射線医学講座	大学病院中央棟地下1階 放射線治療センター	毎週火・水曜日 15:00～17:00
木村純子	講師	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週水曜日・木曜日 15:00～17:00
池田秀次	講師	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週月・水曜日 15:00～17:00
伊藤 誠	講師	放射線医学講座	大学病院中央棟地下1階 放射線治療センター	毎週月・金曜日 15:00～17:00
山本貴浩	助教	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週火・水曜日 15:00～17:00
松永 望	助教	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週火・金曜日 15:00～17:00
成田晶子	助教	放射線医学講座	大学病院中央棟1階 読影室	毎週月・木曜日 15:00～17:00
足達 崇	助教	放射線医学講座	大学病院中央棟地下1階 放射線治療センター	毎週火・水曜日 15:00～17:00
内藤宗和	教授	解剖学講座	2号館 研究棟254号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
伊吹恵理	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
大野和子	非常勤講師	京都医療科学大学 教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

リハビリテーション医学

【単位数:0.5単位, 授業8コマ, 予備2コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

尾川貴洋 教授 (リハビリテーション医学講座)

2 教育目標

(1) ねらい (I-5-b, I-12-b)

- ① 多職種医療チームの責任者として、患者と家族に、全人的に対応できる。
- ② リハビリテーションの対象である障害と生活機能の診断及び評価方法、リハビリテーション目標とプログラムの作成方法、多職種の役割、リハビリテーション治療手技、医療・介護・福祉との連携方法を理解し、臨床・クラークシップで、これらの技術体系を有効に活用する準備ができる。

(2) 学修目標

- ① リハビリテーション医学・医療の概念を説明できる。
- ② リハビリテーション医療に関する基本的な診断法や多職種連携による治療法について説明できる。
- ③ リハビリテーション基礎医学として必要な解剖学や生理学を説明できる。
- ④ リハビリテーション医療に関する義肢装具療法・社会的資源・障がい者スポーツについて説明できる。
- ⑤ 運動器疾患に対する基本的なリハビリテーション治療について説明できる。
- ⑥ 内部障害に対する基本的なリハビリテーション治療や栄養管理について説明できる。
- ⑦ 脊髄損傷・神経筋疾患に対する基本的なリハビリテーション治療について説明できる。
- ⑧ 脳血管障害・高次脳機能障害に対する基本的なリハビリテーション治療について説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題
態度	○	—	態度不良の場合は「問題行動学生報告書」(イエロー・レッドカード)を提出する。 受講態度が不良の場合は、最終評価から最大10%を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

試験で正答率の低かった問題、理解が不十分と思われた問題について、解説を一斉メールする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
総合力がつくリハビリテーション医学・医療テキスト	久保俊一・田島文博 総編集	日本リハビリテーション医学教育推進機構	リハビリテーション総論・各論の基本が網羅的に記載されている。入門書として適している。
リハビリテーション医学・医療コアテキスト 第2版	久保俊一 総編集	医学書院	リハビリテーション医学・医療のコアとなる部分について臨床面を中心にとりあげている。

6 準備学習（予習・復習）

予習： 特別な予習は要求しないが、可能であれば、参考図書のどれかを選んで、その目次全体からどのような事項が取り上げられているのか確認しておく（1コマあたり約15分）。

復習： 講義の内容を中心に図書を参考にしながら理解を深めることを期待する（0.5時間）。

リハビリテーション医学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/9(木)	1	総論1:リハビリテーション医学・医療概論	リハ	教授	尾川貴洋	202 講
2025/1/9(木)	2	総論2:リハビリテーション診断	リハ	教授	尾川貴洋	202 講
2025/1/9(木)	3	総論3:実際のリハビリテーション治療とその役割	リハ	教授	尾川貴洋	202 講
2025/1/9(木)	4	各論1:運動器・義肢装具療法等	リハ	教授	尾川貴洋	202 講
2025/1/9(木)	5	特別講義	—	非常勤講師	梅本安則	202 講
2025/1/10(金)	1	各論2:内部障害等	リハ	教授	尾川貴洋	202 講
2025/1/10(金)	2	各論3:脊髄損傷等	リハ	教授	尾川貴洋	202 講
2025/1/10(金)	3	各論4:脳血管障害等	リハ	教授	尾川貴洋	202 講
2025/1/10(金)	4	予備				
2025/1/10(金)	5	予備				
2025/1/14(火)	1	定期試験	リハ	教授	尾川貴洋	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

1コマ目に総論としてリハビリテーション医学の基本概念と体系を解説し、2コマ目以降、リハビリテーション全体に共通する技術、制度と、各疾患・障害に対する治療について、具体的な内容を提示しながら進めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
尾川貴洋	教授	リハビリテーション医学講座	C棟10階 リハビリテーション医学講座医局	毎週火・水曜日 12:00～13:00
梅本安則	非常勤講師	横浜市立大学医学部 リハビリテーション科学教室	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

疼 痛 医 療 学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備5コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

牛田享宏 教授(疼痛医学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-6-b)

- ① 全人的対応と他職種共有・協働を理解するため，非がんの痛みについて生物心理社会面から対応していくことの概略を修得する。
- ② 慢性疼痛が患者を苦しめる痛みのメカニズムを身体の器質的問題，精神心理的な問題の両面から評価し，それらが慢性疼痛の発症・維持に関与していることを理解する。それとともに，慢性疼痛の罹患率，各種治療とその満足度及びこれらの社会的な影響といった現況について修得する。

(2) 学修目標

- ① 神経メカニズムから痛みの定義を説明できる。
- ② 痛覚過敏，アロディニアとはどのような症状であるかを概説できる。
- ③ 末梢神経系や脊髄にあるイオンチャンネルと痛みの伝達について概説できる。
- ④ 脳内の痛みの伝達ネットワーク理解し，各種ニューロトランスミッターが果たす役割について説明できる。
- ⑤ 痛みの評価法にはどのようなものが有るか，その使い方について説明できる。
- ⑥ 鎮痛薬，鎮痛補助薬の作用メカニズム，副作用及び使い方について説明できる。
- ⑦ コミュニケーションスキルと認知行動療法の基本について概説できる。
- ⑧ 廃用と筋委縮，関節拘縮について概説できる。
- ⑨ サルコペニアやその予防の為の運動，食事療法について説明できる。
- ⑩ 神経除圧，神経刺激法などの適応や問題点を説明できる。
- ⑪ 頭痛の種類，治療法について説明できる。
- ⑫ 歯牙や舌，顎関節の動きと口腔周囲の機能変調について説明できる。
- ⑬ 疾病利得，stigmaなどのメカニズムを理解し説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	多肢選択式問題
レポート	○	20%	アクティブ・ラーニングについてのレポート
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験，レポート，態度の合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(再試験は試験のみ60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

理解が不十分と思われる項目については学内メールにて再確認を促す。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
疼痛医学	田口敏彦, 牛田享宏, 飯田宏樹	医学書院	痛みの基礎から臨床まで網羅的に記載されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
痛み学－臨床のためのテキスト－	熊澤孝朗	名古屋大学出版会	痛みの基礎となる生理学, 臨床病態学が記載。
痛みの集学的診療: 痛みの教育コアカリキュラム	日本疼痛学会痛みの教育コアカリキュラム編集委員会	真興交易医学出版部	生物心理社会モデルの観点から集学的に痛みを学べる。
運動器慢性痛診療の手引き	日本整形外科学会運動器疼痛対策委員会	南江堂	足腰肩などの運動器の痛みへのアセスメントが記されている。
運動器慢性痛治療薬の選択と使用方法	山下敏彦, 牛田享宏	南江堂	足腰肩などの運動器の痛みへの薬物療法のポイントが記されている。
痛みの考え方 しくみ・何を・どう効かす	丸山一男	南江堂	ペインクリニック的観点から痛みの理解を深める。
リエゾン精神医学とその治療学	山脇成人 編	中山書店	身体医学と精神医学を併せて考えて治療を進めるための読本。
自分で痛みを管理しよう	坂本篤裕, 河原裕泰	真興交易医学出版部	体の痛みにアプローチするために患者の理解を上げさせるための教本。
慢性疼痛治療ガイドライン	慢性疼痛治療ガイドライン作成ワーキンググループ	真興交易医学出版部	最新のからだの長引く痛みの現状が学べる。

6 準備学習(予習・復習)

『疼痛医学(医学書院)』の内容を確認しておくこと(1コマあたり1時間)。

疼痛医療学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/14(火)	3	疼痛基礎学(1): 痛み医療の総論, 疫学	疼痛医学	教授	牛田享宏	202 講
2025/1/14(火)	4	疼痛基礎学(2): 痛みの解剖生理学	疼痛医学	助教	尾張慶子	202 講
2025/1/14(火)	5	検査・評価法(1): 慢性疼痛診断のための検査法	疼痛医学	助教	丹羽英美	202 講
2025/1/16(木)	1	検査・評価法(2): 生物心理社会モデルの痛みの評価, 事故や労災と長引く特殊な痛みとその対応	—	客員教授	川崎元敬	202 講
2025/1/16(木)	2	疼痛の種類(1): 痛みが主訴になりうる精神医学的徴候, サイコオンコロジー入門	疼痛緩和 外科	教授(特任)	西原真理	202 講
2025/1/16(木)	3	疼痛の種類(2): 慢性筋骨格痛, 神経障害性疼痛やCRPS	メディカルC	助教	寺嶋祐貴	202 講
2025/1/16(木)	4	検査・評価法(3), 治療法(1): 運動評価, 運動療法と栄養	—	客員教授	松原貴子	202 講
2025/1/16(木)	5	治療法(2): 心理療法(コミュニケーションスキルと認知行動療法)	—	非常勤講師	牧田 潔	202 講
2025/1/17(金)	1	疼痛の種類(3): 内科疾患による痛みと頭痛	—	客員教授	佐藤 純	202 講
2025/1/17(金)	2	疼痛の種類(4), 治療法(3): 歯科口腔領域の痛みと治療	運動療育C	助教	西須大徳	202 講
2025/1/17(金)	3	治療法(4): 薬物療法	疼痛医学	准教授	新井健一	202 講
2025/1/17(金)	4	治療法(5): インターベンショナル・外科治療	痛み(寄)	教授	福井 聖	202 講
2025/1/17(金)	5	【AL】アクティブ・ラーニング	運動療育C	准教授(特任)	井上真輔	202 講
2025/1/23(木)	1	予備				
2025/1/23(木)	2	予備				
2025/1/23(木)	3	予備				
2025/1/23(木)	4	予備				
2025/1/23(木)	5	予備				
2025/1/24(金)	1	自習				
2025/1/24(金)	2	自習				
2025/1/24(金)	3	自習				
2025/1/24(金)	4	自習				
2025/1/24(金)	5	定期試験	疼痛医学	教授	牛田享宏	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

PowerPoint などを利用したスライドによる講義。

症例を使ったアクティブ・ラーニング。

(3) 講義の内容

慢性疼痛に関する概念から治療法までを講義形式で行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
牛田享宏	教授	疼痛医学講座	6号館 疼痛医学講座医局	月曜日 15:00～17:00
新井健一	准教授	疼痛医学講座	6号館 疼痛医学講座医局	金曜日 15:00～17:00
尾張慶子	助教	疼痛医学講座	6号館 疼痛医学講座医局	月曜日 10:00～12:00
丹羽英美	助教	疼痛医学講座	—	講義終了後 講義室にて
西原真理	教授(特任)	疼痛緩和外科	6号館 疼痛医学講座医局	月曜日 15:00～17:00
寺嶋祐貴	助教	メディカルセンター	—	講義終了後 講義室にて
井上真輔	准教授(特任)	運動療育センター	—	講義終了後 講義室にて
西須大徳	助教	運動療育センター	6号館 疼痛医学講座医局	木曜日 15:00～17:00
福井 聖	教授	痛み医療開発寄附講座	D棟4階 痛み医療開発寄附講座	木曜日 9:00～11:00
佐藤 純	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
松原貴子	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
川崎元敬	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
牧田 潔	非常勤講師	愛知学院大学 心身科学部心理学科 教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワ～を参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

東 洋 医 学

【単位数：0.5 単位，授業8コマ，予備2コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

伊吹恵里 客員教授

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-b, III-6-b, IV-1-b, IV-2-b, IV-9-b)

- ① 患者の“多様な価値観を尊重”し，“全人的対応ができるプロフェッショナリズム”の一環として東洋医学を理解し，医療の実践につなげる。
- ② 漢方医学の特徴や，主な和漢薬(漢方薬)の適応，薬理作用を概説できる。

(2) 学修目標

- ① 東洋医学と西洋医学の基本的相違点を概説できる。
- ② 東洋医学の特徴・基本的概念(陰陽・虚実，表裏・寒熱，気・血・水(津液)・五臓・六病位)について説明できる。
- ③ 東洋医学の診察法(四診一望診，聞診，問診，切診)について説明できる。
- ④ 東洋医学における「証」とは何かを説明できる。
- ⑤ 「弁証論治」又は「随証治療」並びに「方証相對」について説明できる。
- ⑥ 代表的な漢方方剤の適応症及び構成生薬の薬理作用について概説できる。
- ⑦ 代表的な漢方処方の副作用や使用上の注意事項を説明できる。
- ⑧ 東洋医学のEBMと現代医療における東洋医学の役割について概説できる。
- ⑨ 経絡・経穴及び鍼灸治療の概略について説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	記述式と多肢選択問題を含む。
小テスト	○	20%	6月17日(月)及び6月24日(月)の講義終了後(実施する時間帯は講義中並びにAIDLE-K上に告知する)の計2回実施する。 指定された時間帯以外での回答の提出は認めない。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は最大10点減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに、定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
愛知医科大学東洋医学基礎理論基本用語解説集(配布資料)	東洋医学講義担当者		東洋医学全般の基本事項の理解に有用である。
東洋医学講義資料集(配布資料)	東洋医学講義担当者		講義内容の理解に必要(一部の内容は授業前に配付する)。
基本がわかる漢方医学講義	日本漢方医学教育協議会	羊土社	漢方医学に関する基礎事項が平易かつ簡潔に編集されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
医学生のための漢方医学【基礎編】	安井廣迪	東洋学術出版社	東洋医学全般の基本事項の理解に有用である。
絵で見る和漢診療学	寺澤捷年	医学書院	漢方医学に関する基礎事項が平易かつ簡潔に編集されている。
中医臨床のための舌診と脈診	神戸中医学研究会編	医歯薬出版株式会社	東洋医学における診察法と所見の解釈が詳しく編集されている。
鍼灸の医学	長浜喜夫	創元社	鍼灸に関する基本事項の理解に有用である。
三大法則で解き明かす漢方・中医入門	梁 哲成	燎原書店	東洋医学全般の基礎理論を理解するのに有用である。

6 準備学習（予習・復習）

- 事前に配付された「愛知医科大学東洋医学基礎理論基本用語解説集」と「東洋医学講義資料集」を熟読し、東洋医学に関するイメージをつかんでおく(約1時間)。
- 「基本がわかる漢方医学講義」を用いて東洋医学の基礎の理解に役立てる事を推奨する。
- 「愛知医科大学東洋医学基礎理論基本用語集」と「東洋医学講義資料集」を毎回授業の際に持参し、各授業内容理解のための参考書とする(約50分)。
- 一部eラーニングを用いた予習を行う(予定)。

東洋医学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/17(月)	1	1. 日本の医療における東洋伝統医学の位置づけと歴史, 2. 東洋医学の基礎理論(八綱-陰陽, 虚实, 表裏, 寒熱, 六病位, 気血水)	—	客員教授	伊吹恵里	202 講
2024/6/17(月)	2	東洋医学的診察法—四診(聞診, 脈診, 舌診, 腹診)に挑戦! 腹診シミュレーター実習	—	客員教授	伊吹恵里	202 講
2024/6/17(月)	3	1. 生薬と漢方薬の定義, 2. 漢方薬の剤形, 3. 生薬の分類, 4. 漢方薬の処方構成, 5. 有害反応と誤治・瞑眩の違い, 6. 代表的漢方処方の理論～桂枝湯と関連処方など～	睡眠	教授(特任)	篠邊龍二郎	202 講
2024/6/17(月)	4	気道感染症への東洋医学的アプローチ～西洋医学との対比～	—	非常勤講師	北川 渡	202 講
2024/6/17(月)	5	証の決定と漢方処方演習—代表的方剤を中心に	—	客員教授	伊吹恵里	202 講
2024/6/24(月)	1	鍼灸の効果, 適応及び奏効機序, 経絡の種類(12正経, 任脈, 督脈) 361経穴, 鍼の種類, 灸の種類	—	非常勤講師	赤尾清剛	シミュC
2024/6/24(月)	2	鍼の刺激方法及び刺激量, 灸の刺激方法及び刺激量, 鍼灸の禁忌	—	非常勤講師	赤尾清剛	シミュC
2024/6/24(月)	3	予備				
2024/6/24(月)	4	煎じ薬実習 葛根湯と当帰芍薬散を煎じてみよう!	感染症 —	教授 客員教授	三鴨廣繁 伊吹恵里	研 107
2024/6/24(月)	5	予備				
2024/7/18(木)	4	定期試験	医学教育C	教授	早稲田勝久	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での実習型授業を中心に, 部分的に知識伝達型講義もまじえて展開する。

その準備として, 東洋医学に関する基本的知識は「愛知医科大学東洋医学基礎理論基本用語解説集」のほか「東洋医学講義資料集」, 「基本がわかる漢方医学講義」並びに一部eラーニング(予定)で予習しておくことが必須である。

(3) 講義の内容

東洋医学の基本的な考え方とその診療法並びに西洋医学との相違点を理解し, 将来医師になった際の診療で役立つ臨床能力として活用できるような内容にする。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上 対応可
三鴨廣繁	教授	臨床感染症学	C棟8階教授室	毎週水曜日 8:00～8:20
篠邊龍二郎	教授(特任)	睡眠科	C棟5階睡眠科医局	毎週水曜日 13:00～18:00
伊吹恵里	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
赤尾清剛	非常勤講師	名古屋東洋クリニック 院長	—	講義終了後 講義室にて
北川 渡	非常勤講師	医療法人北国会 北川内科	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

高 齢 医 学

【単位数：1単位，授業 13 コマ，予備 2 コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

岩崎 靖 教授(加齢医科学研究所)

2 教育目標

(1) ねらい (I-5-b, II-1-b, III-3-b, III-4-b, III-5-b)

- ① コンピテンスであるプロフェッショナリズム，コミュニケーションなどに基づき，コンピテンシーである高齢者の特徴を正しく理解し，医学研究者・医療従事者として高齢者の医学・医療に取り組む能力習得を目的とする。
- ② 高齢医学では高齢者にかかわる諸問題を各論的，臓器別の講義ではふれにくい内容について統合的に理解する。

(2) 学修目標

- ① 医学・医療の面からみた高齢者の特徴について総合的に把握する。
- ② 高齢者に多い認知症や骨疾患などの病態を若年者と比較して考察することが出来る。
- ③ 将来活動する医療の現場で高齢者の医療・介護において考慮すべき問題を把握し，医療チームの中心となって指導出来る基礎知識を身につける。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題 (マークシート)
態度	○	—	著しく態度不良の場合は成績から最大10%の減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験で60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績について，正答率の低かった問題，理解が不十分と考えられた問題については，解説をAIDLE-Kに掲載する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
これからの老年学[第二版]	井口昭久 編集	名古屋大学 出版会	老年学の入門書である。
老年医学系統講義テキスト	日本老年 医学会編集	西村書店	系統的に記載され、学習目標が明確である。
新老年学 第3版	折茂 肇	東京大学 出版会	老年学のエンサイクロペディアである。
みるトレ 神経疾患	岩崎 靖	医学書院	臨床における神経疾患の入門書である。

6 準備学習（予習・復習）

- 老年医学の参考図書を閲覧して、主要な項目を確認し、総論と各論の骨格について簡単な知識を得ておく（約0.5時間）。
- 高齢者の生物学的、医学的、社会的特徴を把握しておく（約1時間）。
- 認知症の概要を把握しておく（約0.5時間）。

高齢医学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/1/27(月)	1	高齢者の生活機能評価／サルコペニア・フレイル	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	202 講
2025/1/27(月)	2	高齢者に多い症候／高齢者の身体診察	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	202 講
2025/1/27(月)	3	高齢者の循環器疾患	—	非常勤講師	脇田康志	202 講
2025/1/27(月)	4	認知症をきたす神経疾患	加齢研	特命研究教授	吉田真理	202 講
2025/1/27(月)	5	骨粗鬆症	整形	講師	平澤敦彦	202 講
2025/1/28(火)	1	高齢者の呼吸器疾患	メディカルC	特命教授	馬場研二	202 講
2025/1/28(火)	2	高齢者の看護・介護	看護学部	准教授	荻野朋子	202 講
2025/1/28(火)	3	老年症候群とフレイル対策	—	非常勤講師	林 祐一	202 講
2025/1/28(火)	4	ポリファーマシー	—	非常勤講師	林 祐一	202 講
2025/1/28(火)	5	予備				
2025/1/30(木)	1	認知症の診断と治療	加齢研	教授	岩崎 靖	202 講
2025/1/30(木)	2	高齢者医療の現状	加齢研	教授	岩崎 靖	202 講
2025/1/30(木)	3	高齢者の終末期医療	加齢研	講師	赤木明生	202 講
2025/1/30(木)	4	予備				
2025/1/30(木)	5	高齢者の泌尿器疾患	泌尿器	助教	梶川圭史	202 講
2025/1/31(金)	1	自習				
2025/1/31(金)	2	自習				
2025/1/31(金)	3	自習				
2025/1/31(金)	4	自習				
2025/1/31(金)	5	定期試験	加齢研	教授	岩崎 靖	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

大教室での知識伝達型の講義を原則とする。講義中の質疑応答などのアクティブ・ラーニングを重視する。

(3) 講義の内容

高齢医学総論を基礎とし、各論として泌尿器、循環器、呼吸器、整形外科、認知症、医療制度を取り上げ、具体的な内容な症例を呈示しながら、高齢者の抱える、生物学的、医学的、社会的問題を総合的に理解できるように構成している。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
岩崎 靖	教授	加齢医科学研究所	5号館2階 加齢医科学研究所	毎週火・水・木曜日 9:00～17:00
吉田眞理	特命研究教授	加齢医科学研究所	5号館2階 加齢医科学研究所	毎週月・火・木・金曜日 9:00～17:00
赤木明生	講師	加齢医科学研究所	5号館2階 加齢医科学研究所	毎週月・水・木曜日 9:00～17:00
馬場研二	特命教授	メディカルセンター	—	講義終了後 講義室にて
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄 附講座	2号館 研究棟 355 号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00
荻野朋子	准教授	看護学部 (老年看護学)	C棟5階 個人研究室④	毎週水曜日 16:30～18:00
梶川圭史	助教	泌尿器科	D棟5階 泌尿器科医局	毎週金曜日 16:00～17:30
平澤敦彦	講師	整形外科学講座	C棟9階 整形外科医局	毎週木曜日 11:00～12:00
脇田康志	非常勤講師	愛知医科大学 非常勤講師	—	講義終了後 講義室にて
林 祐一	非常勤講師	敦賀市立看護大学	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

症 候 学

【単位数：1.5単位，授業25コマ】

1 科目責任者

前川正人 教授(総合診療医学)

科目担当者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b, Ⅲ-9-b, Ⅲ-10-b, Ⅳ-1-b, Ⅳ-2-b, Ⅳ-3-b)

- ① 系統講義で学修した「医学知識と科学的探究心」を横断的に網羅し、より深い医学知識を修得する。
- ② コンピテンスの「診療技能」の理解のため、主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を各分野統合して学ぶことにより、医師として必要な基本的診察知識を習得する。

(2) 学修目標

- ① モデルコアカリキュラムに挙げられている37症候・病態の病態生理を説明できる。
- ② それぞれの症候・病態を来す代表的疾患を列举できる。
- ③ 列举した疾患の鑑別をすることができる。
- ④ 診断に至るプロセスと診察の進め方について説明できる。
- ⑤ 医療面接の役割、具体的な方法、必要なコミュニケーションスキルについて説明できる。
- ⑥ 基本的身体診察法を理解し、身体診察により得るべき情報と臨床的意義について説明できる。
- ⑦ 診療録の意義と記載方法を理解しPOSとPOMRについて説明できる。
- ⑧ 診断仮説を立てることができ、検証するための情報収集について説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小テスト(診断学)	○	50%	2月4日(火)5限目を実施する。
小テスト(症候学)	○	50%	症候毎に実施する。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席： 定期試験は実施しないが、単位取得のためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

小テスト(診断学)が60%以上であること。かつ、小テスト(症候学)の平均が60%以上であること。

(3) 再試験・再評価の方法

小テスト欠席の場合の追試験は実施しない。

合格基準に達しない場合は、課題・レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

診断学(2月3日, 4日分)の9コマ終了後に、小テスト並びに総括を行い、小テストの結果は後日通知する。症候ごとの小テストの結果について授業中に振り返る。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
医学教育モデルコアカリキュラム			37症候と関連する代表疾患が列挙されている。
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
主要症候・医療面接がわかる	安田幸雄	テコム	コアカリキュラムで提示されている症候の、医療面接でのポイントが解説されている。
診察と手技が見える	田邊政裕 編集	日本内科学会 総合医学社	写真，図を多用し理解しやすい。
内科救急診療指針	日本内科学会 編集	日本内科学会 総合医学社	救急医療に必要な症候，病態，診断，治療を解説。
内科診断学	福井次矢 奈良信雄 編集	医学書院	診断学の総論から各論まで読みやすく網羅されている。

6 準備学習（予習・復習）

- ① 事前配付された講義資料には必ず目を通し，関連する項目を教科書や推奨した参考図書で確認しておくこと（約1時間）。
- ② 該当する主要症候とそれに関連する疾患について教科書を読んでおく（0.5時間）。
- ③ 症候毎に小テストの内容の振り返りを行う（約15分）。
- ④ 講義で理解できない内容がある場合には，教員への質問や参考図書などで解決すること（0.5時間）。

症候学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/2/3(月)	1	診断学総論 医療面接 バイタルサイン	総診	教授	前川正人	202 講
2025/2/3(月)	2	胸部 循環器疾患の症候	総診	教授	前川正人	202 講
2025/2/3(月)	3	胸部 循環器疾患の身体診察 (OSCE準備学修)	総診	教授	前川正人	202 講
2025/2/3(月)	4	腹部 消化器疾患の症候	—	客員教授	伊吹恵里	202 講
2025/2/3(月)	5	腹部 消化器疾患の身体診察 (OSCE準備学修)	—	客員教授	伊吹恵里	202 講
2025/2/4(火)	1	胸部 呼吸器疾患の症候	総診	教授(特任)	脇田嘉登	202 講
2025/2/4(火)	2	胸部 呼吸器疾患の身体診察 (OSCE準備学修)	総診	教授(特任)	脇田嘉登	202 講
2025/2/4(火)	3	頭頸部の身体診察 (OSCE準備学修)	総診	准教授	山本さゆり	202 講
2025/2/4(火)	4	【AL】小グループ演習 診療録記載	PCC	准教授	宇佐美潤	202 講
2025/2/4(火)	5	診断学総括並びに小テスト	総診	教授	前川正人	202 講
2025/2/7(金)	1	症候学準備	—	—	担当医	シミュC
2025/2/7(金)	2	症候学1	—	—	担当医	シミュC
2025/2/7(金)	3	(コミュニケーション演習1)				
2025/2/7(金)	4	症候学2	—	—	担当医	シミュC
2025/2/7(金)	5	(コミュニケーション演習2)				
2025/2/10(月)	1	症候学準備	—	—	担当医	シミュC
2025/2/10(月)	2	症候学3	—	—	担当医	シミュC
2025/2/10(月)	3	(コミュニケーション演習3)				
2025/2/10(月)	4	症候学4	—	—	担当医	シミュC
2025/2/10(月)	5	(コミュニケーション演習4)				
2025/2/12(水)	1	症候学準備	—	—	担当医	シミュC
2025/2/12(水)	2	症候学5	—	—	担当医	シミュC
2025/2/12(水)	3	(コミュニケーション演習5)				
2025/2/12(水)	4	症候学6	—	—	担当医	シミュC
2025/2/12(水)	5	(コミュニケーション演習6)				
2025/2/13(木)	1	症候学準備	—	—	担当医	シミュC
2025/2/13(木)	2	症候学7	—	—	担当医	シミュC
2025/2/13(木)	3	(コミュニケーション演習7)				
2025/2/13(木)	4	症候学8	—	—	担当医	シミュC
2025/2/13(木)	5	(コミュニケーション演習8)				

症候学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/2/14(金)	1	症候学準備	—	—	担当医	シミュC
2025/2/14(金)	2	症候学9	—	—	担当医	シミュC
2025/2/14(金)	3	(コミュニケーション演習9)				
2025/2/14(金)	4	症候学10	—	—	担当医	シミュC
2025/2/14(金)	5	(コミュニケーション演習10)				

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

診断学(2月3日, 4日分)の10コマは大講義室での知識伝達型の座学講義が中心であるが, 一部小グループによる討論や共同作業などのアクティブ・ラーニングを導入する。

症候学も基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが, 講義自体は講義テーマを事前に学生に割り振り, 担当のグループが行う。

(3) 講義の内容

診断学の10コマでは, 頭頸部, 胸部, 腹部に関連する主要症候については各分野を統合して講義し, OSCEの準備学修として症候に関連する領域の身体診察についても講義する。最終コマで総括と小テストを実施する。

症候学は, 学生自身が講義資料を作成し, 資料を用いながら講義を行う。症候ごとに小テストを実施し知識の確認を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
前川正人	教授	総合診療医学講座	D棟2階医局	毎週木曜日 16:00～17:00
脇田嘉登	教授(特任)	総合診療医学講座	D棟2階医局	毎週火曜日 16:00～17:00
宇佐美潤	准教授	プライマリケアセンター	D棟2階医局	毎週木曜日 16:00～17:00
山本さゆり	准教授	総合診療医学講座	D棟2階医局	毎週月曜日 16:00～17:00
伊吹恵里	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上 対応可

※ 質問等については, 講義終了後, 又は, Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には, オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師, 客員教授, 名誉教授にEmailで質問したい場合は, 科目責任者に連絡先を問合せること。

コミュニケーション演習 3

【単位数:0.5単位, 授業10コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

船木 淳 講師(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-b, I-5-b, II-1-b, II-2-b, II-3-b, III-3-b, IV-1-b, IV-5-b)

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナルリズム」、「コミュニケーション」、「診療技能」の基礎を学び、チームとして良好な関係を構築できる。
- ② 主要な症候の診察に必要な知識を学習し、その内容を活かした模擬診察を実施、診察に必要な知識とそのコミュニケーション方法について省察できる。

(2) 学修目標

- ① 症候学で学習した知識を用いて、模擬診察(医療面接)にて模擬患者を演じることができる。
- ② 症候学で学習した知識を用いて、模擬診察(医療面接)ができる。
- ③ 診察に必要な知識、コミュニケーション技術について自己・他者評価できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	100%	医療面接(ロールプレイ)中の指導医からの評価(40%),自己評価(30%),他者評価(30%) 演習に対する態度が不良の場合は30点を限度に減点する。

出席: 演習を修得するためには、欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

面談の上、課題・レポートを課す。

演習を欠席した場合は、面接後、補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

演習中に不足している部分は、担当指導医よりフィードバックをする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
主要症候・医療面接がわかる	安田幸雄	テコム	コアカリキュラムで提示されている症候の医療面接でのポイントが解説されている。
考える技術 臨床的思考を分析する (第2版)	スコット・スターン他著 竹本 毅訳	日経BP	診断プロセスについて丁寧に説明されている。
診療場面のコミュニケーション	ジョン・ヘリテッジ, ダグラス・メイナード(川島理恵他訳)	勁草書房	会話分析という研究分野からみた医療面接について述べられており, 問い方とその答えについて具体例が多いため, 「目的をもった会話」の重要性を考えるきっかけになる。

6 準備学習(予習・復習)

日常のコミュニケーションについて, 演習前後に振り返る機会を持つこと(1日あたり約0.5時間)。

コミュニケーション演習3

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/2/7(金)	1	(症候学準備)				
2025/2/7(金)	2	(症候学1)				
2025/2/7(金)	3	コミュニケーション演習1	医学教育C 医学教育C シミュC — —	教授 講師 講師 非常勤講師 —	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子 担当医	シミュC
2025/2/7(金)	4	(症候学2)				
2025/2/7(金)	5	コミュニケーション演習2	医学教育C 医学教育C シミュC — —	教授 講師 講師 非常勤講師 —	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子 担当医	シミュC
2025/2/10(月)	1	(症候学準備)				
2025/2/10(月)	2	(症候学3)				
2025/2/10(月)	3	コミュニケーション演習3	医学教育C 医学教育C シミュC — —	教授 講師 講師 非常勤講師 —	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子 担当医	シミュC
2025/2/10(月)	4	(症候学4)				
2025/2/10(月)	5	コミュニケーション演習4	医学教育C 医学教育C シミュC — —	教授 講師 講師 非常勤講師 —	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子 担当医	シミュC
2025/2/12(水)	1	(症候学準備)				
2025/2/12(水)	2	(症候学5)				
2025/2/12(水)	3	コミュニケーション演習5	医学教育C 医学教育C シミュC — —	教授 講師 講師 非常勤講師 —	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子 担当医	シミュC
2025/2/12(水)	4	(症候学6)				
2025/2/12(水)	5	コミュニケーション演習6	医学教育C 医学教育C シミュC — —	教授 講師 講師 非常勤講師 —	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子 担当医	シミュC
2025/2/13(木)	1	(症候学準備)				
2025/2/13(木)	2	(症候学7)				
2025/2/13(木)	3	コミュニケーション演習7	医学教育C 医学教育C シミュC — —	教授 講師 講師 非常勤講師 —	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子 担当医	シミュC
2025/2/13(木)	4	(症候学8)				
2025/2/13(木)	5	コミュニケーション演習8	医学教育C 医学教育C シミュC — —	教授 講師 講師 非常勤講師 —	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子 担当医	シミュC

コミュニケーション演習3

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2025/2/14(金)	1	(症候学準備)				
2025/2/14(金)	2	(症候学9)				
2025/2/14(金)	3	コミュニケーション演習9	医学教育C 医学教育C シミュC — —	教授 講師 講師 非常勤講師 —	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子 担当医	シミュC
2025/2/14(金)	4	(症候学10)				
2025/2/14(金)	5	コミュニケーション演習10	医学教育C 医学教育C シミュC — —	教授 講師 講師 非常勤講師 —	早稲田勝久 河合聖子 船木 淳 川原千香子 担当医	シミュC

()内は「症候学」にて実施。「症候学」で学修したことをもとに、本科目を実施する。
医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

コミュニケーション演習の前の時間に実施した症候学で学んだことをもとに、医療面接をグループ間で行い、病態を聞き出すためのコミュニケーション技能を学修する。

(3) 講義の内容

社会人基礎力として求められるコミュニケーションの基本と医療人として求められるコミュニケーションの特徴について考察する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
川原千香子	非常勤講師	昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せ

4 学 年 次 履 修 科 目

プロフェッショナリズム 4

【単位数:0.5単位, 授業10コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

宮田靖志 教授(特任)(地域総合診療医学寄附講座)

2 教育目標

(1) ねらい(I-1-b, I-2-b, I-3-b, I-4-b, I-5-b, I-6-b, I-7-b, I-8-b, I-11-b, I-12-b, I-13-b, I-14-b, I-15-b)

- ① コアコンピテンスの“プロフェッショナリズム(医師としての価値観・態度・姿勢, 生涯学習・自己啓発・自己管理, チーム医療・医療安全)”の理解を深める。
- ② プロフェッショナリズムとは, 医療者, 医学生として最低限身に付けておくべき最低限の能力と, 医療者, 医学生として常に高みを目指す姿勢を保つ向上心的目標の2つがある。その両方の基本的概念を理解し, それらを日々の学生生活で実践することは具体的にどのようなことかを自身で考え, 実践できるようになる。
- ③ 医師として生涯にわたり社会貢献していくために, どのようにキャリア形成していくか, 考えることができるようになる。
- ④ 臨床倫理の具体的事例について深く考え, 議論できる。
- ⑤ 多職種連携で自分の職種の立場で議論・作業に参加でき, かつ, 他職種の立場を理解したうえで, 協働できるようになる。

(2) 学修目標

- ・ プロフェッショナリズム
 - ① プロフェッショナリズムの概念を理解する。
 - ② アンプロフェッショナルな行動とは何かを理解し, それを回避することができるようになる。
 - ③ 向上心的目標とは何かを理解し, 自身でその目標を立てる。
 - ④ プロフェッショナリズム・ジレンマ症例について健全な対応索を考えることができる。
 - ⑤ 社会的説明責任について理解し, 健康の社会的決定要因への対応を考えることができる。
 - ⑥ 利益相反について理解し, 正しい対応ができるようになる。
 - ⑦ 難しいコミュニケーションの概念を理解し, 一定程度のスキルを身につける。
 - ⑧ 共感, ヒューマニズムとは何かを理解し, それらの態度を保つことができるようになる。
- ・ キャリア形成
 - ① キャリア形成とはなにか理解する。
 - ② 女性医師のキャリア形成について, 女子学生, 男子学生の立場から考えることができる。
- ・ 臨床倫理
 - ① 臨床現場で実際に生じる倫理的問題について自身の考えを述べ, 他者と意見交換できる。
- ・ 多職種連携
 - ① 自分の考えをはっきりと多職種に伝えるとともに, 多職種の意見を尊重し, 両者の違いを認識したうえで, 協働して一定の行動を決定, 実施することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	・記述式及び多肢選択問題
レポート	○	30%	・非常勤講師の講義内容の感想を、講義翌日の9:00までにAIDLE-Kに提出すること。記載内容をあらかじめ提示する評価基準によって各15点満点で採点する ・課題提出期限に間に合わなかった場合は採点対象としないので注意すること。
態度	○	—	授業妨害となるような態度不良が見られる場合は、総合判定から10点減点する。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

- 評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。
- 非常勤講師の講義内容の感想の評価は下記の通りとする。
 - ・キーワードを3つ挙げる
 - ・挙げたキーワードの少なくとも1つに関して、講義内容に関する自分自身の考えを記載する。
講義資料の記載、一般的・教科書的記載は不可
 - ・自身の十分な考えが記載されている場合、1講師につき15点満点で採点する。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

授業中に与えられる課題を発表してもらい、その内容についてその場で口頭にてフィードバックする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
白衣のポケットの中 医師のプロフェッショナリズムを考える 8	宮崎 仁, 尾藤誠司, 大生定義 編	医学書院	プロフェッショナリズムの概念, 具体的事例について分かりやすく記載されている。
日常診療の中で学ぶプロフェッショナリズム	Levinson, L著 宮田靖志監訳	カイ書林	日常臨床でよく遭遇する具体的プロフェッショナリズム事項について, その対応が書かれている実践的な内容である。
医療プロフェッショナリズム教育	クルーズ, R他 編	日本評論社	やや難解であるが, 包括的に解説されている。
ABC of 医療プロフェッショナリズム	Coope, N著 宮田靖志監訳	羊土社	プロフェッショナリズムの概念から現代の医療現場での課題
臨床現場のレジリエンス 医療従事者のウェルビーイングのために	Frain, A著 宮田靖志	遠見書房	バーアウト回避の基本的な考え方が整理されている。
医療の倫理ジレンマ	バーナード・ロウ	西村書店	臨床における様々な具体的倫理事項を取り上げ, その解消のための考え方を詳細
実践 SDH診療 できることから始める健康の社会的決定要因への取り組み	日本プライマリ・ケア 連合学会	中外医学社	健康の社会的決定要因に関する実践について分かりやすく解説されている。
医療者のためのLGBTQ講座	吉田絵理子編	南山堂	セクシュアリティと医療に関する知識が分かりやすく解説されている。

6 準備学習（予習・復習）

論文“新ミレニアムにおける医のプロフェッショナリズム: 医師憲章”をAIDLE-Kにアップしておくので, 初回講義を受講する前に, 事前にダウンロードして読んでおく(このコース全体の準備として, 0.5時間)。

プロフェッショナリズム4

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/10(水)	4	総論(プロフェッショナリズムの知的基盤)	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/4/17(水)	4	アンプロフェッショナルな行動 医療者の破壊的行動	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/4/24(水)	4	社会的説明責任 健康の社会的決定要因	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/5/8(水)	4	Difficult patient encounter 燃え尽き症候群とセルフケア	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/5/8(水)	5	ワークライフバランスの実践 一キャリア形成のための男女共同参画の あり方一	医教C	講師	河合聖子	301 講
2024/5/22(水)	4	多様性と包摂性 (ダイバーシティとインクルージョン)	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/5/22(水)	5	コーチングを活用した効果的なコミュニケー ション	—	非常勤講師	田口智博	301 講
2024/5/29(水)	5	医師の仕事と家庭の両立支援制度	—	非常勤講師	荒川裕香	301 講
2024/6/5(水)	4	臨床倫理	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/12(水)	4	利益相反(製薬企業との不適切な関係)	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/17(水)	6	定期試験	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	101 講

(2) 講義の方法

プロフェッショナリズムに関する知識の整理のための講義後、自己省察、グループ討論、全体討論、課題の発表などを行う。主に事例検討を中心に授業を進める。

多職種連携では看護学部学生と小グループを作り、グループ討論を行う。また、討論結果を全体発表する。

(3) 講義の内容

多職種連携(看護学部との合同)～医療安全・チーム医療の予定～では、シミュレーション事例を多職種で協働して課題解決する作業を通じて、患者安全のために多職種がどのように連携すべきか理解を深める。

医療プロフェッショナリズム総論では、自分で経験した、あるいは自分の周囲で生じたプロフェッショナル、アンプロフェッショナルな行動について発表、討論しながら、プロフェッショナリズムの理解を深めていく。

キャリア教育では、医師の多様な働き方についての知識を得て、同僚との意見交換により自身の考えを深めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	2号館 研究棟355号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00
河合聖子	講師	医学教育センター	—	講義終了後 講義室にて
荒川裕香	非常勤講師	あらかわ内科クリニック 副院長	—	講義終了後 講義室にて
田口智博	非常勤講師	藤田医科大学医学部地 域医療学	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

多職種連携演習 4

【単位数：1.5単位，授業24コマ（内10コマ）】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授（医学教育センター）

科目担当者

船木 淳 講師（シミュレーションセンター）

2 教育目標

（1） ねらい（I-1-c）

- ① 本学のコンピテンスである「プロフェッショナリズム」，「コミュニケーション」について学ぶ。
- ② 医師として社会の多様なニーズに対応できるように，また医師の役割を様々な角度から考察できるようになるために，「医師として求められる基本的な資質・能力」である‘プロフェッショナリズム’，‘医学知識と問題対応能力’，‘コミュニケーション能力’，‘チーム医療の実践’，‘医療の質と安全の管理’，‘社会における医療の実践’，‘生涯にわたって共に学ぶ姿勢’などについて考える機会を持ち，様々な医療専門職と議論をしながら学修をすすめる。

（2） 学修目標

全体目標

- ① 他学部学生との協働を体験し，自己のコミュニケーションの課題を見出すことができる。
- ② 医療チームにおける多職種のコミュニケーションの重要性を説明できる。

1学年次

- ・ 医師として必要な多様な価値観を持つことができる。良いチームとは何か，自己と他者の理解に対する姿勢，コミュニケーションの重要性を述べることができる。

2学年次

- ・ 医療は多職種協働であることを理解し，医療チームを構成する上での課題を抽出出来る。

3学年次

- ・ 患者・家族の視点に立ち，チームとして課題解決に取り組むことの重要性を説明できる。

4学年次

- ・ 臨床場面において，患者・家族中心の多職種協働を実践できる。

3 成績の判定・評価

（1） 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	90%	提出期限の厳守，指示に則って記載できていない場合は再提出を求められることがある。
態度	○	10%	演習に対する参加度を評価する。

出席：演習の単位を修得するためには，欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

ただし、本科目は1学年次から4学年次に開講される多職種連携演習1～4全ての評価をもとに「多職種連携演習」として4学年次に単位認定をする(各学年での単位認定は行わないが、各学年で合格基準を満たすこと)。

4学年次では、10コマ開講する。

(3) 再試験・再評価の方法

再評価は教員と面接の上、課題を課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

レポートに記載された内容について、理解が不十分と判断された場合は個々に理解度の確認を行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
他者と働く	宇田川元一	News Picks Publishing	「知識として正しいことと、実践の間には大きな隔りがある」として分かりあえなさを基盤に他者とのかかわりの大切さを考察できる。
異文化コミュニケーションワークブック	矢代京子 荒木晶子 他	三修社	自分自身の「異文化」に対する価値観を多様なセルフチェックで知ることができ、価値観を考えるきっかけとなる。
最強組織の法則—新時代のチームワークとは何か	ピーター・M・センゲ 守部信之 訳	徳間書店	すばらしいチームとはどのような要素で成り立っているのか、また、様々なタイプのリーダーについて考察することができる。

6 準備学習(予習・復習)

他学部との合同セッションになるため、身だしなみ、言葉遣いなど、参加するための準備をしておく(0.5時間)。

多職種連携演習 4

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)	
2024/7/11(木)	1	多職種連携の実際	医学教育C	教授	早稲田勝久	301 講	
2024/7/11(木)	2		糖内	教授	神谷英紀		
2024/7/11(木)	3		薬理学	准教授	山口奈緒子		
2024/7/11(木)	4		医学教育C	講師	河合聖子		
2024/7/11(木)	5		糖内	講師	森下啓明		
			医学教育C	特命教育教授	伴 信太郎		
			地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志		
			シミュC	講師	船木 淳		
2024/10/3(木)	1	他学部と合同演習	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC	
			糖内	教授	神谷英紀		
			薬理学	准教授	山口奈緒子		
			医学教育C	講師	河合聖子		
			糖内	講師	森下啓明		
			医学教育C	特命教育教授	伴 信太郎		
			地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志		
			シミュC	講師	船木 淳		
2024/10/3(木)	2			看護学部	教授		山中 真
				看護学部	教授		谷口千枝
			看護学部	准教授	篠田かおる		
			看護学部	准教授	山本恵美子		
			看護学部	准教授	青山恵美		
			看護学部	准教授	黒澤昌洋		
			看護学部	講師	上坂真弓		
2024/10/3(木)	3		—	客員教授	築山郁人		
			—	非常勤講師	川原千香子		
			—	非常勤講師	立花詠子		
			—	非常勤講師	宇野千春		
2024/10/3(木)	4	演習課題	医学教育C	教授	早稲田勝久	シミュC	
			糖内	教授	神谷英紀		
			薬理学	准教授	山口奈緒子		
			医学教育C	講師	河合聖子		
			糖内	講師	森下啓明		
			医学教育C	特命教育教授	伴 信太郎		
2024/10/3(木)	5		地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志		
			シミュC	講師	船木 淳		
			—	非常勤講師	川原千香子		

(2) 講義の方法

小グループによる討論・発表や講師との質疑応答を行う。

(3) 講義の内容

看護学部学生・薬学部学生と合同でグループワーク、発表を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
伴 信太郎	特命教育教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
山口奈緒子	准教授	薬理学講座	2号館研究棟359室	毎週月曜日～金曜日 18:00～19:00
神谷英紀	教授	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階教授室	毎週火曜日 9:00～12:00 毎週木・金曜日 14:00～17:00
森下啓明	講師	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週火・金曜日 14:00～17:00
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	2号館 研究棟 355号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00
山中 真	教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
谷口千枝	教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
青山恵美	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
篠田かおる	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
山本恵美子	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
黒澤昌洋	准教授	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
上坂真弓	講師	看護学部	—	講義終了後 講義室にて
築山郁人	非常勤講師	客員教授	—	講義終了後 講義室にて
川原千香子	非常勤講師	昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授	—	講義終了後 講義室にて
立花詠子	非常勤講師	名古屋学芸大学 管理栄養学部 准教授	—	講義終了後 講義室にて
宇野千春	非常勤講師	名古屋学芸大学 管理栄養学部 講師	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:MiCrosoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合わせること。

医学英語 4

【単位数：1単位，授業13コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授(外国語)

科目担当者

小川恭佑 助教(外国語)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-4-b, Ⅲ-10-b)

- ① 前半では、コンピテンスの“疾患の概略について説明でき、鑑別を要する疾患を列挙し、病態や診断基準等と照らし合わせて考察できる”ことを、英語でも実践できるよう学習を進める。
後半では、コアコンピテンスの“医学、医療における客観的根拠を適切に探索し、EBMを実践できる(医学知識と科学的探究心)”に必要な基礎的な概念の習得のために英文で書かれた医学論文を読む。
- ② 生涯にわたって自律的に学び続け、また自ら発信することができるようになるための基礎となる語学力を身に着けることと、患者の社会的背景(経済的・制度的側面等)が病いに及ぼす影響への理解を深めることがねらいである。

(2) 学修目標

- ① 身体の構造や機能、疾患・症状に関する基礎的な語の意味を理解し、綴り・発音が実践できる。
- ② 医療面接で使用される定型的な表現や実践的な対話表現が理解できる。
- ③ ケーススタディや研究論文で登場する疾患・症候について自ら調べることができる。
- ④ 調べものをするときに使用すべき信頼性の高いソースを見分けることができる。
- ⑤ 根拠に基づいた医療(EBM)の概念のうち特に、5つのステップと background question/foreground question の違いが概説できる。
- ⑥ 臨床研究論文の一般的な構成が概説できる。
- ⑦ 臨床研究論文の PICO と、用いられている研究デザインを識別することができる。
- ⑧ 臨床研究論文に頻出する英語表現を認識することができる。
- ⑨ 臨床研究論文を批判的に吟味するステップを概説できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	45%	課題論文に関する試験を行う。記述式を原則とし、一部多肢選択問題が含まれる場合がある。
演習(語彙小テスト)	○	15%	主にe-ラーニングアプリ(ALC NetAcademy Next)から語彙小テスト3回(各5%, 自己採点式, 初回テストは追加リストあり)
ケーススタディ演習	○	20%	15% 英語教員の解説回にかかる演習 5% その他の教員の解説回にかかる演習 いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。
論文読解演習	○	20%	10% 英語教員の解説回にかかる演習 10% その他の教員の解説回にかかる演習 いずれも指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内でのみ課題が出されるのではなく前後の回に実施される課題も含まれるので注意すること。
態度	○	—	遅刻・欠席を含め受講態度不良の場合は10%を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験と、追加課題を課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験についての総括を、AIDLE-Kを通じて行う。その中で、再確認が必要な項目を指摘する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Dr.押味のあなたの医学英語なんとかします！	押味貴之	メジカルビュー社	プレゼンテーションと病歴聴取のコツが具体的に書かれており、授業で扱っている内容を効果的に復習することができる。
The Complete Subjective Health Assessment https://ecampusontario.pressbooks.pub/healthassessment/	Jennifer Lapum et al.	licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License	主観的健康観と文化的背景を平易な英語で患者に尋ねる技法が記載された open textbook である。
FIRST AID シリーズ (First Aid for the USMLE Step 1, 2023 (33rd ed.)ほか)		MCGRAW-HILL EDUCATION	USMLE, United States Medical Licensing Examination の問題集。他科目で学習した内容を英語とリンクさせるのに役立つ。
Harrison's Principles of Internal Medicine	J.Loscalzo, S.Fauci, D.L.Kasper, et al.(eds.)	MCGRAW-HILL EDUCATION	やや冗長であるものの、各疾患・症候について詳細な説明が階層化されてまとめられている。また英文読解という意味においては読みやすい部類に入る。
臨床のためのEBM入門 決定版 JAMAユーザーズガイド	古川壽亮 山崎 力 (監訳)	医学書院	EBMに関する定番書籍。体系的網羅的に、丁寧に解説されている。
臨床研究のABC	名郷直樹	メディカルサイエンス社	日本のEBM教育の第一人者の著者が、例を交えて解説しており分かりやすい。
EBM・臨床疫学キーワード150	福井次矢	医学書院	EBMを理解する上で重要なキーワードごとに端的な説明がなされ使いやすい。
いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ1～3	浅井 隆	アトムス	統計が苦手な人向けに読みやすく書かれている。

6 準備学習（予習・復習）

【それぞれの演習の予習と復習の方法】

＜演習（語彙小テスト）＞

小テストの準備のために、eラーニングアプリ（ALC NetAcademy Next）での学習を日々進めること（1日あたり10分）。

＜ケーススタディ演習＞

授業で使用した動画や音源を用いて授業内で登場した英語表現を復習すること、症状や疾患については各自で他科目の資料や、本科目の参考資料、UpToDateのサイトなどを積極的に確認すること（1コマあたり約0.5時間）。

＜論文読解演習＞

授業で扱うことになった論文は、わからない箇所には囚われすぎずに一通り目を通すこと。要所をつかむために必要とされる箇所は何度も精読すること。AI 翻訳に頼り切るのではなく、自ら構文などを読み解くよう心掛け、英語力の向上を意識して取り組むこと。また、論文の内容を理解するための背景知識の不足を補うために、扱われる疾患に関する基礎知識や標準治療について各自で調べること（予習・復習合わせて1コマあたり約2時間）。

医用英単語の「からくり」は講義からある程度学ぶことができます。一方、英語を使いこなすには自立・自律学習が求められます。キャリアを通して一生使うものですので、毎回コツコツと身に着けていきましょう。その意味では授業はペースメーカーの役割でしかなく、小テストの正答率などをその目的地としてはいけません。また、上記の勉強時間はあくまで目安です。時間を費やすことを主とするのではなく、自分に必要な勉強時間数を確保してください。

【授業を受ける際の注意】

授業には、ノートパソコンかタブレットを持参のこと。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。小テスト演習は中間試験及び学期末試験の準備も含まれていますのでわからない箇所はその都度丁寧に解消していきましょう。

【欠席した場合の注意】

- ① 教務課だけではなく、科目責任者とその回の担当者に連絡を入れること。
- ② AIDLE-K 上の資料や、友人に確認するなどして、学習が途切れないよう心掛けてください。
- ③ 欠席した日の小テスト演習は別途受験することができますので希望する場合は申告してください(点数は事由により多少の減点をする場合があります)。

医学英語 4

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/10(水)	2	ガイダンス 【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(1)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/4/10(水)	3	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/4/17(水)	2	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(3) 演習(語彙小テスト)1回目—NetAcademy と 追加リスト	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/4/17(水)	3	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(4)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/4/24(水)	2	【AL】Case Study: 医療面接の英語表現(5)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/4/24(水)	3	Case Study: 臨床医解説回 【JS 垂直】肝胆膵内科 (注: 授業開始時刻に変更の可能性あり)	外国語 外国語 肝胆膵	准教授 助教 准教授(特任)	平田亜紀 小川恭佑 荒井 潤	301 講
2024/5/1(水)	3	論文講読: 論文・英語表現の学習(1) 演習(語彙小テスト)2回目—NetAcademy	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/5/8(水)	3	論文講読: 論文の講読とは 【JS 垂直】EBM 実習	公衆衛生学 外国語 外国語	教授(特任) 准教授 助教	林 櫻松 平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/5/15(水)	3	論文講読: 論文・英語表現の学習(2)	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/5/22(水)	3	論文講読: 統計解説回—前半	— 外国語 外国語	客員教授 准教授 助教	室谷健太 平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/5/29(水)	3	論文講読: 統計解説—後半	— 外国語 外国語	客員教授 准教授 助教	室谷健太 平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/6/5(水)	3	論文講読: 論文・英語表現の学習(3) 演習(語彙小テスト)3回目—NetAcademy	外国語 外国語	准教授 助教	平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/6/12(水)	3	論文講読: 臨床医解説回 【JS 垂直】消化器内科	消内 外国語 外国語	教授 准教授 助教	春日井邦夫 平田亜紀 小川恭佑	301 講
2024/7/16(火)	4	定期試験	外国語	准教授	平田亜紀	101 講

(2) 講義の方法

大教室での知識伝達型講義と、問題解決型の演習の併用。

(3) 講義の内容

Case Study 演習では、英語で行われる医療面接をシーンごとに区切り英語表現を学習したうえで、扱われる症例の専門家による解説講義が行われる。なお専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため、学生は能動的に参加することが求められる。

論文読解演習では、根拠に基づいた医療の基本概念、臨床研究論文の基本的な構成要素の学習と、英語で書かれた医学系の論文で頻出する英語表現の学習を主とする。その上で、扱われる症例の専門家による解説講義が行われる。なお複数用意されている専門家の回では質疑応答の場面が設けられるため、学生は能動的に参加することが求められる。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
平田重紀	准教授	外国語	3号館基礎科学棟 2階B201研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
小川恭佑	助教	外国語	3号館基礎科学棟 B210研究室	毎週火曜日 16:30～17:30
林 櫻松	教授(特任)	公衆衛生学	2号館 研究棟374号室	毎週月曜日 メールにて要事前連絡 16:00～17:00
春日井邦夫	教授	内科学講座 消化管内科	D棟 消化器内科医局	通常:月～金曜日 16:00～18:00
荒井 潤	准教授(特任)	肝胆膵	D棟, 3階肝胆膵内科医局	毎週月-金曜日 16:00～18:00
室谷健太	非常勤講師	久留米大学 バイオ統計センター教授 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

医療と倫理

【単位数：2単位，授業26コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

菱田朝陽 教授(公衆衛生学)

科目担当者

鈴木孝太 教授(衛生学)

妹尾 洋 教授(法医学)

2 教育目標

(1) ねらい(I-4-b, II-5-b, III-8-b)

- ① コンピテンス「プロフェッショナリズム」における，特に倫理に関わる医師としての価値観・態度・姿勢を身につけることを目標とする。
さらに，「コミュニケーション」における良好な関係構築のために個人レベル，社会レベルのさまざまな問題を知り，「医学的知識と科学的探究心」における医学，医療を取り巻く社会におけるさまざまな問題を知り，解決するための根拠を収集・評価した上で，解決へと結びつける方法論を学ぶ。
- ② まず，患者の基本的権利を熟知する。次に，医療と医学研究における倫理の重要性を知り，その上で倫理的，法律的，社会的な問題をさまざまな立場，視点から多角的に考え，ディベートにより，それらの問題に対する医師としての判断力，論理的な思考力とコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。

(2) 学修目標

- ① 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。
- ② 生と死に関わる倫理的問題を列挙できる。
- ③ 医の倫理と生命倫理に関する規範，Hippocrates(ヒポクラテス)の誓い，ジュネーブ宣言，ヘルシンキ宣言等を概説できる。
- ④ 患者の基本的権利の内容を説明できる。
- ⑤ 患者の自己決定権の意義を説明できる。
- ⑥ 患者が自己決定できない場合の対処法を説明できる。
- ⑦ 患者やその家族の持つ価値観が多様であり得ることを認識し，そのいずれにも柔軟に対応できる。
- ⑧ 医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。
- ⑨ 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。
- ⑩ 医師の法的義務を列挙し，例示できる。
- ⑪ インフォームドコンセントの意義と必要性を説明できる。
- ⑫ 患者にとって必要な情報を整理し，分かりやすい言葉で表現できる。
- ⑬ 説明を行うための適切な時期，場所と機会に配慮できる。
- ⑭ 説明を受ける患者の心理状態や理解度について配慮できる。
- ⑮ 医療と医学研究における患者の基本的権利をめぐるさまざまな問題について，根拠とともに現状を説明できる。
- ⑯ 医療と医学研究における患者の基本的権利をめぐるさまざまな問題について，それぞれの立場から，根拠とともに論理的に主張できる。
- ⑰ ディベートを円滑に進行し，討論に参加することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	50%	ディベートのテーマを中心に、全範囲を対象として実施する(記述式)。
レポート	○	30%	適宜実施し、内容により総合成績へ加点する。
その他	○	20%	ディベートの準備、発表会の内容を評価する。

出席： 定期試験を受験するためには、講義の3分の2以上の出席とディベートの全出席が必要である。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる試験を行う。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

理解が不十分と思われる内容については、解説を一斉メールし再確認を促す。

また、定期試験で不合格となった者については、必要に応じ、補講を実施する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
各講義における配付資料			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
公衆衛生がみえる		MEDIC MEDIA	医学、医療に関する、倫理的、法律的、社会的な事柄がわかりやすく整理されている。

6 準備学習(予習・復習)

○ 授業に臨むにあたり、参考図書である「公衆衛生がみえる」などで、講義内容について簡単に情報収集しておく(約0.5時間)。

○ また、授業の前後に、担当分だけではなく、全てのディベートテーマについて、適宜、インターネットなどさまざまなメディアから情報収集を行う(0.5時間)。

医療と倫理

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室(予定)
2024/4/10(水)	1	「医療と倫理」ディベートガイダンス	衛生学	教授	鈴木孝太	301 講
2024/4/17(水)	1	ディベートに関する講義1	法医学	教授	妹尾 洋	301 講
2024/4/24(水)	1	「倫理委員会」	—	客員教授	勝又義直	301 講
2024/5/1(水)	1	ディベートに関する準備	公衆衛生学 衛生学 法医学	教授 教授 教授	菱田朝陽 鈴木孝太 妹尾 洋	301 講
2024/5/1(水)	2	ディベートに関する講義2	衛生学	教授	鈴木孝太	301 講
2024/5/8(水)	1	ディベートに関する準備	公衆衛生学 衛生学 法医学	教授 教授 教授	菱田朝陽 鈴木孝太 妹尾 洋	301 講
2024/5/8(水)	2	ディベートに関する講義3	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	301 講
2024/5/15(水)	1	「医師の行政処分」	—	非常勤講師	長谷川智華	301 講
2024/5/15(水)	2	「情報の取り扱い倫理」	—	非常勤講師	長谷川智華	301 講
2024/5/22(水)	1	「人体試料の取り扱い倫理」	—	非常勤講師	長谷川智華	301 講
2024/5/22(水)	2	「犯罪者に対する医療者の役割」	—	非常勤講師	長谷川智華	301 講
2024/5/29(水)	1	ディベートに関する準備	公衆衛生学 衛生学 法医学	教授 教授 教授	菱田朝陽 鈴木孝太 妹尾 洋	301 講
2024/5/29(水)	2					
2024/6/5(水)	1	ディベート中間発表会1	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	301 講
2024/6/5(水)	2	ディベート中間発表会2	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	301 講
2024/6/12(水)	1	ディベートに関する準備	公衆衛生学 衛生学 法医学	教授 教授 教授	菱田朝陽 鈴木孝太 妹尾 洋	301 講
2024/6/26(水)	1	ディベート発表会	公衆衛生学 衛生学 法医学	教授 教授 教授	菱田朝陽 鈴木孝太 妹尾 洋	たちばなホール
2024/6/26(水)	2					
2024/6/26(水)	3					
2024/6/26(水)	4					
2024/6/26(水)	5					
2024/6/27(木)	1	ディベート発表会	公衆衛生学 衛生学 法医学	教授 教授 教授	菱田朝陽 鈴木孝太 妹尾 洋	たちばなホール
2024/6/27(木)	2					
2024/6/27(木)	3					
2024/6/27(木)	4					
2024/6/27(木)	5					
2024/7/17(水)	3	定期試験	公衆衛生学	教授	菱田朝陽	101 講

(2) 講義の方法

講義については、基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

また、ディベートについては、9テーマ設定し、準備の時間を中心に、各講座の教員がグループ別にテーマについての指導を実施する。なお、中間発表会では、その時点までに、ディベートのテーマに関してまとめたことを10分程度で発表する。

ディベート発表会では、学生が自発的に進行を行い、討論し、相互評価も行う。

(3) 講義の内容

医師となったときに必要となる、さまざまな倫理的な問題について、事例とともに講義を実施する。

また、今年度のディベートのテーマについては、担当する教員とともにガイダンス時に発表するが、これまでは以下のような内容で実施した。

全てのテーマを扱うわけではないが、これらのテーマに関連する基本的な情報を講義で説明する。

■衛生学担当

救急車利用有料化は是か非か(グループ1)

禁煙とされている場所での電子タバコ使用(グループ2)

緩和ケアと禁煙(グループ3)

インドにおける肥満に対する介入の是非(グループ4)

■公衆衛生学担当

出生前診断による人工妊娠中絶(グループ5)

予防接種(ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン)(グループ6)

後期高齢者に対するがん検診は推奨すべきか(グループ7)

地域医療より先進医療を優先すべきか(グループ8)

■法医学担当

安楽死を認めるか否か(グループ9)

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
菱田朝陽	教授	公衆衛生学講座	2号館 研究棟372号室	毎週月、火曜日 (部署宛に要事前連絡) 13:00～16:00
鈴木孝太	教授	衛生学講座	2号館 研究棟371号室	水曜日(不定期) (部署宛に要事前連絡) 17:30～18:30
妹尾 洋	教授	法医学講座	2号館 研究棟268号室	毎週月～水曜日 (部署宛に要事前連絡) 10:00～15:00
勝又義直	非常勤講師	名古屋医専・校長 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて
長谷川智華	非常勤講師	東邦大学医学部法医学講座・助教	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者部署(公衆衛生学講座)に連絡先を問合せること。

選 択 講 座 4

【単位数：0.5単位，授業7コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

2 教育目標

(1) ねらい

- ① 医学教育モデルコアカリキュラムに定められている指針にとらわれず、「プロフェッショナリズム」、「コミュニケーション」、「医学知識と科学的探究心」、「診療技能」、「地域社会への貢献」について理解を深め、幅広い知識・技能・態度/姿勢を身につける。
- ② 医学教育モデルコアカリキュラムの選択科目を創出し、上級生が屋根瓦式に下級生を指導する体制を構築する。

(2) 学修目標

選択するコースにより学修目標は異なるが、医療従事者になるものとして、多様な知識・技能・態度/姿勢を修得できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は不可とする。
その他	○	—	1コース(3コマ)毎に評価する。評価方法はコース毎に異なる。

出席：全ての講義・演習に出席する必要がある。

(2) 合格基準

すべての評価対象において、不可がないこと(合否の2段階で判定)。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

各授業で与えられる課題について、その場で口頭にてフィードバックする(選択コースによって差異あり)。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
コースにより異なる。			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
コースにより異なる。			

6 準備学習(予習・復習)

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

7 授業計画

(1) 開催日時

別途掲示する日程表を参照すること。

(2) 講義の方法

選択するコース毎に授業の方法は異なる。

(3) 講義の内容

選択コース毎のコース内容案内を参照すること。

開講するコースについては、AIDLE-Kを参照すること。

皮膚科学・形成外科学

【単位数：1単位，授業19コマ，予備4コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

渡邊大輔 教授(皮膚科学)

科目担当者

古川洋志 教授(形成外科)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b)

- ① それぞれの皮膚疾患，形成外科疾患の病因・病態を理解し，それを元に検査方法や治療法を理解する。
- ② 皮膚病変から全身疾患や内臓病変の存在を推測し，さらに必要な検査や治療の方向性を決めることができる。

(2) 学修目標

- ① 正常皮膚の構造と機能を説明できる。
- ② 原発疹，続発疹が説明できる。
- ③ 皮膚検査法(硝子圧法，皮膚描記法，KOH直接検鏡法，Tzanck試験，ダーモスコピー)について説明できる。
- ④ 皮膚アレルギー検査法(プリックテスト，パッチテスト)を説明できる。
- ⑤ 水疱症，膿疱症，角化症など代表的な皮膚疾患について，病因・病態・治療について説明できる。
- ⑥ 皮膚感染症(細菌，真菌，ウイルス)について病因菌と症候について説明できる。
- ⑦ 外傷，熱傷の正しい診断と初期治療，褥瘡の発生原因と予防・治療を熟知する。
- ⑧ 先天異常，腫瘍などの体表面の疾患に対して，整容と機能の回復を目指した形成外科・再建外科の治療法を理解する。
- ⑨ 体表面のコンツールの再建手術や，抗加齢医療・美容外科について知る。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

皮膚科学分野，形成外科学分野共通：

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	小テストと合わせて100点満点とし，60点以上を合格とする。 記述問題や多肢選択問題がある。
小テスト	○	20%	講義の一部で出席と授業での理解度確認のため行う。
その他	○	—	受講態度が不良の場合は，10%を限度に減点する。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

皮膚科学分野，形成外科分野それぞれについて，評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

皮膚科学分野，形成外科分野それぞれの評価対象の合計が60%未満の場合は，分野ごとに再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。再試験は皮膚科学分野40分，形成外科分野30分で実施する。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験を採点し，合否を出し，定期試験が不合格になった者は定期試験，講義資料をもう一度見直し，さらに学習し再試験に備える。小テストは，講義で解説する。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
『あたらしい皮膚科学』	清水 宏	中山書店	皮膚科学の基本的な事柄が網羅されている。
『標準皮膚学』	岩月 啓 監修	医学書院	皮膚科学の基本的な事柄が網羅されている。
STANDARD TEXTBOOK 標準形成外科学 第7版	泰 維郎 他編	医学書院	形成外科の基本的な事柄が網羅されている。
TEXTシリーズTEXT形成外科学 第3版	波利井清紀 監修	南山堂	形成外科の基本的な事柄が網羅されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
『最新皮膚科学大系』	玉置邦彦総編集	中山書店	より専門的な知識が必要な場合
『Histopathology of the skin』	David Elder他	Lippincott-Raven	皮膚病理学の知見が網羅されている。
標準形成外科学	編集：平林慎一/鈴木茂彦	医学書院	形成外科の基本的な事柄が網羅されている。
熱傷治療マニュアル	木所昭夫 編著	中外医学社	熱傷治療に必要な知見が網羅されている。

6 準備学習(予習・復習)

- 参考図書のどれかを選んで，その目次全体を眺め，どのような事項が取り上げられているのか確認しておく(約0.5時間)。
- 上記の中で，興味を惹いた項目について記載内容を読んでおく(約0.5時間)。

皮膚科学・形成外科学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/15(月)	1	予備				
2024/4/15(月)	2	予備				
2024/4/15(月)	3	乾癬, 蕁疹	皮膚	助教	柴田知之	301 講
2024/4/15(月)	4	湿疹・皮膚炎群, 蕁麻疹	皮膚	助教	渡辺 瞳	301 講
2024/4/15(月)	5	皮膚の構造と機能, 原発疹と続発疹, 皮膚疾患の診断について	皮膚	教授	渡邊大輔	301 講
2024/4/16(火)	1	予備				
2024/4/16(火)	2	形成外科学 概論 I, 皮膚腫瘍・母斑, 褥瘡	救急集中	助教	田中真美	301 講
2024/4/16(火)	3	形成外科学 概論 II, 顔面外傷	形成	助教	坪井憲司	301 講
2024/4/16(火)	4	四肢の再建, 乳房再建	形成	講師	梅本泰孝	301 講
2024/4/16(火)	5	美容外科	形成	講師	梅本泰孝	301 講
2024/4/18(木)	1	熱傷, 頭頸部悪性腫瘍後の再建	形成	教授	古川洋志	301 講
2024/4/18(木)	2	血管腫・リンパ管腫, 小テスト	形成	教授	古川洋志	301 講
2024/4/18(木)	3	皮膚病理	病理診断	教授	都築豊徳	301 講
2024/4/18(木)	4	上皮系腫瘍 診断と治療	皮膚	講師	岩下宣彦	301 講
2024/4/18(木)	5	悪性黒色腫と間葉系腫瘍	皮膚	講師	岩下宣彦	301 講
2024/4/19(金)	1	皮膚感染症①(細菌, ウイルス, 性感染症)	皮膚	教授	渡邊大輔	301 講
2024/4/19(金)	2	皮膚感染症②(真菌, 動物, 抗酸菌)	皮膚	教授	渡邊大輔	301 講
2024/4/19(金)	3	皮膚の免疫学	皮膚	教授	渡邊大輔	301 講
2024/4/22(月)	1	血管炎, 膠原病, 肉芽腫	皮膚	教授(特任)	大嶋雄一郎	301 講
2024/4/22(月)	2	水疱症・膿疱症	皮膚	教授(特任)	大嶋雄一郎	301 講
2024/4/22(月)	3	アトピー性皮膚炎, 皮膚科まとめ小テスト	皮膚	教授(特任)	大嶋雄一郎	301 講
2024/4/22(月)	4	全身疾患に伴う皮膚症状について	皮膚	教授	渡邊大輔	301 講
2024/4/22(月)	5	予備				
2024/4/23(火)	1	自習				
2024/4/23(火)	2	自習				
2024/4/23(火)	3	自習				
2024/4/23(火)	4	自習				
2024/4/23(火)	5	定期試験	皮膚	教授	渡邊大輔	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

1コマ目に総論として皮膚科学の基礎を解説し、2コマ目以降は、様々な皮膚疾患を分野ごとに解説し、概念理解を進めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
渡邊大輔	教授	皮膚科学講座	C棟10階 皮膚科医局	毎週水曜日 16:30～17:30
大嶋雄一郎	教授(特任)	皮膚科学講座	C棟10階 皮膚科医局	毎週水曜日 16:30～17:30
岩下宣彦	講師	皮膚科学講座	C棟10階 皮膚科医局	毎週水曜日 16:30～17:30
柴田知之	助教	皮膚科学講座	C棟10階 皮膚科医局	毎週水曜日 16:30～17:30
渡辺 瞳	助教	皮膚科学講座	C棟10階 皮膚科医局	毎週水曜日 16:30～17:30
古川洋志	教授	形成外科学講座	C棟11階医局	毎週火・水曜日 16:00～18:00
梅本泰孝	講師	形成外科学講座	C棟11階医局	毎週火・水曜日 16:00～18:00
田中真美	助教	救急集中治療医学講座	大学病院中央棟2階 24形成外科外来	毎週月曜日 16:30～18:00
坪井憲司	助教	形成外科学講座	C棟11階医局	毎週木曜日 16:00～18:00
都築豊徳	教授	病理診断学	大学病院中央棟4階 病理診断センター	毎週木・金曜日 15:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

眼 科 学

【単位数：1単位，授業18コマ，予備3コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

瓶井資弘 教授(眼科学講座)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b)

- ① コアコンピテンスの“医学的知識と科学的探究心”を備えるための診療能力を学び“高いプロフェッショナルリズム”を身につける。
- ② 眼・視覚系の構造と機能及び症候，病態，診断，治療を理解する。

(2) 学修目標

- ① 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。
- ② 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。
- ③ 眼球運動のしくみを説明できる。
- ④ 対光反射，輻輳反射，角膜反射を説明できる。
- ⑤ 基本的眼科検査(視力検査，視野検査，細隙灯顕微鏡検査，眼圧検査，眼底検査)を列挙し，それらの原理と適応を述べ，主要所見を解釈できる。
- ⑥ 屈折異常(近視，遠視，乱視)と調節障害の病態生理を説明できる。
- ⑦ 感染性角結膜疾患の症候，診断と治療を説明できる。
- ⑧ 白内障の病因，症候，診断と治療を説明できる。
- ⑨ 緑内障の病因を列挙し，それらの発症機序，症候と治療を説明できる。
- ⑩ 裂孔原性網膜剥離の症候，診断と治療を説明できる。
- ⑪ 糖尿病，高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。
- ⑫ ぶどう膜炎の病因，症候，診断と治療を説明できる。
- ⑬ 視神経炎(症)・うっ血乳頭の病因，症候と診断を説明できる。
- ⑭ アルカリ，酸による化学損傷の症候と救急処置を説明できる。
- ⑮ 網膜静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候，診断と治療を説明できる。
- ⑯ 網膜芽細胞腫の症候，診断と治療を説明できる。
- ⑰ 眼窩疾患の症候，診断と治療を説明できる。
- ⑱ ロービジョンケアを説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	多肢選択問題を出題する。
小テスト	○	20%	5月24日1限にそれまでに受けた講義内容に関する小テスト(20問)を301講義室で行う。多肢選択問題を原則とする。
態度	○	—	態度不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。
再試験は定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

試験で正答率が低かった問題、理解が不十分と思われた問題については、解説を一斉メールする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
病気がみえる Vol.12 眼科		MEDIC MEDIA	基本的内容が網羅されている。 解説がわかりやすい。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
現代の眼科学 第13版	所 敬	金原出版	基本的内容が網羅されている。
標準眼科学 第14版	中澤 満 村上 晶 園田康平	医学書院	基本的内容が網羅されている。

6 準備学習(予習・復習)

〈講義〉

- 教科書及び参考図書のどれかを選んで、その目次全体を眺め、どのような事項が取り上げられているのか確認しておく(1コマあたり約0.5時間)。教科書で不十分と思われれば自身で文献検索し、理解を深める。
- 翌日の講義シラバスを確認し、教科書や参考図書のいずれかを選んで読んでおく(1コマあたり約0.5時間)。
- 1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し、2コマ目以降の講義に臨むこと(1日あたり約1時間)。

〈実習〉

- 教科書の該当箇所を読んで実習に臨むこと(1日あたり約1時間)。

眼科学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/17(金)	1	眼科学総論	眼科	教授	瓶井資弘	301 講
2024/5/17(金)	2	主要症候・検査	眼科	講師	藤田京子	301 講
2024/5/17(金)	3	斜視弱視・小児眼科全般	眼科	医員助教	山本敬子	301 講
2024/5/20(月)	1	眼科手術	眼科	医員助教	濱田瑞綺	301 講
2024/5/20(月)	2	ぶどう膜炎	近視(寄)	助教	柴田 藍	301 講
2024/5/20(月)	3	眼外傷・救急疾患	眼科	医員助教	清澤祿基	301 講
2024/5/20(月)	4	水晶体	眼科	医員助教	馬嶋一如	301 講
2024/5/20(月)	5	結膜・涙器	眼形成	助教	伊藤麻耶里	301 講
2024/5/21(火)	1	【JS 垂直】網膜の徹底解剖	解剖学 眼科	教授 講師	内藤宗和 藤田京子	301 講
2024/5/21(火)	2	網膜・硝子体(1)	眼科	講師	藤田京子	301 講
2024/5/21(火)	3	網膜・硝子体(2)	眼科	助教	馬場圭太	301 講
2024/5/21(火)	4	角膜(1)	眼形成	客員教授	森重直行	301 講
2024/5/21(火)	5	予備				
2024/5/23(木)	1	緑内障	近視(寄)	教授(特任)	三木篤也	301 講
2024/5/23(木)	2	神経眼科	—	非常勤講師	神野安季子	301 講
2024/5/23(木)	3	角膜(2)・強膜	—	非常勤講師	神野安季子	301 講
2024/5/23(木)	4	眼腫瘍・未熟児網膜症	眼科	助教	平井研登	301 講
2024/5/23(木)	5	眼窩・眼瞼	眼形成	教授(特任)	高橋靖弘	301 講
2024/5/24(金)	1	まとめ・小テスト	眼科	講師	藤田京子	301 講
2024/5/24(金)	2	予備				
2024/5/24(金)	3	予備				
2024/5/27(月)	1	定期試験	眼科	教授	瓶井資弘	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

1コマ目に総論として眼科医療に関するキーワードを解説し、2コマ目以降は眼科総論と各論について、適宜症例を提示しながら理解を進めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
瓶井資弘	教授	眼科学講座	C棟11階眼科医局	毎週水曜日 16:00～17:00
藤田京子	講師	眼科学講座	C棟11階眼科医局	毎週木曜日 16:00～17:00
馬場圭太	助教	眼科学講座	C棟11階眼科医局	毎週水曜日 16:00～17:00
平井研登	助教	眼科学講座	C棟11階眼科医局	毎週水曜日 16:00～17:00
山本敬子	医員助教	眼科学講座	C棟11階眼科医局	毎週水曜日 16:00～17:00
馬嶋一如	医員助教	眼科学講座	C棟11階眼科医局	毎週水曜日 16:00～17:00
濱田瑞綺	医員助教	眼科学講座	C棟11階眼科医局	毎週水曜日 16:00～17:00
清澤禄基	医員助教	眼科学講座	C棟11階眼科医局	毎週水曜日 16:00～17:00
三木篤也	教授(特任)	近視進行抑制寄附講座	C棟11階眼科医局	毎週水曜日 16:00～17:00
柴田 藍	助教	近視進行抑制寄附講座	C棟11階眼科医局	毎週水曜日 16:00～17:00
高橋靖弘	教授(特任)	眼形成外科講座	2号館研究棟3階 眼形成外科医局	毎週火曜日 16:00～17:00
伊藤麻耶里	助教	眼形成外科講座	2号館研究棟3階 眼形成外科医局	毎週木曜日 16:00～17:00
森重直行	非常勤講師	愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて
神野安季子	非常勤講師	三宅眼科病院 常勤医師	—	講義終了後 講義室にて
内藤宗和	教授	解剖学講座	2号館 研究棟254号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学（口腔外科学）

【単位数：1単位，授業19コマ，予備2コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

藤本保志 教授（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-3-b，Ⅲ-4-b，Ⅲ-5-b）

- ① コンピテンスの「医学知識と科学的探究心」で求められる疾病の病因・病態・適切かつ最新の治療法を説明出来るようにする。
- ② 耳鼻・咽喉・口腔の構造と機能を理解し，耳鼻・咽喉・口腔系疾患の症候・病態から診断に至る過程及び治療を理解する。

（2）学修目標

- ① 耳・鼻・咽喉頭の構造と機能を理解し，さらに個々の疾患の病態，診断，全身疾患との関連並びに治療の概略を理解し説明できる。
- ② 鼓膜所見，鼻内所見，咽喉頭所見を的確に指摘出来て，病態を理解し説明できる。
- ③ 聴覚検査，平衡機能検査の意義について理解し，検査結果を説明できる。
- ④ 音声障害，嚥下障害について理解し，その対策・治療を説明できる。
- ⑤ 頭頸部腫瘍の病因・病態について理解し，最新の治療法を説明できる。
- ⑥ 全身疾患に伴う耳・鼻・咽喉頭の変化とそれらの関連を判断できる。
- ⑦ 歯科口腔外科の立場から，構音・咀嚼機能に関する歯牙・顎関節等の役割について理解できる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	全問多肢選択問題
態度	○	—	態度不良の場合は「問題行動学生報告書」（イエロー・レッドカード）を提出する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

定期試験成績が60%未満の場合は，再試験を実施する。

（4）課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。これにて理解が不十分な項目について再確認を促す。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
あたらしい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	香取幸夫, 日高浩史	中山書店 2020	最新の知見を解説, 写真と図が豊富。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
『新耳鼻咽喉科』改訂12版	野村恭也, 加我君孝	南山堂 2022	標準となる教科書。詳細に解説している。
病気が見える-耳鼻咽喉科	藤本保志他	MEDIC MEDIA 2020	図解・写真が多くわかりやすい。
頭頸部癌診療ガイドライン 2022	日本頭頸部 癌学会	金原出版 2022	世界標準の治療を知るための手がかりとして随時参照するだけでも有益である。EBM を学ぶ入り口としても手にとって欲しい。
小児急性中耳炎診療ガイドライン 2018	日本耳科学 会・他	金原出版 2018	
小児滲出性中耳炎診療ガイドライン	日本耳科学 会・他	金原出版 2015	
嗅覚障害診療ガイドライン	日本鼻科学 会	金原出版 2017	
前庭神経炎診療ガイドライン 2021	日本めまい 学会	金原出版 2021	
メニエール病・遅発性内リンパ水腫ガイドライン 2020	日本めまい 学会	金原出版 2020	
耳鳴診療ガイドライン 2019	日本聴覚医 学会	金原出版 2019	
急性副鼻腔炎診療ガイドライン 2010 追補版	日本鼻科学 会		
嚥下診療ガイドライン 2018	日本耳鼻咽 喉科頭頸部 外科学会	金原出版 2018	
音声障害診療ガイドライン 2018	日本音声言 語医学会・ 他	金原出版 2018	

6 準備学習（予習・復習）

- 講義内容の項目を予め, 教科書で確認しておくこと(約0.5時間)。
- 1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し, 2コマ目以降の講義に臨むこと(約1時間)。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(口腔外科学)

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/7(火)	3	予備				
2024/5/7(火)	4	耳鼻咽喉科・頭頸部外科総論	耳鼻	教授	藤本保志	301 講
2024/5/7(火)	5	アレルギー性鼻炎/睡眠時無呼吸症候群	耳鼻	助教	有元真理子	301 講
2024/5/9(木)	1	音声障害の診断・治療	耳鼻	助教	犬飼大輔	301 講
2024/5/9(木)	2	唾液腺・口腔咽頭疾患/全身疾患	耳鼻	助教	犬飼大輔	301 講
2024/5/9(木)	3	甲状腺癌/頸部良性腫瘍	耳鼻	講師	丸尾貴志	301 講
2024/5/9(木)	4	嚥下障害	耳鼻	講師	丸尾貴志	301 講
2024/5/9(木)	5	耳鼻咽喉科の救急疾患/外傷/異物	耳鼻	助教	中村宏舞	301 講
2024/5/10(金)	1	予備				
2024/5/10(金)	2	歯科口腔外科疾患について	歯科	教授(特任)	各務秀明	301 講
2024/5/10(金)	3	耳の検査法, 聴力検査	耳鼻	助教	岸本真由子	301 講
2024/5/13(月)	1	耳の症状, 外耳・中耳疾患	耳鼻	教授(特任)	内田育恵	301 講
2024/5/13(月)	2	外耳・中耳・内耳の解剖及び聴覚生理と聴覚総論	耳鼻	教授(特任)	内田育恵	301 講
2024/5/13(月)	3	聴覚各論	耳鼻	助教	岸本真由子	301 講
2024/5/13(月)	4	顔面神経麻痺, 内耳・後迷路疾患	耳鼻	助教	岸本真由子	301 講
2024/5/13(月)	5	めまい平衡障害(総論・各論)	耳鼻	講師	車 哲成	301 講
2024/5/14(火)	1	頭頸部・唾液腺腫瘍の病理	病理学	講師	中村律子	301 講
2024/5/14(火)	2	腫瘍学基礎	耳鼻	教授(特任)	小川徹也	301 講
2024/5/14(火)	3	頭頸部癌治療の変遷と薬物療法	耳鼻	教授(特任)	小川徹也	301 講
2024/5/14(火)	4	鼻・副鼻腔の解剖・生理・検査	耳鼻	講師	車 哲成	301 講
2024/5/14(火)	5	頭頸部悪性腫瘍の手術/頭蓋底外科	耳鼻	教授	藤本保志	301 講
2024/5/16(木)	1	自習				
2024/5/16(木)	2	自習				
2024/5/16(木)	3	自習				
2024/5/16(木)	4	自習				
2024/5/16(木)	5	定期試験	耳鼻	教授	藤本保志	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、積極的な質問及び講義終了後の質問を歓迎する。

(3) 講義の内容

耳鼻咽喉科・頭頸部外科全般にわたり、基礎的な解剖や生理に始まり、機能別・臓器別各論につなげる。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
藤本保志	教授	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C棟8階教授室	毎週木・金曜日 16:00～18:00
内田育恵	教授(特任)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C棟11階医局	毎週木曜日 16:00～18:00
小川徹也	教授(特任)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C棟11階医局	毎週火・木曜日 16:00～17:00
車 哲成	講師	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C棟11階医局	毎週火・金曜日 16:00～18:00
丸尾貴志	講師	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C棟11階医局	毎週火曜日 15:00～17:00
岸本真由子	助教	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C棟11階医局	毎週木曜日 14:00～17:00
有元真理子	助教	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C棟11階医局	毎週火・金曜日 15:00～17:00
犬飼大輔	助教	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C棟11階医局	毎週木曜日 15:00～17:00
中村宏舞	助教	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C棟11階医局	毎週木曜日 15:00～17:00
中村律子	講師	病理学	2号館 研究棟261号室	毎週月・火・木曜日 10:00～17:00
各務秀明	教授(特任)	歯科口腔外科	C棟9階医局	毎週火・水曜日 17:00- 18:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

麻 醉 科 学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備5コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

野手英明 教授(特任)(麻醉科学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-a, Ⅲ-4-a, Ⅲ-5-a)

- ① コンピテンスの“プロフェッショナリズム”を理解するため，周術期医療におけるチーム医療の一員として協働し，効果的な役割を果たすための知識，技能，態度を身につける。
- ② 手術・麻酔が生体に及ぼす影響とそれらに伴う有害事象の発生メカニズムを理解するとともに，有害事象の予防・治療にはチーム医療が不可欠であることを学修し，周術期チーム医療の一員として行動する準備ができる。

(2) 学修目標

- ① 各種麻酔薬及び麻酔補助薬の薬理を説明できる。
- ② 各種麻酔法の作用機序・生体に及ぼす影響を説明できる。
- ③ 各種手術の生体に及ぼす影響とその管理法を説明できる。
- ④ 手術に伴う侵害刺激が生体に及ぼす影響を説明できる。
- ⑤ 各種併存疾患が周術期管理に及ぼす影響を説明できる。
- ⑥ 麻酔の合併症とその対策法を説明することができる。
- ⑦ 周術期管理に必要な生体制御を説明できる。
- ⑧ 周術期医療におけるチーム医療の必要性を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	多肢選択問題とする。
小テスト	○	10%	講義内容の理解確認のため，簡単な小テストを行う。(4回)
態度	○	—	著しく態度不良の場合は総合成績から10点減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験，小テストの合計が60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題については，解説を一斉メールする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準麻酔科学 第7版	監修 弓削孟文	医学書院	周術期医療に必要な基礎的事項が網羅されている。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
麻酔科研修ノート	責任編集 稲田英一	診断と治療社	実地臨床に即した参考書
Miller's Anesthesia 第8版	R.D.Miller et al.	エルゼビア	麻酔科学のすべてを網羅している標準的教科書

6 準備学習（予習・復習）

教科書標準麻酔科学の各講義に該当する項目（授業計画に掲示）を予習しておく。

1講義につき予習，復習合わせて1時間を充てる。

麻酔科学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/25(木)	1	麻酔の術前評価 (標準麻酔科学8章)	—	非常勤講師	橋本 篤	301 講
2024/4/25(木)	2	止血凝固管理, 感染制御 (標準麻酔科学15章18章)	—	非常勤講師	橋本 篤	301 講
2024/4/25(木)	3	麻酔科学概論 (標準麻酔科学1章2章)	麻酔	教授(特任)	野手英明	301 講
2024/4/25(木)	4	静脈麻酔薬, 吸入麻酔薬 (標準麻酔科学3章4章)	麻酔	教授(特任)	野手英明	301 講
2024/4/25(木)	5	オピオイド, 筋弛緩薬 (標準麻酔科学 5章7章) 小テスト①	麻酔	助教	佐藤 航	301 講
2024/4/26(金)	1	周術期気道管理・呼吸管理 (標準麻酔科学9章13章)	麻酔	助教	梶浦貴裕	301 講
2024/4/26(金)	2	周術期循環管理 (標準麻酔科学12章)	麻酔	助教	梶浦貴裕	301 講
2024/4/26(金)	3	術後管理 術後鎮痛 (標準麻酔科学17章) 小テスト②	麻酔	助教	佐藤 航	301 講
2024/4/30(火)	1	麻酔・手術の代謝・体液・内分泌に対する影 響とそれらの管理の実際 (標準麻酔科学14章16章)	麻酔	助教	高橋徹朗	301 講
2024/4/30(火)	2	医療安全と麻酔・集中治療管理 (標準麻酔科学11章)	医療安全	教授(特任)	奥村将年	301 講
2024/4/30(火)	3	局所麻酔と麻酔管理 ～無痛分娩の実際～ (標準麻酔科学6章10章) 小テスト③	麻酔	助教	村松 愛	301 講
2024/4/30(火)	4	区域麻酔(脊椎くも膜下麻酔と硬膜外麻酔) (標準麻酔科学6章10章) 小テスト④	麻酔	助教	村松 愛	301 講
2024/4/30(火)	5	各科手術における麻酔管理 (標準麻酔科学19章)	麻酔	教授(特任)	野手英明	301 講
2024/5/2(木)	1	予備				
2024/5/2(木)	2	予備				
2024/5/2(木)	3	予備				
2024/5/2(木)	4	予備				
2024/5/2(木)	5	予備				
2024/5/7(火)	1	定期試験	麻酔	教授(特任)	野手英明	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義を行う。

講義の資料は、事前にAIDLE-Kに掲載し、当日配付は行わない。

(3) 講義の内容

必修項目は講義で説明するが、講義のみでは麻酔科学の全範囲は網羅できない。

講義で説明できなかった部分は教科書に指定してある「標準麻酔科学」で各自自習しておくこと。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
野手英明	教授(特任)	麻酔科学講座	大学病院中央棟 5階医局	毎週火曜日 15:00～17:00
奥村将年	教授(特任)	医療安全管理室	大学病院中央棟 5階医局	毎週月曜日 15:00～17:00
村松 愛	助教	麻酔科学講座	大学病院中央棟 5階医局	毎週月曜日 15:00～17:00
梶浦貴裕	助教	麻酔科学講座	大学病院中央棟 5階医局	毎週月曜日 15:00～17:00
佐藤 航	助教	麻酔科学講座	大学病院中央棟 5階医局	毎週金曜日 15:00～17:00
高橋徹朗	助教	麻酔科学講座	大学病院中央棟 5階医局	毎週金曜日 15:00～17:00
橋本 篤	非常勤講師	名鉄病院 麻酔科	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 質問については緊急手術などで対応できない場合もありますのでご了承ください。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

救 急 医 学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備2コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

渡邊栄三 教授(救急集中治療医学)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b)

- ① コアコンピテンスの“医学知識と科学的探究心”の理解ができるようになるため，救急患者のプライマリ・ケア，重症患者管理方法を学び，そのことによって“プロフェッショナリズム”の涵養を図る。
- ② プライマリ・ケア領域の救急対応を行うため，全身状態とバイタルサインを確認し，緊急性の高い状況かどうかを判断し，一次救命処置を実施できる。侵襲学，集中治療医学，中毒学，蘇生学，外傷学，災害医療，病院前救護などの概略を学ぶ。循環障害，臓器不全の病因，病態，治療法を理解し，集中治療室の役割を学ぶ。

(2) 学修目標

- ① 救急医療体制，病院前診療，災害医療を概説できる。
- ② 救急法規を概説できる。
- ③ 心肺蘇生法(BLS, ACLS)を説明できる。
- ④ 外傷初期治療と多発外傷を説明できる。
- ⑤ 救急診断学，救急処置を説明できる。
- ⑥ 救急薬品を説明できる。
- ⑦ 急性血液浄化法を説明できる。
- ⑧ 輸液療法と栄養療法を説明できる。
- ⑨ 急性循環不全の病態と治療を説明できる。
- ⑩ 重症救急患者管理を説明できる。
- ⑪ 救急検査を説明できる。
- ⑫ 広範囲熱傷の急性期治療を説明できる。
- ⑬ 環境異常と急性中毒を説明できる。
- ⑭ 侵襲と生体反応を説明できる。
- ⑮ SIRS/CARSと敗血症を説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	講義内容から6割，救急医学全般から3割，英単語和訳1割の割合で出題する。救急医学全般は”標準救急医学(第5版)”の内容に準拠し，CBT問題集を参考に作問する。英単語和訳は”音声と例文でおぼえる基本医療英語1000”から出題する。 多肢選択，及び記述式問題を用いる。
態度	○	—	受講態度が不良の場合は，10%を限度に減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

60%以上で合格とする。定期試験に準ずる方法で再試験を行う。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題については，解説を一斉メールする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
標準救急医学 第5版	日本救急医学会監修	医学書院	本教科書の内容は試験範囲とする。
音声と例文でおぼえる基本医療英語1000	笹島 茂, Chad Godfrey, 小島さつき	南雲堂	本教科書の内容は試験範囲とする。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
救急診療指針 改訂第5版	日本救急医学会監修	へるす出版	救急全般に関し必要な事項が網羅されている。
外傷初期診察ガイドライン 改訂第6版	日本外傷学会，日本救急医学会監修	へるす出版	外傷に関するABCが記載されており，わかりやすい。
熱傷治療マニュアル 改訂第2版	田中 裕編著	中外医学社	熱傷に関して詳細まで記載されている。
The ICU Book 第4版	PL Marino 著， 稲田英一ら(翻訳)	メディカル・サイエンス・インターナショナル	重症患者管理に必要な事項が病態中心に解説してある。

6 準備学習（予習・復習）

授業に臨むにあたり，教科書，参考図書などを用い予備知識を得ておくことが望ましい(1コマあたり0.5時間)。

救急医学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/8(月)	1	救急医学概論 救急医療と法律	救急集中	教授	渡邊栄三	301 講
2024/4/8(月)	2	ショックの病態と治療	救急集中	准教授	尾崎将之	301 講
2024/4/8(月)	3	敗血症の病態と治療	救急集中	教授	渡邊栄三	301 講
2024/4/8(月)	4	救急医療 最近の動向	—	非常勤講師 (名誉教授)	野口 宏	301 講
2024/4/8(月)	5	予備				
2024/4/9(火)	1	病院前医療	救急診療部	教授	加納秀記	301 講
2024/4/9(火)	2	ACLS/BLS	救急診療部	教授	加納秀記	301 講
2024/4/9(火)	3	重症感染症の管理と病態 稀な重症特殊病態	災害医療C	教授	津田雅庸	301 講
2024/4/9(火)	4	重症熱傷の管理と病態	災害医療C	教授	津田雅庸	301 講
2024/4/9(火)	5	予備				
2024/4/11(木)	1	救急麻酔と緊急薬剤	救急集中	准教授	尾崎将之	301 講
2024/4/11(木)	2	災害医療の基礎	—	客員教授	北川喜己	301 講
2024/4/11(木)	3	救急外科, 重症外傷に対する対応と JATEC	救急集中	准教授(特任)	苛原隆之	301 講
2024/4/11(木)	4	急性中毒, 環境起因性疾患, ER 診断	救急集中	講師	梶田裕加	301 講
2024/4/11(木)	5	SIRS/CARS, 多臓器不全の管理と病態	救急集中	教授	渡邊栄三	301 講
2024/4/12(金)	1	自習				
2024/4/12(金)	2	自習				
2024/4/12(金)	3	定期試験	救急集中	教授	渡邊栄三	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義を行う。

(3) 講義の内容

必修項目は講義で説明するが、講義のみでは救急医学の全範囲は網羅できない。

講義で説明できなかった部分は教科書に指定してある「標準救急医学」で各自自習しておくこと。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
渡邊栄三	教授	救急集中治療医学講座	救急・災害管理棟 3階部長室	毎週月・水・金曜日 15:00～17:00
尾崎将之	准教授	救急集中治療医学講座	救急・災害管理棟 1階准教授室	毎週月・水・金曜日 15:00～17:00
苛原隆之	准教授(特任)	救急集中治療医学講座	救急・災害管理棟 1階准教授室	毎週月・火・水曜日 15:00～17:00
梶田裕加	講師	救急集中治療医学講座	救急・災害管理棟 1階医局	毎週月・水・金曜日 15:00～17:00
野口 宏	非常勤講師	愛知医科大学 名誉教授	—	講義終了後 講義室にて
北川喜己	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて
加納秀記	教授	救急診療部	救急・災害管理棟 3階教授室	毎週月・火・木曜日 15:00～17:00
津田雅庸	教授	災害医療研究センター	救急・災害管理棟 3階教授室	毎週火・水・木曜日 15:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

臨床感染症学

【単位数：2単位，授業26コマ，予備5コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

三嶋廣繁 教授(臨床感染症学講座)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b)

- ① コンピテンス, コンピテンシーの医学知識と科学的探究心及び診療技能, 疾患の病態と症候を説明でき, その鑑別と診断を計画できる。
- ② 主要な感染症の疫学, 病態生理, 症候, 診断と治療を学ぶ。診断と治療に必要な病原微生物, 感染臓器と治療薬の関係性を理解する。

(2) 学修目標

- ① 細菌感染症の成立にかかわる細菌側の要因と, 宿主側の要因について理解する。
- ② 細菌感染症の診断について基本方針を理解する。
- ③ 細菌感染症の治療の原則を理解する。
- ④ 地域的及び世界的な感染症の流行状況を知り, 感染症に対する対策と医師としての法的義務を身につける。
- ⑤ 薬剤耐性菌の出現を防止するために, 薬剤耐性菌の出現様式を理解し, 適切な抗菌薬選択ができる。
- ⑥ 創傷・術後感染症の危険因子を理解し, 発症阻止のための対策がとれる。
- ⑦ 医療関連感染の発生防止と伝播防止ができるようになるために, 医療関連感染を理解する。
- ⑧ 呼吸器感染症の臨床所見, 検査所見を理解し, その診断と治療ができる。
- ⑨ 肺炎のなかで非定型肺炎の位置づけを理解するため, 非定型肺炎の微生物学的特性を理解する。
- ⑩ 肺結核・非定型抗酸菌感染症の臨床所見, 検査所見を理解し, その診断と治療ができる。
- ⑪ ウイルス感染症の診断・治療・予防を理解する。
- ⑫ 小児科学領域感染症の特徴を理解し, 予防・診断・治療を概説できる。
- ⑬ 腸管感染症及び食中毒の診断と治療を理解する。
- ⑭ 肝・胆道系感染症の診断と治療を理解する。
- ⑮ 整形外科領域の感染症の診断と治療を理解する。
- ⑯ 性感染症の診断・治療を理解する。
- ⑰ HIV感染の病態を理解し, 診断・治療・予防を説明できる。
- ⑱ 尿路感染症の特性を理解する。
- ⑲ 男性性器感染症の特性を理解し, 男性性器感染症の診断と治療について説明できる。
- ⑳ 原虫感染症の診断と治療のために, 微生物学的及び臨床的特徴を理解する。
- ㉑ 深在性真菌症の診断と治療のために, 微生物学的及び臨床的特徴を理解する。
- ㉒ 血流感染及びセプシスの概念, 診断(検査を含む)及び治療を理解する。
- ㉓ 産婦人科領域感染症及び母子感染の特徴を理解し, 診断と治療を理解する。
- ㉔ 中枢神経感染症の特徴を理解し, 診断及び治療を理解する。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	80%	定期試験の成績を基に下記の点を加味し評価する。
講義態度	○	—	著しく態度不良の場合は10%を限度に減点をする。
小テスト	○	20%	1回実施する(6/13(木)4限の予定)。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

総合成績で60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(再試験においては再試験成績60%以上で合格と判定する)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

試験問題に関する疑問は指定したオフィスアワーに受け付ける。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
感染症専門医第I部解説編テキスト	社団法人 日本感染症学会	南江堂	すべての疾患について詳細な記述がされている。
病気がみえる Vol.6 免疫・膠原病・感染症	医療情報 科学研究 所編	メディックメデ ィア	国家試験対策として要点を理解するのに適している。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
Clinical Infectious Diseases: A Practical Approach	Richard K., et al. Editors	Oxford University Press	米国における感染症学の代表的なテキストである。
Harrison's Principles of Internal Medicine	Kasper D, et al. Editors	McGraw-Hill	内科学のバイブルとしての評価が高い。

6 準備学習(予習・復習)

教科書として指定した書籍の講義内容に関係する部分を読んでくるのが望ましい(予習:約0.5時間,復習:約1時間)。

臨床感染症学
7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/10(月)	3	感染症総論	感染症	教授	三鴨廣繁	301 講
2024/6/10(月)	4	真菌	感染症	教授	三鴨廣繁	301 講
2024/6/10(月)	5	細菌性肺炎	感染症	准教授(特任)	浅井信博	301 講
2024/6/11(火)	1	肝・胆・膵感染症	感染症	准教授	森 伸晃	301 講
2024/6/11(火)	2	消化管感染症	—	非常勤講師	小泉祐介	301 講
2024/6/11(火)	3	HIV/AIDS	—	非常勤講師	小泉祐介	301 講
2024/6/11(火)	4	皮膚軟部組織感染症・腹腔内感染症	感染症	教授	三鴨廣繁	301 講
2024/6/11(火)	5	感染制御	感染症	教授	三鴨廣繁	301 講
2024/6/13(木)	1	血流感染症	感染症	准教授	森 伸晃	301 講
2024/6/13(木)	2	感染性心内膜炎	感染症	准教授	森 伸晃	301 講
2024/6/13(木)	3	産婦人科領域感染症	感染症	教授	三鴨廣繁	301 講
2024/6/13(木)	4	【AL】セプシス・感染性 DIC / 【小テスト】30分	感染症	教授	三鴨廣繁	101 講
2024/6/13(木)	5	結核菌・非結核性抗酸菌症	—	非常勤講師	國島広之	301 講
2024/6/14(金)	1	抗微生物薬1	—	非常勤講師	藤村 茂	301 講
2024/6/14(金)	2	抗微生物薬2	—	非常勤講師	藤村 茂	301 講
2024/6/14(金)	3	整形外科領域感染症	—	非常勤講師	平井 潤	301 講
2024/6/17(月)	1	中枢神経系感染症	—	客員教授	山岸由佳	301 講
2024/6/17(月)	2	小児科領域感染症	—	客員教授	山岸由佳	301 講
2024/6/17(月)	3	ワクチン関連疾患	—	客員教授	山岸由佳	301 講
2024/6/17(月)	4	新興・再興感染症1	—	客員教授	大曲貴夫	301 講
2024/6/17(月)	5	新興・再興感染症2	—	客員教授	大曲貴夫	301 講
2024/6/18(火)	1	インフルエンザ	—	非常勤講師	馬場尚志	301 講
2024/6/18(火)	2	寄生虫	—	非常勤講師	馬場尚志	301 講
2024/6/18(火)	3	マイコプラズマ, クラミジア, リケッチア, ウイルス性肺炎	感染症	准教授(特任)	浅井信博	301 講
2024/6/18(火)	4	尿路感染症	感染症	准教授(特任)	浅井信博	301 講
2024/6/18(火)	5	性感染症(男性・女性)	感染症	教授	三鴨廣繁	301 講

臨床感染症学

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/19(水)	1	予備				
2024/6/19(水)	2	予備				
2024/6/19(水)	3	予備				
2024/6/19(水)	4	予備				
2024/6/19(水)	5	予備				
2024/6/20(木)	1	自習				
2024/6/20(木)	2	自習				
2024/6/20(木)	3	自習				
2024/6/20(木)	4	自習				
2024/6/20(木)	5	定期試験	感染症	教授	三鴨廣繁	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

講義時に配付する資料に基づいて講義する形式をとる。一部の講義では、case-based learningの形式も採用する。また、講義中に習熟度を確認するために小テストを実施する。一部、小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

講義タイトルに示された疾患について、各種感染症の病態、診断、治療、予防法の基本を理解する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
三嶋廣繁	教授	臨床感染症学講座	C棟8階教授室	毎週水曜日 8:00 ～ 8:20
森 伸晃	准教授	臨床感染症学講座	病院中央棟2階 感染管理室	毎週水曜日 13:00 ～ 13:30
浅井信博	准教授(特任)	臨床感染症学講座	病院中央棟2階 感染管理室	毎週水曜日 13:00 ～ 13:30
平井 潤	非常勤講師	日本医科大学千葉北総 病院 感染制御部 特 任教授 / 感染制御部 部長	—	講義終了後 講義室にて
小泉祐介	非常勤講師	和歌山県立医科大学臨 床感染制御学講座 教 授	—	講義終了後 講義室にて
國島広之	非常勤講師	聖マリアンナ医科大学感 染症学講座 教授	—	講義終了後 講義室にて
藤村 茂	非常勤講師	東北医科薬科大学大学 院薬学研究科 臨床感 染症学教室 教授	—	講義終了後 講義室にて
馬場尚志	非常勤講師	岐阜大学医学部附属病 院 生体支援センター 教授 / センター長	—	講義終了後 講義室にて
山岸由佳	非常勤講師	高知大学医学部 臨床 感染症学講座 教授 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて
大曲貴夫	非常勤講師	国立研究開発法人国立 国際医療研究センター 国際感染症センター長 愛知医科大学客員教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

臨床腫瘍学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備3コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

久保昭仁 教授(臨床腫瘍センター)

科目担当者

森 直治 教授(緩和ケアセンター)

岩田 崇 准教授(臨床腫瘍センター)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅲ-3-b, Ⅲ-4-b, Ⅲ-5-b)

- ① がんの生物学的特性・病態・薬物療法を修得することによって、EBMに基づいた標準的な治療体系と集学的治療を理解する。
- ② がん対策基本法からチーム医療，意思決定，医療経済，地域医療までを俯瞰的に理解する。
- ③ 腫瘍に対する支持医療，緩和医療を理解し，全人的医療を実践する知識と心構えを修得する。

(2) 学修目標

- ① がんの生物学的特徴を説明できる。
- ② がんの原因や遺伝子変化，発癌機構を説明できる。
- ③ 代表的ながん薬物療法薬について作用機序，薬物投与方法，副作用を説明できる。
- ④ がん薬物療法の効果と毒性の評価，支持療法について概説できる。
- ⑤ がん対策基本法について説明できる。
- ⑥ がんの診察におけるチーム医療を概説できる。
- ⑦ 全人的苦痛を説明できる。
- ⑧ 緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛，心理社会的苦痛を列挙することができる。
- ⑨ 腫瘍がもたらす代謝変化，栄養不良の症候群である悪液質を理解し，説明できる。
- ⑩ 症状緩和の限界，コンサルテーションの重要性を理解し，説明できる。
- ⑪ 予期悲嘆，グリーフケアについて理解し，家族のケアについて概説できる。
- ⑫ 緩和ケアチーム，ホスピス，緩和ケア病棟，在宅緩和ケアの特徴と役割が概説できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	100%	多肢選択問題を原則とする。一部記述式問題を含む場合がある。
態度	○	—	受講態度が著しく不良の場合は，総合成績の10%を上限として減点をす。また，態度不良の場合は，『問題行動学生報告書』(イエロー・レッドカード)を提出することがある。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験の合計が60%未満の場合は、再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する。再試験の60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにより理解が不十分な項目について再確認を促すとともに、定期試験で不合格となった者は再試験に備えること。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
新版 がん緩和ケアガイドブック	日本医師会	青海社	日本医師会が監修し、現在日本の緩和ケアの標準的教科書となっている。PDF版が日本医師会HPからDL可能。
レジュメ配付			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
入門腫瘍内科学 第3版	日本臨床腫瘍学会編集	南江堂	臨床腫瘍学の入門書。医学部生に必要な臨床腫瘍学の知識が、わかりやすくまとめられている。
Oxford Textbook of Palliative Medicine	Nathan I. Cherny ら	Oxford Univ. Press	世界標準の緩和医療の教科書である。
臨床緩和ケア 第3版	大学病院の緩和ケアを考える会	青海社	大学病院勤務医による教科書

6 準備学習（予習・復習）

授業前までに

- 授業に臨むに当たり、講義スライドをダウンロードし、内容を確認しておく（約0.5時間）。
- 2学年次の腫瘍学統合講義・化学療法概論・緩和ケア概論の講義内容を再確認しておく（約0.5時間）。
- 日本医師会のホームページから「新版 がん緩和ケアガイドブック」（http://dl.med.or.jp/dl-med/etc/cancer/cancer_care_kaitai.pdf）をダウンロードし、目次全体を眺め、どのような事項が取り上げられているのか確認しておく（約15分）。
- 国立がん研究センター がん情報サービス(ganjoho.jp)一般の方向けサイトの「がんになったら手にとるガイド」と「もしも、がんが再発したら」をダウンロードし、閲覧しておく（約15分）。
- レジュメの復習を行うこと（約1時間）。

臨床腫瘍学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/3(月)	3	医療倫理と緩和ケア	緩和ケアC	教授	森 直治	301 講
2024/6/3(月)	4	がん性疼痛と症状緩和	—	非常勤講師	松原貴子	301 講
2024/6/3(月)	5	スピリチュアルケア	—	非常勤講師	松原貴子	301 講
2024/6/4(火)	1	身体症状の緩和ケア (疼痛以外)	緩和ケアC	教授	森 直治	301 講
2024/6/4(火)	2	がん悪液質の病態と食の苦悩	緩和ケアC	教授	森 直治	301 講
2024/6/4(火)	3	緩和・支持医療のゴール設定と療養場所の 選択	緩和ケアC	助教	坂口達馬	301 講
2024/6/4(火)	4	人の死とグリーフケア, 家族のケア	緩和ケアC	助教	坂口達馬	301 講
2024/6/4(火)	5	がんをしぶとく生きる 足し算命	—	非常勤講師	大橋洋平	301 講
2024/6/6(木)	1	臨床腫瘍学概論・がん薬物療法概論	腫瘍C	教授	久保昭仁	301 講
2024/6/6(木)	2	分子標的薬概論, 支持療法・オンコロジック エマージェンシー	腫瘍C	准教授	岩田 崇	301 講
2024/6/6(木)	3	患者家族の立場から見た意思決定とチーム 医療, Shared Decision Making	腫瘍C	准教授	岩田 崇	301 講
2024/6/6(木)	4	カンサーボードとがんの集学的治療戦略	腫瘍C	教授	久保昭仁	301 講
2024/6/6(木)	5	がんゲノム医療	腫瘍C	教授	久保昭仁	301 講
2024/6/7(金)	1	予備				
2024/6/7(金)	2	予備				
2024/6/7(金)	3	予備				
2024/6/10(月)	1	定期試験	腫瘍C	教授	久保昭仁	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

腫瘍に対する治療、緩和・支持医療の医学的知識の整理と、実臨床におけるがん患者の診断治療の流れ、緩和ケア、治療が困難になった状況における患者・家族へのケアの流れを想定し、講義を進める。

また、特別授業で、いのちの尊さについて考える。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
久保昭仁	教授	臨床腫瘍センター	C棟7階教授室	毎週木曜日 16:00～17:00
岩田 崇	准教授	臨床腫瘍センター	D棟4階臨床腫瘍センター 准教授室	毎週木曜日 16:00～17:00
森 直治	教授	緩和ケアセンター	C棟7階教授室	毎週月曜日 8:45～10:30
坂口達馬	助教	緩和ケアセンター	D棟5階チーム医療室	毎週月曜日 16:30～18:00
松原貴子	非常勤講師	三重大学医学部附属 病院 緩和ケアセンター助教	—	講義終了後 講義室にて
大橋洋平	非常勤講師	JA あいち厚生連 海南 病院 緩和ケア医師	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

医 療 安 全

【単位数：1単位，授業 13 コマ，予備5コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

奥村将年 教授(特任)(医療安全管理室)

2 教育目標

(1) ねらい (I-11-b, I-12-b, I-13-b, I-14-b, I-15-b, II-3-b, II-4-b)

- ① 安全な医療を提供するための基本原則を理解し，医療チームの一員として医療の質改善を推進できるようにする。
- ② 医療に携わるからには必ず身につけなければならない医療安全の知識を得る。

(2) 学修目標

- ① 今日の医療において，医療安全が最優先される概念であることを理解する。
- ② 過去の医療事故や医療過誤等を学び，これらが日常的に起こる可能性があることを認識するとともに，防止策を考案して対応する必要があることを理解する。
- ③ エラーが起きるメカニズムについて理解する。
- ④ チームで取り組むことの重要性，チーム形成の方法を説明できる。
- ⑤ 医療事故調整制度，医療に関わる法について説明できる。
- ⑥ 対人関係スキルがもたらす医療トラブルの影響について説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	多肢選択問題で評価する。
態度	○	10%	受講態度が不良の場合は10点を限度に減点をする。

出席： 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験で60%未満の場合は，再試験を実施する。再試験は定期試験に準ずる方法で実施する(60%以上で合格)。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学年メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに，定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
改訂第2版 医療安全管理実務者標準テキスト	一般社団法人日本臨床医学リスキーマネジメント学会	へるす出版	医療安全を学ぶに必要なことがわかりやすく幅広く網羅されている。
ねころんで読める WHO 患者安全カリキュラムガイド (医療安全 BOOKS)	相馬孝博	メディカ出版	初めはここから。わかりやすい。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
WHO 患者安全カリキュラムガイド:多職種版 (AIDLE-K からダウンロード)	世界保健機関(WHO)	東京医科大学	世界標準の患者安全に関してわかりやすく解説されている。
世界患者安全行動計画 2021-2030 医療における回避可能な害をなくすために (AIDLE-K からダウンロード)	世界保健機関(WHO)	世界保健機関(WHO)	現在,世界が進んでいる患者安全の方向が記載されている。
患者安全・医療安全 実践ハンドブック	医療安全全国共同行動技術支援部会	メディカルサイエンスインターナショナル	日本における医療安全に関するスタンダードが記載されている。
ワシントンマニュアル 患者安全と医療の質改善	加藤良太郎 / 本田仁 監訳	メディカルサイエンスインターナショナル	これさえ持っておけばいつか役立つ。
人は誰でも間違える	医学ジャーナリスト協会	日本評論社	名著。
失敗の科学	マシュー・サイド	ディスカヴァー・トゥエンティワン	失敗についての視点が変わる。
医療安全用語集 第1版 (AIDLE-K からダウンロード)	日本医療安全学会/医療の質・安全学会	日本医療安全学会/医療の質・安全学会	共通言語の理解は重要。

6 準備学習 (予習・復習)

- 教科書として推奨する「医療安全管理実務者標準テキスト」の総論第1, 2, 4, 7, 9章を読み, 医療安全の概略について理解しておく(1コマあたり1時間)。
- 医療安全研修e-ラーニングツール「SafetyPlus」を視聴し, 事例から見た医療安全の実際を理解しておく(1コマあたり0.5時間)。

医療安全

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/3(水)	1	Welcome to the Patient Safety World !	医療安全	教授(特任)	奥村将年	301 講
2024/7/3(水)	2	間違えますよ。だって人間なんだもん	医療安全	教授(特任)	奥村将年	301 講
2024/7/3(水)	3	ミッション！患者に害を及ぼすな！	医療安全	教授(特任)	奥村将年	301 講
2024/7/3(水)	4	【AL】チームステップス(グループ A)	糖内 医療安全 医療安全 医療安全 看護部 NP 部	教授 教授(特任) 副室長 師長 副部長 師長	神谷英紀 奥村将年 小林千尋 富石香代子 小林美和 森 一直	101 講
2024/7/3(水)	5	【AL】チームステップス(グループ B)	糖内 医療安全 医療安全 医療安全 看護部 NP 部	教授 教授(特任) 副室長 師長 副部長 師長	神谷英紀 奥村将年 小林千尋 富石香代子 小林美和 森 一直	101 講
2024/7/4(木)	1	国や法は何と言っているのだ？	医療安全	事務監	生田芳文	301 講
2024/7/4(木)	2	こんなに起きているインシデント！	医療安全	副室長	小林千尋	301 講
2024/7/4(木)	3	安全を支える部門①(薬剤/放射線)	薬剤部 中放	主任 技師長	中村信津子 金田直樹	301 講
2024/7/4(木)	4	トラブルを防ぐ救世主＝メディエーター	看護部	副部長	小林美和	301 講
2024/7/4(木)	5	予備				
2024/7/5(金)	1	チームは最強	医療安全	教授(特任)	奥村将年	301 講
2024/7/5(金)	2	安全を支える部門②(医療機器/検査)	臨床工学部 輸血	主任 教授	茶谷高太朗 中山享之	301 講
2024/7/5(金)	3	事故から学べ！	-	非常勤講師	杉本郁夫	301 講
2024/7/8(月)	1	謝罪の極意	医療安全	教授(特任)	奥村将年	301 講
2024/7/8(月)	2	医療安全ナウ！	医療安全	教授(特任)	奥村将年	301 講
2024/7/8(月)	3	予備				
2024/7/8(月)	4	予備				
2024/7/8(月)	5	予備				

医療安全

年月日(曜)	時限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/9(火)	1	自習				
2024/7/9(火)	2	自習				
2024/7/9(火)	3	自習				
2024/7/9(火)	4	自習				
2024/7/9(火)	5	定期試験	医療安全	教授(特任)	奥村将年	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

原則として大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中には質疑応答などのアクティブ・ラーニングを取り入れる。

(3) 講義の内容

1コマ目に医療安全に関する概論を解説し、2コマ目以降は医療安全学の各論と各種医療職による臨床に即した講義を実施する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
奥村将年	教授(特任)	医療安全管理室	大学病院中央棟2階 医療安全管理室	毎週金曜日 9:00~17:00
神谷英紀	教授	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階教授室	毎週火曜日 9:00~12:00 毎週木・金曜日 14:00~ 17:00
小林千尋	副室長	医療安全管理室	—	講義終了後講義室にて
富石香代子	師長	医療安全管理室	—	講義終了後講義室にて
中村信津子	主任	医療安全管理室	—	講義終了後講義室にて
生田芳文	事務監	医療安全管理室	—	講義終了後講義室にて
中山享之	教授	輸血部	大学病院中央棟 2階 中央臨床検査部	毎週月・水・金曜日 16:00~18:00
金田直樹	技師長	中央放射線部	—	講義終了後講義室にて
茶谷高太郎	主任	臨床工学部	—	講義終了後講義室にて
小林美和	副部長	看護部	—	講義終了後講義室にて
森 一直	師長	NP部	—	講義終了後講義室にて
杉本郁夫	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	—	講義終了後講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

臨床遺伝学

【単位数：1単位，授業13コマ，予備3コマ（定期試験含まず）】

1 科目責任者

高木潤子 教授（特任）（内分泌・代謝内科）

2 教育目標

（1）ねらい（Ⅲ-4-c）

- ① 臨床遺伝学を理解するために、医学生は遺伝子疾患の病態と症候を学び、他者の多様な価値観を尊重しながら、全人的な医療行為を実践できるプロフェッショナリズムを取得する。
- ② 臨床遺伝学とは、遺伝子疾患の診断、治療、予防を目的として、人類遺伝学の基礎知識を、医学に応用する学問である。ゲノム医療は、現在選択可能な診療方針の一つであり、臨床遺伝に関する包括的理解を必要とする。遺伝学的知識、診断治療、また遺伝診療が抱える社会的課題に対するカウンセリングマインドを以って臨床実習に備える。

（2）学修目標

- ① 臨床遺伝学に含まれる医療行為について、概念を説明できる。
- ② ヒトゲノムの多様性と表現型について、概略を説明できる。
- ③ 遺伝様式と遺伝子異常について、疾患と関連付けた説明ができる。
- ④ 遺伝情報に基づいた家系図を作成できる。
- ⑤ 生殖細胞及び体細胞変異による疾患について、概略を説明できる。
- ⑥ 主要な遺伝子疾患の原因、病態、治療を説明できる。
- ⑦ 遺伝医療における医学的及び社会的問題点と、これに対する配慮と解決策を説明できる。
- ⑧ 遺伝カウンセリングの主旨を理解し、ロールプレイができる。
- ⑨ 遺伝診療における、他職種との関わりと役割について、概略が説明できる。
- ⑩ 臨床所見から、具体的な遺伝子疾患名を想起し説明できる。

3 成績の判定・評価

（1）総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	90%	記述式を原則とし、一部多肢選択問題を含む場合がある。
レポート	○	10%	配付された用紙に各自ロールプレイの内容を記載して、終了時に提出する。
態度	○	—	態度不良の場合は「問題行動学生報告書」を提出する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

（2）合格基準

評価対象の合計が60%以上（又は60点以上）で合格とする。

（3）再試験・再評価の方法

上記（2）で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実地する。
再試験は、定期試験に準ずる試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験の成績の総括を学年メールで通知する。

これにより理解が不十分は項目について再確認を促すとともに、定期試験が不合格となった者は再試験に備えること。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート -ゲノム医療に必要な考え方を身につける	日本人類遺伝学会 編集	診断と治療社	本邦の臨床遺伝に沿って、必要な内容を網羅している。
トンプソン&トンプソン遺伝医学 第2版	Robert L.Nussbaum Roderick R.McInnes Huntington F.Willard 監訳 福嶋義光	ELSEVIER	遺伝医学の全領域について詳細にまとめられている。世界で広く使われているテキスト。
Management of Genetic Syndromes	Suzanne B. Cassidy Judith E. Allanson	WILEY- BLACKWELL	臨床遺伝領域の診療において、实际的に役立つ。
遺伝性腫瘍 ケーススタディ100	一般社団法人 日本遺伝性腫瘍学会 監修	ヘルス出版	総論、各論が簡潔に書かれ、具体的な症例呈示がある。様子を思い浮かべながら読むことができる。
遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2020年版	大腸癌研究会	金原出版	遺伝性大腸癌患者の診療に役立つ。
遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)診療 ガイドライン 2021年版 第2版	日本遺伝性乳癌卵巣 癌総合診療制度機構	金原出版	遺伝性腫瘍の診療アルゴリズム、診療方針が示されている。

6 準備学習(予習・復習)

講義前日までに、教科書又は参考図書を用いて、講義タイトルに相当する記載部分の総論、見出しを1時間以上読み、概略を把握する。

講義終了日に、講義内容を復習することにより知識を確認し、理解を深める。

臨床遺伝学

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/5/27(月)	3	臨床遺伝学総論	内内	教授(特任)	高木潤子	301 講
2024/5/27(月)	4	遺伝カウンセリング	—	非常勤講師	石川秀樹	301 講
2024/5/27(月)	5	遺伝形式, 家系図, 遺伝学的検査	生物学	教授	武内恒成	301 講
2024/5/28(火)	1	小児科領域と遺伝	小児	講師	倉橋宏和	301 講
2024/5/28(火)	2	神経領域と遺伝	脳卒中C	教授(特任)	丹羽淳一	301 講
2024/5/28(火)	3	産婦人科領域と遺伝	産婦	教授	渡辺員支	301 講
2024/5/28(火)	4	遺伝性消化器腫瘍の臨床	—	非常勤講師	田中屋宏爾	301 講
2024/5/28(火)	5	血液領域と遺伝	血内	教授	高見昭良	301 講
2024/5/30(木)	1	周産期領域と遺伝	周産期	教授	山田泰聖	301 講
2024/5/30(木)	2	その他の遺伝子疾患 【AL】ロールプレイ 遺伝カウンセリングの実際	内内 — 内内 研究支援課 —	教授(特任) 非常勤講師 (名誉教授) 助教 臨床技術員 非常勤職員	高木潤子 大竹千生 平瀬 翔 大東由佳 近藤麻子	301 講
2024/5/30(木)	3	【AL】ロールプレイ 遺伝カウンセリングロールプレイ	内内 — 内内 研究支援課 —	教授(特任) 非常勤講師 (名誉教授) 助教 臨床技術員 非常勤職員	高木潤子 大竹千生 平瀬 翔 大東由佳 近藤麻子	301 講
2024/5/30(木)	4	循環器領域と遺伝	医学教育C	教授	早稲田勝久	301 講
2024/5/30(木)	5	遺伝性乳癌の臨床	乳外	教授	中野正吾	301 講
2024/5/31(金)	1	予備				
2024/5/31(金)	2	予備				
2024/5/31(金)	3	予備				
2024/6/3(月)	1	定期試験	内内	教授(特任)	高木潤子	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に臨床遺伝学に関する, 知識伝達型講義であるが, 一部講義中に講師との質疑応答やロールプレイを用いたアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

臨床遺伝学の総論と各領域の各論におけるポイントを絞り, 学生の理解を深める講義を行う。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
高木潤子	教授(特任)	内科学講座 内分泌・代謝内科	D棟2階医局	毎週木曜日 16:00～17:00
平瀬 翔	助教	内科学講座 内分泌・代謝内科	D棟2階医局	毎週木曜日 16:00～17:00
武内恒成	教授	生物学講座	3号館基礎科学棟2階 B213教授研究室	毎週月曜日 16:00～18:00
丹羽淳一	教授(特任)	脳卒中センター・ 内科学講座神経内科	C棟3階医局	毎週火曜日 10:00～11:30
高見昭良	教授	内科学講座 血液内科	D棟3階医局	毎週金曜日 15:00～16:30
倉橋宏和	講師	小児科学講座	C棟10階医局	毎週木曜日 10:00～11:00
中野正吾	教授	外科学講座 乳腺・内分泌外科	C棟8階教授研究室	毎週火・金曜日 17:00～18:00
山田恭聖	教授	周産期母子医療センター	中央棟6階NICU病棟	毎週火曜日 16:00～17:00
渡辺員支	教授	産婦人科学	D棟4階医局	毎週水曜日 15:00～17:00
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
大竹千生	非常勤講師	愛知医科大学名誉教授	—	講義終了後 講義室にて
石川秀樹	非常勤講師	京都府立医科大学分子標 的癌予防医学特任教授	—	講義終了後 講義室にて
田中屋宏爾	非常勤講師	独立行政法人国立病院機 構岩国医療センター院長	—	講義終了後 講義室にて
大東由佳	臨床技術員	研究支援課	—	講義終了後 講義室にて
近藤麻子	非常勤職員	外科学講座 乳腺・内分泌外科	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlook にて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

臨 床 推 論

【単位数：1単位，授業17コマ，予備4コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

宮田靖志 教授(特任)(地域総合診療医学寄附講座)

2 教育目標

(1) ねらい(IV-1-b, IV-3-b, IV-4-b, IV-5-b, IV-6-b, IV-2-c)

患者の健康問題を正しく取り上げ，問題解決のための正しい思考過程と医師決断の方法の基礎を修得する。

(2) 学修目標

- ① 臨床推論の全体像を説明できる。
- ② エビデンスに基づいた病歴と身体診察を説明できる。
- ③ 診断検査の正しい利用と解釈が説明できる。
- ④ 臨床推論のモデルを説明できる。
- ⑤ 認知バイアスについて説明できる。
- ⑥ ヒューマンファクターについて説明できる。
- ⑦ メタ認知と認知バイアス除去について説明できる。
- ⑧ ガイドライン，スコアの利用の仕方が説明できる。
- ⑨ 主要37症候・病態のうちの主なものについて診断推論ができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	70%	記述式及び多肢選択問題
課題レポート	○	30%	6/25の授業終了時に課題を与えるので，6/27 24:00までにAIDLE-Kに提出すること。
態度	○	—	授業妨害となるような態度不良が見られる場合は，総合判定から10点減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を行う。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

定期試験で正答率の低かった問題，理解が不十分と思われた問題については，解説を一斉メールする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ABC of 臨床推論 診断エラーを回避する	宮田靖志監訳 N.Cooper, J. Frain	羊土社	臨床推論の基本的な考え方が簡潔にまとめられている。
内科初診外来 ただいま診断中！	鋪野紀好	中外医学社	臨床推論の基本的な考え方が簡潔にまとめられている。
ジェネラリストのための内科外来マニュアル	金城光代, 金城紀与史, 岸田直樹	医学書院	よく遭遇する症候の診断推論が簡潔にまとめられている。
プライマリ・ケア診療 診断エラー回避術	宮田靖志編著	日本医事新報社	診断と診断エラー回避のための様々な概念が開示されている。
誤診の解体	宮田靖志監訳	MEDSi	実際の診断エラー症例の詳細な報告と分析が提示されている症例集である。
プライマリ・ケア現場で役立つ一発診断100	宮田靖志編著	文光堂	システム1による診断症例が簡潔にまとめられている。
プライマリ・ケア現場で役立つもつと！一発診断100	宮田靖志編著	文光堂	システム1による診断症例が簡潔にまとめられている。
プライマリ・ケア現場で役立つさらに！一発診断100	宮田靖志編著	文光堂	システム1による診断症例が簡潔にまとめられている。
迷いやすい症例から学ぶジェネラリストの診断力 総合内科はおもしろい！	宮田靖志編著	羊土社	よくある症例の診断過程を詳細に言語化し、医師が何を考えながら推論しているかが理解できるようになっている。
診断推論 奥義伝授	野口善令	日本医事新報社	臨床推論の基本的な考え方が簡潔にまとめられている。
誰も教えてくれなかった診断学	野口善令	医学書院	臨床推論の基本的な考え方が簡潔にまとめられている。
ティアニー先生の診断入門第2版	ローレンス・ティアニー・松村正巳	医学書院	臨床推論の基本的な考え方が簡潔にまとめられている。

6 準備学習（予習・復習）

臨床推論の概念を簡単に頭に入れておくために、上に挙げた参考書のうち、どれか一つを通読しておく（約4時間）。

事前に講義資料に目を通しておくこと。授業中には講義資料に沿って行すが、資料の解説は必要最小限にとどめる。

臨床推論

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/6/21(金)	1	予備				
2024/6/21(金)	2	予備				
2024/6/21(金)	3	予備				
2024/6/24(月)	1	総論 臨床推論のプロセス ①	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/24(月)	2	臨床推論のプロセス ②	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/24(月)	3	診断に重要な身体診察	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/24(月)	4	臨床検査の正しい考え方	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/24(月)	5	主要症候の臨床推論 ① 発熱 ② リンパ節腫脹	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/25(火)	1	③ 意識障害 ④ 失神	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/25(火)	2	⑤ めまい	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/25(火)	3	⑥ 浮腫	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/25(火)	4	⑦ 咳・痰 ⑧ 呼吸困難	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/25(火)	5	⑨ 胸痛	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/28(金)	1	⑩ 腹痛	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/28(金)	2	⑪ 便秘・下痢・下血 ⑫嘔吐	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/28(金)	3	⑬ 頭痛	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/1(月)	1	⑭ 腰背部痛	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/1(月)	2	⑮ 関節痛	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/1(月)	3	⑯ しびれ	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/1(月)	4	診断エラー	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/1(月)	5	予備				
2024/7/2(火)	1	自習				
2024/7/2(火)	2	自習				
2024/7/2(火)	3	自習				
2024/7/2(火)	4	自習				
2024/7/2(火)	5	定期試験	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

講義資料に沿って行うが、資料を細かに説明することはしない。資料に沿って実際の臨床現場での推論の具体例を伝える。

(3) 講義の内容

それぞれの講師によって臨床推論の概説を行う。このため、講義内容に一部重複が見られるが、それは重要事項であるため、繰り返し理解が必要と考えているからである。繰り返し教授される内容は定期試験に出題されると考えてよいほど、重要な事項である。

実際の症例を用いて、学修目標に挙げた①～④を適宜解説していく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	2号館 研究棟355号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

地域医療総合医学

【単位数:0.5単位, 授業10コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

宮田靖志 教授(特任)(地域総合診療医学寄附講座)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅱ-1-b, Ⅱ-4-c, Ⅱ-5-c, Ⅱ-6-c, Ⅲ-8-b, Ⅳ-9-b, V-1-b, V-2-b, V-3-b, V-4-b, V-5-b)

- ① コアコンピテンスの“地域医療への貢献”の理解のため, 地域医療の現状と地域医療で求められる知識, 技能, 態度を学び, そのことによって“プロフェッショナリズム”の涵養にもつなげる。
- ② 地域医療とは, 対象とするコミュニティを特定し, そのニーズを明らかにし, その地域で包括的な医療を提供する医師として幅広い診療を提供するとともに, プライマリ・ヘルスケアの視点を持って地域全体の健康を目指して医療活動することである。地域医療実践のための総合診療, プライマリ・ケア及び地域包括ケアについて理解する。
- ③ コアコンピテンスの“プロフェッショナリズム”における生涯学習, 自己管理, 医療安全の中で, 近年, 特に問題となっているポリファーマシー(多剤併用)の概念を理解し, 臨床実習でこのテーマについて経験した際にその対策が考えられるようになる。

(2) 学修目標

- ① コミュニティの概念を説明できる。
- ② コミュニティの健康問題, ニーズを特定することの意義を説明できる。
- ③ コミュニティの健康に影響を及ぼす貧困, 文化, 地域疫学など, いわゆる健康の社会決定要因を説明することができる。
- ④ ヘルスプロモーションと疾患予防について患者, 家族, 住民の啓発活動をすることの意義を説明できる。
- ⑤ コミュニティ内で同定された健康問題に介入を実行するための多職種, 他部門連携の実際を説明できる。
- ⑥ プライマリ・ケアの原則(近接性, 包括性, 協調性, 継続性, 責任性)を説明できる。
- ⑦ 医療施設を訪れないコミュニティの住民をも視野に入れたプライマリ・ヘルスケアの概念を説明できる。
- ⑧ 地域医療における病院総合医の役割を説明できる。
- ⑨ 地域医療における家庭医の役割を説明できる。
- ⑩ 都市部と僻地での地域医療の実践の具体を説明できる。
- ⑪ ポリファーマシーの概念を説明できる。
- ⑫ ポリファーマシーへの対応を述べることができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60%	記述式及び多肢選択問題
外部講師による授業に関するレポート	○	40%	外部講師による講義内容に関する感想を講義翌日の9:00までにAIDLE-Kに提出する。記載内容をあらかじめ提示する評価基準により各10点満点で採点する
態度	○	—	授業妨害となるような態度不良が見られる場合は, 総合判定から10点減点する。

出席: 定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

- 評価対象の合計が60%以上で合格とする。
- 非常勤講師の講義内容の感想の評価は下記の通りとする。
 - ・キーワードを3つ挙げる
 - ・挙げたキーワードの少なくとも1つに関して、講義内容に関する自分自身の考えを記載する。
講義資料の記載、一般的・教科書的記載は不可
 - ・自身の十分な考えが記載されている場合、1講師につき10点満点で採点する。

(3) 再試験・再評価の方法

定期試験に準ずる再試験を実施する。60%以上を合格とする。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

定期試験の成績についての総括を学内メールで実施する。

これにて理解が不十分な項目について再確認を促すとともに、定期試験で不合格となった者は再試験に備える。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
地域医療学入門	日本医学教育学会 地域医療教育委員会監修	診断と治療社	地域医療全般について学生向けに解説されている。
日本プライマリ・ケア連合学会基本研修ハンドブック 改訂第3版	日本プライマリ・ケア連合学会	南山堂	総合診療実践のための基本的内容が網羅されている。
新・総合診療医学 家庭医療学編 第2版	藤沼康樹編集	カイ書林	家庭医療の実践方法が広くまとめられている。
地域医療テキスト	自治医科大学監修	医学書院	地域医療のシステムが詳述されている。
脱専門化医療	山本和利編集	診断と治療社	対話形式で、総合診療、地域医療について分かりやすく記載されており、読みやすい。
患者中心の医療の方法	モイラ・スチュワート	羊土社	家庭医療のバイブルとなっている書籍の翻訳であり、すべての医療実践に役立つ概念がまとめられている。
患者さん中心で行こう ポリファーマシー対策 意思決定の共有と価値観に基づく医療の実践	宮田靖志編著	日本医事新報社	ポリファーマシーの概念とその対策が簡潔にまとめられている。

6 準備学習（予習・復習）

- プライマリ・ケア連合学会HPの“総合診療医という選択”というムービーを視聴し、総合診療に関するイメージを掴んでおく（約15分）。
- 1～5番目に挙げられている参考図書のどれかを選んで、その目次全体を眺め、どのような事項が取り上げられているのか確認しておく（約15分）。
- 上記の中で、興味を惹いた項目について記載内容を読んでおく（約0.5時間）。
- 1コマ目の講義で配付された資料について講義後に内容を再確認し、2コマ目以降の講義に臨むこと（約1時間）。

地域医療総合医学

7 授業計画

（1）開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/10(水)	5	総論(総合診療・地域医療の概念)	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/4/17(水)	5	プライマリ・ヘルスケア 地域包括ケア(地域連携, 在宅医療) 地域診断	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/4/24(水)	5	患者中心の医療の方法 Bio-Psycho-Social Model	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/5/1(水)	4	家庭医療 総合診療医(家庭医)の役割 ～診療の幅が最強の武器になる	—	非常勤講師	上松東宏	301 講
2024/5/1(水)	5	コミュニティ・ホスピタル 地域で活躍できる総合診療・在宅医療	—	非常勤講師	近藤敬太	301 講
2024/5/15(水)	4	都市部の病院での総合診療 公立病院に求められる役割を考える	—	客員教授	梅屋 崇	301 講
2024/5/15(水)	5	地方の病院での総合診療 地域密着型小規模多機能病院とは何?	—	客員教授	後藤忠雄	301 講
2024/5/29(水)	4	未分化・多様・封雑な健康問題 継続的な医療・ケア(continuity of care)	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/5(水)	5	慢性疾患のケア(下降期慢性疾患) 多疾患併存(マルチモビディティ)	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/6/12(水)	5	ポリファーマシー	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/18(木)	6	定期試験	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	101 講

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

（2）講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

（3）講義の内容

1コマ目に総論として地域医療、総合医診療に関するキーワードを解説し、2コマ目以降は、それぞれの異なる状況での総合診療及び地域医療について、具体的な活動内容を提示しながら、概念理解を進めていく。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	2号館 研究棟355号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00
後藤忠雄	非常勤講師	岐阜県北西部地域医療センター国保白鳥病院 院長 愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて15分間
上松東宏	非常勤講師	名古屋大学 地域医療教育学講座	—	講義終了後 講義室にて15分間
近藤敬太	非常勤講師	豊田地域医療センター 総合診療科 医師	—	講義終了後 講義室にて15分間
梅屋 崇	非常勤講師	あま市民病院 管理者・院長 愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて15分間

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授に Email で質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

基本手技・医療面接実習

【単位数:0.5単位, 授業22.5コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

船木 淳 講師(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) ねらい(Ⅱ-1-b, Ⅳ-1-b, Ⅳ-2-b, Ⅳ-3-b, Ⅳ-4-b, Ⅳ-5-b, Ⅳ-6-b, Ⅳ-7-b, Ⅳ-8-b)

- ① 本学のコンピテンシーである「診療技能」を学び、診療参加型臨床実習の基礎となる医療面接、身体診察、基本的臨床手技を身につける。
- ② 基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症について理解できるようにする。

(2) 学修目標

- ① 患者の立場を尊重し、診察時の信頼関係を構築することができる。
- ② 患者の安全を重視し、有害事象が生じた場合は適切に対応ができる。
- ③ 患者のプライバシー、羞恥心、苦痛に配慮し、個人情報等を守秘できる。
- ④ 手指消毒、器具の消毒など感染予防行動をとることができる。
- ⑤ 挨拶、みだしなみ、言葉使い等、医師としてふさわしい態度をとることができる。
- ⑥ 的確な診断に必要な診察方法(体位、技法)を選択し、実施できる。
- ⑦ 医療面接実習、全身状態とバイタルサイン、頭頸部診察、胸部診察、腹部診察、神経診察、四肢と脊柱の診察、救命処置、基本的臨床手技の必須項目を実施することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
態度	○	—	実習態度が不良の場合は不可とする。
その他	○	—	学修した診療技能については技能評価をその都度実施する。

出席: 実習を修得するためには、欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

すべての評価対象において、不可がないこと(可否の2段階で判定)。

(3) 再試験・再評価の方法

課題・レポートを課す。

実習を欠席した場合は、補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

実習中に適宜行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
診療参加型臨床実習に参加する学生に必要なとされる技能と態度に関する学習・評価項目	(社)医療系大学間共用試験実施評価機構		OSCEの評価対象項目の必修・非必修が示されている。
診療参加型臨床実習に必要な技能と態度教育・学習用動画	(社)医療系大学間共用試験実施評価機構		画像でOSCEに必要な手技を解説している。

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
ProCedures CONSULT (https://www.proCeduresConsult.jp/)		Elsevier Japan	画像で様々な手技を解説している。

6 準備学習（予習・復習）

各領域の実習前日までに、該当する動画のパートを視聴し、大まかな手技の流れを把握しておく(0.5時間)。

基本手技・医療面接実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/4/12(金)	4	ガイダンス (基本手技実習全体/医療面接)	医学教育C 糖内 地域(寄) 医学教育C シミュC	教授 教授 教授(特任) 講師 講師	早稲田勝久 神谷英紀 宮田靖志 河合聖子 船木 淳	301 講 セミナー室
2024/4/12(金)	5					
2024/4/12(金)	6					
2024/4/26(金)	4	胸部診察・心音	循内 整形 医学教育C シミュC —	准教授(特任) 准教授(特任) 講師 講師 非常勤講師	櫻井慎一郎 池本竜則 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC 3階セ
2024/4/26(金)	5	四肢と脊柱診察				
2024/4/26(金)	6	医療面接				
2024/5/10(金)	4	胸部診察・心音	循内 整形 医学教育C シミュC —	准教授(特任) 准教授(特任) 講師 講師 非常勤講師	櫻井慎一郎 池本竜則 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC 3階セ
2024/5/10(金)	5	四肢と脊柱診察				
2024/5/10(金)	6	医療面接				
2024/5/17(金)	4	救命処置 全身状態とバイタルサイン	救命 総診	教授 教授(特任)	渡邊栄三 脇田嘉登	シミュC
2024/5/17(金)	5					
2024/5/17(金)	6					
2024/5/24(金)	4	救命処置 全身状態とバイタルサイン	救命 総診	教授 教授(特任)	渡邊栄三 脇田嘉登	シミュC
2024/5/24(金)	5					
2024/5/24(金)	6					
2024/5/31(金)	4	救命処置 感染対策 医療面接	救命 感染症 医学教育C シミュC —	教授 准教授 講師 講師 非常勤講師	渡邊栄三 森 伸晃 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC 3階セ
2024/5/31(金)	5					
2024/5/31(金)	6					
2024/6/7(金)	4	救命処置 感染対策 医療面接	救命 感染症 医学教育C シミュC —	教授 准教授 講師 講師 非常勤講師	渡邊栄三 森 伸晃 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC 3階セ
2024/6/7(金)	5					
2024/6/7(金)	6					
2024/6/14(金)	4	頭頸部診察	耳鼻 神内 糖内	講師 准教授 講師	車 哲成 川頭祐一 森下啓明	シミュC
2024/6/14(金)	5	神経診察				
2024/6/14(金)	6	基本的臨床手技(採血・心電図)				
2024/6/21(金)	4	頭頸部診察	耳鼻 神内 糖内	講師 准教授 講師	車 哲成 川頭祐一 森下啓明	シミュC
2024/6/21(金)	5	神経診察				
2024/6/21(金)	6	基本的臨床手技(採血・心電図)				
2024/6/28(金)	4	腹部診察	消内 泌尿器 医学教育C シミュC —	教授(特任) 講師 講師 講師 非常勤講師	小笠原尚高 梶川圭史 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC 3階セ
2024/6/28(金)	5	基本的臨床手技(持続的導尿)				
2024/6/28(金)	6	医療面接				
2024/7/5(金)	4	腹部診察	消内 泌尿器 医学教育C シミュC —	教授(特任) 講師 講師 講師 非常勤講師	小笠原尚高 梶川圭史 河合聖子 船木 淳 川原千香子	シミュC 3階セ
2024/7/5(金)	5	基本的臨床手技(持続的導尿)				
2024/7/5(金)	6	医療面接				

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

小グループに分かれてシミュレーターを用いて繰り返し学修する。又は二人一組となり、交代で被験者となり、診療技能を身につける。

(3) 講義の内容

基本手技の領域毎に、手技の解説を行い、その後小グループでお互いに施行する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対応可
河合聖子	講師	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週木曜日 16:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
船木 淳	講師	シミュレーションセンター	C棟6階シミュレーションセンター	毎週月～金曜日 14:00～17:00 他の時間帯は問合せの上対応可
神谷英紀	教授	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階教授室	毎週火曜日 9:00～12:00 毎週木・金曜日 14:00～17:00
森下啓明	講師	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科医局	毎週火・金曜日 14:00～17:00
渡邊栄三	教授	救命救急科	大学病院中央棟 1階部長室	毎週月・水・金曜日 15:00～17:00
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄付講座	2号館 研究棟355号室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
脇田嘉登	教授(特任)	総合診療医学	D棟2階総合診療科 医局	毎週火曜日 15:00～17:00
小笠原尚高	教授(特任)	消化器内科	D棟 消化器内科医局	通常:月・水～金曜日 16:00～18:00
櫻井慎一郎	准教授	循環器内科	D棟2階医局	毎週火・金曜日 15:00～17:00
川頭祐一	准教授	神経内科	D棟2階医局	毎週月・金曜日 17:00～18:00
森 伸晃	准教授	臨床感染症学講座	病院中央棟2階 感染管理室	毎週水曜日 13:00～13:30
池本竜則	准教授 (特任)	整形外科	C棟9階医局	毎週月曜日 17:00～17:30
車 哲成	講師	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	C棟11階医局	毎週火・金曜日 16:00～18:00
梶川圭史	助教	泌尿器科学講座	D棟5階医局	毎週水曜日 16:00～18:00
川原千香子	非常勤講師	昭和大学医学部 医学教育学講座 准教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

臨床実習入門

【単位数：2.5単位，授業33コマ，予備4コマ】

1 科目責任者

高見昭良 教授(血液内科)

2 教育目標

(1) ねらい(IV-1-b, IV-2-b, IV-3-b, IV-4-b, IV-5-b)

- ① コアコンピテンス“診療技能”の理解を目的として，医療面接，診療録の記載，プロブレムリストの作成，鑑別診断の方法，適切なプレゼンテーションの方法を身につける。
- ② 臨床実習の学修に必要な基礎臨床技能を涵養する。

(2) 学修目標

- ① 適切な医療面接ができる。
- ② 適切な診療録作成ができる。
- ③ 適切な患者プレゼンテーションができる。
- ④ 症候学・臨床推論の意義・方法を理解し，実践できる。
- ⑤ 縫合の意義・方法を理解し，実践できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
小テスト	○	—	講義前に行われる(準備学習で備えること)。
態度	○	—	受講態度不良の場合 50%を限度に減点される。
その他	○	100%	実習評価シートにより行われる。

出席：単位を修得するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(2) 合格基準

定期試験は行わない。実習評価シートにより合否を決定する。合格には，原則として，積極性・態度の評価「普通」以上を要する。

XXX班 教員用 実習評価シート 小グループ実習毎終了後速やかに記入後教務課へご提出ください。

評価日時：20XX年XX月XX日 評価者：XXX科 チューター氏名_____

出欠：出席は○(遅刻5分以内は可)，遅刻は△+分(例 10分の遅刻：△+10分)，欠席は×。

学籍番号	氏名	出欠	積極性 (○で囲む)	態度 (○で囲む)	備考
11xxx1	XXXX		良 普 悪	良 普 悪	
11xxx2	XXXX		良 普 悪	良 普 悪	
11xxx3	XXXX		良 普 悪	良 普 悪	
11xxx4	XXXX		良 普 悪	良 普 悪	
11xxx5	XXXX		良 普 悪	良 普 悪	
11xxx6	XXXX		良 普 悪	良 普 悪	

その他，ご意見ご要望ご感想などお聞かせください。

(3) 再試験・再評価の方法

再試験は行わない。実習評価シートで不合格となったものは、進級判定会議の審議対象となる。

受講態度が著しく不良で、態度評価が不可の場合は、進級判定会議にて協議の上、単位認定の可否が判断される。

(4) 課題（試験やレポート）へのフィードバック

講義内で解説される。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
内科診断学	福井次矢, 奈良信雄 (編集)	医学書院	内科診断学の基本書籍

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
内科救急診療指針	内科学会認定医制度審議会救急委員	総合医学社	内科診断学の実践に役立つ。
ジェネラリストのための内科診断リファレンス	上田剛士	医学書院	内科診断学の実践に役立つ。
ジェネラリストのための内科外来マニュアル	金城光代 他	医学書院	内科診断学の実践に役立つ。
診断推論 Step by Step	酒見英太	新興医学出版社	内科診断学の実践に役立つ。
ティアニー先生の診断入門	ローレンス・ティアニー, 松村正巳	医学書院	内科診断学の基本書籍
ティアニー先生の臨床入門	ローレンス・ティアニー, 松村正巳	医学書院	内科診断学の基本書籍
内科診断学	武内重五郎	南江堂	内科診断学の基本書籍

6 準備学習（予習・復習）

教科書を予習・復習する。予習で得られた知識の定着を目的に、予告なく小テストが行われることがある。予習のため、該当の教科書をあらかじめ読んでおく(0.5～5時間)。

臨床実習入門

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/9/27(金)	1	オリエンテーション, 臨床実習入門(内科診 断学)入門(内科診断学p2-31)	血内	教授	高見昭良	301 講
2024/9/27(金)	2	診断の考え方(内科診断学p2-31)	血内	教授	高見昭良	301 講
2024/9/27(金)	3	診療録の記載法(内科診断学p205-209) 小グループ実習オリエンテーション	血内	教授	高見昭良	301 講
2024/9/27(金)	4	臨床現場での課題解決のための情報検索	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/9/27(金)	5					
2024/9/30(月)	1	電カル実習(血内, 内内)	医学教育C	教授	早稲田勝久	別途 通知
2024/9/30(月)	2	電カル実習(循内, 肝内)	医学教育C	教授	早稲田勝久	別途 通知
2024/9/30(月)	3	電カル実習(神内, 消内)	医学教育C	教授	早稲田勝久	別途 通知
2024/9/30(月)	4	電カル実習(腎内, 呼内)	医学教育C	教授	早稲田勝久	別途 通知
2024/9/30(月)	5	電カル実習(糖内, 総診)	医学教育C	教授	早稲田勝久	別途 通知
2024/10/1(火)	1	吐血・下血	消内	教授(特任)	佐々木誠人	301 講
2024/10/1(火)	2	下痢・便秘	消内	教授(特任)	佐々木誠人	301 講
2024/10/1(火)	3	腹痛	肝胆膵	教授	伊藤清顕	301 講
2024/10/1(火)	4	頭痛	神内	講師	中村亮一	301 講
2024/10/1(火)	5	診察の進め方, 検査計画の立て方, 診療録 の書き方, 患者プレゼンテーション, 接遇	—	各科	担任チューター・ 実習チューター	2階セ 3階セ
2024/10/2(水)	1	関節痛	腎内	教授(特任)	坂野章吾	301 講
2024/10/2(水)	2	浮腫	腎内	教授	石本卓嗣	301 講
2024/10/2(水)	3	予備				
2024/10/2(水)	4	健診異常(高血糖, 脂質異常など)	糖内	教授(特任)	恒川 新	301 講
2024/10/2(水)	5	診察の進め方, 検査計画の立て方, 診療録 の書き方, 患者プレゼンテーション, 接遇 (総診/呼内/腎内は休み)	—	各科	担任チューター・ 実習チューター	2階セ 3階セ
2024/10/4(金)	1	縫合実習	血外	准教授	折本有貴	シミュC
2024/10/4(金)	2					
2024/10/4(金)	3					
2024/10/4(金)	4	動悸・息切れ	循内	准教授	櫻井慎一郎	301 講
2024/10/4(金)	5	診察の進め方, 検査計画の立て方, 診療録 の書き方, 患者プレゼンテーション, 接遇 (循内/肝内/糖内/内内は休み)	—	各科	担任チューター・ 実習チューター	2階セ 3階セ

臨床実習入門

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/10/7(月)	1	縫合実習	血外	准教授	折本有貴	シミュC
2024/10/7(月)	2					
2024/10/7(月)	3					
2024/10/7(月)	4	意識障害	脳卒中C	講師	徳井啓介	301 講
2024/10/7(月)	5	診察の進め方, 検査計画の立て方, 診療録の書き方, 患者プレゼンテーション, 接遇	—	各科	担任チューター・ 実習チューター	2階セ 3階セ
2024/10/8(火)	1	黄疸	肝胆膵	准教授(特任)	荒井 潤	301 講
2024/10/8(火)	2	口渇	内内	教授(特任)	高木潤子	301 講
2024/10/8(火)	3	肥満	糖内	教授	神谷英紀	301 講
2024/10/8(火)	4	発熱	総診	教授(特任)	脇田嘉登	301 講
2024/10/8(火)	5	診察の進め方, 検査計画の立て方, 診療録の書き方, 患者プレゼンテーション, 接遇 (血内/消内/神内は休み)	—	各科	担任チューター・ 実習チューター	2階セ 3階セ
2024/10/9(水)	1	予備				
2024/10/9(水)	2	予備				
2024/10/9(水)	3	高血圧・低血圧	—	客員教授	森田博之	301 講
2024/10/9(水)	4	出血傾向	血内	教授	高見昭良	301 講
2024/10/9(水)	5	貧血	血内	教授	高見昭良	301 講
2024/10/10(木)	1	呼吸困難感・呼吸不全・胸水	呼内	教授	伊藤 理	301 講
2024/10/10(木)	2	咳・喘鳴・喀血	呼内	教授	伊藤 理	301 講
2024/10/10(木)	3	胸痛・背部痛	循内	教授	天野哲也	301 講
2024/10/10(木)	4	全体電カル実習	医学教育C	教授	早稲田勝久	301 講
2024/10/10(木)	5	予備				

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

基本的に大教室での知識伝達型の講義であるが、講義中、一部、小グループ発表・討論や講師との質疑応答などのアクティブ・ラーニングを導入する。

(3) 講義の内容

1日目に総論として、医療面接、診療録の記載、プロブレムリストの作成、鑑別診断の方法、適切なプレゼンテーション、UpToDateの活用法が解説される。2日目以降、症候学、小グループ実習を通じ、理解を深めていく。小グループ実習は、20グループ程度に分けて行われる。各担任チューター(10科より1-2名ずつ)が1名配置され、実習チューター(各科より若干名)により行われる。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
高見昭良	教授	内科学講座 血液内科	D棟3階教授室	毎週木曜日 16:00～17:00
佐々木誠人	教授(特任)	内科学講座 消化管内科	D棟3階 消化器内科医局	毎週火曜日 12:00～13:00
荒井 潤	准教授(特任)	内科学講座 肝胆膵内科	D棟3階 消化器内科医局	毎週月から金曜日 16:00～18:00
伊藤清顕	教授	内科学講座 肝胆膵内科	D棟3階 教授室	毎週月・火・水曜日 16:00～18:00
天野哲也	教授	内科学講座 循環器内科	D棟3階教授室	毎週火・金曜日 15:00～17:00
櫻井慎一郎	准教授	内科学講座 循環器内科	D棟2階医局	毎週水曜日 16:00～17:00
伊藤 理	教授	内科学講座呼吸 器・アレルギー内科	D棟3階教授室	毎週金曜日 15:00～16:30
高木潤子	教授(特任)	内科学講座 内分泌・代謝内科	D棟2階医局	毎週火曜日 16:00～17:00
神谷英紀	教授	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科教授室	毎週火曜日9:00～12:00 毎週木・金曜日14:00～17:00
恒川 新	教授(特任)	内科学講座 糖尿病内科	C棟5階 糖尿病内科准教授室	毎週火曜日9:00～12:00 毎週木・金曜日14:00～17:00
中村亮一	講師	内科学講座 神経内科	D棟2階 神経内科医局	毎週金曜日 17:00～18:00
石本卓嗣	教授	内科学講座 腎臓・リウマチ膠原 病内科	D棟3階教授室	毎週金曜日 16:00～17:00
坂野章吾	教授(特任)	内科学講座 腎臓・リウマチ膠原 病内科	D棟4階 腎臓・リウマチ膠原病 内科医局	毎週火曜日 16:00～17:00
折本有貴	准教授	外科学講座 血管外科	C棟11階 外科医局	毎週月・火・水 16:00～18:00
脇田嘉登	教授(特任)	総合診療医学講座	D棟2階 総合診療医学講座医 局	毎週火曜日 16:00～17:00
徳井啓介	講師	脳卒中センター	D棟3階 脳卒中センター医局	毎週木曜日 10:30～11:30
早稲田勝久	教授	医学教育センター	1号館大学本館7階 医学教育センター	毎週火・木曜日 15:00～18:00 他の時間帯は問合せの上対 応可
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学 寄附講座	2号館 研究棟 355号室	毎週火曜日 16:00～18:00
森田博之	非常勤講師	愛知医科大学 客員教授	—	講義終了後 講義室にて

※ 質問等については、講義終了後、又は、Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には、オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師、客員教授、名誉教授にEmailで質問したい場合は、科目責任者に連絡先を問合せること。

地域医療早期体験実習

【単位数:0.5単位, 授業20コマ】

1 科目責任者

宮田靖志 教授(特任)(地域総合診療医学寄附講座)

2 教育目標

(1) **ねらい**(I-1-c, I-2-c, I-3-c, I-4-c, I-5-c, I-6-c, I-8-c, I-11-c, I-12-c, I-13-c, II-1-b, II-2-c, II-3-c, II-4-c, II-5-c, II-6-c, II-8-b, III-6-c, III-7-c, III-9-c, IV-1-c, IV-2-c, IV-6-c, IV-9-b, V-1-b, V-2-b, V-3-b, V-4-b, V-5-b)

- ① コアコンピテンスの”プロフェッショナリズム”, “地域医療への貢献”の理解のため, 一般の地域医療機関における医療実践を体験し, 地域医療を実践する医療専門職の仕事を具体的にイメージできるようになる。
- ② 大学病院以外の一般の地域医療機関においてどのような医療が実践されているのか, 医師及びその他の医療専門職の業務を体験し, クリニカル・クラークシップでの地域医療への準備とすると共に, 地域医療への学修意欲向上の契機とする。

(2) 学修目標

- ① 医師の日々の臨床業務で求められる能力を説明できる。
- ② 医療実践に関わる医師以外の医療専門職の業務を説明できる。
- ③ 医療専門職者の多職種連携の具体について説明できる。
- ④ 実習の体験を振り返って何を学んだのか, 分析することができる。
- ⑤ 実習の体験から今後の学習課題を設定することができる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	コメント
ポートフォリオ	○	100%	事前学習課題, 事後学習課題, ポートフォリオにて成績判定する。 期日(7/26 17:00)までにポートフォリオが提出されない場合は, 成績判定できないため, 単位が与えられない。
実習先指導医からの評価	○	—	実習先から不可と評価された場合, 実習先指導医からその理由を得て, 不可評価が妥当かを判断する。その上で, 科目責任者が不可評価を妥当と判断した場合は, ポートフォリオの評価に関わらず不可とし, 以後の判断は進級判定会議に委ねる。

出席: 実習を欠席してはならない。

(2) 合格基準

実習参加状況・レポート内容により, 合格, 不合格の判定をする。

評価の詳細: 優・良・可・不可とする。(優:100点, 良:80点, 可:60点)

優;ポートフォリオフォーマットが守られている。レポートの考察に深みがある。

良;ポートフォリオのフォーマットが守られている。レポートの考察に深みが足りない。

可;ポートフォリオのフォーマットが守られている。レポートの考察が浅い。

不可;提出期限が守られていない。

ポートフォリオのフォーマットが守られていない。

実習施設からの評価で問題点を指摘されている。

評価方法：

実習すべて(事前・事後講義を含む)に参加すること。

ポートフォリオの提出期限が守られていること。

ポートフォリオのフォーマットが守られていること。

ポートフォリオの評価の方法： 自分自身の考えを自分自身の言葉で記載していること。

一般的な教科書的記載のみの場合は不可とする。

実習先からの評価で不可となった場合は、その内容を精査し妥当と判断したら、不可とする。

★ポートフォリオの作成はパソコンで行うのが良い。iPadで作成したものはパソコンで開いたときにWORDファイルのフォーマットが変わってしまうことがある。ipad等で作成した場合は、必ずパソコンで作成物を確認すること。

(3) 再試験・再評価の方法

- ① 実習先からの評価が不可の場合、不合格。再実習は実施しない。
以後の判断は進級判定会議に委ねる。
- ② ポートフォリオの記載内容が不十分な場合は、再提出を求める。
- ③ 実習に参加できなかった場合は、不足日数分の追加実習を行う。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

提出されたポートフォリオについて、学年全体へ総括的なフィードバックをメールにて行う。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
地域医療学入門	日本医学教育学会 地域医療教育委員会 監修	診断と治療社	地域医療全般について学生向けに解説されている。
日本プライマリ・ケア連合学会基本研修ハンドブック 改訂第2版	日本プライマリ・ケア連合学会	南山堂	総合診療実践のための基本的内容が網羅されている。
新・総合診療医学 家庭医療学編 第2版	藤沼康樹編集	カイ書林	家庭医療の実践方法が広くまとめられている。

6 準備学習(予習・復習)

多職種連携に関する知識を何らかの情報源(何でもよい)から得ておき、授業中のディスカッションで意見を述べることができるようにしておく(1時間)。

地域医療早期体験実習

7 授業計画

(1) 開催日時

年月日(曜)	時 限	講義タイトル	所属	職名	担当者	使用教室 (予定)
2024/7/19(金)	1	実習に関する説明	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/19(金)	2	地域医療に関する講義	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/19(金)	3	実習施設の概要に関するグループワーク	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/19(金)	4	実習のための自学自習と準備	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/19(金)	5					
2024/7/22(月)	1	地域医療早期体験実習病院にて終日実習 (各自, 連続する2日間の実習を行う) (実習日以外はポートフォリオ作成に充てる)				
2024/7/22(月)	2					
2024/7/22(月)	3					
2024/7/22(月)	4					
2024/7/22(月)	5					
2024/7/23(火)	1	地域医療早期体験実習病院にて終日実習				
2024/7/23(火)	2					
2024/7/23(火)	3					
2024/7/23(火)	4					
2024/7/23(火)	5					
2024/7/24(水)	1	地域医療早期体験実習病院にて終日実習				
2024/7/24(水)	2					
2024/7/24(水)	3					
2024/7/24(水)	4					
2024/7/24(水)	5					
2024/7/25(木)	1	地域医療早期体験実習病院にて終日実習				
2024/7/25(木)	2					
2024/7/25(木)	3					
2024/7/25(木)	4					
2024/7/25(木)	5					
2024/7/26(金)	1	実習の振り返り 発表	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/26(金)	2					
2024/7/26(金)	3					
2024/7/26(金)	4	ポートフォリオ作成・最終提出	地域(寄)	教授(特任)	宮田靖志	301 講
2024/7/26(金)	5					

医師としての臨床経験を持つ教員が担当する授業科目である。

(2) 講義の方法

実習前： 実習の意義，学習目標に関する講義を実施し，その後，自己学習，グループ学習にて実習のための知識整理を行う。

実習後： 実習で学んだことをまとめ，グループ内，全体で発表し議論しながらさらに学びを深める。

(3) 講義の内容

地域の医療機関で医療実践するために医師に求められる知識，技能，態度及び多職種連携の基本的知識について解説する。また，ポートフォリオ作成の意義とその方法について解説する。

8 オフィスアワー

教員名	職位	所属	場所	オフィスアワー
宮田靖志	教授(特任)	地域総合診療医学寄附講座	2号館 研究棟355号室	毎週月・火曜日 15:00～17:00

※ 質問等については，講義終了後，又は，Email(学内メール:Microsoft Outlookにて各自で調べること)で問合せすること。

※ 後日直接質問をする際には，オフィスアワーを参考にすること。

※ 非常勤講師，客員教授，名誉教授に Email で質問したい場合は，科目責任者に連絡先を問合せること。

2024年度 教 科 案 内

2024年4月1日

発行 愛知医科大学医学部教務部

〒480-1195

愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電 話 <0561>62-3311(代)

内線11272~11276

ダイヤルイン <0561>61-5244

F A X <0561>62-6690

印刷 株式会社山菊

電 話 <052>731-1525(代)